

EAST-ASIAN LIB. UNIVERSITY OF TORONTO



3 1761 02970 6256

FOR USE IN
LIBRARY
ONLY



明治四十四年四月一日印刷
 明治四十四年四月五日發行
 明治四十五年二月十日四版發行
 大正二年四月五日五版發行

(漢文大系第六卷奥付)

正價金貳圓五拾錢

校訂者 重野安釋

東京市神田區裏神保町九番地

編輯者 合資會社 富山房編輯部

合資會社 富山房社長

發行者 坂本嘉治馬

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷者 青木弘

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷所 株式會社 秀英舍第一工場

發兌元

(明治廿九年六月設立)

東京市神田區裏神保町 合資會社 富山房

電話本局一〇三六 振替貯金東京五〇一四一三〇



史記列傳索引終

樓緩 ロウクワン

上七十六 三

嬰敬(劉敬) ロウケイ

ワ

王翦 ワウセン

上七十三 九

盧縮 ロクワン

上九十三 七

淮陰侯(韓信) ワイインコウ

王先生 ワウセンセイ

下百廿六 一九

魯句踐 ロコウセン

上八十六 五

王鳥 ワウツ

下百十 四

王離 ワウリ

上七十三 三

路充國 ロジュウコク

下百十 四

王吉 ワウキツ

下百十七 二

王陵 ワウリョウ

上九十六 一

魯仲連 ロチュウレン

上八十三 一

王恢 ワウクワイ

下百八 六

上九十六 八

路博德 ロハクトク

下百十一 三

王僚 ワウレウ

上八十六 三

下百十三 二

王稽 ワウケイ

下百十四 三

王溫舒 ワウアンジュ

下百廿二 二〇

魯連(魯仲連) ロレン

王申生 ワウシンセイ

下百廿三 二六

下百廿二 二三

王蠋 ワウシヨク

上八十二 五

下百十三 四

李牧 リボク

上八十一 一五

李園 リエン

上七十八 三

陸生(陸賈) リクセイ

蘭相如 ランシヤウシヨ

上八十一 一

李廣 リクワウ

下百九 一

臨平君(斬欽) リンヘイクン

上六十七 三

厲王(淮南王長) レイワウ

李廣利 リクワウリ

下百廿三 二四

梁鱣 リヤウセン

上六十七 三

李蔡 リサイ

下百九 九

陵 リヨウ

下百十八 二

酈食其 レイイクキ

下九十七 一

下百十一 二七

龍額侯(韓說) リョウワカクコウ

上九十二 二五

酈疥 レイカイ

下九十七 八

李左車 リサシヤ

上九十二 八

龍且 リョウシヨ

上九十二 二五

酈寄 レイキ

上九十五 三

李斯 リシ

上八十七 一

呂嘉 リョカ

下百十三 七

酈況(酈寄) レイキヤウ

上九十五 二〇

李耳(老聃) リジ

呂不韋 リョフキ

上八十五 一

酈商 レイシヤウ

上九十五 二〇

李信 リシン

上七十三 二〇

呂步舒 リョホジヨ

下百廿一 一六

酈生(酈食其) レイセイ

上九十七 三

李沮 リソ

下百十一 二六

呂禮 リョレイ

上七十五 九

烈侯(衛青) レイコウ

上六十七 三五

李息 リソク

下百十一 二五

李悝 リリ

上七十四 九

廉絜 レンキツ

上六十七 三五

下百二十 八

李離 リリ

下百十九 五

廉頗 レンバン

上六十七 三五

李當戶 リタウコ

下百九 三

李良 リリヤウ

上八十九 八

廉頗 レンバン

上八十一 一

李同 リトウ

上七十六 六

李陵 リリョウ

下百九 一三

口

ム

務光 ムクワウ

上六十一 三

楊信 ヤウシン
楊僕 ヤウボク

下百十 四
下百十三 二

老子(老聃) ラウシ
老上單于 ラウシャウゼンウ

下百十 三

老聃 ラウタン

上六十三 一

下百廿二 三

老萊子 ラウライシ

上六十三 三

陽陵侯(傅寬) ヤウリョウコウ

樂安侯(李蔡) ラクアンコウ

明王(嬰齊) メイワウ

俞侯(欒布) ユコウ

駱搖 ラクエウ

下百十四 一

モ

蒙鰲 モウガウ

上八十八 一

庸(廉紫) ヨウ

上八十六 五

リ

駱無諸 ラクノシヨ
欒布 ラシフ

下百 六

蒙毅 モウキ

上八十八 一

豫讓 ヨジャウ

上八十六 五

蒙恬 モウテン

上八十七 二

豫且 ヨシヨ

下百廿八 九

上八十八 一

餘善 ヨゼン

下百十四 三

ヤ

ラ

楊何 ヤウカ

下百廿一 五

雷被 ライヒ

下百十八 三

陸賈 リョウカ

下九十七 八

李延年 リエンネン

下百廿五 五

李敢 リカン

下百九 三

李由 リユウ

上八十七 二

劉敬 リウケイ

下九十九 一

武信君(張儀)
ブシシケン

閔越王無諸
ブシシヨ

公子扶蘇
フツ

武帝(趙佗)
ブデイ

巫馬施
フバシ

汾陰侯(周昌)
フシシコウ

文君
ブンケン

文侯(汝陰侯)
ブンシコウ

文侯(張蒼)
ブンシコウ

文信侯(呂不韋)
ブンシシコウ

文王(趙胡)
ブンワウ

舞陽侯(市人)
ブヤウコウ

舞陽侯(樊噲)
ブヤウコウ

符離侯(路博德)
フリコウ

離吉
ハイリツ

平原君(趙勝)
ヘイゲンケン

平原君(朱建)
ヘイゲンケン

平津侯(公孫弘)
ヘイシシコウ

平仲(晏嬰)
ヘイヂユウ

平陽侯(曹襄)
ヘイヤウコウ

平陵侯(蘇建)
ヘイリョウコウ

馮唐
ヘウタク

辟陽侯(審食其)
ヘキヤウコウ

扁鵲
ヘンジャク

卞隨
ベンズキ

ホ

奉春君(劉敬)
ホウシュンケン

毋寡
ボカ

上九十六 二五

墨子(墨翟)
ボクシ

卜商
ボクシヤウ

墨翟
ボクヂキ

冒頓單于
ボクトンゼンウ

北平侯(張蒼)
ホクヘイコウ

步叔乘
ホシユクジヨウ

マ

毛公
マウコウ

孟軻
マウカ

孟子(孟軻)
マウシ

孟嘗君(田文)
マウシヤウケン

孟舒
マウジヨ

毛遂
マウスキ

朝鮮王滿
マシ

上六十七 八

上七十四 九

下百十 二〇

上六十七 三五

上七十七 九

上七十四 一

下百四 二

上七十六 三

下百十五 一

望諸君(樂毅)

馬服君(趙奢)

馮驩

上七十五 二

彭仲(彭越)

樊於期

フ

彭越

樊噲

上八十六 一七
上九十五 一

上九十

樊須

上六十七 二六

伯夷叔齊

范叔(范雎)

武安君(李牧)

上六十一 一

白起

范雎

上七十九 一

伯牛(冉耕)

萬石君

下百三 一

白圭

樊遲(樊須)

無忌

上七十七 一

伯度

范蠡

下百廿九 五

白公勝

ヒ

伏生(伏勝)

上六十七 三

博望侯(張騫)

吳王濞

武侯(樊噲)

上六十六 一五

伯陽(老聃)

賁赫

下百六 一

味蔡

費無忌

上九十一 九

下百廿三 二六

閔損

上六十六 一

閔損

武臣

上六十七 四

武信君(武臣)

上八十八 元

聶翁壹
デフヲウイツ

下百八 六

田嬰
デンエイ

上七十五 一

田榮
デンエイ

上九十四 一

田忌
デンキ

上六十五 三

田橫
デンクワウ

上九十四 四

田光先生
デンクワウセンセイ

上八十六 一六

恬侯(石慶)
テンコウ

田仁
デンジン

下百四 五

田叔
デンシユク

下百四 一

田單
デンタン

上八十二 一

田儼
デンタン

上九十四 一

田蚡
デンフン

下百七 四

田文
デンブン

下百十四 二

田駢
デンヘン

上七十五 一

田駢
デンヘン

上七十四 七

ト

淮南王王后荼
トウエイ

下百十八 二

寶嬰
トウエイ

下百七 一

東甌王(東海王搖)
トウオウワウ

東郭先生
トウクワクセンセイ

下百廿六 六

鄧公
トウコウ

下百一 四

滕公(夏侯嬰)
トウコウ

盜跖
トウセキ

上六十一 六

盜跖(盜跖同)
トウセキ

董仲舒
トウチュウジヨ

下百廿一 六

鄧通
トウツウ

上九十六 二

東方策
トウバウサク

下百廿五 二

頭曼
トウマン

下百廿六 二

頭曼
トウマン

下百十 二

杜周
トシウ

下百廿二 七

ナ

南宮括
ナンキウクワツ

上六十七 四

ネ

寧乘
ネイジヨウ

下百十一 二

寧成
ネイセイ

下百廿二 四

寧陵君(魏咎)
ネイリヨウケン

ハ

望氣王朔
バウキウワウサク

下百九 九

龐涓
ハウケン

上六十五 三

鮑叔(鮑叔牙)
ハウシユク

鮑叔牙
ハウシユクガ

上六十二 一

下百廿二 七

鄭國 ナイコク

上六十七 三

趙奢 ダウシヤ

上八十一 九

長廬 チャウロ

上七十四 九

鄭莊(鄭當時) テイサウ

趙襄子 ダウジャウシ

上八十六 六

張祿(范睢) チャウロク

鄭當時 テイサウ

下百二十 二〇

趙勝 ダウショウ

上七十六 一

仲由 チュウユウ

上六十七 六

程不識 テイフシキ

下百九 四

鼂錯 ダウソク

上九十六 二

中行説 チュウワカウエツ

下百十 三

趙食其 テイイクキ

下百十一 二六

下百一 七

仲弓(冉雍) チュウウ

趙禹 テイウ

下百廿二 七

下百一 二

仲尼(孔丘) チュウニ

趙高 テイカウ

上八十七 二

趙佗 ダウタ

下百六 三

直不疑 チヨクフギ

下百三 九

上八十八 二

趙弟 ダウテイ

下百十三 一

馮里子 チヨリシ

上七十一 一

趙光 ダウクラウ

下百十三 三

趙破奴 ダウハド

下百廿三 二九

テ

鄭安平 テイアンヘイ

上七十九 二

趙堯 ダウダウ

上九十六 四

趙良 ダウリヤウ

上六十八 二

鄭君 ナイクン

下百二十 二〇

趙胡 ダウコ

下百十三 五

翟公 ダキコウ

下百二十 三

貞侯(周緤) ダイコウ

趙信 ダウシン

下百十 三

狄黑 ダキコク

上六十七 三五

丁公 ダイコウ

下百 五

下百十一 二六

狄山 ダキサン

下百廿二 三

蘇厲^{ソレイ}

上六十九 三

燕太子丹^{タン}

上八十六 六

張儀^{チャウギ}

上七十 一

夕

太宰嚭^{タイサイヒ}

上六十六 二

子

上九十三 二

張蒼^{チャウサウ}

下百九 八

太倉公(淳于意)^{タイサウコウ}

陳豨^{チンキ}

上七十一 二

張敖^{チャウサウ}

下百廿三 二

太史公(司馬談・司馬遷)^{タイシコウ}

陳軫^{チンキン}

上七十九 三

張耳^{チャウジ}

上八十九 一

大夫種^{タイフシヨウ}

陳涉^{チンセツ}

上八十二 八

張釋之^{チャウシヤクシ}

下百二十一 一

大祿^{タイロク}

陳餘^{チンヨ}

上九十二 二

張敖^{チャウサウ}

下百二十一 一

陶朱公^{タウシュコウ}

淮南厲王長^{チヤウ}

上八十八 一

張敖^{チャウサウ}

上七十三 八

唐蒙^{タウモウ}

長安侯(盧綰)^{チャウアンコウ}

下百十八 一

張敖^{チャウサウ}

下百二十一 一

當陽君(黥布)^{タウヤウクン}

張敖^{チャウサウ}

上七十三 八

張敖^{チャウサウ}

下百二十一 一

涿侯(酈商)^{ツウコウ}

張敖^{チャウサウ}

下百十七 三

張敖^{チャウサウ}

下百二十一 一

卓王孫^{タクワウソン}

張敖^{チャウサウ}

下百十六 四

張敖^{チャウサウ}

下百二十一 一

夜郎侯多同^{ヤロウコウ}

張敖^{チャウサウ}

上六十三 四

張敖^{チャウサウ}

下百二十一 一

儋^{タン}

張敖^{チャウサウ}

上六十三 四

張敖^{チャウサウ}

下百二十一 一

石乞 <small>セキキツ</small>	上六十六	二五	淮南王太子遷 <small>セン</small>	下百十八	二	曾子 <small>ソウシ</small> 曾參 <small>セン</small>	上六十七	二
石慶 <small>セキケイ</small>	下百三	二	選 <small>セン</small> (任不齊)			曾參 <small>ソウセン</small>		
石建 <small>セキケン</small>	下百三	二	冉 <small>ゼン</small> (顔何)			曾皙 <small>ソウセキ</small> 曾蒧 <small>ソウケン</small> (曾蒧)		
石作蜀 <small>セキサクシヨク</small>	上六十七	三	冉耕 <small>ゼンカウ</small>	上六十七	四	宗中 <small>ソウチュウ</small>	下百廿七	一
石奢 <small>セキシヤ</small>	下百十九	四	冉季 <small>ゼンキ</small>	上六十七	三	曾蒧 <small>ソウケン</small>	上六十七	二五
籍福 <small>セキフク</small>	下百七	四	冉求 <small>ゼンキウ</small>	上六十七	五	蘇建 <small>ソウケン</small>	下百十一	八
石奮 <small>セキフン</small>	下百七	二	冉孺 <small>ゼンジュ</small>	上六十七	三	蘇秦 <small>ソウシン</small>	下百十一	二七
哲 <small>セツ</small>	下百三	一	專諸 <small>センショ</small>	上八十六	二	蘇代 <small>ソウタイ</small>	上六十九	一
薛公 <small>セツコウ</small>	上六十七	三	顯孫師 <small>センソンシ</small>	上六十七	二	孫子 <small>ソンシ</small> (孫武)	上七十	二
楚令尹薛公 <small>セキコウ</small>	上七十七	九	宣平侯 <small>センヘイコウ</small> (張敖)			孫叔敖 <small>ソンシユクカウ</small>	上六十九	三
節侯 <small>セツコウ</small> (申屠嘉)	上九十一	一〇	蟬封 <small>センホウ</small>	下百廿三	三	孫臏 <small>ソンビン</small>	下百十九	一
涉何 <small>セツカ</small>	下百十五	二	冉雍 <small>ゼンヨウ</small>	上六十七	四	孫臏 <small>ソンビン</small>	下百廿六	六
接子 <small>セツシ</small>	上七十四	七	宣陵君 <small>センリョウキン</small> (潁陰侯)			孫臏 <small>ソンビン</small>	上六十五	三
聶政 <small>セツセイ</small>	上八十六	九	ソ			孫武 <small>ソンブ</small>	上六十五	一

淳于意 ジュンウイ

下百五 二

淳于髡 ジュンウコン

上七十四 六

淳于越 ジュンウスツ

下百廿六 一

荀況 ジュンケイ

上八十七 九

荀卿(荀況) ジュンケイ

上七十四 七

荀子(荀況) ジュンシ

上七十八 一

春申君 シュンシンケン

下百十一 二元

荀彘 ジュンヂ

下百十五 三

子輿(曾參) シヨ

上九十六 四

如意 ジヨイ

子淵(顏回) シエン

汝陰侯(夏侯嬰) ジュインコウ

子魯(冉孺) シロ

子容(南宮括) シヨウ

子路(仲由) シロ

乘(公夏首) ジヨウ

子淵(顏回) シエン

衡山王王后乘舒 ジョウウシヨ

下百十八 二

徐樂 ジヨガク

下百十二 二

稷嗣君(叔孫通) シヨクシケン

下百廿一 四

徐生 ジヨセイ

下百十 四

且鞮侯單于 シヨダイコウゼンウ

下百十八 二

徐來 ジヨライ

下百十八 二

子柳(顏幸) シリウ

子斂(漆雕侈) シレン

子斂(邦巽) シレン

子魯(冉孺) シロ

子路(仲由) シロ

子淵(顏回) シエン

子魯(冉孺) シロ

子路(仲由) シロ

子淵(顏回) シエン

子魯(冉孺) シロ

子淵(顏回) シエン

子魯(冉孺) シロ

子淵(顏回) シエン

子魯(冉孺) シロ

ス

騶搖 スウヤウ

下百十四 一

騶衍 スウエン

上七十四 二

騶忘 スウキ

上七十四 二

騶夷 スウセイ

上七十四 七

騶無諸 スウブシヨ

上八十三 四

騶陽 スウヤウ

上九十一 四

隨何 ズキコ

セ

成安君(陳餘) セイアンケン

靖郭君(田嬰) セイコクケン

犀首 セイシュ

西門豹 セイモンホウ

蕭何 セウカ

昭平侯(夏侯嬰) セウヘイコウ

上九十二 三

秦祖

上六十七 三

襄(顏祖)

朱英

上七十八 二

申黨

上六十七 四

商鞅

上六十八 一

須賈

上七十二 四

慎到

上七十四 七

渾王嘗羌

下百十六 六

上七十九 一

膠西王臣端

下百十八 二

章邯

上八十九 二

朱家

下百 二

申屠嘉

上九十六 九

商瞿

上九十四 二

下百廿四 五

秦非

上六十七 五

商瞿

上六十七 二

朱亥

上七十七 四

申不害

上六十三 七

商君(商鞅)

下百廿一 一

叔(顏之僕)

上七十七 四

信武侯(靳歙)

上六十七 三

穰侯

上七十二 一

叔魚(梁鱣)

上六十七 三

任不齊

上六十七 三

穰侯

上七十二 一

肅侯(靳歙)

下九十九 七

申包胥

上六十八 八

昌國君(樂毅)

上七十二 一

叔孫通

下九十九 七

信平君(廉頗)

上六十七 三

昌國君(樂毅)

上七十二 一

叔仲會

上六十七 三

信陵君(無忌)

上六十七 三

襄子(趙襄子)

上六十七 三

朱建

下九十七 四

秦越人(扁鵲)

上六十七 三

壤駟赤

上六十七 三

衛陽侯(建德)

下百廿二 一

新垣衍

上八十三 二

商澤

上六十七 三

朱賈臣

下百廿二 一

子明(石作蜀)

上八十三 二

昌文侯(顏陰侯)

上六十七 三

主父偃

下百十二 七

施之常シシジャウ

上六十七 三五

子張シチャウ（顓孫師）

司馬遷シバセン

下百三十一

子車シシヤ（步叔乘）

子長シチャウ（公冶長）

司馬談シバタン

下百三十二

市人シジン

上九十五 九

子中シチュウ（公堅定）

子不シヒ（秦商）

下百三十三

子上シシヤウ（公西晟）

郢都シツト

下百廿二

子木シボク（商瞿）

上九十三

子上シシヤウ（公西輿如）

漆彫開シツポウカイ

上六十七 二七

韓王信シン

上九十三

子循シジュン（曹卬）

漆雕哆シツポウシヤ

上六十七 三

任安ジンアン

下百四 六

子正シセイ（公良孺）

漆雕徒父シツポウトホ

上六十七 三

審食其シンシキ

下九十七 一四

子聲シセイ（樂欬）

子徒シト（鄭國）

任敖ジンガウ

下百十八 一

子聲シセイ（顏噲）

子徒シト（壤駟赤）

任敖ジンガウ

上九十六 七

子石シセキ（公孫龍）

子南シナン（秦祖）

申公シンコウ

下百廿一 八

子析シセキ（伯虔）

司馬耕シバカウ

上六十七 二七

申子シンシ（申不害）

上六十七 三

子皙シセキ（奚容蒧）

司馬季主シバキシユ

下百廿七 一

秦商シンシヤウ

上六十七 三

子賤シセン（宓不齊）

司馬相如シバサウジョ

下百十六 五

岑娶シンシユ

下百廿三 一五

兒單子ヱゼンウ（烏師盧單子）

信成君シンセイキン（酈商）

秦冉シンゼン

上六十七 三

子遲シチ（樊須）

司馬穰苴シバジャウシマ

上六十四 一

秦冉シンゼン

上六十七 三

曹襄サウジャウ

下百十一 二六

周苛シウカ

上九十六 二

子牛シギウ(司馬耕)

曹卬サウヂュウ

上六十七 三

周丘シウキウ

下百六 一七

子華シクワ(公西赤)

莊助サウジヨ

下百十四 二

周仁シウジン

下百三 二〇

子驕シケウ(顏高)

泥野侯サクヤコウ(趙破奴)

周昌シウシャウ

上九十六 二

子騫シケン(閔損)

左人郢サジンエイ

上六十七 三

周繆シウモウ

下九十八 五

子貢シコウ(端木賜)

シ

周文シウブン

下百三 二〇

子贛シコウ

周陽由シウヤウイウ

下百廿二 六

子恆シコウ(施之常)

思シ(燕伋)

子夏シカ(卜商)

子索シサク(罕父黑)

絲シ(袁盎)

子家シカ(鄒單)

子產シサン(冉季)

衡山王賜シ

下百十八 二六

子我シガ(宰我)

子產シサン

下百十九 三

子遊シイウ(言偃)

子開シカイ(漆彫開)

子思シシ(原憲)

子有シイウ(冉求)

子羔シカウ(高柴)

子之シシ(公祖句茲)

鷗夷シイシヒ子皮

下百廿九 六

子祺シキ(榮旂)

子之シシ(秦非)

周シウ(申黨)

子期シキ(叔仲會)

尸子シシ

上七十四 九

子羽シウ(澹臺滅明)

子旗シキ(巫馬施)

子周シウ(公伯僚)

公西蔵コウセイザン

上六十七 三

上七十六 七

伍員ゴキ(伍子胥)

公西輿如コウセイヨジョ

上六十七 三

孔忠コウチュウ

上六十七 三

公哲哀コウセキアイ

上六十七 二

公伯僚コウハクレウ

上六十七 二

公祖句茲コウソコウジ

上六十七 三

公冶長コウヤチャウ

上六十七 二

公孫鞅コウソンアウ(商鞅)

下百十一 二

公良孺コウリヤウジュ

上六十七 三

公孫賀コウソンガ

下百十一 二

公良孺コウリヤウジュ

上六十七 三

公孫敖コウソンガウ

下百十一 二

吳起ゴキ

上六十五 六

公孫弘コウソンクワウ

下百十二 一

伍舉ゴキョ

上六十六 一

公孫弘コウソンクワウ

下百十二 一

吳子ゴシ(吳起)

上六十六 一

公孫弘コウソンクワウ

下百十六 五

伍奢ゴシヤ

上六十六 一

公孫臣コウソンシシ

下百廿一 二

伍奢ゴシヤ

上六十六 一

公孫遂コウソンスウ

下百十五 五

伍被ゴヒ

下百十八 四

公孫遂コウソンスウ

上六十七 三

胡毋生コブセイ

下百廿一 二

公孫龍コウソンリョウ

上七十四 九

烏孫王昆莫コンバク

下百廿三 三

サ

塞侯サイコウ(直不疑)

下百三 九

蔡澤サイタク

上七十九 二

宰予サイヨ

上六十七 九

衡山王太子爽サウ

下百十八 二

莊賈サウカ

上六十四 二

曹丘生サウキウセイ

下百 四

莊躡サウキヤク

下百十六 二

曹沫サウクワイ

上八十六 一

蒼梧王サウゴワウ

下百十三 三

莊子サウシ(莊周)

上六十三 五

莊周サウシウ

下百十三 九

莊參サウシン

下百十三 九

兒寬 グイワウ

下百廿一 三

景桓侯(霍去病) グイワウ

下百廿四 六

厥姬 グツキ

故安侯(申屠嘉) コアンコウ

下百廿一 二四

荆卿(荆軻) ケイケイ

太子建 ケン

上六十六 一

項羽 コウウ

上八十九 一四

慶卿(荆軻) ケイケイ

淮南王孫建 ケン

下百十八 九

侯藏 コウエイ

上七十七 二

景侯(酈商) ケイコウ

言偃 ゲンエン

上六十七 八

公夏首 コウカシユ

上六十七 三

景侯(傅寛) ケイコウ

原亢籍 ゲンカウセキ

上六十七 三

孔丘 コウキウ

上六十七 一

計然 ケイゼン

下百廿九 五

原憲 ゲンケン

上六十七 三

公儀休 コウギキウ

下百廿一 一

邦巽 ケイソン

上六十七 三

犬子(司馬相如) ケンシ

下百廿四 二

公儀休 コウギキウ

下百十九 四

黥布 ケイフ

上九十一 一

犬子(司馬相如) ケンシ

公堅定 コウケンテイ

上六十七 三

奚容蒧 ケイヨウカン

上六十七 三

建信侯(劉敬) ケンシンコウ

孔子(孔丘) コウシ

下百十二 二〇

景王(張耳) ケイワウ

上八十五 八

滅宣 ゲンセン

下百廿二 二六

孔車 コウシヤ

上六十八 一

嫪毐 ケウアイ

上六十七 三

嚴仲子 ゲンチュウシ

上八十六 九

公叔座 コウシュザ

上六十七 三

鄭單 ケウゼン

上七十四 九

建德 ケントク

下百十三 一〇

后處 コウシヨ

上六十七 三

劇子 グキシ

上七十四 九

建陵侯(衛綰) ケンリョウコウ

句井疆 コウセイキヤウ

上六十七 三

劇孟 グキマツ

下百一 一〇

コ

公西赤 コウセイセキ

上六十七 三

翁侯(趙信)
キフコウ

魏豹
ギヘウ

靳歙
キンキフ

匡衡
キヤウカウ

許由
キヨイフ

共德君(傳寬)
キヨウトクケン

曲周侯(酈商)
キョクシュウコウ

許歷
キヨレキ

ク

虞卿
グケイ

屈原
クツゲン

屈平(屈原)
クツペイ

軍臣單于
グンシンゼンウ

蒯成侯(周緤)
クワイセイコウ

蒯通
クワイテツ

公子光
クワウ

廣阿侯(任敖)
クワウアコウ

黃歇(春申君)
クワウカツ

荒侯(市人)
クワウコウ

黃生
クワウセイ

黃霸
クワウハ

廣武君(李左車)
クワウブケン

廣野君(酈食其)
クワウヤクン

廣利
クワウリ

郭解
クワウカイ

郭吉
クワウキツ

霍去病
クワクキムヘイ

郭昌
クワクシヤウ

郭舍人
クワクシヤジン

管夷吾(管仲)
クワンイゴ

灌嬰
クワンエイ

貫高
クワンカウ

管仲
クワンチュウ

灌夫
クワンフ

環淵
クワンエン

華陽夫人
クワヤウフジン

ケ

稽粥單于
ケイイクゼンウ

荊軻
ケイコ

下百十一 二〇

下百十一 二九

下百十一 二九

下百廿六 九

上九十五 八

上八十九 一六

上六十二 一

下百七 八

上七十四 七

上八十五 一

下百十 三

上八十六 一五

下百十 二

下百十 一

上八十九 五

上九十二 一五

上九十二 一九

上九十二 二八

上八十六 三

下百二十 二〇

上九十六 一六

下百十 四

下百十 六

下百十 三

下百十 四

下百十 六

下百十 四

下百十 四

韓嬰 カンエイ

下百廿一 二三

韓長孺(韓安國) カンチャウジュ

魏公子(信陵君) ゴウシン

韓說 カンエツ

下百十一 一六

岸頭侯(張次公) カントウコウ

季次 キシン

下百廿四 二

韓嫣 カンエン

下百廿五 四

韓非 カンビ

上六十三 八

季次(公皙哀) キシン

上七十五 八

顏何 ガンカ

上六十七 三五

顏無繇 ガンブエウ

上六十七 二五

魏子 ギン

上七十五 八

顏幸 ガンカウ

上六十七 三

甘茂 カンボウ

上七十一 五

季子札 キシヤツ

上八十六 三

顏高 ガンカウ

上六十七 三

罕父黑 カンホコク

上六十七 三四

期思侯(賁赫) トシコウ

上八十六 三

顏回 ガンクワイ

上六十七 二

甘羅 カンロウ

上七十一 一四

季心 キシン

下百 五

顏噲 ガンクワイ

上六十七 三五

顏路(顏無繇) ガンロ

魏相 ヱイヤウ

上九十六 一四

韓子(韓非) カンシ

顏淵(顏回) ガンエン

義縱 ギシヨウ

下百廿二 一七

顏之僕 ガンシボク

上六十七 三四

キ

魏齊 ギセイ

上七十九 一

韓信 カンシン

上九十二 一

魏冉(穰侯) ギゼン

下百 一

韓信(韓王信) カンシン

季(張釋之) キ

季布 キフ

下百 一

韓生(韓嬰) カンセイ

魏咎 ギキウ

上九十 一

魏其侯(竇嬰) ギキコウ

下百廿四 五

韓千秋 カンセンシウ

下百十三 九

魏其侯(竇嬰) ギキコウ

下百七 一

汲黯 キタン

下百十二 二

顏祖 ガンソ

上六十七 三

鞠武 キクブ

上八十六 七

下百二十 一

下百廿六 二六

應侯(范雎)

向壽

上七十一 五

英布(黥布)

翁伯(郭解)

高漸離

上八十六 二六

衛平

下百廿八 二

烏帥盧單于

下百十 三

高堂生

上八十六 二六

衛滿(滿)

下百十四 一

烏維單于

下百十 三

賈誼

下百廿一 一四

東海王搖

下百廿二 一三

力

樂歆

上八十四 二

謁居

上六十二 五

開(秦冉)

上八十六 二五

樂毅

上六十 一〇

越石父

下百一 一

蓋聶

上八十七 一九

樂毅

上八十 一

袁盎

上三十七 四

行(左人郢)

下百六 六

樂毅

上九十 二

燕伋

下百廿一 二〇

公子高

下百十八 二六

夏侯嬰

上九十五 三

轅固生

上三十七 四

膠西王卬

下百一 一

葛繹侯(公孫賀)

上八十六 二七

延陵季子(季子札)

下百一 一

衡山王子孝

下百一 一

夏無且

下百八 一

應高

下百六 六

絳侯

上六十七 二六

韓安國

下百八 一

オ
ヲ

應高

下百六 六

高柴

上六十七 二六

韓安國

下百八 一

史記列傳索引

表ハ本傳ノ標題ニ係ラズ總テ氏名ヲ主トシ其下ニ卷數ト頁數トヲ示ス。字諡稱號等ノ下ニハ卷頁數ヲ略シテアルニ氏名ヲ以テシ括弧ヲ施シテ之ヲ別ツ。字號等ヲ知リテ本名ヲ求メントスル場合ニ本表ノミヲ以テ事足ルヲ便アレバ也。上下ハ漢文大系史記ノ上卷下卷ナリ。

ア

鞅アウ(商鞅)

淮南王安アン

晏嬰アンエイ

安國侯(王陵)アンコクコウ

安國少季アンコクセウキ

晏子(晏嬰)アンシ

安平君(田單)アンヘイクン

安樂侯(匡衡)アンラクコウ

イ井

右渠イウキョ

下百十五 二

有若イウジャク

優旃イウセン

優孟イウマウ

韋賢キケン

韋玄成キゲンセイ

懿侯(灌嬰)イコウ

南越王尉佗(趙佗)キタ

伊稚斜單于イチサゼンウ

倚頓イトン

尹喜キンキ

殷宏インクワウ

尹齊キンセイ

上六十七 二六

下百廿六 八

下百廿六 五

上九十六 二三

上九十六 二四

上九十六 二七

ウ

吁子ウシ

エエ

政姉榮エイ

閔越王郢エイ

衛鞅(商鞅)エイアウ

穎陰侯(灌嬰)エイインコウ

榮旌エイキ

衛綰エイクワン

嬰齊エイセイ

衛青エイセイ

上七十四 九

上八十六 二三

下百十四 三

上六十七 三四

下百三 七

下百十三 六

下百十一 一

史記評林卷之九十六終

（漢文大系第六卷總紙數七百四十四頁）

得_レ之。至_レ於_二封侯_一。眞_ニ命_ナ也。夫。御史大夫鄭君。守_レ之數年。不得。匡
君居_レ之。未_レ滿_ニ歲_一。而韋丞相死。卽_ニ代_ル之矣。豈可_ニ以_一智巧_ニ得_レ哉。多
有_ニ賢聖之才_一。困_レ屢_ニ不得_ル者。衆_ニ甚_キ也。

索隱曰。案此論匡衡已來事。則後人
所述也。或亦稱太史公。其序述淺陋。

一何誣也。

索隱述贊曰。張蒼主計。天下作程。孫臣始緇。秦曆尙行。御史亞相。相國阿衡。申屠面折。周
子廷爭。其他姦姦。無_レ所_ニ發明_一。

豈非遇時而命也哉、
 記云、御覽二百四、引
 テ命ヲ合ニ作ル、疑フ
 今本誤ル。

給_ス食_ニ飲_ニ才_一下。數_ト射_シ策_ヲ不_レ中_ヲ。至_ニ九_ニ乃_一中_ニ丙_ニ科_一。其_レ經_ヲ以_レ不_レ中_ニ科_一。故_ニ明_ニ習_ス。補_ニ平_ニ原_ニ文_ニ學_ニ卒_ニ史_一。數_ニ年_一郡_ニ不_レ尊_ニ敬_一。御_ニ史_ニ徵_シ之_ヲ。以_ニ補_ニ百_ニ石_一。屬_ニ薦_メ爲_シ郎_ト。而_ニ補_ニ博_ニ士_一。拜_ニ爲_ニ太_ニ子_ニ少_ニ傅_一。而_ニ事_ニ孝_ニ元_ニ帝_一。孝_ニ元_ニ好_ニ詩_一。而_ニ遷_シ爲_シ光_ニ祿_ニ勳_一。居_ニ殿_ニ中_一爲_ニ師_一。授_ニ教_ニ左_ニ右_一。而_ニ縣_ニ官_ニ坐_ニ其_ニ旁_一。聽_ニ甚_一。善_ニ之_一。日_ニ以_ニ尊_ニ貴_一。御_ニ史_ニ大_ニ夫_ニ鄭_ニ弘_ニ坐_ニ事_一。免_ニ而_ニ匡_ニ君_ニ爲_ニ御_ニ史_ニ大_ニ夫_一。歲_ニ餘_一章_ニ丞_ニ相_ニ死_一。匡_ニ君_ニ代_ニ爲_ニ丞_ニ相_一。封_ニ樂_ニ安_ニ侯_一。以_ニ十_ニ年_一之_ニ間_一。不_レ出_ニ長_ニ安_ニ城_ニ門_一。而_ニ至_ニ丞_ニ相_一。豈_ニ非_ニ遇_ニ時_一而_ニ命_ニ也_一哉。深_ニ惟_ニ士_ニ之_ニ游_ニ宦_一。所_ニ以_ニ至_ニ封_ニ侯_一者_ニ微_ニ甚_一。
徐廣曰。徵。一作徵。然_ニ多_ニ至_ニ御_ニ史_ニ大_ニ夫_一。卽_ニ去_ニ者_一。諸_ニ爲_ニ大_ニ夫_一而_ニ丞_ニ相_一次_ニ也。其_ニ心_ニ冀_ニ幸_ニ丞_ニ相_一物_ニ故_一也。
高堂隆答魏朝訪曰。物。無也。故事也。言無復所能於事。或_ニ乃_ニ陰_ニ私_ニ相_ニ毀_ニ害_一。欲_ニ代_ニ之_一。然_ニ守_ニ之_一日_ニ久_一不_レ得_ニ。或_ニ爲_ニ之_一日_ニ少_一而

以御史大夫于定國代。于丞相已有廷尉傳。在張廷尉語中。
于丞相去。御史大夫章玄成代。

章丞相玄成者。卽前章丞相子也。代父。後失列侯。其人少時。

好讀書。明於詩論語。爲吏至衛尉。徙爲太子太傅。御史太夫

薛君免。名廣德也。爲御史大夫。于丞相乞骸骨免。而爲丞相。因封

故邑爲扶陽侯。數年病死。孝元帝親臨喪。賜賞甚厚。子嗣。後

其治容容。隨世俗浮沈。而見謂諂巧。而相工本謂之。當爲侯

代父而後失之。復自游宦而起。至丞相。父子俱爲丞相。世間

美之。豈不命哉。相工其先知之。章丞相卒。御史大夫匡衡代。

丞相匡衡者。東海人也。好讀書。從博士受詩。家貧。衡傭作以

何見之明也、札記云、宋
本毛本何上是字アリ。

之。以丞相病死。子顯嗣。後坐騎至廟不敬。有詔奪爵一級。失
列侯得食故國邑。顯爲吏至太僕。坐官耗亂身及子男有姦
贓。免爲庶人。邴丞相卒。黃丞相代。長安中有善相工田文者。
與韋丞相。魏丞相。邴丞相。微賤時會於客家。田文言曰。今此
三君者。皆丞相也。其後三人竟更相代爲丞相。何見之明也。
黃丞相霸者。淮陽人也。以讀書爲吏。至潁川太守。治潁川以
禮義。條教喻告化之。犯法者。風曉令自殺。化大行。名聲聞。孝
宣帝下制曰。潁川太守霸。以宣布詔令治民。道不拾遺。男女
異路。獄中無重囚。賜爵關內侯。黃金百斤。徵爲京兆尹。而至
丞相。復以禮義爲治。以丞相病死。子嗣。後爲列侯。黃丞相卒。

奏京兆尹趙君云云、以下文著明ナラズ、宜ク漢書趙廣漢傳ニ據テ解スベシ。

陳平等劾中尙書、札記云、宋本舊刻尙字ナシ。

事。而私獨奏請驗之。發吏卒至丞相舍。捕奴婢。笞擊問之。實不以兵刃殺也。而丞相司直繁君。索隱曰。繁。姓也。音婆。奏京兆尹趙君迫脅丞相。誣以夫人賊殺婢。發吏卒圍捕丞相舍。不道。又得擅屏騎士。事趙京兆坐要斬。又有使掾陳平等劾中尙書。疑以獨擅劫事而坐之。大不敬。長史以下皆坐死。或下蠶室。而魏丞相竟以丞相病死。子嗣。後坐騎至廟不敬。有詔奪爵一級。爲關內侯。失列侯得食其故國邑。魏丞相卒。以御史大夫邴吉代。

邴丞相吉者。魯國人也。以讀書好法令。至御史大夫。孝宣帝時。以有舊故。封爲列侯。而因爲丞相。明於事。有大智。後世稱

霸アリ、皆宣帝ノ時ナリ、韋元成、匡衡ハ、則元帝ノ時ナリ、此皆少孫別ニ傳聞アリ、各傳ノ後ニ續ルナリ、按ニ翟先生、名ハ少孫、沛人、漢元帝成帝間ノ人ナリ。

相工相之。當至丞相。有男四人。使相工相之。至第二子。其名玄成。相工曰。此子貴。當封。韋丞相言曰。我卽爲丞相。有長子。是安從得之。後竟爲丞相。病死。而長子有罪。論不得嗣。而立玄成。玄成時佯狂不肯立。竟立之。有讓國之名。後坐騎至廟。不敬。有詔奪爵一級。爲關內侯。失列侯。得食其故國邑。韋丞相卒。有魏丞相代。

魏丞相相者。濟陰人也。以文吏至丞相。其人好武。皆令諸吏帶劍。帶劍前奏事。或有不帶劍者。當入奏事。至乃借劍而敢入奏事。其時京兆尹趙君。名廣漢。丞相奏以免罪。使人執魏丞相。欲求脫罪而不聽。復使人脅恐魏丞相。以下夫人賊殺侍婢。

青翟。徐廣曰。高祖功臣莊不識之孫。高陵侯趙周等爲丞相。徐廣曰。周父夷吾爲楚王戍太傅。諫爭而死。皆以列

侯繼嗣。娒娒。徐廣曰。娒音七角反。一作斷。一作躑。○索隱曰。娒音側角反。小顏云。持整之貌。漢書作躑躑。音初覺反。斷音都亂反。義如尙書斷斷猗。無他技。廉

謹爲丞相備員而已。無所能發明功名。有著於當世者。

大史公曰。張蒼文學律曆。爲漢名相。而絀賈生公孫臣等言。正

朔服色事。而不遵明。用秦之顓頊曆何哉。張晏曰。不考經典。專用顓頊曆何哉。周昌木

彊人也。正義曰。言其質直。掘強如木石焉。任敖以舊德用。張晏曰。謂傷辱呂后吏。申屠嘉可謂剛

毅守節矣。然無術學。殆與蕭曹陳平異矣。

孝武時。丞相多甚。不記。莫錄其行起居狀略。且紀征和以來。

有車丞相。長陵人也。名千秋。卒而有章丞相代。索隱曰。自車千秋已下。皆褚先生等所記。

然丞相傳都省略。漢書則備。章丞相賢者。魯人也。以讀書術爲吏。至大鴻臚。有

而不遵明用秦之顓頊曆ハ、禮記、志疑云、句解スベカラズ、漢書專遵用秦之顓頊曆ニ作ル。

孝武時丞相多甚云云、淺雅隆曰、此後、車丞相章丞相等ヲ紀スル、竝ニ褚先生ノ筆、太史公ノ原文ニ非ズ、趙翼曰、張蒼申屠嘉傳後、征和以後相ト爲ル者ヲ增記ス、車千秋ノ外、黃章賢、魏相、陳吉、黃

堧垣。服虔曰宮外垣也。如淳曰堧音畏。堧之堧。○嘉聞之。欲因此以法錯。擅

穿宗廟垣爲門。奏請誅錯。錯客有語錯。錯恐。夜入宮上謁。自歸

景帝。正義曰。自至朝。丞相奏請誅內史錯。景帝曰。錯所穿非真廟

垣。乃外堧垣。故他官居其中。索隱曰。漢書作尤。宜爲散官。且又我使爲之。錯無罪。

罷朝。嘉謂長史曰。吾悔不先斬錯。乃先請之。爲錯所賣。至舍。因

歐血而死。諡爲節侯。子共侯蔑代。三年卒。子侯去病代。三十一

年卒。徐廣曰。一本無侯去病。而云共侯。蔑三十三年。子與改封靖安侯。子侯與代。六歲。坐爲九江太守。受

故官。送有罪國除。自申屠嘉死之後。景帝時。開封侯陶青。桃侯

劉舍爲丞相。徐廣曰。陶青。高祖功臣陶舍之子也。諡夷。劉舍。本項氏親也。賜姓劉氏。父襄佐高祖有功。舍諡哀侯。及今上時。柏至

侯許昌。徐廣曰。高祖功臣許溫之孫。諡哀侯。平棘侯薛澤。徐廣曰。高祖功臣廣平侯薛歐之孫。平棘節侯薛澤。武彊侯莊

他官居其中注漢書充官禮記雜志云充ト它ト形近ウシテ譌ス、後人又改テ他ト爲スナ

吾私之ハ、鎮師古曰、
私ニ之ヲ戒教セント欲
スルヲ言フ。

富貴之。至於朝廷之禮。不可以不肅。上曰。君勿言。吾私之。罷朝。
坐府中。嘉爲檄。召鄧通詣丞相府。不來。且斬通通恐。入言文帝。
文帝曰。汝第往。吾今使人召若。通至丞相府。免冠徒跣。頓首謝。
嘉坐自如。故不爲禮。責曰。夫朝廷者。高皇帝之朝廷也。通小臣。
戲殿上。大不敬。當斬。吏今行斬之。如淳曰。嘉語其吏曰。今便行斬之。通頓首。首盡出
血。不解。文帝度丞相已困通。使使者持節召通。而謝丞相曰。此
吾弄臣。君釋之。鄧通既至。爲文帝泣曰。丞相幾殺臣。嘉爲丞相
五歲。孝文帝崩。孝景帝卽位。二年。鼂錯爲內史。貴幸用事。諸法
令多所請變更。議以謫罰。侵削諸侯。而丞相嘉自絀。所言不用。
疾錯。錯爲內史。門東出不便。更穿一門南出。南出者。太上皇廟。

省、驛張ト曰ヒ、足ヲ以テ陽ム者ヲ驛張ト曰フ。

餘見無可者、顏師古曰、見ハ、見在ノ人ヲ謂フ。

文帝嘗燕飲ノ嘗ヘ、漢書常ニ作ル。

有驛張士。○索隱曰。孟康云。主張強弩。厥其月反。漢令曰。驛張士百人也。

從高帝擊項籍。遷爲隊率。索隱曰。從擊所類反。

黥布軍爲都尉。孝惠時爲淮陽守。孝文帝元年。舉故吏士二千

石從高皇帝者。悉以爲關內侯。食邑二十四人。而申屠嘉食邑

五百戶。張蒼已爲丞相。嘉遷爲御史大夫。張蒼免相。徐廣曰。後二年八月。孝

文帝欲用皇后弟竇廣國爲丞相。曰。恐天下以吾私廣國。廣國

賢。有行。故欲相之。念久之不可。而高帝時大臣又皆多死。餘見

無可者。乃以御史大夫嘉爲丞相。因故邑封爲故安侯。正義曰。今易州界武

陽城中東南隅故城是也。嘉爲人廉直。門不受私謁。是時太中大夫鄧通方隆

愛幸。賞賜累巨萬。文帝嘗燕飲通家。其寵如是。是時丞相入朝。

而通居上傍。有怠慢之禮。丞相奏事畢。因言曰。陛下愛幸臣。則

ノ文ヲ以テ相承屬ス、其ニ事タルヲ別ツ所以ナリ、蔣西谷曰、比定ナル者ハ、舊律ヲ以テ相比シ、而テ新律ヲ定ム、即文帝十三年、張蒼馮敬、議シテ律ヲ定ムルヲ請フ事ナリ、詳ニ漢書刑法志ニ見ユ。

子類注一作顓、禮記云、雜志云、顓ハ乃顓ノ麟ナリ。

蒼子復長、札記云、御覽五百十九、史ヲ引キ、蒼子復長八尺ニ作ル、漢書ト同ジ、疑フ今本脫ス。

以材官蹶張、顏師古曰、今ノ蹶、手ヲ以テ張ル

議張蒼。張蒼以爲非是罷之。其後黃龍見成紀。於是文帝召公

孫臣以爲博士。草土德之曆制度。更元年。張丞相由此自絀。謝

病稱老。蒼任人爲中候。張晏曰。所選保任者也。瓚曰。中候。官名。大爲姦利。上以讓蒼。蒼

遂病免。蒼爲丞相十五歲而免。孝景前五年。蒼卒。諡爲文侯。子

康代侯。八年卒。子類。徐廣曰。一代爲侯。八年。坐臨諸侯喪後就位。

不敬。國除。索隱曰。案漢書云。傳子至孫類有罪國除。今此文康代八年卒。子顓代侯。則顓卽類。與漢書略同也。初張蒼父長不滿

五尺。及生蒼。蒼長八尺餘。爲侯丞相。蒼子復長。漢書云。長八尺。及孫類。長

六尺餘。坐法失侯。蒼之免相後老。口中無齒。食乳。女子爲乳母。

妻妾以百數。嘗孕者不復幸。蒼年百有餘歲而卒。結案

申屠丞相嘉者。梁人。以材官蹶張。徐廣曰。勇健有材力開張。蹶案如淳曰。材官之多力。能脚踢强弩張之。故曰蹶張。律

緒正律歷、漢書注、文
類曰、緒入尋ナリ、其
統緒二本ギク而テ之ナ
正スヲ謂フ。

吹律調樂、入之音聲、
及以比定律令、若百工
天下作程品ハ、札記云、
蕭刻入、錢警石云、倪
氏史漢異同、許氏史漢
方駕錄、此傳入ニ作ル、
今本皆人ニ譌スト、而
テ方苞ハ人字ニ從ヒ、
之ヲ解シテ曰、比ハ、刑
罰ノ比例ナリ、尙書呂
刑ニ、上下比罪、禮記
ニ、必察大小之比以成
之、蓋漢初法ヲ約シ刑
ヲ省キ、蕭何律ヲ造ル
簡ナ尙ブ、律ノ未ダ詳
ニセザル所、若更ニ上
下大小ノ比例ヲ以テ之
ヲ定ム、猶後世律ノ外、
更ニ例アル如キナリ、
此刑罰ノ律、故ニ律令
ト曰フ、樂音ノ律ト異
ナリ、若律ヲ吹キ、樂
器ト人聲トヲ調ヘ、又
比例ヲ以テ刑律ヲ定
ム、又百工ノ爲ニ程品
ヲ立ツ、故ニ及ト若ト

相公卿皆軍吏。張蒼爲計相時。緒正律曆。文穎曰。緒。尋也。或曰。緒。業也。以高祖十

月始至霸上。因故秦時本以十月爲歲首。弗革。推五德之運。以

爲漢當水德之時。尙黑如故。正義曰。姚察云。蒼是秦人。猶用推五勝之法。以周赤烏爲火。漢勝火以水也。吹律諷

樂。入之音聲。及以比定律令。如淳曰。比。謂五音清濁各有所比也。以定十二月律之法。令於樂官使長行之。瓊曰。謂以比故取類

以定律律與條令也。○正義曰。若百工。天下作程品。如淳曰。若。順也。百工爲器物皆有尺寸斤兩。皆使得宜。此

之謂順。晉灼曰。若。預及之辭。○索隱曰。晉灼說爲得。至於爲丞相。卒就之。故漢家言律曆者。本之

張蒼。蒼本好書。無所不觀。無所不通。而尤善律曆。駰案。漢書曰。著書十八篇。言陰陽律

曆事。張蒼德王陵。王陵者。安國侯也。及蒼貴。常父事王陵。陵死後

蒼爲丞相。洗沐。常先朝陵夫人上食。然後敢歸家。蒼爲丞相。十

餘年。魯人公孫臣上書言。漢土德時。其符有黃龍當見。詔下其

應前王陵言沛公勿斬

乃抵堯罪。徐廣曰。呂后元年國除。以廣阿侯任敖爲御史大夫。

任敖者故沛獄吏。高祖嘗辟吏。正義曰。辟音避。吏繫呂后。遇之不謹。任敖

素善高祖。怒擊傷主呂后吏。及高祖初起。敖以客從。爲御史守

豐。二歲。高祖立爲漢王。東擊項籍。敖遷爲上黨守。陳豨反時。敖

堅守。封爲廣阿侯。食千八百戶。高后時。爲御史大夫。三歲免。徐廣

曰。文帝二年任敖卒。謚懿侯。會孫越人元鼎二年爲太常。坐酒酸國除。駟案漢書。任敖孝文元年薨。徐誤也。○索隱曰。此徐氏據漢書爲記。而誤云二年。裴駟又引任安書證爲得其實。○正義曰。按史記書表云。孝文二年卒。漢表又云。封十九年卒。計高祖十一年。

封。到文帝二年。則十九年矣。而漢書誤。裴氏不考。乃云徐誤何。其二過也。以平陽侯曹

窋爲御史大夫。高后崩。不與大臣共誅呂祿等免。接前以淮南相張

蒼爲御史大夫。蒼與絳侯等尊立代王。爲孝文皇帝。四年。丞相

灌嬰卒。重說張蒼爲丞相。自漢興至孝文二十餘年。會天下初定。將

平陽侯曹窋ハ、札記竊ニ作ル、云フ柯凌竊ニ譌ス。
不與大臣共誅、札記云、不字ヲ衍ス、漢書云、與大臣共誅諸呂、後坐事免ト。

三歲免注正讀其二過也、札記ニテ誤ト作ル。

無以易堯ハ、顔師古曰、堯之ヲ爲ス可シ、他人勝フル能ハザルヲ言フ、易ハ代ナ!

於是徙御史大夫周昌爲趙相。既行。久之。高祖持御史大夫印。

弄之曰。誰可以爲御史大夫者。熟視趙堯曰。無以易堯。遂拜趙

堯爲御史大夫。徐廣曰。堯亦前有軍功。食邑。及以御史大夫從擊。

陳豨有功。封爲江邑侯。徐廣曰。十一年。高祖崩。呂太后使使召趙王。其相

周昌令王稱疾不行。使者三反。周昌固爲不遣趙王。於是高后

患之。乃使使召周昌。周昌至。謁高后。高后怒而罵周昌曰。爾不

知我之怨戚氏乎。而不遣趙王。何。昌既徵。高后使使召趙王。趙

王果來。至長安。月餘。飲藥而死。周昌因謝病。不朝見。三歲而死。

徐廣曰。諡悼也。○索隱曰。漢書列傳及表咸言周昌諡悼。韋昭云。或諡惠非也。後五歲。正

漢書又曰。傳子至孫意。有罪國除。景帝復封昌孫左車爲安陽侯。有罪國除。曰高后。高后聞御史大夫江邑侯趙堯。高祖時定趙王如意之畫。

趙堯請問ハ、札記云、志疑云、宋祁曰、問疑フ開ニ作ル、按ニ漢書開ニ作ル。
與呂后有郤耶、漢書郤ヲ隙ニ作リ、郤字ナシ。

其人有堅忍質直、札記有字ナシ、云フ人下有字ヲ衍ス、今刪ル、雜志云、御覽職官部、引テ無シ、漢書其人堅忍伉直に作ル、亦有字ナシ。

知其左遷注索隱不得下仕諸王、札記王上侯字アリ、云フ中統游本侯字アリ。

之所以然。趙堯進。請問曰。陛下所爲不樂。非爲趙王年少。而戚夫人與呂后有郤耶。備萬歲之後。而趙王不能自全乎。高祖曰。然。吾私憂之。不知所出。索隱曰。謂不知其計所出也。堯曰。陛下獨宜爲趙王置貴彊相。及呂后太子羣臣素所敬憚。乃可。高祖曰。然。吾念之。欲如是。而羣臣誰可者。堯曰。御史大夫周昌。其人有堅忍質直。且自呂后太子及大臣皆素敬憚之。獨昌可。高祖曰。善。於是乃召周昌。謂曰。吾欲固煩公。公彊爲我相。趙王。正義曰。桓譚新論云。使周相趙不如使取呂后家女爲妃。令戚夫人善事呂后。則如意無斃也。周昌泣曰。臣初起從陛下。陛下獨奈何中道而弄之於諸侯乎。高祖曰。吾極知其左遷。索隱曰。諸侯王表有左官之律。韋昭以爲左猶下也。禁不得下仕於諸王也。然地道尊右。右貴左賤。故謂貶秩爲左遷。他皆類此。然。吾私憂趙王。念非公無可者。公不得已彊行。

知其不可注正義日期、
札記期ヲ昌ニ作ル、云
フ昌ナ期ニ誤ル、考證
改ム。
側耳於東廂、札記廂ヲ
箱ニ作ル、索隱小顏チ
引クニ依テ改ム、漢書
箱ニ作ル。
爲詭謝、札記詭ヲ詭ニ
作ル、云フ宋本毛本廂、
各本詭ニ誤ス。

且代君之位ハ、茅坤曰、
方與何ヲ以テ變ノ能ク
昌ニ代ルヲ知ル、必堯
嘗テ與ニ謀テ、而テ逆
メ之ヲ知ルナリ。

帝欲廢太子而立戚姬子如意爲太子。大臣固爭之莫能得。上以留侯策卽止。而周昌廷爭之彊。上問其說。昌爲人吃。又盛怒。

曰。臣口不能言。然臣期期知其不可。有生色正義曰。期以口吃每語。故重言期期也。陛下雖欲

廢太子。臣期期不奉詔。上欣然而笑。既罷。呂后側耳於東廂聽。

韋昭曰。殿東堂也。○索隱曰。小顏云。正寢之東西室皆號曰箱。言似箱篋之形。見周昌爲詭謝曰。微君太子幾廢。

曰。幾鉅。是後戚姬子如意爲趙王。年十歲。高祖憂卽萬歲之後不依反。

全也。趙堯年少。爲符璽御史。趙人方與公謂御史大夫周昌曰。

孟康曰。方與縣名。公其號。瓊曰。方與縣令也。君之史趙堯。年雖少。然奇才也。君必異之。是且

代君之位。周昌笑曰。堯年少。刀筆吏耳。伏後案正義曰。古用簡牘書。有錯謬以刀削之。故曰刀筆吏。何能

至是乎。居頃之。趙堯侍高祖。高祖獨心不樂。悲歌。羣臣不知上

大夫ト爲ル者九人、皆張蒼ノ前ニ在リ、張蒼既ニ相タリ、而テ申屠嘉之ニ代ル、故ニ蒼淮南ニ相タルニ於テ、預メ十四年遷爲御史大夫ヲ書シ、然ル後五人ノ御史大夫ト爲ル、脈絡相貫キ、而テ主客ノ分判然タリ、蒼以前丞相ト爲ル者、名跡顯著也、故ニ復蒼ハズ、嘉以後丞相ト爲ル者六人、別ニ表見スル所ナシ、故ニ其名氏ヲ最シ、而テ旋旋眞ニ備ヘルヲ以テ之ヲ蔽フ、別ニ見ルアル者ハ列セズ、皆義法ノ然ラザルヲ得ザル者ナリ、按ニ最ハ、聚ナリ。

封爲高景侯注徐廣曰元年、札記九年ニ作ル、云フ毛本九、各本元ニ闕ス。

沛公以周昌爲職志。

徐廣曰。主旗幟之屬。○索隱曰。官名也。職。主也。志。旗幟也。謂掌旗幟之官也。音昌志反。

周苛爲客。

張晏曰。爲帳下賓客不掌官。

從入關破秦。沛公立爲漢王。以周苛爲御史大夫。周

昌爲中尉。漢王四年。楚圍漢王滎陽。急。漢王遁出去。而使周苛

守滎陽城。楚破滎陽城。欲令周苛將。苛罵曰。若趣降漢王。不然。

今爲虜矣。項羽怒。烹周苛。

徐廣曰。四年三月也。

於是乃拜周昌爲御史大夫。

常從擊破項籍。以六年中與蕭曹等俱封。封周昌爲汾陰侯。周

苛子周成以父死事。封爲高景侯。

徐廣曰。元年封。封三十九年。文帝後元四年謀反死。國除。

昌爲人

彊力。敢直言。自蕭曹等皆卑下之。昌嘗燕時入奏事。

伏移羣臣素所敬憚案。綱案漢書音義曰。以上燕

時入奏事。高帝方擁戚姬。昌還走。高帝逐得。騎周昌。項問曰。我何如

主也。昌仰曰。陛下卽桀紂之主也。於是上笑之。然尤憚周昌。及

遷爲計相ハ、顧師古曰、
專ヲ計籍ヲ主ル、故ニ
計相ト號ス。
更以列侯爲主計ハ、顧
師古曰、計相ノ名ヲ去
リ、更メテ主計ト號ス。

十四年遷爲御史大夫、
方苞曰、漢興リ、御史

山守。從淮陰侯擊趙。蒼得陳餘趙地已平。漢王以蒼爲代相。備
邊寇。已而徙爲趙相。相趙王耳耳卒。相趙王敖。復徙相代王。燕
王臧荼反。高祖往擊之。蒼以代相從。攻臧荼有功。以六年中封
爲北平侯。食邑千二百戶。遷爲計相。文穎曰。能計。故號曰計相。一月。更以列侯
爲主計。四歲。張晏曰。以列侯典校郡國簿書。如淳曰。以其所主。因以爲官號。與計相同。時所卒立。非久施也。○索隱曰。謂改計相之名。更名主計也。此蓋權時立
也。號是時蕭何爲相國。而張蒼乃自秦時爲柱下史。明習天下圖
書。計籍。蒼又善用算律曆。故令蒼以列侯居相府。領主郡國上
計者。黥布反。亡。漢立皇子長爲淮南王。而張蒼相之。十四年。例脫遷
爲御史大夫。周昌者。沛人也。其從兄曰周苛。秦時皆爲泗水卒
史。及高祖起沛。擊破泗水守監。於是周昌周苛自卒史從沛公。

史記評林卷之九十六

張丞相列傳第三十六

張丞相蒼者陽武人也。

索隱曰案縣名屬陳留正義曰鄭州陽武縣也。

好書律曆秦時爲御史。

主柱下方書。

如淳曰方版也謂書事在版上者也。秦以上置柱下史蒼爲御史主其事或曰四方文書。○索隱曰周秦皆有柱下史謂御史也。所掌及侍立恆在

殿柱之下故老聘爲周柱下史今蒼在秦代亦居斯職。方書者方板謂小事書之於板也。或曰主四方文書也。姚氏以爲下云明習天下圖書計籍主郡上計則方爲四方文書是也。

有罪亡歸及沛公略地過陽武蒼以客從攻南陽蒼坐法當斬。

解衣伏質。

索隱曰小顏云質鑑也。

身長大肥白如瓠時王陵見而怪其美士。

乃言沛公。

伏後父事王陵案

赦勿斬遂從西入武關至咸陽沛公立爲漢王入漢

中還定三秦陳餘擊走常山王張耳耳歸漢漢乃以張蒼爲常

張丞相列傳、方苞曰、漢初文臣、御史大夫ト、丞相ト、並ニ重シ、張蒼、申屠嘉、兩職ヲ兼ス、故ニ合傳ス、其餘御史大夫ト爲ル者五人、具ニ聲績アリ、故ニ之ヲ列敘ス、丞相ト爲ル者六人、皆發明スル所ナシ、故ニ其名ヲ總記シ、以テ旋旋具ニ備ハル者ノ戒トナス。

史記評林卷之九十五終

子平侯阿、札記、志疑云、阿ハ乃何ノ誤ナリ、功臣表、灌夫傳、漢書節錯傳、竝ニ何ニ作ル、漢表ヲ按ズルニ、亦何ニ作ル、然ルニ此傳、各本皆阿ニ作ル、姑ク之ニ仍ル。

索隱述贊更王、札記云誤ナリ。

罷嬰之兵。後歲餘。嬰以丞相卒。諡曰懿侯。子平侯阿代侯。二十八年卒。子彊代侯。十二年。彊有罪。絕。二歲。元光三年。天子封灌嬰孫賢爲臨汝侯。續灌氏後。八歲。坐行賕有罪。國除。

太史公曰。吾適豐沛。問其遺老。觀故蕭曹樊噲滕公之家。及其素異哉。所聞。方其鼓刀屠狗。賣繒之時。豈自知附驥之尾。垂名漢庭。德流子孫哉。余與他廣通。爲言高祖功臣之興時。若此云。索隱曰。案他廣。樊噲之孫。後失封。蓋嘗訝太史公序蕭曹樊滕之功。委具。則從他廣而得其事。故備也。

索隱述贊曰。聖賢影響。雲蒸龍變。屠狗販繒。攻城野戰。扶義西上。受封南面。酈沉賣交。舞陽內援。滕灌更王。奕葉繁衍。

柯維騏曰。太史公各傳文法各異。噲傳疊用先登字及斬首若干級字。商傳則疊用以字。夏侯嬰傳則疊用兵車趣攻疾戰字。灌嬰傳則疊用疾力疾戰字。斯子長文章之妙者也。

軍是安爲亂、漢書安下
欲字アリ。

四十六。定國^ル一。郡^ニ二。縣五十二。得將軍^ヲ二人。柱國相國各一人。
二千石十人。嬰自破布歸^ル。高帝崩^ズ。嬰以列侯^ヲ事^フ孝惠帝及呂太
后^ニ。太后崩^ズ。呂祿等以趙王^ヲ自置爲將軍^ト。軍長安爲亂^ニ。齊哀王聞^キ
之^ヲ。舉兵西^ニ。且入誅^ニ不當爲王者^ヲ。上將軍呂祿等聞之^ヲ。乃遣嬰爲^ニ
大將^ト。將軍往擊之^ヲ。嬰行至滎陽^ニ。乃與絳侯等謀^リ。因屯兵滎陽^ニ。風^ニ
齊王^ニ以下誅^{スル}呂氏^ヲ事^ヲ。正義曰。風方鳳反。齊兵止不前^マ。絳侯等既誅^ス諸呂^ヲ。齊王
罷兵歸^ル。嬰亦罷兵^{メテ}。自滎陽歸^ル。與絳侯陳平共立^テ代王^ヲ爲孝文皇
帝^ト。孝文皇帝於是益^シ封嬰^ニ三千戶^ヲ。賜黃金千斤^ヲ。拜爲太尉^ト。三歲。
絳侯勃免相^レ就國^ニ。嬰爲丞相^ト。罷太尉官^ヲ。是歲。匈奴大入^ニ北地上
郡^ニ。令丞相嬰將^テ騎八萬五千^ヲ。往擊匈奴^ヲ。匈奴去^ル。濟北王反^ス。詔^{シテ}乃

武泉北。正義曰。縣名。在朔州北二百二十里。復從擊韓信。胡騎晉陽下。所將卒斬胡白

題將一人。服虔曰。胡名也。受詔并將燕趙齊梁楚車騎。擊破胡騎於礅石。

服虔曰。礅音沙。○索隱曰。劉氏音千臥反。至平城。爲胡所圍。從還軍東垣。從擊陳豨。受詔

別攻豨丞相侯敞軍。曲逆下破之。卒斬敞及特將五人。文穎曰。特一之特也。

降曲逆盧奴。上曲陽安國安平。正義曰。盧奴。定州安喜縣是。曲陽。定州曲陽縣是。安平。定州安平縣。攻下東

垣。黥布反。以車騎將軍先出攻布。別將於相破之。斬亞將樓煩

將三人。又進擊破布上柱國軍。及大司馬軍。又進破布別將肥

誅。徐廣曰。一作銖。○索隱曰。案漢書作肥銖。嬰身生得左司馬一人。所將卒斬其小將十

人。追北至淮上。益食二千五百戶。布已破。高帝歸。定令嬰食穎

陰五千戶。除前所食邑。總最戰功。凡從得二千石二人。別破軍十六。降城

卒斬敞及特將五人、顏
師古曰、卒ハ、將キル
所ノ卒ヲ謂フ、特ハ、
獨ナリ、各特ニ將トナ
ル。

將卒斬樓煩將二人。虜騎將八人。賜益食邑二千五百戶。項籍

敗垓下去也。嬰以御史大夫受詔將車騎別追項籍至東城。正義

曰縣在濠州定遠

破之所將卒五人共斬項籍皆賜爵列侯降左右

司馬各一人卒萬二千人盡得其軍將吏下東城歷陽。正義曰和州歷陽縣

即今州渡江破吳郡長吳下。如淳曰雄長之長也。○索隱曰下有郡守此長即令也。如淳以爲雄長非也。○正義曰今蘇州也。案如說

非也。吳郡長即吳郡守也。一破吳郡得吳守遂定吳豫章會稽郡還定淮

北凡五十二縣漢王立爲皇帝賜益嬰邑三千戶其秋以車騎

將軍從擊破燕王臧荼明年從至陳取楚王信還剖符世世勿

絕食穎陰二千五百戶號曰穎陰侯以車騎將軍從擊反韓王

信於代至馬邑受詔別降樓煩以北六縣斬代左相破胡騎於

統游本、吳校金板、此
ノ如シ、宋本王柯淺毛
旋字ナシ、索隱本旋ナ
族ニ作ル、注同ジ、於
字ナシ。

攻博陽、札記、志疑云、
傳ハ乃傳ノ謾ナリ。

復得亞將周蘭、漢書周
蘭二字ナシ、按ニ上文
生得亞將周蘭アリ、漢
書是ナリ。

縣令稱公。旋其名也。高密縣名。在北海。漢書作假密。假密地。
名。不知所在。未知孰是耳。○正義曰。畱縣在沛郡。公其令。
卒斬龍且。文穎曰。生得

右司馬連尹各一人。樓煩將十人。身生得亞將周蘭。齊地已定。

韓信自立爲齊王。使嬰別將。擊楚將公杲於魯北。破之。轉南破

薛郡長。身虜騎將一人。攻博陽。前至下相。以東南。僮取慮。徐

曰。取音秋。慮音閭。取又音趣。度淮盡降其城邑。至廣陵。闕案漢書音義曰。住

僮徐是二縣。取慮是一縣名。廣陵以禦敵。○正義

曰。謂從下相以東南盡降。項羽使項聲薛公。郯公復定淮北。嬰度淮。北

城邑。乃至廣陵。皆平定也。項羽使項聲薛公。郯公復定淮北。嬰度淮。北

擊破項聲。郯公下邳。正義曰。郯音斬薛公。下下邳。擊破楚騎於平

陽。索隱曰。小顏云。此平陽在東郡。地理志。太山有東平陽縣。○正義曰。南平陽縣。遂降彭

城。虜柱國項佗。降畱薛沛。鄼蕭相。攻苦譙。正義曰。戶復得亞將周

蘭。與漢王會。頤鄉。徐廣曰。苦縣有頤鄉。○索隱曰。音以之反。從擊項籍軍於陳。下破之所

司馬騎將各一人

張晏曰主右方之馬左亦如之

擊破柘公王武軍於燕西

徐廣曰柘屬陳○索

隱曰案武柘縣令也○正義曰柘屬淮陽國案滑州胙城本南燕國也

所將卒斬樓煩將五人

李奇曰樓煩縣名其人善騎射故以名射

士爲樓煩取其美稱未必樓煩人也張晏曰樓煩胡國名

連尹一人

張晏曰大夫楚官○索隱曰案左傳莫敖連尹宮廐尹是

擊王武別將

桓嬰白馬下破之

所將卒斬都尉一人以騎渡河南送漢王到

雒陽使北迎相國韓信軍於邯鄲還至敖倉嬰遷爲御史大夫

三年以列侯食邑杜平鄉以御史大夫受詔將郎中騎兵東屬

相國韓信擊破齊軍於歷下所將卒虜車騎將軍華毋傷及將

吏四十六人降下臨菑得齊守相田光追齊相田橫至嬴博破

其騎所將卒斬騎將一人生得騎將四人攻下嬴博破齊將軍

田吸於千乘所將卒斬吸東從韓信攻龍且畱公於高密

索隱曰畱

使北迎相國、漢書使ヲ從ニ作ル○

攻龍且畱公於高密、札記公下旋字アリ、云、中

降下碭以至彭城、漢書以下ニ北字アリ。

攻下黃ハ、漢書攻下外黃ニ作ル。

可爲車騎將者、札記云、車字衍ナリ、漢書車字ナレ。

平郷杜縣之平郷。復以中謁者從降下碭以至彭城。項羽擊大破。

漢王。漢王遁而西。嬰從還軍於雍丘。王武魏公申徒反。張晏曰、秦將降爲公。

今從擊破之。攻下黃。正義曰、故城在曹州考城縣東二十四里。西收兵。軍於滎陽。楚騎來

衆。漢王乃擇軍中可爲車騎將者。皆推故秦騎士重泉人李必

駱甲習騎兵。徐廣曰、重泉屬馮翊。○正義曰、故城在同州蒲城縣東南四十五里。今爲校尉。可爲騎將。索隱曰、必甲。二

人名也。姚氏案漢紀。桓帝延熙三年追錄高祖功臣。李必後黃門丞李遂爲晉陽關內侯也。漢王欲拜之。必甲曰。臣故秦民。

恐軍不信臣。臣願得大王左右善騎者傳之。如淳曰、傳音附。猶言隨從者。灌嬰雖

少。然數力戰。乃拜灌嬰爲中大夫。令李必駱甲爲左右校尉。將

郎中騎兵擊楚騎於滎陽東。大破之。凡六用受詔字受詔別擊楚軍後。絕其餉

道。起陽武至襄邑。擊項羽之將項冠於魯下。破之。凡九用所將卒字所將卒斬右

穎陰侯灌嬰者。

正義曰。今陳州南潁縣西北十三里潁陰故城是。

睢陽販繒者也。

正義曰。宋州宋城縣。

高祖

之爲沛公略地至雍丘下。章邯敗殺項梁。而沛公還軍於碭。嬰

初以中涓從擊破東郡尉於成武。及秦軍於杠里疾鬪。賜爵七

此下凡用十五從字。

大夫。從攻秦軍亳南。開封曲遇戰。疾力。

服虔曰。賜爵執帛。號宣陵疾攻之。

君。從攻陽武以西至雒陽。破秦軍尸北。北絕河津。南破南陽守

及秦軍於杠里疾鬪。淩
稚隆曰。此傳。疾鬪。
疾力。疾戰。所將卒。
受詔別擊。及生得。
身生得ヲ以テ眼目ト爲
ス。然ルニ亦從字法以
字法アリ。又嬰ノ名ヲ
用テ其首ニ冠ス。錯綜
顛倒。變化測ラレズ。
戰疾力ハ。顏師古曰。
疾ハ急速ナリ。力ハ強
力ナリ。

齕陽城東。遂定南陽郡。西入武關。戰於藍田。疾力至霸上。賜爵

執珪。號昌文君。

索隱曰。亦稱宣陵君。皆非爵土。加美號耳。

沛公立爲漢王。拜嬰爲郎中。從

入漢中。十月。拜爲中謁者。從還定三秦。下櫟陽。降塞王。還圍章

邯於廢丘。未拔。從東出臨晉關。擊降殷王。定其地。擊項羽將龍

且。魏相項他軍定陶南。疾戰破之。賜嬰爵列侯。號昌文侯。食杜

賜嬰縣北第一ハ、漢書縣字ナシ、鎮師古曰、北第ハ、北闕ニ近キノ第ナリ、嬰最第一ナリ。

僕^チ擊^チ陳豨黥布軍^チ。陷^レ陳郤敵^チ。益^シ食^ム千戶^ヲ。定^ツ食^ム汝陰^ヲ六千九百戶^ヲ。除^リ前^ニ所^ヲ食^ム。嬰自^ニ上^メ初^ル起^ル沛^ニ。常^ニ爲^ニ太僕^ニ。竟^リ高祖崩^チ。以^ニ太僕^ニ事^フ孝惠^ニ。孝惠帝及高后^{トスル}。德^ニ嬰^ニ之^ヲ。脫^{スル}孝惠魯元^ヲ於^ニ下邑^ニ之^ニ間^ニ也[。] 正義曰。宋州碭山縣。乃

賜^ニ嬰^ニ縣北第一^ヲ。曰^ク近^ク我^ニ以^テ尊^ス異^ス之^ヲ。孝惠帝崩^ズ。以^ニ太僕^ニ事^フ高后^ニ。

高后崩^ズ。代王^ノ之^ル來^ル。嬰以^ニ太僕^ニ與^ニ東牟侯^ニ入^リ清宮^ヲ。廢^シ少帝^ヲ。以^ニ天子^ノ。

法駕^ヲ迎^フ代王^ヲ。代邸^ニ與^ニ大臣^ニ共^ニ立^ツ爲^ニ孝文皇帝^ト。復^リ爲^ニ太僕^ト。八歲卒^ス。

諡^{シテ}爲^ニ文侯^ト。 索隱曰。案姚氏云。三輔故事曰。滕文公墓在飲馬橋東大道南。俗謂之馬冢。博物志曰。公卿送嬰葬。至東都門外。馬不行。踟躕地悲鳴。得石室。有銘曰。佳城

鬱鬱^ニ三千年^ヲ見^ル白^ク日^ヲ。吁^フ嗟^フ滕公^ノ居^ニ此室^ニ。乃^チ葬^ス之^ヲ。子夷侯竈立^ツ。七年卒^ス。子共侯賜立^ツ。三十一年卒^ス。

子侯頗尙^ニ平陽公主^ニ立^ツ。十九歲。元鼎二年。坐^{シテ}與^ニ父^ノ御婢^ニ姦^ス罪^ニ。自

殺^ス。國除^ス。

聽スルヲ言フ、服樹ヲ
園テ走ルト言フ、義尤
モ疎ナリ、雍讀テ擁ト
曰フ。

注蘇林曰南陽、札記云、
考證云、漢書注南方ニ
作ル、按ズルニ、索隱
引ク如キハ、則モト南
方ニ作ル。

食祈陽注漢書沂、札記
云、志疑云、水經注六、
沂陽ニ作ル。

嬰固徐行ハ、頗師古曰、
故ラニ嬰暇ヲ示ス、士
卒ノ心ヲ固クシ、而テ
敵ヲシテ測ラザラシラ
ル所以ナリ。

嬰者十餘卒得脱而致孝惠魯元於豐漢王既至滎陽收散兵

復振賜嬰食祈陽徐廣曰祈一作沂。○索隱曰蓋復常奉車從擊項籍追

至陳卒定楚至魯益食茲氏索隱曰縣名也。漢王立爲帝其秋燕王

臧荼反嬰以太僕從擊荼明年從至陳取楚王信更食汝陰剖

符世世勿絕以太僕從擊代至武泉雲中索隱曰地理志武泉屬雲中

縣界益食千戶因從擊韓信軍胡騎晉陽旁大破之追北至平城

爲胡所圍七日不得通高帝使使厚遺閼氏冒頓開圍一角高

帝出欲馳嬰固徐行弩皆持滿外向卒得脱益食嬰細陽千戶

索隱曰地理復以太僕從擊胡騎句注北大破之以太僕擊胡騎

志屬汝南

平城南三陷陳功爲多賜所奪邑五百戶駟案漢書音義曰時有罪過奪邑者以賜之以太

曲遇。嬰從捕虜六十八人。降卒八百五十人。得印一匱。

索隱曰。案說文云。匱。

匣也。謂得其時。自相部署之印。因復常奉車。從擊秦軍雒陽東。以兵車趣攻戰疾。賜

爵封。轉爲滕公。

徐廣曰。令也。駟案鄧展曰。今沛郡公丘。漢書曰。嬰爲滕分奉車。故號滕公。○正義曰。滕卽公丘故城。是在徐州滕縣西南十五里。

因

復奉車。從攻南陽。戰於藍田正陽。

索隱曰。芷音止。地名。今霸陵也。在京兆縣。

以兵車趣攻

戰疾。至霸上。項羽至。滅秦。立沛公爲漢王。漢王賜嬰爵列侯。號

昭平侯。復爲太僕。從入蜀漢。還定三秦。從擊項籍。至彭城。項羽

大破漢軍。漢王敗。不利。馳去。見孝惠魯元載之。漢王急。馬罷。虜

在後。常蹶兩兒。欲弄之。

索隱曰。蹶音厥。又音巨月反。一音居衛反。漢書作蹶。音撥。

嬰常收。竟載之。徐

行。面雍樹。乃馳。

服虔曰。高祖欲斬之。故嬰圍樹走也。面向樹也。應劭曰。古者皆立乘。嬰恐小兒墜。各置一面雍持之。樹立也。蘇林曰。南陽人謂抱小兒爲

雍樹。面者。大人以面首向臨之。小兒抱大人頸似懸樹也。○索隱曰。蘇林與晉灼皆同。今則無其言。或當時有此說。其應服之說蓋疎也。

漢王怒。行欲斬

以兵車趣攻戰疾ハ、顔師古曰、趣ハ讀テ促ト曰フ、急速ヲ謂フナリ、次下亦同ジ、葦汾曰、奉車從ト言フ凡五、以兵車趣攻戰疾ト言フ凡四、爲太僕及以太僕ト言フ凡三、爲太僕及以太僕ト言フ凡十、傳意正ニ嬰、太僕ヲ以テ其身ヲ終フルヲ見ハスノミ、其兵車ヲ以テ趣戰、孝惠魯元ヲ載セ。平城ノ圍ヲ出テ、代郡ニ迎ヘ宮ヲ清ムルヲ言フ、其長ズル所、此ニ在ルヲ見ル、眞ニ太僕ナリ。

面雍樹乃馳ハ、顔師古曰、面ハ偕ナリ、雍ハ之ヲ抱持ス、兩兒ヲ取り、面ニ背カシメ、而テ之ヲ抱シ、以テ

嬰證之後獄覆、陳沂曰、之ヲ證スハ、己ニ其傷ケザルヲ證スルナリ、後又翻覆アリ、故ニ嬰坐繫セラレ、且掠ヲ受ケタル也、注明ヲ缺ク。

降泗水監平ハ、楊慎曰、降ハ、之ヲ降スナリ、嬰ト何ト、或ハ兵ヲ用ヒ、或ハ之ヲ招降スルアリ、張說是ニ非ズ。

縣吏與高祖相愛。高祖戲而傷嬰。人有告高祖。韋昭曰、告白也。白高祖傷人。高祖時爲亭長。重坐傷人。如淳曰、爲吏傷人。其罪重也。告故不傷嬰。鄧展曰、律有故乞鞠。高祖自告不傷人。○索隱曰、案

晉灼云、獄結竟呼囚鞠語罪狀。嬰證之後獄覆。索隱曰、案韋昭云、高帝自言不傷嬰。嬰證之。是獄辭翻覆也。嬰坐

高祖繫歲餘。掠笞數百。終以是脫高祖。高祖之初與徒屬欲攻

沛也。嬰時以縣令史爲高祖使。上降沛一日。一日未詳。正義曰、上爲于僞反。使所吏反。又曰、謂父老開城門

迎高祖。高祖爲沛公。賜嬰爵七大。夫。以爲太僕。從攻胡陵。嬰與蕭

何降泗水監平。張晏曰、胡陵。平所止縣。何嘗給之。故與降也。平以胡陵降。賜嬰爵五大。夫。從

擊秦軍碭東。攻濟陽。下戶牖。破李由軍雍丘下。凡四用兵車字ナ以兵車趣攻戰

疾。賜爵執帛。常以太僕奉車。從擊章邯軍東阿濮陽下。以兵車

趣攻戰疾。破之。賜爵執珪。復常奉車。從擊趙賁軍開封。楊熊軍

天下稱酈況賣交也、邵
實曰、國ヲ重トナス、
則朋友ヲ輕ト爲ス、是
故ニ寄、繆產ヲ給カザ
レバ則北軍入ルベカラ
ザルナリ、酈生ノ節、
當ニ交ヲ賣ルヲ以テ盛
ト爲スベシ、實テ敗ヲ
取ル、猶將ニ之ヲ襄セ
ントス、況ヤ一舉以テ
漢ノ社稷ヲ定ムルナ
ヤ。

爲太常坐法國除、札記
云、志疑云、七字後人
ノ妄増リナ。

景侯。子寄代侯。天下稱酈況賣交也。

班固曰。夫賣交者。謂見利而忘義也。若寄父爲功臣而又執劫。雖摧呂祿。

以安社稷。誼存君親可也。

孝景前三年。吳楚齊趙反。上以寄爲將軍。圍趙城。十

月不能下。得俞侯爰布自平齊來。

裴駰曰。俞音舒。○索隱曰。俞音飲。縣名。又音輸。在河東。

乃下趙

城。滅趙。王自殺。除國。孝景中二年。寄欲取平原君爲夫人。

蘇林曰。景

帝王皇后母臧兒也。

景帝怒。下寄吏。有罪奪侯。景帝乃以商他子堅封爲繆

侯。徐廣曰。繆者。更封邑名。謚曰靖。○索隱曰。繆音穆。邑也。漢書無謚。

續酈氏後。繆靖侯卒。子康侯遂成立。

遂成卒。子懷侯世宗立。

徐廣曰。世一作他。

世宗卒。子侯終根立。爲太常。坐

法國除。

汝陰侯夏侯嬰。

正義曰。汝陰。卽今陽城。

沛人也。爲沛廩司御。

索隱曰。案楚漢春秋云。滕公爲御也。每

送使客。還過沛泗上亭。與高祖語。未嘗不移日也。嬰已而試補

守相郭同將軍已下至六百石十九人還以將軍爲太上皇衛一歲七月以右丞相擊陳豨殘東垣又以右丞相從高帝擊黥布攻其前拒徐廣曰一作和駟謂拒方陳拒音矩○索隱曰拒音巨鄒氏引左傳有左拒右拒徐云一作和和軍門也漢書作前垣小顏以爲攻其壁壘之垣也李奇以爲前鋒堅陷兩陳得以破布軍更食曲周五千一百戶除前蔽若垣牆非也

所食總敘戰功凡別破軍三降定郡六縣七十三得丞相守相大將各一

人小將二人二千石以下至六百石十九人商事孝惠高后時

商病不治文穎曰不能治官事其子寄字況索隱曰酈寄字也鄒氏本作兄亦音況與呂祿善及高

后崩大臣欲誅諸呂呂祿爲將軍軍於北軍太尉勃不得入北

軍於是乃使人劫酈商令其子況詳見呂后紀給呂祿索隱曰給欺也詐也音待呂祿信之

故與出游而太尉勃乃得入據北軍遂誅諸呂是歲商卒諡爲

音支。○索隱曰。烏音於然反。氏音支。縣名。屬安定。漢書云。破章邯別將也。○正義曰。縣在經州安定縣東四十里。周類軍枸邑。索隱曰。枸邑在

右扶風。蘇駟軍於泥陽。徐廣曰。駟一作騶。○索隱曰。北地縣名。駟者龍馬也。○正義

枸音荀。泥陽源側有泉。於泥中潛流。二十餘步而流入泥谷。又有泥陽湫。在縣東北四十里。賜食邑武成六千戶。正義曰。縣在華

里。以隴西都尉從擊項籍軍。五月出鉅野。與鍾離昧戰疾鬪。受

梁相國印。益食邑四千戶。以梁相國將從擊項羽。二歲三月攻

胡陵。項羽既已死。漢王為帝。其秋燕王臧荼反。商以將軍從擊

荼。戰龍脫。徐廣曰。在燕趙之界。駟案漢書音義曰。地名。○索隱曰。其地闕。先登陷陣。破荼軍。易下。正義曰。易

卻敵。遷為右丞相。賜爵列侯。與諸侯剖符。世世勿絕。食邑涿五

千戶。正義曰。涿。幽州。號曰涿侯。以右丞相別定上谷。正義曰。因攻代。受趙相

國印。以右丞相趙相國。別與絳侯等定代。鴈門。得代丞相程縱。

商以將軍從擊荼戰龍脫注索隱曰其地闕錢大昕曰趙世家孝成王十九年龍兌汾門臨樂ヲ以テ燕ニ興フ龍脫ハ即龍兌ナリ脱亦兌音アリ

曲周侯鄴商者。

正義曰。故城在洛州。曲周西南十五里。

高陽人。

索隱曰。鄴音歷。高陽。聚名。屬陳留。○正義曰。雍周西南聚邑人也。

陳勝起時。商聚少年。東西略人。得數千。沛公略地至陳留。六月

餘。徐廣曰。月表曰。二世元年九月。沛公起兵。二世三年二月。襲陳留。用鄴食其策。起兵至此。十九月矣。食其傳曰。既說高帝。已乃言其弟商使從沛公也。○索隱曰。事與鄴生傳及年

表小不同。蓋史官意異也。○正義曰。徐注非也。言商先東西略得數千。此下凡用十一以字。人。及沛公略地至陳留。商起兵。乃六月餘得四千人。以將軍從高祖也。商以將卒四千

人屬沛公於岐。

索隱曰。此地名關。蓋在河南陳鄭之界。○正義曰。高紀云。鄴食其說。沛公襲陳留。乃以食其為廣野君。鄴商為將。將陳留兵與偕攻開封。

酈生傳云。沛公引兵隨之。乃下陳留。為廣陽君。言其弟酈商使將數千人。從沛公。西南略地。此傳云。屬沛公於岐。從攻長社。案紀傳此說。岐當與陳留高陽相近也。從攻長

社。先登。賜爵封信成君。從沛公攻緱氏。絕河津。破秦軍洛陽東。

從攻下宛穰。定十七縣。別將攻旬關。

關案漢書音義曰。漢中旬陽縣。音詢。○索隱曰。案在漢中旬陽縣。旬水上

之定漢中。項羽滅秦。立沛公為漢王。漢王賜商爵信成君。以將

軍為隴西都尉。別將定北地上郡。破雍將軍烏氏。

正義曰。北地。寧州。上郡。酈州。

破雍將軍烏氏。

案

漢王賜商爵信成君。札記。錢警石云。穰出。疑誤。ナラン。烏氏。札記焉氏。二作ル。云フ索隱本焉。各本烏。二譌ス。

之屬。高帝聞之。大怒。乃使陳平載絳侯代將。而卽軍中。斬噲。陳

平畏呂后。執噲詣長安。至則高祖已崩。呂后釋噲。使復爵邑。孝

惠六年。樊噲卒。諡爲武侯。子伉代侯。而伉母呂須亦爲臨光侯。

高后時。用事專權。大臣盡畏之。伉代侯九歲。高后崩。大臣誅諸

呂。呂須嬖屬。索隱曰。嬖音眷。因誅伉。舞陽侯中絕數月。孝文帝旣立。乃復

封噲他庶子市人爲舞陽侯。復故爵邑。市人立二十九歲。卒。諡

爲荒侯。子他廣代侯。六歲。侯家舍人得罪他廣。怨之。乃上書曰。

荒侯市人病不能爲人。正義曰。言不能行人道。令其夫人與其弟亂而生他

廣。他廣實非荒侯子。不當代後。詔下吏。孝景中六年。他廣奪侯

爲庶人。國除。索隱曰。案漢書平帝元始二年。封噲玄孫之子章爲舞陽侯。邑千戶。

級。虜二百八十八人。別破軍七。下城五。定郡六。縣五十二。得丞
 相一人。將軍十二人。二千石已下至三百石十一人。噲以呂后
 女弟呂須爲婦。生子伉。故其比諸將最親。先黥布反時。高祖嘗
 病甚。惡見人。臥禁中。詔戶者無得入羣臣。羣臣絳灌等莫敢入
 十餘日。噲乃排闥直入。正義曰。闥。宮中小門。大臣隨之。上獨枕一宦者臥。噲
 等見上流涕曰。始陛下與臣等起豐沛。定天下。何其壯也。今天
 下已定。又何憊也。且陛下病甚。大臣震恐。不見臣等計事。顧獨
 與一宦者絕乎。且陛下獨不見趙高之事乎。高帝笑而起。其後
 盧綰反。高帝使噲以相國擊燕。是時高帝病甚。人有惡噲黨於
 呂氏。卽上一日宮車晏駕。則噲欲以兵盡誅滅戚氏趙王如意

中。正義曰。雲中郡縣。皆朔州善陽縣。北三百八十里。定襄故城是也。與絳侯等共定之。益食千五百戶。因

擊陳豨。與曼丘臣軍戰。襄國。徐廣曰。曼一作寧字。○正義曰。襄國。邢州城。破柏人。正義曰。邢州縣。先登。

降定清河常山。凡二十七縣。殘東垣。張晏曰。殘。有所毀也。瓚曰。殘。謂多所殺傷也。孟子曰。害義謂之殘。遷

爲左丞相。破得綦母卬尹潘軍於無終廣昌。正義曰。在蔚州。飛狐縣北七里。破豨別

將胡人王黃軍於代南。因擊韓信軍於參合。正義曰。在朔州定襄縣界。軍所將

卒斬韓信。破豨胡騎橫谷。正義曰。谷音欲。蓋在代。斬將軍趙既。虜代丞相馮

梁。守孫奮。大將王黃。將軍太卜。太僕解福等十人。正義曰。解福。人姓名。與諸

將共定代鄉邑七十三。其後燕王盧綰反。噲以相國擊盧綰。破

其丞相。抵薊南。索隱曰。抵音丁禮反。抵訓至。一云。抵者。丞相之名。定燕地。凡縣十八。鄉邑五十

一。益食邑千三百戶。定食舞陽五千四百戶。從斬首百七十六

將軍太卜太僕。札記云。太卜ハ、疑フ即下文太僕ノ誤衍ナリ、毛本明監本此二字ナシ、漢書亦ナシ。

攻鄒魯瑕丘薛注正義曰
ノ下、札記鄒字アリ
云フ官本鄒字アリ。

清河之城明矣。今案續漢書郡國志在濟陰宛朐也。○正義曰。
案其時項羽未渡河北。冀州信都縣東北五十里煮棗非矣。 擊破王武程處軍

於外黃。攻鄒魯瑕丘薛。正義曰。兗州縣在州東南六十二里。魯兗
州曲阜縣。瑕丘。兗州縣。薛在徐州滕縣界。 項羽敗漢

王於彭城。盡復取魯梁地。噲還至滎陽。益食平陰二千戶。正義
曰。平

陰故城在濟
陽東北五里。 以將軍守廣武。一歲。項羽引而東。從高祖擊項籍。下

陽夏。正義曰。夏音假。虜楚周將軍卒四千人。圍項籍於陳。正義曰。大破
陳州大康縣。

之屠胡陵。正義曰。在
兗州南。項籍既死。漢王爲帝。以噲堅守。戰有功。益食

八百戶。從高帝攻反燕王臧荼。虜荼。定燕地。楚王韓信反。噲從

至陳。取信定楚。正義曰。更
徐州。賜爵列侯。與諸侯剖符。世世勿絕。食舞

陽。號爲舞陽侯。除前所食。以將軍從高祖。攻反韓王信於代。自

霍人以往。正義曰。先累反。又蘇果反。又山寡反。杜預云。霍人。晉邑也。霍人當作後。
地理志云。後人縣屬太原郡。括地志云。後人故城在代州繁峙縣界也。至雲

別鑿西丞白水北雍輕車騎於雍南破之ハ、方苞曰、雍ノ輕車騎ハ、秦兵ノ雍ニ屯スル者ナリ、蓋西縣ノ丞ヲ白水ノ北ニ、雍ノ輕車騎ヲ雍ノ南ニ擊テ、皆之ヲ破ルナリ、文義正ニ下ノ從擊秦車騎壞東ト類ス、此雍ハ秦ノ地ナルヲ以テ、故ニ秦ヲ言ハザルノミ。
注晉灼曰白水今廣魏縣、札記廣下平字アリ、云フ平字、考證漢書注ニ據テ増ス。

北。徐廣曰、隴西有西縣。白水在武都。駟案如淳曰、皆地名也。晉灼曰、白水、今廣魏縣也。地理志無西丞。似秦將名。○索隱曰、案西謂隴西之西縣。白水、水名。出武都。經西縣東南流。言

噲擊西縣之丞在白水之北耳。徐廣等說皆非也。○正義曰、括地志云、白馬水、源出文州曲水縣西南。曾徑孫山下。雍輕車騎於雍南破之。

正義曰、上從攻雍。檠城先登。擊章平軍好時。駟案檠音胎。○索隱曰、案雍即雍於拱反。從攻雍檠城先登。擊章平軍好時。扶風雍昌縣。檠音台。即后稷所

封今之武功。故檠城是。章平即章邯子也。攻城先登陷陣。斬縣令丞各一人。首十一級。虜

二十人。遷郎中騎將。從擊秦車騎壞東。索隱曰、小顏亦以爲今之地名。○正義曰、壞鄉在武功縣東南二十

里。卻敵。遷爲將軍。攻趙賁下郿。正義曰、岐州縣。槐里柳中咸陽灌廢丘最。

李奇曰、以水灌廢丘也。張晏曰、最功第一也。晉灼曰、京輔治華陰灌北也。○索隱曰、案柳中即

細柳也。在長安西也。灌謂以水灌廢丘城陷。其功最上也。李奇曰、廢丘即槐里也。上有槐里。此

又言者疑此是小槐里。非也。案文云、攻趙賁下郿槐里柳中咸陽。總言所攻陷之邑。別言以水

灌廢丘。其功特最也。何者初云槐里。稱其新名。後言功最。是重舉。不欲再見其文。故因舊稱廢

丘。至檠陽。正義曰、雍州縣。賜食邑杜之樊鄉。索隱曰、案杜陵有樊鄉。三秦記曰、長安正

宿樊鄉。即從攻項籍屠煮棗。索隱曰、晉灼云、檢地理志。無煮棗。功臣表則有煮棗侯。樊川也。

樊川也。從攻項籍屠煮棗。清河有煮棗城。小顏以爲攻項籍屠煮棗。合在河南。非

瞋目而視。皆皆血出。

項羽目之。問爲誰。張良曰。沛公參乘樊噲。項羽曰。壯士。

賜之卮酒。彘肩。噲既飲酒。拔劍切肉。食盡之。項羽曰。能復飲乎。

噲曰。臣死且不辭。豈特卮酒乎。且沛公先入定咸陽。暴師霸上。

以待大王。正義曰。時羽未爲王。史追書。大王今日至。聽小人之言。與沛公有隙。臣

恐天下解。正義曰。紀實反。心疑大王也。項羽默然。沛公如廁。麾樊噲

去。既出。沛公留車騎。獨騎一馬。與樊噲等四人步從從。閒道山

下歸。走霸上軍。而使張良謝項羽。項羽亦因遂已。無誅沛公之

心矣。是日微樊噲犇入營。誚讓項羽。沛公事幾殆。索隱曰。誚。責也。亦

祈。明日項羽入屠咸陽。立沛公爲漢王。漢王賜噲爵爲列侯。號

臨武侯。正義曰。桂陽臨武縣。遷爲郎中。從入漢中。還定三秦。別擊西丞白水

臣恐天下解注正義爲絕句。高儀曰。解心疑大王。復何ノ疑フ所ニシテ。而テ解ヲ以テ絕句ト爲ス。

與樊噲等四人、漢書與字ナシ。

爲列侯號臨武侯注正義曰。桂陽臨武縣。錢大昕曰。戰國之際。趙ニ臨武君アリ。未ダ必遠ク桂陽ノ臨武ナラザルナリ。

鑿禮注正義轅轅門、札記門ヲ關ニ作ル、云、各本門ニ誤ル、考證改ム。

亞夫謀云云、札記亞父ニ作ル、云フ淺本夫ニ誤ス。
常肩蔽之ハ、札記、襟志云、肩字誤ル、漢書屏ニ作ル、中統舊刻游本之字ナク、沛公二字アリ。

地。或空受爵。此例多矣。從攻長社轅轅。正義曰。許州理縣也。轅轅門在緱氏縣東南三十里。絕河津。正義曰。古平陰

津。在河南府東。東攻秦軍於尸南。正義曰。在偃師南。攻秦軍於犇。正義曰。在汝州魯山縣東南。破

南陽守齧於陽城東。攻宛城先登。西至鄴。正義曰。鄴音擲。在鄧州新城縣西北四十里。以卻

敵。斬首二十四級。捕虜四十人。賜重封。張晏曰。益祿也。如淳曰。正爵名也。瓚曰。增封也。○索隱曰。張晏臣瓚

義亦近是。如淳非也。小顏以爲重封者兼二號。蓋爲得也。攻武關至霸上。斬都尉一人。首十級。捕虜

百四十六人。降卒二千九百人。項羽在戲下。欲攻沛公。沛公從

百餘騎。因項伯面見項羽。謝無有。閉關事。項羽既饗軍士。中酒。

張晏曰。亞夫謀欲殺沛公。令項莊拔劍舞。坐中欲擊沛公。項伯常

肩蔽之。時獨沛公與張良得入坐。樊噲在營外。聞事急。乃持鐵

盾。入到營。營衛止噲。噲直撞入。騶案漢書音義曰。撞音鍾。○正義曰。撞直江反。立帳下。徐廣曰。一本立帳下。

城陽

徐廣曰。年表二年七月。破秦軍濮陽。東屠城陽也。

先登下戶牖

正義曰。戶牖。汴州東陳畱。

縣東北九十一里東昏故城是。

破李由軍斬首十六級。賜上閒爵。

孟康曰。不在二十爵中。如執圭執帛比也。如淳曰。閒。

或作聞。呂氏春秋曰。魏文侯東勝齊於長城。天子賞文侯以上閒爵。○索隱曰。張晏云。得徑上閒。晉灼曰。名通於天子也。如淳引呂氏春秋證上閒。音中閒之閒。

從攻圍

東郡守尉於成武。

正義曰。曹州縣。

卻敵斬首十四級。捕虜十一人。賜爵五

大夫。從擊秦軍出亳南。

索隱曰。案亳。湯所都。今河南偃師有湯亳是。○正義。亳故城在宋州穀熟縣西南四十里。

河閒守

軍於杠里。

正義曰。地名。近城陽。

破之。擊破趙賁軍。開封北。

正義曰。汴州縣。

以卻敵先登。

斬候一人。首六十八級。捕虜二十七人。賜爵卿。從攻破楊熊軍。

於曲遇。

索隱曰。音醵。願邑名也。○正義曰。曲丘。雨反。遇牛恭反。鄭州中牟縣有曲遇聚。

攻宛陵。

索隱曰。地理志屬河南。○正義曰。宛陵故城在鄭州新鄭。

縣東北三十八里。

先登斬首八級。捕虜四十四人。賜爵封號賢成君。

徐廣曰。時賜爵。

有執帛執圭。又有賜爵封。而加美名以爲號也。又有功則賜封列侯。駟案張晏曰。食祿比封君。而無邑。瓚曰。秦制。列侯乃有封爵也。○索隱曰。小顏云。楚漢之際。權設寵榮。假其位號。或得邑。

賜上閒爵。注如淳曰。閒或作聞。札記云。漢書上閒。二作。注天子賞文侯以。閒爵。札記云。如淳。呂氏春秋。引。以。證。此。譌。シテ。閒。所。爲。ス。漢。書。注。ト。乘。キ。井。テ。上。ノ。閒。或。作。聞。ノ。語。ト。合。ハズ。或。ハ。傳。寫。ノ。誤。ナリ。然。ル。ニ。索。隱。此。ノ。據。リ。以。テ。上。閒。ノ。證。ト。爲。セバ。則。見。ル。ノ。本。集。解。已。ニ。今。本。ノ。如。シ。志。疑。云。今。本。呂。覽。上。矧。ニ。作。ル。亦。誤。ル。從。攻。圍。東。郡。守。尉。ハ。漢。書。從。攻。圍。都。尉。東。郡。守。尉。ニ。作。リ。注。圍。即。陳。畱。圍。縣。ト。アリ。出。毫。南。注。湯。亳。漢。書。湯。亭。ニ。作。ル。

史記評林卷之九十五

樊鄴滕灌列傳第三十五

舞陽侯

正義曰。舞陽在許州葉縣東十里。

樊噲者。

正義曰。音快。又吉外反。

沛人也。

正義曰。徐州也。

以屠狗爲

事。

正義曰。時人食狗亦與羊豕同。故噲專屠以賣之。

與高祖俱隱。

以下凡用十五從字。

初從高祖起豐。攻下沛。高祖

爲沛公。以噲爲舍人。從攻胡陵方與。

正義曰。房預二音。

還守豐。擊泗水監

豐下破之。

索隱曰。案監者。秦時御史監郡也。豐下。豐縣之下也。○正義曰。泗水郡名。

復東定沛。破泗水守薛西。

索隱曰。謂破其守。

與司馬尼戰碭東。

張晏曰。秦司馬。○正義曰。秦將章邯司馬尼。又碭宋州縣也。

卻敵斬首

十五級。賜爵國大夫。

文穎曰。即官大夫也。○正義曰。爵第六級也。

常從沛公。擊章邯軍濮陽。

攻城先登。斬首二十三級。賜爵列大夫。

文穎曰。即公大夫。爵第七。

復常從。從攻

從攻胡陵方與、唐順之曰、傳內凡從、言フ者、沛公ニ從ヒ軍ヲ行ルナリ、別ト言フ者、軍ヲ分テ專ラ攻ムルナリ。司馬尼、札記司、尼ニ作ル、云フ宋本尼、換刻毛本尼、譌ス、餘本尼ニ譌ス、按、尼ハ古又ノ夷字ナリ、注同シ、漢書亦尼ニ作リ、注尼讀テ夷ト同シ。

史記評林卷之九十四終

項羽^テ項羽^ヲ不能^レ用^ル其^ニ策^ヲ已^{ニシテ}而項羽^ヲ欲^レ封^ニ此^ニ兩人^ヲ兩人^ニ終^{ニシテ}不肯^セ受^テ亡^ル去^ル田橫^ノ之高^ニ節^ヲ賓客^ノ慕^レ義^ヲ而從^テ橫^ニ死^ス豈^ニ非^ニ至^ニ賢^ニ余^ヲ因^テ而列^ス焉。

無^ニ不^ル善^ク畫^セ者^ヲ莫^{キハ}能^ル圖^ル何^ゾ哉。

索隱曰。言天下非無善畫之人。而不知圖畫田橫及其黨慕義死節之事。何故哉。歎畫人不知畫此也。

索隱述贊曰。秦項之際。天下交兵。六國樹黨。自置豪英。田儋殞寇。立市相榮。楚封王假。齊破酈生。兄弟更王。海島傳聲。

無不善畫者莫能圖ハ、
札記ニ無善畫ニ作ル
云フ索隱本不無、各本
誤倒ス、楊慎曰、五百人
皆至賢ニシテ、善畫善
クセザル者ナシ、乃能
ク圖謀シ、以テ其國ヲ
存スルナキハ何ゾヤト
フ謂ナリ、董份曰、素
隱鄙陋極テ笑フベシ、
無不善畫者ノ句即昌黎
ノ所謂五百人ヲ以テ、
劍鏗ニ脱ルル能ハズ、
是ナリ。

猶可觀也。遂自剄。令客奉其頭。正義曰。正義曰。從使者馳奏之高帝。高帝

曰。嗟乎。有以也夫。起自布衣。兄弟三人更王。豈不賢乎哉。爲之

流涕。而拜其二客爲都尉。發卒二千人。以王者禮葬田橫。正義曰。齊

田橫墓在偃師西十五里。崔豹古今註云。雍露蒿里。送哀歌也。出田橫門人。橫自殺。門人傷之

而作悲歌。言人命如薤上露。易晞滅。至李延年乃分爲二曲。雍露送王公貴人。蒿里送士大夫

庶人。使挽柩者歌之。俗呼爲挽歌。既葬。二客穿其冢旁孔。皆自剄下從之。高帝聞之。

迺大驚。以田橫之客皆賢。吾聞其餘尙五百人在海中。使使召

之。至則聞田橫死。亦皆自殺。於是迺知田橫兄弟能得士也。應前能得人

太史公曰。甚矣蒯通之謀。亂齊。驕淮陰。其卒亡此兩人。韓信。田橫。蒯

通者。善爲長短說。索隱曰。言欲令此事長。則長說之。短則短說之。故戰國策亦名曰短長書是也。論戰國之權變。爲

八十一首。漢書曰。號爲雋永。永一作求。通善齊人安期生。安期生嘗干

索隱曰。書名也。雋音松。竟反。

致族夷ハ、顔師古曰、其族ヲ平除スルヲ言フ。大者王小者迺侯耳ハ、顔師古曰、大者ハ横ノ身ヲ謂フ、小者其徒屬ナリト、按ニ顔說是ニ非ルニ似タリ、蓋皆横ニ屬シ、大ナレバ則王ト爲シ、小ナレバ則侯ト爲ント言フナリ。南面稱孤ハ、顔師古曰、王者自ラ稱シテ孤ト曰フ、蓋謙ノ爲ナリ。

商爲漢將而賢臣恐懼不敢奉詔請爲庶人守海島中使還報。高皇帝迺詔衛尉酈商曰齊王田橫卽至人馬從者敢動搖者致族夷迺復使使持節具告以詔商狀曰田橫來大者王小者迺侯耳不來且舉兵加誅焉田橫迺與其客二人乘傳詣雒陽如淳曰四馬下足爲乘傳。未至三十里至戶鄉廢置。應劭曰戶鄉在偃師瓊曰廢置置馬以傳驛也。橫謝使者曰人臣見天子當洗沐止畱謂其客曰橫始與漢王俱南面稱孤今漢王爲天子而橫迺爲亡虜而北面事之其恥固已甚矣。且吾烹人之兄與其弟併肩而事其主縱彼畏天子之詔不敢動我我獨不媿於心乎且陛下所以欲見我者不過欲一見吾面貌耳。今陛下在洛陽今斬吾頭馳三十里閒形容尙未能敗。

破り、竊傳ニ至ル、傳寬
傳、相國受ニ屬シ、博チ
殘ストアリ、博陽ノ若
キハ、則汝南ノ縣ナリ、
下亦誤ル。

參破殺龍且

徐廣曰。四年十一月。

虜齊王廣。漢將灌嬰追得齊守相田光。至

博陽。而橫聞齊王死。

自立爲齊王。

還擊嬰。嬰敗橫之軍於嬴下。

晉灼曰。泰山嬴縣也。正義曰。故

十四轉

田橫亡走梁。歸彭越。彭越是時居梁地。

嬴城在兖州博城縣東北百里。

中立。且爲漢。且爲楚。韓信已殺龍且。因令曹參進兵破殺田既

於膠東。使灌嬰破殺齊將田吸於千乘。

正義曰。千乘故城在淄州高苑縣北二十五里。

韓信遂

平齊。乞自立爲齊假王。徐廣曰。二月也。漢因而立之。後歲餘。漢滅項籍。漢

王立爲皇帝。以彭越爲梁王。

應上十五轉

田橫懼誅。而與其徒屬五百餘人

入海。居島中。

韋昭曰。海中山曰島。○正義曰。按海州東海縣有島山。去岸八十里。

高帝聞之。以爲田橫兄弟

本定齊。齊人賢者多附焉。今在海中不收。後恐爲亂。迺使使赦

田橫罪而召之。田橫因謝曰。臣烹陛下之使酈生。今聞其弟酈

入海居島中ハ、津板通
鑑校正云、隋書地理志
云、東萊郡即墨縣ニ田
橫島アリ、北史楊廣此
ニ置ル、海州東海縣ノ
島山ト自ラ別ナリ、詳
ニ錢大昕辯正ニ見ユ。

羽於城陽。

徐廣曰。假走楚。楚殺之。○正義曰。城陽。濮州。雷澤是。

而漢王率諸侯敗楚。入彭城。項羽

聞之。迺釋齊而歸。

擊漢於彭城。因連與漢戰。相距滎陽。以故田

橫復得收齊城邑。

徐廣曰。十一轉。四月。

立田榮子廣爲齊王。而橫相之。專國政。

政無巨細。皆斷於相。橫定齊三年。漢王使酈生往說下齊王廣。

及其相國橫。橫以爲然。解其歷下軍。漢將韓信引兵且東擊齊。

十二轉。

齊初使華無傷田解軍於歷下。以距漢。漢使至。迺罷守戰備。縱

酒。且遣使與漢平。漢將韓信已平趙燕。用蒯通計。度平原。襲破

齊。歷下軍因入臨淄。齊王廣相橫怒。以酈生賣已。而烹酈生。齊

王廣東走高密。

徐廣曰。高一作假。相橫走博陽。守相田光走城陽。將軍田

既軍於膠東。楚使龍且救齊。齊王與合軍高密。漢將韓信與曹

相橫走博陽ハ、札記云、考證云、漢書走博ニ作ル、蘇林曰、泰山博縣ト、此陽字衍ナリ、志疑云。灌嬰傳、田橫ヲ

濟北數城。引兵降項羽。項羽立田安爲濟北王。治博陽。田榮以

負項梁。不肯出兵助楚趙攻秦。故不得王。趙將陳餘亦失職。不

得王。二人俱怨項王。項王既歸。諸侯各就國。田榮使人將兵助

陳餘。令反趙地。而榮亦發兵以距擊田都。田都亡走楚。田榮畱

齊王市。無令之膠東。市之左右曰。項王彊暴。而王當之膠東。不

就國。必危。市懼。迺亡就國。田榮怒。追擊殺齊王市於即墨。還攻

殺濟北王安。於是田榮迺自立爲齊王。盡并三齊之地。索隱曰。田

田都王齊。田安王濟北。項王聞之大怒。迺北伐齊。齊王田榮兵敗走平原。徐

曰。三年正月。○正義曰。平原德州也。平原人殺榮。項王遂燒夷齊城郭。所過者盡屠之。

徐廣曰。立故齊人相聚畔之。榮弟橫收齊散兵得數萬人。反擊項

王田儂也。

螻螻手則斬手云云、螻螻
份曰、手足ヲ斬レバ、則
威甚シ、今三田ノ楚趙
ニ於ル、親ナシ、特ニ
手足ヲ斬ルノ威ニ非ザ
ルナリ、而テ秦ニ志ヲ
得シムレバ、則墳墓齟
齟セラル、但ニ螻蛇ノ
身ヲ害スルノミニ非ザ
ル也、故ニ何爲レゾ殺
サザルト曰フ、注全ク
謬ル。
注正義一遍ハ、札記云、
疑フ匾字ノ誤分ナリ。

不殺田角田閒以市於齊。齊曰螻螻手則斬手。螻足則斬足何者爲害於身也。

應劭曰。螻一名虺。螻入手足。則割去其肉。不然則致死。○索隱曰。螻音芳伏反。螻音臘。又音釋。○正義曰。按螻毒蛇。長二三丈。嶺南北有

之。虺長一二尺。頭腹皆一遍。說文云。虺博三寸。首大如擘。擘。手大指也。音步歷反。今田假田角田閒於楚趙。非直手

足戚也。文穎曰。言將亡身。非手足憂也。瓚曰。於楚趙非手足之親。何故不殺。且秦復得志於天下。則

齟齬用事者墳墓矣。如淳曰。齟齬猶齟齬。○索隱曰。齟音蟻。齬音紇。齟側齒齬也。○正義曰。按秦重得志。非但辱身。墳墓亦發掘矣。若子胥鞭

荆平王墓。一云。楚趙不聽。齊亦怒。終不肯出兵。章邯果敗殺項梁。破墳墓。言死也。

楚兵。楚兵東走。而章邯渡河。圍趙於鉅鹿。項羽往救趙。由此怨

田榮。項羽既存趙。降章邯等。西屠咸陽。滅秦而立侯王也。迺徙

齊王田市。更王膠東。治即墨。齊將田都從共救趙。因入關。故立

都爲齊王。治臨淄。故齊王建孫田安。項羽方渡河救趙。田安下

走東阿ノ上、札記東字アリ、云フ中統游毛本上ニ東字アリ。

救於齊。齊王田儼將兵救魏。徐廣曰。二年六月。章邯夜銜枚。擊大破齊魏。

軍。殺田儼於臨濟下。儼弟田榮收儼餘兵走東阿。齊人聞王田

儼死。迺立故齊王建之弟田假爲齊王。田角爲相。田閒爲將。以

距諸侯。田榮之走東阿。章邯追圍之。項梁聞田榮之急。迺引兵

擊破章邯軍東阿下。章邯走而西。項梁因追之。而田榮怒齊之

立假。迺引兵歸。擊逐齊王假。假亡走楚。齊相角亡走趙。角弟田

閒前求救趙。因畱不敢歸。田榮乃立田儼子市爲齊王。徐廣曰。二年八月。

榮相之。田橫爲將。平齊地。項梁既追章邯。章邯兵益盛。項梁使

使告趙。齊發兵共擊章邯。田榮曰。使楚殺田假。趙殺田角。田閒

迺肯出兵。楚懷王曰。田假與國之王。窮而歸我。殺之不義。趙亦

史記評林卷之九十四

田儋列傳第三十四

田儋者狄人也。

徐廣曰。今樂安臨濟縣也。○正義曰。淄州高苑縣西北狄故縣城。

故齊王田氏族也。儋從

弟田榮。榮弟田橫。皆豪宗彊能得人。

柱子索隱曰。儋子市。從弟榮。榮子廣。榮弟橫。各遞爲王。榮并王三齊。

陳涉

之初起。王楚也。使周市略定魏地。北至狄。狄城守。田儋佯爲縛

其奴。從少年之廷。欲謁殺奴。

服虔曰。古殺奴婢皆當告官。儋欲殺令。故詐縛奴而以謁也。

見狄令。因擊

殺令。而召豪吏子弟。曰。諸侯皆反。秦自立。齊古之建國。儋田氏

當王。遂自立爲齊王。

徐廣曰。二世元年九月也。

發兵以擊周市。周市軍還去。田

儋因率兵東略定齊地。秦將章邯圍魏王咎於臨濟。魏王請

田儋列傳。王鳴盛曰。六國ノ後。惟魏豹。韓信。田儋。三人傳アリ。魏王咎。韓王成ト。趙王歇。楚懷王孫心ト。若キハ。則其事已ニ互ニ他處ニ見ハル。故ニ皆列傳ヲ爲ラズ。贊出チ欲セザルノミ。諸田ノ王ト稱スル者ニ至テハ多シ。皆儋ノ傳中ニ見ハス。儋實ニ事ニ首スルヲ以テ。聊用テ標目ト爲スノミ。此事アルヒ文ヲ立ツ。成例アルニ非ザルナリ。

邪人進說ハ、吳寬曰、
邪人ハ、前ノ韓王信、
王黃等ナシテ、説テ陳
稀ヲ誤ラシム、是ナリ。

爲援。是以日疏自危。事窮智困。卒赴匈奴。豈不哀哉。陳豨梁人。
其少時。數稱慕魏公子。及將軍守邊。招致賓客而下士。名聲過
實。周昌疑之。疵瑕頗起。懼禍及身。邪人進說。遂陷無道於戲悲
夫。夫計之生孰成敗於人也深矣。

索隱述贊曰。韓襄遺孽。始從漢中。剖符南面。徙邑北通。顏當歸國。龍領有功。盧綰親愛。羣臣
莫同。舊燕是王。東胡計窮。

黃震曰。信以韓王庶孽從漢。復封韓。旣而漢疑之。徙王太原。數被匈奴兵。遣使求和解。
漢又責讓之。遂走匈奴。高帝是以有白登之圍。疑之爲患如此。盧綰與帝居同里。生同
日。學同師。平生至相得。非有大功而王之。燕帝之于綰厚矣。亦以貳心自成。疑懼而走
匈奴。此則綰之罪也。然信稱旦暮乞貸蠻夷。綰亦爲蠻夷所侵。嘗思復歸。二人者皆非
有大惡。而疏遠致疑失身至此。不亦悲夫。此信之子顏當。信之孫嬰。與綰之孫他之。皆
脫身匈奴。而復列侯漢廷也。陳豨慕魏公子之爲人。監趙代邊兵。而賓客餘千乘。卒于
見疑而以反誅。此尤庸妄可爲戒矣。

史記評林卷之九十三終

字アリ、漢書漢紀ト合ス。

擊斬陳豨將侯敞王黃ノ

王黃二字衍ナリ、下ニ

生得ト云ヒ、又樊噲傳

ヲ按ズルニ、大將王黃

ヲ歸ストアリ、則擊斬

ヲ誤ト爲ス。

破豨將張春于聊城ハ、

札記云、考證云、當ニ

是聊城ナルベシ、國策

ニ所謂、秦子異人質于

趙、處于聊城者ナリ。

郡中都注正義于遼ハ、
札記平遙ニ作ル、云フ
官本平、各本于ニ譌ス。

曰。吾知^ル之矣。迺^チ各以^ニ千金購^ル黃臣等。十一年冬。漢兵擊斬^ル陳豨。

將侯敞王黃於^ニ曲逆下。

正義曰。定州北平縣東南十五里蒲陰故城是也。

破^リ豨將張春于^ニ聊城。

正義曰。斬^ル首萬餘。太尉勃入定^ニ太原代地。十二月。上自擊^ツ東垣。東

垣不下。卒罵^ル上。東垣降。卒罵者斬^ル之。不罵者黥^ス之。更命^ケ東垣爲^ニ

眞定。王黃曼丘臣。其麾下受^ケ購賞^ス之。皆生得^ス。以故陳豨軍遂敗。

上還至^ニ洛陽。上曰。代居常山北。趙迺^チ從^リ山南有^レ之遠。迺^チ立^ツ子恆。

爲^ニ代王。

徐廣曰。十一年正月。

都^ニ中都。

正義曰。中都故城在汾州于遙縣西南十二里。

代鴈門皆屬^ス代。高祖

十二年冬。樊噲軍卒追斬^ル豨於^ニ靈丘。

正義曰。蔚州是。

太史公曰。韓信盧綰。非^ニ素積^ミ德累^ズ善^チ之世。微^ニ一時權變^チ。以^ニ詐力^チ

成功。遭^フ漢初定。故得^ニ列地^チ。南面稱孤。內見^レ疑彊大。外倚^ツ蠻貊。以

中統舊刻毛本吳校金板同ジ、他本大ニ譌ス。

以羽檄徵天下兵、注飛羽檄之意也、札記云、中統舊刻游毛本、飛チ非ニ譌ス、中統游本、羽チ取ニ作ル、疑フ皆錯誤アリ、當ニ取ニ飛檄之意ニ也ニ作ルベシ。以慰趙子弟、札記以上不字アリ、云フ舊刻不

吏人爲_レ豨所_二誑誤劫略_{スル}者_チ皆赦_ス之上自往_キ至_テ邯鄲喜_ダ曰豨不南據_リ漳水北守_ラ邯鄲知_ル其無能爲_ス也趙相奏_ス斬_{ント}常山守尉曰常山二十五城豨反亡_{シテ}其二十城上問_テ曰守尉反乎對曰不反上曰是力不足也赦_シ之復以爲常山守尉上問_テ周昌曰趙亦有壯士可_キ令_ム將_{ダツ}者乎對曰有_ニ四人四人謁_ス上慢罵_{シテ}曰豎子能爲_ル將乎四人慙_ヂ伏_ス上封_シ之各千戶以爲將左右諫曰從_テ入_{ツテ}蜀漢伐_ツ楚功未_ニ徧_レ行今此何功而封_{スル}上曰非_ニ若所知陳豨反邯鄲以北皆豨有吾以_ニ羽檄徵_ス天下兵_チ案推_ニ此言_一則以_ニ鳥羽插_ニ檄書_一謂之羽檄取其急速若_ニ飛鳥_一也未有_ニ至者_一今唯獨邯鄲中兵耳吾胡愛_ニ四千戶_一封_シ四人以慰_ニ趙子弟_一皆曰善於是上曰陳豨將誰_ダ曰王黃曼丘臣皆故賈人上

陳豨者宛胸人也。

索隱曰。地理志屬濟陰。下又云梁人。是褚先生之說異也。○正義曰。宛胸曹州縣也。太史公云。陳豨梁人。按宛胸六國時屬梁。

不知始所以得從。及高祖七年冬韓王信反。入匈奴。上至平城。

還。迺封豨爲列侯。徐廣曰。功臣表曰。陳豨以特將。將卒五百人。前元年從起宛胸。至霸上。以游擊將軍別定代。已破臧荼。封豨爲陽夏侯。以

趙相國將監趙代邊兵。邊兵皆屬焉。豨常告歸過趙。趙相周昌

見豨賓客隨之者千餘乘。邯鄲官舍皆滿。豨所以待賓客如布

衣交。皆出客下。正義曰。言屈己禮之。不用富貴自尊大。豨還之代。周昌迺求入見。見上

具言。豨賓客盛甚。擅兵於外數歲。恐有變。上乃令人覆案豨客

居代者。財物諸不法事。多連引豨。豨恐。陰令客通使王黃曼丘

臣所。正義曰。二人韓王信將。及高祖七年七月。太上皇崩。使人召豨。豨稱病

甚。九月。遂與王黃等反。自立爲大王。劫略趙代。上聞。乃赦趙代。

陳豨者宛胸人也。注云。錢大昕曰。地理志宛胸二作ル。濟陰ハモト梁ノ地ナリ。故ニ史公稱シテ梁人ト爲ス。及高祖七年云云。上至平城還。迺封豨爲列侯ハ。錢大昕曰。功臣侯表ヲ按ズルニ。高祖六年正月ハ。豨ノ元年ナリ。又云。已ニ臧荼ヲ破リ。豨ヲ封ジテ陽夏侯ト爲スト。則豨ノ侯タル。平城ノ前ニ在リ。監趙代邊兵。札記云。漢書兵字ナシ。疑フ下ニ涉リテ衍ス。

及高祖七年。札記十年ニ作ル。云フ各本十ヲ七ニ譌ス。考證改ム。自立爲大王ハ。札記大ナ代ニ作ル。云フ宋本

降者言張勝ハ、札記云、此降者二字、疑フ複衍ナラン。

幸上疾愈自人謝ハ、顔師古曰、上ノ疾愈ルヲ得テ、自ラ入テ謝シ、以テ己ノ幸ヲ爲スチ冀フナリ。

后計。今上病。屬任呂后。呂后婦人。專欲以事誅異姓王者。及大功臣。迺遂稱病不行。其左右皆亡匿。語頗泄。辟陽侯聞之。歸具報上。上益怒。又得匈奴降者。降者言張勝亡在匈奴。爲燕使於上。上曰。盧綰果反矣。使樊噲擊燕。燕王綰悉將其宮人家屬。騎數千。居長城下。候伺。幸上病愈。自入謝。四月。高祖崩。盧綰遂將其衆。亡入匈奴。匈奴以爲東胡。盧王綰爲蠻夷所侵奪。常思復歸。居歲餘。死胡中。高后時。盧綰妻子亡降漢。會高后病不能見。舍燕邸。爲欲置酒。見之高后。竟崩。不得見。盧綰妻亦病死。孝景中六年。盧綰孫他之。正義曰。他徒何反。以東胡王降。如淳曰。爲東胡王來降也。漢紀。東胡烏丸也。封爲亞谷侯。徐廣曰。亞一作惡也。正義曰。漢表在河內。

欲急滅豨等已盡ハ、札
記豨等二字ヲ重ヌ、云
フ毛本重ヌ、各本ナシ、
按ニ通鑑亦重ヌ。

欲令久亡連兵勿決ハ、
胡三省曰、之ヲシテ兵
ヲ連ネ相持シ、勝負久
シウシテ決セザラシメ
ント欲スルナリ。

侯數反。兵連不決也。今公爲燕。欲急滅豨等。已盡。次亦至燕。公
等亦且爲虜矣。公何不令燕且緩陳豨。而與胡和。事寬得長王。
燕。卽有漢急。可以安國。張勝以爲然。迺私令匈奴助豨等擊燕。
燕王綰疑張勝與胡反。上書請族張勝。勝還。具道所以爲者。燕
王寤。迺詐論他人。脫勝家屬。使得爲匈奴閒。而陰使范齊之陳
豨所。欲令久亡。晉灼曰。使陳豨久亡畔。連兵勿決。漢十二年。東擊黥布。豨常
將兵居代。漢使樊噲擊斬豨。其裨將降。言燕王綰使范齊通計
謀於豨所。高祖使使召盧綰。綰稱病。上又使辟陽侯審食其。御
史大夫趙堯往迎燕王。因驗問左右。綰愈恐。閉匿。謂其幸臣曰。
非劉氏而王。獨我與長沙耳。往年春。漢族淮陰。夏誅彭越。皆呂

別將與劉賈擊臨江王共尉破之。李奇曰。共敖子。七月。還從擊燕王臧

荼。臧荼降。高祖已定天下。諸侯非劉氏而王者七人。欲王盧綰。

爲羣臣缺望。如淳曰。缺音辭別之訣。望猶怨也。瓚曰。缺謂相缺而怨望也。韋昭曰。缺猶冀也。○索隱曰。缺望猶怨望也。又音企。韋昭音冀。及虜

臧荼。迺下詔諸將相列侯。擇羣臣有功者。以爲燕王。羣臣知上

欲王盧綰。皆言曰。太尉長安侯盧綰。常從平定天下。功最多。可

王燕。詔許之。漢五年八月。迺立盧綰爲燕王。諸侯王得幸莫如

燕王。漢十一年秋。陳豨反代地。高祖如邯鄲。擊豨兵。燕王綰亦

擊其東北。當是時。陳豨使王黃求救匈奴。燕王綰亦使其臣張

勝於匈奴。言豨等軍破。張勝至胡。故燕王臧荼子衍。出亡在胡。

見張勝。曰。公所以重於燕者。以習胡事也。燕所以久存者。以諸

伏後降者言張勝在匈奴爲燕使案

二用亦字

曰長君之子也。○索隱曰案博物志字季君也。領五格反作維音洛龍領縣名。○正義曰史記表衛青傳及漢書表云韓說元朔五年從大將軍有功封龍領侯以酎金坐免元封元年擊東越有功封案道侯征和二年孫子曾復封爲龍領侯漢書功臣表云後元元年說孫曾紹封龍領侯漢表是也。

盧綰者豐人也與高祖同里。盧綰親與高祖太上皇相愛。

如淳曰親。

謂父也。

及生男高祖盧綰同日生里中持羊酒賀兩家及高祖盧

綰壯俱學書又相愛也。里中嘉兩家親相愛生子同日壯又相

愛復賀兩家羊酒高祖爲布衣時有吏事辟匿盧綰常隨出入

上下及高祖初起沛盧綰以客從入漢中爲將軍常侍中從東

擊項籍以太尉常從出入臥內衣被飲食賞賜羣臣莫敢望雖

蕭曹等特以事見禮至其親幸莫及盧綰綰封爲長安侯長安

故咸陽也。正義曰秦咸陽在渭北長安在渭南蕭何起未央宮處也。漢五年冬以破項籍迺使盧綰

盲者不忘視也ハ、札記云、者ヲ舊刻人ニ作ル、上句ト合ス。

爲弓高侯注案隱榮陵、札記營陵ニ作ル、云フ史記功臣表案隱、及ビ漢書韓王信傳注ヲ按ズルニ管灼ヲ引キ、竝ニ營ニ作ル、今惟明嘉靖廣東本漢表、營陵ノ字アリ、地理志、營陵ハ北海ニ屬ス。

卒爲案道侯ハ、札記云、志疑云、卒疑フ當ニ今ニ作ルベシ。

信知歸漢必死。故引子胥以爲辭。

今僕亡匿山谷閒。旦暮乞貸蠻夷。僕之思歸。如痿

人不忘起。

索隱曰。痿音耳。誰反。舊音耳。睡反。於義爲疎。張揖云。痿不能行。衰紀云。帝卽位痿痺。是也。

盲者不忘視也。勢不

可耳。遂戰。

柴將軍屠參合。斬韓王信。信之入匈奴。與太子俱。及

至頽當城。

漢書音義曰。縣名。韋昭曰。在匈奴地。

生子。因名曰頽當。韓太子亦生子。命曰

嬰。至孝文十四年。頽當及嬰率其衆降漢。漢封頽當爲弓高侯。

地理志。河閒有弓高縣也。○索隱曰。漢書功臣表屬榮陵。○正義曰。滄州縣。

嬰爲襄城侯。

索隱曰。案服虔云。縣一名功臣表屬魏郡。

吳楚軍

時。弓高侯功冠諸將。

徐廣曰。諡曰壯。

傳子至孫。孫無子失侯。嬰孫以不

敬失侯。

徐廣曰。表云。嬰子澤之。元朔四年。不敬國除。

頽當擊孫韓嫣。

漢書音義曰。音鄢陵之鄢。○索隱曰。音偃。又一言反。又休延反。

貴幸名富顯於當世。其弟說再封數稱將軍。卒爲案道侯。子

代。徐廣曰。名長君。歲餘。坐法死。後歲餘。說孫曾拜爲龍頤侯。續說後。

徐廣

附ト曰フ、一弩毎ニ兩
矢ヲ加ヘ、外ニ禦ヒ、
以テ敵ヲ禦グナリ。

胡騎遂解去。漢亦罷兵歸。韓信爲匈奴將兵往來擊邊。漢十年。

信令王黃等說誤陳豨。十一年春。故韓王信復與胡騎入居參

合。蘇林曰。代地也。○正義曰。故城在朔州定襄縣北。距漢。漢使柴將軍擊之。

鄧展曰。柴奇也。○索隱曰。應劭曰。柴武。鄧展云。

柴奇。晉灼云。奇。武之子。應劭說爲得。此時奇未爲將。遣信書曰。陛下寬仁。諸侯雖有畔亡而復歸。

輒復故位號不誅也。大王所知。今王以敗亡走胡。非有大罪。急

自歸。韓王信報曰。陛下擢僕起閭巷。南面稱孤。此僕之幸也。榮

陽之事。一應前僕不能死。囚於項籍。此一罪也。今及寇攻馬邑。僕不能

堅守。以城降之。此二罪也。今反爲寇將兵。與將軍爭一旦之命。

此三罪也。夫種蠡無一罪。身死亡。文穎曰。大夫種范蠡也。今僕有三罪於陛

下。而欲求活於世。此伍子胥所以償於吳也。索隱曰。蘇林曰。債音奮。張晏曰。債僵仆也。○正義曰。

後復破之ハ、札記後字ナシ、云フ各本復上後字ヲ衍ス、漢書ナシ、雜志ニ依テ刪ル。

居代上谷ハ、札記云、上字衍ナリ、漢書居代谷ニ作ル、上谷ノ若キハ、平城ヲ去ル遠シ、上出白登ハ、漢書出字ナシ。

請令彊弩傳兩矢外嚮ハ、顏師古曰、傳讀テ

奴使左右賢王將萬餘騎與王黃等屯廣武以南

正義曰廣武故城在代州鴈門縣界

也。至晉陽與漢兵戰漢大破之追至于離石

正義曰後復破之匈奴

奴復聚兵樓煩西北

正義曰鴈門郡樓煩縣

漢令車騎擊破匈奴匈奴常敗

走漢乘勝追北聞冒頓居代上谷

正義曰今嬀州

高皇帝居晉陽使人

視冒頓還報曰可擊上遂至平城

正義曰朔州定襄縣是也

上出白登服虔曰白登臺名去

平城七里如淳曰平城旁之高地若丘陵也○索隱曰姚氏案北疆記桑乾河北有白登山冒頓圍漢高之所今猶有壘壁

匈奴騎圍上上乃

使人厚遺閼氏

正義曰於連反又音燕氏音支單于嫡妻號若皇后

閼氏乃說冒頓曰今得漢地

猶不能居且兩主不相厄居七日胡騎稍引去時天大霧漢使

人往來胡不覺護軍中尉陳平言上曰胡者全兵

漢書音義曰言唯弓矛無雜仗也

請令彊弩傳兩矢外嚮

索隱曰傳音附

徐行出圍入平城漢救兵亦到

國被邊ハ、顔師古曰、被ハ、猶帶ノ如キナリ。

疑信數閉使、顔師古曰、閉ハ私ナリ。

與其將白土人云云、札記云、志疑朱子文漢書辨正チ引テ曰、一與字ナ多クス、按ニ通鑑與字ナシ。

韓王^ト竟^ニ從^ツ擊^テ破^ル項籍^チ天下^ル定^ル五年春遂與^ニ剖^イ符^チ爲^レ韓王^ト王^ト潁川^ニ

明年春。徐廣曰。卽五年之二月。綱案漢書曰。六年春。上^レ以^フ韓信材武所^レ王^{ヌル}北^ニ近^ク鞏洛^ニ南^ニ迫^リ

宛葉^ニ東^ニ有^ニ淮陽^ニ皆^ニ天下^ニ勁兵處^ニ迺^チ詔^{シテ}徙^{シテ}韓王^チ信^ヲ王^{トシ}太原^ニ以^テ北^ニ備^ヘ

禦^グ胡^ニ都^ニ晉陽^ニ信^ニ上^{シテ}書^{シテ}曰^ク國^レ被^リ邊^ニ李奇曰。被音被馬之被。匈奴數^ニ入^ル晉陽^ニ去^レ塞^チ

遠^シ。正義曰。并州。請^ニ治^ニ馬邑^ニ。正義曰。朔州。上^ス許^レ之^チ信^ニ乃^チ徙^{ツテ}治^ニ馬邑^ニ秋^ニ匈奴冒^フ

頓^ニ大圍^ム信^チ。索隱曰。冒音墨。又音莫報反。信數^ニ使^{シテ}使^ニ胡^ニ求^メ和^チ解^チ漢^ニ發^{シテ}兵^ヲ救^フ之^チ疑^フ信

數^ニ間^シ使^シ有^ニ一^ニ心^ニ使^シ人^ヲ責^セ讓^セ信^チ信^ニ恐^シ誅^チ因^チ與^ニ匈奴^ニ約^{シテ}共^ニ攻^ム漢^ニ反^チ以^テ

馬邑^ニ降^レ胡^ニ擊^ツ太原^ニ七年冬上^ニ自^ミ往^{イデ}擊^ニ破^リ信^ノ軍^ヲ銅鞮^ニ。正義曰。潞州縣。斬^ル其

將^ヲ王喜^ヲ信^ニ亡^テ走^ル匈奴^ニ與^ニ其將^ヲ白土人曼丘臣王黃等^ヲ。張晏曰。白土縣名。屬上郡。

立^テ趙^ヲ苗裔趙利^ヲ爲^シ王^ト復^ニ收^メ信^ガ敗^レ散^チ兵^ヲ而^チ與^ニ信^ニ及^ヒ冒頓^ニ謀^ツ攻^ム漢^ニ匈

通說漢王曰云云ハ、顔師古曰、高帝記、及韓彭英盧傳、皆斯説是楚王韓信ノ辭ト稱ス、而テ韓王信傳、復韓王ノ語ト云フ、豈史家繆錯スルカ、將タ二人勸ムル所、大旨實ニ同シキナリ。

王。韓信從入漢中。迺說漢王曰。項王王諸將近地。而王獨遠居

此。此左遷也。士卒皆山東人。跋而望歸。及其鋒東嚮。文穎曰。鋒銳欲東向。○索

隱曰。跋音企。起踵也。鄭氏云。鋒。軍中將士氣鋒。韋昭曰。其氣鋒銳欲東也。○正義曰。跋音岐。可以爭天下。漢王還定三秦。

迺許信爲韓王。先拜信爲韓太尉。將兵略韓地。項籍之封諸王。

皆就國。韓王成以不從。無功。不遣就國。更以爲列侯。徐廣曰。元年十一月誅成。

綱案漢書曰。封爲穰侯。○索隱曰。地理志穰縣屬南陽。及聞漢遣韓信略韓地。迺令故項籍游吳。

時吳令鄭昌爲韓王。以距漢。正義曰。項籍在吳時昌爲吳縣令。漢二年。韓信略定韓

十餘城。漢王至河南。韓信急擊韓王昌陽城。昌降。漢王迺立韓

信爲韓王。徐廣曰。二年十一月。常將韓兵從。三年。漢王出滎陽。韓王信周苛

等守滎陽。及楚敗滎陽。信降楚。已而得亡。復歸漢。漢復立以爲

史記評林卷之九十三

韓王信盧綰列傳第三十三

韓王信者。

徐廣曰。一云信都。○索隱曰。楚漢春秋云。韓王信都恐謬也。諸書不言有韓信都。案韓王信初爲韓司徒。後訛云申徒。因誤以爲韓王名耳。

故

韓襄王孽孫也。

張晏曰。孺子爲孽。○索隱曰。何休注公羊以爲孽賤。子猶樹之有孽生也。漢書朝錯云。孽子悼惠王是也。

長八尺五

寸。及項梁之立楚後懷王也。燕齊趙魏皆已前王。唯韓無有後。

故立韓諸公子橫陽君成爲韓王。

正義曰。故橫城在宋州宋城縣西南三十里。○徐廣曰。二年六月也。都陽翟。

欲以撫定韓故地。項梁敗死。定陶成犇懷王。沛公引兵擊陽城。

正義曰。河南縣也。

使張良以韓司徒降下韓故地。

徐廣曰。他本多作申徒。申與司聲相近。字由此雜亂耳。今有申徒云。

是司徒之後。言

得信以爲韓將。將其兵從沛公入武關。沛公立爲漢

韓王信盧綰列傳、札記
韓信ニ作ル、云フ各本
韓下王字ヲ衍ス、宋本
舊刻ナシ、索隱本ト合
ス。
故韓襄王孽孫也ハ、顔
師古曰、孽ハ庶ヲ謂フ
ノミ、張說非ナリ。

黃震曰。韓信虜魏。破代平趙。下燕定南齊。摧楚兵二十萬。殺龍且。而楚隨滅。漢并天下。皆信力也。武涉蒯通說信背漢。而信終不忍。自以功多。漢終不奪我齊也。不知功之多者忌之尤。今日破楚。明日奪齊王信。方爲漢天下。漢之心已未嘗一日不在取信也。張良爲帝謀臣。使其爲之畫善計。猶庶幾焉。而躡足之謀。召信會兵垓下之策。皆所以疑帝之甚。而置信于死者也。失職快快。謀反見誅。雖信之罪。而夷三族。嗚呼甚矣。

茅坤曰。予覽觀古今兵家者流。當以韓信爲最。破魏以木罌。破趙以立漢赤幟。破齊以囊沙。彼皆從天而下。而未嘗與敵人血戰者。予故曰。古今來太史公文仙也。李白詩仙也。屈原詞賦仙也。劉阮酒仙也。而韓信兵仙也。然哉。

陳霆曰。子房進履于圯邊。韓信受辱于跨下。後一爲帝者師。一南面而王。蓋惟能下人。故能上人也。然子房猶號知道。楊誠齋詩云。少年跨下安無忤。老父圯邊愕不平。人物若非觀歲暮。淮陰何必減文成。信乎先民有言。保初節易。保晚節難。觀之淮陰可見矣。程敏政曰。呂氏之殺侯。千古之所共憤。而予以爲平實啓之。呂氏特成之耳。方人之告侯反也。高帝自意之不決。問于羣臣而欲決。其不決者。豈帝真不之知哉。誠有以惡侯之罪而念侯之功。故徘徊猶豫。持兩端於心胸之間。當此時也。侯之死生繫于入言。聞不容髮。爲平者宜對帝曰。侯定列國。取項羽。握重兵。在外者十年。顧不反。今天下已定。裂土而王。其志願亦足矣。陛下宜使親信之臣覘之。而得其實。則使使持節召侯。召之不來。然後六師移之。未晚也。平計不出此。乃曰陛下第出僞遊雲夢。侯謁而擒之。是果何等語哉。正孔子之所謂利口。孟子之所謂逢君之惡者也。嗚呼平一言而使高帝爲無恩之主。元勳受無罪之誅。不義之甚矣。

史記評林卷之九十二終

之。張晏曰。以鹿喻帝位也。於是高材疾足者先得焉。跖之狗吠堯。堯非不仁。

銳精持鋒ハ、胡三省曰、
銳精ハ、精銳ヲ磨洋シ
テ、之ヲ銳スルナリ。
上曰置之、置ハ猶舍ノ
如シ、又敷ナリ。

狗固吠非其主。當是時。臣唯獨知韓信。非知陛下也。且天下銳精持鋒。欲爲陛下所爲者甚衆。顧力不能耳。又可盡烹之邪。高帝曰。置之。乃釋通之罪。

太史公曰。吾如淮陰。淮陰人爲余言。韓信雖爲布衣時。其志與衆異。其母死。貧無以葬。然乃行營高敞地。令其旁可置萬家。余視其母冢。良然。假令韓信學道。謙讓不伐。已功。不矜其能。則庶幾哉。於漢家勳。可以比周召太公之徒。後世血食矣。不務出此。而天下已集。乃謀畔逆。夷滅宗族。不亦宜乎。

索隱述贊曰。君臣一體。自古所難。相國深薦策拜登壇。沈沙決水。拔幟傳殮。與漢漢重。歸楚楚安。三分不議。僞遊可歎。

且喜且憐之ハ、胡三省
曰、喜ハ、其逼テ除クヲ
喜ビ、憐ハ、其功大ナル
ヲ憐ムナリ。

於呂后。呂后欲召恐其黨不就。乃與蕭相國謀。詐令人從上所
來言。豨已得死。列侯羣臣皆賀。相國給信曰。雖疾。彊入賀。信入。
呂后使武士縛信。斬之長樂鐘室。正義曰。長樂宮懸鐘之室。信方斬之。曰。吾悔
不用蒯通之計。乃爲兒女子所詐。豈非天哉。遂夷信三族。高祖
已從豨軍來。至見信死。且喜且憐之。問信死亦何言。呂后曰。信
言恨不用蒯通計。高祖曰。是齊辯士也。乃詔齊捕蒯通。蒯通至。
上曰。若教淮陰侯反乎。對曰。然。臣固教之。豎子不用臣之策。故
令自夷於此。如彼。豎子用臣之計。陛下安得而夷之乎。上怒曰。
烹之。通曰。嗟乎。冤哉烹也。上曰。若教韓信反。何冤。對曰。秦之綱
絕而維弛。山東大擾。異姓竝起。英俊烏集。秦失其鹿。天下共逐。

ト爲シ、什伍ヲ數ト爲
スト、程子蓋此ヲ取ル
ナリ。

陳豨拜爲鉅鹿守ハ、
錢大昕曰、此時、鉅鹿
ハ趙國ニ屬ス、豨蓋趙
相國ヲ以テ、鉅鹿守ヲ
兼スルナリ、漢初、王
國領スル所ノ郡、亦守
ヲ置ク。

淮陰侯曰公所居、札記
公下之字アリ、云フ舊
刻之字アリ、漢書ト合
ス。

漢十一年ハ、札記十年
ニ作ル、云フ各本十下
一字ヲ衍ス、舊刻ナシ。

信之所以爲陛下禽也。且陛下所謂天授、非人力也。陳豨拜爲

鉅鹿守。

徐廣曰、表云、爲趙相國、將兵守代也。

辭於淮陰侯。淮陰侯挈其手、辟左右、與之

步於庭。仰天歎曰。子可與言乎。欲與子有言也。豨曰。唯將軍令

之。淮陰侯曰。公所居。天下精兵處也。而公陛下之信幸臣也。人

言公之畔。陛下必不信。再至。陛下乃疑矣。三至。必怒。而自將。吾

爲公從中起。天下可圖也。陳豨素知其能也。信之曰。謹奉教。漢

十一年。陳豨果反。上自將而往。信病不從。陰使人至豨所。曰。第

舉兵。吾從此助公。信乃謀與家臣夜詐詔。赦諸官徒奴。欲發以

襲呂后太子。部署已定。待豨報。其舍人得罪於信。

索隱曰、按晉灼曰。楚漢春秋云。謝公

也。姚氏案功臣表云。慎陽侯樂說。

淮陰舍人告信反者。未知孰是。信囚欲殺之。舍人弟上變。告信欲反狀。

遂械繫信ハ、胡三省曰、械ハ、加フルニ桎械ヲ以テス、繫ハ、加フルニ徽索ヲ以テス、稱病不朝從ハ、顔師古曰、朝ハ朝見ナリ從ハ從行ナリ。居常鞅鞅ハ、顔師古曰、鞅鞅ハ、志滿タザルナリ、絳灌ハ、絳侯周勃灌將軍嬰ナリ。

多多而益善耳ハ、楊慎曰、程子曰、分數明カナルナリト、按ズルニ、孫子曰、衆ヲ治ムル、分數是ナリ、注ニ部曲ヲ分

吾今日死公亦隨手亡矣。乃罵信曰。公非長者。卒自剄。信持其

首。謁高祖於陳。上令武士縛信載後車。信曰。果若人言。狡兔死

良狗烹。張晏曰。狡猶猾。○索隱曰。吳越春秋作。高鳥盡良弓藏。敵國破謀

郊兔。戰國策曰。東郭逡海內狡兔也。

臣亡天下已定。我固當烹。上曰。人告公反。遂械繫信至雒陽。赦

信罪。以爲淮陰侯。信知漢王畏惡其能。常稱病不朝從。信由此

日怨望。居常鞅鞅。羞與絳灌等列。信常過樊將軍噲。噲跪拜送

迎。言稱臣。曰。大王乃肯臨臣。信出門笑曰。生乃與噲等爲伍。上

常從容與信言。諸將能不各有差。上問曰。如我能將幾何。信曰。

陛下不過能將十萬。上曰。於君何如。曰。臣多多而益善耳。上笑。

曰。多多益善。何爲爲我禽。信曰。陛下不能將兵。而善將將。此乃

故忍而就於此、顏師古曰、就ハ成ナリ、今日ノ功ヲ成スナリ。
鍾離昧家在伊廬注徐廣曰云云、錢大昕曰、續漢書郡國志ヲ按ズルニ、伊廬ニ作リ、注史記亦盧字ニ作ル、廬盧古者多ク通用ス、今ノ江西廬陵縣、土人讀テ盧音ノ如シ。

公小人也。爲德不卒。召辱己之少年令出胯下者。以爲楚中尉。告諸將相曰。此壯士也。方辱我時。我寧不能殺之邪。殺之無名。故忍而就於此。項王亡將鍾離昧。家在伊廬。徐廣曰。東海胸縣有伊廬鄉。酈案韋昭曰。今中廬縣。○索隱曰。徐註出司馬彪郡國志。○正義曰。括地志云。中廬在義清縣北二十里。本春秋時。素廬戎之國也。秦謂之伊廬。漢爲中廬縣。項羽之將鍾離昧。冢在韋昭及括地志云皆說之也。與信善。項王死。後亡歸信。漢王怨昧。聞其在楚。詔楚捕昧。信初之國。行縣邑。陳兵出入。漢六年。人有上書告楚王信反。高帝以陳平計。天子巡狩。會諸侯。南方有雲夢。發使告諸侯。會陳。吾將游雲夢。實欲襲信。信弗知。高祖且至楚。信欲發兵反。自度無罪。欲謁上。恐見禽。人或說信曰。斬昧謁上。上必喜。無患。信見昧計事。昧曰。漢所以不擊取楚。以昧在公所。若欲捕我。以自媚於漢。

故知者決之斷也、札記云、雜志云、當決者知之斷也、二作ルベシ。

事之禍也。故曰。猛虎之猶豫。不若蜂蠆之致螫。

正義曰。音適。

騏驥之

蹢躅

徐廣曰。蹢一作躅也。

不如駑馬之安步。孟賁之狐疑。不如庸夫之必至。

也。雖有舜禹之智。吟而不言。不如瘖聾之指麾也。

索隱曰。鄒氏吟音巨蔭反。又音琴。

此言貴能行之。夫功者難成而易敗。時者難得而易失也。時乎

時。不再來。願足下詳察之。韓信猶豫不忍倍漢。又自以爲功多。

漢終不奪我齊。遂謝蒯通。蒯通說不聽。已佯狂爲巫。

徐廣曰。一本遂不用蒯通。

蒯通曰。夫迫於細苛者。不可與圖大事。拘於臣虜者。固無君王之意。說不聽。因去佯狂也。○索隱曰。案漢書及戰國策。皆有此文。

漢王之困固陵。用

張良計。召齊王信。遂將兵會垓下。項羽已破。高祖襲奪齊王軍。

徐廣曰。以齊爲平。漢五年正月。徙齊王信爲楚王。都下邳。信至國。召

原千乘東萊齊郡。

所從食漂母。賜千金。

張華曰。漂母冢。在泗口南岸。

及下鄉南昌亭長。賜百錢。曰。

東殺龍且ハ、札記云、楚兵ヲ摧キ、龍且ヲ殺ス、モト一事ナリ、漢書漢紀竝ニ遂斬龍且ニ作ル。

守儋石之祿注集解一儋與一斛之餘ハ、札記云、毛本與字ナシ、斛疑フ當ニ石ニ作ルベシ、餘疑フ諸ノ誤ナリ、方言注所謂家無儋石之諸、儲字、今本亦餘ニ誤ル、又案ズルニ、此語モト漢書揚雄傳ニ出ツ、疑フ集解尙脫文ア、ニ。

齊南摧楚人之兵二十萬。東殺龍且。西鄉以報。此所謂功無二於天下。而略不世出者也。今足下戴震主之威。挾不賞之功。歸楚。楚人不信。歸漢。漢人震恐。足下欲持是安歸乎。夫勢在人臣之位。而有震主之威。名高天下。竊爲足下危之。韓信謝曰。先生且休矣。吾將念之。後數日。蒯通復說曰。夫聽者事之候也。計者事之機也。聽過計失。而能久安者鮮矣。聽不失一二者。不可亂以言。計不失本末者。不可紛以辭。夫隨厮養之役者。失萬乘之權。守儋石之祿者。晉灼曰。揚雄方言。海岱之間。名器爲儋石。斗石也。蘇林曰。齊人名小器爲儋石。如今受鮐魚石罍。不過一二石耳。一說一儋與一斛之餘。○索隱曰。儋音都濫反。石斗也。蘇林解爲得之。鮐音胎。闕卿相之位。故知者決之斷也。疑者事之害也。審毫釐之小計。遺天下之大數。智誠知之。決弗敢行者。百

王奉項嬰頭而竄逃歸於漢王。漢王借兵而東下。殺成安君。泚水之南。頭足異處。卒爲天下笑。此二人相與天下至驩也。然而卒相禽者何也。患生於多欲。而人心難測也。今足下欲行忠信。以交於漢王。必不能固於二君之相與也。而事多大於張敖陳澤。故臣以爲足下必漢王之不危已亦誤矣。大夫種范蠡存亡越。霸句踐立功成名而身死亡。野獸已盡。而獵狗烹。夫以交友。此數句有力。言之則不如張耳之與成安君者也。以忠信言之。則不過大夫種范蠡之於句踐也。此二人者。足以觀矣。願足下深慮之。且臣聞勇略震主者身危。而功蓋天下者不賞。臣請言大王功略。足下涉西河。虜魏王。禽夏說。引兵下井陘。誅成安君。徇趙。脅燕。定

爲百姓請命注正義士卒亡ヲ、札記士卒不死ニ作ル、云フ誤テ士卒亡三字ニ作ル、考證漢書注ニ據テ改ム。

懷諸侯之德、札記懷諸侯以德ニ作ル、云フ游本以、各本之ニ誤ス、難忍云、漢書正ニ以ニ作ル。

出^イ空^ク虛^コ之^ニ地^ニ而^シ制^シ其^チ後^ヲ。因^リ民^ノ之^ニ欲^ニ。西^シ鄉^ノ爲^ニ百^ニ姓^ノ請^ヘ命^ヲ。

正義曰。鄉音向。齊國在東。

故^ニ曰^ニ西^ニ向^ニ也^ニ。止^メ楚^ノ漢^ノ之^ニ戰^ニ。關^ノ士^ノ卒^ノ亡^ニ。故^ニ云^ニ請^ヘ命^ヲ。則^チ天^ノ下^ノ風^ノ走^シ而^シ響^シ應^セ矣^ニ。孰^カ敢^テ不^レ聽^カ。割^キ大^ニ弱^ニ彊^ニ以^テ。

立^シ諸^ノ侯^ノ。諸^ノ侯^ノ已^ニ立^タ。天^ノ下^ノ服^シ聽^シ而^シ歸^セ德^ニ於^ニ齊^ニ。案^シ齊^ノ之^ニ故^ニ。有^ニ膠^ノ泗^ノ之^ニ。

地^ニ。懷^キ諸^ノ侯^ノ之^ニ德^ニ。深^ニ拱^ニ揖^ニ讓^ス。則^チ天^ノ下^ノ之^ニ君^ノ王^ノ。相^テ率^テ而^シ朝^セ於^ニ齊^ニ矣^ニ。蓋^シ。

聞^ク天^ノ與^ル弗^レ取^テ。反^テ受^テ其^ノ咎^ヲ。時^ニ至^リ不^レ行^ハ。反^テ受^テ其^ノ殃^ヲ。願^フ足^ニ下^ノ孰^ニ慮^セ之^ニ。韓^ノ。

信^ニ曰^ニ。漢^ノ王^ノ。遇^ス我^ヲ甚^ニ厚^ニ。載^ス我^ヲ以^ニ其^ノ車^ヲ。衣^ス我^ヲ以^ニ其^ノ衣^ヲ。食^ス我^ヲ以^ニ其^ノ食^ヲ。吾^ノ。

聞^ク之^ヲ。乘^ル人^ノ之^ニ車^ヲ者^ノ。載^ス人^ノ之^ニ患^ヲ。衣^ル人^ノ之^ニ衣^ヲ者^ノ。懷^キ人^ノ之^ニ憂^ヲ。食^ム人^ノ之^ニ食^ヲ。

者^ノ。死^ス人^ノ之^ニ事^ヲ。吾^ノ豈^ニ可^シ以^ニ鄉^ニ利^ニ倍^シ義^ヲ乎^ニ。蒯^ノ生^ノ曰^ニ。足^ニ下^ノ自^ニ以^ニ爲^シ善^ニ。漢^ノ。

王^ノ欲^シ建^シ萬^ノ世^ノ之^ニ業^ヲ。臣^ノ竊^ニ以^ニ爲^シ誤^ト矣^ニ。始^メ常^ノ山^ノ王^ノ成^ニ安^ニ君^ノ爲^ニ布^ノ衣^ノ時^ヲ。

相^ニ與^ニ爲^シ刎^ニ頸^ノ之^ニ交^ヲ。後^ニ爭^テ張^ノ騭^ノ陳^ノ澤^ノ之^ニ事^ヲ。二^ノ人^ノ相^テ怨^ム。常^ノ山^ノ王^ノ背^ニ項^ノ。

骨於中野。不可勝數。楚人起陰揚楚彭城。轉鬪逐北。至於滎陽。乘利席

卷。威震天下。然兵困於京索之間。迫西山而不能進者。三年於

此矣。漢暗折漢王將數十萬之衆。距鞏雒。阻山河之險。一日數戰。無尺

寸之功。折北不救。張晏曰。折。衄。敗也。北。奔北。敗滎陽。傷城皐。張晏曰。於城皐。傷。曾也。臣瓚曰。謂軍折傷。遂走

宛葉之間。此所謂智勇俱困者也。夫銳氣挫於險塞。而糧食竭

於內府。百姓罷極怨望。容容無所倚。以臣料之。其勢非天下之

賢聖。固不能息天下之禍。當今兩主之命。縣於足下。足下爲漢

則漢勝。與楚則楚勝。臣願披腹心。輸肝膽。效愚計。恐足下不能

用也。誠能聽臣之計。莫若兩利而俱存之。三分天下。鼎足而居

其勢莫散。先動。夫以足下之賢聖。有甲兵之衆。據彊齊。從燕趙。

招君之背云云ハ、胡三省曰、微言ヲ以テ信ヲ勸カシ、漢ニ背ケバ、則大ニ責キヲ言フナリ。
建號壹呼ハ、顏師古曰、建號ハ自立シ侯王ト爲ルナリ。
燦至風起ノ燦ハ火飛ブナリ。

上將軍印。予我數萬衆。解衣衣我。推食食我。言聽計用。故吾得以至於此。夫人深親信我。我倍之不祥。雖死不易。幸爲信謝項王。武涉已去。齊人蒯通知天下權在韓信。欲爲奇策而感動之。以相人說韓信曰。僕嘗受相人之術。韓信曰。先生相人何如。對曰。貴賤在於骨法。憂喜在於容色。成敗在於決斷。以此參之。萬不失一。韓信曰。善。先生相寡人何如。對曰。願少閒。信曰。左右去矣。通曰。相君之面。不過封侯。又危不安。相君之背。貴乃不可言。張晏曰。背畔則大貴。韓信曰。何謂也。蒯通曰。天下初發難也。俊雄豪傑建號壹呼。天下之士雲合霧集。魚鱗襍遫。燦至風起。當此之時。憂在亡秦而已。今楚漢分爭。使天下無罪之人。肝膽塗地。父子暴骸

東侵^シ人之分^ヲ奪^フ人之地^ヲ已破^リ三秦^ヲ引兵^ヲ出^テ關^ヲ收^メ諸侯之兵^ヲ以東
擊^ツ楚^ヲ其意非盡^ス吞^ム天下^ヲ者不休^ム其不知^ル厭足^ヲ如是甚^キ也且漢王
不可^レ必^{トス}身居^ル項王掌握^ニ中^ニ數^ニ矣^ニ正義曰數
色庾反項王憐^シ而活^ス之^ヲ然得^レ脫^ル

輒倍^テ約復擊^ツ項王^ヲ其不可^レ親信^ス如此^ニ今足下雖自以與漢王爲^ニ
厚交^ヲ爲^ニ之盡力^シ用兵^ヲ終爲^ニ之所禽^{スル}矣足下所以得^ル須臾^モ至今者
以^ニ項王尙存^{スル}也當今二王之事權在^ニ足下^ニ足下右投^セ則漢王勝^ツ

左投^セ則項王勝^ツ項王今日亡^セ則次取^ニ足下^ヲ足下與^ニ項王有^レ故何^ゾ
不^レ反漢與楚連和^シ參分^ニ天下^ヲ王^ヲ之^ニ今釋^キ此時^ヲ而自必^{トシ}於漢^ニ以擊^ツ

此項王至計

楚且爲^ニ智者固若^ク此乎韓信謝曰臣事項王官不過^ギ郎中^ニ位不^レ

過^ギ執戟^ヲ

張晏曰郎中宿衛執戟之人也

言不聽^{カレ}畫不用^ヲ故倍^テ楚而歸漢^ニ漢王授^ケ我

城陽、是齊ノ地ナリ、
濟州ノ咸陽ニ非ズ。

在濮州東南
九十一里。

皆虜楚卒。漢四年、遂皆降平齊。使人言漢王曰：齊僞

詐多變。反覆之國也。南邊楚、不爲假王以鎮之。其勢不定。願爲

假王。便當是時。楚方急圍漢王於滎陽。韓信使者至。發書。

張晏
曰發

信使者。漢王大怒。罵曰：吾困於此。旦暮望若來佐我。乃欲自立爲

王。張良、陳平躡漢王足。因附耳語曰：漢方不利。寧能禁信之王

乎。不如因而立。善遇之。使自爲守。不然。變生。漢王亦悟。因復罵

曰：大丈夫定諸侯。卽爲眞王耳。何以假爲。乃遣張良往立信爲

齊王。徐廣曰：四年二月。徵其兵擊楚。楚已亡龍且。項王恐。使肝貽人武涉

往說齊王信曰。張華曰：武涉墓在肝貽城東十五里。天下共苦秦久矣。相與戮力擊

秦。秦已破。計功割地。分土而王之。以休士卒。今漢王復興兵而

合人或說龍且曰。漢兵遠鬪窮戰。其鋒不可當。齊楚自居其地。

戰。兵易敗散。

正義曰。近其室家懷顧望也。

不如深壁。令齊王使其信臣招所亡

城。亡城聞其王在。楚來救。必反漢。漢兵二千里客居。齊城皆反

之。其勢無所得食。可無戰而降也。龍且曰。吾平生知韓信爲人。

易與耳。且夫救齊。不戰而降之。吾何功。今戰而勝之。齊之半可

得。何爲止遂戰。與信夾濰水陳。

徐廣曰。出東莞而東北流。至北海都昌縣入海。○索隱曰。濰音維。地理志。濰水出琅邪箕

縣東北。至昌都入海。徐所引蓋據水經。與此小不同。

韓信乃夜令人爲萬餘囊。滿盛沙。壅水上流。

引軍半渡。擊龍且。佯不勝還走。龍且果喜曰。固知信怯也。遂追

渡水。信使人決壅囊。水大至。龍且軍大半不得渡。卽急擊殺龍

且。龍且水東軍散走。齊王廣亡去。信遂追北至城陽。

正義曰。城陽。雷澤縣是也。

遂追渡水。札記追下信字アリ。云宋本中統游毛本信字アリ。各本脫ス。

信遂追北至城陽。注正義云云。錢大昕曰。此

軍。卽令張耳備守趙地。拜韓信爲相國。收趙兵未發者擊齊。文

曰。謂趙人未嘗見發者。信引兵東。未渡平原。正義曰。懷州有平原津。聞漢王使酈食其已說

下齊。韓信欲止。范陽辯士蒯通說信曰。將軍受詔擊齊。而漢獨

發閒使下齊。寧有詔止將軍乎。何以得毋行也。且酈生一士。伏

軾。韋昭曰。軾。今小車中隆起者。掉三寸之舌。下齊七十餘城。將軍將數萬衆。歲

餘。乃下趙五十餘城。爲將數歲。反不如一豎儒之功乎。於是信

然之。從其計。遂渡河。齊已聽酈生。卽畱縱酒。罷備漢守禦。信因

襲齊。歷下軍。徐廣曰。齊南歷城縣。遂至臨菑。齊王田廣以酈生賣已。乃烹之。

而走高密。使使之楚。請救。韓信已定臨菑。遂東追廣至高密西。

楚亦使龍且將。號稱二十萬。救齊。齊王廣龍且并軍與信戰。未

誑言者、誑ハ言ナリ、
蓋多辯者ヲ謂フ。

正義曰。暴音僕。燕必不敢不聽從。燕已從。使誑言者東告齊。齊必從風。

而服。雖有智者亦不知爲齊計矣。如是則天下事皆可圖也。兵

固有先聲而後實者。此之謂也。韓信曰善。從其策。發使使燕。燕

從風而靡。乃遣使報漢。因請立張耳爲趙王。以鎮撫其國。漢王

許之。乃立張耳爲趙王。楚數使奇兵渡河擊趙。趙王耳韓信往

來救趙。因行定趙城邑。發兵詣漢。楚方急圍漢王於滎陽。漢王

南出之宛葉間。正義曰。宛在鄧州。葉在許州。得郢布走入城皐。楚又復急圍之。

六月。漢王出城皐東渡河。獨與滕公俱從張耳軍修武。至宿傳

舍。晨自稱漢使。馳入趙壁。張耳韓信未起。卽其臥內。上奪其印

符。以麾召諸將。易置之。信耳起乃知。漢王來大驚。漢王奪兩人

走入城皐ハ、札記成皐
ニ作ル、云フ毛本成、各
本賊ニ作ル、下同シ。

此當時ノ人、信ノ威聲ヲ畏レ、自ラ其生業ヲ得ル能ハズ、皆耕ヲ輟メ束ヲ釋テ、其衣ヲ綌ニシ、其食ヲ甘ニシ、以テ苟モ旦夕ニ生シ、復タ久遠ノ計ヲ爲サザルヲ言フ。

然則何由ハ、顔師古曰、由ハ從ナリ、當ニ何ノ計ニ從フベキヲ言フ。醪兵ハ、余有丁曰、此上文、已ニ休兵ノ語アリ、此醪字當ニ劉解ニ依ルベシ、一例スベカゾ。

莫不輟耕釋耒。綌衣甘食。

索隱曰。綌。鄒氏音瑜。美也。恐滅亡不久。故廢止作業。而事美衣甘食。一曰。偷苟且也。慮不圖久故也。漢書

作靡衣。

傾耳以待命者。

如淳曰。恐滅亡不久故也。

若此將軍之所長也。然而衆勞

卒罷。其實難用。今將軍欲舉倦弊之兵。頓之燕堅城之下。欲戰

恐久力不能拔。情見勢屈。曠日糧竭。而弱燕不服。齊必距境以

自彊也。燕齊相持而不下。則劉項之權未有所分也。若此者將

軍所短也。臣愚竊以爲亦過矣。故善用兵者不以短擊長。而以

長擊短。韓信曰。然則何由。廣武君對曰。方今爲將軍計。莫如案

甲休兵。鎮趙撫其孤。百里之內。牛酒日至。以饗士大夫。醪兵。

賦曰。肴醪順時。劉逵曰。醪。酒也。○索隱曰。劉氏依劉逵作醪酒。謂以酒食

養兵士也。案史記古釋字皆如此。豈亦謂以酒食醪兵士。故字從酉乎。北首燕路。

曰。首音狩向也。而後遣辯士。奉咫尺之書。正義曰。咫尺。八寸言暴其所長於燕。

其簡牘或長尺也。

兵ノ妙ヲ證スルヲ觀、
且又書三篇ヲ著シ、諸
家ヲ序次シ、三十五家
ト爲ス、信ノ平日學問
本原、寄食辱ヲ受ル時、
權摩已ニ久シク、其百
萬ノ衆ヲ連ホ、戰ヘバ
必勝ヲ、攻レバ必取ル、
皆平日學問ニ本ヅキ、
危事ヲ以テ嘗試スル者
ニ非ルヲ見ル可シ。
所謂驅市人而戰之ハ、
顏師古曰、忽チ市廛ニ
入り、其人ヲ驅リテ以
テ戰ニ赴ク、モト習練
スル所ノ者ニ非ルヲ言
フ。

農夫莫不耰耕云云ハ、
胡三省曰、耰ハ摩ナリ、

辭謝曰。臣聞敗軍之將。不可以言勇。亡國之大夫。不可以圖存。
今臣敗亡之虜。何足以權大事乎。信曰。僕聞之。百里奚居虞而
虞亡。在秦而秦霸。非愚於虞。而智於秦也。用與不用。聽與不聽。
也。誠令成安君聽足下計。若信者。亦已爲禽矣。以不用足下。故
信得待耳。因固問曰。僕委心歸計。願足下勿辭。廣武君曰。臣聞
智者千慮。必有一失。愚者千慮。必有一得。故曰。狂夫之言。聖人
擇焉。顧恐臣計未必足用。願效愚忠。夫成安君有百戰百勝之
計。一旦而失之。軍敗鄙下。
李奇曰。鄙音
驛。今高邑是。身死泚上。今將軍涉西
河。
索隱曰。此之西河當馮翊也。○正
義曰。卽同州龍門河從夏陽度者。虜魏王。禽夏說。闕與一舉而下。井
陘。不終朝。破趙二十萬衆。誅成安君。名聞海內。威震天下。農夫

泚水上、札記、集解徐廣曰泚音遲、索隱徐廣音遲、劉氏音脂ト注ス、云フ合刻本皆脫ス。

休畢賀、札記云、宋本休字ナシ。

兵法不曰陷之死地而後生云云、王鳴盛曰、此二句、當ニ武經七書某篇ニ在ルベシ、記テ失シ考テ佚ツ、太史公自序云、漢興リ、蕭何律令ヲ次シ、韓信軍法ヲ申ブ、漢書藝文志、兵書ヲ分テ四種ト爲ス、一權謀内ニ、韓信三篇アリ、總論云、漢興リ、張良韓信兵法ヲ序次ス、凡百八十二家、要用ヲ刪取シ、定テ三十五家ヲ著スト、信兵法ヲ引キ、以テ自ラ其用

禁也。於是漢兵夾擊。大破虜趙軍。斬成安君泚水上。禽趙王歇。信乃令軍中毋殺廣武君。有能生得者購千金。於是有縛廣武君而致戲下者。信乃解其縛。東鄉坐。西鄉對。師事之。諸將效首虜。索隱曰。如淳云。效。致也。晉灼曰。效數也。鄭玄注禮。效猶呈見也。休畢賀因問信曰。兵法右倍山陵。前左水澤。今者將軍令臣等反背水陳。曰破趙會食。臣等不服。然竟以勝。此何術也。信曰。此在兵法。顧諸君不察耳。兵法不曰陷之死地而後生。置之亡地而後存。且信非得素拊循士大夫也。此所謂驅市人而戰之。其勢非置之死地。使人人自爲戰。今予之生地。皆走。寧尙可得而用之乎。諸將皆服曰。善。非臣所及也。於是信問廣武君曰。僕欲北攻燕。東伐齊。何若而有功。廣武君

接師事之

破趙會食

服虔曰。立駐傳。會食也。如淳曰。言破趙後。乃當共飽食也。

諸將皆莫信。佯應曰。諾。謂軍吏

曰。趙已先據便地爲壁。且彼未見吾大將旗鼓。未肯擊前行。恐

吾至阻險而還。信乃使萬人先行出背水陳。正義曰。綿蔓水一名阜將。一名洞星。自并州流入并

陘界。即信背水陣。陷之死地。即此水也。趙軍望見而大笑。平旦。信建大將之旗鼓。鼓行

出井陘口。趙開壁擊之。正義曰。恆州鹿泉縣。即六國時趙壁也。大戰良久。於是信張耳

佯弃鼓旗。走水上軍。水上軍開入之。復疾戰。趙果空壁爭漢鼓

旗。逐韓信張耳。韓信張耳已入水上軍。軍皆殊死戰。不可敗。信

所出奇兵二千騎。共候趙空壁逐利。則馳入趙壁。皆拔趙旗。立

漢赤幟二千。趙軍已不勝。不能得信等。欲還歸壁。壁皆漢赤幟。

而大驚。以爲漢皆已得趙王將矣。兵遂亂遁走。趙將雖斬之。不

信乃使萬人先行出背水陳。ハ、方苞曰。先行出。句ト爲ス。萬人チシテ先ツ行キテ井陘口ニ出テ、水ヲ背ニシテ陣セシメ、然ル後信鼓行シ以テ出ルナリ。
注一名洞星。札記洞星ニ作ル、云フ柯浚本洞ニ作ル。

殊死戰、顔師古曰、殊ハ絶ナリ、意チ必死ニ決スルヲ言フ。

倍則戰之、札記之字ナシ、云フ各本之字ナシ、雉志云、宋本無シ、上ニ涉リテ誤衍ス、御覽上兵部引テ無シ、漢書通典並ニ同ジ、顏師古曰、多キ十倍スル者、以テ城ヲ圍ムベシ、多キ一倍スル者、戰ヘバ則勝ツベキナ言フ。能ハ猶乃ノ如キナリ、古者聲近ク義通ズ。廣武君策不用、札記云、六字疑フ衍ナリ、當ニ是後人下知其不用句旁ニ注シ、誤テ正文ニ入ル、按ニ漢書此句ナシ。從閒道葦山而望趙軍ハ、方苞曰、山ニ依リ、草木ヲ用テ自ラ蔽ヒ、而テ趙軍ノ出入ヲ望マシムルナリ、山ニ登ル、故ニ遠ヲ望ム、蔽アリ故ニ趙軍覺ラズ。

頭。可致於戲下。願君畱意臣之計。否必爲二子所禽矣。成安君

儒者也。常稱義兵。不用詐謀奇計。曰吾聞兵法。十則圍之。倍則

戰之。今韓信兵號數萬。其實不過數千。能千里而襲我。亦已罷

極。今如此避而不擊。後有大者。何以加之。則諸侯謂吾怯。而輕

來伐我。不聽廣武君策。廣武君策不用。韓信使人閒視。知其不

用。還報。則大喜。乃敢引兵遂下。未至井陘口三十里

止舍。夜半傳發。選輕騎二千人。人持一赤幟。從閒道

葦山而望趙軍。陳餘軍營卽住。仍須隱山自蔽。勿令趙軍知也。蔽者。蓋覆也。楚漢春秋

作卑。葦山。漢書作葦。說文。誠曰。趙見我走。必空壁逐我。若疾入趙壁。拔趙

幟。立漢赤幟。令其裨將傳飡。曰。徐廣曰。音飡也。○索隱曰。如淳曰。小飯

曰飡。謂立駐傳飡。待破趙乃大食也。

今日

其精兵詣滎陽以距楚。信與張耳以兵數萬欲東下井陘擊趙。

索隱曰案地理志常山石邑縣井陘山在西又穆天子傳云至于陘山之隧升子三道之磴是也。

趙王成安君陳餘聞漢且襲

之也聚兵井陘口。

正義曰井陘故關在并州石艾縣陘東十八里卽井陘口。

號稱二十萬廣武君李

左車說成安君曰聞漢將韓信涉西河虜魏王禽夏說新喋血

關與。

索隱曰喋舊音歃非也案陳湯傳喋血萬里之外如淳云殺入血流滂沱也韋昭音徒協反。

今乃輔以張耳議欲下

趙此乘勝而去國遠鬪其鋒不可當臣聞千里餽糧士有飢色。

樵蘇後爨。

漢書音義曰樵取薪也蘇取草也。

師不宿飽今井陘之道車不得方軌騎

不得成列行數百里其勢糧食必在其後願足下假臣奇兵三

萬人從閒路絕其輜重足下深溝高壘堅營勿與戰彼前不得

鬪退不得還吾奇兵絕其後使野無所掠不至十日而兩將之

車不得方軌ハ、胡三省曰、方軌ハ、車併行スルヲ謂フ。

和^セ六月魏王豹謁歸視^ル親疾至^ニ國卽^チ絕河關^ヲ索隱曰今蒲津關反^シ漢與楚

約^ス和漢王使酈生說^ク豹不下^ラ其八月以信爲^シ左丞相擊^ツ魏魏王

盛^ニ兵蒲坂塞^ニ臨^ニ晉^ヲ索隱曰塞音先得反臨晉縣名在河東之東岸對舊關也信乃益爲^シ疑兵^ヲ漢書音義曰益張旌

旗以疑^フ陳船欲渡^ニ臨^ニ晉^ヲ索隱曰劉氏云陳船地名在舊關之西今之朝邑非也案敵者陳船欲渡^ニ臨^ニ晉^ヲ京兆有船司空縣不名陳船陳船者陳列船艘欲渡河也而

伏^シ兵從^テ夏陽以^ニ木罌^ヲ甌^ヲ渡^シ軍^ヲ徐廣曰甌一作缶服虔曰以木押縛罌甌以渡韋昭曰以木爲器如罌甌以渡軍無船且尙密也○

正義曰按韓信詐陳列船艘於臨晉欲渡河卽此從夏陽木押罌甌渡軍襲安邑臨晉同州東朝邑界夏陽在同州北渭城界

東北十里魏王豹驚引^キ兵迎^フ信信遂虜^ス豹^ヲ索隱曰劉氏云夏陽舊無船豹不備之而防臨晉耳今安邑被襲故豹遂

降^リ也定^メ魏爲^シ河東郡^ヲ正義曰理安邑縣故城漢王遣^ハ張耳與^ニ信俱引^キ兵東北擊^ツ

趙代^ヲ後九月破^リ代兵禽^ニ夏說^ヲ閼與^ヲ徐廣曰音余闕案李奇曰夏說代相也○索隱曰司馬彪郡國志上黨沾縣有閼與

聚閼音曷又音燭與音余又音預沾音他廉反○信義曰閼與聚城在潞州銅鞮縣西北二十里

信之下^ニ魏破^ル代漢輒使人收^メ

陳船欲渡臨晉、渡維陸日、索隱陳船ヲ以テ地名ト爲ス、謬ル甚シ。以木罌甌渡軍ハ、楊慎曰、罌甌百千ヲ取リ、木ヲ以テ之ヲ縛シ、水ニ浮ベ以テ缸ニ代フ、蓋軍事速ニ用テ成シ、器ヲ成スニ取ルナリ、韋昭ノ說ノ如キニ非ズ。顏師古曰、罌甌ハ、瓶ノ大腹小口ナルヲ謂フ。

三秦王ハ、章邯、司馬欣、董翳ナリ。
秋毫ハ、札記秋豪ニ作ル、云フ宋本中結遊王柯本、竝ニ同ジ、俗毫ニ作ル、顔師古曰、秋毫ハ微細ノ物ニ喩フ。

可傳檄而定也ハ、顔師古曰檄ハ檄書ヲ謂フ、傳檄可定ハ、兵ヲ用フルニ足ラザルヲ言フ。部署諸將所擊、部署ハ、顔師古曰、部分シテ之ヲ署置ス。

齊趙欲反漢ハ、札記欲ナ亦ニ作ル、云フ亦字、宋本中統游毛本同ジ、他本欲ニ誤ル。

髓。今楚彊以威王此三人秦民莫愛也。大王之入武關秋毫無所害。
索隱曰。案秋毫。秋乃成。王逸注。楚詞云。銳毛爲毫。夏落秋生也。除秦苛法。與秦民約。法三章耳。秦

民無不欲得大王王秦者。於諸侯之約。大王當王關中。關中民

咸知之。大王失職入漢中。秦民無不恨者。今大王舉而東。三秦

可傳檄而定也。
索隱曰。案說文云。檄。二尺書也。此云傳檄。謂爲檄書以責所伐者。於是漢王大喜。自以爲

得信晚。遂聽信計。部署諸將所擊。八月。漢王舉兵東出陳倉。
正義

曰。漢王從關北出岐州陳倉縣。定三秦。漢一一年。出關。
正義曰。出函谷關。收魏河南。韓殷王皆

降。合齊趙共擊楚。四月。至彭城。漢兵敗散而還。信復收兵。與漢

王會滎陽。復擊破楚。京索之間。以故楚兵卒不能西。漢之敗。卻

彭城。
正義曰。兵敗散。塞王欣。翟王翳。亡。漢降楚。齊趙欲反。漢與楚

彭城而卻退。

印刷弊ハ、胡三省曰、
初ハ手弄シテ角訛スル
ナリ、弊ハ、舊弊スル
ナリ。

有背義帝之約ハ、札記
云、有ハ又ト讀ム。

何所不誅、札記案隱何
不誅按劉氏云、何所
不誅也ト注シ、何所不
散、注索隱何不散、劉
氏云、注トアリ、云フ難
志云、注ナ案ズレバ、
則正文三所字ナシ、後
人之ヲ加フ、新書新序
並ニ無シ、按ニ漢書モ
亦ナシ、何所不散、通
鑑注劉貢父曰、何不
ハ、兵敵ナシ、諸侯
ノ兵敵シテ以テ散レ
ザルナキヲ言フナリ。

病涕泣分^{シテ}食飲^ヲ至^ル使^ム人有^テ功當^ニ封爵^ス者。印刷弊忍^{ストモ}不能^{シテ}予^ル。

漢書
音義

曰不^レ忍授。此所謂婦人之仁也。項王雖霸^{トシテ}天下^ニ而臣^{トスト}諸侯^ナ不^レ居^{シテ}關中^ニ。

而都^ス彭城^ニ有^テ背^ク義帝之約^ニ而以^ニ親愛^ヲ王^{トスル}諸侯^ナ不平^ニ。諸侯之見^ル項

王遷^ニ逐^{シテ}義帝^ヲ置^チ江南^ニ亦皆歸^{ツテ}逐^ヒ其主^ナ而自^{シテ}王^{ダリ}善地^ニ項王所過^ル無^ク

不^ル殘滅^セ者^ヲ天下^ニ多^ク怨^ミ百姓不^レ親附^セ特劫^{サル}於^ニ威彊^ニ耳。名雖^リ爲^リ霸^ヲ實

失^フ天下^ノ心^ヲ故曰其彊易^シ弱^メ今大王誠能反^シ其道^ニ任^ゼ天下^ノ武勇^ヲ何^ゾ

應轉

所^ヲ不^レ誅^セ以^ニ天下^ノ城邑^ヲ封^{ゼハ}功臣^ヲ何所^ヲ不^レ服^セ以^ニ義兵^ヲ從^フ思^フ東歸^ナ之士^ヲ

何所^ヲ不^レ散^セ。索隱曰劉氏云用東歸之兵擊^ム且^ツ三秦王爲^リ秦將^ト將^{ダル}秦子弟^ニ

東方之敵此敵無^ク不^レ散敗也。

數歲矣。所^ヲ殺亡^{スル}不可^フ勝^ル計^ニ又欺^ツ其衆^ヲ降^ル諸侯^ニ至^ニ新安^ニ項王詐^ツ坑^{ニス}

秦降卒二十餘萬唯獨邯欣翳得^レ脫^ル秦父兄怨^ミ此三人^ヲ痛^ミ入^ル骨

惟信亦爲大王不如也
ハ漢書惟チ唯ニ作リ、
句ト爲シ、注顔師古曰、
唯ハ應辭ト、札記云、
惟漢書唯ニ作ル、王本
雖ニ作ル、唯雖字形相
近シ、古亦通用ス、漢
書ニ見ユ。

是王欲召信拜之。何曰。王素慢無禮。今拜大將。如呼小兒耳。此乃信所以去也。王必欲拜之。擇良日齋戒。設壇場具禮。乃可耳。

筆摸寫情事

王許之。諸將皆喜。人人各自以爲得大將至拜大將。乃韓信也。

一本無韓字

一軍皆驚。信拜禮畢。上坐。王曰。丞相數言將軍。將軍何以教寡

人計策。信謝。因問王曰。今東鄉爭權天下。豈非項王邪。漢王曰。

然。曰。大王自料勇悍仁彊。孰與項王。漢王默然良久曰。不如也。

信再拜賀曰。惟信亦爲大王不如也。然臣嘗事之。請言項王之

一本亦下有以字

爲人也。項王暗噁叱咤千人皆廢。

晉灼曰。廢。不收也。○索隱曰。暗於鳩反。噁烏路反。叱昌栗反。咤卓嫁反。咤或作吒。暗

噁。懷怒氣叱咤。發怒聲。孟康曰。廢。伏也。張晏曰。廢。偃也。然不能任屬賢將。此特匹夫之勇耳。項王

見人恭敬慈憂。言語嘔嘔。

音句于反。○索隱曰。嘔音吁。嘔嘔。猶嘔嘔也。漢書作灼。鄧展曰。灼灼和好貌也。

人有疾

諸將行道亡者ハ、漢書
行字ナシ。

國士無雙ハ、顏師古曰、
國家ノ奇士ト爲ス、胡
三省曰、何言フ、漢國
ノ士、僅ニ信一人アリ、
他ハ與ニ比スルナキナ
リ。

也。信數與蕭何語。何奇之。至南鄭。諸將行道亡者數十人。信度

等指滕公

何等已數言上。上不我用。即亡。何聞信亡。不及以聞。自追之。人

有言上。曰丞相何亡。上大怒。如失左右手。居一二日。何來謁上。

上且怒且喜。罵何曰。若亡何也。何曰。臣不敢亡也。臣追亡者。上

曰。若所追者誰。何曰。韓信也。上復罵曰。諸將亡者以十數。公無

所追。追信詐也。何曰。諸將易得耳。至如信者。國士無雙。王必欲

四字兩語

長王漢中。無所事信。文穎曰。事猶業也。必欲爭天下。非信無所與計。

張晏曰。無事用信。

事者。顧王策安所決耳。王曰。吾亦欲東耳。安能鬱鬱久居此乎。

何曰。王計必欲東。能用信。信即留。不能用。信終亡耳。王曰。吾爲

公以爲將。何曰。雖爲將。信必不留。王曰。以爲大將。何曰。幸甚。於

王孫而進食。

蘇林曰。如言公子也。○索隱曰。劉德曰。秦末多失國。言王孫公子尊之也。張晏曰。字王孫。非也。

豈望報乎。淮陰

屠中少年有侮信者。曰。若雖長大。好帶刀劍。中情怯耳。衆辱之。

曰。信能死。刺我。不能死。出我袴下。

徐廣曰。袴一作騰。騰。股也。音同。又云。漢書作跨。同耳。○索隱曰。音枯。化反。然尋此

文作袴。欲依字讀。何爲不通。袴下。卽跨下也。何必須要作跨下。

於是信孰視之。俛出袴下。蒲伏。

正義曰。俛音俯。伏房六反。

一市人皆笑信。以爲怯。及項梁渡淮。信杖劍從之。居戲下。

徐廣曰。戲

信杖劍從之。顏師古曰。直一劍。帶。更。餘貨。ナキ。ナ言フ。

一作

無所知名。項梁敗。又屬項羽。

羽以爲郎中。數以策干項羽。

羽不用。漢王之入蜀。信亡楚歸漢。未得知名。爲連敖。

徐廣曰。典客也。○索隱曰。

適見滕公。滕公ハ夏侯嬰ナリ。初メ高祖ニ從テ滕令ト爲ル。故ニ滕公ト號ス。

李奇云。楚官名。坐法當斬。其輩十三人皆已斬。次至信。信乃仰視。適

見滕公。曰。上不欲就天下乎。何爲斬壯士。滕公奇其言。壯其貌。

連用三奇字

釋而不斬。與語大說之。言於上。上拜以爲治粟都尉。上未之奇。

史記評林卷之九十二

淮陰侯列傳第三十二

淮陰侯韓信者。淮陰人也。

正義曰。楚州淮陰縣也。

始爲布衣時。貧無行。不得

推擇爲吏。

李奇曰。無善行。可推舉選擇。

又不能治生商賈。常從人寄食。飲人多

厭之者。常數從其下鄉南昌亭長寄食。

張晏曰。下鄉縣屬淮陰也。○索隱曰。案楚漢春秋。南昌作新昌。亭長

者。主亭之吏也。

數月。亭長妻患之。乃晨炊蓐食。

張晏曰。未起而牀蓐中食。

食時信往。不爲

具食。信亦知其意。怒。竟絕去。信釣於城下。

正義曰。淮陰城北臨淮水。昔信去下鄉而釣於此。

諸

母漂。

韋昭曰。以水擊絮爲漂。故曰漂母。

有一母。見信飢餓。飯信。竟漂數十日。信喜。謂漂

母曰。吾必有以重報母。母怒曰。大丈夫不能自食。

正義曰。音寺。

吾哀

無行ハ、胡三省曰、善行ノ推擇スベキ無キヲ言フ。
治生商賈ハ、顏師古曰、行賈ヲ商ト曰ヒ、坐販ヲ賈ト曰フ。

妬媚生患注索隱不得言
妬媚是媚也、札記云、
此二據レバ、是舊本誤
テ妬媚ニ作ル者アルナ
リ。

太史公曰。英布者。其先豈春秋所見楚滅英。六皐陶之後哉。身
被刑法。何其拔興之暴也。カナルヤ 索隱曰。拔音
白曷反。疾也。項氏之所坑殺人以千萬

數。而布常爲首虐。功冠諸侯。用此得王。亦不免於身。爲世大僂。

禍之興。自愛姬殖。妬媚生患。竟以滅國。媚音冒。媚亦妬也。○索隱曰。漢書
外戚傳亦云。成結寵妾妬媚之誅。

又論衡云。妬夫媚婦。則媚是妬之別名。今原英布之誅。爲疑賁赫與其姬妃有亂。故至滅國。所
以不得言妬媚是媚也。一云。男妬曰媚。

索隱述贊曰。九江初筮。當刑而王。既免徒中。聚盜江上。每雄楚卒。頻破秦將。病爲羽疑。歸受
漢杖。賁赫見毀。卒致無妄。

黃震曰。布起驪山之徒。以兵屬項氏。嘗爲軍鋒。得國九江。南面稱孤矣。漢使隋何說之
歸漢。遂滅楚垓下。王淮南。及信越誅。而布大恐。幸姬啓覺。竟以反誅。愚謂布非反漢。漢
非少恩。勢使然耳。夫布於漢。非蕭曹素臣服者比也。羣起逐鹿。成者帝。敗者族。方雌雄
未決。不得已資之以濟吾事。事濟矣。同起事者猶在。則此心不能一日安。其勢不盡族
之不止也。故夫乘時微危者。未有不滅其身。惟嬰母之賢。爲不可及也已。

史記評林卷之九十一終

通鑑四會類注索隱、札記音保ノ下鉦下亭名四字アリ、非也二字ナシ、遂ヲ逐ニ作ル、云フ鉦疑フ鉦ノ譌ナリ、漢志鉦鉦皆沛ニ屬ス、蕢垂郷、高祖黥布ヲ破ル、都尉ノ治ト、蓋地近シ、上邳壁庸城ハ、胡三省曰、布ノ軍銳甚シキヲ以テ故ニ壁ヲ堅リシテ以テ之ヲ挫ク。

漢書音義曰。謂散滅之地。○正義曰。魏武帝注孫子曰。卒戀土地。道近而易敗散。

今別爲三。彼敗吾一軍。餘皆走安。

能相救。不聽。布果破其一軍。其二軍散走。遂西與上兵遇。斬西

會甄。索隱曰。上古外反。下持瑞反。韋昭云。斬之鄉名。漢書作璽。布兵精甚。上迺壁

庸城。鄧展曰。地名也。望布軍。置陳如項籍軍。上惡之。與布相望見。遙謂

布曰。何苦而反。布曰。欲爲帝耳。上怒罵之。遂大戰。布軍敗走。渡

淮。數止戰。不利。與百餘人走江南。布故與番君婚。以故長沙哀

王使人給布僞與亡。徐廣曰。表云。成王臣吳芮之子也。黥案晉灼曰。芮之孫同。或曰。是成王。非哀王也。傳誤也。誘走越。故

信而隨之。番陽。索隱曰。番陽。番陽人殺布。茲鄉民田舍。正義曰。英布

陽縣北百五十里十三步。遂滅黥布。立皇子長爲淮南王。封賁赫爲期思侯。正

曰。期思故城在光州固始縣界。諸將率多以功封者。漢書曰。將率封者六人。

歸シ、以テ自ラ厚ウシ、
深固取ルベカラザルノ
計ヲ爲スチ策ス、布長
沙王ニ娶ル、故ニ其身
長沙ニ歸ルチ策ス、薛
公其麗山ノ徒ニ出テ、
慮遠ニ及バサルチ料ル
ナリ。
歸重於越ノ重ハ、輜重
ナリ。

遮要爭利者也。下計云。取吳下蔡。據長沙。以臨越。
此守邊隅。趨作野者也。○索隱曰。野音烏。卦反。

上曰。是計將安出。令尹對曰。

出下計。上曰。何謂廢上中計。而出下計。令尹曰。布故麗山之徒

也。自致萬乘之主。此皆爲身。不顧後。爲百姓萬世慮者也。故曰

出下計。上曰善。封薛公千戶。
索隱曰。劉氏云。薛公得封千戶。蓋關內侯也。迺立皇子長爲

淮南王。上遂發兵。自將東擊布。布之初反。謂其將曰。上老矣。厭

兵。必不能來。使諸將。諸將獨患淮陰彭越。今皆已死。餘不足畏

也。故遂反。果如薛公籌之。東擊荊。荊王劉賈走死富陵。
正義曰。故城在楚州

盱眙縣東。盡劫其兵。渡淮。擊楚。楚發兵與戰。徐僮閒。
如淳曰。地名也。○索隱曰。案地理志。

北六十里。臨淮有徐縣僮縣。○正義曰。杜預云。徐在下。邳僮縣東。
括地志云。大徐城在泗州徐城縣北四十里。古徐國也。

爲三軍。欲以相救爲奇。或說楚將曰。布善用兵。民素畏之。且兵法諸侯戰其地。爲散地。

爲三軍。欲以相救爲奇。
顏師古曰。一處二聚。
ラズ。而テ分テ三ト爲シ、
互ニ相救ヒ、奇兵ニ出
ント欲スルナリ。

東取吳西取楚并齊取魯
 云云ハ、胡三省曰、齊ハ
 齊王肥所封ノ地、魯亦
 楚境ニ入ル、韓地ハ時
 ニ以テ淮陽國ニ益シ、
 魏地ハ梁王友ノ所封ナ
 リ、下蔡縣ハ沛郡ニ屬
 ス、越ハ會稽ノ地ナリ、
 長沙ハ吳芮所封ノ國、
 時ニ其子臣嗣封ス、黥
 布六ニ郡ス、淮ナ阻シ
 テ固ト爲ス、故ニ其西
 下蔡ヲ取リ、東劉賈ヲ
 取リ、以テ全淮ニ據ル
 ナ策ス、越ハ東南ニ在
 リ、故ニ其輜重ヲ越ニ

言之上曰。臣客故楚令尹薛公者。其人有籌策之計。可問。上迺

召見問薛公。薛公對曰。布反不足怪也。使布出於上計。山東非

漢之有也。出於中計。勝敗之數。未可知也。出於下計。陛下安枕

而臥矣。上曰。何謂上計。令尹對曰。東取吳。正義曰。荆王劉賈都吳。蘇州闔廬城也。西取

楚。正義曰。楚王劉交都徐州下邳。并齊取魯。傳檄燕趙。固守其所。山東非漢之有

也。何謂中計。東取吳。西取楚。并韓取魏。據敖倉之粟。索隱曰。案太康地記云。秦

建敖倉於成臯。又立塞成臯之口。勝敗之數。未可知也。何謂下計。東

取吳。西取下蔡。正義曰。古州來國。歸重於越。身歸長沙。正義曰。今潭州。陛下安枕

而臥。漢無事矣。桓譚新論曰。世有圍碁之戲。或言是兵法之類也。及爲碁。上者碁

疏張置以會圍。因而成。多得道之勝。中者則務相絕遮。要以爭便求利。故勝負狐疑。須計數而定。下者則守邊隅。趨作罽。以自生於小地。然亦必不如察。薛公之言

微驗淮南王ハ、顔師古曰、微驗ハ其事ヲ顯言セザルナリ。

固當反ハ、札記固チ故ニ作ル、云フ宋本毛本故、各本固ニ作ル。

言此三人者、札記言字ナシ、云フ各本此上言字ヲ衍ス、宋本舊刻ナシ。

欲捕赫。赫言變事。乘傳詣長安。布使人追不及。赫至上。變言布

謀反有端。可先未發誅也。上讀其書。語蕭相國。相國曰。布不宜

有此。恐仇怨妄誣之。請繫赫。使人微驗淮南王。不顯言其事曰微驗

見赫以罪亡上。變固已疑其言。國陰事。漢使又來。頗有所驗。遂

族赫家。發兵反。反書聞。上迺赦責赫。以爲將軍。上召諸將問曰。

布反。爲之奈何。皆曰。發兵擊之。坑豎子耳。何能爲乎。汝陰侯滕

公召故楚令尹問之。令尹曰。是固當反。滕公曰。上裂地而王之。

疏爵而貴之。漢書音義曰。疏。分也。禹決江疏河是也。○索隱曰。尙書曰。列爵惟五。分土惟三。按裂地。是對文。故知疏卽分也。南面而立。萬

乘之主。其反何也。令尹曰。往年殺彭越。前年殺韓信。張晏曰。往年。前年同耳。使

文相言此三人者。同功一體之人也。自疑禍及身故反耳。滕公

避也。

誅梁王彭越醢之ハ、顔師古曰反者誅セラル、皆以テ醢ト爲ス、卽刑法志ニ云フ所ノ、其骨肉ヲ茹ス、是ナリ、按ニ醢音海、肉醬ナリ。候何旁郡警急ハ、顔師古曰、收捕セラルルヲ恐レ、卽兵ヲ發シテ反セント欲スルナリ。

何曰。陛下使何與二十人使淮南。至如陛下之意。是何之功。賢於步卒五萬人。騎五千也。然而陛下謂何腐儒。爲天下安用腐儒。何也。上曰。吾方圖子之功。迺以隨何爲護軍中尉。布遂剖符爲淮南王。都六。九江廬江衡山豫章郡皆屬布。七年。朝陳。八年。朝雒陽。九年。朝長安。十一年。高后誅淮陰侯。布因心恐。夏。漢誅梁王彭越。醢之。盛其醢。徧賜諸侯。至淮南。淮南王方獵。見醢。因大恐。陰令人部聚兵。候伺旁郡警急。張晏曰。欲有所會。布所幸姬疾。請就醫。醫家與中大夫賁赫對門。徐廣曰。賁音肥。○姬數如醫家。賁赫自以爲侍中。迺厚餽遺。從姬飲。醫家姬侍王。從容語次。譽赫長者也。王怒曰。汝安從知之。具說狀。王疑其與亂。赫恐稱病。王愈怒。

布甚大怒ハ、札記云、甚大當ニ其一ヲ衍スベシ、漢書大怒ニ作ル、按ズルニ、此亦旁注ノ混并ナリ。
踞牀洗ハ、顏師古曰、洗ハ足ヲ濯フナリ。
帳御ハ、胡三省曰、帳ハ今ノ帳設ノ若キナリ、御ハ服御ナリ。

年十
二月。上方踞牀洗。召布入見。布甚大怒。悔來欲自殺。出就舍。帳

御飲食從官如漢王居。布又大喜過望。正義曰。高祖以布先分爲王。恐其自尊大。故峻禮令布折服。已而美

其帷帳。厚其飲食。多其從官。以悅其心。權道也。於是迺使人入九江。楚已使項伯收九江兵。

盡殺布妻子。布使者頗得故人幸臣。將衆數千人歸漢。漢益分

布兵而與俱北收兵。至成臯。四年七月。立布爲淮南王。與擊項

籍。漢五年。布使人入九江。得數縣。六年。布與劉賈入九江。誘大

司馬周殷。周殷反楚。遂舉九江兵與漢擊楚。破之垓下。項籍死。

天下定。上置酒。上折隨何之功。謂何爲腐儒。爲天下安用腐儒。

索隱曰。腐音輔。謂之腐儒者。言如腐敗之物不任用也。隨何跪曰。夫陛下引兵攻彭城。楚王未去

齊也。陛下發步卒五萬人騎五千。能以取淮南乎。上曰。不能。隨

上折隨何之功云云ハ、
凌稚隆曰、高帝モト儒
ヲ喜バズ、而ルヲ況ヤ
天下已ニ定ルヲヤ、何
ナ折ク、誠ニ本心ナリ、
吾方ニ子ノ功ヲ圖ラン
ト曰フ若キ、又帝ノ臣
ボラ駕馭スル所以ノ
ミ。

事以構、以ハ已ナリ、漢書札記設ニ已ニ作ル、顔師古曰、構ハ結ナリ、楚ニ背クノ事、已ニ結成スルヲ言フ。

王發兵而倍楚。項王必留。留數月。漢之取天下。可以萬全。臣請
 與大王提劔而歸漢。漢王必裂地而封大王。又況淮南淮南必
 大王有也。故漢王敬使使臣進愚計。願大王之留意也。淮南王
 曰。請奉命。陰許畔楚與漢。未敢泄也。楚使者在。文穎曰。在甚詳次。淮南王所。方急責
 英布發兵。舍傳舍。隨何直入坐。楚使者上坐。曰。九江王已歸漢。
 楚何以得發兵。布愕然。楚使者起。何因說布曰。事以構。索隱曰。構。成也。
 可遂殺楚使。無使歸。而疾走漢并力。索隱曰。走音奏。向也。布曰。如使。使者教。
 因起兵而擊之耳。於是殺使者。因起兵而攻楚。楚使項聲龍且
 攻淮南。項王留而攻下邑。正義曰。宋州碭山縣。數月。龍且擊淮南。破布軍。布
 欲引兵走漢。恐楚王殺之。故閒行。與何俱歸漢。淮南王至。徐廣曰。三

期其與漢

以漢爲弱也。夫楚兵雖彊。天下負之以不義之名。索隱曰。負猶被也。以不義被其身。

以其背盟約而殺義帝也。然而楚王恃戰勝自彊。漢王收諸侯。

還守成皐滎陽。下蜀漢之粟。深溝壁壘。分卒守徼乘塞。索隱曰。徼謂邊境亭

鄣。以徼繞邊陲常守之也。楚人還兵。閒以梁地深入敵國八九百里。晏張

乘者登也。登塞垣而守之。從齊還。當經梁地八九百里。迺得羽地。索隱曰。案服虔曰。梁在楚漢之中央。欲戰則不得。攻城則力不能。老弱轉

糧千里之外。楚兵至滎陽成皐。漢堅守而不動。進則不得攻。退

則不得解。故曰。楚兵不足恃也。徐廣曰。恃一作罷。言其已困不足復。一轉又明切使楚

勝漢。則諸侯自危懼而相救。夫楚之彊適足以致天下之兵耳。

故楚不如漢。其勢易見也。今大王不與萬全之漢而自託於危

亡之楚。臣竊爲大王惑之。臣非以淮南之兵足以亡楚也。夫大

深入敵國八九百里ハ、
胡三省曰、楚彭城ヨリ
成皐滎陽ニ至ル、中間
梁ノ地アリテ之ヲ閒
ツ、彭越時ニ梁地ニ反
ス、是楚ノ敵國ナリ、
故ニ云フ。

淮南王曰ハ即九江王英布也。九江ハ淮南ノ地、且布後ニ淮南王ト爲ル、故ニ之ヲ稱ス、通鑑改テ九江王ニ作ル、是ニ似タリ。

騷淮南之兵、騷ハ掃ナリ、漢書掃ニ作ル、顏師古曰、掃ハ悉ク之ヲ舉ゲテ地ヲ掃ク如キヲ謂フ。

垂拱而觀其孰勝ハ、顏師古曰、手ヲ斂ムルヲ拱ト曰フ、孰ハ誰ナリ、動搖セズ、坐シテ成敗ヲ觀ルヲ言フ、胡三省曰、垂ハ衣ヲ垂ルルナリ。

使何等二十人伏斧質淮南市。以明王倍漢而與楚也。太宰適言之王。王見之。隨何曰。漢王使臣敬進書大王御者。竊怪大王與楚何親也。淮南王曰。寡人北鄉而臣事之。隨何曰。大王與項王俱列爲諸侯。北鄉而臣事之。必以楚爲彊。可以託國也。項王伐齊。身負板築。李奇曰。板。牆板也。築。杵也。以爲士卒先。大王宜悉淮南之衆。身自將之。爲楚軍前鋒。今迺發四千人以助楚。夫北面而臣事人者。固若是乎。夫漢王戰於彭城。項王未出齊也。大王宜騷淮南之兵。騷音掃。渡淮。日夜會戰彭城下。大王撫萬人之衆。無一人渡淮者。垂拱而觀其孰勝。夫託國於人者。固若是乎。大王提空名以鄉楚。而欲厚自託。臣竊爲大王不取也。然而大王不背楚者。

人行漢之敗楚彭城。布又稱病不佐楚。項王由此怨布。數使使者誚讓召布。漢書音義曰。誚責也。布愈恐。不敢往。項王方北憂齊趙。西患

漢。所與者獨九江王。又多布材。欲親用之。以故未擊。漢三年。漢

王擊楚。大戰彭城。不利。出梁地至虞。正義曰。今宋州虞城也。謂左右曰。索隱曰。案

謂隨何。如彼等者。無足與計。天下事。謁者隨何進曰。不審陛下所

謂。漢王曰。孰能爲我使淮南。令之發兵倍楚。畱項王於齊數月。

我之取天下。可以百全。隨何曰。臣請使之。迺與二十人俱使淮

南。至。因太宰主之。漢書音義曰。淮南太宰作內主也。韋昭曰。主舍也。○索隱曰。太宰。掌膳食之官。三日不得見。隨

何因說太宰曰。王不見何。必以楚爲彊。以漢爲弱。此臣之所

以爲使。使何得見言之。而是邪。是大王所欲聞也。言之而非邪。

因太宰主之ハ、顔師古曰、太宰ハ具食ノ官、信使國ニ入ル、必人ヲシテ之ガ主ヲラシム、何時ニ布太宰ヲシテ、何ニ主ヲラシムルナリ。此臣之所以爲使ハ、顔師古曰、此事正ニ是臣爲ニ來リ、之ヲ言ハント欲スル所ナリ。

使布先涉渡河ハ、札記
涉字、シ、云フ各本渡
上涉字ヲ衍ス、宋本舊
刻ナシ、漢書ヲ按ズル
ニ、先涉河ニ作ル、此
後人旁注ヲ混并ス、顔
師古曰、涉ハ、舟楫ナ
クシテ渡ルヲ謂フ。

布常爲軍鋒ハ、漢書前
鋒ニ作ル、札記云、注
索隱前簿、考證云、今
漢書鋒ニ作ル、
皆誤戲下、戲ハ地名、
項羽陣スル所ナリ。

項籍ニ項籍使布先涉ニ渡河ニ擊秦ニ布數有利ニ籍迺悉引兵ニ涉河ニ從

之ニ遂破秦軍ニ降章邯等ニ楚兵常勝ニ功冠諸侯ニ諸侯兵皆以服屬

楚者ニ以布數ニ以少敗衆也ニ項籍之引兵西至新安ニ正義曰新安故城在河南府滎池縣

東二十里ニ又使布等夜擊坑章邯秦卒二十餘萬人ニ至關不得入

又使布等先從間道破關下軍ニ索隱曰鄒氏云間音閑閑謂私也今以閒音紀莫反間道即他道也猶若反間之義

遂得入至咸陽布常爲軍鋒ニ索隱曰案漢書作楚軍前簿簿者鹵簿

布爲九江王都六漢元年四月諸侯皆罷戲下各就國項氏立

懷王爲義帝徙都長沙迺陰令九江王布等行擊之其八月布

使將擊義帝追殺之郴縣ニ正義曰郴丑林反今郴州有義帝冢及祠

畔楚項王往擊齊徵兵九江九江王布稱病不往遣將將數千

伏後布故與番君姪案

布迺見番君。與其衆叛秦。聚兵數千人。番君以其女妻之。章邯

之滅陳勝。破呂臣軍。布乃引兵北擊秦。左右校破之。清波引兵

而東。聞項梁定江東會稽。正義曰。時會稽郡所理在吳閶閭城中。涉江而西。陳嬰以項

氏世爲楚將。迺以兵屬項梁。渡淮南。英布蒲將軍亦以兵屬項

梁。項梁涉淮而西。擊景駒。秦嘉等布常冠軍。項梁至薛。正義曰。薛古城在徐

州滕縣界也。聞陳王定死。迺立楚懷王。項梁號爲武信君。英布爲當陽

君。正義曰。南郡當陽縣也。項梁敗死。定陶懷王徙都彭城。諸將英布亦皆保

聚彭城。當是時。秦急圍趙。趙數使人請救。懷王使宋義爲上將。

范增爲末將。項籍爲次將。英布蒲將軍皆爲將軍。悉屬宋義。北

救趙。及項籍殺宋義於河上。懷王因立籍爲上將軍。諸將皆屬

史記評林卷之九十一

黥布列傳第三十一

黥布者。六人也。姓英氏。

索隱曰。地理志云。廬江有六縣。蘇林曰。今爲六安也。布本姓英。英國名也。咎繇之後。布以少時有人。相云當刑而王。

故漢雜事云。布改姓黥。以厭當之也。○正義曰。故六城在壽州安豐縣西南百三十三里。按黥布封淮南王都六。卽此城。又春秋傳。六與蓼咎繇之後。或封於英六。蓋英後改爲蓼也。

秦時爲布衣。少年有客相之。曰伏後誅案當刑而王。及壯。坐法。黥布欣然。

笑曰。人相我。當刑而王。幾是乎。

徐廣曰。幾一作豈。駟謂幾近也。○索隱曰。臣贊音機。楚漢春秋作豈是乎。故徐廣云。一作

豈。劉氏音祈。祈者。語辭也。義亦通。

人有聞者。共俳笑之。

索隱曰。謂衆共以俳優輩笑之。

布已論輸麗山。

正義曰。言布論決受黥。竟麗山作陵也。時會稽郡輸身徒。

麗山之徒數十萬人。布皆與其徒長豪桀。

交通。迺率其曹偶。亡之江中。爲羣盜。

索隱曰。曹輩也。偶。客類也。謂徒之輩類。陳勝之起也。

共俳笑之ハ、史游急就
驚云、倡優俳笑、是優
俳一物而二名也ト、漢
書戲笑ニ作ル。
論輸麗山、麗山ハ驛山
ナリ、頗師古曰、驛ア
リ論決セラレ、而テ驛
山ニ輪作ス。

之上乃可。遂夷越宗族。國除。

太史公曰。魏豹彭越雖故賤。然已席卷千里。

正義曰。言魏地闊千里。如席卷舒。

南面

稱孤。喋血乘勝。日有聞矣。

徐廣曰。一作喋。韓傳亦有喋血語也。○索隱曰。音牒。喋猶踐也。絞敵踐血而行。孝文紀。喋血京師是也。

懷畔逆之意。及敗不死。而虜囚。身被刑戮。何哉。中材已上。且羞

其行。況王者乎。彼無異故。智略絕人。獨患無身耳。得攝尺寸之

柄。其雲蒸龍變。欲有所會其度。以故幽囚而不辭云。

索隱述贊曰。魏咎兄弟。因時而王。豹後屬楚。其國遂亡。仲起昌邑。歸漢外黃。往來聲援。再續軍糧。徵兵不往。蒞醢何傷。

楊慎曰。此贊曲折意甚奇。能言豪傑意中事。取于衆人所不取。亦其素意如此。獨患無身耳。五字極備。雲蒸龍變又怪。其度二字不可解。意云度其故亮以此也。

獨患無身耳ハ、蓋越等
ノ囚虜ニ甘シテ死セ
ザル者ハ、獨リ其死シ
テ身ノ亡ブルヲ患フル
ノミ、身ニシテ有ラシ
メバ、爲ス所アラナ
クスルヲ言フナリ。

史記評林卷之九十終

邯鄲。高帝怒。使人讓梁王。梁王恐。欲自往謝。其將扈輒曰。王始

不往。見讓而往。往則為禽矣。不如遂發兵反。梁王不聽。稱病。梁

王怒其太僕。欲斬之。太僕亡走漢。告梁王與扈輒謀反。於是上

使使掩梁王。梁王不覺。捕梁王囚之雒陽。有司治反形已具。張晏

曰。扈輒勸越反。不聽。而云反形已具。有司非也。

瓚曰。扈輒勸越反。而越不誅輒。是反形已具。

請論如法。上赦以為庶人。傳

處蜀青衣。

文穎曰。青衣縣名。在蜀。瓚曰。今漢嘉是也。○索隱曰。蘇林云。縣名。今為臨邛。瓚說為是。

西至鄭。

索隱曰。地理志云。鄭屬京兆。○正義

曰。華州。

逢呂后從長安來。欲之雒陽。道見彭王。彭王為呂后泣涕。

自言無罪。願處故昌邑。呂后許諾。與俱東至雒陽。呂后白上曰。

彭王壯士。今徙之蜀。此自遺患。

正義曰。上唯季反。

不如遂誅之。妾謹與俱

來。於是呂后乃令其舍人告彭越復謀反。廷尉王恬開奏請族

各本地字ヲ脱ス、官本アリ、注苑丘ヲ宛丘ニ作ル、云フ官本宛ニ作ル。

五年項籍已死、札記云、五年ハ衍ナリ、上已ニ書ス。

侯曰。齊王信之立。非君王之意。信亦不自堅。彭越本定梁地。功

多。始君王以魏豹故。拜彭越爲魏相國。今豹死母後。且越亦欲

王。而君王不蚤定。與此兩國約。卽勝楚。睢陽以北至穀城。正義曰。從

宋州已北。至鄆州以西。皆以王彭相國。從陳以東傳海。傳音附。○正義曰。從

徐淮北之地。東至海。并淮南淮陰之邑。盡與韓信。韓信又先有故齊舊地。與齊王信。齊王信家在楚。此其意欲

復得故邑。君王能出捐此地。許二人。二人今可致。卽不能。事未

可知也。於是漢王乃發使。使彭越如留侯策。使者至。彭越乃悉

引兵會垓下。正義曰。在亳州也。遂破楚。五年。項籍已死。春立彭越爲梁王。

都定陶。正義曰。曹州。六年。朝陳。九年。十年。皆來朝長安。十年秋。陳豨

反。代地。高帝自往。擊至邯鄲。徵兵梁王。梁王稱病。使將將兵詣

越チ爲ニ魏レ相國ト。擅ニ將キ其兵ヲ略定ス梁地ヲ。索隱曰。擅。猶專也。漢王之敗レ彭城ニ。解而

西也。彭越皆復亡ニ其所下城ヲ。獨將キ其兵北居ル河上。正義曰。滑州河上。漢王

三年。彭越常往來爲ニ漢游兵ト。擊楚ヲ。絕其後糧於ニ梁地ニ。漢四年冬。

項王與漢王相距滎陽。彭越攻下ニ睢陽外黃十七城ヲ。正義曰。睢陽宋州宋城也。

外黃在汴州項王聞之。乃使曹咎守城皐。正義曰。河南府汜水也。自東收彭越

所下城邑。皆復爲楚。正義曰。爲于僞反。越將其兵北走穀城。正義曰。在齊州東阿縣東三十六里

是。漢五年秋。項王之南走陽夏。正義曰。夏古雅反。陳州太康縣也。彭越復下昌邑旁

二十餘城。得穀十餘萬斛。以給漢王食。漢王敗。使使召彭越。并

力擊楚。越曰。魏地初定。尙畏楚。未可去。漢王追楚。爲項籍所敗。

固陵。正義曰。固陵名。在陳州苑丘縣西北三十二里。乃謂留侯曰。諸侯兵不從。爲之奈何。留

使曹咎守城皐、札記城
チ成ニ作ル、云フ官本
成、各本城ニ作ル。

固陵注正義固陵名、札
記名上地字アリ、云フ

漢乃使人賜彭越將軍印、札記云、漢字衍ナリ、按ニ漢書ハ漢字アリ、通鑑ハ田榮與越將軍印ニ作ル。

期而多後。不可盡誅。誅最後者一人。令校長斬之。皆笑曰。何至

是。請後不敢。於是越乃引一人斬之。設壇祭。乃令徒屬。徒屬皆

大驚。畏越莫散。仰視乃行。略地。收諸侯散卒。得千餘人。沛公之

從。碭北擊昌邑。正義曰。碭音唐郎。反。宋州碭山縣。彭越助之。昌邑未下。沛公引兵西。

彭越亦將其衆居鉅野中。收魏散卒。項籍入關。王諸侯。還歸。彭

越衆萬餘人。母所屬漢。元年秋。齊王田榮畔項王。漢乃使人賜

彭越將軍印。使下濟陰。以擊楚。楚命蕭公角將兵擊越。正義曰。蕭縣令。楚縣

令稱公。勝越大破楚軍。漢王二年春。與魏王豹及諸侯東擊楚。彭越

將其兵三萬餘人。歸漢於外黃。漢王曰。彭將軍收魏地。得十餘

城。欲急立魏後。今西魏王豹。亦魏王咎從弟也。真魏後。乃拜彭

曰。莊子云。無異騏驥之馳過隙。則謂馬也。小顏云。白駒。謂日影也。隙。壁隙也。以言速疾。若日影過壁隙也。

今漢王慢而侮人。罵詈諸

侯羣臣。如罵奴耳。非有上下禮節也。吾不忍復見也。於是漢王

遣韓信擊虜豹於河東。

徐廣曰。二年九月也。

傳詣滎陽。以豹國爲郡。

高祖本紀曰。置三郡。

河東太原上黨。

漢王令豹守滎陽。

詳項羽本紀。

楚圍之急。周苛遂殺魏豹。

彭越者。昌邑人也。

正義曰。漢武更山陽爲昌國。有楚丘鄉。梁丘故城。在曹州城武縣東北三十三里。

字仲。常漁鉅野

澤中。爲羣盜。陳勝項梁之起。少年或謂越曰。諸豪桀相立。畔秦。

仲可以來。亦效之。彭越曰。兩龍方鬪。且待之。居歲餘。澤閒少年

相聚百餘人。往從彭越。曰。請仲爲長。越謝曰。臣不願與諸君。小

年彊請。乃許。與期。旦日日出會。後期者斬。

索隱曰。旦日。謂明日之朝日出時也。

旦日日

出。十餘人後。後者至日中。於是越謝曰。臣老。諸君彊以爲長。今

昌邑注正義爲昌國ハ、
札記昌邑國ニ作ル、云
フ昌字、考證漢志ニ據
テ補フ。

本漢

縣

魏王乃使周市出請救於齊楚。齊楚遣項它田巴將兵隨

市救魏。

索隱曰。案項它。楚將。田巴。齊將也。正義曰。它徒多反。

章邯遂擊破殺周市等軍。圍臨濟。

咎爲其民約降。約定。咎自燒殺。魏豹亡走楚。

徐廣曰。二年六月。

楚懷王

予魏豹數千人。復徇魏地。項羽已破秦。降章邯。豹下魏二十餘

城。立豹爲魏王。豹引精兵從項羽入關。漢元年。項羽封諸侯。欲

有梁地。乃徙魏王豹於河東都平陽。正義曰。今晉州。爲西魏王。漢王還

定三秦。渡臨晉。

正義曰。臨晉在同州朝邑縣界。

魏王豹以國屬焉。遂從擊楚於彭

城。漢敗。還至滎陽。豹請歸視親病。至國。卽絕河津。畔漢。漢王聞

魏豹反。方東憂楚。未及擊。謂酈生曰。緩頰往說魏豹能下之。吾

以萬戶封若酈生說豹。豹謝曰。人生一世間。如白駒過隙耳。

索隱

緩頰往說魏豹ハ、漢書
高帝紀注、張晏曰、緩
頰ハ、徐言シテ譬喩ヲ
引クナリ。

史記評林卷之九十

魏豹彭越列傳第三十

魏豹者故魏諸公子也、
顏師古曰、故魏ハ、六
國時ノ魏ナリ。
遷咎爲家人ハ、漢書家
人ナ庶人ニ作ル。

魏豹者。故魏諸公子也。其兄魏咎。故魏時。封爲寧陵君。

索隱曰。案彭越傳云。

魏豹。魏王咎從弟。真魏後也。晉灼云。寧陵。梁國縣也。卽今寧陵是。

秦滅魏。遷咎爲家人。陳勝之起王也。

正義

曰。王于放反。

咎往從之。陳王使魏人周市徇魏地。魏地已下。欲相與立。

周市爲魏王。周市曰。天下昏亂。忠臣乃見。

索隱曰。老子曰。國家昏亂有忠臣。此取以爲說也。

今

天下共畔秦。其義必立魏王。後乃可。齊趙使車各五十乘。立周

市爲魏王。市辭不受。迎魏咎於陳。五反。陳王乃遣立咎爲魏王。

徐廣曰。元年十二月也。

章邯已破陳王。乃進兵擊魏王於臨濟。

正義曰。故城在潁州高苑縣北二里。

史記評林卷之八十九終

豈非以利哉、札記豈非以勢利交哉ニ作ル、云フ索隱本勢交ニ字アリ、各本脫ス、注理下是字アリ。

太史公曰。張耳陳餘。世傳所稱賢者。其賓客廝役。莫非天下俊

桀。所居國無不取卿相者。然張耳陳餘始居約時。漢書音義曰。在貧賤時也。相

然信以死。豈顧問哉。索隱曰。葛洪要用字宛云。然猶爾也。謂相和同諾者何也。謂然諾相信。雖死不顧也。及據國爭權。

卒相滅亡。何鄉者相慕用之誠。後相倍之戾也。豈非以利哉。抑索

曰。有本作私利交。漢書作勢利交。故廉頗傳云。天下以市道交。君有勢則從。君無勢則去。此固其理也。

名譽雖高。賓客雖盛。所由

殆與太伯延陵季子異矣。太史公一篇本意

索隱述贊曰。張耳陳餘。天下豪俊。忘年羈旅。刎頸相信。耳圍鉅鹿。餘兵不進。張既望深。乃去印。勢利傾奪。隙末成釁。

心乎。乃仰絕吭遂死。韋昭曰。吭。咽也。○索隱曰。蘇林云。吭。頸大脈也。俗所謂胡脈。音下郎反。蕭該或音下浪反。當此之時。

名聞天下。張敖已出。以尙魯元故。封爲宣平侯。

索隱曰。韋昭曰。尙。奉也。不敢言取。崔浩云。

奉事公主。小顏云。尙。配也。易得尙于中。行。王弼亦以尙爲配。恐非其義。於是上賢張王諸客。以鉗奴從張王。

入關。無不爲諸侯相郡守者。及孝惠高后文帝孝景時。張王客

子孫皆得爲二千石。張敖高后六年薨。

關中記曰。張敖冢在安陵東。○正義曰。魯元公主墓在咸陽縣西北

二十五里。次東有張敖冢。與公主同域。又張耳墓在咸陽縣東三十三里。

子偃爲魯元王。以母呂后女故。呂后

封爲魯元王。

索隱曰。案謂偃以其母號而封也。

元王弱。兄弟少。及封張敖他姬子二

人。壽爲樂昌侯。

徐廣曰。漢紀張酺傳曰。張敖之子壽封樂昌侯。食細陽之地陽鄉也。

侈爲信都侯。高后崩。諸

呂無道。大臣誅之。而廢魯元王。及樂昌侯。信都侯。孝文帝卽位。

復封故魯元王偃爲南宮侯。續張氏。

張敖諡武侯。張偃之孫有罪。絕。信都侯名侈。樂昌侯名壽。

以尙魯元故。札記元下公主アリ。云フ索隱本公主二字アリ。漢書同公主。顏師古曰。尙ハ猶配ノ如キナリ。易泰卦九二爻辭曰。得尙于中行。王弼亦以テ配ト爲ス。諸公主ヲ尙スト言フ者。其義皆然リ。而テ說者乃云。尙公主ハ。尙書尙食ト同意。尙ヲ訓シテ主ト爲ス。之ヲ主掌スルヲ言フト。其理ヲ失フ。

及封張敖他姬子ハ。札記及ヲ乃ニ作ル。云フ王柯淺本及ニ譌ス。

壽爲樂昌侯。札記云。蔡本中統舊刻本。並ニ壽字ナシ。錢鑒石云。傳本集解ニ據レバ。此句壽字。下句侈字。皆後人ノ増ス所ナリ。

立名義不侵爲然諾ハ、
胡三省曰、義ヲ以テ自
ラ立チ、侵辱ヲ受ケズ、
然諾ヲ重ンズルナリ。

泄公勞苦ハ、胡三省曰、
相勞ヒ、且其苦シム所
ヲ問フナリ。

固、趙國立名義不侵爲然諾者也。上使泄公持節問之。篋輿前
徐廣曰。篋音鞭。駟案韋昭曰。輿如今輿牀。人輿以行。○索隱曰。服虔云。音編。編竹木如今峻。可
以薰除也。何休注。公羊。筍音峻。筍者。竹篋。一名編。齊魯已北名爲筍。郭僕三蒼注云。篋輿土器。
仰視曰。泄公邪。泄公勞苦如生平驪。與語問張王果有計謀不
高曰。人情寧不各愛其父母妻子乎。今吾三族皆以論死。豈以
王易吾親哉。顧爲王實不反。獨吾等爲之具道本指。所以爲者。
王不知狀。於是泄公入。具以報。上乃赦趙王。上賢貫高爲人。能
立然諾。使泄公具告之曰。張王已出。因赦貫高。貫高喜曰。吾王
審出乎。泄公曰。然。泄公曰。上多足下。故赦足下。貫高曰。所以不
死。一身無餘者。白張王不反也。今王已出。吾責已塞。死不恨矣。
且人臣有篡殺之名。何面目復事上哉。縱上不殺我。我不愧於

上變ハ、胡三省曰、變ハ非常ナリ、非常ノ事ヲ上告スルヲ謂フ。上皆并逮捕ハ、通鑑注劉貢父曰、逮ハ、其人存在スレバ、直ニ之ヲ追取ス、捕ハ、其人亡ク、當ニ討捕スベキナリ、故ニ或ハ但速ト言ヒ、或ハ但捕ト言フアリ、異義ナルヲ知ル、一曰、逮ハ易キ辭、捕ハ力ヲ加フルナリ、逮ハ徒ニ之ヲ呼召ス、捕ハ則束縛ヲ加フト。

使張敖據天下云云ハ、張敖ヲシテ謀ヲ遂ゲ、高祖ヲ弑シ、天下ヲ取ラシメバ、豈汝ノ女ヲ少トセンヤ、必當貴チ俱ニセント言フナリ。

去。漢九年貫高怨家知其謀。乃上變告之。於是上皆并逮捕趙王貫高等。十餘人皆爭自剄。貫高獨怒罵曰。誰令公爲之。今王實無謀。而并捕王。公等皆死。誰白王不反者。乃轆車膠致。

正義曰謂

其車上著板四周如檻形。與王詣長安。治張敖之罪。上乃詔趙羣臣賓客有敢從王皆族。貫高與客孟舒等十餘人皆自髡鉗爲王家

奴。從來貫高至對獄。曰獨吾屬爲之。王實不知。吏治榜笞數十刺剗。

徐廣曰。丁劣反。○索隱曰。案綴亦刺也。漢書作刺。藏。張晏云。藏。灼也。說文云。燒也。應劭云。以鐵刺之。身無可擊者。終不復言。

呂后數言張王以魯元公主故不宜有此。上怒曰。使張敖據天

下。豈少而女乎。不聽。廷尉以貫高事辭聞。上曰。壯士誰知者。以

私問之。瓚曰。以私情相問。中大夫泄公曰。正義曰。泄。姓也。史有泄私。臣之邑子。素知之。此

濕。冀州人謂懦弱爲辱。韋昭曰。仁謹貌。○索隱曰。案服虔音鉏。閑反。弱小貌也。小顏音仕連反。說王曰。夫天下豪桀竝起。能者

先立。今王事高祖甚恭。而高祖無禮。請爲王殺之。張敖齧其指。

出血。索隱曰。案小顏云。齧指。以表至誠。爲其約誓。曰。君何言之誤。且先人亡國。賴高祖得

復國。德流子孫。秋豪皆高祖力也。願君無復出口。貫高趙午等

十餘人皆相謂曰。乃吾等非也。吾王長者。不倍德。且吾等義不

辱。今怨高祖辱我王。故欲殺之。何乃洿王爲乎。索隱曰。漢書作汗。蕭該音一故反。說文云。

汗。穢也。令事成。歸王。事敗。獨身坐耳。漢八年。上從東垣還過趙。貫

高等乃壁人柏人。索隱曰。謂於柏人縣館舍壁中。著人欲爲變也。○正義曰。要之

置。韋昭曰。爲供置也。○索隱曰。文穎云。置人厠壁中。以伺高祖也。張晏云。鑿壁空中。令人上

過欲宿。心動。問曰。縣名爲何。曰。柏人。柏人者。迫於人也。不宿而

何乃洿王爲乎。胡三省曰。洿。集註スルナリ。

令事成。札記云。舊刻。令。今ニ作ル。

要之置ハ、札記要之置厠ニ作リ、云フ毛本厠字アリ、索隱本及漢書ト合ス、各本竝ニ脱ス、注空中ヲ空之ニ、謂之曰厠ヲ謂之置厠ニ作ル、音側ハ音側ニ作ル。

陳餘亦復ハ、札記云、復疑フ後ナリ。

高祖箕倨ハ、札記云、舊刻踞、索隱本ト合ス、各本倨ニ作ル、顏師古曰、箕踞ハ、兩脚ヲ申ベ、其形箕ノ如キヲ謂フ。

餘曰。漢殺張耳。乃從。於是漢王求人類張耳者。斬之。持其頭遺

陳餘。陳餘乃遣兵助漢。漢之敗於彭城西。陳餘亦復覺張耳不

死。即背漢。漢三年。韓信已定魏地。遣張耳與韓信擊破趙井陘。

徐廣曰。三。需局面纔結。年十月。斬陳餘。泚水上。徐廣曰。在常山。音遲。一音丁禮反。○索隱曰。蘇林音祗。晉灼音耶。今俗呼此水則然。案地理志。音脂。則蘇音爲得。郭

景純注。山海經云。泚水出常山中。丘縣。○正義曰。在趙州贊皇縣界。追殺趙王歇。襄國。漢立張耳爲趙王。徐廣

曰。四年十一月。幽。漢五年。張耳薨。諡爲景王。子敖嗣立爲趙王。高祖案漢書四年夏。

長女魯元公主爲趙王敖后。漢七年。高祖從平城過趙。趙王朝

夕袒韞蔽。徐廣曰。韞。者臂捍也。自上食。禮甚卑。有子壻禮。高祖箕倨。甚慢

易之。索隱曰。崔浩云。屈。趙相貫高趙午等年六十餘。徐廣曰。田叔傳云。趙相趙午等數十人皆

怒。然則或宜。故張耳客也。生平爲氣。乃怒曰。吾王孱王也。孟康曰。音

言六十餘人。應前致千里客。如潺湲之

甘公曰注索隱齊楚不同
下、札記、劉歆七略云、
字逢甘德、志林云、甘
公一名德、作ル、云フ
字逢二字當ニ甘德ノ下
ニ在ルベシ。

徙故王^{シテ}王^{トス}惡地。今趙王乃居^レ代。願王假^セ臣兵。請^フ以^ニ南皮^ヲ爲^シ扞蔽。
田榮欲樹^ク黨^ヲ於^ニ趙^ニ以^テ反^ス楚。乃遣兵從^フ陳餘。陳餘因悉^シ三縣兵。襲^ス
常山王張耳。張耳敗走。念^フ諸侯無^ニ可^キ歸者。曰漢王與我有^ニ舊故^ヲ。
張晏曰。漢王爲^ニ布
衣時嘗從^ニ張耳^ニ游^ス。而項羽又彊^ク立^ツ我。我欲^ス之^ニ楚^ニ。
張晏曰。羽旣彊盛。又爲^レ所
立。是以狐疑莫知^レ所往也。甘

公曰。

文穎曰。善說星者甘氏也。○索隱曰。天官書云。齊甘公。藝文
志云。楚有^ニ甘公^ニ。齊楚不同。未知孰是。劉歆七略云。公一名德。

漢王之入^ル關^ニ。五

星聚^ル東井。東井者秦分也。先至^ル必霸。楚雖彊。後必屬^ス漢。故耳走^ル。

漢^ニ。
徐廣曰。二
年十月也。

漢王亦還^ツ定^ム三秦^ヲ。方圍^ム章邯^ヲ廢丘^ニ。張耳謁^ス漢王^ニ。漢王

厚遇^ス之^ヲ。陳餘已敗^リ張耳^ヲ。皆復收^メ趙地^ヲ。迎^ヘ趙王^ヲ於^ニ代^ニ。復爲^ス趙王^ト。趙

王德^シ陳餘^ヲ立^ツ以爲^ス代王^ト。陳餘爲^ニ趙王^ノ弱^ク。國初定^ム不^レ之^ニ國^ニ。畱^ツ傅^ヲ趙

王^ニ而使^シ夏說^ヲ以^テ相國^ヲ守^ル代^ヲ。漢二年。東擊^ツ楚^ヲ。使^メ使^ヲ告^グ趙^ニ。欲^ス與^ニ俱^ニ陳

遂趨出。張耳遂收其兵。陳餘獨與麾下所善數百人。之河上澤

中漁獵。由此陳餘張耳遂有郤。趙王歇復居信都。張耳從項羽

諸侯入關。漢元年二月。項羽立諸侯王。張耳雅游。韋昭曰。雅。素也。○

故也。韋昭云。雅。素然。素亦故也。雅游。言慣游從。故多爲人所稱譽。人多爲之言。項羽亦素數聞張耳賢。乃

分趙立張耳爲常山王。治信都。信都更名襄國。陳餘客多說項

羽曰。陳餘張耳一體有功於趙。項羽以陳餘不從入關。聞其在

南皮。索隱曰。地理志。屬渤海。○正義曰。卽以南皮旁三縣以封之。而徙趙

王歇王代。徐廣曰。都代縣。張耳之國。陳餘愈益怒曰。張耳與餘功等也。

今張耳王餘獨侯。此項羽不平。及齊王田榮畔楚。陳餘乃使夏

說說田榮曰。正義曰。上說音悅。下式銳反。項羽爲天下宰。不平。盡王諸將善地。

離軍乏食。項羽悉引兵渡河。遂破章邯。徐廣曰。三年十二月也。章邯引兵解。

諸侯軍乃敢擊圍鉅鹿。秦軍遂虜王離。涉閒自殺。卒存鉅鹿者

楚力也。於是趙王歇張耳乃得出鉅鹿。謝諸侯。張耳與陳餘相

見。責讓陳餘以不肯救趙。及問張騫。陳澤所在。陳餘怒曰。張騫

陳澤以必死責臣。臣使將五千人。先嘗秦軍。皆沒不出。張耳不

信。以爲殺之。數問陳餘。陳餘怒曰。不意君之望臣深也。索隱曰。望。怨責也。

豈以臣爲重去將哉。索隱曰。案重。訓難也。或云重。惜也。乃脫解印綬。推予張耳。張耳

亦愕不受。陳餘起如廁。客有說張耳曰。臣聞天與不取。反受其

咎。索隱曰。此辭出國語。今陳將軍與君印。君不受。反天不祥。急取之。張耳乃

佩其印。收其麾下。而陳餘還。亦望張耳不讓。正義曰。言陳餘如廁還。亦怨望張耳不讓其印。

抄ムルヲ忍ル、故ニ垣
牆ヲ夾策シ、以テ餽道
ヲ通ズ、顔師古曰、屬
ハ聯及ナリ。

且有十一二相全ハ、胡
三省曰、十分ノ中、一
二分以テ秦ニ勝テ、而
テ相保全スルヲ冀フナ
リ。

鹿城中食盡兵少。張耳數使人召前陳餘。陳餘自度兵少。不敵

秦。不敢前。數月。張耳大怒。怨陳餘。使張騫陳澤往讓陳餘。曰。正

曰。澤覆前案始吾與公爲刎頸交。今王與耳旦暮且死。而公擁兵數萬。

不肯相救。安在其相爲死。苟必信。胡不赴秦軍俱死。且有十一

二相全。正義曰。十中冀一兩勝秦。陳餘曰。吾度前終不能救趙。徒盡亡軍。且餘

所以不俱死。欲爲趙王張君報秦。今必俱死。如以肉委餓虎。何

益。張騫陳澤曰。事已急。要以俱死立信。安知後慮。陳餘曰。吾死

顧以爲無益。必如公言。乃使五千人。令張騫陳澤先嘗秦軍。索隱

曰。崔浩云。營猶試。至。皆沒。當是時。燕齊楚聞趙急。皆來救。張敖亦北收代

兵。得萬餘人。來。皆壁餘旁。未敢擊秦。項羽兵數絕章邯甬道。王

兩君羈旅而欲附趙。趙獨立趙後ハ、札記兩君羈旅而欲附趙。難ナ以テ句ト爲シ、其下ニ索隱案羈旅勢弱難以立功也ヲ注ス、獨立趙後ヲ句ト爲シ、其下ニ索隱謂獨有立六國趙王之後ヲ注ス、云フ索隱本漢書ト合ス、各本立字ヲ重ヌ、蓋誤テ獨立ヲ以テ上難字ニ屬シテ句ト爲スナリ。

夷其城郭、顔師古曰、夷ハ平ナリ。

築甬道屬河餉王離ハ、創三省曰、敵其糧運ナ

能者先立。且趙王素出將軍下。今女兒乃不爲將軍下車。請追殺之。李良已得秦書。固欲反趙。未決。因此怒遣人追殺王姊道中。乃遂將其兵襲邯鄲。邯鄲不知。竟殺武臣邵騷。趙人多爲張耳陳餘耳目者。以故得脫出。收其兵得數萬人。客有說張耳曰。兩君羈旅而欲附趙。難獨立。立趙後。扶以義。可就功。索隱曰。案羈旅勢弱難以立功也。獨有立六國趙王之後。可以成功。乃求得趙歇。徐廣曰。正月也。音烏鎔反。立爲趙王。居信都。徐廣曰。後項羽改曰襄國。李良進兵擊陳餘。陳餘敗。李良。李良走歸章邯。章邯引兵至邯鄲。皆徙其民河內。夷其城郭。張耳與趙王歇走入鉅鹿城。王離圍之。陳餘北收常山兵。得數萬人。軍鉅鹿北。章邯軍鉅鹿南棘原。築甬道屬河。餉王離。王離兵食多。急攻鉅鹿。鉅

左提右挈ハ、顔師古曰、相扶持スルヲ謂フ。

至后邑、札記石邑ニ作ル、云フ渡本后ニ譌ス。

起慙其從官ハ、胡三省曰、拜謁シテ起テ、從

武臣爲王以持趙心。今趙地已服。此兩人亦欲分趙而王時未

可耳。今君乃囚趙王。此兩人名爲求趙王實欲燕殺之。此兩人

分趙自立。夫以一趙尙易燕。況以兩賢王左提右挈而責殺王

之罪。徐廣曰。平原君傳曰。事成執右券以責也。券契義同耳。滅燕易矣。燕將以爲然。乃歸趙王。養

卒爲御而歸。李良已定常山。還報趙王。復使良略太原。至后邑。

索隱曰。地理志云。屬常山。秦兵塞井陘。未能前。秦將詐稱二世使人。遺李良書

不封。張晏曰。欲其漏泄君臣相疑。曰良嘗事我得顯幸。良誠能反趙爲秦。赦良

罪。貴良。良得書。疑不信。乃還之邯鄲。益請兵。未至。道逢趙王姊

出飲。從百餘騎。李良望見以爲王。伏謁道旁。王姊醉不知其將。

使騎謝李良。李良素貴。起慙其從官。從官有一人曰。天下畔秦。

趙王聞出、顔師古曰、
開出ハ開陳ニ投ジテ發
出スルナリ。

陳餘北略^ス地^チ燕^ノ界^ニ。趙王聞出^シ。爲^ル燕軍所得^ト。燕將囚^ヘ之^チ。欲與分^ニ趙
地半^チ。乃歸^{サント}王^チ。使者往^グ。燕輒殺^{シテ}之^チ。以求^ム地^チ。張耳陳餘患^フ之^チ。有^ニ廝養
卒^ニ。謝^{シテ}其舍中^ニ曰。

如淳曰。廝。賤者也。公羊傳曰。廝役。廝養。韋昭曰。析薪爲廝。炊烹爲養。
晉灼曰。以辭相告曰謝也。○索隱曰。謂其同舍中之人也。漢書作舍

人^ノ。吾爲公說^キ燕^ニ。與趙王載歸^{セン}。舍中皆笑^テ曰。使者往^グ。十餘輩輒死^ス。

若^デ何^ヲ以能得^シ王^チ。乃走^グ燕^ノ壁^ニ。燕將見^ル之^チ。問^フ燕將^ニ曰。知^{ルカ}臣^チ何欲^{スルヲ}燕將

曰。若欲得^シ趙王^チ耳。曰。君知^{ルカ}張耳陳餘何如^{ナルナルヲ}人也。燕將曰。賢人也。

曰。知^{ルカ}其志何欲^{スルヲ}。曰。欲得^シ其王^チ耳。趙養卒乃笑^テ曰。君未知^ラ此兩人

所欲^{スル}也。夫武臣張耳陳餘。杖^{イテ}馬^ニ。筆^チ下^ス趙數十城^チ。

張晏曰。言其不用兵
革。驅策而已也。○索

隱曰。杖音丈。
筆音之委反。

此亦各欲^ニ南面^{シテ}而王^ス。豈欲爲^ニ卿相^ト終已^ニ邪。夫臣與主。

豈可^シ同日^ニ而道^フ哉。顧其勢初定^リ。未敢參分^{シテ}而王^ス。且以少長^チ先立^ツ。

曰。以言舉事不可失時。時機之迅速。其間不容一喘息頃也。武臣乃聽之。遂立爲趙王。以陳餘爲大將。

軍。張耳爲右丞相。邵騷爲左丞相。使人報陳王。陳王大怒。欲盡

族武臣等家。而發兵擊趙。陳王相國房君諫曰。秦未亡而誅武

臣等家。此又生一秦也。不如因而賀之。使急引兵西擊秦。陳王

然之。從其計。徙繫武臣等家宮中。封張耳子敖爲成都君。陳王

使使者賀趙。令趣發兵西入關。張耳陳餘說武臣曰。王王趙非

楚意。特以計賀王。楚已滅秦。必加兵於趙。願王毋西兵。北徇燕

代。南收河內。以自廣。趙南據大河。北有燕代。楚雖勝秦。必不敢

制趙。趙王以爲然。因不西兵。而使韓廣略燕。李良略常山。張騫

略上黨。韓廣至燕。燕人因立廣爲燕王。

徐廣曰。九月也。

趙王乃與張耳

特以計賀王ハ、頗師古
曰、力制スル能ハズ、
凡安撫ナ事トシ、權宜
ノ計ヲ爲スナ言フ。

獨介居河北注晉灼曰云云、顏師古曰、二說並ニ非ナリ、介ハ隔ナリ、讀テ本字ノ如シ、不王無以填之ノ填ハ、鎖ニ同ジ、又不如立其兄弟、方苞曰、如疑フ當ニ知ニ作ルベシ。

陽令^上范陽令則以城下君^ニ少年亦不敢殺其令^ヲ。令^ニ范陽令乘^ニ朱輪華轂使驅馳^セ燕趙郊^ニ燕趙郊見之^ヲ皆曰。此范陽令先下者也。即喜矣^ニ。燕趙城可毋戰而降也^ス。此臣之所謂傳檄而千里定者也。武信君從其計^ニ因使蒯通賜^ニ范陽令侯印^ヲ。趙地聞之不戰以城下者三十餘城。至邯鄲^ニ張耳陳餘聞周章軍入關至戲卻^ニ。曰。戲地名。卻兵退也。○又聞諸將爲陳王^ニ徇地^ヲ多以讒毀得罪誅^ニ怨陳王^ヲ不用其策^ヲ不以爲將^ト而以爲校尉^ト乃說武臣曰。陳王起^ニ至陳而王^ニ非必立六國後將軍今以三千人下趙數十城獨介居河北^ニ。晉灼曰。介音戛。瓊曰。方言云。介。特也。不王^ニ無以填之^ヲ。且陳王聽讒還報恐不脫於禍。又不如立其兄弟^ニ不即立趙後將軍毋失時^ヲ。時間不容息^ヲ。索隱。

ノ雄戰ハズシテ降ルモ
ノ三十餘城、然ル後乃
邯鄲ニ至リ、武臣乃自
立シテ趙王ト爲ル、然
爾後韓廣ニ命ジ燕地ヲ
略ス、豈未ダ邯鄲ヲ得
ザルノ前、已ニ涿郡ニ
抵ルベケンヤ、然ラバ
則劇生居ル所ノ范陽、
當ニ何ノ地ニ屬スベ
キ、曰淮陰侯傳ニ稱ス、
齊人蒯通、又稱シテ齊
ノ辯士ト爲ス、則范陽
ハ必齊ノ地也、漢志ニ、
東郡ニ范縣アリ、此即
齊ノ西境、孟子范ヨリ
齊ニ之ク、此地ヲ謂フ、
趙世家云、藏姓將ニ大
ニ周人ナ范魁ノ西ニ敗
ル、司馬貞謂フ、范魁
ハ趙ノ地ト、然ラバ則
此范陽、蓋齊趙ノ界ニ
在リ、モト齊ノ地、而
テ亦趙ニ屬スベキ也。

慈父孝子。莫敢刺刃公之腹中者。徐廣曰。傳音載。○李奇曰。畏秦法耳。東方人以物插地皆爲傳。

今天下大亂。秦法不施。入肘腋然則慈父孝子。且傳刃公之腹中。以成

其名。此臣之所以弔公也。今諸侯畔秦矣。武信君兵且至。而君

堅守范陽。少年皆爭殺君。下武信君。君急遣臣見武信君。可轉

禍爲福。在今矣。范陽令乃使蒯通見武信君。曰。足下必將戰勝

然後略地。攻得然後下城。臣竊以爲過矣。誠聽臣之計。可不攻

而降城。不戰而略地。傳檄而千里定。可乎。武信君曰。何謂也。蒯

通曰。今范陽令宜整頓其士卒以守戰者也。怯而畏死。貪而重

富貴。故欲先天下降。畏君以爲秦所置吏。誅殺如前十城也。然

今范陽少年亦方殺其令。自以城距君。君何不齎臣侯印拜范

有布置

今已張大楚王陳ハ、方苞曰、陳勝初メ起ル、狐鳴ヲ爲シテ曰、大楚興リ、陳勝王タラント、此今已ニ大楚ヲ張リ、而テ故ノ陳ノ地ニ王タルヲ言フナリ。

東北擊范陽范陽人副通云云ハ、錢大昕曰、此范陽、注家所在ヲ詳ニセズ、詎古涿郡ノ范陽ヲ以テ之ニ實ス、因テ謂フ通モト燕人、後齊攻ヘズ、而テ妄ニ之ガ戰ヲ爲ス也、武臣自馬、ヨリ河ヲ渡ルニ方リ、纔二十城ヲ降ス、安ジ能遠ク燕地ニ涉ラン、且范陽既ニ降ル後、趙

王奮臂爲天下倡始。王楚之地。方二千里。莫不響應。家自爲怒。人自爲鬪。各報其怨。而攻其讎。縣殺其令丞。郡殺其守尉。今已張大楚王陳。使吳廣周文將卒百萬。西擊秦。於此時。而不成。封侯之業者。非人豪也。諸君試相與計之。夫天下同心而苦秦久矣。因天下之力。而攻無道之君。報父兄之怨。而成割地有土之業。此士之一時也。豪桀皆然其言。乃行收兵。得數萬人。號武臣爲武信君。下趙十城。餘皆城守莫肯下。乃引兵東北擊范陽。范陽人蒯通說范陽令曰。漢書曰。范陽令徐公。竊聞公之將死。故弔。雖然。賀公得通而生。范陽令曰。何以弔之。對曰。秦法重。足下爲范陽令十年矣。殺人之父。孤人之子。斷人之足。黥人之首。不可勝數。然而

ト爲レバ、則兵鋒ヲ野ニ交ヘズ、諸縣皆秦ニ畔キ、復六國ト爲リ、復秦ノ爲ニ城ヲ守ル者ナシ。
恐天下解也、顔師古曰、解ハ其心ヲ離散スルヲ謂フナリ、通鑑解ニ作

北有長城之域ハ、札記城ヲ役ニ作ル、云フ毛本役、漢書ト合ス、各本城ニ誤ル。
頭會箕斂注漢書音義云、札記云、杭氏考證云、說誤アリ、漢書注吏到ニ其家、人人頭數出レ斂、以レ箕斂之ニ作ル。

亡而得立。以德服之。如此則帝業成矣。今獨王陳。恐天下解也。
正義曰。解紀賣反。言天下諸侯見陳勝稱王。王陳皆解墮不相從也。陳涉不聽。遂立爲王。陳餘乃復說陳王。

曰。大王舉梁楚而西。務在入關。未及收河北也。臣嘗游趙。知其

豪桀及地形。願請奇兵北略趙地。於是陳王以故所善陳人武

臣爲將軍。邵騷爲護軍。以張耳陳餘爲左右校尉。予卒三千人。
陳涉失職在此

北略趙地。武臣等從曰。白馬渡河。
索隱曰。案酈食其云。白馬之津。則白馬津是渡處。其地與黎陽對岸。至諸縣。

說其豪桀曰。鄧展曰。至河。秦爲亂政虐刑。以殘賊天下。數十年矣。
北縣說之。

北有長城之域。南有五嶺之戍。
漢書音義曰。嶺有五。因以爲名。在交趾界中也。○索隱曰。裴氏廣州記云。大庾。始安。臨賀。

桂陽。揭陽。外內騷動。百姓罷敝。頭會箕斂。以供軍費。
漢書音義曰。家家人頭數出穀。以箕斂之。

財匱力盡。民不聊生。重之以苛法峻刑。使天下父子不相安。陳

上謁陳涉ハ、顔師古曰、其謁チ上リテ見ユルナリ、上謁ハ、今ノ通名ノ若シ。

賊目張膽ハ、顔師古曰、張膽ハ勇ノ甚シキヲ言フナリ。

野無交兵縣無守城ハ、胡三省曰、六國皆與國

用門者以令里中。

索隱曰。案門者。卽餘耳。自以也。其名而號令里中。詐更別求也。

陳涉起。斬至入陳。兵

數萬。張耳陳餘上謁陳涉。涉及左右。生平數聞張耳陳餘賢。未嘗見。見卽大喜。陳中豪傑父老。乃說陳涉曰。將軍身被堅執銳。率士卒以誅暴秦。復立楚社稷。存亡繼絕。功德宜爲王。且夫監臨天下。諸將不爲王。不可。願將軍立爲楚王也。陳涉問此兩人。兩人對曰。夫秦爲無道。破人國家。滅人社稷。絕人後世。罷百姓之力。盡百姓之財。將軍瞋目張膽。出萬死不顧一生之計。爲天下除殘也。今始至陳而王之。示天下私。願將軍毋王。急引兵而西。遣人立六國後。自爲樹黨。爲秦益敵也。敵多則力分。與衆則兵彊。如此野無交兵。縣無守城。誅暴秦。據咸陽。以令諸侯。諸侯

此益賢。

陳餘者亦大梁人也。好儒術。數游趙苦陘。

張晏曰。苦陘。漢章帝改曰漢昌。○索隱曰。地理志。屬中山。

○正義曰。音邢。邢州唐昌縣。

富人公乘氏以其女妻之。亦知陳餘非庸人也。餘年

少。父事張耳。兩人相與爲刎頸交。

一篇桂子。索隱曰。崔浩云。言要齊生死。斷頸無悔。

秦之滅大梁

也。張耳家外黃。高祖爲布衣時。嘗數從張耳游。客數月。秦滅魏。

數歲。已聞此兩人。魏之名士也。購求有得張耳千金。便見優劣陳餘五百

金。張耳陳餘乃變名姓。俱之陳。爲里監門。以自食。張晏曰。監門。兩里正衛也。

兩人相對。里吏嘗有過笞陳餘。陳餘欲起。張耳躡之。徐廣曰。一作攝。使受

笞。吏去。張耳乃引陳餘之桑下。而數之曰。始吾與公言何如。今

見小辱而欲死一吏乎。陳餘然之。秦詔書購求兩人。兩人亦反。

此之手張耳。請フナリ。按。李說。二從。去。父。父。抵。客。タリ。父。案。ト。張。耳。ナ。知。ル。云。云。下。爲。ス。ベシ。

爲里監門以自食ハ、顔師古曰、監門ハ卒ノ賤者ナリ、二人卑賤ヲ以テ自ラ隠ル。陳餘欲起云云ハ、胡三省曰、辱ヲ受クル能ハズ、起テ吏ト抗セント欲スルナリ、隠之ハ、其足ヲ隠ムナリ。

史記評林卷之八十九

張耳陳餘列傳第二十九

索隱曰。張耳吳芮勢侔楚漢。位埒齊韓。俱懷從沛之心。咸享誓河之業。爵在列侯之上。家傳累代之基。長沙既曰令終。趙王亦謂善始。竝可列同世家焉。

張耳者。大梁人也。

索隱曰。臣瓚云。今陳留大梁城是也。

其少時。及魏公子毋忌爲客。

張耳嘗亡命游外黃。

索隱曰。晉灼曰。命者。名也。謂脫名籍而逃。崔浩曰。亡。無也。命名也。逃匿則削除名籍。故以逃爲亡命。地理志。外黃屬陳留。

外黃富人女甚美。嫁庸奴亡其夫。

徐廣曰。一云。其夫亡也。

去抵父客。

如淳曰。父時故賓客。

○索隱曰。如淳曰。

抵。歸也。晉丁禮反。父客素知張耳。乃謂女曰。必欲求賢夫。從張耳。女

聽。乃卒爲請決嫁之張耳。

索隱曰。謂女請父客爲決。絕其夫。而嫁之張耳。

張耳是時脫身游。

女家厚奉給張耳。張耳以故致千里客。乃宦魏爲外黃令。名由

及魏公子毋忌爲客ハ、
類師古曰。毋忌ハ信陵
君ナリ、其尙母忌ヲ見
ルニ及ビ、之ガ賓客ト
爲ルナリ。
嫁庸奴亡其夫ハ、方苞
曰。其夫ヲ去ルナリ、
告ゲズシテ去ル、猶逃
亡ノ如キナリ。
去抵父客云云ハ、皆川
淇圖曰。卒爲請決ハ、
女ノ爲ニ決絶チ夫ニ請
フナリ、李光縉曰。去
抵父客ハ、婦人嫁チ請
テ歸ト曰フ、則歸事チ
觀テ、客ト爲スナリ、
下父客ノ客字疑フ衍ナ
リ、卒爲請決ハ、父爲

史記評林卷之八十八終

蘇子古史曰。蒙氏爲秦吞滅諸侯。其所殘暴多矣。子孫以無罪戮死。此天意也。恬以長城之役。竭民力。斷地脈。自知當死。而毅以忠信事上。自計無罪死而不厭。夫偷合取容。咎亞李斯。此其所以不免者哉。然始皇病于琅邪。使毅還禱山川。至沙丘而崩。使毅尙從。則趙高李斯廢適之謀。殆不能發。嗚呼。天之所廢。人謀固無所復施耶。

死。顧陛下爲萬民思從道也。使者曰。臣受詔行法於將軍。不敢以將軍言聞於上也。蒙恬喟然太息曰。我何罪於天。無過而死乎。良久。徐曰。恬罪固當死矣。起臨洮屬之遼東。城塹萬餘里。此其中不能無絕地脈哉。此乃恬之罪也。乃吞藥自殺。一句結束自悲酸

太史公曰。吾適北邊。自直道歸。行觀蒙恬所爲秦築長城亭障。塹山堙谷。通直道。固輕百姓力矣。夫秦之初滅諸侯。天下之心未定。瘡傷者未瘳。而恬爲名將。不以此時彊諫。振百姓之急。養老存孤。務修衆庶之和。而阿意興功。此其兄弟遇誅。不亦宜乎。何乃罪地脈哉。

索隱述贊曰。蒙氏秦將。內史忠賢。長城首築。萬里安邊。趙高矯制。扶蘇死焉。絕地何罪。勞人是愆。呼天欲訴。三代良然。

下。及成王有病甚殆。公旦自揃其爪。以沈於河。曰。王未有識。是旦執事有罪殃。旦受其不祥。乃書而藏之記府。可謂信矣。及王能治國。有賊臣言。周公旦欲爲亂久矣。王若不備。必有大事。王乃大怒。周公旦走而奔於楚。成王觀於記府。得周公旦沈書。乃流涕曰。孰謂周公旦欲爲亂乎。殺言之者。而反周公旦。故周書曰。必參而伍之。索隱曰。參。謂三卿。伍。卽五大夫。欲參伍更議。今恬之宗。世無二心。而事卒如此。是孽臣逆亂。內陵之道也。徐廣曰。亂一作辭。夫成王失而復振。則卒昌。一本作則身死亡國。桀殺關龍逢。紂殺王子比干。而不悔。身死則國亡。臣故曰。過可振而諫可覺也。索隱曰。此故曰者。必先志有此言。蒙恬引之以成說也。今不知出何書耳。振者。救也。然語亦倒。以言前人受諫可覺。則其過乃可救也。察於參伍。上聖之法也。凡臣之言。非以求免於咎也。將以諫而

之臣竊以爲不可。臣聞輕慮者不可以治國。獨智者不可以存

君。徐廣曰。一無此字。

誅殺忠臣而立無節行之人。暗指趙高是內使羣臣不相信。而

外使鬪士之意離也。臣竊以爲不可。胡亥不聽而遣御史曲宮

乘傳之代。

索隱曰。曲。姓。宮。名。

令蒙毅曰。先主欲立太子。而卿難之。今丞相

以卿爲不忠。罪及其宗。朕不忍。乃賜卿死。亦甚幸矣。卿其圖之。

毅對曰。以臣不能得先主之意。則臣少宦。順幸沒世。可謂知意

矣。

索隱曰。蒙毅言已少事始皇。順旨蒙恩幸。至始皇沒世。可謂知上意也。

以臣不知太子之能。則太子獨從。

周旋天下。去諸公子。絕遠。臣無所疑矣。夫先主之舉用太子。數

年之積也。臣乃何言之敢諫。何慮之敢謀。非敢飾辭以避死也。

爲羞累先主之名。願大夫爲慮焉。使臣得死情實。且夫順成全

願大夫爲慮。王維楨曰。大夫。御史曲宮。

護軍使者還報。胡亥已聞扶蘇死。卽欲釋蒙恬。趙高恐蒙氏復貴而用事。怨之。殺還至。趙高因爲胡亥忠計。欲以滅蒙氏。乃言曰。臣聞先帝欲舉賢立太子久矣。而毅諫曰不可。若知賢而愈不立。則是不忠而惑主也。

索隱曰。愈一作兪。兪卽踰也。音夷。謂知太子賢而踰久不立。是不忠也。

以臣愚意。

不若誅之。胡亥聽而繫蒙毅於代。

正義曰。今代州也。因禱山川至代而繫之。

前已囚蒙恬。

於陽周。喪至咸陽已葬。太子立爲二世皇帝。而趙高親近日夜

毀惡蒙氏。求其罪過。舉劾之。子嬰進諫曰。臣聞故趙王遷殺其

良臣李牧。而用顏聚。燕王喜隱用荊軻之謀。而倍秦之約。齊王

建殺其故世忠臣。而用后勝之議。此三君者。皆各以變古者失

其國。而殃及其身。今蒙氏秦之大臣謀士也。而主欲一旦棄去

令^ム蒙^{チシテ}毅^{モツ}法治^セ之。毅不^ア敢^テ阿^フ法。當^ニ高^シ罪^ヲ死^ス。除^ク其^ノ宦^ニ籍^ヲ。帝以^ニ高^ノ之^ヲ敦^キ

於^レ事^ニ也。

徐廣曰。敦一作敏。

赦^{シテ}之。復^ス其^ノ官^ヲ爵^ヲ。始皇欲^シ游^{ント}天^ニ下^ヲ。道^シ九^ニ原^ヲ。

正義曰。九原郡今勝

州連谷

直^チ抵^ニ甘^ニ泉^ニ。

正義曰。宮在雍州。

乃使^テ蒙^{チシテ}恬^ニ通^ス道^ヲ。自^ニ九^ニ原^ニ抵^テ甘^ニ泉^ニ。塹^シ山^ニ堙^ス。

縣是。

谷^チ千^ニ八^ニ百^ニ里^ニ。道未^レ就^テ。始皇三十七年冬。行^イ出^ス游^ス會^ニ稽^ニ。竝^ビ海^ニ上^ニ。

索隱

曰。竝音

白浪反。

北走^フ琅^ニ邪^ニ。

索隱曰。走音奏。走猶向也。鄒氏音趨。趨亦向義。於字則乖。

道^ニ病^ム。使^テ蒙^{チシテ}毅^ニ還^ス禱^ス山^ニ川^ニ。未^メ

反^フ。始皇至^ニ沙^ニ丘^ニ崩^ス。祕^ス之^ヲ。羣^ニ臣^ニ莫^シ知^ル。是時丞相李斯。少子胡亥。中

車^ニ府^ニ令^テ趙^ニ高^ニ常^ニ從^フ。高^ニ雅^ニ得^テ幸^ス於^ニ胡^ニ亥^ニ。欲^シ立^セ之^ヲ。又^ニ怨^ム蒙^{チシテ}毅^ニ法^ニ治^{シテ}之^ヲ。

應前不敢阿法

而^レ不^レ爲^レ己^ノ也。因^テ有^ニ賊^ニ心^ヲ。乃與^ニ丞^ニ相^ニ李^ニ斯^ニ。少子胡亥。陰^ニ謀^リ。立^テ胡^ニ亥^ニ。

爲^ス太^ニ子^ト。太^ニ子^ト已^ニ立^ツ。遣^テ使^ニ者^ヲ。以^ニ罪^ニ賜^フ公^ニ子^ニ扶^ニ蘇^ニ蒙^ニ恬^ニ死^ス。扶^ニ蘇^ニ已^ニ死^ス。

蒙^{チシテ}恬^ニ疑^フ而^レ復^テ請^フ之^ヲ。使^テ者^ヲ以^ニ蒙^{チシテ}恬^ニ屬^シ吏^ニ。更^ス置^ス。胡^ニ亥^ニ以^ニ李^ニ斯^ニ舍^ニ人^ニ爲^ス

胡亥以李斯舍人爲護軍使者、方苞曰、胡亥二字衍ナリ。

收河南注靈及勝、札記及字ナシ、云フ各本靈下及字ナシ、官本無シ。
用險制塞、札記用制、險塞ニ作ル、云フ蔡本中統舊刻毛本同シ、他本制險倒ス。
至遼東注正義至海之上札記云、之上二字疑フ行ナリ。

趙高者諸趙疏遠也云云ハ、凌椎陸曰、此突然趙高家ヲ起シ及ビ其罪アル一段ヲ挿入ス、蒙氏ノ禍實ニ此ニ本ヅクヲ著ス所以ナリ。
生隱宮ハ、或曰生レテ陰ナキト謂フ、索隱ノ說恐ラクハ非ナリ。

秦將攻齊大破之。拜爲內史。秦已并天下。乃使蒙恬將三十萬

以下暗點蒙氏罪狀

衆北逐戎狄。收河南。

正義曰。謂靈及勝等州。

築長城。因地形。用險制塞。起臨

洮。至遼東。

徐廣曰。臨洮屬隴西。○正義曰。遼東郡在遼水東。始皇築長城。東至遼水。西南至海之上。

延袤萬餘里。於是渡

河。據陽山。

徐廣曰。五原西安陽縣北有陰山。陰山在河南。陽山在河北。

透蛇而北。暴師於外十餘年。

居上郡。是時蒙恬威振匈奴。始皇甚尊寵蒙氏。信任賢之。而親

近蒙毅。位至上卿。出則參乘。入則御前。恬任外事。而毅常爲內

謀。名爲忠信。故雖諸將相莫敢與之爭焉。趙高者。諸趙疏遠屬

也。趙高昆弟數人。皆生隱宮。

徐廣曰。爲宦者。○索隱曰。劉氏云。蓋其父犯宮刑。妻子沒爲奴婢。妻後野合所生子。皆承趙姓。竝官

之。故云兄弟生於隱宮也。

其母被刑。世世卑賤。秦王聞高彊力通於獄法。舉

以爲中車府令。高卽私事公子胡亥。喻之決獄。高有大罪。秦王

史記評林卷之八十八

蒙恬列傳第二十八

蒙恬者。其先齊人也。恬大父蒙驁。

索隱曰。驁音邀。又鄉氏音五到反。

自齊事秦昭王。

官至上卿。秦莊襄王元年。蒙驁爲秦將。伐韓。取城皐。滎陽。作置

以下次蒙氏世功

三川郡。二年。蒙驁攻趙。取三十七城。始皇三年。蒙驁攻韓。取十

三城。五年。蒙驁攻魏。取二十城。作置東郡。始皇七年。蒙驁卒。驁

子曰武。武子曰。恬嘗書獄典文學。

索隱曰。謂恬嘗學獄法。遂作獄官文學。

始皇二十

三年。蒙武爲秦裨將軍。與王翦攻楚。大破之。殺項燕。二十四年。

蒙武攻楚。虜楚王。蒙恬弟毅。始皇二十六年。蒙恬因家世得爲

取城皐ハ、札記成皐ニ作ル、云フ蔡本毛本成、各本城ニ作ル。

史記評林卷之八十七終

嚮者焚籍之後。繼有坑儒之慘。臣惟國家初定。遠方黔首未集。而諸儒誦法孔子。皆繩以罪。恐失天下心。用是略陳哀悃。干冒威嚴。不圖拂意見疏。監兵上郡。自離膝下。于今三年。瞻戀闕庭。儼若咫尺。切慮陛下輕萬乘之尊。違九重之宴。巡遊天下。西祀東封。愆恩之臣。率以祈延壽命爲詞。殊不知川途險巇。姦軌伺隙。供億日繁。民怨胥作。臣豈忍默而不言。坐令變起蕭牆。而荆棘生于朝也。臣亦揣往事取憎。強聒何補。第念先公穆公悔過自誓。卒能顯名諸侯。延休後嗣。臣豈忍絕望于陛下哉。嗚呼。詎意竟以此獲罪耶。詔書云。臣與蒙恬將兵屯邊。士卒多耗。無尺寸之功。乃反數上書誹謗。以不得罷歸爲太子。日夜怨望。嗚呼。其亦弗諒之甚矣。陛下混一字內。匈奴遠遁。邊境晏然。臣等憑藉威靈。又何功之可樹。若撫綏士卒。將軍任耳。臣受命監兵。何乃吹毛而求疵也。且夫懷宴安而厭險阻。覬寵幸而嫌疎遠者。常人之情也。履險阻而不辭。處疎遠而不忘納。君子善者。臣子之義也。臣輸忠行孝。不蒙省察。而概以常情律之。昔人云。欲加之罪。何患無詞。臣誠有死而已。夫復何言。嗚呼。古今以諫獲罪。如比干剖心。子胥湛身。猶曰戚屬耳。猶曰羈臣耳。父兮生我。何若是忍也。若乃衛宣于伋。實由瀆倫。晉獻于申生。寔由嬖寵。陛下無二者之溺而甘心焉。此臣之所未喻也。豈緘默者假誹謗之名。以售諛歟。陰謀者倡怨望之說。以傾奪歟。夫投杼之誤。曾參不免。臣賢不逮若人。而讒者特衆。陛下惡得而無猜也。陛下試思之。而詳察之。倘有讒人交亂其閒。幸投之豺虎肆之市朝。以雪臣冤。更冀收臣骸骨埋之酈山之足。庶幾陛下百歲後。魂魄相依。生雖弃捐。死得密邇。無所恨矣。神迷氣短。不知所云。遂自殺。胡亥得書。喜以示斯高曰。夫固已疑之。幸矣哉。其不復請也。

蘇子古史曰。始皇以詐力兼天下。志得意滿。諱聞過失。李斯燔書詩。誦功德。以成其氣。至其晚節。不可告語。君老太子在外。履危亂之機。而莫敢以一言合其父子之親者。雖始皇之暴。非斯養之不至此也。及其事二世。知趙高之奸。復偷合取容。使高勢已成。天下已亂。乃欲力諫。不亦晚乎。至於國破家滅。非不幸也。

楊維禎曰。趙高謀矯事。所忌者斯一人耳。其言曰。不謀丞相事不成。高請于斯。斯既能以亡國之言絕之矣。而又以其言虛。不得懷通侯之印。易其心而許之。是殺蘇與恬者斯也。誠使斯善度事機。相亥以與高其事必敗。孰與操其矯書以逆先誅高。而與恬立。蘇也。卽高未誅。潛以矯謀聞於蘇。蘇可不死。恬之殺高。機上肉爾。計不出此。他日事皆決于高。乃始上書高言罪。吁。嗟何及矣。嗚呼。秦愚天下。而受其愚者李斯也。斯愚。秦君臣而受其愚者趙高也。五刑具。三族夷。然後父子對哭。而思東門狡兔之樂。斯真愚人也哉。

〔增〕柯維騏設扶蘇自訟書云。秦始皇崩沙丘。李斯趙高矯詔立胡亥。詐爲始皇書。寶上郡。數長子扶蘇及將軍蒙恬罪。並賜死。扶蘇不敢復請。乃爲絕命書以獻。曰。臣聞勇者不避禍。仁者不撓節。況國聽于君。家聽於親。死生惟命。誰能逃之。臣以不肖。干陛下重怒。安抗必行之令。祈必不可得之恩哉。屬鑕在前。扶蘇豈敢愛其死。然事之本末。不容不自明也。臣少讀易。至無妄災邑之辭。常疑其事。乃今信其真有耳。嗟乎。嗟乎。臣何辜而罹此禍耶。夫父子之愛。不可解于心者也。自非反德悖道之人。孰不欲其親全令名。而身共享安寧之慶哉。是故過而幾諫。勞而無怨。此聖哲之懿訓。生人之通道也。臣雖愚闇。竊聞斯義久矣。夫人非堯舜。孰能無過。陛下信任之臣。如李斯輩。皆持祿容身。莫敢匡諫。臣爲長嗣。休戚同之。關弓射人。或談笑而道。或涕泣而道。何則。親疎之情異也。

リ、李談趙談ノ屬ノ如
キ、皆改テ同ト稱ス、同
談亦聲出近キニ取ル、
此韓談獨リ改メザル何
ゾ、滑稽傳談言微中、
司馬相如傳因斯以談、
皆談字ヲ避ケズ、札記
云、史談ヲ諱テ同ニ作
ル、此後人改ム。
羣臣百官皆畔不遵ハ、
方苞曰不適ハ、君所ニ
如カザルナリ、尙書民
不適有居ト、字義同ジ。

高。高上謁請病。因召入。令韓談刺殺之。夷其三族。子嬰立三月。
沛公兵從武關入。至咸陽。羣臣百官皆畔不適。徐廣曰。適音敵也。子嬰與
妻子自係其頸以組。降軹道旁。正義曰。軹道在萬年縣東北十六里。沛公因以屬吏。項
王至而斬之。遂以亡天下。

太史公曰。李斯以閭閻歷諸侯。入事秦。因以瑕釁以輔始皇。卒
成帝業。斯爲三公。可謂尊用矣。斯知六藝之歸。不務明政以補
主上之缺。持爵祿之重。阿順苟合。嚴威酷刑。聽高邪說。廢適立
庶。諸侯已畔。斯乃欲諫爭。不亦末乎。人皆以斯極忠而被五刑
死。察其本。乃與俗議之異。不然。斯之功且與周召列矣。

索隱述贊曰。鼠在所居。人固擇地。斯效智力。功立名遂。置酒咸陽。人臣極位。一夫誑惑。變易
神器。國喪身誅。本同末異。

曰。與本紀參五陛下春秋郊祀。奉宗廟鬼神。齋戒不明。故至於此。可依盛德。

而明齋戒。於是乃入上林齋戒。日游弋獵。有行人入上林中。二

世自射殺之。趙高教其女壻咸陽令閭樂。劾不知何人賊殺人。

移上林。高乃諫二世曰。天子無故賊殺不辜人。此上帝之禁也。

鬼神不享。天且降殃。當遠避宮。以禳之。二世乃出居望夷之宮。

畱三日。趙高詐詔衛士令士皆素服持兵內鄉。入告二世曰。山

東羣盜兵大至。二世上觀而見之。恐懼。高即因劫令自殺。引璽

而佩之。左右百官莫從上殿。殿欲壞者三。高自知天弗與。羣臣

弗許。乃召始皇弟授之璽。徐廣曰。一本曰。召始皇弟子嬰授之璽。秦本紀云。子

嬰。子嬰即位。患之。乃稱疾不聽事。與宦者韓談及其子謀殺

二世上觀ノ觀ハ、宮ノ門闕ナリ。

與宦者韓談ハ、錢大所曰、太史公父ノ名談ナ

辭服奏當上ハ、方苞曰、
斯ノ辭服ス、故ニ高其
罪刑ト相應ズルヲ奏ス
ルナリ、漢書ニ奏當ノ
成ル、卓陶之ヲ聽クト
雖モ、猶以テ死シテ餘
辜アリト爲ストアリ。

上。趙高使吏棄去不奏。曰。囚安得上書。趙高使其客十餘輩詐
爲御史謁者侍中。更往覆訊斯。斯更以其實對。輒使人復榜之。
後二世使人驗斯。斯以爲如前。終不敢更言辭服。奏當上。二世
喜曰。微趙君。幾爲丞相所賣。及二世所使案三川之守至。則項
梁已擊殺之。使者來會丞相下吏。趙高皆妄爲反辭。二世二年
七月。具斯五刑。論腰斬咸陽市。斯出獄。與其中子俱執。顧謂其
中子曰。吾欲與若復牽黃犬俱出上蔡東門。逐狡兔。豈可得乎。
遂父子相哭。而夷三族。李斯已死。二世拜趙高爲中丞相。事無
大小。輒決於高。高自知權重。乃獻鹿謂之馬。二世問左右。此乃
鹿也。左右皆曰。馬也。二世驚。自以爲惑。乃召太卜令卦之。太卜

中上書曰。臣爲丞相。治民三十餘年矣。逮秦地之陝隘。先王之
時。秦地不過千里。兵數十萬。臣盡薄材。謹奉法令。陰行謀臣。資
之金玉。使游說諸侯。陰修甲兵。飾政教。官鬪士。尊功臣。盛其爵
祿。故終以脅韓弱魏。破燕趙。夷齊楚。卒兼六國。虜其王。立秦爲
天子。罪一矣。地非不廣。又北逐胡貉。南定百越。以見秦之彊。罪
二矣。尊大臣。盛其爵位。以固其親。罪三矣。立社稷。修宗廟。以明
主之賢。罪四矣。更剋畫。平斗斛。度量。文章。布之天下。以樹秦之
名。罪五矣。治馳道。興游觀。以見主之得意。罪六矣。緩刑罰。薄賦
斂。以遂主得衆之心。萬民戴主死而不忘。罪七矣。若斯之爲臣
者。罪足以死。固久矣。上幸盡其能力。乃得至今。願陛下察之。書

夫差。吾以忠死。宜矣。且二世之治。豈不亂哉。日者。夷其兄弟。而
 自立也。殺忠臣。而貴賤人。作爲阿房之宮。賦斂天下。吾非不諫
 也。而不吾聽也。凡古聖王。飲食有節。車器有數。宮室有度。出令
 造事。加費而無益於民利者。禁。故能長久治安。今行逆於昆弟。
 不顧其咎。侵殺忠臣。不思其殃。大爲宮室。厚賦天下。不愛其費。
 三者已行。天下不聽。今反者已有天下之半矣。而心尙未寤也。
 而以趙高爲佐。吾必見寇至咸陽。麋鹿游於朝也。於是二世乃
 使高案丞相獄。治罪。責斯與子由謀反狀。皆收捕宗族賓客。趙
 高治斯。榜掠千餘。不勝痛。自誣服。斯所以不死者。自負其辯有
 功。實無反心。幸得上書自陳。幸二世之寤而赦之。李斯乃從獄

フト、亦此子望ナリ。

而君疑之。何也。且朕少失先人。無所識知。不習治民。而君又老。恐與天下絕矣。朕非屬趙君。當誰任哉。且趙君爲人精廉彊力。下知人情。上能適朕。君其勿疑。李斯曰。不然。夫高故賤人也。無毎句反上識於理。貪欲無厭。求利不止。列威勢亞於人主勢次主。求欲無窮。臣故曰。殆二世已前信趙高。恐李斯殺之。乃私告趙高。高曰。丞相所患者獨高。高已死。丞相卽欲爲田常所爲。於是二世曰。其以李斯屬郎中令。趙高案治李斯。李斯拘執束縛。居圜牆之中。仰天而歎曰。嗟乎。悲夫。不道之君。何可爲計哉。昔者桀殺關龍逢。紂殺王子比干。吳王夫差殺伍子胥。此三臣者。豈不忠哉。然而不免於死。身死而所忠者非也。今吾智不及三子。而二世之無道過於桀紂。

臣疑其君ハ、余有丁曰、疑ハ即易ノ陰疑於陽ノ疑ナリ、勢相近ク、均敵スルヲ言フナリ。司城子罕相宋云云ハ、錢大昕曰、韓子二柄篇云、子罕宋君ニ謂テ曰、夫レ慶賞賜予ハ、民ノ喜ブ所ナリ、君自ラ之ヲ行ヘ、殺戮刑罰ハ、民ノ惡ム所也、臣請フ之ヲ行ハント、是ニ於テ宋君刑ヲ失ヒ、而テ子罕之ヲ用フ、故ニ宋君効カサルト、又人主篇云、宋君其爪牙ヲ子罕ニ失ヒ、簡公其爪牙ヲ田常ニ失フト、高誘注品覽亦云、子罕宋昭公ヲ殺スト、宋世家チ放フルニ、子罕ノ事ヲ載セズ、左氏傳ニ據レバ、司城子罕、乃宋ノ良臣、平公ノ朝ニ仕フ、初メ未ダ君ヲ効カザルナリ、但樂氏世司城ト爲ル、或ハ子罕ノ後、更ニ政ヲ專ラシ、君ヲ効カス者アリ、事春秋以後ニ在リ、故ニ戰國漢初人多ク之ヲ言フ、鄒陽傳ニ、宋子罕ノ計ヲ聽イテ盡驅ヲ囚

之。臣疑其君。無不危國。妾疑其夫。無不危家。今有大臣於陛下。擅利擅害。與陛下無異。此甚不便。昔者司城子罕相宋。身行刑罰。以威行之。其年遂劫其君。田常爲簡公臣。爵列無敵於國。私家之富。與公家均。布惠施德。下得百姓。上得羣臣。陰取齊國。殺宰予於庭。即弑簡公於朝。遂有齊國。此天下所明知也。今高有邪佚之志。危反之行。如子罕相宋也。私家之富。若田氏之於齊也。兼行田常子罕之逆道。而劫陛下之威信。其志若韓玘爲韓安相也。

索隱曰。玘亦作起。竝音怡。韓大夫弑其君悼公者。然韓無悼公。或鄭之嗣君。案表韓玘事昭侯。昭侯已下四代至王安。其說非也。

陛下不圖臣恐其爲變也。二世曰。何哉。夫高故宦人也。然不爲安肆志。不以危易心。潔行修善。自使至此。以忠得進。以信守位。朕實賢之。

盜公行注音私、札記
音松ニ作ル、云フ各本
私ニ誤ス、吳王濞傳集
解ニ依テ改ム。

常多閒日。丞相不來。吾方燕私。丞相輒來請事。丞相豈少我哉。

且固我哉。索隱曰。謂以我幼故輕我也。一云。固我者。以我爲短小且固陋也。於義爲疎。趙高因曰。如此殆矣。夫沙

丘之謀。丞相與焉。今陛下已立爲帝。而丞相貴不益。此其意亦

望裂地而王矣。且陛下不問臣。臣不敢言。丞相長男李由爲三

川守。楚盜陳勝等皆丞相傍縣之子。以故楚盜公行。徐廣曰。公一作訟。音私。

過三川。城守不肯擊。高聞其文書相往來。未得其審。故未敢以

聞。且丞相居外。權重於陛下。二世以爲然。欲案丞相。恐其不審

乃使人案驗三川守與盜通狀。李斯聞之。是時二世在甘泉。方

作殼抵優俳之觀。應劭曰。戰國之時稍增講武之禮。以爲戲樂。用相夸示。而秦更名曰角抵。角者。角材也。抵者。相抵觸也。文穎曰。案秦名此樂爲角抵。

兩兩相當角力。角伎藝射御。故曰角抵也。闕案殼抵。卽角抵。

李斯不得見。因上書言趙高之短。曰。臣聞

李斯以爲言ハ、峻維隆
日、高二世ヲシテ朝廷
ニ坐セザラシムルヲ言
フナリ。

吾有所言者、札記云、治
要、吾所欲言者ニ作ル。

朝廷。譴舉有_二不當者_一。則見_三短於大臣_二。非所以示_三神明於天下_一也。
且陛下深拱禁中。與_二臣及侍中習法者_一待_レ事。事來有_二以揆之_一。如
此。徐廣曰。揆一作撥也。則大臣不敢奏疑事。天下稱_レ聖主矣。二世用_二其計_一。乃
不坐朝廷。見_二大臣居禁中_一。趙高常侍_レ中用_レ事。事皆決於_二趙高_一。高
聞_二李斯以爲言_一。乃見_二丞相曰_一。關東羣盜多。今上急發_レ繇治_二阿房
宮_一。索隱曰。房音旁。一如字。聚_二狗馬無用之物_一。臣欲_レ諫爲_二位賤_一。此真_二君侯之事_一。
君何不_レ諫_二李斯曰_一。固也。吾欲_レ言之久矣。今時上不坐_レ朝廷。上居
深宮。吾有所_レ言者。不可_レ傳也。スレドモセント欲_レ見_二無聞_一。趙高謂_二曰_一。君誠能_レ諫。請
爲_二君候上閒_一。語_二君_一。於是趙高待_二二世方燕樂_一。婦女居前。使人告_二
丞相上方閒_一。可_レ奏事。丞相至_二宮門上謁_一。如此者三。二世怒曰。吾

行之。若此則謂督責之誠。則臣無邪。臣無邪。則天下安。天下安。則主嚴尊。主嚴尊則督責必。督責必則所求得。所求得則國家富。國家富則君樂豐。故督責之術設則所欲無不得矣。羣臣百姓救過不給。何變之敢圖。若此則帝道備。而可謂能明君臣之術矣。雖申韓復生不能加也。書奏。二世悅。於是行督責益嚴。稅民深者爲明吏。二世曰。若此則可謂能督責矣。刑者相半於道。而死人日成。積於市。殺人衆者爲忠臣。二世曰。若此則可謂能督責矣。初趙高爲郎中令。所殺及報私怨衆多。恐大臣入朝奏事。毀惡之。乃說二世曰。天子所以貴者。但以聞聲。羣臣莫得見其面。故號曰朕。且陛下富於春秋。未必盡通諸事。徐廣曰。通或宜作照。今坐

既ニ聖人ノ術ヲ行ヒ、
以テ天下ヲ督責スル能
ハザレバ、則除去シ、
天下ノ役ト爲リ、更ニ
何ノ事トスル所アラ
ヤト言フ、苟ニ是猶力
少クシテ任重シ、舍シ、
碎折シ、適ナキナリト、
辭意略同シ。
開於側ハ、札記開於側
ニ作ル、云フ蔡王柯毛
本開ヲ開ニ作ル。
拂世摩俗、札記摩ヲ磨
ニ作ル、云フ索隱本磨、
各本摩ニ作ル。

朝。則荒肆之樂輟矣。諫說論理之臣開於側。則流漫之志詘矣。
烈士死節之行顯於世。則淫康之虞廢矣。故明主能外此三者。
而獨操主術以制聽從之臣。而修其明法。故身尊而勢重也。凡
賢主者。必將能拂世摩俗。而廢其所惡。立其所欲。
世言與世情乖戾。摩俗言磨礪於俗使從己也。故生則有尊重之勢。死則有賢明之諡也。是以
明君獨斷。故權不在臣也。然後能滅仁義之塗。掩馳說之口。困
烈士之行。塞聰揜明。內獨視聽。故外不可傾。以仁義烈士之行。
而內不可奪。以諫說忿爭之辯。故能犖然獨行。恣睢之心。而莫
之敢逆。若此。然後可謂能明申韓之術。而修商君之法。法修術
明。而天下亂者。未之聞也。故曰王道約而易操也。唯明主爲能

樓季不輕犯也。注樓季之兄也。札記云。句誤アリ。

跛絆牧其上。札記云。跛絆牧其上。作ルベシ。今本皆俗ニ從フ。

注牝曰牝。札記云。黃刻牝ヲ牝ニ作ル。按ズルニ牝ハ詩傳。爾雅。廣韻。集韻。並ニ牝羊ト云フ。內則鄭註。

說文。玉篇。類篇。並ニ牝羊ト云フ。牝牝字形近グ。亂レ易シ。未ダ孰力はナルヲ知ラズ。然ルニ此文跛絆ヲ

樓季ニ對シテ言フ。是人ヲ指ス。羊ヲ謂フニ非ズ。莊子。解擲篇ニ。威

穀同シク羊ヲ牧スルノ論アリ。疑フ牝ト賊ト同聲假借ナリ。乃牧羊ノ跛絆ヲ言フノミ。注

非ナリ。

則舍爲天下役何事哉。方苞曰。舍ハ除去ナリ。

淺也。又不以盜跖之行爲輕百鎰之重也。搏必隨手。刑則盜跖

不搏百鎰。而罰不必行也。則庸人不釋尋常。是故城高五丈而

樓季不輕犯也。許慎曰。樓季。魏文侯之弟。王孫子曰。樓季之兄也。泰山之高百仞。而跛絆牧其

上。詩云。牝羊墳首。毛傳曰。牝曰牝。夫樓季也。而難五丈之限。豈跛絆也。而易百仞之

高哉。一作陷。索隱曰。陷。峻也。高也。音七笑反。連音漸。以言峭峻則難登。故樓季難五丈之限。平墜則易涉。故跛絆牧於泰山也。明

主聖王之所以能久處尊位。長執重勢。而獨擅天下之利者。非

有異道也。能獨斷而審督責。必深罰。故天下不敢犯也。今不務

所以不犯。而事慈母之所以敗子也。則亦不察於聖人之論矣。

夫不能行聖人之術。則舍爲天下役。何事哉。可不哀邪。索隱曰。舍。猶廢也。止

也。言爲人主不能行聖人督責之術。則已廢止。何爲也。

且夫儉節仁義之人。立於

所^レ爲^ル惡^ム不^レ肖^チ者。爲^ス其賤^キ也。而堯禹以^レ身徇^フ天下^ニ者也。因^テ隨^テ而尊

之。則亦失^フ所爲^ル尊賢^ニ之心^ヲ矣。夫可^レ謂^ニ大繆^ニ矣。謂^ニ之爲^ニ桎梏^ニ。不^レ亦

宜^ナ乎。不^レ能^ル督責^{スル}之過也。故韓子曰。慈母有^ニ敗子^ニ。而嚴家無^ニ格虜^ニ

者。何也。索隱曰。格。彊悍也。虜。奴隸也。言嚴整之家。本無格悍奴僕也。則能罰之加焉必也。故商君之法。

刑棄^ス灰於道者。正義曰。棄灰於道者。黥也。韓子云。殷之法。棄灰於衢者。刑。子貢以爲重。問之仲尼。曰。灰棄於衢。必燔。人必怒。怒則鬪。鬪則三族。雖刑之可也。

夫棄^レ灰薄罪也。而被^レ刑。重罰也。彼唯明主爲能深督輕罪。夫

罪輕且督深。而況有^ニ重罪^ニ乎。故民不敢犯也。是故韓子曰。布帛

尋常庸人不釋。索隱曰。尋常。以言其少也。庸人弗釋者。謂庸人見則取之。不釋。以其罪輕也。故下云。罰不必行。則庸人弗釋。尋常是也。鑠金

百鎰盜跖不搏者。索隱曰。爾雅云。鑠。美也。言百鎰之美金在於地。雖有盜跖之行。亦不取者。爲其財多而罪重也。故下云。搏必隨手刑。盜跖不搏也。搏。

猶攫也。取也。凡鳥翼擊物。必轉足取攫。故人取物亦云搏也。非庸人之心重尋常之利深而盜跖之欲

布帛尋常鑠金百鎰ハ、
凌稚陸曰、八尺ヲ尋ト
曰フ、尋ニ倍スルヲ常
ト曰フ、少ヲ謂フナリ、
鑠ハ斷ジテ鑠金ノ鑠ナ
リ、鑠金ハ新鑠ノ金ナ
リ。

敢不竭能以徇其主矣。此臣主之分定。上下之義明。則天下賢不肖莫敢不盡力竭任以徇其君矣。是故主獨制於天下而無所制也。能窮樂之極矣。賢明之主也。可不察焉。故申子曰。有天下而不恣睢。索隱曰。恣音資。二反。睢音呼季反。恣睢猶放縱也。謂肆情縱恣也。命之曰以天下爲桎梏者。

正義曰。言有天下不能自縱恣督責。乃勞身於天下。若堯禹卽以天下爲桎梏於身也。

無他焉。不能督責而顧以其身

勞於天下之民。若堯禹然。故謂之桎梏也。夫不能修申韓之明術。行督責之道。專以天下自適也。而徒務苦形勞神。以身徇百姓。則是黔首之役。非畜天下者也。何足貴哉。夫以人徇己。則己貴而人賤。以己徇人。則己賤而人貴。故徇人者賤。而人所徇者貴。自古及今。未有不然者也。凡古之所爲尊賢者。爲其貴也。而

然則夫所貴於有天下、
札記云、然則二字疑フ
衍ナラン。

肆志廣欲ハ、札記賜志
廣欲ニ作ル、云フ賜字、
蔡本中統游王毛本竝ニ
同シ、字類補遺、此文
ナ引キ、亦賜ニ作ル、
方言ニ、賜ハ盡ナリ、
義自ラ通ズベシ、今本
肆ニ作ル者、疑フ後人
賜志經見セザルヲ以テ
改ム。

死^シ于^レ外^ル葬^ス於^ニ會稽^ニ。臣虜之勞。不^レ烈^シ於^リ此^ニ矣。然則夫所貴^ブ於^ニ有^ツ天
下^ヲ者。豈欲^ク苦^シ形^ヲ勞^シ神^ヲ。身處^ニ逆旅^ノ之宿^ニ。口食^ニ監門^ノ之養^ヲ。手持^ニ臣虜^ノ
之作^ヲ哉。此不肖人之所勉^ル也。非^ル賢者之所^ニ務^ル也。彼賢人之有^ツ天
下^ヲ也。專用^ニ天下^ヲ適^ス己^ニ而已^ニ矣。此所以貴^ブ於^ニ有^ツ天下^ヲ也。夫所謂賢
人者。必能安^ン天下^ヲ而治^ム萬民^ヲ。今身且不能^ル利^ス將^ダ惡^シ能^ン治^{メン}天下^ヲ哉。
故吾願^フ肆^ニ志^ヲ廣^メ欲^ク長^ク享^ク天下^ヲ而無^キ害^ス爲^ス之^ヲ奈何。李斯子由爲^リ三
川^ヲ守^ト。羣盜吳廣等西略^シ地^ヲ過^ギ去^ル。弗能^ズ禁^{ズル}。章邯以破^ス逐^ス廣等兵^ヲ。使
者覆^ニ案^ニ三川^ヲ相屬^シ。誚^ニ讓^ス斯^ヲ。居^ニ三公^ノ位^ニ。如何^ソ令^ム盜^ヲ如此^ニ。李斯恐懼^シ。
重^シ爵祿^ヲ。不知^ル所^ヲ出^ル。乃阿^ニ二世^ノ意^ニ。欲^メ求^フ容^ヲ以^テ書^ヲ對^フ曰。夫賢主者。必
且^ニ能^ク全^ク道^ヲ而行^{ント}督責^ノ之術^ヲ者也。
索隱曰。督者。察也。察其非責之以刑罰也。督^ス責^ス之^ヲ。則臣不

治直馳道、札記云、直下字ヲ脱ス、治要引テ、治直道馳道ニ作ル。

飯土噉啜土銅、壓ハ匣ナリ、銅ハ瓦器ナリ。

手足胼胝ハ、皮厚キナリ。

日益刻深。羣臣人人自危。欲畔者衆。又作阿房之宮。治直馳道。

賦斂愈重。戍徭無已。於是楚戍卒陳勝吳廣等乃作亂。起於山

東。傑俊相立。自置爲侯王。叛秦。兵至鴻門。而卻李斯數。欲請閒

諫。二世不許。而二世責問李斯曰。吾有私議。而有所聞於韓子

也。曰堯之有天下也。堂高三尺。采椽不斲。徐廣曰。采一名櫟。一作柞。○索隱曰。采。木名。卽今之櫟木

也。茅茨不翦。雖逆旅之宿。不勤於此矣。冬日鹿裘。夏日葛衣。棗

糲之食。索隱曰。棗音資。糲音郎葛反。黎藿之羹。飯土匭。啜土銅。徐廣曰。匭一作糲。銅

音刑。雖監門之養。不穀於此矣。徐廣曰。穀音學。穀一作穀。推也。○索隱曰。爾雅云。穀。盡也。言監門下人飯猶不盡此。若徐氏云。一作

穀。則字宜作。禹鑿龍門。通大夏。疏九河。曲九防。正義曰。謂河之。決渟水。九曲別爲隄防。

致之海。徐廣曰。致。一作放。而股無胈。胈。膚。脰無毛。手足胼胝。面目黎黑。遂以

硃死於杜注史記音義、
札記史記音隱ニ作ル、
云フ宋本中統本同ジ、
游王柯凌本音隱ヲ誤テ
音義ニ作ル。

除而姦謀塞羣臣莫不被潤澤。蒙厚德。陛下則高枕肆志寵樂
矣。計莫出於此。二世然高之言。乃更爲法律。於是羣臣諸公子
有罪。輒下高令。鞠治之。殺大臣蒙毅等。公子十二人僇死咸陽
市。十公主硃死於杜。

史記音義曰。硃音貯格反。○索隱曰。硃音宅。與礫同。古今字異耳。礫謂裂其支體而殺之。

縣官相連坐者不可勝數。公子高欲奔。恐收族。乃上書曰。先帝
無恙時。臣入則賜食。出則乘輿。御府之衣。臣得賜之。中廕之寶
馬。臣得賜之。臣當從死而不能。爲人子不孝。爲人臣不忠。不忠
者。無名以立於世。臣請從死。願葬鄠山之足。唯上幸哀憐之。書
上。胡亥大說。召趙高而示之曰。此可謂急乎。趙高曰。人臣當憂
死而不暇。何變之得。謀胡亥可。其書賜錢十萬以葬。法令誅罰。

與謀事。謂曰。夫人生居世間也。譬猶騁六驥過決隙也。吾既已臨天下矣。欲悉耳目之所好。窮心志之所樂。以安宗廟而樂萬姓。長有天下。終吾年壽。其道可乎。高曰。此賢主之所能行也。而昏亂主之所禁也。臣請言之。不敢避斧鉞之誅。願陛下少畱意焉。夫沙丘之謀。諸公子及大臣皆疑焉。而諸公子盡帝兄。大臣又先帝之所置也。今陛下初立。此其屬意怏怏皆不服。恐爲變。且蒙恬已死。蒙毅將兵居外。臣戰戰栗栗。唯恐不終。且陛下安得爲此樂乎。二世曰。爲之奈何。趙高曰。嚴法而刻刑。令有罪者相坐誅。至收族滅大臣而遠骨肉。貧者富之。賤者貴之。盡除去先帝之故臣。更置陛下之所親信者近之。此則陰德歸陛下。害

即以屬吏繫於陽周ハ、
方苞曰、蒙恬ノ死後ノ
趙高ノ語ニ於テ之ヲ出
ス、故ニ此ニ於テ其死
狀ヲ言ハザルナリ。

誹^ス謗^ス我^ヲ所^ヲ爲^ス。以^テ不^レ得^ル罷^{シテ}歸^ル爲^ニ太^シ子^ト。日^ニ夜^ニ怨^ミ望^ス。扶^ニ蘇^ヲ爲^ニ人^ノ子^ト不^レ孝^{ナリ}。
其^レ賜^フ劍^ヲ。以^テ自^レ裁^セ。將^ニ軍^ヲ恬^ハ與^ニ扶^ニ蘇^ヲ居^テ外^ニ。不^レ匡^セ正^ス。宜^ル知^ル其^ノ謀^ヲ。爲^ニ人^ノ臣^ト。
不^レ忠^{ナリ}。其^レ賜^フ死^ヲ。以^テ兵^ヲ屬^ニ裨^ト將^ヲ王^ヲ離^ニ。封^ス其^ノ書^ヲ。以^テ皇^ノ帝^ノ璽^ヲ。遣^リ胡^ノ亥^ノ客^ヲ奉^{シテ}。
書^ヲ賜^フ扶^ニ蘇^ヲ於^ニ上^ノ郡^ニ。使^ニ者^ヲ至^リ發^{シテ}書^ヲ。扶^ニ蘇^ヲ泣^キ。入^リ內^ニ舍^ニ。欲^シ自^レ殺^{セント}。蒙^ニ恬^ヲ止^メ。
扶^ニ蘇^ヲ曰^ク。陛^ノ下^ニ居^リ外^ニ。未^レ立^テ太^シ子^ト。使^ニ臣^ヲ將^{シテ}三^ノ十^ノ萬^ノ衆^ヲ。守^ラ邊^ヲ。公^ノ子^ヲ爲^ニ監^ト。
此^ノ天^ノ下^ニ重^シ任^ヲ也^{ナリ}。今^ニ一^ノ使^ヲ者^ヲ來^リ。卽^チ自^レ殺^ス。安^ニ知^ル其^ノ非^ニ詐^ニ。請^フ復^{シテ}請^フ復^{シテ}請^フ。
而^レ後^ニ死^{スル}未^ダ暮^カ也^{ナリ}。使^ニ者^ヲ數^ク趣^レ之^ヲ。扶^ニ蘇^ヲ爲^ニ人^ノ仁^ト。謂^ク蒙^ニ恬^ヲ曰^ク。父^ヲ而^レ賜^フ子^ニ。
死^ヲ。尙^{シテ}安^ニ復^{シテ}請^フ。卽^チ自^レ殺^ス。蒙^ニ恬^ヲ不^レ肯^テ死^ス。使^ニ者^ヲ卽^チ以^テ屬^ニ吏^ヲ繫^グ於^ニ陽^ノ周^ニ。徐^ニ廣^ニ曰^ク。屬^ニ上^ノ郡^ニ。○正^シ義^ヲ曰^ク。陽^ノ周^ノ。寧^ノ州^ノ羅^ノ川^ノ縣^ノ之^ノ邑^ニ也^{ナリ}。使^ニ者^ヲ還^リ報^ズ。胡^ノ亥^ノ斯^ニ高^ニ大^ニ喜^ブ。至^リ咸^ノ陽^ニ發^{シテ}喪^ヲ。太^シ子^ト立^ツ。
爲^ニ二^ノ世^ノ皇^ノ帝^ト。以^テ趙^ノ高^ヲ爲^ニ郎^ノ中^ト令^ト。常^ニ侍^{シテ}中^ニ用^フ事^ヲ。二^ノ世^ノ燕^ノ居^ニ。乃^チ召^{シテ}高^ヲ。

危^{ウス}社稷^チ。三者逆天^ニ。宗廟不^ニ血食^セ。斯其猶人哉^{ナル}。安足爲^ニ謀^チ。

索隱曰。言我今日猶

是人。人道守順。豈能爲^ニ逆謀^チ。故曰安足爲^ニ謀^チ也。高曰。上下合同。可以長久^{ナル}。中外若^ク一。事無^ニ表裏^チ。

君聽^ニ臣之計^チ。卽長有^ニ封侯^チ。世世稱孤^ト。必有^ニ喬松之壽^チ。孔墨之智。

今釋^レ此而不^ル從^ハ。禍及^ニ子孫^ニ。足以爲^ニ寒心^チ。善者因^テ禍爲^ニ福^ト。君何處^ニ

焉。斯乃仰^テ天而歎^シ。垂^レ淚太息曰。嗟乎。獨遭^ニ亂世^ニ。旣以不能死^{スル}。安

託^ニ命^チ哉。於是斯乃聽^ク高。高乃報^テ胡亥曰。臣請奉^ニ太子之明命^チ。以

報^ニ丞相^ニ。丞相斯敢不奉^レ令^チ。於是乃相與謀^リ。詐爲^ニ受^ニ始皇詔^チ。丞相

立^ニ子胡亥爲^ニ太子^ト。更爲^ニ書^チ。賜^ニ長子扶蘇曰。朕巡^ニ天下^チ。禱^ニ祠名山

諸神^チ。以延^ニ壽命^チ。今扶蘇與^ニ將軍蒙恬^ニ。將^ニ師數十萬^チ。以屯^ニ邊^ニ。十有

餘年矣。不能^ニ進^ニ而前^ム。士卒多耗^シ。無^ニ尺寸之功^チ。乃反^テ數上書^シ。直言^シ

是以爲寒心。札記云、
難志云、以字文義ナ成
サズ、文選報任少卿書
注、引テ足爲寒心ニ作
ル。
於是斯乃驪高、屠隆曰、
李斯詐ツテ胡亥ヲ立
テ、陰ニ扶蘇ヲ弑ス、趙
高ノ奸ニ由ルト雖モ、
實ニ其私心欲スル所ナ
リ、彼其初之ヲ難ンズ
ルハ、說ヲ飾リ、以テ
高ト天下トナ欺クニ過
ギザルノミ、其後扶蘇
死シテ、斯大ニ喜ブ、
眞情其レ微シク露ハル
矣。

忠臣不避死而庶幾ハ、董份曰、庶幾ハ、他望アルナリ、忠臣死ヲ避ケテ、他望ヲ幾ハザルヲ言フ、古者幾字糞ト同ジ、注謬ル甚シ。孝子不勤勞而見危ハ、董份曰、孝子ハ、身ヲ謹ミ親ニ事ヘ、危險ヲ蹈マザルヲ言フ、暗ニ胡亥ヲ指スナリ。就變而從時、札記云、毛本就ナ龍ニ作ル、志疑云、文選東方朔畫贊ニ、引テ龍變而從之ニ作ル。秋霜降者云云ハ、札記云、索隱本下句ナ出シ、動字ナシ、雜志云、秋字ナリ、皆後人ノ増ス所ナリ。

不定。何以貴聖。斯曰。斯上蔡閭巷布衣也。上幸擢爲丞相。封爲

通侯。子孫皆至尊位重祿者。故將以存亡安危屬臣也。豈可負

哉。夫忠臣不避死而庶幾。索隱曰。斯言忠臣之節。本不避死。言己今日亦庶幾盡忠不避死也。孝子不勤勞

而見危。人臣各守其職而已矣。君其勿復言。將令斯得罪。高曰。

蓋聞聖人遷徙無常。就變而從時。見末而知本。觀指而覩歸。物

固有之。安得常法哉。方今天下之權命。懸於胡亥。高能得志焉。

且夫從外制中。謂之惑。從下制上。謂之賊。故秋霜降者。草花落。

水搖動者。萬物作。索隱曰。水搖者。謂冰泮而搖。動也。是春時而萬物皆生也。此必然之效也。君何見

之晚。斯曰。吾聞晉易太子。正義曰。謂廢申生立奚齊也。三世不安。齊桓兄弟爭位。

正義曰。謂小白與公子糾。身死爲戮。紂殺親戚。正義曰。謂殺比干囚箕子。不聽諫者。國爲丘墟。遂

懷通侯之印ハ、胡三省曰、徹侯漢ニ通侯ト曰フ、應劭曰、通モ亦徹ナリ、通トハ功德王室ニ通ズルヲ言フナリ。

孰^レ與^レ蒙恬^ニ。功高孰^ニ與^レ蒙恬^ニ。謀遠不^レ失^ニ。孰^ニ與^レ蒙恬^ニ。無^レ怨^ニ於^ニ天下^ニ。孰^ニ與^レ蒙恬^ニ。長子^ト舊^ニ而信^ニ之^ヲ。孰^ニ與^レ蒙恬^ニ。斯曰^ニ。此五者皆不^レ及^ニ蒙恬^ニ。而君責^ル之何深也。高曰。高固^ト內官之厮役也。幸得^ニ以^ニ刀筆之文^ヲ進^ニ入^ル秦宮^ニ。管事^ニ二十餘年。未嘗^テ見^ル秦免罷丞相^{スル}功臣有^ル封及^ニ二世^ニ者也。卒皆以誅亡^ヌ。皇帝二十餘子。皆君之所^レ知。長子剛毅而武勇^ニ。信人而奮士^ニ。卽^レ位必用^ニ蒙恬^ヲ爲^ニ丞相^ト。君侯終不^レ懷^ニ通侯之印^ヲ。歸^ル於^ニ鄉里^ニ明矣。高受^テ詔教習^シ胡亥^ヲ。使^ル學^ニ以^ニ法事^ヲ數年矣。未嘗^テ見^ル過失^ヲ。慈仁篤厚。輕^レ財重^ニ士^ヲ。辯^ニ於^ニ心^ニ而詘^ス於^ニ口^ニ。盡^シ禮敬^ス士^ヲ。秦之諸子未^レ有^ニ及^ニ此者^ニ。可以爲^ニ嗣^ト。君計而定^ニ之^ヲ。斯曰。君其反^レ位^ニ。斯奉^ニ主之詔^ヲ。聽^ニ天之命^ヲ。何慮^カ之可^レ定也。高曰。安可^レ危也。危可^レ安也。安危

斯之禍身與禍秦根本此

衛君殺其父云云、錢大所曰、春秋ニ、衛ノ石曼姑師ヲ帥テ戚ヲ圍ム、公羊以テ伯討ト爲シ、孟子書ニ衛君輒ヲ稱シテ孝公ト爲ス、故ニ趙高此言ヲ爲ス、然ルニ荆轲未ダ嘗テ輒ニ死セズ、輒亦德ノ戴クベキナキナリ。

今大行未發、凌稚隆曰、先儒陳氏曲禮ヲ注シ、天王登假ハ、猶漢書ニ大行ト稱スル如シ、其往テ返ラザルヲ以テ、故ニ大行ト曰フ。

羸糧躍馬ハ、其時ニ乗ズベキヲ形容スルナリ。

主。天下稱義焉。不爲不忠。衛君殺其父。而衛國戴其德。孔子著之。不爲不孝。夫大行不小謹。盛德不辭讓。鄉曲各有宜。而百官不同功。故顧小而忘大。後必有害。狐疑猶豫。後必有悔。斷而敢行。鬼神避之。後有成功。願子遂之。胡亥喟然歎曰。今大行未發。喪禮未終。豈宜以此事干丞相哉。趙高曰。時乎時乎。閒不及謀。羸糧躍馬。唯恐後時。胡亥既然。高之言。高曰。不與丞相謀。恐事不能成。臣請爲子與丞相謀之。高乃謂丞相斯曰。上崩。賜長子書。與喪會咸陽而立爲嗣。書未行。今上崩。未有知者也。所賜長子書及符璽。皆在胡亥所。定太子在君侯與高之口耳。事將何如。斯曰。安得亡國之言。此非人臣所當議也。高曰。君侯自料能

車中。徐廣曰。一作輜車。百官奏事。上食如故。宦者輒從輜輳車中。可諸奏

事。文穎曰。輜輳車。如今喪輜車也。孟康曰。如衣車有窓牖。閉之則溫。開之則涼。故名之輜輳車也。如淳曰。輜輳車。其形廣大。有羽飾也。趙高因畱所賜

扶蘇璽書。而謂公子胡亥曰。上崩。無詔封王諸子。而獨賜長子

書。長子至。卽立爲皇帝。而子無尺寸之地。爲之奈何。胡亥曰。固

也。吾聞之。明君知臣。明父知子。父捐命。不封諸子。何可言者。趙

高曰。不然。方今天下之權。存亡在子。與高及丞相耳。願子圖之。

且夫臣人與見臣於人。制人與見制於人。豈可同日道哉。胡亥

曰。廢兄而立弟。是不義也。不奉父詔而畏死。是不孝也。能薄而

材讓。史記音隱宰顯反。○索隱曰。劉氏音將淺反。則讓亦淺義。古人語自有重輕。所以文字有異。彊因人之功。是不能也。三

者逆德。天下不服。身殆傾危。社稷不血食。高曰。臣聞湯武殺其

趙高因畱所賜扶蘇璽書云云ハ、余有丁曰、趙高ノ言ナ斯傳ニ歴載ス、同惡相濟スヲ見ルナリ、方苞曰、趙高亂ヲ謀ル、李斯ノ傳ニ入ル、高ノ惡斯之ヲ成シ、秦ノ亡斯之ニ主タルヲ以テナリ、其始迹ハ蒙恬ノ傳ニ入ル、蒙毅曾テ高ヲ治シ、其罪ヲ死ニ當シ、而テ高此ニ因テ賊心アルヲ以テナ

臣上者可謂富貴極矣。物極則衰。吾未知所稅駕也。為後夷族張本。索隱曰。稅駕猶解駕。言休息也。

李斯言已今日富貴已極。然未知向後吉凶止泊在何處也。始皇三十七年十月行出游會稽並海上。

北抵琅邪。正義曰。今沂州。丞相斯中車府令趙高兼行符璽令事。皆從。始

皇有二十餘子。長子扶蘇以數直諫上。上使監兵上郡。正義曰。上郡故城在

綏州上縣東南五十里。蒙恬為將。少子胡亥愛請從上許之。餘子莫從。辯士隱姓名遺

秦將章邯書曰。李斯為秦王死廢十七兄而立今王也。然則二世是秦始皇第十八子。此書在善文中。其年七月。始皇帝至沙丘。

正義曰。沙丘臺在邢州。病甚。令趙高為書賜公子扶蘇曰。以兵屬蒙恬與喪

會咸陽而葬。書已封。未授使者。始皇崩。書及璽皆在趙高所。獨

子胡亥。丞相李斯。趙高及幸宦者五六人知始皇崩。餘羣臣皆

莫知也。李斯以為上在外崩。無真太子。故祕之。置始皇居輜輳

餘子莫從注在善文中、
凌稚隆曰、杜預、古人文
章ノ將者ヲ集メ、善文
ト曰フ。

率^{キツ}羣^ヲ下^ニ以^テ造^ス謗^ヲ。如此^キ不^レ禁^ズ。則^レ主^ノ勢^ヲ降^リ乎^ニ上^ニ。黨^ヲ與^ニ成^{ラン}乎^ニ下^ニ。禁^ズ之^ヲ便^{ナリ}。

臣^ハ請^フ諸^ノ有^ル文^ヲ學^ヲ詩^ヲ書^ヲ百^ノ家^ノ語^ヲ者^ヲ。蠲^{シテ}除^ク去^シ之^ヲ。令^リ到^リ滿^ニ三^ノ十^ノ日^ヲ弗^ル去^ク。

黥^{シテ}爲^ニ城^ヲ旦^ト所^ノ不^レ去^テ者^ヲ。醫^ヲ藥^ヲ卜^ヲ筮^ヲ種^ヲ樹^ヲ之^ヲ書^ヲ。若^シ有^ル欲^{スル}學^{バント}者^ヲ。以^テ吏^ヲ爲^{ント}。

師^ト。始^レ皇^ト可^ニ其^ノ議^ヲ。收^メ去^シ詩^ヲ書^ヲ百^ノ家^ノ之^ヲ語^ヲ。以^テ愚^ニ百^ノ姓^ヲ。使^シ天^ヲ下^ヲ無^ニ以^テ古^ヲ。

非^レ今^ヲ。明^ニ法^ヲ度^ヲ。定^ル律^ヲ令^ヲ。皆^ニ以^テ始^レ皇^ヲ起^ス。同^ニ文^ヲ書^ヲ。正義曰。六國制令不同。今令同之。治^{メテ}離^ニ宮^ヲ。

別^ニ館^ヲ。周^ニ徧^ス天^ヲ下^ヲ。明^ニ年^ヲ又^ニ巡^シ狩^ヲ。外^ニ攘^フ四^ノ夷^ヲ。斯^ハ皆^ニ有^ル力^ヲ焉^ヲ。斯^ハ長^ニ男^ヲ由^ニ。

爲^ニ三^ノ川^ヲ守^ト。諸^ノ男^ヲ皆^ニ尙^ス秦^ノ公^ヲ主^ニ。女^ハ悉^ク嫁^ス秦^ノ諸^ノ公^ヲ子^ニ。三^ノ川^ヲ守^ト李^ハ由^ニ告^ニ。

歸^ス咸^ニ陽^ニ。李^ハ斯^ハ置^ニ酒^ヲ於^ニ家^ニ。百^ノ官^ノ長^ヲ皆^ニ前^ニ爲^レ壽^ヲ。門^ニ廷^ニ車^ヲ騎^ヲ以^テ千^ノ數^ヲ。李^ハ。

斯^ハ喟^{シテ}然^ル而^テ歎^ク曰^ク。嗟^ハ乎^ヲ。吾^ハ聞^ク之^ヲ。荀^ハ卿^ト曰^ク。物^ハ禁^ニ太^ニ盛^ニ。夫^ハ斯^ハ乃^ニ上^ニ蔡^ノ布^ヲ。

衣^ヲ。閭^ノ巷^ノ之^ヲ黔^ク首^ヲ。上^ハ不^レ知^ラ其^ノ驚^ク下^ヲ。遂^ニ擢^{デテ}至^ル此^ニ。當^ニ今^ニ人^ノ臣^ノ之^ヲ位^ヲ。無^ニ居^ニ。

辨白黑、札記辨ヲ別ニ
作ル、云フ素隱本別、各
本辨ニ作ル。

年。置酒咸陽宮。博士僕射周青臣等。頌稱始皇威德。齊人淳于
越進諫曰。臣聞之。殷周之王千餘歲。封子弟功臣。自爲支輔。今
陛下有海內。而子弟爲匹夫。卒有田常六卿之患。臣無輔弼。何
以相救哉。事不師古而能長久者。非所聞也。今青臣等又面諛
以重陛下過。非忠臣也。索隱曰。重音逐。用反。重者。再也。始皇下其議丞相。丞相謬其
說。絀其辭。乃上書曰。古者天下散亂。莫能相一。是以諸侯竝作。
語皆道古以害今。飾虛言以亂實。人善其所私學。以非上所建
立。今陛下并有天下。辨白黑而定一尊。索隱曰。劉氏云。前時國異政。家殊
俗。人造私語。莫辨其真。今乃分別白黑也。秦始皇并六國。定天下。
海內共尊立一帝。故云定一尊。而私學乃相與非法教。教制聞令下。卽各
以其私學議之。入則心非。出則巷議。非主以爲名。異趣以爲高。

ナリ、管子無シ。

此所謂藉寇兵、胡三省曰、藉ハ慈夜切、假ナリ、借ナリ。

尊主爲皇帝、札記云、主ハ漢刻王ニ作ル。

子云。海不辭水。故能成其大。泰山不辭土石。故能成其高。文子曰。聖人不讓負薪之言。以廣其名也。是以地無四方。民無異國。四

此下俱應逐客爲過之意

時充美。鬼神降福。此五帝三王之所以無敵也。今乃棄黔首以

資敵國。索隱曰。資猶給也。卻賓客以業諸侯。使天下之士退而不敢西向。

裹足不入秦。他國得土而用之便成孝穆惠昭此所謂藉寇兵而齎盜糧者也。索隱曰。藉音積。夜反。齎音子奚反。說文云。齎持遺也。

齎或爲資。義亦通。又聖前議作結尾。夫物不產於秦。可寶者多。士不產於秦。而願忠者衆。今

逐客以資敵國。損民以益讎。內自虛而外樹怨於諸侯。求國無

危。不可得也。秦王乃除逐客之令。復李斯官。新序曰。斯在逐中。道上上諫書達始皇。始皇使人逐。

至驪邑。卒用其計謀。官至廷尉。二十餘年。竟并天下。尊主爲皇帝。

以斯爲丞相。夷郡縣城。銷其兵刃。示不復用。使秦無尺土之封。

不立子弟爲王。功臣爲諸侯者。使後無戰攻之患。始皇三十四

故曰宛珠璣者女飾也言女傳之
阿綯之衣、札記云阿綯或ハ綯ニ作ル、廣雅ニ綯綯ハ練ナリ、淮南修務訓注ニ、阿ハ細縠、漢書禮樂志註ニ、阿ハ細縠ナリ、司馬相如傳注ニ同ジ。

前而隨俗雅化徐廣曰隨俗一作修使。○索隱曰謂閑雅變化而能隨俗也。佳冶窈窕趙女不立於

側也夫擊甕叩鈺彈箏搏髀而歌呼嗚嗚快耳目者真秦之聲

也索隱曰說文云甕汲甕也音於貢反缶瓦器也秦人鼓之以節樂鈺音甫有反。鄭衛桑間昭虞武象者索隱曰昭作韶與前何也相應異國

之樂也今棄擊甕叩鈺而就鄭衛退彈箏而取昭虞若是者何

也快意當前適觀而已矣方止說今取人則不然不問可否不論曲直

非秦者去爲客者逐然則是所重者在乎色樂珠玉而所輕者

在乎人民也此非所以跨海內制諸侯之術也臣聞地廣者粟

多國大者人衆兵彊則士勇是以太山不讓土壤故能成其大

河海不擇細流故能就其深王者不卻衆庶故能明其德

索隱曰管

阿綯之衣、札記云阿綯或ハ綯ニ作ル、廣雅ニ綯綯ハ練ナリ、淮南修務訓注ニ、阿ハ細縠、漢書禮樂志註ニ、阿ハ細縠ナリ、司馬相如傳注ニ同ジ。
隨俗雅化ハ、趙女ニ屬スルナリ。
快耳目ハ、札記云、口字後人ノ加フル所也、文選無シ、舊本書鈔、類聚、御覽樂部、史チ引テ皆目字ナシ。
昭虞武象者注索隱曰ナ、札記、集解徐廣曰ニ作ル、云フ王柯凌木誤テ索隱曰ニ作ル。

能明其德注索隱泰山云云、札記云、秦字誤衍

也。今陛下致^{舉重明輕}昆山之玉。正義曰。昆岡在于闐國。東北四百里。其岡出玉。有隨和之寶。正義曰。括地志云。滇山一

名崑山。二名斷蛇丘。在隨州隨縣北二十五里。說苑云。昔隨侯行遇大蛇中斷。疑其靈。使人以

藥封之。蛇乃能去。因號其處為斷蛇丘。歲餘蛇銜明珠徑寸。絕白而有光。因號隨珠。下和璧。始

皇以為傳國璽也。垂明月之珠。服太阿之劍。見蘇秦傳。乘纖離之馬。徐廣曰。纖離蒲稍。皆駿馬名。○

索隱曰。徐氏據建翠鳳之旗。樹靈囂之鼓。鄭玄注。月令云。囂皮可以冒鼓。此數寶者。秦不

生一焉。而陛下說之。何也。必秦之所生。然後可。則是夜光之璧。上下一節只是順說又倒說

不飾。朝廷犀象之器。不為玩好。鄭衛之女。不充後宮。而駿良駃騠。不實外廐。索隱曰。駃音決。騠音提。周書曰。正北以駃騠為獻。廣雅云。馬屬也。郭景純注。上林賦云。生三日而超其母也。江南金錫不

為用。西蜀丹青不為采。所以飾後宮。充下陳。索隱曰。下陳。猶後列也。晏子曰。有二女。願得入身於

娛心意。說耳目者。必出於秦。然後可。則是宛珠之簪。傅璣之珥。上兩反說一二項此事指女色又倒一倒不覺重疊

之珥。索隱曰。宛音於阮反。傅音附。即隨珠也。宛者。謂以珠宛轉而裝其簪。傅者。以璣附著於珥。珥者。瑱也。璣是珠之不圓者。或云。宛珠。宛地之珠也。隨在漢水之南。宛亦近漢。

於珥。珥者。瑱也。璣是珠之不圓者。或云。宛珠。宛地之珠也。隨在漢水之南。宛亦近漢。

之珥。

之珥。

之珥。

之珥。

之珥。

之珥。

之珥。

之珥。

之珥。

風易俗。民以殷盛。國以富彊。百姓樂用。諸侯親服。獲楚魏之師。

舉地千里。至今治彊。惠王用張儀之計。拔三川之地。西并巴蜀。

索隱曰。案惠王時張儀爲相。請伐韓下兵三川。以臨二周。司馬錯請伐蜀。惠王從之。果滅蜀。儀死後。武王欲通車三川。令甘茂拔宜陽。今竝云張儀者。以儀爲秦相。雖錯滅蜀。甘茂通三川。皆歸功於相。又三川是儀先請伐故也。

北收上郡。正義曰。惠王十年。魏納上郡十五縣。南取漢中。正義曰。惠王十三年。攻楚漢中。取地六百

里。包九夷。制鄢郢。索隱曰。九夷。卽屬楚之夷也。地理志。南郡江陵縣云。故楚郢都。又宜城縣云。故鄢也。○正義曰。夷。謂并巴蜀。收上郡。取漢中。伐義渠

丹鞏。是也。九夷。本東夷九種。此言者文體然也。東據成臯之險。正義曰。河南府汜水縣也。割膏腴之壤。遂散六

國之從。使之西面事秦。功施到今。昭王得范雎。廢穰侯。逐華陽。

徐廣曰。華一作葉。彊公室。杜私門。蠶食諸侯。使秦成帝業。索隱曰。高誘注。淮南云。蠶食。盡無餘也。

此四君者。皆以客之功。由此觀之。客何負於秦哉。向使四君卻

客而不內。疏士而不用。是使國無富利之實。而秦無彊大之名。

鄧狐口ニ作ル、云フ中字西字、考證河渠書溝洫志ニ據テ増ス。

游閑於秦耳ハ、胡三省曰、遊説シテ以テ秦ノ君臣ヲ開スルヲ謂フ。

求丕約公孫支、札記求丕來ニ作ル、云フ索隱本來、各本求ニ作ル。

此五者、札記此五子者ニ作ル、云フ王柯凌毛本字字ヲ脱ス。

國渠。首起雍州雲陽縣西南二十五里。自山鄧狐口爲渠。傍北山東注洛二百餘里。以溉田。又曰。韓苦秦兵。而使水工鄭國閒秦。作注溉渠。令費人工不東伐也。已而覺。

秦宗室大臣皆言秦王曰。諸侯人來事秦者。大抵爲其主游閒。

於秦耳。請一切逐客。索隱曰。一切猶一例。言盡逐之也。言切者。譬若利刀之割。一運斤無不斷者。解漢書者。以一切爲權時。義亦未爲得也。

李斯議亦在逐中。斯乃上書曰。正義曰。在始皇十年。臣聞吏議逐客。竊以爲

過矣。昔繆公求士。西取由余於戎。東得百里奚於宛。索隱曰。秦本紀云。晉獻公

以百里奚爲秦穆公夫人媵於秦。奚亡走宛。楚鄙人執之。是也。○迎蹇叔於宋。索隱曰。正義曰。新序云。百里奚。楚宛人。仕於虞。虞亡入秦。號五穀大夫也。秦紀又

云。百里奚謂穆公曰。臣不如臣友蹇叔。蹇叔賢而世莫知。穆公厚幣迎之。以爲上大夫。今云於宋。未詳所出。○正義曰。括地志云。蹇叔。岐州人也。時游宋。故迎之於宋。求丕

豹公孫支於晉。索隱曰。丕豹自晉奔秦。左氏傳有明文。公孫支所謂子桑也。是秦大夫。而云自晉以來。亦未見其所出。○正義曰。括地志云。公孫支。岐州

人。游晉。一本五下有子字。此五者。不產於秦。而繆公用之。并國二十。遂霸西戎。索隱曰。秦本紀。穆公用由余謀伐戎王。益國十二。開地千里。遂霸西戎。此都言五子之功。故云并國二十。或易爲十二。誤也。

孝公用商鞅之法。移

ク大功ヲ成ス者ハ、皆
嫌セザル所アリト雖
モ、而モ忍ビ強勉シテ
其事ヲ就ス、是ヲ以テ
卒ニ能ク其功ヲ遂ケル
ヲ得ルナリ。

由竈上廢除、札記云、
雜志云、御覽人事部、
引テ竈上ニ老嫗二字ア
リ、案ズルニ、索隱若
炊婦云云、則當ニ老嫗
ノ字アルベシ。

作注溉渠注正義自山邸
孤口ハ、札記自中山西

之。索隱曰。言因諸侯有瑕釁則忍心而翦除。故我將說秦以并天下也。昔者秦穆公之霸終不東并六國者

何也。諸侯尙衆。周德未衰。故五伯迭興。更尊周室。自秦孝公以

來。周室卑微。諸侯相兼。關東爲六國。秦之乘勝役諸侯。蓋六世

矣。正義曰。秦孝公。惠王。文王。今諸侯服秦。譬若郡縣。夫以秦之彊。大王

之賢。由竈上騷除。徐廣曰。騷音掃。○索隱曰。言秦欲并天下。足以滅諸侯。成

帝業。爲天下一統。此萬世之一時也。今怠而不急就。諸侯復彊。

相聚約從。雖有黃帝之賢。不能并也。秦王乃拜斯爲長史。聽其

計。陰遣謀士。齎持金玉。以游說諸侯。諸侯名士可下以財者。厚

遺結之。不肯者。利劍刺之。離其君臣之計。秦王乃使其良將隨

其後。秦王拜斯爲客卿。會韓人鄭國來間秦。以作注溉渠。

正義
曰。鄭

事之於文
紆廻非也。

今秦王欲吞天下稱帝而治此布衣馳騫之時而游說

者之秋也。

正義曰言秋時萬物成熟今爭疆時亦說士成熟時

處卑賤之位而計不爲者此禽鹿

視肉人面而能彊行者耳。

索隱曰禽鹿猶禽獸也言禽獸但知視肉而食之莊子及蘇子曰人而不學譬之視肉而食揚子法言曰

人而不學如禽何言不假游說取榮故詬莫大於卑賤。

正義曰呼后反恥辱也。

而悲莫甚

於窮困久處卑賤之位困苦之地非世而惡利自託於無爲此

非士之情也。

正義曰言譏世富貴惡其榮利自託於無爲者非士人之情實力不能致此也。○索隱曰非者譏也所謂處士橫議之時也。

故斯

將西說秦王矣。至秦會莊襄王卒李斯乃求爲秦相文信侯呂

不韋舍人不韋賢之任以爲郎李斯因以得說說秦王曰胥人

者去其幾也。

索隱曰胥人猶胥吏小人也去猶失也幾者動之微以言君子見幾而作不俟終日小人不識動微之會故每失時也。劉氏解幾爲彊非也。○

正義曰胥相也幾謂密也言關東六國與秦相敵者君臣機密竝有瑕釁可成大功而遂忍之也。

成大功者在因瑕釁而遂忍

此禽鹿視肉云云ハ、皆川淇曰其人、身卑賤ニ居ルヲ以テ、而デ心ニ食ヲ得ント欲スト雖モ、人ノ面視スル所ニ當レバ、則能ク彊忍シテ行フ者ノ比ノミト謂フナリ、按ニ此說ニ依レバ、肉ヲ人面ニ視テ、而テ能彊行スル者ト讀ムベシ。

胥人者去其幾也ハ、札記云、舞志云、胥ハ須ナリ、去當ニ失ト爲スベシ。

成大功者在因瑕釁云云ハ、皆川淇曰、凡能

史記評林卷之八十七

李斯列傳第二十七

李斯者。楚上蔡人也。

索隱曰。地理志云。汝南有上蔡縣。云古蔡國。周武王弟叔度所封。至十八代平侯徙新蔡。二蔡皆屬汝南。後二代至昭侯。

徙上蔡。屬沛。六國時爲楚地。故曰楚上蔡也。

年少時。爲郡小吏。

索隱曰。郡一作鄉。劉氏云。掌鄉內文書。

見吏舍廁中

鼠食不潔。近人犬。數驚恐之。斯入倉。觀倉中鼠食積粟。居大廡

之下。不見人犬之憂。於是李斯乃歎曰。人之賢不肖。譬如鼠矣。

在所自處耳。乃從荀卿學帝王之術。學已成。度楚王不足事。而

六國皆弱。無可爲建功者。欲西入秦。辭於荀卿曰。斯聞得時無

怠。今萬乘方爭時。游者主事。

索隱曰。言萬乘爭雄之時。游說者可以立功成名。當得典主事務也。劉氏云。游歷諸侯。當覓彊主以

爲郡小吏。札記云。郡字。類聚獸部。引。鄉二作ル。御覽百八十八。引。テ亦鄉二作ル。索隱本。ト同。ソ。

也。不過利祿之優。異於范中行氏之所遇耳。讓之爲之報讐之深也。其義誠是。其心亦特不忘其利祿之優異。而有激於義耳。讓之言曰。吾所爲。將以愧天下後世之爲人臣懷二心以事其君者。茲豈非爲名譽而爲善之人哉。刺客傳讓。吾無用議子長之失矣。

史記評林卷之八十六終

主不意。法不可長也。至曹沫之事。予以左氏攷之。實非也。莊公之禦齊。沫問所以戰。以小惠小信爲不足恃。惟忠爲可以一戰。沫蓋知義者也。而肯以其身爲刺客之用乎。

王安石曰。曹沫將而亡人之城。又劫天下盟主。管仲曰。勿倍。以市信。一時可也。予獨怪智伯國士豫讓。豈顧不用此策耶。讓誠國士也。曾不能逆策三晉救智伯之亡。一死區區尙足校哉。其亦不欺其意者也。聶政售于嚴仲子。荆軻象于燕太子丹。此兩人者。汙隱困約之時。自貴其身。不妄顧知。亦曰有待焉。彼挾道德以待世者何如哉。

楊維禎曰。余讀豫讓傳。後尤惜政重不幸。知己于嚴仲子也。政以身許仲子。曾何異。豫讓爲國士。而委質于智氏之所知乎。二子卒以刺客死。而史氏遂以刺客錄。豈不悲其遇。知己如智氏與仲子乎。雖然。政孝義人也。使生子鄒魯之邦。加以聖賢之學。肯爲仲子輕役哉。始以母在而休身。母卒而遂輕身。許人以死。烏乎身豈有二哉。自非簡知明主。身不得致而死之所。猶不可以不慎。而況死非其所乎。此余感政爲孝義人。而重惜其一死之輕于人。不得爲仁人義士守死之善道也。

楊士奇曰。諸侯弃甲兵之讎。爲盟會之禮。乃于登壇之後。奮匕首而劫國君。賊天下之禮者。非沫乎。君臣之義。有死無隕。專諸感公子光之豢養。而親刺刃于王僚。賊天下之義者。非諸乎。父母全而生之子。全而歸之。政纔終父母之喪。遂殺身以爲仲子。賊天下之仁者。非政乎。樊將軍以困窮歸燕丹。軻說取其首。以濟入秦之詐。賊天下之仁者。非軻乎。以賊禮賊義。賊仁賊信之人。並列于傳。又從而嗟歎其志。不亦繆哉。豫子以不忘舊君。殺身而不悔。杭節致志。行出乎烈士。乃引而置諸四子之間。不亦薰蕕之共器乎。何孟春曰。今之論讓者曰。人惟無所爲而爲者。其善必誠。其忠必盡。而讓非其人也。讓不能知韓魏之必反。無貴於讓。知而不言。非所以望讓。言而智伯弗聽。則智伯之遇讓。

應前傳爭道

踐已聞^キ荊軻之刺^ス秦王^チ。私曰。嗟乎。惜哉。其不^ル講^セ於^ニ刺劍之術^チ也。

索隱曰。案。不^レ講^ス。喚前。甚矣。吾不知^ル人也。曩者吾叱^ス之。彼乃以我爲非人也。謂^レ不^レ論^ス習^ス之。

太史公曰。世言荊軻其稱^{スル}太子丹之命^チ。天雨粟。馬生角也。

索隱曰。燕

丹求歸。秦王曰。烏頭白。馬生角。乃許耳。丹乃仰天歎。烏頭卽白。馬亦生角。風俗通及論衡皆有此說。仍云廐門木烏生肉足也。太過。又言荊軻傷^レ秦

王。皆非也。始公孫季功董生與夏無且游。具知^ル其事。爲^ニ余道^フ之。

如是。自曹沫^シ至荊軻^ニ五人。此其義或成^ハ。或不成^ラ。然其立意^ニ較然^{トシ}。

索隱曰。不^レ欺^カ其志^チ。名垂^ル後世^ニ。豈妄^{ナラン}也哉。

索隱述贊曰。曹沫盟柯。返魯侵地。專諸進炙。定吳篡位。彰弟哭市。報主塗廁。刎頸申冤。操袖行事。暴秦奪魄。懦夫增氣。

蘇子古史曰。周衰禮義不明。而小人奮身以犯上相夸以爲賢。孔子疾之。齊豹以衛司寇殺衛侯之兄繁。蔡公孫翩以大夫弑其君申。春秋皆以盜書而不名。所謂求名而不得者也。太史公傳刺客凡五人。皆豹翩之類耳。而其稱之不容口。失春秋之意矣。獨豫讓爲舊君報趙襄子。有古復讎之義。如荊軻刺秦始皇。雖始皇以強暴失天下心。聞者快之。要以盜賊乘人。

太史公曰云云。方苞曰。此篇。乃太史公自ラ作ル所ナリ。國策ヲ編スル。取テソノ首尾ヲ芟ス。蓋軻聞荊聞ニ居ル事。國策ニ入ルベカラズ。高漸離秦王ヲ朴ツ。秦六國ヲ并スルノ後ニ在ルヲ以テノ故也。後論自ラ之ヲ公孫季功董生ノ口道スル所ニ得ト云ヘバ。則戰國ノ舊聞ニ非ル。明ナリ。且先秦人事ヲ敘スル。皆廉暗ナリ。紆餘曲暢ハ。史公ノ作ヨリ乃此アリ。好學深思者。當ニ能ク之ヲ辨ズベシ。又曰。田光ノ死。太子往テ哭スルヲ載セズ。樊於期ノ事ト複スルヲ恐ルルナリ。

ニ仍テ屬スト、今據テ改ム。
家丈人召使前擊筑。注家隱云云。札記云、此義政傳正義引ク所ト同シカラズ、蓋司馬貞見ル所ヲ漢書別ニ一本ナリ。

乃驢其目、札記驢ニ作ル、云フ柯凌本驢ニ譌ス。

善從者以告其主。索隱曰。謂主人家之左右也。曰。彼庸乃知音。竊言是非。家丈人

召使前擊筑。索隱曰。劉氏云。謂主人翁也。又韋昭云。古名男子爲丈夫。尊父嫗爲丈人。故漢書宣元六王傳所云丈人。謂淮陽憲王外王母。即張博母也。故古詩

云。三日斷五疋。丈人故言遲是也。一坐稱善。賜酒。而高漸離念久隱。畏約無窮時。索隱

曰。約謂貧賤儉約。既爲庸保。常畏人。故謂畏約。所以論語云。不可與久處。約也。

乃退。出其裝匣中筑。與其善衣。更容貌而前。舉坐客皆驚。下與抗禮。以爲上客。使擊筑而歌。客無

不流涕而去者。宋子傳客之。徐廣曰。互以爲客。聞於秦始皇。秦始皇召見

人有識者。乃曰。高漸離也。秦皇帝惜其善擊筑。重赦之。乃驢其

目。驢音海各反。○索隱曰。一音角。說者云。以馬屎燻令失明。使擊筑。未嘗不稱善。稍益近之。高漸離

乃以鉛置筑中。索隱曰。案劉氏云。以鉛爲挺著筑中。令重以擊人。復進得近。舉筑朴秦皇帝。索隱

曰。朴音普卜。反朴擊也。

不中。於是遂誅高漸離。終身不復近諸侯之人。結魯句

提^テ荊軻^ニ也。於是秦王大怒。益發^{シテ}兵詣^リ趙。詔^{シテ}王翦^ニ軍以伐^ツ燕。十月而拔^リ薊城^ヲ。燕王喜太子丹等盡率^キ其精兵東保^ス於遼東。秦將李信追擊^ツ燕王急。代王嘉乃遣^ツ燕王喜書曰。秦所以尤追^フ燕急者。以^ニ太子丹故^ニ也。今王誠殺^{シテ}丹獻^{スル}之秦王。秦王必解^ケ而社稷幸得^ニ血食。其後李信追^フ丹。丹匿^ル衍水中。索隱曰。水名在遼東。燕王乃使^メ使^チ斬太子丹。欲獻^{セント}之秦。秦復進^メ兵攻^ム之。後五年秦卒滅^シ燕。虜^ス燕王喜。其明年秦并^セ天下立^テ號爲^ル皇帝。於是秦逐^ツ太子丹荊軻之客^ヲ。皆亡^ズ。高漸離變^ジ名姓爲^ニ人庸保。匿^レ作^ス於^ニ宋子。

徐廣曰。縣名也。今屬鉅鹿。○索隱曰。樂布傳云。賣庸於齊爲酒家人。漢書

作酒家保。案謂庸作於酒家。言可保信。故云庸保。鶚冠子曰。伊尹酒保也。徐注云。宋子。縣名。屬鉅鹿者。據地理志而知也。○正義曰。宋子故城在提州平賴縣北三十里。久^ク之。

作^{スル}苦聞^キ其家堂上客擊筑。傍徨^{トシテ}不能^レ去。每出^ニ言曰。彼有善有^ニ不

作於宋子注正義提州平賴縣。札記趙州平賴縣。二作ル。云フ各本趙テ提ニ誤シ。燕ヲ賴ニ誤ス。按ズルニ。隋志趙郡平棘。大業ノ初。宋子縣ヲ廢シ之ニ入ル。郡縣志。武德元年趙郡ヲ改テ趙州ト爲ス。平棘

有^テ詔召^ス不得^レ上方^ル急時^ニ不及^ス召^ス下兵^ヲ以故^ニ荊軻^ヲ乃逐^フ秦王^ヲ而卒^{カニ}

惶急^ニ無^ニ以擊^ツ軻^ヲ而以^レ手共搏^ツ之^ヲ是時侍醫夏無且^ヲ
索隱曰。且音即餘反。以^ニ其

所奉藥囊^ヲ提^ツ荊軻^ニ也。
正義曰。提姪帝反。秦王方環柱走^ル卒惶急^ニ不知所^ヲ爲^ス。

左右乃曰。王負劍^ヲ。
索隱曰。王劭云。古者帶劍上長拔之不出室。欲王推之於背。令前短易拔。故云王負劍。負劍^ヲ遂拔^ニ以

擊^ナ荊軻^ヲ斷^ツ其左股^ヲ。荊軻廢^ス乃引^イ其匕首^ヲ以擲^ツ秦王^ニ。
索隱曰。擲與擲同。古字耳。音持益反。

不^レ中^ニ中^ニ桐柱^ニ。
正義曰。燕丹子云。荊軻拔匕首擲秦王。決耳入銅柱。火出。秦王復擊^ツ軻^ヲ。軻被^ル八創^ヲ。軻自

知^リ事不^レ就^ラ倚柱^ニ而笑^フ箕倨^ヲ以罵^フ曰。事所以^ニ不^レ成^ラ者。以欲^{シテ}生劫^シ之^ヲ。

必得^テ約契^ヲ以報^{セント}太子^ニ也。
漢鹽鐵論曰。荊軻懷數年之謀。而事不就者。尺八匕首不足恃也。秦王操於不意。列斷貴育者。介七尺之利也。

於是左右既前殺^ス軻^ヲ。秦王不怡^ズ者良久^ヲ。已而論功賞羣臣^ヲ。及當

坐者各有^ク差^{シテ}。而賜^フ夏無且^ニ黃金二百鎰^ヲ。曰。無且愛^シ我^ヲ。乃以藥囊^ヲ

中桐柱、札記云、策桐字ナシ、疑フ衍ナリ、毛本銅ニ作ル。
箕倨以罵、札記箕踞ニ作ル、云フ蔡本毛本踞、他本倨ニ作ル。

ヲ謂フ、九賓ハ擯者九人ナリ、按ニ擯ハ僭ト同シ、出テ賓ニ接セシムル者ナリ。

荆軻逐秦王秦王環柱而走、札記云、舊刻秦王ノ字ヲ重ネズ、疑フ是ナリ、蓋此時軻ト秦王ト、皆柱ヲ環リテ走ルナリ。

曰。三輔黃圖云。秦始皇兼天下都咸陽。因北陵營宮殿。制紫宮象帝宮。渭水灌都。以象天漢。橋南度以法牽牛也。荆軻奉樊於期頭函。而秦舞陽奉地圖匣。以次進。索隱曰。匣音戶。甲反。匣亦函也。至陞。點綴秦舞陽色變。振恐。羣臣

怪之。荆軻顧笑舞陽。前謝曰。北蕃蠻夷之鄙人。未嘗見天子。故

振懼。願大王少假借之。使得畢。使於前。秦王謂軻曰。取舞陽所

持地圖。軻既取圖奏之。秦王發圖。圖窮而匕首見。應前與樊於期語。因左手把秦

王之袖。而右手持匕首揜之。未至身。秦王驚。自引而起。袖絕。拔

劍。劍長。操其室。索隱曰。室謂鞘也。○正義曰。燕丹子云。左手揜其胛。秦王曰。今日之事。從子計耳。乞聽瑟而死。召姬人鼓琴。琴聲曰。羅縠單衣。可裂而絕。

八尺屏風。可超而越。鹿盧之劍。可負而拔。王於是奪袖超屏風走之。時惶急。劍堅。故不可立拔。荆軻逐秦王。

秦王環柱而走。羣臣皆愕。卒起不意。盡失其度。而秦法。羣臣侍

殿上者。不得持尺寸之兵。諸郎中執兵。皆陳殿下。索隱曰。諸郎中。若今宿衛之官。非

又前而歌曰、札記歌上爲字アリ、云フ中統舊刻游毛本爲字アリ。

設九賓ハ、通鑑注、劉原父曰、賓ハ傳擯ノ擯

太子及賓客知其事者。皆白衣冠以送之。至易水之上。既祖取道。正義曰。易水在幽州歸義縣界。高漸離擊筑。荊軻和而歌。爲變徵之聲。正義曰。徵知雉反。士

皆垂淚涕泣。又前而歌曰。風蕭蕭兮易水寒。壯士一去兮不復

還。復爲羽聲。忼慨。士皆瞋目。髮盡上指冠。於是荊軻就車而去。

終已不顧。描寫遂至秦。持千金之資幣物。厚遺秦王寵臣中庶子蒙

嘉。嘉爲先言於秦王曰。燕王誠振怖大王之威。不敢舉兵以逆

軍吏。願舉國爲內臣。比諸侯之列。給貢職。如郡縣。而得奉守先

王之宗廟。恐懼不敢自陳。謹斬樊於期之頭。及獻燕督亢之地

圖。函封。燕王拜送于庭。使使以聞大王。唯大王命之。秦王聞之

大喜。乃朝服。設九賓。正義曰。劉云。設文物大備。卽謂九賓。不得以周禮九賓義爲釋。見燕使者咸陽宮。正義

燕國有勇士秦舞陽年十三云云、皆川淇園曰、此是舞陽少時ノ事ヲ謂フナリ。

何太子之遺云云ハ、皆川淇園曰、遺ハ、之ヲ遺ルナ言フ、今之ヲ遺レバ、乃反ラザルナリト謂フ。

得聞教。遂自剄。太子聞之。馳往。伏屍而哭極哀。既已不可奈何。

乃遂盛樊於期首函封之。於是太子豫求天下之利匕首。得趙

人徐夫人匕首。徐廣曰。徐一作陳。○索隱曰。徐姓。夫人名。謂男子也。取之。百金。使工以藥淬之。索隱

曰。淬。染也。音忽潰反。以試人。血濡縷。人無不立死者。言以匕首試人。人血出足以沾濡絲縷。便立死也。

乃裝爲遺荊卿。燕國有勇士秦舞陽。年十三殺人。人不敢忤

視。索隱曰。忤者逆也。音五故反。乃令秦舞陽爲副。荊軻有所待。欲與俱。

其人居遠未來。而爲治行。頃之未發。太子遲之。疑其改悔。乃復

請曰。日已盡矣。荊卿豈有意哉。丹請得先遣秦舞陽。指舞陽荊軻怒叱。

太子曰。何太子之遣。往而不反者。豎子也。且提一匕首。入不測

之彊秦。僕所以畱者。待吾客與俱。今太子遲之。請辭決矣。遂發。

丹_ニ。丹_レ不_レ忍_ビ以_ニ己_一之私_一而傷_ル長_ニ者_一之意_一。願_フ足_下更_ニ慮_レ之_一。荊軻知_ル太
 子_ノ不_レ忍_ビ。乃_ニ遂_ニ私_ニ見_ニ樊_一於期_一。曰。秦_一之遇_ス將_ニ軍_一。可_レ謂_レ深_ニ矣_一。父_一母_一宗_一族_一
 皆_ニ爲_ス戮_一沒_一。今_ニ聞_ニ購_フ將_ニ軍_一首_一。金_一千_一斤_一。邑_一萬_一家_一。將_ニ奈_セ何_一於期_一。仰_ギ天_一太
 息_一流_ニ涕_一。曰。於期_一每_ニ念_ヒ之_一。常_ニ痛_ム於_ニ骨_一髓_一。顧_フ計_一不_レ知_ル所_ニ出_ス耳_一。荊軻曰。
 今_ニ有_一一_ニ言_一可_レ以_ニ解_キ燕_一國_一之患_一。報_ユ將_ニ軍_一之仇_一者_一。何_ニ如_一於期_一。乃_ニ前_ニ曰_一。
 爲_ス之_ニ奈_一何_一。荊軻曰。願_フ得_ニ將_ニ軍_一之首_一以_ニ獻_ゼ秦_一王_一。秦_一王_一必_ニ喜_ニ而_レ見_ニ臣_一。
 臣_一左_ニ手_一把_リ其_ニ袖_一。右_ニ手_一搃_ニ其_ニ匈_一。
 然_ニ則_一將_ニ軍_一之仇_一報_フ而_レ燕_一見_ル陵_ニ之_一愧_一除_{カン}矣_一。將_ニ軍_一豈_ニ有_ニ意_一乎_一。樊_一於期_一
 偏袒_一揜_一挽_一而_ニ進_ニ曰_一。
 之_一日_一夜_一切_シ齒_ニ腐_ス心_一也_一。
 乃_ニ今_一

徐廣曰。挽一作揜。○索隱曰。揜音烏革反。挽音烏亂反。
 字書作攄。掌後曰腕。勇者奮厲。必先以左手扼右腕也。

索隱曰。切齒。齒相磨切也。爾雅曰。治骨曰切。腐音輔。
 腐亦爛也。猶今人事不可忍云腐爛然。皆奮怒之意。

徐廣曰。搃音張鳩切。一作抗。○索隱曰。搃謂以
 劍刺其胷也。抗音苦浪反。言抗拒也。其義非。

首。固請母讓。然後許諾。於是尊荊卿爲上卿。舍上舍。太子日造門下。供太牢。具異物。閒進車騎美女。恣荊軻所欲。以順適其意。索隱曰。燕丹子曰。軻與太子遊東宮池。軻拾瓦投龜。太子捧金丸進之。又共乘千里馬。軻曰。馬肝美。卽殺馬進肝。太子與樊將軍置酒於華陽臺。出美人能鼓琴。軻曰。好手也。斷以玉盤盛之。軻曰。太子遇軻甚厚。是也。久之。荊軻未有行意。秦將王翦破趙。虜趙王。盡收入

其地。進兵北略地。至燕南界。太子丹恐懼。乃請荊軻曰。秦兵旦暮渡易水。則雖欲長侍足下。豈可得哉。荊軻曰。微太子言。臣願

謁之。今行而毋信。則秦未可親也。夫樊將軍。秦王購之金千斤。

邑萬家。誠得樊將軍首。與燕督亢之地圖。

地。○索隱曰。地理志。廣陽國有薊縣。司馬彪郡國志曰。薊縣方城有督亢亭。徐說是也。○正義曰。督亢坡。在幽州范陽縣東南十里。今固安縣南有督亢陌。幽州南界。奉獻

秦王。秦王必說見臣。臣乃得有以報。太子曰。樊將軍窮困來歸

徐廣曰。方城縣有督亢亭。關案劉向別錄曰。督亢膏腴之

利之心。而欲不可足也。非盡天下之地。臣海內之王者。其意不厭。今秦已虜韓王。盡納其地。又舉兵南伐楚。北臨趙。王翦將數十萬之衆。距漳鄴。而李信出太原雲中。趙不能支秦。必入臣。入臣。則禍至燕。燕小弱。數困於兵。今計舉國不足以當秦。諸侯服秦。莫敢合從。丹之私計。愚以爲誠得天下之勇士。使於秦。闕以重利。言以利誘之也。秦王貪。索隱曰。絕句。其勢必得所願矣。誠得劫秦王。使悉反諸侯侵地。若曹沫之與齊桓公。則大善矣。則不可因而刺殺之。彼秦大將擅兵於外。而內有亂。則君臣相疑。以其間諸侯得合從。其破秦必矣。此丹之上願而不知所委命。唯荊卿畱意焉。久之。荊軻曰。此國之大事也。臣驚下。恐不足任。使太子前頓

若曹沫之與齊桓公云云ハ、胡三省曰、燕丹荊軻ヲ禮致スルノ初ニ於テ、兩端ノ策ヲ畫ス、荊軻其初說ヲ守ル、事成ラザル所以ナリ、之ヲ要スルニ、戰國ノ士、皆曹沫ノ故智ヲ祖トス、藺相如ノ秦王ニ會シ、毛遂ノ從テ楚ニ結ブノ類ノ若キ是ナリ。

不_レ兩立。願_二先生_一畱_二意_一也。光竊_二不自_一外言。足下於_二太子_一也。願_二足下_一過_二太子_一於宮。荊軻曰。謹奉_レ教。田光曰。吾聞_レ之。長者爲_レ行。不_レ使_二人_一疑_レ之。今太子告_レ光曰。所言者國之大事也。願_二先生_一勿泄。是太子疑_レ光也。夫爲_レ行而使_二人_一疑_レ之。非_レ節俠_一也。欲_二自殺_一以激_二荊卿_一。曰。願_二足下_一急過_二太子_一。言_二光已死_一。明_レ不言_一也。因_レ遂_二自刎_一而死。荊軻遂_二見_一太子。言_二田光已死_一。致_二光之言_一。太子再拜而跪。膝行流涕。有頃而後言曰。丹所以誠_二田先生_一母言者。欲_二以成_一大事之謀也。今田先生以_レ死明_レ不言_一。豈丹之心哉。荊軻坐定。太子避_レ席頓首曰。田先生不知_二丹之不肖_一。使得_レ至前。敢有_レ所道。此天之所以哀_二燕而不_一棄_二其孤_一也。

索隱曰。案無父稱孤。時燕王尚在。而丹稱孤者。或記者失辭。或諸侯嫡子時亦僭稱孤也。又劉向云。丹。燕王熹之太子。

今秦有_二貪

不棄其孤也。皆川淇園曰。孤ハ燕國ノ孤弱ヲ言フナリ。

ベギナリ。
太子逢迎、札記云、舊
刻毛本逢ヲ進ニ作ル。

荆卿可使也注正義武
陽、札記云、疑フ即下
ノ秦舞陽ナリ、志疑云、
秦舞陽ヲ、國策、燕丹
子、談續武梁、竝ニ
武陽ニ作ル。

國事於先生也。田光曰。敬奉教。乃造焉。太子逢迎。卻行爲導。跪
而蔽席。徐廣曰。蔽一作撥。一作技。索
隱曰。蔽音疋。結反。蔽猶拂也。田光坐定。左右無人。太子避席而

請曰。燕秦不兩立。願先生留意也。田光曰。臣聞騏驥盛壯之時。

一日而馳千里。至其衰老。驚馬先之。今太子聞光盛壯之時。不

知臣精已消亡矣。雖然。光不敢以圖國事。所善荆卿可使也。正義

曰。燕丹子云。田光答曰。竊觀太子客。無可用者。夏扶。血勇之人。怒而面赤。宋意脈
勇之人。怒而面青。武陽。骨勇之人。怒而面白。光所知。荆軻。神勇之人。怒而色不變。太子曰。

願因先生得結交於荆卿。可乎。田光曰。敬諾。即起趨出。太子送

至門。戒曰。丹所報先生所言者。國之大事也。願先生勿泄也。田

光俛而笑曰。諾。正義曰。
俛音俯。僂行見荆卿曰。光與子相善。燕國莫不知。

今太子聞光壯盛之時。不知吾形已不逮也。幸而教之曰。燕秦

恐不能須臾、皆川淇
日、須臾ハ猶從容ノ如
。

是固丹命卒之時也、胡
三省曰、命卒ハ命盡
ルヲ謂フ、樊將軍窮
以テ來歸ス、當ニ死
盡シテ以テ之ヲ保匿
藏スベキヲ言フ、皆川
淇曰、丹命卒ノ一句
ハ、上文是謂委肉ヨリ
爲之謀也ニ至ルニ十
字ニ答フルノ言ナリ。
此謂資怨而助禍矣、札
記謂上所字アリ、云フ
舊刻所字アリ。
其爲人智深而勇沈、或
曰、荆軻人ト爲リ沈深、
田光人ト爲リ智深、ウシ
テ勇沈ム、モト是一流
ノ人ナリ、宜シク光ノ
軻ヲ薦メテ其身ニ代ル

疾遣樊將軍入匈奴以滅口。請西約三晉南連齊楚。北購於單

于。索隱曰。戰國策購作講。講和也。今讀購與爲燕媾同。媾合也。漢文媾講兩字常雜。今言欲北與匈奴連和也。陳軫傳亦曰。西購於秦也。

其後迺可圖

也。太子曰。太傅之計。曠日彌久。心惛然。正義曰。惛音昏。恐不能須臾。且非

獨於此也。夫樊將軍窮困於天下。歸身於丹。丹終不以迫於彊

秦而棄所哀憐之交。置之匈奴。是固丹命卒之時也。願太傅更

慮之。鞠武曰。夫行危欲求安。造禍而求福。計淺而怨深。連結一

人之後交。不顧國家之大害。此謂資怨而助禍矣。夫以鴻毛燎

於爐炭之上。必無事矣。且以鵬鷺之秦。行怨暴之怒。豈足道哉。

燕有田光先生。其爲人智深而勇沈。可與謀。太子曰。願因太傅

而得交於田先生。可乎。鞠武曰。敬諾。出見田先生。道太子願圖

到此引入田光

兵山東。以伐齊楚三晉。稍蠶食諸侯。且至於燕。燕君臣皆恐禍

之至。太子丹患之。問其傅鞠武。索隱曰。鞠音麴。又如字。人姓名也。武對曰。秦地徧天下。

威脅韓魏趙氏。北有甘泉谷口之固。南有涇渭之沃。擅巴漢

之饒。右隴蜀之山。左關殽之險。民衆而士厲。兵革有餘。意有所

出。則長城之南。易水以北。正義曰。以北。謂燕國也。未有所定也。奈何以見陵

之怨。欲批其逆鱗哉。批音白結反。○索隱曰。批謂觸擊之。丹曰。然則何由對曰。請入圖

之。居有閒。秦將樊於期得罪於秦王。亡之燕。太子受而舍之。鞠

武諫曰。不可。夫以秦王之暴。而積怒於燕。足爲寒心。索隱曰。凡人寒甚則心戰。

恐懼亦戰。今以懼譬寒。言可爲心戰。又況聞樊將軍之所在乎。是謂委肉當餓虎之蹊。

也。禍必不振矣。索隱曰。振。救也。言禍大而不可救也。雖有管晏。不能爲之謀也。願太子

一年左傳、武震以攝威之、釋文ニ攝又之涉反ト、是攝攝ト同ジ。
善擊筑者高漸離注正義曰音子廉反ハ、札記王義之音哉廉反ニ作ル、云フ隋志ヲ按ズルニ、小學篇一卷、晉下邳内史王羲之撰アリ、此之字疑フ衍ナリ、蔡本玉本竝ニ之字シ、之廉反ニ作ルハ、此音ト同ジ、柯本王ナ改テ正ト爲シ、正義ヲ割入ス、斯ニ謬ト爲ス。
然其爲人沈深好書、皆川淇園曰、沈深二字、前三段ヲ結フ。

踐與荊軻博爭道。索隱曰。魯姓。句踐名也。與越王同。或有意義。俗本踐作賤非也。魯句踐怒而叱之。荊軻

嘿而逃去。遂不復會。荊軻既至燕。愛燕之狗屠及善擊筑者高

漸離。索隱曰。筑似琴有絃。用竹擊之。取以爲名。漸音如字。正義曰。音子廉反。荊軻嗜酒。日與狗屠及高漸離。

飲於燕市。酒酣以往。高漸離擊筑。荊軻和而歌於市中。相樂也。

已而相泣。旁若無人者。荊軻雖游於酒人乎。徐廣曰。飲酒之人。然其爲人

沈深好書。其所游諸侯。盡與其賢豪長者相結。其之燕。燕之處

士田光先生亦善待之。知其非庸人也。居頃之。會燕太子丹質

秦。亡歸燕。燕太子丹者。故嘗質於趙。而秦王政生於趙。其少時

與丹驩。及政立爲秦王。而丹質於秦。秦王之遇燕太子丹不善

故丹怨而亡歸。歸而求爲報秦王者。國小力不能。其後秦日出

三年至韓景侯三百七十年。若至哀侯六年六百四十三年也。

荊軻者衛人也。

索隱曰。按贊論稱公孫季功董生爲余道之。則此傳雖約戰國策而亦別記異聞。

其先乃齊人。從於

衛。衛人謂之慶卿。

索隱曰。軻先齊人。齊有慶氏。則或本姓慶。春秋慶封。其後改姓賀。此亦至衛而改姓慶爾。荆慶聲相近。故隨在國而異其號也。卿者

時人尊重之號。猶如相尊美而稱子然也。

而之燕。燕人謂之荊卿。荊卿好讀書擊劍。

呂氏劍技曰。持

短入長。倏忽從橫。

以術說衛元君。衛元君不用。其後秦伐魏。置東郡。徙衛

元君之支屬於野王。

正義曰。懷州河內縣。

荊軻嘗游過榆次。

正義曰。并州縣也。

與蓋聶

論劍。

索隱曰。蓋音古。聶反。蓋姓。聶名。

蓋聶怒而目之。荊軻出。人或言復召荊卿。蓋聶

曰。曩者吾與論劍。有不稱者。吾目之。試往。是宜去。不敢畱。使使

往之主人。

荊卿則已駕而去。榆次矣。使者還報。蓋聶曰。固去也。

吾曩者目攝之。

索隱曰。攝猶整也。謂不稱己意。因怒視以攝整之也。○正義曰。攝猶視也。

荊軻游於邯鄲。魯句

目攝之。札記云。雄志云。攝ハ攝ナリ。襄十

ノ若キ、又三十二年ヲ減ズ、六國表佚果ノ事ヲ韓烈侯二年ニ書ス、下秦始皇二十三年ニ至ル、實二百七十四年ナリ、此傳文及ビ集解索隱言フ所ノ年數、皆合ハズ、正義更ニ謬ル、疑フ竝ニ傳寫ノ失ナリ。

自刑以絕從正義自刑作刊、札記云、此蓋正義本自刊ニ作ル、而テ合刻者之ヲ詞ヲ爲スナリ、胡三省曰、絕從ノ從ハ、讀テ蹤ト曰フ、自ラ共蹤跡ヲ絶ツヲ謂フナリ、其姊妄云云、札記云、下一云字ヲ複衍ス、考證刪ル。

及其姊亦烈女也、札記及ナ乃ニ作ル、云フ游王柯凌本乃チ及ニ誤ス。

其後二百二十餘年、札記云、韓景侯六年始テ侯ト爲ルヨリ、秦始皇二十三年ニ至リ、首尾百八十年、韓哀侯六年

行乃舉之。劉氏云。察猶選也。而交之。澤厚矣。可奈何。士固爲知己者死。今乃以妾

尚在之故。重自刑以絕從。徐廣曰。恐其姊從坐而死。○索隱曰。重音持用反。重猶復也。爲人報讎死。乃自以妾故。復自刑其身。令人

不識也。從音蹤。古字少假借。故無足旁。而徐氏以爲從坐。非也。劉氏亦音足松反。○正義曰。重直龍反。自刑作刊。說文云。刊。剋也。按重。猶憂惜也。本爲嚴仲子報仇訖。愛惜其事。不令漏泄。以絕其蹤迹。其姊妄云云爲己隱誤矣。妾其奈何。畏歿身之誅。終滅賢弟之名。大驚韓市

人。乃大呼天者三。卒於邑悲哀而死。政之旁。晉楚齊衛聞之。皆

曰。非獨政能也。及其姊亦烈女也。鄉使政誠知其姊無濡忍之

志。不重暴骸之難。政心事。索隱曰。濡潤也。人性濕潤。則能含忍。故云濡忍。若勇躁則必輕死也。重難竝如字。重猶惜也。言不惜暴骸之爲難也。必絕

險千里。以列其名。姊弟俱僇於韓市者。亦未必敢以身許嚴仲

子也。嚴仲子亦可謂知人能得士矣。其後二百二十餘年。秦有

荊軻之事。歸重於嚴仲子。徐廣曰。聶政至荊軻。百七十年爾。○索隱曰。徐廣據六國年表而言。則謂此傳率略而言。二百餘年。亦當時爲不能細也。○正義曰。按年表。從始皇二十

縣購之、札記云、當
二縣購之ト爲スベシ、
下文王縣購其名姓千金
ト曰フ、胡三省曰、賞
ヲ懸ケテ以テ告ル者ヲ
募ルヲ購ト曰フ。

乃於邑曰其是吾弟歟、
方苞曰、史公増易スル
所ヲ觀ル、乃國策ノ疎
ナルヲ知ル。

取聶政屍暴於市。

正義曰。暴蒲酷反。

購問莫知誰子。於是韓購縣之有能

言殺相俠累者。予千金。久之莫知也。政姊榮聞人有刺殺韓相

者。

榮一作榮。○索隱曰。榮其姊名也。戰國策無榮字。

賊不得。國不知其名姓。暴其尸而縣之千

金。乃於邑曰。

索隱曰。劉氏云。煩冤愁苦也。

其是吾弟與。嗟乎。嚴仲子知吾弟。立起

如韓之市。而死者果政也。伏尸哭極哀。曰。是軹深井里所謂聶

政者也。市行者諸衆人皆曰。此人暴虐吾國相。王縣購其名姓

千金。夫人不聞與。何敢來識之也。榮應之曰。聞之。然政所以蒙

汚辱。自棄於市販之間者。爲老母幸無恙。

索隱曰。爾雅云。恙。憂也。楚詞云。還及吾君之無恙。風俗通

云。恙。病也。凡人相見及通書。皆云無恙。又易傳云。上古之時。草居露宿。恙。蠶蟲也。善食人心。俗悉患之。故相勞云無恙。恙。非病也。

妾未嫁也。親既以

天下世。妾已嫁夫。嚴仲子乃察。舉吾弟困汚之中。

索隱曰。案察謂觀察有志

馬自見ル所ノ漢書、今
本ト異ナルナリ、宣元
王傳、札記元下六字ア
リ、云フ官本六字アリ、
各本脫ス。

肯受也。然嚴仲子卒備賓主之禮而去。久之。聶政母死。既已葬。
除服。聶政曰。嗟乎。政乃市井之人。
正義曰。古者相聚汲水。有
物便賣。因成市。故云市井。鼓刀以

屠。而嚴仲子乃諸侯之卿相也。不遠千里。枉車騎而交臣。臣之
所以待之。至淺鮮矣。未有大功。可以稱者。而嚴仲子奉百金爲
親壽。我雖不受。然是者徒深知政也。夫賢者以感忿睚眦之意。
而親信窮僻之人。而政獨安得嘿然而已乎。且前日要政。政徒
以老母。老母今以天年終。政將爲知己者用。乃遂西至濮陽。見
嚴仲子。曰。前日所以不許仲子者。徒以親在。今不幸而母以天
年終。仲子所欲報仇者爲誰。請得從事焉。嚴仲子具告曰。臣之
仇。韓相俠累。俠累又韓君之季父也。宗族盛多。居處兵衛甚設。

具酒自暢注正義數色更反、札記云、數字此音ナシ、疑フ吏ハ乃庚字ノ誤ナリ。

將用爲夫人麤糲之費、札記夫人ヲ大人ニ作ル、云フ官本大、各本夫ニ作ル。
注正義尊大嫗爲夫人、札記尊婦嫗爲大人ニ作ル、云フ各本婦ヲ大ニ作ル、吳校改ム、錢大昕曰、正義本大人ニ作リ、注中夫人ノ字、皆大人ノ誤ナリ、下文家丈人召使前、索隱章昭ノ說ヲ引キ、古者尊父嫗爲丈人、又漢書宣元六王傳、古詩丈人故云遲ナ引キ、之ヲ證ス、則司

數反。然後具酒自暢。徐廣曰。一作賜。○索隱曰。按戰國策。作觴。近爲得也。○正義曰。數色吏反。聶政母前酒酣。

嚴仲子奉黃金百鎰。前爲聶政母壽。聶政驚怪其厚。固謝嚴仲

子。嚴仲子固進。而聶政謝曰。臣幸有老母。家貧。客游。以爲狗屠

可以旦夕得甘毳。此芮反。○索隱曰。鄒氏音脆。義相通也。以養親。親供養備。不敢當仲

子之賜。嚴仲子辟人。因爲聶政言曰。臣有仇。而行游諸侯衆矣。

然至齊。竊聞足下義甚高。故進百金者。將用爲夫人麤糲之費。

正義曰。糲酒麤米也。脫粟也。韋昭云。古者名男子爲丈夫。尊大嫗爲夫人。漢書宣元王傳。王遇大人益解。爲大人乞骸去。按大人憲王外祖母。古詩云。三日斷五疋。大人故言遲。是

以交足下之驩。豈敢以有求望耶。聶政曰。臣所以降志辱身。索隱

曰。言其心志與身本應高潔。今乃卑下其志。屈居市井屠者。徒幸以養老母。老

母在。政身未敢以許人也。索隱曰。禮記云。父母存。不許友以死。嚴仲子固讓。聶政竟不

大義之。乃使使持衣與豫讓。豫讓拔劍。三躍而擊之。

索隱曰。戰國策云。衣盡出

血。襄子廻車。車輪未周而亡。此不言衣出。血者。太史公恐涉怪妄。故略之耳。

曰。吾可以下報智伯矣。遂伏劍自殺。

死之日。趙國志士聞之。皆為涕泣。其後四十餘年。而軹有聶政

之事。自三晉滅智伯至殺俠累。五十七年。

聶政者。軹深井里人也。

索隱曰。地理志。河內有軹縣。深井。軹縣之里名也。○正義曰。在懷州濟源縣南三十里。

殺人避

仇。與母姊如齊。以屠為事。久之。濮陽嚴仲子事韓哀侯。

索隱曰。高誘云。嚴遂

字仲子。案表。聶政殺俠累。在烈侯三年。烈侯生文侯。文侯生哀侯。凡更三代。哀侯六年。為韓嚴所殺。今言仲子事哀侯。恐非其實。且太史公開疑傳疑。聞信傳信。事難的據。欲使兩存。故表傳各異。

與韓相俠累有郤。

索隱曰。俠音古挾反。累音力追反。按戰國策。俠累名傀也。傀相韓。嚴遂重於君。二人相害也。嚴遂舉韓傀之過。韓傀叱之

於朝。嚴遂拔劍趨之。以救解。是有郤之由也。

嚴仲子恐誅。亡去游。求人可以報俠累者。至齊。

齊人或言聶政勇敢士也。避仇隱於屠者之間。嚴仲子至門請。

與韓相俠累有郤。注案隱曰。俠音古挾反。錢大昕曰。俠累合シテ、傀音ト爲ル。

陽縣東一里。

襄子至橋。有生色馬驚。襄子曰。此必是豫讓也。使人問之。果豫讓

也。於是襄子乃數豫讓曰。子不嘗事范中行氏乎。智伯盡滅之。

而子不爲報讎。而反委質臣於智伯。智伯亦已死矣。而子獨何

以爲之報讎之深也。豫讓曰。臣事范中行氏。范中行氏皆衆人

遇我。我故衆人報之。至於智伯。前此尊寵之國士遇我。我故國士報之。襄子

喟然歎息而泣曰。嗟乎。豫子。子之爲智伯。名旣成矣。而寡人赦

子。亦已足矣。子其自爲計。寡人不復釋子。使兵圍之。豫讓曰。臣

聞明主不掩人之美。而忠臣有死名之義。前君已寬赦臣。天下

莫不稱君之賢。今日之事。臣固伏誅。然願請君之衣而擊之焉。

以致報讎之意。則雖死不恨。非所敢望也。敢布腹心。於是襄子

又漆身爲厲。

音賴。○索隱曰。賴。惡瘡病也。凡漆有毒。近之多患瘡腫。若賴病然。故豫讓以漆塗身。令其若癩耳。然厲賴聲相近。古多假厲爲賴。今之癩字從病。故

楚有賴鄉。亦作厲字也。戰國策亦作厲。

吞炭爲啞。

索隱曰。啞音烏雅反。謂瘡病。戰國策云。漆身爲厲。滅聲去眉以變其容。爲乞食人。其妻曰。狀貌不似吾夫。何其

音之甚相類也。讓遂吞炭以變其音也。

使形狀不可知。行乞於市。其妻不識也。行見其

友。其友識之。曰。汝非豫讓邪。曰。我是也。其友爲泣。曰。以子之才。

借友人摹寫讓之苦心處

委質而臣事襄子。襄子必近幸子。近幸子。乃爲所欲。顧不易邪。

索隱曰。欲。謂因得殺襄子。顧。反也。邪。不定之辭。反不易邪。言其易也。

何乃殘身苦形。欲以求報。襄子。不亦難

乎。豫讓曰。既已委質臣事人。而求殺之。是懷二心以事其君也。

且吾所爲者極難耳。

索隱曰。劉氏云。謂今爲厲啞也。然所以爲此者。將以愧天下後

世之爲人臣懷二心以事其君者也。

索隱曰。言寧爲厲而自刑。不可求事襄子而行殺。則恐傷人臣之義。而近

賊非忠也。

既去頃之。襄子當出。豫讓伏於所當過之橋下。

正義曰。汾橋下架水。在并州晉

也。襄子、林父、荀首之後。范中行智伯事。已具趙世家。

智伯甚尊寵之。及智伯伐趙襄子。趙襄子

與韓魏合謀滅智伯。滅智伯之後。而三分其地。趙襄子最怨智

伯。索隱曰。謂初以酒灌。後又率韓魏水灌晉陽城。不沒者三板。故怨深也。漆其頭以爲飲器。索隱曰。按大宛傳云。匈奴破月支王。以其頭爲

漆其頭以爲飲器。通鑑注。顏師古曰。匈奴嘗以月支王頭以爲飲器。裴氏注云。飲器。棹榼也。晉灼曰。飲器。虎子也。皆非。棹榼所以盛酒耳。非用飲者。晉氏以爲漢使吐血。飲之。以爲盟。然則飲酒之器。是ナリ。

恨深也。按諸先儒說恐非。

豫讓遁逃山中。曰。嗟乎。士爲知己者死。女爲說己者

容。今智伯知我。我必爲報讎而死。以報智伯。則吾魂魄不愧矣。

乃變名姓爲刑人。入宮塗廁中。挾匕首。欲以刺襄子。襄子如廁

心動。執問塗廁之刑人。則豫讓。內持刀兵。曰。欲爲智伯報仇。左

右欲誅之。襄子曰。彼義人也。吾謹避之耳。且智伯亡無後。而其

臣欲爲報仇。此天下之賢人也。卒釋去之。索隱曰。卒音足律反。居頃之。豫讓

使_二兵陳_一。自宮至光之家。門戶階陛左右。皆王僚之親戚也。夾立_レ。

描寫專諸難下手處

侍。皆持長鉞。音披。○索隱曰。兵器也。劉逵吳都賦注。鉞。兩刃小刀。酒既酣。公子光詳爲足疾。入窟

室中。索隱曰。詳音陽。爲如字。左傳曰。光僞足疾。此之詳卽僞也。或讀爲音僞。非也。豈詳僞重言耶。使專諸置七首魚炙之腹

中而進之。徐廣曰。炙一作炮。○正義曰。炙者夜反。既至王前。專諸擘魚。因以匕首刺王

僚。索隱曰。刺音七賜反。王僚立死。左右亦殺專諸。王人擾亂。公子光出其伏

甲。以攻王僚之徒。盡滅之。遂自立爲王。是爲闔閭。闔閭乃封專

諸之子以爲上卿。其後七十餘年。而晉有豫讓之事。徐廣曰。闔閭元年至三晉

滅智伯。六十二年。豫讓一作襄。

豫讓者。晉人也。索隱曰。案此傳所說。皆約戰國策文。故嘗事范中行氏。而無所知名。伏後衆人遇我案。索隱曰。按智

曰。案左傳。范氏謂昭子吉射也。自士會食邑於范。因爲范氏。中行氏。中行文子荀寅也。自荀林父將中行。後因以官爲氏。去而事智伯。索隱曰。按智伯。襄子荀瑤

潛ヲ。索隱曰。屬音燭。二子僚之弟也。左傳作掩餘。屬庸。掩蓋義同。屬燭字相亂耳。事在魯昭二十七年。地理志。廬江有潛縣。天柱山在南。杜預左傳注云。潛。楚邑。在廬江六縣西南。○正義曰。潛。故城。在壽州霍山縣東二百步。

使延陵季子ヲ於晉。以觀諸侯之變。楚發兵絕吳

將蓋餘屬庸路。吳兵不得還。於是公子光謂專諸曰。此時不可

失。不求何獲。且光真王嗣。當立。季子雖來。不吾廢也。專諸曰。王

僚可殺也。母老子弱。而兩弟將兵伐楚。楚絕其後。方今吳外困

於楚。而內空。無骨鯁之臣。是無如我何。指季子索隱曰。左傳直云。王可殺也。母老

僚可殺。言其少援助。故云無奈我何。太史公採其意。且據上文。因復加以兩弟將兵外困之辭。而服虔杜預見左氏下文云。我爾身也。以其子爲卿。遂彊解。是無如我何。猶言我無若是謂專

諸。欲以老弱託先。義非允。公子光頓首曰。光之身。子之身也。四月丙子。

光伏甲士於窟室中。徐廣曰。窟一作空。○索隱曰。僚之十二年夏也。吳系家以爲十三年。非也。左氏經傳唯言夏四月。公羊穀梁無其文。此與

吳系家皆稱丙子。當有所據。不知出何書。左傳云。伏甲士於窟室。杜預謂掘地爲室也。所以下文云。出其伏甲以攻王。而具酒請王僚。王僚

未可說以外事ハ、余有
丁曰、外事ハ楚ヲ伐ツ
ナ謂フ。

非能爲吳。吳王乃止。伍子胥知公子光之欲殺吳王僚，乃曰：彼

領語

光將有內志，未可說以外事。

索隱曰：言其將有內難，弑君之志，且對外事生文。吳世家作「知光有他志也」。

乃進。

專諸於公子光。光之父曰吳王諸樊。諸樊弟三人。次曰餘祭。

索隱

曰：祭音。次曰夷昧。

索隱曰：昧音亡葛。側界反。反公羊作餘末。

次曰季子札。諸樊知季子札賢而

不立太子，以次傳三弟。欲卒致國于季子札。諸樊既死，傳餘祭。

餘祭死，傳夷昧。夷昧死，當傳季子札。季子札逃，不肯立。吳人乃

立夷昧之子僚爲王。公子光曰：使以兄弟次邪？季子當立。必以

子乎？則光眞適嗣。當立，故嘗陰養謀臣，以求立。光既得專諸，善

接

客待之。九年而楚平王死。

索隱曰：春秋昭二十六年。楚子居卒，是也。吳世家云：十二年。此云九年，竝誤。據表及左傳，合在僚之十一

也。春，吳王僚欲因楚喪，使其二弟公子蓋餘、屬庸將兵圍楚之

進爲言
之也。

曹沫曰。齊彊魯弱。而大國侵魯。亦以甚矣。今魯城壞。卽壓

齊境。

索隱曰。齊魯鄰接。今齊數侵魯。魯之城壞。卽壓近齊之境也。

君其圖之。桓公乃許。盡歸魯之侵地。

旣已言。曹沫投其七首。下壇北面。就羣臣之位。顏色不變。辭令

如故。桓公怒。欲倍其約。

索隱曰。倍音佩。

管仲曰。不可。夫貪小利。以自快。棄

信於諸侯。失天下之援。不如與之。於是桓公乃遂割魯侵地。曹

又復提

沫三戰所亡地。盡復予魯。其後百六十有七年。而吳有專諸之

過脈處

事。

專諸者。吳堂邑人也。

索隱曰。專字亦作剗。音同。左傳作縛。設諸。地理志。臨淮有堂邑縣也。

伍子胥之亡楚。而

如吳也。知專諸之能。伍子胥旣見吳王僚。說以伐楚之利。吳公

子光曰。彼伍員父兄皆死於楚。而員言伐楚。欲自爲報私讎也。

刺客列傳第二十六

以^二勇力^一事^二魯莊公^一

莊公好力。曹沫爲魯將。與齊戰三敗北。魯莊公懼。乃獻遂邑之

猶復以爲將。齊

桓公與莊公既

索隱曰。匕音比。劉氏云。短劍也。鹽鐵論以爲長尺八寸其頭類匕。故云匕首也。此事

約公羊爲說。然彼無其名。直云曹子而已。且左傳魯莊十年戰長勺。用曹劌謀敗齊。而無劫桓公之事。十三年盟于柯。公羊始論曹子。穀梁此年惟云曹劌之盟。信齊侯也。又不記其行事之公也。桓公左右莫敢動而問曰。子將何欲。索隱曰。公羊傳云。管子進曰。君何求。何休注云。桓公卒不能應。管仲

曹汝者魯人也注秦隱曰
沫曹則然反注宜音讀
錢大昕曰、說文字按ス
ルニ、沫ハ末ニ从フ、
莫莫切ト讀ム、亡葛ト
同ジ、沫ハ末ニ从
荒内切ト讀ム、本ト是
レ兩字、司馬貞洵ジテ
一ト爲ス、非ナリ、劇
字宜ク讀テ驚聲職職
職ノ如クスベシ、呼モ
反ナリ、乃沫ノ音ト相
近シ。

龍遂邑之地以和注正義
獻丘、札記襲丘ニ作ル
云フ官本雙、各本龍ニ
爲ス。

史記評林卷之八十五終

郊^ス毒^シ恐^レ禍^ル起^ル乃^ニ與^レ黨^ニ謀^ル矯^メ太后^ヲ璽^ヲ發^シ卒^ヲ以^テ反^ス斬^ル年^ニ宮^ニ

正義曰斬年宮在岐州城

西故城內

發^シ吏^ヲ攻^ム毒^ヲ毒^ヲ敗^レ亡^ス走^ス追^テ斬^ル之^ヲ好^ニ時^ニ遂^ニ滅^ス其^ノ宗^ヲ

索隱曰地理志扶風有好時縣

而

呂不韋由^レ此^ニ絀^ス矣^ニ孔^ニ子^ノ之^ヲ所^ニ謂^ル聞^ル者^ヲ其^ノ呂^ノ子^ノ乎^ニ

論語曰夫聞也者色取仁而行違居之不

疑在邦必聞在家必聞馬融曰此言佞人也

索隱述贊曰不韋釣奇委質子楚華陽立嗣邯鄲獻女及封河南乃號仲父徙蜀懲謗懸金作語籌策既成富貴斯取

蘇子古史曰戰國惟秦楚燕爲故國取之非逆而守之則暴矣若三晉及齊皆以篡奪得之所以取守者皆非義也天方厭喪亂欲假手於秦而秦亦淫虐無以受之於是不韋乘釁納妾於子楚以亂其後六國未亡而嬴氏已先亡矣及至二世屠戮諸公子殆盡而後授首於劉項老子曰天網恢恢疎而不失不觀其微孰知其故哉

焦說秦王。秦王乃迎太后於雍。歸復咸陽。徐廣曰。入南宮。而出文信侯。就

國河南歲餘。諸侯賓客使者相望於道。請文信侯。秦王恐其爲

變。乃賜文信侯書曰。君何功於秦。秦封君河南。食十萬戶。君何

親於秦。號稱仲父。其與家屬徙處蜀。呂不韋自度稍侵。恐誅。乃

飲酖而死。徐廣曰。十二年。駟案皇覽曰。不韋冢在河南洛陽北邙道西。大冢是也。民傳言呂母冢。不韋妻先葬。故其冢名呂母也。秦王所加

怒。呂不韋嫪毐皆已死。乃皆復歸嫪毐舍人遷蜀者。始皇十九

年。太后薨。諡爲帝太后。索隱曰。王劭云。秦不用諡法。此蓋號耳。其義亦當然也。始皇稱皇帝之後。故其母號爲帝太后。豈謂誅列生時之行

乎。與莊襄王會葬蒗陽。徐廣曰。一作芷陽。

太史公曰。不韋及嫪毐貴封號文信侯。索隱曰。文信侯。不韋封也。嫪毐封長信侯。上文已言不韋封。此贊中

人之告嫪毐。毒聞之。秦王驗左右。未發。上之雍

言嫪毐得寵貴。由不韋耳。合作長信侯。

禮要ニ關スルナシ、故ニ莊襄王ノ葬ニ因リ、而秦連シテ之ヲ書ス、而テ莊襄王ノ葬、不韋傳ニ見ル所以、又後莊襄王ト芑陽ニ合葬スル者ハ、乃不韋ノ姫ナルヲ以テナリ、但此等止ダ文章波瀾ノ爲ニ設ク、史法ニ據レバ、則宜ク書スベカラズ。

○正義曰。秦莊襄陵。在雍州新豐縣西南三十五里。始皇在北。故俗亦謂之見子陵。故夏太后。獨別葬杜東。索隱曰。杜原之東也。○正義曰。

夏太后陵。在萬年縣東南二十五里。曰。東望吾子。西望吾夫。後百年。旁當有萬家邑。索隱

曰。宣帝元康元年。起杜陵。漢舊儀。武昭宣三陵皆三萬戶。計去此一百六十餘年也。始皇九年。有告嫪毐。實非宦者。常

與太后私亂。生子二人。皆匿之。與太后謀曰。王即薨。以子爲後。

說苑曰。毒與侍中左右貴臣博飲酒醉。爭言而鬪。瞋目大叱曰。吾乃皇帝假父也。嫪人子。何敢乃與我亢。所與鬪者。走行白始皇。○索隱曰。劉氏嫪音其矩反。今俗本多作屢字。蓋相承錯耳。不近詞義。說苑作嫪子。言輕。於是秦王下吏治。具得情實。事連相國呂諸侍中。以爲窮嫪家之子也。

不韋九月。夷嫪毐三族。殺太后所生兩子。而遂遷太后於雍。索隱

曰。說苑云。遷太后械陽宮。地理志。雍縣有械陽宮。秦昭王所起也。諸嫪毐舍人。皆沒其家。而遷之蜀。索隱曰。家謂家

生資物。竝沒於官。王欲誅相國。爲其奉先王功大。及賓客辯士爲遊人口。則遷之蜀也。

說者衆。王不忍致法。秦王十年十月。免相國呂不韋。及齊人茅

詳始皇紀

嫪毐ハ、嫪音居蚘反、
毒音烏改反、頗師古音
ニ據ル。

始皇七年莊襄王母夏太
后薨云云方苞曰、夏太
后華陽太后ノ薨葬ハ、
應ニ不韋傳ニ載スベカ
ラズ、夏太后後百年當
有萬家邑ノ語アルヲ以
テ、史公奇チ好ミ之ヲ
傳ヘント欲シ、而テ以
テ秦本紀ニ入レバ、則

淫^シ不止^マ。呂不韋恐^レ覺^レ禍^ノ及^ビ己^ニ。乃私求^ニ大陰人嫪毐^ヲ。以爲^ニ舍人^ト。時

縱^チ倡樂^ヲ。使^セ毒^ヲ以^テ其陰^ヲ關^シ桐輪^ヲ而行^カ。正義曰。以桐木爲小車輪。令^メ太后聞^カ之^ヲ。以^テ啗^ス

太后^ニ。太后聞^キ果欲^ニ私得^ニ之^ヲ。呂不韋乃進^ム嫪毐^ヲ。詐^チ令^メ人以^テ腐罪^ヲ告^ゲ

之^ニ。正義曰。腐音輔。謂宮刑胥靡也。不韋又陰謂^ニ太后^ニ曰^ク。可^シ事^ラ詐腐^ト。則得^ニ給事中^ニ。太

后乃陰厚賜^シ主^ニ腐者^ヲ吏^ニ詐論^シ之^ヲ。拔^キ其鬚眉^ヲ。爲^ニ宦者^ト。遂得^ニ侍^{スル}太后^ニ。

太后私與^ニ通^ニ。絶^ズ愛^ス之^ヲ。有^ニ身^{スル}太后恐^レ人知^ル之^ヲ。詐^シ卜^ス當^ニ避^ケ時^ヲ。徙^{シテ}宮居^ル

雍^ニ。正義曰。雍故城在岐雍縣南七里。有秦都大鄭宮。嫪毐常從^フ。賞賜甚厚^シ。事皆決^レ於^ニ嫪毐^ニ。嫪毐

家僮數千人。諸客求^メ宦^ヲ。爲^ニ嫪毐^ノ舍人^ト千餘人。始皇七年。莊襄王

母夏太后薨^ズ。孝文王后曰^ク華陽太后^ト。與^ニ孝文王^ノ會葬^ス壽陵^ニ。正義曰。秦

孝文王陵在^ニ雍州萬年縣東北二十五里^ニ。夏太后子莊襄王葬^ニ芷陽^ニ。索隱曰。芷音止。地理志云。京兆霸陵縣。故芷陽。按在長安東也。

齊有孟嘗君注索隱孟嘗
春申死已久據表及傳、
札記云、單本此十一字
ナシ。

韋家僮萬人。當是時。魏有信陵君。

正義曰。年表云。秦昭王五十六年。平原君卒。始皇四年。信陵君死。始皇九年。李園殺

春申君。孟嘗君當秦昭王

二十四年已後而卒最早。楚有春申君。趙有平原君。齊有孟嘗君。

索隱曰。王劭云。

孟嘗春申死已久。據表及傳。孟嘗春申死稍在前。信陵將五國兵攻秦河外。正當

在莊襄王時。不韋已爲相。又春申與不韋竝時。各相向十餘年。不得言死之久矣。皆下士。

喜賓客。以相傾。呂不韋以秦之彊。羞不如。亦招致士。厚遇之。至

食客三千人。是時諸侯多辯士。如荀卿之徒。著書布天下。呂不

韋乃使其客人人著所聞。集論以爲八覽。六論。十二紀。二十餘

萬言。

索隱曰。八覽者。有始孝行慎大先識審分審應離俗時君也。六論者。開春慎行貴直不
苟以順士容也。十二紀者。記十二月也。其書有孟春等紀二十餘萬言。三十餘卷也。

以爲備天地萬物古今之事。號曰呂氏春秋。布咸陽市門。

索隱曰。地

理志。右扶風渭城縣。故咸陽。高帝更名新城。武帝更名渭城。案咸訓皆
其地在渭水之北。北阪之南。水北曰陽。山南亦曰陽。皆在二者之陽也。

懸千金其上。

延諸侯游士賓客。有能增損一字者。予千金。始皇帝益壯。太后

子楚夫人趙豪家女也、
錢大昕曰、蓋不韋之ヲ
資助シ、遂ニ邯鄲ノ豪
家トナル。

莊襄王所養母、札記養
字ナシ、云フ各本所下
養字アリ、索隱本ナシ、
雜志云、後人ノ妄加ナ
リ。

脫亡^{シタ}赴^ツ秦軍^ニ。遂^ニ以^テ得^ル歸^ル。趙欲^シ殺^ス子楚^ヲ。妻子^ヲ子楚^ノ夫人^ハ趙豪家女

也。得^ル匿^ル。以^テ故^ニ母子^ニ竟^ニ得^ル活^ル。秦昭王五十六年薨^ズ。太子安國君立^リ。

爲^ル王^ト。華陽夫人爲^シ王后^ト。子楚^ヲ爲^ス太子^ト。趙亦奉^リ子楚^ヲ。夫人及子政^ヲ。

歸^ス秦^ニ。秦王立^ツ一年^ヲ。薨^ズ。諡^{シテ}爲^ス孝文王^ト。太子子楚^ヲ代^リ立^ツ。是^レ爲^ス莊襄王^ト。

莊襄王所^レ養^{ハル}母^ヲ華陽后^ト爲^ス華陽太后^ト。
索隱曰。劉氏本作所生母。生
衍字。今檢諸本。並無生字也。眞母

夏姬尊^ニ以^テ爲^ス夏太后^ト。莊襄王元年^ニ。以^テ呂不韋^ヲ爲^ス丞相^ト。封^{シテ}爲^ス文信

侯^ト。
索隱曰。下文尊爲相國。案百官表云。皆秦官。金印紫綬。掌承天子助
理萬機。秦有左右。高帝置一。後又更名相國。哀帝時更名太司徒。食^ム河南洛陽

十萬戶^ヲ。
索隱曰。戰國策云。食藍田十二縣。而秦本紀。莊襄王元年。初置三川郡。地
理志。高祖更名河南。此秦代而曰河南者。史記後作。據漢郡而言之耳。莊襄

王卽^ニ位^ニ三年^ヲ。薨^ズ。太子政立^ツ爲^ス王^ト。
徐廣曰。時
年十三。尊^ニ呂不韋^ヲ爲^ス相國^ト。號稱^{シテ}

仲父^ト。
正義曰。仲。中也。次父也。蓋
效齊桓公以管仲爲仲父。秦王年少^シ。太后時時竊私通^ス呂不韋^ニ。不

子楚質於趙者絕賢ハ、
毛晃曰、絶ハ相去ル遠
ナリ。

呂不韋怒念云云ハ、董
份曰、念フハ、眞ニ念
フニ非ズ、不韋身スル
アルヲ知り、而テ伴リ
怒リ、以テ念フノミ、通
鑑不韋伴怒ニ作ル。

太子閒從容言。子楚質於趙者絕賢。

索隱曰。閒音閑。從音七恭反。

來往者皆稱

譽之。乃因涕泣曰。妾幸得充後宮。不幸無子。願得子楚。立以爲

適嗣。以託妾身。安國君許之。乃與夫人刻玉符。約以爲適嗣。安

國君及夫人因厚餽遺子楚。而請呂不韋傅之。子楚以此名譽

益盛於諸侯。呂不韋取邯鄲諸姬絕好善舞者與居。

索隱曰。言其姿容絕美而

又善舞也。

知有身子。子楚從不韋飲。見而說之。因起爲壽。請之。呂不韋

怒。念業已破家爲子楚。欲以釣奇。

應本謀。索隱曰。釣者。以取魚喻也。奇。卽上云此奇貨可居也。

乃遂獻其

姬。姬自匿有身。至大期時。

徐廣曰。期。十二月也。○索隱曰。譙周云。人十月生。此過二月。故云大期。蓋當然也。既云自匿有娠。則生政

固當踰常期也。

生子政。子楚遂立姬爲夫人。秦昭王五十年。使王齕圍邯

鄲。急欲殺子楚。子楚與呂不韋謀。行金六百斤。予守者吏。得

自奉而西游秦。求見華陽夫人。姊而皆以其物獻華陽夫人。因言子楚賢智。結諸侯賓客。偏天下。常曰。楚也。以夫人爲天。日夜泣思太子及夫人。夫人大喜。不韋因使其姊說夫人。索隱曰。戰國策作說秦王。

后弟陽泉君也。

曰。吾聞之以色事人者。色衰而愛弛。今夫人事太子。甚愛

而無子。不以此時蚤自結於諸子中賢孝者。舉立以爲適。而子之。索隱曰。以此爲一句。子謂養之爲子也。然欲舉立以爲適。作上句。而子之夫在。則重尊作下句。意亦通。夫在則重尊。夫百歲之

後。所子者爲王。終不失勢。此所謂一言而萬世之利也。不以繁

華時樹本。卽色衰愛弛後。雖欲開一語。尙可得乎。今子楚賢而

自知中男也。次不得爲適。其母又不得幸。自附夫人。夫人誠以

此時拔以爲適。夫人則竟世有寵於秦矣。華陽夫人以爲然。承

門而大。子楚心知所謂。乃引與坐深語。索隱曰。既解不韋所言之意。遂與密謀深語也。呂不韋

曰。秦王老矣。安國君得爲太子。竊聞安國君愛幸華陽夫人。華

陽夫人無子。能立適嗣者。正義曰。適音嫡。獨華陽夫人耳。今子兄弟二十

餘人。子又居中。不甚見幸。久質諸侯。卽大王薨。安國君立爲王。

則子無幾得與長子。正義曰。言子楚無望得預長爲太子。及諸子旦暮在前者。爭爲太

子矣。索隱曰。幾音冀。幾望也。左傳曰。日月以幾。戰國策曰。子侯承國之業。又有母在中。高誘注云。子侯。秦太子異人之異母兄弟也。子楚曰。然爲之

奈何。呂不韋曰。子貧客於此。非有以奉獻於親。及結賓客也。不

韋雖貧。請以千金爲子西遊。事安國君及華陽夫人。立子爲適

嗣。子楚乃頓首曰。必如君策。請得分秦國與君共之。呂不韋乃

以五百金與子楚爲進用。結賓客而復以五百金買奇物玩好。

母愛。子楚爲秦質子於趙。

索隱曰。質舊音致。今讀依此。穀梁傳曰。交質。子不及二伯。左傳曰。信不由中。質無益也。

秦數

攻趙。趙不甚禮子楚。子楚。秦諸庶孽孫。

索隱曰。韓信傳亦云。韓信。襄王之孽孫。張晏曰。孺子云孽子。何休注。

公羊。孽子。賤子也。

質於諸侯。車乘進用不饒。

索隱曰。下文又云。以五百金爲進用。非嫡正之子曰孽。宜依小顏讀爲質。音才刃反。進者。財

也。古字假借之也。

居處困不得意。呂不韋賈邯鄲。見而憐之。曰。此奇貨可

居。

以子楚方財貨也。○正義曰。戰國策云。濮陽人呂不韋賈邯鄲。見秦質子異人。謂其父曰。耕田之利幾倍。曰十倍。珠玉之贏幾倍。曰百倍。立國家之主贏幾倍。曰無數。不韋曰。今力

田疾作。不得煖衣飽食。今定國立君。澤可遺後世。願往事之。秦子異人質於趙。處於邯鄲。故往

說之。乃說秦王后弟楊泉君曰。君之罪至死。君知之乎。君門下無不居高官尊位。太子門下無

貴者。而駿馬盈外廐。美女充後庭。王之春秋高矣。一日山陵崩。太子用事。君危於累卵。而不壽

於朝生。今有計可以使君富千萬。寧於太山。必無危亡之患矣。楊泉曰。請問其說。不韋曰。王年

高矣。王后無子。子侯有承國之業。士倉又輔之。王一日山陵崩。子侯立。士倉用事。王后之門必

生蓬蒿。子楚異人賢材也。棄在於趙。無母。引領西望。欲一得歸。王后誠請而立之。是異人無國

有國。王后無子。有子。楊泉曰。諾。

乃往見子楚。說曰。吾能大子之門。子楚笑

入說王后。爲請於趙而歸之。

曰。且自大君之門。而乃大吾門。呂不韋曰。子不知也。吾門待子

此奇貨可居ハ、胡三省曰、賈人滯貨ヲ居積シ、時ヲ伺ヒ以テ利ヲ牟ホル、異人ナリ以テ財貨ニ方アルナリ。
注正義立國家之主贏、札記立主定國之贏ニ作ル、云フ官本立主各本皆倒ス、廐城、云フ王柯本廐ヲ聊ニ作ル、楊泉君ノ楊ヲ陽ニ作ル、云フ官本陽、秦策ト合ス、各本楊ニ誤ス、下同ジ、子侯、胡三省曰、蓋秦太子ノ子、愛セラレテ長ニ居ル者ナリ。

史記評林卷之八十五

呂不韋列傳第二十五

呂不韋者陽翟大賈人也。

索隱曰。翟音狄。俗又音宅。地理志縣名。屬潁川。戰國策以不韋爲濮陽人。又記其事迹亦多與此傳不同。

陽翟大賈人也。注正義今河南府也。ハ、札記今河南府縣ニ作ル、云フ也字誤ル、考證改ム。

班固雖云太史公探戰國策。然爲此傳。當別有所聞見。故不全依彼說。或者劉向定戰國策時。以己異聞改易彼書。遂令不與史記合之也。賈音古。鄭玄注周禮云。行曰商。處曰賈。○正義曰。陽翟。今河南府也。往來販賤賣貴。徐廣曰。一本云。陽翟。大賈也。往來賤買貴賣也。○家累千金。秦昭王四十年。太子死。其四十二年。以其次子安國君爲太子。

往來販賤賣貴ハ、皆川淇園曰、販字、後世用ル所、率木物ヲ市中ニ行賣スルノ義ト爲ス、而テ此販字ノ如キ、卻テ是價賤キ者以テ買フ義ト爲ス。

索隱曰。名柱。後立。是爲孝文王也。安國君有子二十餘人。安國君有所甚愛姬。

立以爲正夫人。號曰華陽夫人。華陽夫人無子。安國君中男名

子楚。索隱曰。卽莊襄王也。戰國策曰。本名異人。後從趙還。不韋使以楚服見。王后悅之。曰。吾楚人也。而子字之。乃變其名曰子楚。子楚母曰夏姬。

史記評林卷之八十四終

漢事。故但取其似屈原者附入耳。

余有丁曰。漢帝非楚王比。漢之用諠。亦不類楚之放平。平貴戚之卿。見楚將亡。不用己之言。不得已而自沈。諠以新進之士。欲閒大臣而更帝制。則不能自用于帝。太史公同取其文。而同悲其志。故列爲同傳焉。

王慎中曰。太史公先敘屈原以譏見疎于懷王。作離騷而發明其所以作之之意。復敘其勸懷王殺張儀不從。諫懷王毋入秦不從。而又發明其惓惓宗國以及人君知人之難。然後敘其見放作漁父天問與懷沙賦。而終之以自投汨羅。此必有得于屈原文事次第之實。而文亦宛轉有餘味矣。

自沈淵。

索隱曰。荊州記云。長沙羅縣北帶汨水。去縣四十里。是原自沈處。北岸有廟也。

未嘗不垂涕。想見其爲人。

及見賈生弔之。又怪屈原以彼其材。游諸侯。何國不容。而自令

若是。讀服鳥賦。同死生。輕去就。又爽

徐廣曰。一本作爽。

然自失矣。

索隱述贊曰。屈平行正。以事懷王。瑾瑜比潔。日月爭光。忠而見放。讒者益章。賦騷見志。懷沙自傷。百年之後。空悲弔湘。

蘇子古史曰。漢賈誼爲長沙傅。過汨羅爲賦。以弔屈原曰。歷九州而相君。何必懷此故都。誼之言。或一道也。而非原志。原楚同姓。不忍棄其君而之四方。而誼教之以孔子孟軻歷聘諸侯。以求行道。勢必不從矣。柳下惠爲士師。三黜而不去。曰。直道而事人。何往而不三黜。枉道而事人。何必去父母之邦。惜乎屈原廉直而不知道。殉節以死。然後爲快。此所以未合于聖人耳。使原如柳下惠。用之則行。舍之則藏。終身於楚。優游以卒。歲庶乎其志也哉。

楊維禎曰。原楚之宗臣也。又懷王之所寵任也。王西行以啗虎狼之口。原當以死諫。王不從。以身先之。不則與王俱行。王存而存。王亡而亡。原報主法也。質不委于先王。而受嫌于後主。放于江南。至無所自容。而卒投汨羅以死。嗚呼。移其葬魚腹者。葬虎關。不爲死之得所哉。

何良俊曰。太史公以賈誼與屈原同傳。故但載其弔屈原文。與鵬賦二篇而已。然誼所上政事書。先儒稱其通達國體。以爲終漢之世。其言皆見施用。其所論貯積與鑄錢諸事。皆大有關于政理。是何可以不傳。班固取入漢書傳中。最是。或者太史公未及整齊。

本^ニ賈^チ生^ヲ因^テ具^ニ道^ヲ所^レ以^ル然^ル之^ニ狀^ヲ至^リ夜^ニ半^ニ文^ニ帝^ノ前^ニ席^ヲ既^ニ罷^ム曰^ク吾^ハ久^ク不^レ見^レ賈^チ生^ヲ自^ミ以^テ爲^ス過^ト之^ニ今^ハ不^レ及^ス也^ニ居^ル頃^ニ之^ヲ拜^シ賈^チ生^ヲ爲^ス梁^ノ懷^ノ王^ノ太^ノ傅^ト索^ニ隱^ニ曰^ク梁^ノ懷^ノ王^ノ名^ヲ揖^シ文^ノ帝^ノ子^ト

帝^ハ復^シ封^シ淮^ノ南^ノ厲^ノ王^ノ子^ヲ四^ニ人^ヲ皆^ニ爲^ス列^ノ侯^ト賈^チ生^ヲ諫^メ以^テ爲^ス患^ノ之^ヲ興^ル自^レ此^ニ

起^ラ矣^ト賈^チ生^ハ數^ニ上^シ疏^ヲ言^フ諸^ノ侯^ハ或^ハ連^ス數^ノ郡^ヲ非^ニ古^ノ之^ヲ制^ニ可^キ稍^ク削^グ之^ヲ文^ノ帝^ハ

不^レ聽^カ居^ル數^ニ年^ヲ懷^ノ王^ハ騎^ヲ墮^テ馬^ヲ而^シ死^ス徐廣曰。文帝十一年。無^レ後^ニ賈^チ生^ハ自^ミ傷^ミ爲^ス傅^ト無^レ

狀^{ナルヲ}哭^シ泣^ス歲^ニ餘^ヲ亦^シ死^ス賈^チ生^ハ之^ノ死^{スル}時^ニ年^ハ三^ニ十^ニ三^ニ矣^ト及^ビ孝^ノ文^ノ崩^シ孝^ノ武^ノ皇^ハ

帝^ハ立^ニ舉^メ賈^チ生^ハ之^ノ孫^ヲ二^ニ人^ヲ至^リ郡^ノ守^ニ而^シ賈^チ嘉^ハ最^モ好^ム學^ヲ世^ニ世^ニ其^ノ家^ヲ與^テ余^ハ

通^ス書^ヲ至^リ孝^ノ昭^ノ時^ニ列^シ爲^ス九^ノ卿^ト

太^ノ史^ノ公^ハ曰^ク余^ハ讀^シ離^ノ騷^ヲ天^ノ問^ヲ招^フ魂^ヲ哀^ム郢^ノ悲^ム其^ノ志^ヲ適^キ長^ノ沙^ニ觀^シ屈^ノ原^ノ所^ニ

此贊意用四傳而語奇峻

至孝昭時列爲九卿ハ、
漢武ノ末年ニ卒ス、此
賈嘉孝昭ノ時至リ、
列シテ九卿ト爲ルト言
ミ、蓋後人ノ増ス所ノ

札記云、說文圖解三

字皆ナシ、字音字義ヲ

以テ之ヲ求ムル、闕字

ニ於テ近シト爲ス。

好惡積意注李奇曰所好

所惡積之萬億、錢大所

曰、意當ニ意ニ作ルベ

シ、說文ニ意ハ滿ナリ、

一ニ曰、十萬ヲ意ト曰

フ。

直人淡漢兮注不以心捐

死ハ、札記死ヲ道ニ作

ル、云フ考證莊子ニ據

テ改ム。

楚空而游ハ、札記游ヲ

浮ニ作ル、索隱本ト漢

書文選ト合ス、各本浮

ヲ游ニ作ル、雜志云、

游字誤ル。

細故憑劓兮、錢大所曰、

劓、字ヲ成サズ、當ニ劓

ニ作ルベシ、劓、聲相

近シ、故ニ漢書芥ニ作

ル、注正義如遇反ハ札

記如ナ加ニ作ル、云フ

如ニ譌ス、今改ム。

道息。索隱曰。莊子云。古之真人。不知悅生。不知惡死。不以心捐死。不以人助天。呂氏春秋曰。精氣日新。邪氣盡去。反其天年。謂之真人也。釋知遺形兮。

超然自喪。服虔曰。絕聖棄知。而忘其身也。○索隱曰。遺形者。形固可使如槁木也。自喪者。心若死灰也。莊周云。今者吾喪我。汝知之乎。寥廓忽

荒兮。與道翱翔。乘流則逝兮。得坻則止。徐廣曰。坻一作坎。騶案張晏曰。坻水中小州也。○索隱曰。漢書珥作

坎。周易坎九二有險。言君子見險則止。縱軀委命兮。不私與己。其生若浮兮。其死若休。

索隱曰。莊子云。勞我以生。休我以死也。澹乎若深淵之靜。汜乎若不繫之舟。索隱曰。出莊子。不以

生故自寶兮。養空而游。漢書音義曰。如舟之空也。○索隱曰。鄧展云。自寶。自貴也。養空而游。言體道之人。但養空性。而心若浮舟也。

德人無累兮。知命不憂。索隱曰。德人。謂上德之人。心中無物累。是德道之士也。細故憑劓兮。何足

以疑。韋昭曰。憑。音士介反。○索隱曰。劓。音介。漢書作介。張揖云。憑。介。劓。刺也。以言細微事不足懸介我心。故於此云何足以疑之者也。○正義曰。憑。刃邁反。劓。如邁反。後

歲餘。賈生徵見。孝文帝方受釐。徐廣曰。祭祀福胙也。騶案如淳曰。漢唯祭天地五時。皇帝不自行祠。還致福。釐。音僖。坐

宣室。蘇林曰。未央前正室。○索隱曰。三輔故事云。宣室在未央殿北。應劭云。釐。祭餘肉也。上因感鬼神事。而問鬼神之

曰。謂死而形化為鬼。是為異物也。患協韻音環。

小知自私兮。賤彼貴我。

索隱曰。莊子云。以物觀之。自貴而相賤也。

通人大

觀兮。物無不可。

索隱曰。莊子。物固有所然。物固有所可。無物不然。無物不可。

貪夫徇財兮。烈士殉名。

應劭曰。徇。營也。瓚曰。以身從物曰徇。○索隱曰。此語亦出莊子。

夸者死權兮。

應劭曰。夸。毗也。好榮死於權利。瓚曰。夸。泰也。莊子曰。權勢不尤。則夸者悲也。○

索隱曰。言好夸毗者。死於權利。是言貪勢以自矜夸者。至死不休也。尤。甚也。言勢不甚用。則夸毗者可悲也。

品庶馮生。

孟康曰。馮。貪也。○索隱曰。漢書作每生。音

謀在反。服虔云。每。念生也。鄒誕本亦作每。言唯念生而已。今此作馮。馮亦恃念之意也。然案方言。每字合從手旁。音謀改反。○正義曰。馮音憑。

怵迫之徒兮。或

趨西東。

孟康曰。怵。為利所誘怵也。迫。迫貧賤東西趨利也。○索隱曰。漢書亦有作私東。應劭云。仕諸侯為私。時天子居長安。諸王悉在關東。小人怵然內迫私家。樂仕諸侯。

故云。怵迫私東也。李奇曰。私。多作西者。

大人不曲兮。億變齊同。

索隱曰。張機云。德無不包。靈府

言東西趨利也。怵音黜。又怵者誘也。

弘曠。故

拘士繫俗兮。攔如囚拘。

徐廣曰。攔音華板反。又音院。索隱曰。說文云。攔。大木柵也。漢書作儻。音去隕反。

至人

遺物兮。獨與道俱。

索隱曰。莊子云。古之至人。先存諸己。後存諸人。張機云。體盡於聖德。美之極。謂之至人。

衆人或或兮。

好惡積意。

李奇曰。或。或東西也。所好所惡。積之萬億也。瓚曰。言衆懷抱好惡。積之心意。○正義曰。意合韻音憶。

真人淡漠兮。獨與

攔如囚拘ハ、札記攔ニ作ル、云フ索隱本攔、各本攔ニ作ル、錢大昕曰、索隱云、說文云、攔大木柵也、說文按ズルニ攔字ナシ、索隱殆ド誤ルナリ、漢書儻ニ作ル、而テ蘇林音欺全反、卻テ園音ト相近シト、

大事樂物兮素隱曰、漢書云大鈞播物此專讀曰鈞樂猶轉也、錢大昕曰、專ト鈞ト聲相轉ズ、舌齒音ヲ異ニシ、而テ均シク出聲ト爲ス、此假借ノ例ナリ、樂讀テ般ト爲ス、補完切ナリ、般播聲相近シ。

何足控搏ハ、札記控搏ニ作ル、云フ蔡王柯凌

以言水激則去疾不能浸潤。矢激疾則去遠也。說文旱與捍同音。以言水矢流飛。本以無礙爲通利。令遇有物觸之。則激怒更勁疾而遠捍。猶人或因禍致福。倚伏無常也。萬物

回薄兮。振蕩相轉。雲蒸雨降兮。錯繆相紛。大專樂物兮。漢書專字作鈞。如淳

曰。陶者作器於鈞上。此以造化爲大鈞。○索隱曰。漢書云。大鈞播物。此專讀曰鈞。樂猶轉也。與播義同。虞喜志林云。大鈞造化之神。鈞陶萬物。品授羣形者也。案上鄒陽傳注云。陶家名模。下圓轉者爲鈞。言其能制器大小。以比之於天。塊軋無垠。應劭曰。其氣塊軋。非有限齊也。塊音若央。軋音若乙。○索隱曰。案無垠。謂無有齊畔也。說文云。垠。圻也。郭璞注。方言云。塊軋者。不利也。王逸注。楚詞云。塊軋。霧氣味也。○正義曰。塊字音烏郎反。軋於黠反。

天不可與慮兮。道不可與謀。遲數有命兮。惡識其時。且夫天地爲爐兮。造化爲工。索隱曰。莊子云。天地爲大冶。煥煥造化。故以陰陽爲炭。萬物爲銅也。合散消息兮。

陰陽爲炭兮。萬物爲銅。索隱曰。莊子云。人之生也。氣之聚也。聚則爲生。散則爲死。千變萬化兮。未始有極。索隱曰。莊子云。人者

安有常則。索隱曰。莊子云。人之生也。氣之聚也。聚則爲生。散則爲死。忽然爲人兮。何足控搏。如淳曰。控引也。控搏。玩弄愛生之意也。○索隱曰。搏音徒端反。又本作控揣。揣音初委反。

又音丁果反。揣者。量也。故晉灼云。忽然爲人。言此生甚輕耳。何足引物量度。已年命之長短。而愛惜之也。化爲異物兮。又何足患。索隱曰。莊子云。人之生也。氣之聚也。聚則爲生。散則爲死。

化變而嬗ハ、札記變化ニ作ル、云フ毛本索隱本及漢書文選ト合ス、各本倒ス、錢大昕曰、文選嬗ヲ讀ニ作ル、蓋章詒本訓、而ヲ如ト爲シ、讀ヲ嬗ト爲スニ从フナリ。

不能言請對以臆。此下皆假應爲對正義曰。協韻音憶。萬物變化兮。固無休息。幹流而遷兮。

或推而還。索隱曰。幹音烏。活反。幹轉也。形氣轉續兮。化變而嬗。服虔曰。嬗音如蟬。謂變蛻也。或曰。蛻蔓相連也。

○索隱曰。韋昭云。而如也。如蟬之蛻。化也。蘇林云。嬗音禪。謂其相傳與也。沕穆無窮兮。胡可勝言。無開。沕音蜜。又音昧。索隱曰。漢書無窮作沕。無開。沕音蜜。又音昧。

沕穆深微貌。以言其理深微。禍兮福所倚。正義曰。於。犧反。依也。福兮禍所伏。索隱曰。此老子之言。

然禍字古作既。案倚者立也。伏下。憂喜聚門兮。吉凶同域。正義曰。言禍福相因。吉凶不定。彼

吳彊大兮。夫差以敗。越棲會稽兮。句踐霸世。斯游遂成兮。卒被禍兮福所伏

五刑。韋昭曰。斯。李斯也。傳說胥靡兮。徐廣曰。腐刑也。○索隱曰。晉灼云。胥。相也。靡。隨也。古者相隨坐輕刑之名。墨子曰。傳說衣褐帶索。備築於傅巖。

在河東太陽縣。又夏靖書云。猗氏十里河。乃相武丁。夫禍之與福兮。何異糾福兮福所倚

繆。應劭曰。福禍相爲表裏。如糾繆繩索相附會也。瓚曰。糾。絞也。繆。索也。○索隱曰。韋昭云。繆。微也。又通俗文云。合繩曰糾。字林云。繆。三合繩也。音墨。糾音九。命不可

說兮。孰知其極。水激則旱兮。矢激則遠。索隱曰。此淮南子及鶡冠子文也。彼作水激則旱。而呂氏春秋作疾。

乙ス、鱗字、亭都下去魚ト韻ヲ爲スベカラザルヲ知ラザルナリ、今惟索隱本未ダ改メズ。賈生爲長沙王太傅注、札記上文乃以賈誼爲長沙王太傅注索隱ヲ移シテ、此際正義ノ上ニ入レ、云フ合刻本索隱ナ前文ニ係ク、司馬貞ノ意ニ非ズ、今移正スト。

單闕之歲注徐廣曰文帝六年歲在丁卯、錢大昕曰、漢書律歷志ヲ按ズルニ、高帝元年歲敦牂ト名ヅク、太初元年歲困敦ト名ヅク、是ナ以テ之ヲ推ス、單闕ノ歲當ニ是文帝七年ナルベシ、徐氏古者超辰ノ法アルヲ知ラズ、故ニ六年ハ云フナリ、按ニ敦牂ハ午ナリ、困敦ハ子ナリ。

宅在縣南三十步。湘水記云。誼宅中有一井。誼所穿。極小而深。上斂下大。其狀如壺。傍有一局。腳石牀。容一人坐。形流古制。相承云。誼所坐。

三年有鵠飛

入賈生舍。止於坐隅。楚人命鵠曰服。

晉灼曰。異物志有山鵠。體有文色。土俗因形名之曰服。不能遠飛。行不出

域。○索隱曰。鄧展云。似鵠而大。荊州記云。巫縣有鳥如雌鷄。其雄爲鵠。楚人謂之服。吳錄云。服黑色也。鳴自呼其名。

賈生既以適居長沙。長

沙卑溼。自以爲壽不得長。傷悼之。乃爲賦以自廣。

索隱曰。姚氏云。廣猶寬也。其

辭曰。單闕之歲兮。

徐廣曰。歲在卯曰單闕。文帝六年歲在丁卯。○索隱曰。李巡云。單闕。起也。陽氣推萬物而起。故曰單闕。孫炎本作蟬焉。蟬猶伸也。○

正義闕鳥曷反。

四月孟夏。庚子日施兮。服集予舍。

徐廣曰。施一作斜。○索隱曰。施音矢移反。猶西斜也。漢書作斜。

止于坐隅。貌甚閒暇。異物來集兮。私怪其故。發書占之兮。策言

其度。

索隱曰。漢書作識。說文云。識。驗言也。此作策。蓋識策之辭。○正義曰。發策數之書。占其度驗。

曰野鳥入處兮。主人將

去。請問于服兮。予去何之。

索隱曰。于。於也。漢書作子。服。小顏云。子加美之辭。

吉乎告我。凶言其

菑。正義曰。音災。

淹數之度兮。語予其期。

徐廣曰。數。速也。

服乃歎息。擊首奮翼。口

葬從蟻此下惜其不早去而罹此讒毀也與蛭蚓所貴聖人之神德兮遠濁世而自藏使驥驥可得係羈兮

豈云異夫犬羊正義曰使驥驥可得係縛羈絆則與犬羊無異責驥千里馬般紛紛其離

此尤兮蘇林曰般音盤孟康曰般音斑或曰盤桓不去紛紛構譏意也○索隱曰尤謂怨咎也亦夫子之辜也索隱曰漢書辜作故夫子

謂屈原也李奇曰亦夫子不如麟鳳翔逝之故羅此咎也睠九州而相君兮索隱曰睠音旦知反謂歷觀也漢書作歷九州何必懷

此都也鳳皇翔于千仞之上兮覽德輝焉下之索隱曰言鳳皇翔見人君有德乃下故禮

曰德輝動乎內是也見細德之險微兮搖增翮逝而去之徐廣曰一云遙增擊也○正義曰搖動也增加也言

見細德之人又有險難微起則合加動羽翮遠逝而去之彼尋常之汙瀆兮應劭曰八尺曰尋倍尋曰常○索隱曰汙瀆也瀆小渠也豈

能容吞舟之魚橫江湖之鱣鰪兮如淳曰大魚也瓊曰鱣魚無鱗口近腹下固將制於螻

蟻索隱曰莊子云庚桑楚謂弟子曰吞舟之魚蕩而失水則螻蟻能苦之戰國策齊人說靖郭君亦同案以喻小國暗主不容忠臣而為讒賊小臣之所見害也賈生

為長沙王太傅正義曰漢文帝年表云吳芮之玄孫差襲長沙王也傳為長沙靖王差之二年也括地志云吳芮故城在潭州長沙縣東南三百里賈誼

豈云異夫犬羊注正義其文如纂ハ、札記驥文如纂ニ作ル、云フ驥ヲ其ニ謁シ、纂ハ纂ニ謁ス、汪校改ム。

睠九州而相君兮、索隱云、漢書作歷九州、錢大昕曰、睠當ニ讀ア商ノ如クスベシ、商歷聲相近シ。

見細德之險微兮ハ、札記云、困學紀聞云、漢書顔險陰之證ト注スレバ、則微當ニ微ニ作ルベシ、文選微ニ作ル。

固將制於螻蟻ハ、札記螻蟻ニ作ル、云フ此倒文以テ韻ニ叶フ、蓋螻ヲ讀デ龍珠切ト爲ス、集韻十虞此一音アリ、此後世俟チ轉ジテ虞ニ入ルルノ濫觴也、讀者螻蟻ノ字ヲ習見シ、以テ誤ト爲シ、而テ之ヲ

本分下而字アリ、素隱本無シ、下二句一例ナリ、雜志云、漢書文選兮瓠下ニ在リ、亦兩字ナシ。

訊曰注素隱、札記、辭曰、李奇曰辭告也、音信、張晏曰、離騷下章辭亂也、劉伯莊音素對反、訊猶宜也、重宣其意、周成師古音碎也ニ作ル、云フ周成ノ下疑フ脫文アリ、隋志ニ梁解文字義七卷、周成撰アリ、又云、師古音碎也ハ、自ラ漢書注合刻チ引テ改ム、師古二字解詁ト爲シテ譯ル、按ニ漢書詁曰ニ作ル、字典云許訊ト通ズ。

章甫薦履兮ハ、顏師古曰、冠乃下ニ居リ、屨反テ上ニ在ルナ言フ。

隱處注正義以自ノ下、札記珍字アリ、云フ官本珍字アリ、各本脫ス。

而寶^{トス}康瓠^ヲ

如淳曰。幹。轉也。爾雅曰。康瓠。謂之甑。大瓠也。應劭曰。康。容也。幹。音筭。筭。轉也。康。空也。○索隱曰。幹。音鳥活反。甑。音五列反。李巡云。康。謂大瓠。瓢也。騰^{一句}

駕罷牛兮。驂^ニ蹇驢^ヲ

正義曰。一句一意。是成上一句。罷。音皮。驥垂^ニ兩耳兮。服^ニ鹽車^ニ。索隱曰。戰國策曰。夫驥服鹽車。上太山。中坂。遷

延。負轅不能上。伯樂下車哭之也。

章甫薦履兮。應劭曰。章甫。殷冠也。漸不可久^カ。劉向別錄曰。因^ニ嗟苦先^ム。

生兮。獨離^ニ此咎^ニ

應劭曰。嗟。咨嗟。勞。訊曰。李奇曰。訊。告也。張晏曰。訊。離騷下章亂辭也。○索隱曰。訊。音信。劉伯莊音素對反。訊

猶宜也。重宣其意。

已矣。國其莫^ニ我知^ル。獨堙鬱^{トシテ}兮。索隱曰。漢書作壹鬱。亦通。其誰語^ニ鳳^ヲ。

漂漂^{トシテ}其高邁^ト兮。

索隱曰。邁。音逝。夫固自縮^{シテ}而遠去^ク。襲^ニ九淵之神龍兮。鄧展曰。襲。

重也。或曰。襲。覆也。猶言察也。○索隱曰。莊子曰。千金之珠。必在九重之淵。而驪龍領下。故云九淵之神龍也。

洊深潛^{トシテ}。曰自珍^{トス}。徐廣曰。洊。潛藏也。音亡筆。

彌^ニ融燠^ヲ以隱處^ス兮。

徐廣曰。一云。倂。蠃。蠃。一本云。彌。蠃。燠。以隱處也。○正義曰。顧野王云。彌。遠也。融。明也。燠。光也。沒深藏。以自彌。遠。明光。以隱處也。

○索隱曰。案徐所注。蓋三本總不同也。蘇林云。倂。音面。應劭云。倂。背也。蠃。水蟲。害魚者。以言背惡從善也。郭璞注爾雅云。似鳧。江東謂之魚鰕。

夫豈從^ニ蠃與^ニ。

蛭蟥^一

漢書蠃字作蝦。韋昭曰。蝦。蟻也。蛭。水蟲。蟥。丘蟥也。○索隱曰。蠃。音蟻。漢書作蝦。言倂然絕於蠃蟥。況從蝦與蛭蟥也。蛭。音質。蟥。音引。○正義曰。言寧投水合神龍。豈陸

幹棄周鼎兮而寶鬲、
孔記而字ナシ、云フ各

四五

法制度ハ、札記云、中統
游本法ヲ改ニ作ル、按
ニ漢書法字ヲ刪ル。

謙讓未遑ハ、顏師古曰、
遑ハ暇ナリ、自ラ以テ
當ニ制ヲ改ムベカラズ
ト爲ス。

毎ニ詔令議下。諸老先生不能言。賈生盡爲之對。人人各如其意。
所欲出。諸生於是乃以爲能不及也。孝文帝說之。超遷。一歲中。
至太中大夫。賈生以爲漢興至孝文二十餘年。天下和洽。而固。
當改正朔。易服色。法制度。定官名。興禮樂。乃悉草具其事儀法。
色尚黃。數用五。正義曰。漢文帝時黃龍見成紀。故改爲上也。爲官名。悉更秦之法。孝文帝
初。卽位。謙讓未遑也。諸律令所更定。及列侯悉就國。其說皆自
賈生發之。於是天子議以爲賈生任公卿之位。絳灌東陽侯馮
敬之屬盡害之。正義曰。絳灌。周勃灌嬰也。東陽侯。張相如。馮敬時爲御史大夫。乃短賈生曰。雒陽之人。
年少初學。專欲擅權。紛亂諸事。於是天子後亦疏之。不用其議。
乃以賈生爲長沙王太傅。接上漢有賈生ヲ。索隱曰。諠爲傳。是吳芮之玄孫差襲長沙王之時也。非景帝之子長沙王發也。荊州記。長沙城西北隅有。

ルベシ、楚詞民生稟命ニ作ル。
余何畏懼兮、札記余チ餘、各本余ニ作ル。
會傷哀哀云云、札記云、雜志云、上曾陰懷悲四ナリ、即此四句ノ異文ナリ、特ニ史ハ前ニ在リ、楚詞ハ後ニ在ルノミ、後人楚詞ニ據テ、史チ増ス、已ニ上文ニ見ユルヲ知ラザルナリ、此四句當ニ史較叔師本ニ從フベキ、長ト爲スニ似タリ。
自投ハ、札記云、素隱本沈ニ作ル、雜志云、沈字是ナリ、注毎於此日以簡ハ、簡上竹字アリ、云フ官本竹字アリ、類聚四、續齊諧記チ引クト合ス。
終莫敢直諫云云、方苞曰、諸人ノ直諫スル能ハザルヲ惜ミ、而テ繫アルニ楚ノ削ト減トヲ以テス、通篇脈絡皆相

及棟葉。皆汨羅之遺風。屈原既死之後。楚有宋玉唐勒景差之徒者。徐廣曰。差作慶。○索

隱曰。揚子法言及漢書古今人表。皆作景璦。今作差。是字省耳。以徐裴鄒三家皆無音。是如字讀也。皆好辭。而以賦見稱。然皆祖

屈原之從容辭令。終莫敢直諫。其後楚日以削。數十年。竟爲秦

所滅。自屈原沈汨羅。後百有餘年。漢有賈生。爲長沙王太傅。過

湘水。投書以弔屈原。過脈處

賈生。名誼。雒陽人也。年十八。以能誦詩。屬書。聞於郡中。吳廷尉

爲河南守。聞其秀才。正義曰。顏云。秀美也。應劭云。避光武諱。改茂才也。召置門下。甚幸愛。孝文

皇帝初立。聞河南守吳公。索隱曰。吳姓。史失名。故稱公。治平爲天下第一。故與

李斯同邑。而常學事焉。乃徵爲廷尉。廷尉乃言賈生年少。頗通

諸子百家之書。文帝召以爲博士。是時賈生年二十餘。最爲少。

當ニ北行スベシ、故ニ
進路北次ノ語アリ。

合憂、索隱楚詞作舒憂
ハ札記云、合ハ當ニ合
ニ作ルベシ、金即舒字
ナリ。

浩浩沅湘兮注素驤海陽
山、札記陽海山ニ作ル、

云フ各本誤倒ス、漢志
ニ依テ乙正ス、正義海

山ノ上陽字アリ、流字
ナシ、云フ陽字ヲ脱ス、

北下流字ヲ衍ス、考證
說文ニ依テ改ム。

分流汨兮云云ハ、戴震
曰、汨汨ハ疾ギ貌ナリ、

修ハ長ナリ、拂ハ非ニ
作ル、非章昭注國語云、

草穢路ヲ塞クヲ弗ト爲
スト、是ナリ、曾ハ果

ナリ、嗟ハ呻ナリ。

驪將焉程兮錢大昕曰、
程譌テ秋ノ如シ、西ト

韻ヲ爲ス、書ノ平秩東
作ナ、史記ニ便程ニ作

ル。

各有所錯兮、方苞曰、
錯ハ措ト通ス、置ナリ、

窮達禍福各措置ノ處ア
ルナリ。

人生有命兮、札記人生
稟命ニ作ル、云フ各本
有命ニ作ル、雜誌云、
當ニ宋本ニ從ヒ稟ニ作

也。○正義曰。說文云。沅水出牂牁東。北流入江。湘水出
零陵縣海山。北流入江。按二水皆經岳州而入大江也。

拂兮。索隱曰。楚詞
作幽蔽也。

道遠忽兮。曾嗟恆悲兮。永歎慨兮。世既莫吾知

兮。人心不可謂兮。

王逸曰。謂猶說也。○索隱曰。
楚詞無曾嗟已下二十一字。

懷情抱質兮。獨無匹兮。

伯樂既歿兮。驥將焉程兮。

王逸曰。
程量也。

人生有命兮。各有所錯兮。

王逸

曰錯。定心廣志。余何畏懼兮。

索隱曰。楚詞
餘竝作余。

曾傷爰哀。永歎喟兮。

王逸
曰。喟

息也。世溷不吾知。心不可謂兮。知死不可讓兮。願勿愛兮。明以告

君子兮。吾將以爲類兮。

王逸曰。類法也。○正義曰。按類
例也。以爲忠臣不事亂君之例。

於是懷石。遂自

投汨羅以死。

應劭曰。汨水在羅。故曰汨羅也。○索隱曰。地理志。長沙有羅縣。羅子之
所徙。荊州記。羅縣北帶汨水。音覓。○正義曰。故羅縣城在岳州湘陰縣

東北六十里。春秋時羅子國。秦置長沙郡而爲縣也。按縣北有汨水及屈原廟。續齊諧記云。屈
原以五月五日投汨羅而死。楚人哀之。每於此日以筒貯米。投水祭之。漢建武中。長沙區同白
日忽見一人。自稱三閭大夫。謂同曰。聞君常見祭甚善。但常年所遺爲蛟龍所竊。今若有惠。可
以楸樹葉塞上。以五色絲轉縛之。此物蛟龍所憚。同依其言。世人五月五日作糉。并帶五色絲

盛兮。陷滯而不濟。

王逸曰。言己才力盛壯。可任用重載。而身陷沒沈滯。不得成其本志也。

懷瑾握瑜兮。窮不

得余所示。

王逸曰。示。語也。

邑犬羣吠兮。吠所怪也。

一作俊

誹駿疑桀兮。固庸態

也。

王逸曰。千人才爲俊。一國高爲桀也。庸。賤之人也。○索隱曰。尹文子云。千人才曰俊。萬人曰桀。今乃誹駿疑桀。固是庸人之態也。

文質疎內兮。衆

不知吾之異采。

徐廣曰。異一作奧。案王逸曰。采。文采也。

材樸委積兮。莫知余之所有。重

仁襲義兮。謹厚以爲豐。

王逸曰。重。累也。襲。及也。

重華不可悟兮。孰知余之從

容。

王逸曰。悟。逢也。○索隱曰。楚詞。悟作遇。竝吾故反。

古固有不竝兮。豈知其故也。

索隱曰。楚詞作豈知其何故。

湯禹久遠兮。邈不可慕也。懲違改忿兮。抑心而自彊。離滑而不

遷兮。願志之有象。

王逸曰。象。法也。

進路北次兮。

正義曰。北次。將就。

日昧昧其將暮。

含憂虞哀兮。限之以大故。

王逸曰。娛。樂也。大故。謂死亡也。○索隱曰。楚詞含憂虞哀。作舒憂娛哀。娛音虞。娛者。樂也。

亂曰。

索隱曰。王師叔云。亂者。理也。所以發理辭指。總撮其要。而重理前意也。

浩浩沅湘兮。

索隱曰。二水名。地理志。湘水出零陵海陽山。北入江。沅。卽湘之後流。

アリ、麗正ノ上足字アリ、云フ官本足字アリ、類聚ト合ス、五傳舉ノ五色字アリ、云フ官本色字アリ、類聚ト合ス、今本外傳彩ニ作ル。任重載盛兮注王逸曰ハ、楚詞注ニ用字ナク、身下ニ放奔ニ字アリ。誹駿、札記云、誹。索隱本非ニ作ル、駿字各本皆同ジ、結ク之ニ仍文質疎内ハ、戴震曰、文ノ質ニ過ギザル、之ヲ望ム疏ニ似テ、又且内ニ藏スルヲ言フ。材樸委積ハ、戴震曰、用ヲ得ツノ材委積シ、宥有ナルヲ言フ、説文ニ樸ハ木素ナリ。古固有不竝兮、洪興祖曰、聖賢時竝ベテ而生セザルナリ。邈不可慕也、戴震曰、邈ハ遠キ貌ナリ。懲違ハ、戴震曰、懲ハ止ナリ、違ハ猶拂ノ如キナリ、鄭康成箋毛詩ニ云、要同ナリ。進路北次兮、方晞原曰、涉江篇ニ據レバ、沅ヨリ激ニ入リ、乃遷所ニ至ル、則羅淵ニ沈ム、

本竊寃ニ作ルト、戴震曰、胸ハ揚雄所謂目冥胸シテ見ルナキナリ、竊寃ハ山谷、深キナ言フ、注索隱、札記胸音聲、徐氏云胸音眩、竊音烏鳥反ニ作ル。

冤結ハ、戴震賦注冤結ニ作ル、荈音鬱ナリ。章畫職墨分注索隱楚詞職作志ハ、錢大昕曰、職ハ職ト通ズ、周官職方氏ナ、漢ノ華嶽碑ニ職方ニ作ル、是ナリ、周志即職ノ古文ナリ、周禮注ニ見ユ。

執察其揆正ハ、戴震曰、揆正ハ、揆度ノ正シク法守ト爲スベキヲ謂フナリ。玄文幽處兮ハ、玄墨ノ文ヲ持テ、幽冥ノ處ニ居ルナリ。

智以爲無明注正義、札記幽ニ作ル、云フ、阿札記幽ニ作ル、今改ス、鳳皇在笱云云、戴震曰、方言ニ、籠ハ南楚江河ノ間ヲ笱ト謂ヒ或ハ之ヲ笱ト謂フ。

注正義侯順ハ、札記云、侯字疑フ誤ル、類聚異撰載ニ作ル、今本韓詩外傳、亦撰載二字

爲圓兮。常度未替。

王逸曰。刑削度。法替廢也。言人刑削方木。欲以爲圓。其常法度尙未廢也。○索隱曰。刑音五官反。

易初本

由兮。君子所鄙。

王逸曰。由。道也。○正義曰。本。常也。鄙。恥也。言人遭世不道。變易初行。違離常道。君子所鄙。

章畫職墨兮。前

度未改。

王逸曰。章。明也。度。法也。言工明於所畫。念其繩墨。修前人之法。不易其道。則曲木直而惡木好。○索隱曰。畫。計畫也。楚詞職作志。志。念也。餘。如注所解。

內

直質重兮。大人所盛。

王逸曰。言人質性敦厚。心志正直。行無過失。則大人君子所盛美也。

巧匠不斲兮。孰察

其揆正。玄文幽處兮。矇謂之不章。

王逸曰。玄。黑也。矇。盲者也。詩云。矇瞍奏公。章。明也。

離婁微睇

兮。瞽以爲無明。

王逸曰。離婁。古明目者也。瞽。盲也。○正義曰。睇。田帝反。盼也。

變白而爲黑兮。倒上以

爲下。

索隱曰。下音戶。

鳳皇在笱兮。雞雉翔舞。

徐廣曰。笱一作郊。騶案王逸曰。笱。籠落也。○索隱曰。笱。音奴。又音女。加反。籠落。

謂藤蘿之相籠絡也。楚詞雉作鷄。○正義曰。瑞應圖云。黃帝問天老曰。鳳鳥何如。天老曰。鴻前而麟後。蛇頸而魚尾。龍文而龜身。燕頤而鷄喙。首戴德。頸揭義。背負仁。心入信。翼俟順。履正。尾擊武。小音金。大音鼓。

延頸奮翼。五備舉。

同糅玉石兮。一槩而相量。

王逸曰。忠。不異。

夫黨人之鄙

妬兮。羌不知吾所臧。

王逸曰。莫照我之善意。○索隱曰。按王師叔云。羌。楚人語辭。言卿何爲也。○正義曰。羌。音疆。

任重載

可不隨其流而揚其波
注。源。今本楚詞。源。二作
ル、義同。シト、源ハ濁ナ
リ、混ナリ。

新沐者必彈冠、呂延
濟曰、彈ハ其塵ヲ振ヒ
去ルナリ。

受物ヲ汶汶者乎。注。王逸
曰。蒙垢塵ハ、札記。垢汗
ニ作ル。云。汚。刻汚。各
本。敵。二作ル。游。本。瑕。二
作ル。ト、索隱。汶汶者音
閔、汶汶猶昏暗也。二作
ル、云。疑。汶者二字
ヲ衍スト。

寧赴常流ノ常ハ、楚詞
湘ニ作ル。

蒙世之溫蠖乎、札記
世下ニ俗字アリ、云。汚
舊刻俗字アリ、索隱本
ト合ス、注。惜憤、心亂
ルナリ。

陶陶孟夏ハ、戴震曰、
陶陶ハ長養ノ氣充盛ナ
ルナリ。

汨徂南土、汨徂ハ鄢
南ニ在リ、故ニ南土ト
曰フ。

胸兮窈窕ハ、札記。窈窕
ニ作ル、云。蔡王柯凌

移。舉世混濁。何不隨其流而揚其波。索隱曰。楚詞隨其流。作混其泥也。衆人皆醉。何

不舖其糟而啜其醕。何故懷瑾握瑜而自令見放爲。索隱曰。楚詞懷瑾握瑜。作

深思高舉也。屈原曰。吾聞之。新沐者必彈冠。新浴者必振衣。人又誰能

以身之察察。王逸曰。己清潔。受物之汶汶者乎。王逸曰。蒙垢塵。○索隱曰。汶汶音門門。汶汶猶昏暗不明也。寧

赴常流而葬乎江魚腹中耳。索隱曰。常流猶長流也。又安能以皓皓之白而

蒙世之溫蠖乎。索隱曰。蠖音烏廓反。溫蠖猶悟慣。楚詞作蒙世之塵埃乎。乃作懷沙之賦。索隱曰。楚詞九懷曰。懷沙礫以

沈。此其義也。其辭曰。陶陶孟夏兮。草木莽莽。王逸曰。陶陶。盛陽貌。莽莽。盛茂貌。索隱曰。莽音姥。○正義曰。莫古反。

傷懷永哀兮。汨徂南土。王逸曰。汨。行貌。○索隱曰。方言曰。汨。謂疾行也。眇兮窈窕。徐廣曰。眇。眇也。○索隱曰。眇音

瞬。窈窕。鳥鳥反。孔靜幽墨。王逸曰。孔。甚也。墨。無聲也。○正義曰。孔。甚。墨。無聲。言江南山高澤深。視之眇。野甚清淨。漠無人聲。冤結紆軫

兮。離愍之長鞠。王逸曰。鞠。窮。紆。屈也。軫。痛也。愍。病也。撫情效志兮。俛詘以自抑。矧方以

豈足福哉注正義豈是受福ノ是字、札記在二作、云フ足ナ是ニ譌ス、考證改ム、

子非三閭大夫歟注ハ、王逸ノ離騷篇序ナリ、序其譜屬ノ上屈原二字アリ。

鄭袖外欺於張儀。疏屈平而信上官大夫令尹子蘭。兵挫地削。

亡其六郡。身客死於秦。爲天下笑。此不知人之禍也。易曰。井泄

不食。向秀曰。泄者。浚治去泥濁也。○索隱曰。向秀字子期。晉人。注周易。爲我心惻。張璠曰。可爲惻然。傷道未行也。○索隱曰。張璠亦晉人。注易也。可

以汲。王明竝受其福。易象曰。求王明。受福也。○索隱曰。京房易章句。言我之道可汲而用。上有明主。汲我道而用之。天下竝受其福。故曰王明

竝受其福也。王之不明。豈足福哉。徐廣曰。一云不足福。○正義曰。言楚王不明。忠臣豈是受福。故屈原懷沙自沈。令尹子

蘭聞之大怒。卒使上官大夫短屈原於頃襄王。頃襄王怒而遷

之。離騷序曰。遷於江南。屈原至於江濱。被髮行吟。澤畔。顏色憔悴。形容枯槁。

漁父見而問之曰。索隱曰。父音甫。子非三閭大夫歟。離騷序曰。三閭之職。掌王族

其賢良。以厲國士。何故而至。此屈原曰。舉世混濁而我獨清。衆人皆醉而

我獨醒。是以見放。漁父曰。夫聖人者。不凝滯於物。而能與世推

高帝三教志焉云、唐順之曰、忽又釋シテ辭上ニ到ル。
人君無愚智云云、余有
丁曰、事ヲ序シ未ダ畢
ラズ、中閒雜フルニ論
斷ヲ以テス、伯夷傳ト
略同シ、蓋傳ノ變體ナ
リ。

不知忠臣之分、札記云、
臣字疑フ誤ル。

懷王稚子子蘭勸王行。奈何絕秦歡。懷王卒行。入武關。秦伏兵
絕其後。因畱懷王以求割地。徐廣曰。三十年入秦。懷王怒。不聽。亡走趙。趙不
內。復之秦。竟死於秦而歸葬。長子頃襄王立。索隱曰。名橫。以其弟子
蘭爲令尹。楚人既咎子蘭以勸懷王入秦而不反也。屈平既嫉
之。雖放流。睠顧楚國。繫心懷王。不忘欲反。冀幸君之一悟。俗之
一改也。其存君興國而欲反覆之一篇之中。三致志焉。然終無
可奈何。故不可以反。卒以此見懷王之終不悟也。人君無愚智
賢不肖。索隱曰。此已下太史公傷楚懷王之不任賢信讒。而不能反國之論也。莫不欲求忠以自爲。舉賢以
自佐。然亡國破家相隨屬。而聖君治國。累世不見者。其所謂忠
者不忠。而所謂賢者不賢也。懷王以不知忠臣之分。故內惑於

蓋

遂取楚之漢中地

徐廣曰。楚懷王十六年張儀來相。十七年秦敗屈匄。○正義曰。梁州。

懷王乃悉發國

中兵以深入擊秦戰於藍田魏聞之襲楚至鄧

索隱曰。鄧在漢水北。故鄧侯城也。楚

兵懼自秦歸而齊竟怒不救楚楚大困明年秦割漢中地與楚

以和楚王曰不願得地願得張儀而甘心焉張儀聞乃曰以一

儀而當漢中地臣請往如楚如楚又因厚幣用事者臣靳尚而

設詭辯於懷王之寵姬鄭袖懷王竟聽鄭袖復釋去張儀是時

屈平既疏不復在位使於齊顧反諫懷王曰何不殺張儀懷王

悔追張儀不及索隱曰。張儀傳無此語。其後諸侯共擊楚大破之殺其將唐

昧徐廣曰。二十八年敗唐昧也。○正義曰。昧莫葛反。時秦昭王與楚婚欲與懷王會懷王欲行

屈平曰秦虎狼之國不可信不如無行索隱曰。楚世家昭睢有此言。蓋二人同諫王故彼此各隨錄之也。

浙二議ス、注同ジ、錢氏致異ニ依テ改ム、蔡本中統游王柯本並ニ丹陽ニ作ル、楚世家同ジト、注正義岐江ハ枝江ニ作ル、云フ按チ岐ニ議ス、考證郡國志ニ據テ改ム。

殺其將唐昧注正義莫葛反、錢大昕曰、呂氏春秋唐蔑ニ作ル、漢書古今人表同ジ、古文昧蔑通ズ。

不獲世之滋垢ハ、錢大昕曰、滋ハ枝ト同ジ、說文ニ、枝ハ黑ナリ、春秋傳ニ、何故使ニ我水茲トアリ、札記云、廣雅ニ、獲ハ辱ナリ、又獲ハ辱汚ナリ。

乃令張儀詳去秦云云ハ、淺推隆曰、張儀始終ノ事ヲ詳ニスルハ、屈原楚王ヲ諫ムル張本ト爲ス。

大破楚師於丹浙ハ、錢大昕曰、浙當ニ浙ニ作ルベシ、楚世家丹陽ニ作ル、札記浙ニ作リ、云フ索隱本凌毛本竝ニ

物芳。其行廉。故死而不容自疎。濯淖汙泥之中。

索隱曰、濯音濁。淖音鬧。汙音烏。故反。泥音

奴計反。

蟬蛻於濁穢。

正義曰、蛻音稅。去皮也。又他臥反。

以浮游塵埃之外。不獲世之滋

垢。皜然泥而不滓者也。

徐廣曰、皜、疎靜之貌。○索隱曰、皜音自若反。泥音涅。滓音淄。又竝如字。

推此志也。雖

與日月爭光可也。

正義曰、言屈平之仕濁世。去其汙垢。在塵埃之外。推此志意。雖與日月爭其光明。斯亦可矣。

屈平既紉。

其後秦欲伐齊。齊與楚從親。

正義曰、上足松反。

惠王患之。乃令張儀詳去

秦。厚幣委質事楚。曰、秦甚憎齊。齊與楚從親。楚誠能絕齊。秦願

獻商於之地六百里。楚懷王貪而信張儀。遂絕齊。使使如秦。受

地。張儀詐之曰、儀與王約六里。不聞六百里。楚使怒去。歸告懷

王。懷王怒。大興師伐秦。秦發兵擊之。大破楚師於丹浙。斬首八

萬。索隱曰、丹浙。二水名也。謂於丹水之北。浙水之南。皆爲縣名。在弘農。所謂丹陽浙是也。○正義曰、丹陽。今岐江故城。虜楚將屈匄。

索隱曰、屈姓。匄。名。音

作騷離、凌椎隆曰、漢武帝離騷、變シ、淮南王安ニ命ジ、離騷傳ヲ作ラシム、太史公原ノ傳ヲ作ル、淮南ノ詞ニ本ヅクナリ。

平疾^ニ王聽之不聰^{ナラ}也。讒諂之蔽^フ明也。邪曲之害^{スル}公也。方正之不^ル

容也。故憂愁幽思而作離騷。

索隱曰。音索刀反。一音蕭。應劭曰。離。遭也。騷。憂也。又離騷序云。離。別也。騷。愁也。

離騷

者。猶離憂也。夫天者人之始也。父母者人之本也。人窮則反本。

故勞苦倦極。未嘗不呼天也。疾病慘怛。

正義曰。上士感反。下丁達反。慘。毒也。怛。痛也。

未嘗

不呼父母也。屈平正道直行。

正義曰。寒孟反。

竭忠盡智。以事其君。讒人

閒之。可謂窮矣。信而見疑。忠而被謗。能無怨乎。屈平之作離騷。

蓋自怨生也。國風好色而不淫。小雅怨誹而不亂。

正義曰。誹方畏反。

若離

騷者。可謂兼之矣。上稱帝嚳。下道齊桓。中述湯武。以刺世事。明

道德之廣崇。治亂之條貫。靡不畢見。其文約。其辭微。其志潔。其

行廉。其稱文小。而其指極大。舉類邇而見義遠。其志潔。故其稱

史記評林卷之八十四

屈原賈生列傳第二十四

屈原者。名平。楚之同姓也。

正義曰。屈景昭。皆楚之族。王逸云。楚王始都是生子瑕。受屈爲卿。因以爲氏。

爲楚懷

王左徒。

正義曰。蓋今在左右拾遺之類。

博聞彊志。明於治亂。嫻於辭令。

史記嫻音隱。又音閑。

入則

與王圖議國事。以出號令。出則接遇賓客。應對諸侯。王甚任之。

上官大夫與之同列。爭寵而心害其能。懷王使屈原造爲憲令。

屈平屬草藁未定。

索隱曰。屬音燭。草藁。謂創制憲令之本。漢書作草具。崔浩謂發始造端也。

上官大夫見而欲

奪之。

正義曰。王逸云。上官。斬尙。

屈平不與。因讒之曰。王使屈平爲令。衆莫不知。

每一令出。平伐其功。曰以爲非我莫能爲也。王怒而疏屈平。屈

爲楚懷王左徒。錢大昕曰。黃歇左徒。曰令尹。ト爲ル。則左徒モ亦楚ノ貴臣ナリ。札記云。注正義在字。疑フ即下左字ノ譌衍ナリ。闕於辭令ノ闕ハ。習ナリ。

屬草藁ノ藁。札記藁ニ作ル。云フ他本或ハ藁ニ作リ或ハ藁ニ作ル。皆譌俗ナリ。

史記評林卷之八十三終

關中。秦且儼然以鞏洛之周自處矣。及其拒五城之封。棄如敝屣。眇千金之壽。輕於鴻毛。高節雅度。照耀千古。孟子曰。吾善養吾浩然之氣。是氣也。至大至剛。塞乎天地之間。連之不屈於物者。以氣勝也。謂之天下士。夫何愧哉。游說也。游俠也。比諸妾婦者。吾不得同日語也。太史公俾鄒陽同傳。擬人恐非其倫耳。

索隱述贊曰。魯連達士。高才遠致。釋難解紛。辭祿肆志。齊將挫辯。燕軍沮氣。鄒子遇讒。見詆獄吏。慷慨獻說。時王所器。

蘇子古史曰。戰國游談之士。非從卽衡。說行交合。而寵祿附之。故事不厭詭詐。爭走于利。魯仲連辯過秦儀。氣凌髡衍。而從橫之利。不入于口。因事放言。切中機會。排難解紛。如決潰堤。不終日而成功。逃避爵賞。脫屣而去。戰國以來一人而已。

黃震曰。魯仲連闢新垣衍帝秦之說。引鄒魯不肯納齊湣王之事爲證。可謂深切著明矣。然解邯鄲之圍者。平原君力也。非仲連口舌之所能解也。射書聊城。使其將自殺而城見屠。此不過爲田單謀耳。縱當時無仲連書。聊城無救。勢亦必亡。亦非甚有功于田單也。射書何爲哉。使連能說單無屠聊。而射書于城約。其將善降。或說燕無殺其將。而使其將歸燕。以救聊城之命。皆可也。連釋此不爲。射書何爲哉。彼不預吾事。而預之。是爲出位。惟不以爵賞自累。而輕世肆志焉。故得優游天下。如飛鳥翔空然。然直以爲天下士未也。○鄒陽自陷繯紲。諄諄求哀。以此得位。不甚羞哉。

楊維禎曰。戰國之士。非游說則游俠耳。獨魯仲連不涉縱衡之利。稱天下士也。當是時。秦爲七國雄。乘戰勝之氣。肆虎狼之威。羈韓魏。制燕趙。脇齊謀楚。囊括并吞之志。固不待莊襄之後也。向之從親會盟。歃血之君。今日割地求和。明日遣子入質。若投肉餒虎。馴至裂冠毀冕。以臣妾之。秦不稱帝於天下。一髮之閒耳。孰謂布衣之客。不在卿相之位。無尺寸之兵。而欲恃三寸之舌。挽天下旣去之勢。不亦難哉。夫以片言之激。何有破二國之疑。陷海一死。奚足活上黨四十萬之命。方且圖脫諸侯於醢醢之地。亦凜凜矣。今也三晉之君。一聽其言。而作其委靡潰敗之氣。大梁之使聞其議。而起盜邊畏縮之心。使秦不得志於天下者。又四十年。嗚呼。向非連也。則山東諸侯馳車馬。奉玉帛。奔走

ル、是第五段、明ニ忠
信ヲ盡スノ士、終ニ讒
言ノ奪フ所ト爲ラザル
ヲ言ヒ、以テ己ノ意ヲ
明ニシ、前起語忠信ノ
兩字ヲ結ブ。
天下寥廓之士、顔師古
曰、寥廓ハ遠大ノ度ナ
リ。

士伏死堀穴巖巖之中耳
注詩云云、札記云、下
巖字誤ナリ、漢書文選
竝ニ載ニ作ル、注集解
誤本ニ據テ、強ヒテ之
カ説ヲ爲スナリ。

欲傷行。故縣名勝母。

漢書云。里名勝母也。○正義曰。鹽鐵論
皆云。里名。尸子及此傳云。縣名未詳也。

而曾子不入。

索隱曰。淮南子及鹽鐵論云。里名勝母。曾子不入。蓋以名
不順也。尸子以爲孔子至勝母縣。暮而不宿。其說不同。

邑號朝歌。而墨子廻車。

晉灼曰。朝歌者。不時也。○今欲使天下寥廓之士。攝於威重之權。主於
正義曰。朝歌。今衛州縣也。

位勢之貴。故回面汙行。以事諂諛之人。

索隱曰。杜預
云。回。邪也。

而求親近於

左右。則士伏死堀穴巖巖之中耳。

詩云。節彼南
山。維石巖巖。

安肯有盡忠信而

趨闕下者哉。書奏梁孝王。孝王使人出之。卒爲上客。

太史公曰。魯連其指意雖不合大義。然余多其在布衣之位。蕩

然肆志。不詘於諸侯。談說於當世。折卿相之權。鄒陽辭雖不遜。

然其比物連類。有足悲者。亦可謂抗直不撓矣。吾是以附之列

傳焉。

ミ、聖王天下ヲ制取スル、亦猶陶人ノ鈞ヲ轉ズル如キナリ。

獨觀於昭曠之道也、顏師古曰、昭ハ明ナリ、曠ハ廣ナリ。

臣聞盛飾入朝者云云、
焦贛曰、此ヨリ末ニ至

成也。而不牽於卑亂之語。不奪於衆多之口。故秦皇帝任中庶子

蒙嘉之言。以信荊軻之說。而匕首竊發。索隱曰。通俗文云。其頭類匕。故曰匕首。短而便用也。周文

王獵涇渭。載呂尙而歸。以王天下。故秦信左右而殺周用鳥集

而王。漢書音義曰。太公望塗觀卒遇。共成王功。若鳥鳥之暴集也。索隱曰。韋昭云。呂尙適周。如鳥之集也。何則以其能越攀拘之

語。馳域外之議。獨觀於昭曠之道也。今人主沉於諂諛之辭。牽

於帷裳之制。漢書音義曰。言爲左右便辟侍帷裳。臣妾所見牽制。使不羈之士。與牛驥同皁。漢書音義曰。食

牛馬器。以木作如槽也。○索隱曰。言駿足不可羈絆。以比喻逸才之人。應劭云。皁。歷也。韋昭云。皁。養馬之官。下士也。養馬之官。其衣皁也。又郭璞云。皁。養馬之器也。○正義曰。顏云。不羈。言才

識高遠。不可羈係。皁在早反。方言云。梁宋齊楚燕之閒。謂櫪曰皁。此鮑焦所以忿於世。而不留富貴之樂

也。如淳曰。莊子云。鮑焦飾行非世。抱木而死。○索隱曰。晉灼云。烈士傳。鮑焦怨世不用己。採

蔬於道。子貢難曰。非其世而採其蔬。此焦之有哉。弄其蔬。乃立枯洛水之上。案此事見莊

子及說苑韓詩外傳。小有不同也。臣聞盛飾入朝者。不以利汙義。砥厲名號者。不以

吝惜^ル所^{ナキ}ナリ。魚開明月之珠云ハ、魚曰、此ヨリ富貴之樂也。至^ル是第四段、明ニ左右諱言ノ信ズベカラザルナリ、而テ今人主ノ諱ヲ信ズル以テ之ヲ譏ルナリ、昔川淇園曰、先客アレバ、則枯株モ重器ト爲リ、因^ル所^{ナク}レバ、則珠玉モ怪ム所^{ナク}爲ル、然ラバ則布衣ノ士常ニ因^ル所^{ナキ}者、人主察セザルベカラザルナリ。隋侯之珠ハ、漢書隨珠ニ作ル、顏師古曰、隨國ノ侯、大蛇ノ傷者ヲ覓^テ、療シテ之ヲ愈ヤス、蛇明珠ヲ銜ンデ、以テ其德ニ報^フ、故ニ隨珠ト稱ス。雖包堯舜之術ハ、札記隱本各本包ニ作ル、新序漢書文選並ニ蒙ニ作ル、按ニ索隱注亦蒙ニ作ルニ似タリ。獨化陶鈞之上注漢書音義云云、顏師古曰、此說非ナリ、陶家鈞ズル者ナクテ鈞ト爲ス、蓋周回調鈞ニ取ルノ

夜光之璧。以闇投人於道路。人無不^レ按劍相眄者。何則無^レ因^ル而

至^ル前也。蟠木根柢。輪囷離詭。張晏曰根柢下本也。輪囷離詭委曲槃戾也。○索隱曰孟康云蟠結之木也。晉灼云槃桮木根也。

而爲^ル萬乘器者。何則以左右先爲^ル之容也。索隱曰左右先加雕刻是爲之容飾也。故無^レ

因^ル至^ル前。雖出^ル隋侯之珠。夜光之璧。猶結怨而不見^ル德。故有人先^レ

談^ル。則以^ル枯木朽株樹功而不忘^ル。今夫天下布衣窮居之士。身在^ニ

貧賤。雖包^ル堯舜之術。索隱曰言蒙被堯舜之道也。挾^ニ伊管之辯。懷^ニ龍逢比干之意^ヲ。

欲盡^ル忠當世之君。而素無^ル根柢之容。雖竭^ニ精思^ヲ。欲開^ニ忠信^ヲ。輔人

主之治。則人主必有^ニ按劍相眄之跡^ヲ。是使^ニ布衣不得^ル爲^ル枯木朽

株之資也。是以聖王制^ニ世御俗^ヲ。獨化^ニ於陶鈞之上^ヲ。漢書音義曰陶家一名模下員轉者爲

鈞。以其能制器爲^ニ大小比之於天^ヲ。○索隱曰張晏云陶冶鈞範也。作器下所轉者名鈞。韋昭曰陶燒瓦之竈鈞。木長七尺有絃。所以調爲器具也。崔浩云以鈞制器萬殊。故如造化之運轉哉。

以テ呂鄒ノ難ヲ免ル、
管仲射テ桓公ノ帶鉤ニ
中ツ、而テ用テ相ト爲
ス、皆川淇園曰、管文齊
桓、能ク仇讎ヲ用フル
者、即善ヲ欲シ厭クナ
キノ意ナリ、又曰、何則
一句、乃其能ク強霸一
匡ヲ得ル所以ノ者、亦
唯其誠心天下ヲ憂フル
故チ以テ、能ク之ヲ得
ルヲ釋スナリ。
至夫秦用商鞅之法云云
ハ、皆川淇園曰、秦越
二段、乃又誠心ニ加ヘ
ズ、徒ラニ虛辭ヲ以テ
信ル者ヲ舉ゲ。
是以孫叔敖云云ハ、皆
川淇園曰、是以以下、
因テ賢主トシ難ク、而
テ材臣動モスレバ禍
ニ陷ル、故ニ不世出ノ
士、多ク遠逸ニ甘ンズ
言フナリ。
關可報之意ハ、皆川淇
園曰、之ガ臣タル者チ
シテ感激シ、之ガ恩チ
報ズルヲ願フノ意アラ
シムルチ謂フ。
見商鞅ハ、顔師古曰、
見ハ顯シテ之ニ示スナ
リ、素ハ心ノ向フ所チ
謂フナリ、隨ハ毀ナリ。
無殺於士ハ、顔師古曰、

商鞅之法。東弱韓魏。兵彊天下。而卒車裂之。越用大夫種之謀。
禽勁吳。霸中國。而卒誅其身。是以孫叔敖三去相而不悔。
得相不喜。知其才之自得也。於陵子仲辭三公。爲人灌園。
三去相不悔。知非己之罪也。於陵子仲辭三公。爲人灌園。
不許。爲人灌園。○索隱曰。孟子云。陳仲子。齊陳氏之族。兄爲齊卿。仲子以爲不義。乃適楚。居于
於陵。自謂於陵子仲。楚王聘以爲相。子仲遂夫妻相與逃。爲人灌園。列士傳。字子終者。是也。
今人主誠能去驕傲之心。懷可報之意。披心腹。見情素。墮肝膽。
施德厚。終與之窮達。無愛於士。則桀之狗可使吠堯。
而蹠之客可使刺由。○應劭曰。跖之客爲其人使刺由。由許由也。跖盜跖也。○索隱曰。竝見戰國策。
假聖王之資乎。然則荊軻之湛七族。要離之燒妻子。
皇不成而死。其族坐之湛沒。吳王閭閻欲殺王子慶忌。要離詐以罪亡。令吳王燔其妻子。要離
走見慶忌。以劍刺之。張晏曰。七族。上至曾祖。下至曾孫。○索隱曰。湛音沈。七族。父之姓一也。姑
之子二也。姊妹之子三也。女之子四也。母之姓五也。
從子六也。及妻父母。凡七族也。要離事見呂氏春秋。
豈足道哉。臣聞明月之珠。
此下言莫爲先容

梁王
余而霸中國。齊用越人蒙而彊威宣。

索隱曰。越人蒙。未見所出。漢書作子臧。又張晏云。子臧。或是越人蒙。字也。

此二國豈拘於俗。牽於世。繫阿偏之辭哉。公聽竝觀。垂名當世。

應上偏聽獨任意

索隱曰。小顏云。公聽。言以下收拾前而意不私。竝觀。謂所見同也。故意合。則胡越爲昆弟。由余越人蒙是矣。不合。

則骨肉出逐不收。朱象管蔡是矣。今人主誠能用齊秦之義。後

宋魯之聽。則五伯不足稱。三王易爲也。是以聖王覺寤。捐子之

此處文若不屬而意實相承

之心。徐廣曰。燕王讓國。於其大臣子之也。而能不說於田常之賢。應劭曰。田常事齊簡公。簡公說

國家安。封比干之後。修孕婦之墓。應劭曰。紂剝姪者。觀其胎產也。○索隱曰。案

比干之墓。又唯云剝孕婦。則武王

雖反商政。亦未必修孕婦之墓也。

此更端言齊管善用土。秦越用土不終卒歸壽梁王

也。夫晉文公親其讎。彊霸諸侯。齊桓公用其仇。而一匡天下。謂

寺人物鞫。

何則慈仁慤勤。誠加於心。不可以虛辭借也。至夫秦用

朱象管蔡是矣。朱ハ堯ノ子丹朱ナリ。象ハ舜ノ弟ナリ。管蔡ハ周ノ管叔蔡叔ナリ。是以聖王覺寤云云。焦贛曰。此ヨリ豈足道哉。ニ至ル。是第三段。讒ナ信ズルノ害ヲ舉ゲ、而ア亦今人主數句ヲ以テ之ヲ望ムナリ。捐子之之心而能不說於田常之賢。札記云。漢書文選能字於字ナシ。皆洪湛園曰。子之田常。蓋此ヲ借リ以テ巧候深好惑ヒ易キノ臣ヲ謂フ。

夫晉文公親其讎云云。張晏曰。寺人物鞫。晉獻公ノ爲ニ文公ヲ逐テ其法ヲ斬ル。文公位ニ即クニ及ビ其言ヲ用ヒ、

下而桓公任之以國。

應劭曰。齊桓公夜出迎客。而寧戚疾擊其牛角。商歌曰。南山

夜半。長夜曼曼何時旦。公召與語。說之以爲大夫。○索隱曰。事見呂氏春秋。商歌者。謂爲商聲。

而歌也。或云。商旅人歌也。二說竝通。研音公禪反。研者。白淨貌也。顧野王音岸。禪音善。如字讀。

協韻失之也。埤蒼云。研。脛也。字林音下諫反。

此二人者。豈借宦於朝。假譽於左右。然後二主

此下即上行合于志豈移於浮詞

用之哉。感於心。合於行。親於膠漆。昆弟不能離。豈惑於衆口哉。

故偏聽生姦。獨任成亂。昔者魯聽季孫之說。而逐孔子。

索隱曰。論語齊人歸。

女樂。季桓子受之。三

日不朝。孔子行也。

宋信子罕之計。而囚墨翟。

索隱曰。左氏。司城子罕。姓樂。名喜。乃宋之賢臣也。漢書作子冉。

不知子冉是何人。文穎曰。子冉。子罕也。荀卿傳云。墨翟。孔子時人。或云。在孔子後。又襄二十九

年左傳。宋飢。子罕請出粟。時孔子適八歲。則墨翟與子罕不得相輩。或以子冉爲是。不知何如

也。

夫以孔墨之辯。不能自免於讒諛。而二國以危。何則。衆口鑠

金。

索隱曰。國語云。衆心成城。衆口鑠金。賈逵云。鑠。消也。衆口所惡。雖金亦爲之消亡。又風俗

是爲衆口。

積毀銷骨也。

索隱曰。大顏云。讒人積久。譖毀則父兄自相誅戮。骨肉爲之消滅也。

是以秦用戎人由

此下承言齊秦之知士而致伯強以諷

以馱驄

漢書音義曰馱驄駿馬也。生七日而超其母。敬重蘇秦。雖有讒謗而更膳以珍奇之味。○索隱曰字林云馬父贏子。北狄之良馬也。○正義曰食音寺。馱驄音決蹄。

北狄良馬也。

白圭顯於中山。中山人惡之。魏文侯文侯投之以夜光之

璧。何則兩主二臣。剖心拆肝相信。豈移於浮辭哉。故女無美惡。

此承上人惡二子而言引司馬喜骸之事言已所以見惡于人

入宮見妬。士無賢不肖。入朝見嫉。昔者司馬喜骸腳於宋。卒相

中山。

晉灼曰司馬喜三相中山。蘇林曰六國時人被此刑也。○索隱曰事見戰國策及呂氏春秋。

范雎摺脅折齒於魏。卒

爲應侯。

索隱曰應侯傳作折脅摺齒是也。說文云拉摧也。音力答反。

此二人者皆信必然之畫。捐朋黨

之私。挾孤獨之位。故不能自免於嫉妬之人也。是以申徒狄自

沈於河。

漢書音義曰殷之末世人。○索隱曰莊子申徒狄諫而不用。負石自投於河。韋昭云六國時人。漢書云自沈於雍河。服虔云雍州之河也。又新序作抱壘自沈於河。

不同也。

徐衍負石入海。

列士傳曰周之末世人。

不容於世。義不苟取。比周於朝。以

移主上之心。故百里奚乞食於路。繆公委之以政。甯戚飯牛車

諺曰有白頭如新云云、
焦贛曰、此ヨリ三王易
爲也ニ至ル、是第二段、
爲ヲ信ゼザルノ利ヲ舉
グテ、今人主數句ヲ以
テ之ヲ望ムナリ。

爲燕尾生注索隱蘇秦於
秦、札紀下秦ヲ齊ニ作
ル、云フ齊ヲ秦ニ誤ル、
今改ム。

之願大王孰察。少加憐焉。諺曰。有白頭如新。傾蓋如故。

桓譚新論
曰。言內有

以相知與否。不在新故也。○索隱曰。服虔云。人不相知才能交。至白頭猶如新也。傾蓋如故。如
吳札鄭僑也。家語。孔子遇程子於途。傾蓋而語。又志林云。傾蓋者。道行相遇。解車對語。兩蓋相
切。小歇之義。

故云傾蓋也。

何則知與不知也。故昔樊於期逃秦之燕。藉荊軻首。

以奉丹之事。

索隱曰。藉音子夜反。韋昭云。謂於期逃
秦之燕。以頭與軻。使持入秦。以示信也。

王奢去齊之魏。臨城

自刎。以卻齊而存魏。

漢書音義曰。王奢。齊人也。亡至魏。其後齊伐魏。奢登城謂齊
將曰。今君之來。不過以奢之故也。夫義不苟生。以爲魏累。遂

自刎也。

夫王奢樊於期。非新於齊秦。而故於燕魏也。所以去二國。

死兩君者。行合於志。而慕義無窮也。是以蘇秦不信於天下。而

此上言二子慕燕魏之義而效死以諷魏王之知已
承上復說蘇二子

而

爲燕尾生。

索隱曰。服虔云。蘇秦於秦不出其信。於燕則出尾生之信。韋昭云。尾
生守信而死者。案言蘇秦於燕獨守信如尾生。故云爲燕之尾生也。

白圭

戰亡六城。爲魏取中山。

張晏曰。白圭爲中山將。亡六城。君欲殺之。亡入魏。文侯厚
遇之。還拔中山。○索隱曰。事見戰國策及呂氏春秋也。

何則誠有以相知也。蘇秦相燕。燕人惡之於王。王按劍而怒。食

觀此一句方明

此下方言燕魏之知二子

也。○索隱曰。如淳云。太白主西方。秦在西。敗趙之兆也。又王充云。夫言白虹貫日。太白食昂實也。言荆軻之謀。衛先生之策。感動皇天。而貫日食昂虛也。

上二事不足為特為此夫精變天

地而信不喻兩主。豈不哀哉。今臣盡忠竭誠。畢議願知。張晏曰。盡其計議。願

王知左右不明。索隱曰。言左右之不明。不欲斥主。卒從吏訊。為世所疑。是使荆軻衛

先生復起。而燕秦不悟也。願大王孰察之。昔卞和獻寶。楚王刖

之。應劭曰。卞和得玉璞。獻之武王。武王示玉人。玉人曰。石也。刖右足。武王沒。復獻文王。王人復曰。石也。刖其左足。至成王時。卞和抱璞哭于郊。乃使玉尹攻之。果得寶玉。○索隱曰。楚

人卞和得玉璞事。見國語及呂氏春秋案。世家。楚武王名熊通。文王名贗。成王名憚。李斯竭忠。胡亥極刑。是以箕子佯

狂。索隱曰。佯音陽。謂詐為狂。接輿辟世。張晏曰。楚賢人。佯狂避世也。○索隱曰。司馬彪曰。箕子名曰胥餘。恐

遭此患也。願大王孰察卞和李斯之意。而後楚王胡亥之聽。索隱

曰。謂以楚王胡亥之聽為謬。無使臣為箕子接輿所笑。臣聞比干剖心。故後之而不用。後猶下也。

子胥鴟夷。索隱曰。韋昭云。以皮作鴟鳥形。名曰鴟夷。鴟夷。皮槁也。服虔云。用馬革作囊以裹尸。投之於江。臣始不信。乃今知

鄒陽者齊人也。游於梁。與故吳人莊忌夫子。淮陰枚生之徒交。

上書

索隱曰。忌。會稽人。姓莊氏。字夫子。後避漢明帝諱。改姓曰嚴。枚生名乘。字叔。其子皐。漢書竝有傳。蓋以衛枚氏而得姓也。

而介於羊勝公

孫詭之間。

索隱曰。言鄒陽上書自達。而游於二人之間。或往彼。或往此。介者。言有隔於其間。故杜預曰。介。猶間也。

勝等嫉鄒陽惡

之梁孝王。孝王怒下之吏。將欲殺之。鄒陽客游以讒見禽。恐死

而負累。

正義曰。謂不以罪死爲累。

乃從獄中上書曰。臣聞忠無不報。信不見疑。

臣常以爲然。徒虛語耳。昔者荊軻慕燕丹之義。白虹貫日。太子

畏之。

應劭曰。燕太子丹質於秦。始皇遇之無禮。丹亡去。故厚養荊軻。令西刺秦王。精誠感天。白虹爲之貫日也。如淳曰。白虹。兵象。日爲君。烈士傳曰。荊軻發後。太子自相氣見。

虹貫日不徹。曰吾事不成矣。後聞軻死事不立。曰吾知其然也。○索隱曰。王劭又云。軻將入秦。待其客未發。太子丹疑其畏懼。故曰畏之。其解不如見虹貫日不徹也。戰國策云。聶政刺韓僇。

亦曰白虹貫日。是也。

衛先生爲秦畫長平之事。太白蝕昴。而昭王疑之。

蘇林曰。白起爲

秦伐趙。破長平軍。欲遂滅趙。遣衛先生說昭王。益兵糧。乃爲應侯所害。事用不成。其精誠上達於天。故太白爲之蝕昴。昴。趙分也。將有兵。故太白食昴。食。干歷之也。如淳曰。太白。乃天之將軍。

乃從獄中上書云云ハ、
焦贛曰、舊評此篇分
テ十段ト爲ス、今只五
大段ト爲ス、更ニ序ア
リ、首四句ハ冒子ニ似
タリ、昔者荊軻ヨリ少
加憐焉ニ至ル、是第一
段、孝王ノ讒ヲ信ズル
ナキヲ冀フナリ。

太白蝕昴ハ、札記云、
索隱本蝕ヲ食ニ作ル。

劍之任_ニ枝桓公之心_ヲ於壇坫之上_ニ。索隱曰枝猶擬也。顏色不變。辭氣不悖。

三戰之所亡。一朝而復之。天下震動。諸侯驚駭。威加吳越。若此

二士者。非不能成小廉而行小節也。以爲殺身亡軀。絕世滅後

功名不立。非智也。故去感忿之怨。立終身之名。棄忿悁之節。正義

棄忿悁之節。悁。亦忿
ナリ。

曰。忿。敷粉反。

悁於緣反。

定累世之功。是以業與三王爭流。而名與天壤相弊

也。願公擇一而行之。燕將見魯連書。泣三日。猶預不能自決。欲

歸燕。已有隙。恐誅。欲降齊。所殺虜於齊甚衆。恐已降而後見辱。

喟然歎曰。與人刃我。寧自刃。乃自殺。聊城亂。田單遂屠聊城。歸

而言魯連欲爵之。魯連逃隱於海上。曰。吾與富貴而詘於人。寧

貧賤而輕世肆志焉。

吾與富貴而詘於人ノ詘
ハ、屈伸ノ屈ナリ。

能立大功。昔者管夷吾射桓公中其鉤。篡也。遺公子糾不能死。

怯也。

索隱曰。遺。弃也。謂棄子糾事小白也。○正義曰。管仲傳子糾而魯殺之。不能隨子糾死。是怯懦畏死。

束縛桎梏辱也。若此三

行者。世主不臣。而鄉里不通。鄉使管子幽囚而不出。身死而不

反於齊。則亦名不免爲辱人賤行矣。臧獲且羞與之同名矣。言方

曰。荆淮海岱燕齊之間。罵

奴曰臧。罵婢則曰獲也。

況世俗乎。故管子不恥身在縲紲之中。而恥

天下之不治。不恥不死。公子糾而恥威之不信於諸侯。故兼三

行之過。而爲五霸首。

正義曰。按齊桓最初得周襄王賜文武胙。彤弓矢大輅。故爲五伯首也。

名高天下。而光

燭鄰國。曹子爲魯將。

索隱曰。曹味也。

三戰三北而亡地五百里。鄉使曹子

計不反顧。議不還踵。刎頸而死。則亦名不免爲敗軍禽將矣。曹

子棄三北之恥。而退與魯君計。桓公朝天下會諸侯。曹子以一

士無反外之心、札記云、
外當ニ北ニ爲ルベシ、
北ハ古ノ背字ナリ、齊
寢北ニ作ル。

禍多。民無所歸心。今公又以敝聊之民。距全齊之兵。是墨翟之

推聊城之守之得

守也。

正義曰。如墨翟守宋卻楚軍。

食人炊骨。士無反外之心。是孫臏之兵也。

正義曰言

孫臏能撫士卒。

能見於天下。雖然爲公計者。不如全車甲以報於燕。

車甲全而歸燕。燕王必喜。身全而歸於國。士民如見父母。交游

攘臂而議於世。功業可明。上輔孤主以制羣臣。下養百姓以資

說士。

索隱曰。言既養百姓。又資說士。終擬強國也。劉氏云。讀說士爲銳士。意雖便不如依字。

矯國更俗。

索隱曰。欲令燕將歸燕。矯正國事。改更弊俗也。

功名可立也。亡意亦捐燕。弄世東游於齊乎。

索隱曰。亡音無。言若必無還燕意。則捐燕而東游於

齊裂地定封。富比乎陶衛。

索隱曰。延篤注戰國策云。陶陶朱公也。衛衛公子荆。非也。王劭云。魏冉封陶。商君姓衛。富比陶衛。謂此云爾。

世世稱狐。與齊久存。又一計也。此兩計者。顯名厚實也。願公詳

計而審處一焉。且吾聞之。規小節者。不能成榮名。惡小恥者。不

王喜ノ世ニ在リ、別ニ偏師ヲ以テ齊城ヲ降シ、議ヲ擅レ敢テ歸ラザル者アリ、仲連ノ言ヲ用ヒズ、以テ身死シ城屠ラルルニ至ル、史公書スル所、之ヲ戰國策ニ載スルニ其實ヲ得ト爲ス、吳師道田單越ニ相タルノ後、必復齊ニ返ラズト謂フ、亦恐ラクハ未ダ然ラズ、孟嘗君秦ニ相トシ、而テ歸リ復齊相ト爲ル、此其證ナリ。
爲書約之矢ハ、胡三省曰、書ヲ以テ圍繞シ、矢ニ束縛スルヲ謂フ。勇士不怯死而滅名ハ、札記怯ヲ卻ニ作ル、云フ索隱本卻、故ニ注避死ト云フ、各本怯ニ誤ル。
齊之南陽注索隱卽濟、札記卽齊ニ作ル、云フ各本齊ヲ濟ニ譌ス、今改ム。

楚攻_二齊之南陽_一

索隱曰。卽濟之淮北。泗上之地也。

魏攻_二平陸_一

索隱曰。平陸。邑名。在西界。○正義曰。兗州縣也。

而齊無_二

南面之心。以爲亡_二南陽之害小_一

不如得_二濟北之利大_一

索隱曰。卽聊城之地也。○

正義曰。言齊無_二南面攻楚魏之心。以爲南陽平陸之害小。不如聊城之利大。言必攻之也。

故定_レ計審處_レ之。今秦人下_レ兵。魏

不敢_二東面衡秦之勢成_一

索隱曰。此時秦與齊和。故曰衡秦之勢成也。

楚國之形危。齊弄_二南

陽斷_二右壤定_二濟北_一

索隱曰。謂弃楚所攻之泗上也。又斷絕魏之所攻齊右壤之地。平陸是也。言右壤斷弃而不能救。志在攻聊城而定濟北也。

計猶且爲之也。且夫齊之必決於聊城。公勿_二再計_一。今楚魏交退

於齊。而燕救不至

索隱曰。交者。俱也。前時楚攻南陽。魏攻平陸。今二國之兵俱退。而燕救又不至。是勢危也。

以_二全齊之兵_一

無_二天下之規。與聊城共據_二期年之敝_一。則臣見_二公之不能得也_一。且

燕國大亂。君臣失_レ計。上下迷惑。栗腹以_二十萬之衆_一。五折於外。

指燕他將之失。

徐廣

曰。此事去長平十年。

以_二萬乘之國_一。被圍於趙。壤削主困。爲_二天下僂笑_一。國敝而

○左思詠史詩注、江淹上建平王書注、引「竝」辭讓ニ作ル。所謂貴於天下之士者、札記謂字ナシ、云フ各本所下謂字ナシ、舊刻無シト、通鑑亦謂字ナシ。解紛亂ハ、札記云、類聚人部、御覽人事部、文選詠史詩注、北文移文注、後漢書桓榮傳注、荀彧傳注、引「皆亂字ナシ」。齊田單攻聊城餘注徐案曰案年表云云、錢大昕曰六國表ナ接ズル事ナシ、惟燕武成王七年、田單中陽ヲ拔クヲ書ス、乃長平ノ前五年在リ、又聊城ニ非ズ、或ハ徐廣ノ誤ヲ疑フ、今細ニ徐氏文義ヲ釋スルニ、特ニ仲連遺書梁腹ノ事アルヲ以テ、時代ヲ推檢スルニ、當ニ長平ノ後十餘年ニ在ルベシ、以テ史公二十餘年表田單ノ事アリト謂フニ非ルナリ、仲連遺書ノ燕將ハ、必樂毅ト同時ニ非ズ、蓋其事燕

難。解紛亂。而無取也。卽有取者。是商賈之事也。而連不忍爲也。

遂辭平原君而去。終身不復見。其後二十餘年。燕將攻下聊城。

索隱曰。徐廣云。年表以田單攻聊城。在長平後十餘年耳。二十餘年誤也。○正義曰。今博州縣也。聊城人或讒之燕。燕將懼誅。

因保守聊城。不敢歸。齊田單攻聊城歲餘。徐廣曰。案年表。田單攻聊城。在長平後十餘年也。士

卒多死。而聊城不下。魯連乃爲書。約之矢。以射城中。遺燕將書。

曰。吾聞之。智者不倍時。而弄利。勇士不怯死。而滅名。索隱曰。怯死。猶避死也。

忠臣不先身。而後君。今公行一朝之忿。不顧燕王之無臣。非忠

也。殺身亡聊城。而威不信於齊。非勇也。功敗名滅。後世無稱焉。

非智也。三者世主不臣。說士不載。故智者不再計。勇士不怯死。

今死生榮辱。貴賤尊卑。此時不再至。願公詳計。而無與俗同。且

將使其子女讒妾ノ讒ハ
候ナリ。

魯連辭讓使者三ハ、札
記云、使字衍ナリ、趙
策無シ、類聚人部、御
覽封建部、人事部、並
ニ辭讓者三ニ作ル、文

國也。俱據萬乘之國。各有稱王之名。睹其一戰而勝。欲從而帝之。是使三晉之大臣暗指衍不如鄒魯之僕妾也。且秦無已而帝則且變易諸侯之大臣。彼將奪其所不肖而與其所賢。奪其所憎而與其所愛。彼又將使其子女讒妾爲諸侯妃姬。處梁之宮。梁王安得晏然而已乎。而將軍又何以得故寵乎。於是新垣衍起。再拜謝曰。始以先生爲庸人。吾乃今日知先生爲天下之士也。吾請出。不敢復言。帝秦。秦將聞之。爲卻軍五十里。適會魏公子無忌。奪晉鄙軍以救趙。擊秦軍。秦軍遂引而去。於是平原君欲封魯連。魯連辭讓。使者三終不肯受。平原君乃置酒。酒酣。起前以千金爲魯連壽。魯連笑曰。所謂貴於天下之士者。爲人排患釋

當ニ趙策ニ依テ補フベシ。

經枉枹机ハ、札記枹ヲ抱ニ作ル、云フ官本舊刻毛本凌一本ヲ引テ抱ニ作ル、他本竝ニ枹ニ誤ス。

吾君^ヲ彼吾君者。天子也。天子巡狩^{スル}諸侯辟舍^ケ。索隱曰。辟舍。避正寢。按禮天子適諸侯。必舍於祖廟。

納^レ筦^ヲ籥^ヲ。索隱曰。机音紀。○正義曰。枉音而甚反。視膳^ヲ於堂下。天子已食^ス。

乃退而聽朝也。魯人投其籥^ヲ不^レ果納^ル。索隱曰。謂閉外門不入齊君。○正義曰。籥。即鑰匙也。投鑰匙於地。不

得^レ入^ル於魯。將^レ之薛^ニ。正義曰。薛侯故城。在徐州滕縣界也。假途^ヲ於鄒。當是時鄒君死。湣王

欲^ニ入^テ弔^{セント}夷維子。謂鄒之孤曰。天子弔^{スル}主人必將倍殯棺^ニ。設北面

於南方。然後天子南面弔^{セシメ}也。索隱曰。倍音佩。謂主人不在殯東。將偕其殯棺立西階上北面哭。是倍也。天子乃於阼階上南面而

弔^之也。鄒之羣臣曰。必若^キ此。吾將伏劍而死^{セント}。固不敢入^レ於鄒。鄒魯

之臣生則不得事養^{スルヲ}死則不得賻^{スルヲ}。正義曰。衣服曰襚。貨財曰賻。皆助生送死之禮。然且欲^{スル}

行^{ハント}天子之禮於鄒魯。鄒魯之臣不果納^{ルヲ}。索隱曰。謂時君弱臣彊。故鄒魯君生時臣竝不得盡事養死亦不得

行賻^{スルヲ}之禮。然齊欲行^{スルヲ}天子禮於鄒魯。鄒魯之臣皆不果納^レ之。是猶秉禮而存大體也。

今秦萬乘之國也。梁亦萬乘之

尤當ニ忍ビザルベシ、
而テ秦尤當ニ之ヲ趙ニ
求ムベカラザルヲ謂フ
ナリ。

九侯鄒侯注正義溢陽
ハ、札記溢陽ニ作ル、
云フ官本溢 各本溢ニ
誤ス。

葵里之車ノ葵、札記屬
ニ作ル、云フ葵本舊刻
毛本屬、他本葵ニ作ル、
通鑑亦屬ニ作ル。

齊湣王將之魯云云ハ、
錢大昕曰、世家ニ據レ
バ、則魯ニ之キ、鄭ニ
之ク、兩事俱ニ國ヲ失
フノ後ニ在リ。

子安取禮而來君、札記
云、來下待字ヲ脫ス、

比^{スル}於^{激之}秦若僕邪。新垣衍曰。然。魯仲連曰。吾將^ニ使^ニ秦王烹醢^ニ梁王。

新垣衍快然不悅。曰。正義曰。快。噫嘻。索隱曰。上音依。噫者。不平之
於尙反。聲下音希。噎者。驚恨之歎也。亦太甚。

矣。先生之言也。先生又惡^ニ能使^ニ秦王烹醢^ニ梁王。魯仲連曰。固也。

吾將^ニ言^ニ之。昔者九侯。鄂侯。徐廣曰。鄴縣有九侯城。九一作鬼。鄂一作邪。○文王。

紂之三公也。九侯有^ニ子而好^ニ獻^ニ之於紂。紂以爲惡^ニ醢^ニ九侯。鄂侯

爭^ニ之。彊^ニ辯^ニ之疾。故脯^ニ鄂侯。文王聞^ニ之。喟然^ニ而歎^ニ。故拘^ニ之。葵里之

庫^ニ百日。正義曰。相州蕩陰。縣北九里有葵城。欲^ニ令^ニ之死^ニ。曷^ニ爲^ニ與人俱稱^ニ王。卒就^ニ脯醢^ニ之

地。齊湣王將^ニ之魯。夷維子爲^ニ執策^ニ而從^ニ。索隱曰。維。東萊之邑。其居夷也號^ニ

也。○正義曰。密州高密縣。古夷安城。應劭云。故萊夷。夷維子。故晏子爲^ニ萊之夷維人。是

維邑也。蓋因^ニ邑爲^ニ姓。子者。男子之美號。又云。子。爵也。謂^ニ魯人曰。子將^ニ何^ニ以待^ニ吾

君。魯人曰。吾將^ニ以^ニ十太牢^ニ待^ニ子之君。夷維子曰。子安取^ニ禮^ニ而來^ニ

周烈王崩注徐廣曰烈王七年崩威王之十年、札記烈王十年崩、威王之七年ニ作ル、云フ此十七ト五ニ誤ル、故ニ正義紀表ヲ引テ、以テ之ヲ糾ス、各本紀表ニ依テ改ムレバ、則正義賢ナリ、今舊刻毛本ニ依ル。

東藩之臣因齊ハ、札記云、志疑云、齊字衍ナリ。

齊威王勃然怒曰云云、陸深曰、連ノ意謂フ、威王ノ周ヲ叱スルニ敢テスル者、亦其求ニ忍ビザルヲ以テノ故ノミ、然ルニ周天子ヲ以テ諸侯ニ求ム、亦事ノ常、蓋趙ノ秦ニ於ル、敵ノミ、

生惡能使^レ梁助^レ之。魯連曰。梁未^レ睹^二秦稱^一帝之害^一故耳。使^二梁睹^一秦

稱^二帝之害^一。則必助^レ趙矣。新垣衍曰。秦稱^二帝之害^一何如。魯連曰。昔

者齊威王嘗爲^二仁義^一矣。率^二天下^一諸侯而朝^二周^一。周貧且微。諸侯莫

朝。而齊獨朝^レ之。居歲餘。周烈王崩。徐廣曰。烈王七年崩。威王之十年。○正義曰。周本紀及年表云。烈王七年崩。齊威之

十年也。與齊後往。周怒赴^レ於齊曰。正義曰。鄭玄云。赴告也。今文赴作計。天崩地坼。天子下

席。索隱曰。謂烈王太子安王驕也。下席言其寢苦居廬也。東藩之臣因齊後至。則斡。公羊傳曰。斡三軍者其法斡何休曰。斡斬

也。齊威王勃然怒曰。叱嗟而母婢也。正義曰。罵烈王后也。卒爲^二天下^一笑。故生

則朝^二周^一。死則叱^レ之。誠不忍^レ其求也。彼天子固然。其無足怪。新垣

衍曰。先生獨不見^二夫僕^一乎。十人而從^二一人^一者。寧力不勝。而智不

若邪。畏之也。索隱曰。言僕夫十人而從一人者。寧是力不勝。亦非智不如。正是畏懼其主耳。魯仲連曰。嗚呼梁之

衆人不知則爲一身ハ、
鮑彪曰、知ラザル者、
其木ヲ抱テ死スルヲ以
テ、自ラ養フ無シト爲
ス、其世ヲ非スルヲ知
ラザルナリ。

過而爲政於天下ハ、札
記云、雜記云高誘注呂
氏春秋知士篇曰、過ハ
猶甚ノ如キナリ。

容而取死。此言非也。○正義曰。韓詩外傳云。姓鮑。名焦。周時隱者也。飾行非世。廉潔而守。荷擔探樵。拾橡充食。故無子胤。不臣天子。不友諸侯。子貢遇之。謂之曰。吾聞非其政者。不履其地。汙其君者。不受其利。今子履其地。食其利。其可乎。鮑焦曰。吾聞廉士重進而輕退。賢人易愧而輕死。遂抱木立枯焉。按魯仲連甯趙不去者。非爲一身。衆人不知。則爲_{トス}一身。索隱曰。言衆人不識鮑焦之意。焦以恥居濁世而避之。非是自爲一身而憂死。彼秦者。弃_テ禮義而上_ニ首功。

之國也。

譙周曰。秦用衛鞅計。制爵二十等。以戰獲首級者。計而受爵。是以秦人每戰勝。老弱婦人皆死。計功賞至萬數。天下謂之上首功之國。皆以惡之也。○索隱曰。秦法。

斬首多爲上功。謂斬一人首。賜爵一級。故謂秦爲首功之國也。權使其士。虜使其民。

索隱曰。言秦人以權詐使其戰士。以奴虜使其人民。言無

恩以恤下。彼卽肆然而爲帝。過而爲政於天下。

正義曰。至過字。爲絕句。肆然。其志意也。言秦得肆志爲帝。恐有

烹醢納筊。徧行天子之禮。過失也。若趙魏帝秦。得行政教於天下。魯連蹈東海而溺死。不忍爲秦百姓。○索隱曰。謂以過惡而爲政也。

則連有蹈東海

而死耳。吾不忍爲之民也。所爲見將軍者。欲以助趙也。新垣衍

曰。先生助之。將奈何。魯連曰。吾將使梁及燕助之。齊楚則固助

之矣。新垣衍曰。燕則吾請以從矣。若乃梁者。則吾乃梁人也。先

魯連見新垣衍、札記云、
游本魯ノ下仲字アリ。

天下之賢公子也。吾乃今然後知君非天下之賢公子也。梁客
新垣衍安在。吾請爲君責而歸之。平原君曰。勝請爲紹介。而見
之於先生。郭璞曰。紹介。相佑助者。○索隱曰。紹介。猶媒介也。且禮賓至
必因介以傳辭。紹者。繼也。介。不二人。故禮云。介紹而傳命。平原君遂

見新垣衍曰。東國有魯仲連先生者。今其人在此。勝請爲紹介。
交之於將軍。新垣衍曰。吾聞魯仲連先生。齊國之高士也。衍人
臣也。使事有職。吾不願見魯仲連先生。平原君曰。勝既已泄之
矣。新垣衍許諾。魯連見新垣衍而無言。新垣衍曰。吾視居此圍
城之中者。皆有求於平原君者也。今吾觀先生之玉貌。非有求
於平原君者也。曷爲久居此圍城之中而不去。魯仲連曰。世以
鮑焦爲無從頌而死者。皆非也。

鮑焦。周之介士也。見莊子。○索隱曰。從頌音
從容。言世人見鮑焦之死。皆以爲不能自寬。

趙王恐。諸侯之救兵莫敢擊秦軍。魏安釐王使將軍晉鄙救趙。

畏秦止於蕩陰。不進。

地理志。河內有蕩陰縣。正義曰。蕩天郎反。相州縣。

魏王使客將軍新垣衍

閒入邯鄲。

索隱曰。新垣。姓。衍。名也。爲梁將。故漢有新垣平。

因平原君謂趙王曰。秦所爲急圍

趙者。前與齊湣王爭彊。爲帝已而復歸帝。今齊湣王已益弱。方

今唯秦雄天下。此非必貪邯鄲。其意欲復求爲帝。趙誠發使尊

秦昭王爲帝。秦必喜罷兵去。平原君猶豫。未有所決。此時魯仲

連適游趙。會秦圍趙。聞魏將欲令趙尊秦爲帝。乃見平原君曰。

事將奈何。平原君曰。勝也何敢言事。前亡四十萬之衆於外。今

又內圍邯鄲而不能去。魏王使客將軍新垣衍令趙帝秦。

索隱曰。新

垣衍欲令趙

尊秦爲帝。

今其人在是。勝也何敢言事。魯仲連曰。吾始以君爲

今齊湣王已益弱ハ、錢
大防曰、此時齊湣王ノ
死ヲ距ル已ニ二十餘年
ナリ、又ニ今齊湣王ト
云フ、其人尙存スルニ
似タリト、札記云、鮑
注國策云、湣王二字ヲ
衍ス。
尊秦昭王爲帝ハ、鮑彪
曰、諡ヲ稱ス、當時ノ
語ニ非ズ、此必追書ノ
辭ナリ。

史記評林卷之八十三

魯仲連鄒陽列傳第二十三

索隱曰。魯連屈原。當六國之時。賈誼鄒陽。在文景之日。事迹雖復相類。年代甚爲乖絕。其鄒陽不可上同魯連。賈生亦不可下同屈平。宜抽魯連同田單爲傳。其屈原與宋玉等爲一傳。其鄒陽與枚乘賈生等同傳。

魯仲連者。齊人也。好奇偉倜儻之畫策。

索隱曰。廣雅云。倜儻。卓異也。○正義曰。倜。天曆反。魯連子云。齊辯士

田巴。服狙丘。議稷下。毀五帝。罪三王。服五伯。離堅白。合同異。一日服千人。有徐劫者。其弟子曰魯仲連。年十二。號千里駒。往請田巴曰。臣聞堂上不奮。郊草不芸。白刃交前。不救流矢。急不暇緩也。今楚軍南陽。趙伐高唐。燕人十萬。聊城不去。國亡在旦夕。先生奈之何。若不能者。先生之言。有似梟鳴。出城而人惡之。願先生勿復言。田巴曰。謹聞命矣。巴謂徐劫曰。先生乃飛兔也。豈直千里駒。巴終身不談。

而不肯仕官任職。好持高節。游於趙。趙孝成王時。而

秦王使白起破趙長平之軍。前後四十餘萬。秦兵遂東圍邯鄲。

魯仲連鄒陽列傳注索隱云云ハ、陳沂曰、傳チ同ウスル者、或ハ其國同ジク、或ハ其事同ジク、或ハ其趣同ジク、而テ時以テ之チ開ツルニ足ラズ、刺客等傳ノ類ノ若キナリ、索隱誤ル、鄒陽ハ、漢景帝ノ時ノ人ナリ。

不肯仕官任職ノ官、札紀宦ニ作ル、云フ蔡本中統舊刻游本宦ニ作ル、他本並ニ宦ニ誤ス。

史記評林卷之八十二終

二城以抗百倍之師。相持五年。而無可乘之隙。遷延稽故。以須天命之復。可不謂智過人哉。邵經邦曰。穀之尅。破七十餘城。而兩城不能拔。其故何歟。曰。燕齊之禍久矣。其始也。罪止一子之耳。固無與于其宗廟社稷也。其終也。罪止一滑王耳。亦無與於其宗廟社稷也。使誅一子之。求其所以代子之者。固不爲齊有也。戮一滑王。求其所以代滑王者。亦不爲燕有也。奈之何二國之不然也。其伐之也。不以置君爲重。而以全燕爲利。故其報之也。亦不以好還爲念。而以必得爲功。使如孟子之言。則且無樂穀之事。而何莒卽墨之云哉。

澁邑。蠅所居卽此邑。因澁水爲名也。令軍中曰。環畫邑三十里無入。以王蠅之故。已而

使人謂蠅曰。齊人多。高子之義。吾以子爲將。封子萬家。蠅固謝。

燕人曰。子不聽。吾引三軍而屠畫邑。王蠅曰。忠臣不事二君。貞

女不更二夫。齊王不聽。吾諫。故退而耕於野。國旣破亡。吾不能

存。今又劫之以兵。爲君將。是助桀爲暴也。與其生而無義。固不

如烹。遂經其頸於樹枝。自奮絕脰而死。索隱曰。經。猶繫也。何休云。脰。頸。齊語也。音豆。齊亡大

夫聞之曰。王蠅布衣也。義不北面於燕。況在位食祿者乎。乃相

聚如莒。求諸子立爲襄王。了前案

索隱述贊曰。軍法以正。實尙奇兵。斷軸自免。反閒先行。羣鳥惑衆。五牛揚旌。卒破騎劫。皆復齊城。襄王嗣位。乃封安平。

蘇子古史曰。樂毅以全燕之兵。兼強齊之衆。棲田單于即墨。諸侯之救不至。使天祚燕。昭王不死。樂毅不亡。田單雖智。要之歲月。兵殘食盡。齊之亡可立而待也。然單兵不滿萬人。堅守

遂經其頸於樹枝云云、
胡三省曰、經ハ絞ナリ、
絞ナリ、頸ハ頭莖ナリ、
自奮ハ、自ラ奮起シテ
還リ露ツナリ、脰ハ頸
ナリ。

號曰安平君、札記云、
 單ノ傳未ダ完カラザル
 ニ似タリ、今改フベカ
 ラズ、錢大昕曰、史其
 後事ヲ叙セズ、趙世家
 ナ政フルニ、孝成王元
 年、齊安平君田單、趙
 師ヲ將キテ燕ノ中陽
 攻メテ之ヲ拔ク、二年
 田單相ト爲ル、即齊
 王建ノ元年ナリ、豈襄
 王既ニ歿シ、單遂ニ齊
 ナ去テ趙ニ入ルカ。
 遭入開戸注正義及被卒
 燒壘墓ノ被ハ、札記刪
 ニ作ル、云フ刪ヲ被ニ
 誤、考證改ム。
 初悼齒云云ハ、札記云、
 王柯浚本淳ヲ悼ニ作
 ル、蔡本中統游本、此段
 索隱沈贊ノ後ニ在リ、
 疑フ後人増ス所ナリ、
 毛本上ニ連ホ一格ヲ空
 今舊刻王柯浚本ニ依
 ル。
 開畫邑人王蠋賢ハ、通
 鑑畫ヲ畫ニ作ル、胡三
 省曰、畫邑ヲ以テ畫邑
 ト爲スハ、孟子齊ヲ去
 リ畫ニ宿スルヲ以テ據
 ト爲スナリ。

太史公曰。兵以正合。以奇勝。

魏武帝曰。先出合戰爲正。後出爲奇也。正者當敵。奇兵擊不備。○索隱曰。奇。謂權詐也。注引魏武。蓋

亦軍令也。

善之者。出奇無窮。

索隱曰。兵不厭詐。故云善。之出奇無窮。謂權變多也。

奇正還相生。

正義曰。當猶合也。言

正兵當陣。張左右翼。掩其不備。則奇正合敗敵也。

如環之無端。

索隱曰。言用兵之術。或用奇計。使前敵不可測量。如尋環中不知端際也。

夫始如

處女。適人開戸。

徐廣曰。適音敵。○索隱曰。言兵始如處女之輕弱。則敵人輕侮。開戸不爲備。○正義曰。敵人謂燕軍也。言燕軍被田單反間。易將及被卒

燒壘墓。而令齊卒甚怒。是敵人爲單開門戸也。

後如脫兔。適不及距。

魏武帝曰。如女示弱。脫兔往疾也。○索隱曰。克捷之後。卷甲而趨。有如兔

之得脫而疾走也。敵不及距者。若脫兔忽過。而敵忘其所距也。

其田單之謂邪。初悼齒

一本作淳

之殺湣王也。莒人

求湣王子法章。得之太史嬖之家。爲人灌園。嬖女憐而善

遇之。後法章私以情告女。女遂與通。及莒人共立法章爲齊王。

以莒距燕。而太史氏女遂爲后。所謂君王后也。燕之初入齊。聞

畫邑人王蠋賢。

劉熙曰。齊西南近邑。畫音獲。○索隱曰。畫音胡卦反。蠋音觸。亦音歌。○正義曰。括地志云。戟里城。在臨淄西北三十里。春秋時棘邑。又云

齊人追亡逐北ハ、胡三省曰、亡ハ逃亡ナリ、北ハ奔北ナリ、逃亡者ハ之ヲ追ヒ、奔北者ハ之ヲ逐フ、毛晃曰、人道南ニ面シ、北ニ背ス、北ハ背ナリ、故ニ古昔堂北ヲ以テ背ト爲ス、背也亦背ナリ、敗走ヲ以テ北ト爲ス者、之ニ背イテ而テ走ルニ取ルノミ。

燕將曰。卽墨卽降。願無虜掠吾族家妻妾。令安堵。燕將大喜。許

之。燕軍由此益懈。田單乃收城中得千餘牛。爲絳綵衣。畫以五

懈然後擊之

彩龍文。束兵刃於其角。而灌脂束葦於尾。燒其端。鑿城數十穴。

夜縱牛。壯士五千人隨其後。牛尾熱。怒而奔。燕軍大驚。

亂而取之

牛尾炬火光明炫燿。燕軍視之皆龍文。所觸盡死傷。五千人因

銜枚擊之。而城中鼓譟從之。老弱皆擊銅器爲聲。聲動天地。燕

軍大駭。敗走。齊人遂夷殺其將騎劫。燕軍擾亂奔走。齊人追亡

逐北。所過城邑皆畔燕而歸田單。兵日益多。乘勝。燕日敗亡。卒

至河上。索隱曰。齊之北界近河東。蓋齊舊地也。而齊七十餘城皆復爲齊。乃迎襄王於

莒。入臨菑而聽政。襄王封田單。號曰安平君。索隱曰。單初起安平。故以爲號。

食ムナリ、燕人ナシテ
金ヲシムル爲ナリ。

每出約束必稱神師ハ、
胡三省曰、田單衷心ノ
未ダ一ナラザルヲ恐
ル、故ニ神ヲ假リテ以
テ其策ニ令スルナリ。

其欲出戰ハ、札記其テ
俱ニ作ル、云フ舊刻俱、
各本其ニ譌スト、通鑑
共ニ作ル。
乃身操版插ノ插ハ、鉤
ニ同ジ、すきナリ。
使老弱女子乘城ハ、乘
ハ登ナリ、城ニ登リテ
守ルナリ。

人爲我師。有一卒曰。臣可以爲師乎。因反走。田單乃起。引還東
鄉坐。師事之。卒曰。臣欺君。誠無能也。田單曰。子勿言也。因師之。
每出約束。必稱神師。乃宣言曰。吾唯懼燕軍之剿。所得齊卒。置
之前行。正義曰。故郎反。與我戰。卽墨敗矣。燕人聞之。如其言。城中人見齊
諸降者盡。剿皆怒。堅守。唯恐見得。單又縱反間曰。吾懼燕人掘
吾城外冢墓。膠先人可爲寒心。燕軍盡掘壟墓。燒死人。卽墨人
從城上望見。皆涕泣。其欲出戰。怒自十倍。田單知士卒之可用。
乃身操版插。索隱曰。操音七高反。插音初洽反。與士卒分功。妻妾編於行
伍之間。盡散飲食饗士。令甲卒皆伏。使老弱女子乘城。遣使約
降於燕。燕軍皆呼萬歲。田單又收民金得千溢。一本作鎰。令卽墨富豪遺

ハ古之岐ト訓ス、朝ノ
濫ル所ナリ。

下。燕軍聞齊王在莒。并兵攻之。淖齒既殺湣王於莒。徐廣曰。多作淖齒也。因

堅守距燕軍。數年不下。燕引兵東圍即墨。即墨大夫出與戰。敗

死。城中相與推田單曰。安平之戰。田單宗人。以鐵籠得全。習兵。

立以爲將軍。以即墨距燕頃之。燕昭王卒。惠王立。與樂毅有隙。

田單聞之。乃縱反間於燕。宣言曰。齊王已死。城之不拔者二耳。

樂毅畏誅而不敢歸。以伐齊爲名。實欲連兵南面而王齊。齊人

未附。故且緩攻。即墨以待其事。齊人所懼。唯恐他將之來。即墨

殘矣。燕王以爲然。使騎劫代樂毅。樂毅因歸趙。燕人士卒忿而

田單乃令城中人食必祭其先祖於庭。飛鳥悉翔舞城中下食。

燕人怪之。田單因宣言曰。神來下教我。乃令城中人曰。當有神

乃令城中人食必祭其先
祖於庭云云ハ、食スル
毎ニ、飯チ庭ニ散シ以
テ先祖ヲ祭ルト云フ、
故ニ鳥鳥餌ヲ得テ下リ

史記評林卷之八十二

田單列傳第二十二

單爲臨菑市掾、掾ハ市ノ官屬ナリ。

田單者齊諸田疏屬也。

索隱曰。單音丹。

湣王時單爲臨菑市掾不見知。及

燕使樂毅伐破齊。齊湣王出奔。已而保莒城。燕師長驅平齊。而

田單走安平。

徐廣曰。今之東安平也。在青州臨菑縣東十九里。古紀之鄆邑。齊改爲安平。秦滅齊。改爲東安平。縣屬齊郡。以定州有安平。故加東字。○索隱曰。地

理志云。東安平屬淄川國。

令其宗人盡斷其車軸末而傅鐵籠。

伏後案。徐廣曰。傳音附。○索隱曰。斷音都緩反。斷其軸。

恐長相撥也。以鐵裹軸頭。堅而易進也。傳者截其軸與轂齊。以鐵鑲附軸末。施轄於鐵中以制轂也。方言曰。車轄。齊謂之籠。郭璞云。車軸也。

已而燕軍攻安平。

城壞。齊人走爭塗。以轉折車敗。

徐廣曰。轄。車軸頭也。音衛。

爲燕所虜。唯田單

宗人以鐵籠故得脫。東保卽墨。燕既盡降齊城。唯獨莒卽墨不

令其宗人盡斷其車軸末而傅鐵籠。軸ハ與古質突ト訓ズ。俗ニ云フ眞粹ナリ。輪ノ先キニ長ク出ヅ。故ニ遁走ノ際、混雜シテ他車ト相擊ツナ避ケ。其末ヲ剪斷セシナリ。而テ鐵籠ヲ以テ、其先ヲ塞ミテ、堅固ナラシムルナリ。注釋ハ音葉。鐵板ナリ。鞮ハ久佐比ト訓ズ。鞮

死於國。以明大王之失信。秦王未必不_レ予_レ璧也。今奈何使舍人懷而逃_レ之。而歸直於秦。是時秦意未_レ欲_レ與_レ趙絕_レ耳。令秦王怒而_レ僂_レ相如於市。武安君十萬衆壓_レ邯鄲。而責_レ璧與_レ信。一勝而相如族。再勝而璧終入秦矣。吾故曰。藺相如之獲_レ全於璧也。天也。

史記評林卷之八十一終

索隱述贊曰。清臙凜凜。壯氣熊熊。各竭誠義。遞爲雌雄。和璧聘返。澠池好通。負荊知懼。屈節推工。安邊定策。頗牧之功。

蘇子古史曰。藺相如非戰國之士也。以死行義。不屈於彊秦。以禮爲國。不校於廉頗。其處剛柔進退之際。類學道者。使居平世。可以爲大臣矣。非戰國之士也。廉頗李牧皆以將亡之趙。抗方興之秦。其爲力艱矣。卒以其用舍。爲趙之存亡。趙能用之。而不能終之。悲夫。

黃震曰。藺相如庭辱彊秦之君。而引車避廉頗。廉頗以勇氣聞諸侯。而肉袒謝相如。先公後私。分弃前憾。皆烈丈夫也。勇怯各得其所矣。然先之者相如也。趙奢治賦。不少貸平原君之家。而平原君因薦之王。而用之。君子不多奢之刑法自近。而多平原君之以公滅私也。括輕易取敗。無足道。括母言父子異心之狀。可謂得觀人之法。李牧養威持重。戰無不勝。與頗齊名。而頗牧皆廢於讒人郭開之口。趙之亡忽焉。悲夫。又曰。太史公作廉頗藺相如傳。而附之趙奢李牧。趙之興亡著焉。一時烈丈夫英風偉槩。令人千載興起。而史筆之妙。開合變化。又足以曲盡形容。奇哉。

王世貞曰。藺相如之完璧。人人皆稱之。余未敢以爲信也。夫秦以十五城之空名而詐趙。而脅其璧。是時言取璧者情也。非欲以窺趙也。趙得其情。則弗予。不得其情。則予。得其情而畏之。則予。得其情而弗畏之。則弗予。此兩言決耳。奈之何。旣畏而復挑其怒也。且夫秦欲璧。趙弗予璧。兩無所曲直也。入璧而秦弗與城。曲在秦。秦城出而璧歸。曲在趙。欲使曲在秦。則莫如棄璧。畏棄璧。則莫如弗予。夫秦王旣按圖以予城。又設九賓齋而受璧。其勢不得不予城。璧入而城弗予。相如則前請曰。臣固知大王之弗予城也。夫璧非趙寶也。而十五城秦寶也。今使大王以璧故。而亡其十五城。十五城之子弟。皆厚怨大王。以棄我如草芥也。大王弗予城。而詒趙璧。以一璧故而失信於天下。臣請辭就

在リ、秦兵未ダ其地ニ至ルヲ得ズ、恐ラクハ上ニ武遂方城ノ文アルニ因リ、誤テ遂字ヲ行スルノミ。

李牧司馬尙欲反ハ、方苞曰、國策ヲ按ズルニ、牧臂短キヲ以テ、木ヲ用テ之ヲ接ス、郭開誣ルニ刃ヲ懷クヲ以テシ、而テ死ヲ賜フ、文甚明カナリ、其反ト曰ヒ、捕斬ト曰フ者、趙史ノ誣詞ナリ、六國惟趙史尙存ス、故ニ遷敢テ異聞ヲ錄セズ、而テ後論ニ於テ之ヲ發ス、然ルニ欲反ト曰ヘバ、則實跡ナキ知ルベシ、使人微捕ト曰ヘバ、名ヲ正シ之ヲ誅スルニ非ル知ルベシ、此又遷ノ微指ナリ。

爲武安君。居三年。秦攻番吾。

索隱曰。縣名。地理志。在常山。音婆。又音盤。正義曰。在桓州房山縣東二十里也。

李牧

擊破秦軍。南距韓魏。趙王遷七年。秦使王翦攻趙。趙使李牧司

率連

馬尙禦之。秦多與趙王寵臣郭開金。爲反間言。李牧司馬尙欲

與舊傳文異

反。趙王乃使趙蔥及齊將顏聚代李牧。李牧不受命。趙使人微

捕得李牧。斬之。廢司馬尙。後三月。王翦因急擊趙。大破殺趙蔥。

虜趙王。遷及其將顏聚。遂滅趙。

太史公曰。知死必勇。非死者難也。處死者難。方藺相如引璧睨

柱。及叱秦王左右。勢不過誅。然士或怯懦。而不_レ敢發。相

如一奪其氣。威信敵國。退而讓頗。名重太山。其處智勇。

可謂兼之矣。

索隱曰。信音申。

索隱曰。一作掘懦。

而テ之ヲ用ヒ、以テ戰
ハザルナリ。
乃具選軍云云ハ、胡三
省曰、車騎皆其堅良ナ
ル者ヲ選ス。

以數千人委之、胡三省
曰委ハ奔ナリ、之ヲ敵
ニ委スルナリ。

趙悼襄王元年云云ハ、
方苞曰、頗奔リ、牧將
タル、事已ニ前見ス、
而テ之ヲ覆舉シ、以テ
前後ノ關鍵ト爲シ、兼
テ頗既ニ亡ゲテ、牧又
自ヲ安ンズル能ハズ、
趙ノ速ニ亡ビテ救フナ
キ所以ヲ著スナリ。
秦破趙將屠軻於武遂
城ハ、札記秦破殺趙將
云云ニ作ル、云フ各本
殺趙二字倒ス、索隱本
誤ラズト、錢大昕曰趙
世家、武遂ヲ武城ニ作
ル、武遂ハ燕趙ノ交ニ

三百乘。選騎得萬三千匹。百金之士五萬人。
管子曰。能破敵
擒將者。賞百金。 穀者

十萬人。
索隱曰。穀音古侯
反。穀謂能射也。 悉勒習戰。大縱畜牧。人民滿野。匈奴小

入。佯北不勝。以數千人委之。
索隱曰。委。謂奔
之。悉其殺略也。 單于聞之。大率衆來

入。李牧多爲奇陳。張左右翼擊之。大破殺匈奴十餘萬騎。滅澹

檻。
澹都甘反。澹路談反。徐廣曰。一作
臨。騶又案如淳曰。胡名也。在代地。 破東胡。降林胡。單于奔走。其後十餘

歲。匈奴不敢近趙邊城。趙悼襄王元年。
挿入廉頗 廉頗既亡入魏。趙使李

牧攻燕。拔武遂方城。居二年。龐煖破燕軍。殺劇辛。
索隱曰。煖卽馮煖
也。龐音皮江反。煖

音況。遠反。又音喧。劇
辛本趙人。仕燕者。
後七年。秦破趙。殺將屠軻於武遂城。
索隱曰。屠氏。軻
一名。漢張耳時。別

有屠軻也。劉氏云。武遂。本韓地。在
趙西。恐非。地理志。河間武遂也。
斬首十萬。趙乃以李牧爲大將軍。擊秦

軍於宜安。
正義曰。在栢州。秦
城縣西南二十里。 大破秦軍。走秦將栢齮。
索隱曰。栢音蟻。 封李牧

チ趙邊ニ顯ハス久シ、相
此ニ至テ始テ書ス、相
如病篤ク、趙奢死シ、
廉頗奔リ、特ム所惟牧
ナルヲ以テナリ、趙奢
秦ヲ破ルチ書スル後、
即奢ノ始末ヲ具ス、李
牧燕ヲ攻ムルチ書スル
ヲ詳ニスル者、牧誅セ
ラレテ趙滅ス、更ニ頗
ノ事ヲ趙滅ス、故ニ頗
則文氣懈惰ス、故ニ頗
ノ事既ニ終リテ、而テ
後牧ノ始末ヲ著ハスナ
リ。
代鄆門注正義、札記故
云ノ下代字アリ、云フ
官本代字アリ、各本脱
ス。
急入收保ハ、胡三省曰、
畜産ヲ收メ、而テ自ラ
保ツナリ。

邊士日得賞賜而不用
ハ、胡三省曰、慶賞シ、

也。
以便宜置吏。市租皆輸入莫府。

如淳曰。將軍征行無常處。所在爲治。故言莫府。莫。大也。○索隱曰。如淳解莫爲大。非

也。崔浩云。古者出征爲將帥。軍還則罷。理無常處。以幕帟爲府署。故曰莫府。則莫當作幕。字之誤也。

爲士卒費。日擊數牛。饗士。習

射騎。謹烽火。多閒諜。

索隱曰。上紀寬反。下音牒。

厚遇戰士。爲約曰。匈奴卽入盜。

急入收保有敢捕虜者。斬。匈奴每入。烽火謹。輒入收保。不敢戰。

如是數歲。亦不亡失。然匈奴以李牧爲怯。雖趙邊兵。亦以爲吾

將怯。趙王讓李牧。李牧如故。趙王怒。召之。使他人代將。歲餘。匈

奴每來出戰。出戰數不利。失亡多。邊不得田畜。

正義曰。許六反。

復請李

牧。牧杜門不出。固稱疾。趙王乃復彊起。使將兵。牧曰。王必用臣。

臣如前。乃敢奉令。王許之。李牧至。如故約。匈奴數歲無所得。終

應前不亡失前失亡多

以爲怯。邊士日得賞賜而不用。皆願一戰。於是乃具選車。得千

怒攻樂乘。樂乘走。廉頗遂奔魏。之大梁。其明年。趙乃以李牧抄入爲

將。而攻燕拔武遂方城。

李牧 索隱曰。地理志。武遂屬河間國。方城。廣陽也。○正義曰。武遂。易州遂城也。方城。幽州固安縣南十里。

廉

頗居梁久之。魏不能信用。趙以數困於秦兵。趙王思復得廉頗。

廉頗亦思復用於趙。趙王使使者視廉頗。尚可用否。廉頗之仇

郭開多與使者金。令毀之。趙使者既見廉頗。廉頗爲之一飯斗

米。肉十斤。被甲上馬。以示尚可用。趙使還報王曰。廉將軍雖老

尚善飯。然與臣坐頃之。三遺矢矣。索隱曰。謂數起便也。矢一作屎。趙王以爲老。遂不

召。楚聞廉頗在魏。陰使人迎之。廉頗一爲楚將。無功。曰。我思用

趙人。廉頗卒死於壽春。

正義曰。廉頗墓在壽春縣北四里。藺相如墓在邯鄲西南六里。

李牧者。趙之北邊良將也。常居代鴈門。備匈奴。正義曰。今鴈門縣在代地。故云鴈門。

李牧者趙之北邊良將也云云。方苞曰。李牧功。

萬。明年秦兵遂圍邯鄲。歲餘。幾不得脫。賴楚魏諸侯來救。乃得解。邯鄲之圍。趙王亦以括母先言。竟不誅也。自邯鄲圍解。五年而燕用栗腹之謀。曰。趙壯者盡於長平。其孤未壯。舉兵擊趙。趙使廉頗將。擊大破燕軍於鄒。殺栗腹。遂圍燕。燕割五城請和。乃聽之。趙以尉文封廉頗。爲信平君。

索隱曰。信平。號也。○徐廣曰。尉文。邑名也。按漢書表。有尉文節侯。云在南郡。蓋

尉。官也。文。名也。謂取尉文所食之邑。復以封頗。而號爲信平君也。

爲假相國。廉頗之免長平歸也。失勢之

時。故客盡去。及復用爲將。客又復至。廉頗曰。客退矣。客曰。吁。君

何見之晚也。夫天下以市道交。君有勢。我則從君。君無勢。則去。

此固其理也。有何怨乎。居六年。趙使廉頗伐魏之繁陽。

徐廣曰。屬魏郡。○正

義曰。在相州內黃縣東北也。

拔之。趙孝成王卒。子悼襄王立。使樂乘代廉頗。廉頗

有何怨乎ハ、札記云、有讀テ又ト爲ス。

身所奉飯飲ハ、札記云、治要飲字ナシ、疑フ衍ナラン、通鑑亦ナシ、奉讀テ捧ト曰フ。予軍吏士大夫、札記云、士大夫三字疑フ衍ナリ。

王以爲何如其父ハ、通鑑何字ヲ刪ル。

母置之ハ、胡三省曰、置之ハ止ナリ、廢ナリ、置之ハ、此事ヲ廢置シ、止メテ言フ勿レト言フナリ。有如不稱云云ハ、胡三省曰、不稱ハ、任ニ勝ヘザルヲ言フ、隨坐ハ相隨テ罪ニ坐スルナリ、此ヲ觀レバ、則古者敗軍ノ將、罪併テ其家ニ及ブヲ知ル。

書言於王曰。括不可使將。王曰。何以對曰。始妾事其父。時爲將。身所奉飯飲而進食者以十數。正義曰。正義曰。奉音捧。所友者以百數。大王及宗室所賞賜者盡以予軍吏士大夫。受命之日。不問家事。今括一旦爲將。東向而朝。軍吏無敢仰視之者。王所賜金帛。歸藏於家。而日視便利田宅可買者買之。王以爲何如其父。父子異心。願王勿遣。王曰。母置之。吾已決矣。括母因曰。王終遣之。卽有不如。稱妾得無隨坐乎。王許諾。暗伏後案趙括既代廉頗。悉更約束。易置軍吏。秦將白起聞之。縱奇兵佯敗走。而絕其糧道。分斷其軍爲二。士卒離心。四十餘日。軍餓。趙括出銳卒自搏戰。秦軍射殺趙括。括軍敗。數十萬之衆遂降秦。秦悉阬之。趙前後所亡凡四十五

爲馬服君。以許歷爲國尉。趙奢於是與廉頗藺相如同位。後四年。趙惠文王卒。子孝成王立。七年。秦與趙兵相距長平。時趙奢已死。張華曰。趙奢冢在邯鄲界西山。上謂之馬服山。而藺相如病篤。趙使廉頗將攻秦。秦

數敗趙軍。趙軍固壁不戰。秦數挑戰。廉頗不肯。趙王信秦之閒。總挈

秦之閒言曰。秦之所惡。獨畏馬服君趙奢之子趙括爲將耳。趙

王因以括爲將。代廉頗。藺相如曰。王以名使括。若膠柱而鼓瑟

耳。括徒能讀其父書傳。不知合變也。趙王不聽。遂將之。趙括自

少時學兵法。言兵事。以天下莫能當。嘗與其父奢言兵事。奢不

能難。然不謂善。括母問奢其故。奢曰。兵死地也。而括易言之。使

趙不將括。卽已。若必將之。破趙軍者必括也。及括將行。其母上

若膠柱而鼓瑟耳ハ、胡三省曰、瑟ヲ鼓スル者、絃ニ緩急アリ、柱ノ運轉ニ在リ、若シ其柱ニ膠セバ、則絃得テ調スベカラズ、緩者ハ緩ニ一ニシ、急者ハ急ニ一ニシ、活法ナシ。奢不能難ノ難ハ、之ヲ辯折スルナリ、括易言ノ易ハ、輕ナリ。

專言趙括

宿後令邯鄲ハ、錢大昕曰、五字當ニ一句讀スベシ、邯鄲ハ趙王ノ都スル所、當ニ趙王ノ令ヲ待ツベキヲ言フナリ。
許歷復請諫注完而不覺曰耐ハ、前漢高帝紀注、應劭曰、輕罪完ニ至ラズ、其訾ヲ完ウス、故ニ耐ト曰フ、耐ハ煩勞ノモナリ。
先據北山上者勝、注正義至闕ノ間、疑フ去字ヲ脫ス。

與五十里而軍。軍壘成。秦人聞之。悉甲而至。軍士許歷請以軍

事諫。趙奢曰。內之。許歷曰。秦人不意趙師至。此其來氣盛。將軍

必厚集其陣。以待之。不然必敗。趙奢曰。請受令。許歷曰。請就鈇

質之誅。趙奢曰。胥後令。索隱曰。案胥須。古人通用。今者胥後令。謂胥爲須。須者待也。待後令。謂許歷之言。更不擬誅之。故更待後令也。○正義曰。胥猶須也。軍去城都三十里而不行。未有計過險狹。恐人諫令。急救武安。乃出此令。今垂戰。須得謀策。不用前令。故云須後令也。

邯鄲。許歷復請

諫。索隱曰。邯鄲二字。當爲欲戰。謂臨戰之時。許歷復諫也。王粲詩云。許歷爲完士。一言猶敗秦。是言趙奢用其計。遂破秦軍也。江遂曰。漢令稱完而不覺曰耐。是完士未免從軍也。

曰先據北山上者勝。正義曰。闕與山。在洛州武安縣西南五十里。趙奢拒秦軍於闕與。卽此山也。案括地志云。言拒秦軍在此山。疑其太近洛

州。既去邯鄲三十里而軍。又云。趨之二日一夜至。闕與五十里而軍壘成。後至者敗。趙

奢許諾。卽發萬人趨之。秦兵後至。爭山不得上。趙奢縱兵擊之。

大破秦軍。秦軍解而走。遂解闕與之圍而歸。趙惠文王賜奢號

將勇者勝、將ハ將帥ナリ故ニ下文承クルニ令趙奢將救之ノ將字ヲ以テスルナリ。

輕^{ゼレン}於^ニ天下^ニ邪。平原君以爲^シ賢。言^フ之^ヲ於^ニ王^ニ。王用^{ヒテ}之^ヲ治^{メシム}國賦。國賦太^ダ平。民富^テ而府庫實^ツ。秦伐^テ韓^ヲ。軍^レ於^ニ闕^ニ與^ニ王^ニ召^テ廉頗^ヲ而問^テ曰。可^{キヤフ}救^フ不^ヤ。對^テ曰。道遠^ク險狹^ク難^シ救^ヒ。又召^テ樂乘^ヲ而問^フ焉。樂乘對^テ如^ニ廉頗言^ノ。又召^テ問^ニ趙奢^ニ。奢對^テ曰。其道遠^ク險狹^ク。譬^{フルニ}之^ヲ猶^ニ兩鼠鬪^フ於^ニ穴中^ニ。將勇者勝^ン。王乃令^ム趙奢將^{トシテ}救^フ之^ヲ。兵去^ル邯鄲^ヲ三十里^ニ而令^ム軍中^ニ曰。有^ル以^ニ軍事^ヲ諫^{ムル}者死^{セント}。秦軍軍^ス武安^ノ西^ニ。徐廣曰。屬魏郡。在邯鄲西。秦軍鼓譟^{シテ}勒^テ兵^ヲ。武安屋瓦盡^ク振^フ。軍中候有^ニ一人^ヲ。言^フ急救^ニ武安^ヲ。趙奢立^{ロニ}斬^ル之^ヲ。堅壁^ヲ留^ル二十八日^ニ。不行^ク。復益^ス增^ス壘^ヲ。秦閒來^ル入^ル。趙奢善^シ食^ヲ而遣^ル之^ヲ。閒以報^ズ秦將^ヲ。大喜^テ。曰。夫去^ル國^ヲ三十里^ニ。正義曰。國。謂邯鄲。趙都也。而軍不行^ク。乃增^ス壘^ヲ。闕與^ハ非^ニ趙地^ニ也。趙奢既^ニ已遣^リ秦閒^ヲ。乃卷^テ甲^ヲ而趨^ク之^ヲ。二日一夜^ニ至^ル。令^ム善射者去^ル闕^ヲ。

徐廣曰。幾。邑名也。案趙世家。惠文王二十三年。頗將攻魏之幾邑。取之。而齊世家及年表。無伐齊幾。拔之事。疑幾。是邑名。而或屬齊。或屬魏耳。田單在齊。不得至於拔也。○索隱曰。世家與此列傳合。而戰國策云。秦敗閼與。反攻魏幾。是幾亦屬魏。故

陵。徐廣曰。一作房子。○索隱曰。案防陵。在楚之西。屬漢中郡。魏有房子。安陽拔之。後

四年。藺相如將而攻齊。至平邑而罷。正義曰。故城在魏州昌樂縣東北三十里。其明年。趙

奢破秦軍閼與下。

結前起後

趙奢者。趙之田部吏也。收租稅。而平原君家不肯出。趙奢以法

治之。殺平原君用事者九人。平原君怒。將殺奢。奢因說曰。君於

趙爲貴公子。今縱君家而不奉公。則法削。法削則國弱。國弱則

諸侯加兵。諸侯加兵。是無趙也。君安得有此富乎。以君之貴。奉

公如法。則上下平。上下平則國彊。國彊則趙固。而君爲貴戚。豈

平原君家不肯出趙奢云
云ハ札紀趙奢租二作
リ、云フ舊刻租、各本
誤テ趙二作ル。
殺平原君用事者九人、
胡三省曰、平原君ノ家
臣、事ヲ用ヒテ租稅ヲ
出スヲ肯ンセザル者ナ
リ。

與廉頗同列ハ、札記云、
頗當ニ君ニ爲ルベシ、
文選盧諶覽古詩注、曹
文選謝詩注、竝ニ引テ
君ニ作ル、治要同シ。

肉袒負荊ハ、胡三省曰、
荊ハ笱クツ所以ナリ、
故ニ之ヲ負ヒ、以テ罪
ヲ請フナリ。

刎頸之交ハ、胡三省曰、
襟懷相契シ、比首ヲ刎
斷スト雖モ、顧ル所ナ
キヲ言フナリ。

舍人相與諫曰。臣所以去親戚而事君者。徒慕君之高義也。今
君與廉頗同列。廉君宣惡言。而君畏匿之。恐懼殊甚。且庸人尙
羞之。況於將相乎。臣等不肖。請辭去。藺相如固止之曰。公之視
廉將軍。孰與秦王。曰。不若也。相如曰。夫以秦王之威。而相如廷
叱之。辱其羣臣。相如雖賤。獨畏廉將軍哉。顧吾念之。彊秦之所
以不敢加兵於趙者。徒以吾兩人在也。今兩虎共鬪。其勢不俱
生。吾所以爲此者。以先國家之急。而後私讎也。廉頗聞之。肉袒
負荊。索隱曰。肉袒者。袒衣而露肉也。因賓客至藺相如門。謝罪曰。鄙賤
負荊者。荊楚也。可以爲鞭也。索隱曰。崔浩云。要齊生死。
之人。不知將軍寬之至此也。卒相與驩爲刎頸之交。
而刎頸無悔也。是歲廉頗東攻齊。破其一軍。居二年。廉頗復伐齊。幾拔之。

借前案反說

文選西征賦注、引テ奏
ニ作ルト、按ニ觀ハ岳
ニ同ジ、ほととぎト訓ズ、
音不。

五歩之内云云、五歩ノ
内ハ至近ナ言フ、以頸
血濺大王ハ、己レノ血
ヲ王ニ濺グナリ、秦王
ヲ殺サントスルヲ反言
スルナリ。

位在廉頗之右ハ、通鑑
注、毛晃曰、人道ハ右
ヲ尚ブ、故ニ左右手ノ
右ハ、右ヲ以テ尊ト爲
ス。
有攻城野戰之大功ハ、
札記云、文選西征賦注、
後漢書寇恂傳注、御覽
兵部、人事部、疾、病部、
引テ拉ニ大字ナシ、治
要通鑑同シ。

與廉頗爭列ハ、毛晃曰、
列ハ行次ナリ、位序ナ
リ。

如請得_レ以_二頸血濺_一大王矣。正義曰。左右欲刃相如。相如張目叱之。

左右皆靡。於是秦王不懌。爲一擊_レ。相如顧召_二趙御史_一書曰。某

年月日。秦王爲_二趙王_一擊_レ。秦之羣臣曰。請以_二趙十五城_一爲_二秦王

壽。藺相如亦曰。請以_二秦之咸陽_一爲_二趙王_一壽。秦王竟酒。終不能加

勝於趙。趙亦盛設_レ兵。以待_レ秦。秦不敢動。既罷歸國。以_二相如功大_一。

拜爲_二上卿_一。位在廉頗之右。索隱曰。王劭按董助答禮曰。職高者名錄在上。於人爲右。職卑者名錄在下。於人爲左。是以位下遷爲左。

○正義曰。秦漢以前用_二右爲上_一。廉頗曰。我爲_二趙將_一。有_二攻城野戰之大功_一。而藺相如徒

以_二口舌_一爲_レ勞。而位居_二我上_一。且相如素賤人。吾羞。不忍爲_二之下_一。宣

言曰。我見_二相如_一。必辱_レ之。相如聞。不肯_二與會_一。相如每_二朝時_一。常稱_レ病。

不欲_二與廉頗爭列_一。已而相如出望_二見廉頗_一。相如引_レ車避_レ匿。於是

蓋謂石邑也。○正義曰。故石城。明年復攻趙殺二萬人。秦王使使者告趙

王。欲與王爲好。會於西河外澠池。索隱曰。在西河之南。故云外。案表在趙惠文王二十年。趙王畏

秦。欲毋行。合彼廉頗藺相如計曰。王不行。示趙弱且怯也。趙王遂行。

相如從。廉頗送至境。與王訣曰。王行。度道里會遇之禮畢。還不

過三十日。三十日不還。則請立太子爲王。以絕秦望。王許之。遂

與秦王會澠池。徐廣曰。二十年。秦王飲酒酣。曰。寡人竊聞趙王好音。請奏

瑟。趙王鼓瑟。秦御史前書曰。某年月日。秦王與趙王會飲。令趙

王鼓瑟。藺相如前曰。趙王竊聞秦王善爲秦聲。請奉盆瓠秦王

以相娛樂。風俗通義曰。缶者。瓦器。所以盛酒漿。秦人鼓之。以節歌也。○索隱曰。瓠音缶。○正義曰。瓠音餅。秦王怒。不許。於是

相如前進瓠。因跪請秦王。秦王不肯擊瓠。相如曰。五步之內。相

請奉盆絃秦王、札記奉
奏御實四百三十三、又
七百五十八、元龜八百
四十八、實字記五、引
並二同、各本奉二作
ハ進ナリ、雜志云、奏
ハ進ナリ、上文請奏瑟
ハフト正ニ相對ス、

相如至。謂秦王曰。秦自繆公以來二十餘君。未嘗有堅明約束者也。臣誠恐見欺於王而負趙。故令人持璧歸。閒至趙矣。且秦彊而趙弱。大王遣一介之使至趙。趙立奉璧來。今以秦之彊而先割十五都予趙。趙豈敢畱璧而得罪於大王乎。臣知欺大王之罪當誅。臣請就湯鑊。唯大王與羣臣熟計議之。秦王與羣臣相視而嘻。索隱曰。音希。嘻。乃驚而怒之辭也。左右或欲引相如去。秦王因曰。今殺相如。終不能得璧也。而絕秦趙之驩。不如因而厚遇之。使歸趙。趙

王豈以一璧之故欺秦邪。卒廷見相如。畢禮而歸之。相如既歸。趙王以爲賢大夫。使不辱於諸侯。拜相如爲上大夫。秦亦不以城予趙。趙亦終不予秦璧。其後秦伐趙。拔石城。

結案

徐廣曰。惠文王十八年。○索隱曰。劉氏云。

舍相如廣成傳舍、札記
下ノ舍字ナシ、云フ各
本傳下舍字ヲ衍ス、索
隱本ナシ、雜志云、魏
都賦廣成之傳張載注、
引テ亦ナシ。

臣觀大王無意償趙王城邑。故臣復取璧。大王必欲急臣。臣頭
今與璧俱碎於柱矣。相如持其璧睨柱。欲以擊柱。秦王恐其破
璧。乃辭謝固請。召有司案圖。指從此以往十五都予趙。相如度
秦王特以詐佯爲予趙城。實不可得。乃謂秦王曰。和氏璧天下
所共傳寶也。趙王恐不敢不獻。趙王送璧時。齋戒五日。今大王
亦宜齋戒五日。設九賓於廷。韋昭曰。九賓。則周禮九儀。○索隱曰。周禮大行人
別九賓。謂九服之賓客也。列士傳云。設九牢也。○
正義曰。劉伯莊云。九賓者。周王備之禮。天子臨軒。
九服同會。秦趙何得九賓。但亦陳設車輅文物耳。臣乃敢上璧。秦王度之。終不
可彊奪。遂許齋五日。舍相如廣成傳舍。索隱曰。廣成。是傳舍
之名。傳音張懸反。相如度
秦王雖齋。決負約不償城。乃使其從者衣褐懷其璧。從徑道亡。
歸璧于趙。秦王齋五日後。乃設九賓禮於廷。引趙使者藺相如。

者。相如曰。王必無人。臣願奉璧往。使城入趙。而璧留秦。城不入。
 臣請完璧歸趙。趙王於是遂遣相如奉璧西入秦。秦王坐章臺。
 見相如。相如奉璧秦王。秦王大喜。傳以示美人及左右。左右
 皆呼萬歲。相如視秦王無意償趙城。乃前曰。璧有瑕。請指示王。
 王授璧相如。因持璧卻立倚柱。怒髮上衝冠。謂秦王曰。大王欲
 得璧。使人發書至趙王。趙王悉召羣臣議。皆曰。秦貪負其彊。以
 空言求璧。償城恐不可得。議不欲予秦璧。臣以爲布衣之交。尚
 不相欺。況大國乎。且以一璧之故。逆彊秦之驩。不可。於是趙王
 乃齋戒五日。使臣奉璧拜送書於庭。何者。嚴大國之威。以修敬
 也。今臣至。大王見臣列觀。禮節甚倨。得璧。傳之美人。以戲弄臣。

願結友ハ、札記云友ハ
交ノ誤、文選恨賦注、
御覽治道部、引テ並ニ
交ニ作ル。

使。王問。何以知_ル之。對曰。臣嘗有罪。竊計欲亡_ニ走燕_ニ。臣舍人相如
止_テ臣曰。君何以知_ニ燕王_ニ。臣語曰。臣嘗從_ヒ大王_ニ。與_ニ燕王_ニ會_ニ境上_ニ。燕
王私握_ニ臣手_ニ。曰。願結友。以此知_ル之。故欲往_ニ。相如謂_レ臣曰。夫趙彊
而燕弱。而君幸_ニ於趙王_ニ。故燕王欲結_ニ於君_ニ。今君乃亡_ニ趙_ニ走燕_ニ。燕
畏_レ趙。其勢必不_ニ敢畱_ニ君_ニ。而束_ニ君_ニ歸趙_ニ矣。君不如_ニ肉袒_ニ伏斧質_ニ請_ニ
罪_ニ。則幸得_ニ脫_ニ矣。臣從_ニ其計_ニ。大王亦幸赦_ニ臣_ニ。臣竊以爲_ニ其人勇士_ニ。
有_ニ智謀_ニ。宜可_ニ使_ニ。於是王召_ニ見_ニ問_ニ藺相如_ニ曰。秦王以_ニ十五城_ニ請_ニ易_ニ
寡人之璧。可_ニ予_ニ不_ニ。相如曰。秦彊而趙弱。不可_ニ不_ニ許_ニ。王曰。取_ニ吾璧_ニ。
不_ニ予_ニ我城_ニ。奈何。相如曰。秦以_ニ城_ニ求_ニ璧_ニ。而趙不_ニ許_ニ。曲在_ニ趙_ニ。趙予_ニ璧_ニ。
而秦不_ニ予_ニ趙城_ニ。曲在_ニ秦_ニ。均_ニ之_ニ二策_ニ。寧許_ニ以負_ニ秦_ニ。曲_ニ王曰。誰可_ニ使_ニ。

史記評林卷之八十一

廉頗藺相如列傳第二十一

廉頗者。趙之良將也。趙惠文王十六年。廉頗爲趙將。伐齊大破。

之。取晉陽。

敘頗索隱曰。陽晉。衛地。後屬齊。今趙取之。司馬彪郡國志曰。今衛國陽晉城是也。有本作晉陽。非也。晉陽在太原。雖亦趙地。非齊所取也。○正義曰。按晉陽故

城。在今曹州乘氏縣西北四十七里也。

拜爲上卿。以勇氣聞於諸侯。藺相如者。趙人也。

爲趙宦者令繆賢舍人。趙惠文王時。得楚和氏璧。秦昭王聞之。

使人遺趙王書。願以十五城請易璧。趙王與大將軍廉頗諸大

臣謀。欲予秦。秦城恐不可得。徒見欺。欲勿予。卽患秦兵之來。計

未定。求人可使報秦者。未得。宦者令繆賢曰。臣舍人藺如相可

趙惠文王十六年云云取晉陽。札記陽晉二作ル。云フ索隱本陽晉二作ル。各本誤倒スト。錢大昕曰。六國表チ按ズルニ。惠文十五年。齊ノ昔陽ヲ取ル。卽樂毅齊ヲ破ルノ歲ナリ。此傳ト世家ト皆十六年ニ作ル。疑フ誤ナリ。表ト世家ト皆昔陽ニ作ル。而テ此ニ晉陽ニ作リ。索隱又陽晉ニ作ル。趙宦者令繆賢ノ繆。音眉救反。

爲後相如可使眼目

敘相如

插入頗

專敘相如

史記評林卷之八十終

蘇子古史曰。齊湣王無德而有功。諸侯之所共疾。樂毅爲燕合諸侯。破齊殺湣王。舉全齊之富。而歸之燕。徇齊五年。下七十餘城。唯莒卽墨未服。兵久於外。而燕人無怨心。諸侯無異議。其所以鎮撫內外。必有道矣。至與莒卽墨相持。田單拒之。五年而不決。此非戰之罪。勇智相敵。勢固然耳。夏侯玄不達兵勢。以謂毅不下二城。將以成王者之業。此書生之論。非其實也。董份曰。樂毅徇齊。其勢亦有不可遂拔者。然燕非有大德殊政。以服齊人之心。不過連勢借力。乘亂攻昧。欲并兼其國。雖攻拔二邑。而人未忘齊。其亂終作。以秦之彊。六國陵夷。乘其積衰。漸以兵滅。而及其起而亡秦者。猶六國之後也。況當齊之猶盛乎。樂毅之智。必見其有難拔之形。欲困以歲月。然不知自古未有以力經營。可以并國。滅姓善後。而無事者。卽其與二城爲守。孰若勸燕王。益施仁義。以服齊心。定國置君。反城與地。則恩決于齊人。德著于天下。所謂亂而伐之。威莫大焉。服而舍之。仁莫厚焉。上可以成王業。而下亦不失爲桓文。惜不及此也。

黃震曰。樂毅爲燕報齊。誠師出有名矣。而盡取寶物祭器輸之燕。仁義之師不爲也。徇齊五歲。下七十餘城。而莒卽墨猶未下者。齊王保於莒。有困獸覆車之勢。齊方憤發。而毅之師已老。強弩之末。不能穿魯縞。其勢然也。夏侯玄許以湯武之事。何甚耶。然毅以讒去適趙。趙父母國也。報燕惠王書稱忠臣去國。不潔其名。不效戰國反覆。復爲趙而讎燕。去就無嫌。傳之子孫亦然。高帝過趙。復封其孫樂叔者於樂鄉。信義之入于人深矣。然則樂毅非戰國之士也。

樂毅有後世乎。對曰。有樂叔。高帝封之樂鄉。

徐廣曰。在北新城。○正義曰。地理志云。信都有樂鄉。

縣。

號曰華成君。華成君。樂毅之孫也。而樂氏之族。有樂瑕公。樂

臣公。

一作巨公。

趙且爲秦所滅。亡之齊。高密。樂臣公善修黃帝老子

之言。顯聞於齊。稱賢師。

太史公曰。始齊之蒯通及主父偃。讀樂毅之報燕王書。未嘗不

廢書而泣也。樂臣公學黃帝老子。其本師號曰河上丈人。不知

其所出。河上丈人教安期生。安期生教毛翁公。毛翁公教樂瑕

公。樂瑕公教樂臣公。

索隱曰。本亦作巨公。

樂臣公教蓋公。

索隱曰。蓋音古闔反。蓋公。史不記名。

蓋公

教於齊。高密膠西爲曹相國師。

索隱述贊曰。昌國忠諫。人臣所無。連兵五國。濟西爲墟。燕王將受。空聞報書。義士慷慨。明君軾問。閉乘繼將。芳規不渝。

樂閒書曰。紂之時。箕子不用。犯諫不_レ忘。以冀_三其聽_ナ。商容不達_セ身。

祇辱_{ラレ}焉。以冀_三其變_{ズルヲ}。及_二民志不入_ヲ。獄囚自出_{ルニ}。

索隱曰。民志不入。謂國亂而人離心向外。故云不入。又獄

囚自出。是政亂。而士師不爲之守法也。

然後二子退隱。故紂負_二桀暴之累_ナ。二子不失_ハ忠

聖之名_ヲ。何者。其憂患之盡矣。今寡人雖愚。不若_二紂之暴_ナ也。燕民

雖亂。不若_二殷民之甚_{キガ}也。室有語。不相盡_{シテ}以告_セ鄰里。

正義曰。言家室有忿爭不決。必告鄰

里。今故以書相告也。

二者寡人不爲_二君取_ヲ也。

正義曰。二者謂燕君未如紂。燕民未如殷民。復相告。子反燕以疑君民之惡。是寡人不爲

君取之。

樂閒樂乘怨_二燕不聽_{ルヲ}其計_ヲ。二人卒畱_{ルニ}趙。趙封_{シテ}樂乘爲_二武襄

君_ト。索隱曰。樂乘。樂毅之宗人也。

其明年。樂乘廉頗爲_レ趙圍_ム燕。燕重禮_ヲ以和_ス。乃解_レ。後

五歲。趙孝成王卒_ス。襄王使_二樂乘代_ニ廉頗_ト。廉頗攻_ム樂乘。樂乘走_リ。廉

頗亡_リ入_リ魏。其後十六年。而秦滅_ス趙。其後二十餘年。高帝過_リ趙。問_フ

室有語云云ハ、凌稚隆曰、室家ニ事アル、言テ盡シテ以テ、他人ニ告グ可カラザルヲ言フ、ニ子當ニ燕ニ歸ルベシ、而テ趙ニ居ルベカラザルヲ謂フナリ。

幸之變。世所不圖。敗於垂成。時運固然。若乃逼之以威。劫之以兵。攻取之事。求欲速之功。使燕齊之士。流血於二城之下。受殺傷之殘。以示四海之人。是縱暴易亂。以成其私。鄰國望之。其猶豺虎。既大墮稱兵之義。而喪濟溺之仁。且虧齊士之節。廢廉善之風。掩宏通之度。弃王德之隆。雖二城幾於可拔。霸王之事。逝其遠矣。然則燕雖兼齊。其與世主何以殊哉。其與鄰國何以相傾。樂生豈不知拔二城之速了哉。顧城拔而業乖也。豈不慮不速之致變哉。顧業乖與變同。繇是觀之。樂生之不屠二城。未可量也。於是燕王復以樂

毅子樂閒爲昌國君。

索隱曰。閒音紀閒反。

而樂毅往來復通燕。燕趙以爲客

卿。樂毅卒於趙。

張華曰。望諸君冢在邯鄲西數里。

樂閒居燕三十餘年。燕王喜用其

相栗腹之計。

索隱曰。栗姓。腹名。漢有栗姬。

欲攻趙。而問昌國君樂閒。樂閒曰。趙四

戰之國也。

索隱曰。言趙數距四方之敵。故云四戰之國。正義曰。東鄰燕齊。西邊秦樓煩。南界韓魏。北迫匈奴。

其民習兵。伐之不

可。燕王不聽。遂伐趙。

趙使廉頗擊之。大破栗腹之軍於鄣。禽栗

腹。樂乘者。樂閒之宗也。

於是樂閒奔趙。趙遂圍燕。燕重割

地以與趙。和。趙乃解而去。燕王恨不用樂閒。樂閒既在趙。乃遣

云、官本君子上ニ言字アリ。

君王之留意焉、注夏侯玄ハ、三國魏ノ人ナリ。

正義曰。君子之人。交絕不說己長而談彼短。

忠臣去國。不潔其名。

索隱曰。言忠臣去離本國。不自潔其名。云己無罪。故禮曰。大夫去其國。不

說人以無罪是也。○正義曰。言不潔己名。行而咎於君。若箕子不忍言殷惡是也。

臣雖不佞。

索隱曰。不佞。猶不才也。

數奉教於君

子矣。

索隱曰。數音朔。言我以數經奉教令於君子。君子。卽識禮之人。謂己在外。猶云己罪。不說王之有非。故下云。不察疎遠之行。斯亦忠臣之節。

恐侍御

者之親左右之說。不察疎遠之行。故敢獻書以聞。唯君王之留

意焉。

夏侯玄曰。觀樂生遺燕惠王書。其殆庶乎。知機合道。以禮始終者與。又其喻昭王曰。伊尹放太甲而不疑。太甲受放而不怨。是存大業於至公。而以天下爲心者也。夫欲極道

德之量。務以天下爲心者。必致其主於盛隆。合其趣於先王。苟君臣同符。則大業定矣。于斯時也。樂生之志。千載一遇。夫千載一遇之世。亦將行千載一隆之道。豈其局迹當時。止於兼并而已哉。夫兼并者。非樂生之所屑。彊燕而廢道。又非樂生之所求。不屑苟利。心無近事。不求小成。斯意兼天下者也。則舉齊之事。所以運其機而動四海也。夫討齊以明燕主之義。此兵不興於爲利矣。圍城而害不加於百姓。此仁心著於遐邇矣。舉國不謀其功。除暴不以威力。此至德全於天下矣。適全德以率列國。則幾於湯武之事矣。樂生方恢大綱。以縱二城收民明信。以待其弊。將使卽墨營人。顧仇其上。願釋干戈。賴我。猶親善守之。智無所施之。然則求仁得仁。卽墨大夫之義。仕窮則從。微子適周之道。開瀾廣之路。以待田單之徒。長容善之風。以申齊士之志。使夫忠者遂節。勇者義著。昭之東海。屬之華裔。我澤如春。民應如草。道光宇宙。賢智託心。鄰國傾慕。四海延頸。思戴燕主。仰望風聲。二城必從。則王業隆矣。雖淹留於兩邑。乃致速於天下也。不

是以至於入江而不化、
方苞曰、其本志ヲ變化
セザルナリ、國策不改
ニ作ル、或ハ字ノ訛ナ
リ。

離毀辱之誹謗墮先王之
名ハ、胡三省曰、離ハ
墮ト同ジ、墮ハ廢ト同
ジ、毀ナリ。
以幸爲利ハ、余有丁曰、
爲利ハ、卽所謂燕ノ敵
ニ乘ズル者、索隱ノ解、
未ダ明ナラズ。
不出惡聲注正義、札記

蚤知之士名成而不毀。故稱於後世。若先王之報怨雪恥。夷萬
乘之疆國。收八百歲之蓄積。及至弄羣臣之日。餘教未衰。執政
任事之臣。修法令。慎庶孽。施及乎萌隸。皆可以教後世。臣聞之
善作者。不必善成。善始者。不必善終。昔伍子胥說聽於闔閭。而
吳王遠迹至郢。夫差弗是也。賜之鴟夷而浮之江。吳王不寤。先
論之可以立功。故沈子胥而不悔。子胥不蚤見主之不同量。是
以至於入江而不化。索隱曰。言子胥怨恨。故雖投江。而神不化。猶爲波濤之神也。夫免身立功。以明

先王之迹。臣之上計也。索隱曰。誹音方味反。離毀辱之誹謗。墮先王之名。索隱曰。誹音方味反。臣之所大恐也。臨不測之罪。以幸爲利。義之所不敢出也。
曰。墮音計規反。臣之所大恐也。臨不測之罪。以幸爲利。義之所不敢出也。
索隱曰。謂既臨不測之罪。以幸免爲利。今我仍義先王之恩。雖身託外國。而心亦不敢出也。臣聞古之君子。交絕不出惡聲。

舉之濟上注正義、札記
濟上在濟水之上ニ作
ル、云フ官本此ノ如シ、
各本錯シテ濟水之上在
齊上ニ作ル。

故鼎反乎磨室ハ、札記
磨室ニ作ル、注同ジ、云
フ舊刻磨、各本磨ニ誤
スト、李光縉曰、磨音
歴、周官遂師抱磨、亦音
歴ト、字典云、戰國策
磨室ニ作ル、今磨室ニ
作ル、誤ルト。

先王以爲嫌於志ハ、札
記云、此嫌當ニ慊ト訓
シ、足ト訓スベシ、注
索隱非ナリ。

之道。先王之靈。河北之地。隨先王而舉之濟上。
正義曰。濟水之上在齊上。濟上

之軍。受命擊齊。大敗齊人。輕卒銳兵。長驅至國。齊王遁而走莒。

僅以身免。珠玉財寶。車甲珍器。盡收入於燕。齊器設於寧臺。
應前敘事

曰。燕臺也。○正義曰。括地志云。燕元英磨室
索隱曰。大呂。齊鐘名。

二宮。皆燕宮。在幽州薊縣西四里寧臺之下。
元英。燕宮殿名也。

故鼎反乎磨室。
徐廣曰。磨。歷也。○索隱曰。燕鼎。前輸於齊。今反入於磨室。磨室亦宮名。戰國策作歷室也。○正義曰。括地志云。磨室。燕宮名也。高誘云。燕

噲亂。齊伐燕。殺噲。得
徐廣曰。竹田曰。簞。謂燕之疆界。移於齊

鼎。今反歸燕。故鼎。
之汝水。○索隱曰。薊丘。燕所都之地。言

薊丘之植。植於汝簞。
燕之薊丘所植。植齊王汝上之竹。徐注非也。○正義曰。幽州薊地

西北隅有薊丘。又汝水源出。兗州博城縣東北原山。西南入沛。
自五伯已來。功未

有及先王者也。先王以爲嫌於志。
索隱曰。嫌。音苦。簞反。亦作嫌。嫌者。常嫌然而不愜其志也。故裂地

而封之。使得比小國諸侯。臣竊不自知。自以爲奉命承教。可幸

無罪。是以受命不辭。臣聞賢聖之君。功立而不廢。故著於春秋。
緣此所以受封

故察能而授官者云云、
李廷機曰、功ヲ成シ名
ヲ立ツ、是一篇ノ主意
ナリ。

祿私親。其功多者賞之。其能當者處之。故察能而授官者。成功

之君也。論行而結交者。立名之士也。臣竊觀先王之舉也。見有

高世主之心。正義曰。樂毅見燕昭王有自高尊
世上人主之心。故假魏節使燕。故假節於魏。以身得察於

燕。先王過舉。廁之賓客之中。立之羣臣之上。不謀父兄。正義曰。杜
預云。父兄。

同姓羣
臣也。以爲亞卿。臣竊不自知。自以爲奉令承教。可幸無罪。故受

令而不辭。先王命之曰。我有積怨深怒於齊。不量輕弱。而欲以

齊爲事。臣曰。夫齊霸國之餘業。而最勝之遺事也。練於兵甲。習

於戰攻。王若欲伐之。必與天下圖之。與天下圖之。莫若結於趙。

且又淮北宋地。楚魏之所欲也。趙若許而約四國攻之。齊可大

破也。先王以爲然。具符節南使臣於趙。顧反命。起兵擊齊。以天

毅之降趙。恐趙用樂毅而乘燕之弊以伐燕。燕惠王乃使人讓
 樂毅且謝之曰。先王舉國而委將軍。將軍爲燕破齊。報先王之
 讎。天下莫不震動。寡人豈敢一日而忘將軍之功哉。會先王弃
 羣臣。寡人新卽位。左右誤寡人。寡人之使騎劫代將軍爲將軍
 久暴露於外。故召將軍且休計事。將軍過聽。以與寡人有隙。遂
 捐燕歸趙。將軍自爲計則可矣。而亦何以報先王之所以遇將
 軍之意乎。樂毅報遺燕惠王書曰。臣不佞。不能奉承王命。以順
 左右之心。恐傷先王之明。有害足下之義。故遁逃走趙。今足下
 使人數之以罪。臣恐侍御者不察先王之所以畜幸臣之理。又
 不白臣之所以事先王之心。故敢以書對。臣聞賢聖之君。不以

不敢斥言王故託之侍御者

卽墨未服。正義曰。卽墨。今萊州。會燕昭王死。子立爲燕惠王。惠王自爲太子。

時嘗不快於樂毅。及卽位。齊之田單聞之。乃縱反閒於燕。曰。齊

城不下者。兩城耳。然所以不早拔者。聞樂毅與燕新王有隙。欲

連兵且畱齊南面。而王齊。齊之所患。唯恐他將之來。於是燕惠

王固已疑樂毅。得齊反閒。乃使騎劫代將。而召樂毅。索隱曰。騎劫。燕將姓名。

樂毅知燕惠王之不善代之。畏誅。遂西降趙。趙封樂毅於觀津。

號曰望諸君。索隱曰。望諸。澤名。在齊。蓋趙有之。故號焉。戰國策望作藍也。尊寵樂毅。以警動於燕齊。

齊田單後與騎劫戰。果設詐誑燕軍。遂破騎劫於卽墨下。而轉

戰逐燕。北至河上。正義曰。滄德二州之北河。盡復得齊城。而迎襄王於莒。入于

臨菑。燕惠王後悔。使騎劫代樂毅。以故破軍亡將。失齊。又怨樂

樂毅知燕惠王之不善代之。胡三省曰。王代。之。胡。其意善カラズ。ヲシム。其意善カラズ。將ニ之ヲ誅セントスルヲ知ルナリ。

趙嚮秦ハ、札記嚮說秦ニ作ル、云フ索隱本說字アリ、胡三省曰、利ヲ以テ之ヲ誘フヲ嚮ト曰フ。
使樂毅約趙惠文王云云ハ、方苞曰、趙ニ結ビ齊ヲ破ル、毅ノ惠王ニ報ズル書ニ具ス、故ニ敘次過詳ナルヲ得ズ。

樂毅約趙惠文王。別使連楚魏。令趙嚮秦以伐齊之利。徐廣曰。嚮進說之意。

○索隱曰。嚮音田。諸侯害齊湣王之驕暴。皆爭合從與燕伐齊。樂毅

還報燕昭王。悉起兵。使樂毅爲上將軍。趙惠文王以相國印授

樂毅。樂毅於是并護趙楚韓魏燕之兵以伐齊。索隱曰。護謂總領之也。破之

濟西。諸侯兵罷歸。而燕軍樂毅獨追至于臨菑。齊湣王之敗濟

西。亡走保於莒。樂毅獨畱徇齊。齊皆城守。樂毅攻入臨菑。盡取

齊寶財物祭器。輸之燕。燕昭王大說。親至濟上勞軍。行賞饗士。竝暗伏毅書中語案

封樂毅於昌國。徐廣曰。屬齊。○索隱曰。地理志。縣名。屬齊郡。○正義曰。故昌城在淄州淄川縣東北四十里也。號爲昌國君。

於是燕昭王收齊鹵獲以歸。而使樂毅復以兵平齊城之不下

者。樂毅畱徇齊五歲。下齊七十餘城。皆爲郡縣。以屬燕。唯獨莒

地狹民寡。齊人取薊八城。匈奴驅馳樓煩之下。以孤之不肖。得承宗廟。恐社稷危存之有道乎。魏曰。帝者之臣。其名臣。其實師。王者之臣。其名臣。其實友。霸者之臣。其名臣。其實賓。危國之臣。其名臣。其實虜。今王將自東面。目指氣使。以求臣。則厮役之才至矣。南面聽朝。不失揖讓之理。以求臣。則人臣之才至矣。北面等禮。不乘之以勢。以求臣。則朋友之才至矣。西面逡巡。以求臣。則師傅之才至矣。誠欲與王霸同道。魏請爲天下之士開路。於是常置魏爲上客。

於燕。燕王以客禮待之。樂毅辭讓。遂委質爲臣。燕昭王以爲亞

卿。久之。當是時。齊湣王彊。南敗楚。相唐昧於重丘。索隱曰。昧音莫。葛反。地理志。重丘縣。

名屬平原。○正義曰。西摧三晉於觀津。索隱曰。地理志。觀津縣名。屬信都。漢初屬清河也。○正義曰。在冀州武邑縣東南二

十五里。遂與三晉擊秦。助趙滅中山。破宋。廣地千餘里。與秦昭王

爭重爲帝。已而復歸之。諸侯皆欲背秦而服於齊。湣王自矜。百

姓弗堪。於是燕昭王問伐齊之事。樂毅對曰。齊霸國之餘業也。

地大人衆。未易獨攻也。王必欲伐之。莫如與趙及楚魏。於是使

南敗楚將唐昧於重丘。注。索隱曰。平原。齊ノ西。北ニ在リ。南ト云フヲ得ズ。左氏襄十七年傳。飲馬於重丘。杜注。重丘ハ曹邑ト。此時當ニ楚ニ屬スベシ。三晉於觀津。札記云。津當ニ澤ニ作ルベシ。

齊霸國之餘業也ハ。胡三省曰。齊桓公天下ニ霸タリシヨリ。國以テ彊大ナリ。田氏其餘業ニ藉ル。

史記評林卷之八十

樂毅列傳第二十

樂毅者其先祖曰樂羊云云ハ、方苞曰、樂氏賢多シ、故ニ其前後世繫ヲ詳ニシ、因テ以テ章法ト爲ス。

聞燕昭王以子之之亂云云ハ、淺雅曰、太史公詳ニ樂毅燕ニ入ル始末ヲ敘ス、蓋殺他日燕惠王ニ遺ル書ノ張本ト爲ス。

樂毅者其先祖曰樂羊。樂羊爲魏文侯將。伐取中山。正義曰。魏文侯今定州。侯封樂羊以靈壽。徐廣曰。屬常山。○索隱曰。地理志。常山有靈壽縣。中山。桓公所都之地。○正義曰。今鎮州靈壽。樂羊死。葬

於靈壽。其後子孫因家焉。中山復國。至趙武靈王時。復滅中山。

索隱曰。中山。魏雖滅之。尙不絕祀。故後更復國。至趙武靈王又滅之也。而樂氏後有樂毅。樂毅賢好兵。趙人

舉之。及武靈王有沙丘之亂。徐廣曰。趙有沙丘宮。近鉅鹿。乃去趙適魏。聞燕昭王

以子之之亂。而齊大敗燕。燕昭王怨齊。未嘗一日而忘報齊也。

燕國小辟遠。力不能制。於是屈身下士。先禮郭隗。正義曰。說苑云。燕昭問於隗。曰。寡人

史記評林卷之七十九終

必俟澤反覆以禍福曉之。乃肯退。澤爲秦相數月。卽告老。爲客卿以終。進退雍容。過睢遠甚。雖然。後之君子。固權客寵。如狡兔之專窟。如猩猩之嗜酒。老死而不知止。受禍而不之覺者。是又在范睢下矣。

董份曰。蔡澤說應侯。而奪之位。其辯雄矣。然以功成當去。志得當止。則亦天下之至理也。故應侯聽之。而澤一因人讒。遂弃相印。與睢亦不旋踵。蓋不徒言而已。以秦之少恩。而二子翩然。皆能免于刑僇。善保終始。詩曰。惟其有之。是以似之。二子之謂矣。余謂戰國之士。有不可及者。蓋如此。而澤尤高。其振世之傑哉。

索隱述贊曰。應侯始困。託載而西。說行計立。貴平寵稽。倚秦市趙。卒報魏齊。綱成辯智。范雎招攜。勢利傾奪。一言成蹊。

蘇子古史曰。范雎相秦。其所以利秦者少。而害秦者多。以魏冉之專。忘其舊勳。而逐之可也。並逐宣太后。使昭王以子絕母。不已甚乎。宣太后之於秦。非鄭武姜莊襄后之惡也。鄭武姜莊襄后。猶不可絕。而雎絕之。獨不愧穎考叔茅焦乎。及雎任秦事。殺白起。而用王稽鄭安平。使民怨於內。兵折於外。曾不若魏冉之一二。以予觀之。范雎蔡澤自爲身謀。取卿相可耳。未見有益於秦也。

楊維禎曰。應侯入秦。退四貴。而攫取其相。如探物囊中。及祿位既盛。則又不以四貴爲戒。必俟夫澤之再三辨說。而後謝病。譬之奕也。觀局則明。當局則悞。應侯之退。已合退子請藥。賜死之時。而律死不退。使非澤乘其日昃之勢。吾固未知其死所。吾尤取澤之善說近道。不必攻雎于王。而攻雎于雎。亦以雎可言感。而澤之言。又足以寤雎者。故雎決于去。而不俟夫逐也。及澤代雎。不數月。卽幡然引去。又不俟逐雎者逐我。優游于秦。以封君令終。若澤者。不謂之哲人乎。

黃震曰。范雎以口舌攘穰侯之位。而蔡澤復以口舌攘之雎。所謂螳螂捕蟬。黃雀在後也。然穰侯以君臣骨肉之親。則雎攘之也難。范雎當君臣疑阻之際。則澤攘之也易。雎遠交近攻之策。真有益於秦。澤特羈旅之餘。竊富貴耳。澤始非雎以離閒昭王母子兄弟而得之。澤勸雎功成身退。其心雖私。而論則正矣。

羅大經曰。范雎蔡澤。皆辯士也。太史公以之連傳。然雎傾危。澤明坦。雎幽險詭祕。危人骨肉。全是小人意態。澤方入關。便宜言代雎。至其所以告雎者。皆消息盈虛之正理。雎

侯遂稱病篤。范雎免相。昭王新說蔡澤計畫。遂拜爲秦相。東收周室。蔡澤相秦數月。人或惡之。懼誅。乃謝病歸相印。號爲綱成君。居秦十餘年。事昭王。孝文王。莊襄王。卒。事始皇帝。爲秦使於燕。三年而燕使太子丹入質於秦。

長袖善舞多錢善賈ハ、二人秦ノ彊ニ因リ、其功ヲ成スヲ得ルニ輸フルナリ。
所謂一切辯士ハ、荆燕世家、皆高祖一切功臣、索隱曰、一切ハ猶一例同時ノ如キナリ。

太史公曰。韓子稱。長袖善舞。多錢善賈。信哉是言也。范雎蔡澤。世所謂一切辯士。然游說諸侯。至白首無所遇者。非計策之拙。所爲說力少也。及二人羈旅入秦。繼踵取卿相。垂功於天下者。固彊弱之勢異也。然士亦有偶合。賢者多如此二子。不得盡意。豈可勝道哉。然二子不困厄惡能激乎。
索隱曰。二子。范雎蔡澤也。雎厄於齊。折脅摺齒。澤困於趙。被遂弃。鬲是也。惡音烏。激音擊。

吾聞欲而不知止云云、
札記云、止足二字、互
二誤ル、足ト欲ト韻ナ
リ、止ト有ト韻ナリ。

此時^チ歸^シ相^シ印^チ。讓^テ賢者^ニ而授^ケ之^ニ。退^テ而巖居川觀^セ。必有^ニ伯夷之廉^一。長^シ爲^リ應侯^ト。世世稱孤^ト。而有^ニ許由延陵季子之讓^一。喬松之壽^一。孰與^レ以禍終^ル哉。卽君何居焉。忍不能^ニ自離^ル疑^テ不能^ニ自決^{スル}。必有^ニ四子之禍^一矣。易曰。亢龍有悔^ト。此言上而不能^レ下^ル。信而不能^レ詘^{スル}。往而不能^ニ自返^ル者也。願君孰計^{セヨ}之。應侯曰。善。吾聞欲而不知^レ止^ル。失其所以^ニ欲^{スル}有而不知^レ足^ル。失其所以^ニ有^{スル}。先生幸教^フ。睢敬受命^ニ。於是乃延^キ入坐^シ。爲^ニ上客^ト。後數日。入朝^ス。言於^テ秦昭王^ニ曰。客新有從^リ山東來者^ト。曰蔡澤^一。其人辯士。明於^ニ三王之事^一。五伯之業。世俗之變^ニ。足以寄^{スル}秦國之政^一。臣之見人甚衆。莫及^テ臣不如也。臣敢以聞。秦昭王召見與語。大說之。拜爲^ニ客卿^ト。應侯因謝^シ病。請歸^{サント}相印^チ。昭王彊起^{ヒテ}應侯^ト。應

者。功成不去。禍至於此。此所謂信而不能詘。往而不能返者也。

索隱曰。信音申。詘音屈。謂志已展而不退。

范蠡知之。超然辟世。長爲陶朱公。君獨不觀夫

博者乎。或欲大投。或欲分功。

班固奕指曰。博縣於投。不必在行。鬪謂投。投瓊也。○索隱曰。言夫博奕。或欲大投其瓊以致勝。或觀其勢

或欲大投。或欲分功。ハ、戰國策注云。大投ハ全勝ヲ謂フナリ、分功ハ勝者ノ獲ル所ヲ分ツナリ。

弱。則大投地。分而分功。以遠救。事具小爾雅。方言云。所以投博。謂之枰。枰。局也。此皆君之所明知也。今君相秦。計不

下席。謀不出廊廟。坐制諸侯。利施三川。以實宜陽。

正義曰。施。猶展也。言伐得三川之地。

以實宜陽。言展開三川。實宜陽。決羊腸之險。塞太行之道。又斬范中行之塗。六國不

得合從。棧道千里。通於蜀漢。使天下皆畏秦。秦之欲得矣。君之

功極矣。此亦秦之分功之時也。如是而不退。則商君白公。

徐廣曰。白起。

吳起大夫種是也。吾聞之。鑒於水者。見面之容。鑒於人者。知吉

與凶。書曰。成功之下。不可久處。四子之禍。君何居焉。君何不

遂入圍邯鄲。使秦有帝業。楚趙天下之彊國。而秦之仇敵也。自是之後。楚趙皆懾伏。不敢攻秦者。白起之勢也。身所服者。七十餘城。功已成矣。而遂賜劒死於杜郵。吳起爲楚悍王立法。卑減大臣之威重。罷無能廢無用。損不急之官。塞私門之請。一楚國之俗。禁游客之民。精耕戰之士。南收楊越。北并陳蔡。破橫散從。使馳說之士無所開其口。禁朋黨。以勵百姓。定楚國之政。兵震天下。威服諸侯。功已成矣。而卒枝解。大夫種爲越王深謀遠計。免會稽之危。以亡爲存。因辱爲榮。墾草入邑。索隱曰。劉氏云。入猶充也。謂招攜離散。充滿城邑也。辟地殖穀。率四方之士。專上下之力。輔句踐之賢。報夫差之讎。卒擒勁吳。令越成霸。功已彰而信矣。句踐終負而殺之。此四子

齊晉故遂以殺身亡國。夏育太史噉。叱呼駭三軍。徐廣曰。呼一作暗。索隱曰。二人勇。

者。夏育。賁育也。噉音皎。○正義曰。呼大故反。然而身死於庸夫。索隱曰。高誘云。夏育爲田搏所殺。然太史噉未知誰之所殺。恐非齊襄王時太史也。

此皆乘至盛而不返道理。不居卑退處儉約之患也。夫商君爲

秦孝公明法令。禁姦本尊爵必賞。有罪必罰。平權衡。正度量。調

輕重。決裂阡陌。以靜生民之業。而一其俗。勸民耕農。利土一室

無二事。力田穡積。習戰陳之事。是以兵動而地廣。兵休而國富。

故秦無敵於天下。立威諸侯。成秦國之業。功已成矣。而遂以車

裂楚地方數千里。持戟百萬。白起率數萬之師。以與楚戰。一戰

舉鄢郢。以燒夷陵。再戰南并蜀漢。又越韓魏而攻彊趙。北坑馬

服。誅屠四十餘萬之衆。盡之於長平之下。流血成川。沸聲若雷。

恐患之甚於三子。竊爲君危之。語曰。日中則移。月滿則虧。物盛

應四時之序二句

則衰。天地之常數也。進退盈縮。與時變化。聖人之常道也。故國

有道則仕。國無道則隱。聖人曰。飛龍在天。利見大人。不義而富

且賢。於我如浮雲。今君之怨已讎。而德已報。意欲至矣。而無變

眞說出睢心亭

計。竊爲君不取也。且夫翠鵠犀象。其處勢非不遠死也。而所以

死者。惑於餌也。蘇秦智伯之智。非不足以辟辱遠死也。而所以

死者。惑於貪利不止也。是以聖人制禮節欲。取於民有度。使之

以時。用之有止。故志不溢。行不驕。常與道俱而不失。故天下承

而不絕。昔者齊桓公九合諸侯。一匡天下。至於葵丘之會。有驕

矜之志。畔者九國。吳王夫差。兵無敵於天下。勇彊以輕諸侯。陵

可^キ願^フ孰^レ與^レ閔^フ夭^ニ周公^ニ哉。應侯曰。商君吳起大夫種弗^ル若^カ也。蔡澤
曰。然則君之主。慈仁任^シ忠。惇^ニ厚^ス舊^ヲ故。其賢智與^ニ有道之士^ニ爲^ニ膠
漆。義不^ル倍^カ功臣。孰^レ與^レ秦^ニ孝公^ニ楚^ニ悼王^ニ越王^ニ乎。應侯曰。未^ダ知^フ何^ニ如^ニ
也。蔡澤曰。今主親^ニ忠臣^ニ。不^レ過^キ秦^ニ孝公^ニ楚^ニ悼王^ニ越王^ニ。君之設^ニ智能^ヲ。
爲^ニ主^ニ安危^ニ修^メ政^ヲ。治^メ亂^ヲ彊^シ兵^ヲ。批^シ患^ヲ折^キ難^ヲ。索隱曰。批音白結反。又音豐雞反。批患謂擊而卻之。折音之列反。廣
地^ヲ殖^エ穀^ヲ。富^{マシ}國^ヲ足^シ家^ヲ。彊^{ウシ}主^ヲ尊^ニ社稷^ヲ。顯^{ヘシ}宗廟^ヲ。天下莫^ダ敢^テ欺^ス犯^ス其主^ヲ。主
之威蓋^ニ震^シ海^ニ內^ニ。功彰^ニ萬里^ニ之外^ニ。聲名光輝。傳^レ於^ニ千世^ニ。君孰^レ與^レ商
君吳起大夫種。應侯曰。不^レ若^カ。蔡澤曰。今主之親^ニ忠臣^ニ。不^レ忘^ニ舊^ヲ故。
不^レ若^ニ孝公^ニ悼王^ニ句踐^ニ。而君之功績。愛信親幸^{セタル}。又不^レ若^ニ商君吳起
大夫種。然而君之祿位賢盛。私家之富過於三子。而身不^レ退者。

以其君父爲僇辱。注索隱云云、凌稚隆曰、僇字ノ解、本文ト同シカラズト、按ニ僇亦辱ナリ、其君父ヲ以テ僇辱ノ人ト爲スナリ。

周公輔成王也。豈不亦聖乎。札記聖上思字アリ、

比干忠而不能存殷。子胥智而不能完吳。申生孝而晉國亂。是皆有忠臣孝子。而國家滅亂者。何也。無明君賢父以聽之。故天下以其君父爲僇辱。而憐其臣子也。今商君吳起大夫種之爲人臣是也。其君非也。故世稱三子致功而不見德。豈慕不遇世死乎。夫待死而後可以立忠成名。是微子不足仁。孔子不足聖。管仲不足大也。夫人之立功。豈不期於成全邪。身與名俱全者。上也。名可法而身死者。其次也。名在僇辱而身全者。下也。於是應侯稱善。蔡澤少得聞。因曰。夫商君吳起大夫種。其爲人臣盡忠致功。則可願矣。閔天事文王。周公輔成王也。豈不亦聖乎。以君臣論之。商君吳起大夫種。其

索隱曰。言以比干子胥申生皆至忠孝而見誅放。故今天下言爲其君父之所僇而

也。極身無貳慮。盡公而不顧私。設刀鋸以禁奸邪。信賞罰以致治。披腹心。示情素。蒙怨咎。欺舊友。奪魏公子印。安秦社稷。利百姓。卒爲秦禽將。破敵。攘地千里。吳起之事悼王也。使私不得害公。讒不得蔽忠。言不取苟合。行不取苟容。不爲危易行。行義不辟難。徐廣曰。一云。不困毀譽。然爲霸主強國。不辭禍凶。大夫種之事越王也。

主雖困辱。悉忠而不解。主雖絕亡。盡能而弗離。成功而弗矜。賢富而不驕怠。若此三子者。固義之至也。忠之節也。是故君子以義死難。視死如歸。生而辱。不如死而榮。士固有殺身以成名。唯義之所在。雖死無所恨。何爲不可哉。蔡澤曰。主聖臣賢。天下之盛福也。君明臣直。國之福也。父慈子孝。夫信妻貞。家之福也。故

百九十、引テ並ニ贊ニ
作ル、各本常ニ作ル、誤
ル。
蔡澤曰、吁ハ、孔安國曰、
吁ハ疑怪ノ辭ナリ。
夫四時之序成功者去、
胡三省曰、春ハ生ジ、
夏ハ長ジ、秋ハ實ヲ就
シ、冬ハ閉藏シ、各其
功ヲ成シ、而テ相代謝
スルヲ謂フ、札記云、御
覽引テ、下ニ未成者來
ノ四字アリ。

澤流千里世世稱之而無
絶。札記云、策ニ澤流千
世稱之而無絶ニ作ル、
是ナリ。

之乎。對曰。然。應侯曰。請聞其說。蔡澤曰。吁。君何見之晚也。夫四
時之序。成功者去。夫人生。百體堅彊。手足便利。耳目聰明。而心
聖智。豈非士之願與。應侯曰。然。蔡澤曰。質仁秉義。行道施德。得
志於天下。天下懷樂敬愛而尊慕之。皆願以爲君王。豈不辯智
之期與。應侯曰。然。蔡澤復曰。富賢顯榮。成理萬物。使各得其所。
性命壽長。終其天年。而不夭傷。天下繼其統。守其業。傳之無窮。
名實純粹。澤流千里。徐廣曰。一本無此字。世世稱之而無絶。與天地終始。豈
道德之符。而聖人所謂吉祥善事者與。應侯曰。然。蔡澤曰。若夫
秦之商君。楚之吳起。越之大夫種。其卒然亦可願與。應侯知蔡
澤之欲困己以說。式緇反。復謬曰。何爲不可。夫公孫鞅之事孝公。

持梁刺齒肥ハ、梁ハ富ニ梁ニ作ルベシ、注同ジ、刺齒ハ、札記云、二字、御覽三百八十三、又七百二十九、引テ並ニ醫ニ作ル。

十三歲。蔡澤笑。謝而去。謂其御者曰。吾持梁刺齒肥。

持梁作飯也。刺齒二字當

作醫。又作齧也。○索隱曰。持梁謂作梁米飯而持其器以食也。刺齒肥。當爲醫肥。謂食肥肉也。躍馬疾驅。懷黃金之印。結紫綬。

於要。捐讓入主之前。食肉富貴四十三年。足矣。去之。趙見逐。入

韓魏。遇奪釜鬲於塗。

爾雅曰。欸足者謂之鬲。郭璞曰。鼎曲腳。○索隱曰。釜音父。鬲音歷。欸者。空也。言其足中空也。而郭氏云。鼎曲腳者。以欸訓

曲。故云。暗接上曲腳也。聞應侯任鄭安平王稽。皆負重罪於秦。應侯內慙。蔡澤乃

西入秦。將見昭王。使人宣言以感怒應侯曰。燕客蔡澤。天下雄

俊弘辯智士也。彼一見秦王。秦王必困君而奪君之位。應侯聞

曰。五帝三代之事。百家之說。吾既知之。衆口之辯。吾皆摧之。是

惡能困我而奪我位乎。使人召蔡澤。蔡澤入。則捐應侯。應侯固

不快。及見之。又倨。應侯因讓之曰。子常宣言。欲代我相秦。寧有

秦王必困君、札記云、秦王二字疑フ衍ナラン。

子常宣言、札記云、御覽四百六十三、元龜八

而御勇士。吾恐楚之圖秦也。夫物不素具。不可以應卒。今武安君既死。而鄭安平等畔。內無良將。而外多敵國。吾是以憂。欲以激勵應侯。索隱曰。激音擊。應侯懼。不知所出。蔡澤聞之。往入秦也。

蔡澤者。燕人也。游學于諸侯。小大甚衆。正義曰。不遇而從。唐舉

相。荀卿曰。梁有唐舉。○索隱曰。荀卿書作唐莒。曰吾聞先生相李兌曰。百日之內。持國秉政。

有之乎。索隱曰。按左傳云。國子實執齊秉。服虔曰。秉。權柄也。曰有之。曰若臣者何如。唐舉孰視而

笑曰。先生曷鼻巨肩。徐廣曰。曷一作偈。偈一作仰。巨一作渠。○索隱曰。曷鼻。謂鼻如鰻蟲也。巨肩。肩巨於項也。蓋項低而肩豎也。曷其例反。

鰻顏蹙。蹙膝攣。蹙。兩膝曲也。徐廣曰。一作率。○索隱曰。上鰻音徒回反。鰻顏。謂顏貌。鰻回若鰻。恬然也。蹙音鳥。曷反。蹙。謂鼻蹙眉。膝攣。謂膝又攣曲也。

吾聞聖人不相。殆先生乎。蔡澤知唐舉戲之。乃曰。富賢吾所自

有。吾所不知者壽也。願聞之。唐舉曰。先生之壽。從今以往者四

鰻顏。注索隱曰。上鰻ハ、札記云、上字當ニ衍ナルベシト、按ニ鰻ハ小鰻赤黃色ナリ、注鰻梧ハ猶鰻梧ノ如シ、壯大ノ意ナリ。

從唐舉相ノ相ハ、人相ヲ觀ルナリ。持國秉政ハ、札記持國秉ニ作ル、云フ索隱本此三字ヲ出ス、各本下ニ政字アリ、雜志云、後人ノ妄増ナリ、御覽人事部引テ政字ナシ。

馬服子注索隱曰馬服子趙括之號也、凌稚隆曰、馬服君子、故二馬服子ト曰フ、索隱非ナリ。

曰。馬服子。趙括之號也。虞喜志林云。馬兵之首也。號曰馬服者。言能服馬也。鄒氏頗音正波反。秦大破趙於長平。遂圍邯鄲。已

而與武安君白起有隙。言而殺之。徐廣曰。在五十年。○索隱曰。任鄭安

平。使將擊趙。鄭安平爲趙所困急。以兵二萬人降趙。應侯席藁

請罪。秦之法。任人而所任不善者。各以其罪罪之。於是應侯罪

當收三族。秦昭王恐傷應侯之意。乃下令國中。有敢言鄭安平

事者。以其罪罪之。而加賜相國應侯食物。日益厚。以順適其意。

後二歲。王稽爲河東守。與諸侯通。坐法誅。徐廣曰。五十二年。而應侯日益

以不懌。昭王臨朝歎息。應侯進曰。臣聞主憂臣辱。主辱臣死。今

大王中朝而憂。臣敢請其罪。昭王曰。吾聞楚之鐵劒利。而倡優

拙。正義曰。論士能善卒不戰。夫鐵劒利。則士勇。倡優拙。則思慮遠。夫以遠思慮。

人固未易知、知人亦未易也、上句ハ他人ニ屬ス、人ト云フ者ハ、固ヨリ知リ易キ者ニ非ザルヲ謂フ、下句ハ自己ニ屬ス、人ナ知ルモ、亦未ダ易カラズト謂フナリ。

猶豫未肯見。曰虞卿何如人也。時侯嬴在旁。曰人固未易知。知人亦未易也。夫虞卿躡屣擔簦一見趙王。賜白璧一雙。黃金百鎰。再見拜爲上卿。三見卒受相印。封萬戶侯。當此之時。天下爭知之。夫魏齊窮困過虞卿。虞卿不敢重爵祿之尊。解相印。捐萬戶侯。而閒行。急士之窮。而歸公子。公子曰。何如。人人固不易知。知人亦未易也。信陵君大慙。駕如野迎之。魏齊聞信陵君之初難見之。怒而自剄。趙王聞之。卒取其頭予秦。秦昭王乃出平原君歸趙。昭王四十三年。秦攻韓。汾陰拔之。索隱曰。陰音邢。陰蓋在韓之西界。與汾相近也。○正義曰。按陰庭故城在絳州曲沃縣西北二十里汾水之陽。北之地本屬韓。今秦得而城。後五年。昭王用應侯謀。縱反閒。賣趙。趙以其故。令馬服子代廉頗將。索隱

平原君曰貴而爲友者、
 札記友ヲ交ニ作ル、云
 フ索隱木交、各本友ニ
 作ル、雜志云、隸書交
 字、或ハ友ニ作ル、又
 下勝之友ニ因テ誤ル。
 昭王乃遣趙王書曰王之
 弟在秦、錢大昕曰、是
 歲昭王四十二年、即趙
 孝成王ノ元年ナリ、平
 原君ハ惠文王ノ弟ト爲
 ス、孝成ニ於テ叔父ト
 爲ス、惠文已ニ歿ス、
 當ニ更ニ弟ト稱スベカ
 ラス。

原君飲數日。昭王謂平原君曰。昔周文王得呂尙。以爲太公齊。
 桓公得管夷吾。以爲仲父。今范君亦寡人之叔父也。范君之仇
 在君之家。願使人歸取其頭來。不然。吾不出君於關。平原君曰。
 賢而爲友者爲賤也。富而爲交者爲貧也。

索隱曰。上爲如字。下爲音于
 僞反。以言富貴而結交情深

者。爲有貧賤之。夫魏齊者。勝之友也。在固不出也。今又不臣所。昭
 王乃遣趙王書曰。王之弟在秦。范君之仇魏齊。在平原君之家。
 王使人疾持其頭來。不然。吾舉兵而伐趙。又不出王之弟於關。
 趙孝成王乃發卒圍平原君家。急。魏齊夜亡。出見趙相虞卿。虞
 卿度趙王終不可說。乃解其相印。與魏齊亡。閒行。念諸侯莫可
 以急抵者。乃復走大梁。欲因信陵君以走楚。信陵君聞之。畏秦。

不上計注凡郡長治民、札記郡掌治民ニ作ル、云フ宋本毛本ト、續漢百官志ト合ス、各本掌ナ長ニ屬ス。

睚眦之怨必報ハ、方苞曰、目ヲ怒ラシ相視ルノ怨モ亦報ズルナリ。

高平注正義秦時、札記春秋時ニ作ル、云フ各本秦ニ誤ル、考證改ム。

於相。爵在列侯。王稽之官。尚止於謁者。非其內臣之意也。昭王

召王稽。拜爲河東守。三歲不上計。

司馬彪曰。凡郡長治民。進賢勸功。決訟檢姦。常以春行所至縣。勸民農桑。振救

乏絕。秋冬遣無害吏案訊問諸囚。平其罪法。論課殿最。歲盡遣吏上計。

暗伏後案

又任鄭安平。昭王以爲將軍。范雎於

是散家財物。盡以報所嘗困辱者。一飯之德必償。睚眦之怨必

報。索隱曰。睚音崖。賣反。眦音士。賣反。睚眦。謂相嗔怒而見齒也。

范雎相秦二年。秦昭王之四十二年。

東伐韓。少曲

徐廣曰。蘇代曰。起少曲一日而斷太行。索隱曰。劉氏以爲蓋在太行西南。

高平拔之。

正義曰。括地志云。南韓王故城在懷

州河陽縣西北四十里。俗謂之韓王城。非也。秦時周桓王以與鄭。紀年云。鄭侯使辰歸晉陽向。更名高平。拔之。則少曲當與高平相近。

秦昭王聞魏齊

在平原君所。欲爲范雎必報其仇。乃詳爲好書。遺平原君曰。寡

人聞君之高義。願與君爲布衣之友。君幸過寡人。寡人願與君

爲十日之飲。平原君畏秦。且以爲然。而入秦見昭王。昭王與平

脫莖豆其前、胡三省曰、莖ハ寸斬ノ莖ナリ、豆ニ雜ヘテ、以テ馬ニ飼ス、莖豆兩物ナリ。

使^ル與^ニ坐^シ堂^ニ上^ニ。食^ニ飲^ニ甚^ク設^テ而^{シテ}坐^シ須^ニ賈^チ於^ニ堂^ニ下^ニ。置^キ莖^ニ豆^ニ其^ニ前^ニ。令^ニ兩^ニ黥^ニ

徒^ニ夾^ニ而^{シテ}馬^ニ食^セ之^ニ。數^ニ曰^ク。爲^ニ我^ニ告^グ魏^ニ王^ニ。急^ニ持^シ魏^ニ齊^ノ頭^ヲ來^レ。不^レ然^ラ者。我^ニ且^ニ

屠^フ大^ニ梁^ヲ。須^ニ賈^リ歸^リ以^テ告^グ魏^ニ齊^ニ。恐^レ亡^ニ走^シ趙^ニ。匿^ニ平^ニ原^ノ君^ノ所^ニ。范^ニ睢^ニ既^ニ

相^シ王^ニ稽^ニ謂^フ范^ニ睢^ニ曰^ク。事^ニ有^ニ不^レ可^ル知^ル者^ニ三^ニ。有^ニ不^レ可^ル奈^ス何^モ者^ニ亦^ニ三^ニ。宮^ニ車^ニ

一^ニ日^ニ晏^ス駕^ス。應劭曰。天子當晏起早作。如方崩殞。故稱晏駕。韋昭曰。凡初崩爲晏駕者。臣子之心。猶謂宮車當駕而晚出。是^ニ事^ニ之^ニ不^レ可^ル

知^ル者^ニ一^ニ也。君^ニ卒^ニ然^ト捐^フ館^ニ舍^ヲ。是^ニ事^ニ之^ニ不^レ可^ル知^ル者^ニ二^ニ也。使^ニ臣^ニ卒^ニ然^ト填^ベ

溝^ニ壑^ニ。是^ニ事^ニ之^ニ不^レ可^ル知^ル者^ニ三^ニ也。宮^ニ車^ニ一^ニ日^ニ晏^ス駕^ス。君^ニ雖^レ恨^ム於^ニ臣^ニ。無^レ可^キ

奈^ス何^モ。君^ニ卒^ニ然^ト捐^フ館^ニ舍^ヲ。君^ニ雖^レ恨^ム於^ニ臣^ニ。亦^ニ無^レ可^キ奈^ス何^モ。使^ニ臣^ニ卒^ニ然^ト填^ベ

壑^ニ。君^ニ雖^レ恨^ム於^ニ臣^ニ。亦^ニ無^レ可^キ奈^ス何^モ。范^ニ睢^ニ不^レ懌^ズ。乃^ニ入^テ言^テ於^ニ王^ニ曰^ク。非^ニ王^ニ稽^ニ

之^ニ忠^ニ。莫^シ能^ル內^ニ臣^ニ於^ニ函^ニ谷^ノ關^ニ。非^ニ大^ニ王^ノ之^ニ賢^ニ聖^ニ。莫^シ能^ル貴^ニ臣^ニ。今^ニ臣^ニ官^ニ至^リ

擢買之髮以續買之罪尙未足、方也曰、北音續數相近クシテ誤ルナリ、或曰、髮ヲ擢テ而テ之ヲ續ケモ、尙以テ其罪ノ長キニ比スルニ足ラザルナリ。

是范雎盛帷帳。侍者甚衆。見之。須賈頓首言死罪。曰賈不意君能自致於青雲之上。賈不敢復讀天下之書。不敢復與天下之事。賈有湯鑊之罪。請自屏於胡貉之地。唯君死生之。范雎曰。汝罪有幾。曰。擢賈之髮。以續賈之罪。尙未足。范雎曰。汝罪有三耳。昔者楚昭王時。而申包胥爲楚卻吳軍。楚王封之以荊五千戶。包胥辭不受。爲丘墓之寄於荊也。今雎之先人丘墓亦在魏。公前以睢爲有外心於齊。而惡睢於魏。齊公之罪一也。當魏齊辱我於廁中。公不止罪二也。更醉而溺我。公其何忍乎。罪三矣。然公之所以得無死者。以綈袍戀戀有故人之意。故釋公。乃謝罷。入言之昭王。罷歸須賈。須賈辭於范雎。范雎大供具。盡請諸侯。

唯睢亦得謁、札記云、
唯讀テ難ト爲ス。

如此哉。乃取其一綈袍以賜之。索隱曰。綈。厚繒也。音啼。蓋今之繩也。○正義曰。今之麤袍。須賈因問曰。

秦相張君。公知之乎。吾聞幸於王。天下之事。皆決於相君。今吾

事之去。畱在張君。孺子豈有客習於相君者哉。索隱曰。劉氏云。孺子。蓋謂睢爲小子。范

睢曰。主人翁習知之。唯睢亦得謁。睢請爲君見於張君。須賈曰。

吾馬病。車軸折。非大車駟馬。吾不出。本吾下有固字。范睢曰。願爲君借大車駟

馬於主人翁。范睢歸。取大車駟馬。爲須賈御之。入秦相府。府中

望見。有識者皆避匿。須賈怪之。至相舍門。謂須賈曰。待我。我爲

君先入。通於相君。須賈待門下。持車良久。問門下曰。范叔不出

何也。門下曰。無范叔。ナレモ須賈曰。鄉者與我載而入者。門下曰。乃吾

相張君也。須賈大驚。自知見賣。乃肉袒膝行。因門下人謝罪。於

善。於是廢太后。應前宣太后之第一段逐穰侯高陵華陽涇陽君於關外。秦王乃拜范

雎爲相。收穰侯之印。使歸陶。因使縣官給車牛。以徙千乘有餘。

到關。閱其寶器。寶器珍怪多於王室。秦封范雎以應。號爲應

侯。索隱曰。劉氏云。河東臨晉有應亭。則秦地有應也。又案本紀。以應爲太后養地。解者。公三。一。潁川之應鄉未知孰是。○正義曰。括地志云。故應城。古應鄉。在汝州魯山縣東四十里也。

當是時。秦昭王四十一年也。范雎既相。秦號曰張祿。而魏不

知。以爲范雎已死久矣。魏聞秦且東伐韓魏。魏使須賈於秦。范

雎聞之。爲微行。敝衣閒步之邸。正義曰。劉云。諸國客館。見須賈。須賈見之而驚。

曰。范叔固無恙乎。范雎曰。然。須賈笑曰。范叔有說於秦耶。曰。不

也。睢前日得過於魏相。故亡逃至此。安敢說乎。須賈曰。今叔何

事。范雎曰。臣爲人庸賃。須賈意哀之。畱與坐飲食。曰。范叔一寒

帛端入太后之家ト、疑
フ此缺誤アリ。
詩曰木實繁者云云ハ、
横田惟高曰、詩恐ラク
ハ謬ノ訛ナリ、披ハ折
ナリ。

見王獨立於朝、札記云、
舊刻見ナニ作ル。

社稷。詩曰。木實繁者披其枝。正義曰。披。音片被反。披其枝者傷其心。大其都。

者危其國。尊其臣者卑其主。崔杼淖齒管齊。索隱曰。淖。姓也。音尼教反。漢有淖姬是也。高誘曰。管。

典也。言一人典齊權而行弑逆也。
○正義曰。淖齒。楚人。齊湣王臣。射王股。擢王筋。索隱曰。言射王股誤也。按崔杼射

二君。縣之於廟梁。宿昔而死。李兌管趙。囚主父於沙丘。正義曰。沙丘。正義曰。沙丘。臺在邢州平

鄉縣東北。百日而餓死。今臣聞秦太后穰侯用事。高陵華陽涇陽

佐之。卒無秦王。此亦淖齒李兌之類也。且夫三代所以亡國者。

君專授政。縱酒馳騁弋獵。不聽政事。其所授者。妬賢嫉能。御下

蔽上。以成其私。不爲主計。而主不覺悟。故失其國。今自有秩以

上。至諸大吏。下及王左右。無非相國之人者。見王獨立於朝。臣

竊爲王恐。萬世之後有秦國者。非王子孫也。昭王聞之大懼曰。

到此纔危言

下令字ナ衍ス、考證刪ル。

齊之有田文、札記云、張載注魏都賦、引テ田單ニ作ル。

利歸於陶國、擊御於諸侯、札記云、策ノ鮑注ニ據レバ、則陶字絶句也、吳氏別篇ニ據リ、云フ利盡歸于國、國之幣

而霸事因可慮矣。王曰。善。且欲發使於韓。范睢曰。益親復說用

數年矣。因請間說曰。正義曰。臣居山東時。聞齊之有田文。不聞其

有王也。聞秦之有太后穰侯華陽高陵涇陽。不聞其有王也。夫

擅國之謂王。能利害之謂王。制殺生之威之謂王。今太后擅行

不顧。穰侯出使不報。華陽涇陽等擊斷無諱。諱。畏也。高陵進退不

請。四貴備。而國不危者。未之有也。爲此四貴者。下乃所謂無王

也。然則權安得不傾。令安得從王出乎。臣聞善治國者。乃內固

其威。而外重其權。穰侯使者操王之重。決制於諸侯。剖符於天

下。政適伐國。徐廣曰。政。適音征。敵。莫敢不聽。戰勝攻取。則利歸於陶國。弊御

於諸侯。索隱曰。弊者。斷也。御者。制也。言穰侯執權。以制御主。斷於諸侯也。戰敗。則結怨於百姓。而禍歸於

之ニ親△ニ及バザルナ

木之有蠹也注石柱蟲、札記云、石疑フ當ニ蝕ニ作ルベシ、上拓字ニ涉リテ誤ル。

國斷而爲三注正義宜陽令、札記令字ナシ、云

不能親。請問親魏奈何。對曰。王卑詞重幣以事之。不可。則割地而賂之。不可。因舉兵而伐之。王曰。寡人敬聞命矣。乃拜范雎爲客卿。謀兵事。卒聽范雎謀。使五大夫綰伐魏。拔懷。徐廣曰。昭王三十九年。後

二歲。拔邢丘。客卿范雎復說昭王曰。秦韓之地形。相錯如繡。秦之有韓也。譬如木之有蠹也。正義曰。音妬。石柱蟲。人之有心腹之病也。天下

無變則已。天下有變。其爲秦患者孰大於韓乎。王不如收韓。昭

王曰。吾固欲收韓。韓不聽爲之奈何。對曰。韓安得無聽乎。王下

兵而攻滎陽。則鞏成臯之道不通。正義曰。言宜陽陝號之師。不得下太行相救。北斷太行之

道。則上黨之師不下。正義曰。言澤路之師。不得下太行相救。王一興兵而攻滎陽。則其

國斷而爲三。正義曰。新鄭已南一。宜陽令二。澤路三。夫韓見必亡。安得不聽乎。若韓聽。

之罷弊。君臣之不和也。興兵而伐齊。大破之。士辱兵頓。皆咎其

王曰。誰爲此計者乎。王曰。文子爲之。索隱曰。謂田文孟嘗君也。猶戰國策謂田盼田嬰爲盼子嬰子也。大

臣作亂。文子出走。故齊所以大破者。以其伐楚而肥韓魏也。此

所謂借賊兵。齊盜糧者也。索隱曰。借音子夜反。一作籍。亦音同。齊音側奚反。言爲盜齊糧也。王不如遠交

而近攻。得寸則王之寸也。得尺亦王之尺也。今釋此而遠攻。不

亦繆乎。且昔者中山之國。地方五百里。趙獨吞之。功成名立。而

利附焉。天下莫之能害也。今夫韓魏。中國之處。而天下之樞也。

王其欲霸。必親中國。以爲天下樞。以威楚趙。楚彊則附趙。趙彊

則附楚。楚趙皆附。齊必懼矣。齊懼必卑辭重幣以事秦。齊附而

韓魏因可虜也。昭王曰。吾欲親魏久矣。而魏多變之國也。寡人

借賊兵。齊盜糧。札記齊上而字アリ。云フ舊刻毛本而字アリ。索隱本ト合ス。

今夫韓魏中國之處云云ハ、茅坤曰。始ニシテ韓魏ニ親ム者。陽ニ之ニ予ヘ、以テ楚趙ヲ聯屬スルノ地ヲ爲シ、因テ以テ齊ヲ招クナリ、楚趙齊既ニ已ニ内附スレバ、則兵韓魏ニ入リ、而テ彼三國者我ニ衡セザル也、此亦從テ破ルノ術ナリ、未ダ幾クナラズ、而テ魏ヲ拔キ、韓ヲ收ム、蓋未ダ管テ

譬如馳韓盧云云、札記
馳ヲ施ニ作ル、云フ索
隱本施、策ト合ス、各
本馳ニ作ル、後人改ム
ル所ト、按施ハ延ナリ。

至今閉關十五年云云、
錢大昕曰、范雎秦ニ説
ク昭王卅六年ニ在リ、
是時秦白起ヲ用ヒ、趙
魏及ビ楚ヲ破ル者屢ナ
リ、而テ穰侯方ニ兵ヲ
出シテ綱壽ヲ攻ム、安
ンソ閉關十五年ノコト
アワンヤ。

辟地千里注正義尺亦
反、札記云、尺疑フ當
ニ匹ニ作ルヘシ、蓋俗
正ニ作リ、形近サシテ
譌ス。

之。夫以秦卒之勇。車騎之衆。以治諸侯。譬若馳韓盧而搏蹇兔也。
索隱曰。戰國策云。韓盧者。天下之壯犬也。是韓盧爲犬。謂施韓盧而搏蹇兔也。喻秦彊言取諸侯之易也。霸王之業可致也。而羣

臣莫當其位。至今閉關十五年。不敢窺兵於山東者。是穰侯爲淺言之

秦謀不忠。而大王之計有所失也。秦王跽曰。寡人願聞失計。然

左右多竊聽者。范雎恐。未敢言內。先言外事。以觀秦王之俯仰。

因進曰。夫穰侯。越韓魏而攻齊綱壽。非計也。少出師。則不足以

傷齊。多出師。則害於秦。臣意王之計。欲少出師。而悉韓魏之兵。

也。則不義矣。今見與國之不親也。越人之國而攻。可乎。其於計

疎矣。且昔齊湣王南攻楚。破軍殺將。再辟地千里。正義曰。辟尺亦反。而齊

尺寸之地無得焉者。豈不欲得地哉。形勢不能有也。諸侯見齊

天以寡人恩先生ハ、通
繼潤ニ作ル、胡三省曰、
恩ハ之ヲ潤澤スルヲ謂
フナリ、漢陸賈曰、久
シク公ヲ潤ス勿レ、即
此義ナリ。
奈何而言ハ、札記云、舊
刻毛本而ヲ有ニ作ル、
蓋讀テ又ト爲ス。

甘泉谷口注正義得仙寒
仙寒者ハ、札記得仙寒
門寒門者ニ作リ、云フ
各本門ヲ仙ニ誤リ、下
寒下門字ヲ脱ス、九變
山ノ下中字ヲ衍ス、以
上官本皆誤ラズ。

敢^カ畏^レ也。臣^シ死^シ而秦治^ル。是臣^ガ死^シ賢^ラ於^レ生。秦王跽^テ曰。先生是何言^ソ也。
夫秦國辟遠。寡人愚不肖。先生乃幸辱^グ至^ル於^レ此。是天以^ニ寡人^ヲ恩^ミ
先生^ヲ。徐廣曰。亂先生也。音溷。○索隱曰。而存^{スル}先王之宗廟^ヲ也。寡人得^ル受^ル命^ヲ
於^ニ先生^ニ。是天所以幸^{シテ}先王^ニ。而不^ル弄^テ其孤^ヲ也。先生奈何而言^{シテ}若是^ヲ。
事無^ク小大^ト。上^ト及^ビ太后^ニ。下^リ至^リ大臣^ニ。願^フ先生悉^ク以教^ヘ寡人^ニ。無^ク疑^フ寡人^ニ。
也。范睢拜。秦王亦拜^ス。范睢曰。大王之國。四塞以爲^レ固^メ。北有^ニ甘泉
谷口^ト。正義曰。括地志云。甘泉山。一名鼓原。俗名磨石嶺。在雍州雲陽縣西北九十里。關中記
云。甘泉宮。在甘泉山上。年代永久。無復甘泉之名。失其實也。宮北云有連山。土人爲磨
石嶺。郊祀志云。公孫卿言黃帝得仙寒。仙寒者。谷口也。按九變
山中西謂之谷口。即古寒門也。在雍州醴泉縣東北四十里。南帶^ニ涇渭^ヲ。右隴蜀^ヲ。左
關阪^ヲ。奮擊百萬。戰車千乘。利則出^テ攻^ム。不利則入^テ守^ル。此王者之地
也。民怯^ク於^ニ私鬪^ヲ。而勇^ム於^ニ公戰^ヲ。此王者之民也。王并^{セテ}此二者^ヲ而有^ツ

願也。臣又何患哉。伍子胥橐載而出昭關。夜行晝伏。至於陵水。

無以餬其口。索隱曰。劉氏云。陵水。即栗水也。陵。栗聲相近。故惑也。膝行蒲伏。稽首肉袒。鼓腹吹篴。

徐廣曰。乞。食於吳市。卒興吳國。闔閭爲伯。使臣得盡謀。如伍子胥一作簫。

加之。以幽囚。終身不復見。是臣之說行也。臣又何憂。箕子接輿。

漆身爲厲。被髮爲狂。無益於主。假使臣得同行於箕子。可以有

補所賢之主。是臣之大榮也。臣有何恥。臣之所恐者。獨恐臣死

之後。天下見臣之盡忠而身死。因以是杜口裹足。莫肯鄉秦耳。

足下上畏太后之嚴。下惑於姦臣之態。索隱曰。態。謂姦臣諂詐之志。居深宮之中。

不離阿保之手。終身迷惑。無與昭姦。正義曰。昭。明也。大者宗廟滅覆。

小者身以孤危。此臣之所恐耳。若夫窮辱之事。死亡之患。臣不

有補所賢之主ハ、札記
補下於字アリ、云舊刻
於字アリ、各本脫ス。

下惑於姦臣、札記云、
案隱本於字ナシ。

天下^ニ鄉使^キ文王^キ疎^メ呂尙^メ而不^ル與^ム深言^セ。是周無^ニ天子之德^シ。而文武

無^ニ與^ム成^ス其王業^チ也。今臣^ニ羈旅之臣^シ也。交疎^ニ於^レ王^ニ。而所^レ願^フ陳者^チ。皆

匡^ス君之事^チ。處^ニ人骨肉之間^ニ。願^ウ效^ス愚忠^チ。而未知^ラ王之心^ニ也。此所以

王三問^ニ而不敢對^ヘ者也。臣非有^ル畏^ル而不敢言^ハ也。臣知^下今日言^ニ之

於^ニ前^ニ。而明日伏誅^ニ於^レ後^ニ。然臣不敢避^ケ也。大王信行^ニ臣之言^チ。死不

足^ニ以爲^ム臣患^ト。亡^ス不足以爲^ム臣憂^ト。漆身爲^リ厲^ト。索隱曰。厲音賴。癩病也。言漆塗身生瘡。如病癩。被^リ髮

爲^レ狂^ト。不足以爲^ム臣恥^ト。且以^ニ五帝之聖^チ焉而死^シ。三王之仁^ニ焉而死^シ。

五伯之賢^ニ焉而死^シ。烏獲任鄙之力^ニ焉而死^シ。成荊^一。徐廣曰。一作羌。孟賁^一。許慎曰。成荊。古

勇士。孟賁。衛人。王慶忌^一。吳越春秋曰。吳王僚子慶忌。夏育之勇^ニ焉而死^ス。駟案漢書音義曰。或云。夏育。衛人力舉千鈞。死者。

人之所^ニ必不^レ免^レ也。處^ニ必然之勢^ニ。可以少^ニ有^ヒ補^レ於^レ秦^ニ。此臣之所^ニ大

一本無有字

此感動處

脱シテ、罪ヲ永巷ニ待
ツ、後改テ掖庭ト爲ス、
顔師古曰、永ハ長ナリ、
モト宮中ノ長巷ヲ謂フ
ナリ。

莫不洒然云云ハ、余有
丁曰、洒然ハ但ニ敬肅
ニ非ズ、兼テ恐懼ノ意
アリ。

以感怒昭王。昭王至。聞其與宦者爭言。遂延迎謝曰。寡人宜以
身受命久矣。會義渠之事急。寡人旦暮自請太后。今義渠之事
已。寡人乃得受命。竊閔然不敏。索隱曰。鄒誕生本作惛然。音昏。又一作閔。音敏。閔猶昏暗也。敬執賓主
之禮。范雎辭讓。是日觀范雎之見者。羣臣莫不洒然變色。易容
者。徐廣曰。洒先典反。○索隱曰。鄭玄云。洒然。敬肅之貌。秦王屏左右。宮中虛無人。秦王跽而請曰。
索隱曰。跽其紀反。跽者長跽。兩膝被地。先生何以幸教寡人。范雎曰。唯唯。有閒。秦王復
跽而請曰。先生何以幸教寡人。范雎曰。唯唯。若是者三。秦王跽
曰。先生卒不幸教寡人邪。范雎曰。非敢然也。臣聞昔者呂尙之
遇文王也。身爲漁父。而釣於渭濱耳。若是者交疎也。已說而立
爲太師。載與俱歸者。其言深也。故文王遂收功於呂尙。而卒王

爲其割榮也ハ、董份曰、割榮ハ意已ニ穰侯等ヲ指ス、而テ明言スベカラズ、故ニ微ニ之ニ及ブ。

不概於王心邪、概ハ感觸ナリ、札記云、索隱概作關ハ、今策本關ニ作ル。

亡其言臣者賤而不可用乎ハ、余有丁曰、亡字轉語、猶無乃ト言フ如キナリ、索隱輕蔑ト解ス、是ニ非ズ、札記亦云、亡讀テ無ノ如シ、亡其ハ轉語ノ同ナリ、離宮注正義雅ハ、札記雍州ニ作ル。

永巷注正義宮中獄、札記云、唯豈能獄ニ入ラシ、王又何爲レゾ獄ニ至ラン、此注非ナリ、按ニ胡三省曰、如淳曰、周宣王ノ姜后、簪珥ヲ

於國、善厚國者。取之於諸侯。天下有明主。則諸侯不得擅厚者。

何也。爲其割榮也。索隱曰。割榮。卽上之擅厚。謂擅權也。良醫知病人之死生。而聖主明

於成敗之事。利則行之。害則舍之。疑則少嘗之。雖舜禹復生。弗

能改已。語之至者。臣不敢載之於書。其淺者。又不足聽也。意者

臣愚而不概於王心邪。徐廣曰。一作概。音同。○索隱曰。戰國策概作關。謂關涉於王心也。徐註音同。非也。亡其言臣

者賤而不可用乎。索隱曰。亡。猶輕蔑也。自非然者。臣願得少賜游觀之間。望

見顏色。一語無效。請伏斧質。於是秦昭王大說。乃謝王稽。使以

傳車召范雎。徐廣曰。一云。使持車。○索隱曰。徐按。戰國策文也。於是范雎乃得見於離宮。正義曰。長

安故城。本秦離宮。在雍長安北十三里也。詳爲不知永巷。而入其中。正義曰。永巷。宮中獄也。王來而宦者

怒逐之。曰。王至。范雎繆爲曰。秦安得王。秦獨有太后穰侯耳。欲

曰戰國策 有功者不得不賞。有能者不得不官。勞大者其祿厚。功

多者其爵尊。能治衆者其官大。故無能者不敢當職焉。有能者

亦不得蔽隱。使以臣之言爲可。願行而益利其道。以臣之言爲

不可。久畱臣。無爲也。語曰。庸主賞所愛而罰所惡。明主則不然。

賞必加於有功。而刑必斷於有罪。今臣之質不足以當樞質。

曰。樞音陟林反。樞者莖樞也。質。劉刃也。謂腰斬者爲樞質也。而要不足以待斧鉞。豈敢以疑事嘗試於

王哉。雖以臣爲賤人而輕辱。獨不重任臣者之無反復於王邪。

且臣聞周有砥礪。宋有結綠。梁有縣藜。薛綜曰。縣藜。一曰美玉。楚有和朴。正義

曰。縣音玄。劉伯莊云。珍玉朴也。此四寶者。土之所生。良工之所失也。而爲天下名器。

然則聖王之所弄者。獨不足以厚國家乎。臣聞善厚家者。取之

獨不重任臣者云云ハ、臣ヲ信任スル者ハ、王ニ反復スル者ニ非レバ、獨之ヲ重ンゼザルカト言フ、蓋王稽ヲ指ス。周有砥礪ハ、札記云、說文鑑韻略字ナシ、秦策ニ作ル。

之字アリ、荀息云云、今說苑此篇ナシ、類聚二十四、又七十四、御覽七百五十八、引テ並ニ孫息ニ作ル、此殆不殆也、類聚二十四、引テ臣謂是不危也ニ作ル、謀議將興、類聚御覽引テ下ニ兵字アリ。

常稱帝ノ常、札記管ニ作ル。

伐齊綱壽、札記云、舊刻綱壽ニ作ル、穰侯傳

曰敢有諫者斬。荀息聞之上書求見。靈公張弩持矢見之曰。臣不敢諫也。臣能累十二博棊。加九雞子其上。公曰。子爲寡人作之。荀息正顏色。定志意。以棊子置下。加九雞子其上。左右懼。懼。靈公氣息不續。公曰。危哉危哉。荀息曰。此殆不危也。復有危於此者。公曰。願見之。荀息曰。九層之臺。三年不成。男不耕。女不織。國用空虛。鄰國謀議將興。社稷亡滅。君欲何望。靈公曰。寡人之過也。乃至於此。得臣則安。然不可以書傳也。臣故載來。秦王弗信。即壞九層臺也。

使舍食草具。索隱曰。謂亦舍之而食以下客之具。然草具。謂麤食草菜之饌具也。待命歲餘。當是時。昭王已

立三十六年。南拔楚之鄢郢。楚懷王幽死於秦。秦東破齊。湣王

常稱帝。後去之數困三晉。厭天下。辯士無所信。穰侯。華陽君。伏後廢四貴眼目徐

曰。華一作葉。○索隱曰。穰侯謂冉。宣太后之異父弟。穰縣在。南陽。華陽君。羊戎。宣太后之同父弟。亦號爲新城君。是也。昭王母宣太后之弟

也。而涇陽君。高陵君。皆昭王同母弟也。穰侯相三人者。更將有

封邑。以太后故。私家富重於王室。及穰侯爲秦將。且欲越韓魏。

而伐齊。綱壽欲以廣其陶封。范睢乃上書曰。臣聞明主立政。伏後寶器珍怪多于王室索隱

入秦至湖關、札記云、各本湖下關字ヲ衍ス、索隱本無シ、魏志云、地理志京兆尹湖トアリ、關アルヲ言ハズ、水經河水注、亦但穰侯ニ湖祿ニ遇フト言フ、文選注、史ヲ引キ、竊力ニ范雎ヲ載テ入リ、湖ニ至ル、關字ナシ。

謁君得無與諸侯客子俱來乎、謁君ハ、王稽官謁者ナルヲ以テ之ヲ稱セシナリ。

危於累卵注正義九層臺ハ、札記云、官本臺上

與私約而去。王稽辭魏去。伏後范雎言王稽內臣函谷關案過載范雎入秦。至湖關。索隱曰。地理志。京兆有湖縣。本名胡

武帝更名湖。即今湖城也。○望見車騎從西來。范雎曰。彼來者爲誰。王

稽曰。秦相穰侯東行縣邑。范雎曰。吾聞穰侯專秦權。惡內諸侯

客。索隱曰。內音納。亦如字。內猶入也。此恐辱我。我寧且匿車中。有頃穰侯果至。勞王

稽。因立車而語曰。關東有何變。曰。無有。又謂王稽曰。謁君得無

與諸侯客子俱來乎。無益。徒亂人國耳。王稽曰。不敢。即別去。范

雎曰。吾聞穰侯智士也。其見事遲。鄉者疑車中有人。忘索之。索隱

曰。索。搜也。於是范雎下車走曰。此必悔之。行十餘里。果使騎還索

車中。無客。乃已。王稽遂與范雎入咸陽。已報使。因言曰。魏有張

祿先生。天下辯士也。曰。秦王之國危於累卵。暗合後來傾穰侯等案正義曰。說苑云。晉靈公造九層臺。費用千金。謂左右

簣

索隱曰。簣。謂葦荻之薄也。用之以裹其屍也。

置廁中。賓客飲者。醉更溺。眈眈。

索隱曰。更音羹。溺。即洩也。溺音年。弔反。洩。

音所雷反。○正義曰。溺。古尿字。

故僂辱以懲後。令無妄言者。眈從。簣中謂守者曰。公

能出我。我必厚謝公。守者乃請出。弃簣中死人。魏齊醉曰。可矣。

范雎得出。後魏齊悔。復召求之。魏人鄭安平聞之。乃遂操范雎

亡。伏匿。更名姓曰張祿。當此時。秦昭王使謁者王稽於魏。鄭安

平詐為卒。侍王稽。正義曰。卒。祖忽反。王稽問魏有賢人可與俱西游者乎。

鄭安平曰。臣里中有張祿先生。欲見君。言天下事。其人有仇。不

敢畫見。王稽曰。夜與俱來。鄭安平夜與張祿見王稽。語未究。王

稽知范雎賢。謂曰。先生待我於三亭之南。索隱曰。三亭。亭名。在魏境之

之郊境。總有三亭。皆祖餞之處。如今與期三亭之南。蓋送餞已畢。無人之處所也。○正義曰。括地志云。三亭岡。在汴州尉氏縣西南三十七里。按三亭岡。在山部中名也。蓋岡字誤為南。

既名經曰。張祿。ハ、凌稚隆曰。蓋後ノ秦號シテ張祿ト曰フ、而テ魏知ラズノ根本ト爲ス、以下仍范雎ト曰フ者ハ、太史公ノ筆ナリ。

史記評林卷之七十九

范睢蔡澤列傳、錢大昕曰、秦本紀六國表二人
名ヲ見サズ、睢音雖。

范睢蔡澤列傳第十九

范睢者、魏人也。字叔。游說諸侯。欲事魏王。家貧。無以自資。乃先

事魏中大夫須賈。

索隱曰。漢書百官表。中大夫。秦官。此魏有中大夫。蓋古官也。姓須。名賈。蓋密須氏之後。

須賈爲魏昭

王使於齊。

索隱曰。世本。昭王名遼。襄王之子。

范睢從留數月。未得報。齊襄王聞睢辯

口。

索隱曰。襄王名法章。

乃使人賜睢金十斤。及牛酒。睢辭謝。不敢受。須賈知

之大怒。以爲睢持

伏後范睢數買三罪案

魏國陰事。告齊。故得此饋。令睢受其牛酒。還

其金。既歸。心怒睢。以告魏相。魏相魏之諸公子。曰魏齊。魏齊大

怒。使舍人笞擊睢。折脅摺齒。

索隱曰。摺音力答反。謂打折其脅。而又拉折其齒也。

睢佯死。卽卷以

聞睢辯口ハ、札記云、
御覽唐虞部、才人部、
引テ辯有口ニ作ル。

與之俱斃。豈區區朱英所能爲哉。不然以黃歇之智。而朱英之言。獨無概于中乎。

楊維禎曰。志天下之奇貨者。必中天下之奇禍。傳曰。聖人甚禍。無故之利。卽吾所謂奇禍也。楚之春申君。秦之文信侯。是也。春申售娠姬于考烈王。而生悍。文信售娠姬于莊襄王。而生政。文信卒殺于政。春申免于悍而殺于園。此豈非天下之奇禍。足爲小人奇貪之戒哉。或曰。悍非歇之娠也。園妹欺歇。而歇又以其欺者欺考烈耳。

余有丁曰。春申之死。智以利昏也。使當園妹進說之時。峻斥之。則無此禍矣。旣惑于邪謀。而包藏禍心。移人家國。則亂賊而已。以亂召亂。理固宜然。故歇之旄。不在于失朱英。而在于惑園妹也。

史記評林卷之七十八終

正義曰。壽州城門。春申君入棘門。園死士俠刺春申君。斬其頭。投之棘門。

外。正義曰。楚考烈王二十五年。秦始皇九年。於是遂使吏盡滅春申君之家。而李園女弟

初幸春申君。有身而入之王。所生子者遂立。是為楚幽王。長句法 結案 索隱曰。按

楚悍有母弟。猶有庶兄負芻及昌平君。是楚君完非無子。而上文云考烈王無子。誤也。是歲也。秦始皇帝立九年矣。嫪

毐亦為亂於秦。覺夷其三族。而呂不韋廢。事與本傳合故及

太史公曰。吾適楚。觀春申君故城宮室。盛矣哉。初春申君之說

秦昭王。及出身遣太子歸。何其智之明也。後制於李園。旄矣。徐廣

曰。旄音毫。語曰。當斷不斷。反受其亂。春申君失朱英之謂邪。

索隱述贊曰。黃歇辨智。權略秦楚。太子獲歸。身作宰輔。珠炫趙客。邑開吳土。烈王寡胤。李園獻女。無妄成災。朱英徒語。

蘇子古史曰。黃歇相楚王。患王無子。而以己子盜其後。雖使聽朱英殺李園。終擅楚國。亦將不免大咎。何以言之。秦楚立國。僅千歲矣。無功于民。而獲罪于天。天以不韋歇陰亂其嗣。而

是歲也。秦始皇立九年矣。方苞曰。晉世家。終。是歲。齊威王元年也。不韋廢。不韋。事份曰。呂不韋廢。不韋。事份曰。傳後復不韋。事份曰。結。一時事偶。相同。見。文。之。妙。正。此。處。在。里。

馬字ノ誤、皆川淇圖曰、母望ハ不意ヲ謂フナリ。

李園不治國而君之仇也、札記云、索隱本不治國而ノ四字ナシ、疑フ後人楚策ニ依テ増ス。

乎。正義曰。謂吉凶忽爲一。春申君曰。何謂母望之福。曰。君相楚二十餘年矣。雖

名相國。實楚王也。今楚王病。旦暮且卒。而君相少主。因而代立。

當國。如伊尹周公。王長而反政。不卽遂南面稱孤。而有楚國。此

所謂母望之福也。春申君曰。何謂母望之禍。曰。李園不治國。而

君之仇也。索隱曰。言園是春申之仇。戰國策作君之舅。謂爲王舅。與此異。不爲兵。而養死士之日久矣。

楚王卒。李園必先入據權。而殺君以滅口。此所謂母望之禍也。

春申君曰。何謂母望之人。對曰。君置臣郎中。楚王卒。李園必先

入。臣爲君殺李園。此所謂母望之人也。春申君曰。足下置之。李

園。弱人也。僕又善之。且又何至此。朱英知言不用。恐禍及身。乃

亡去。後十七日。楚考烈王卒。李園果先入。伏死士於棘門之內。

弟兄弟誠立禍且及身何以保相印江東之封乎。今妾自知有
 身矣。而人莫知。妾幸君未久。誠以君之重而進妾於楚王。王必
 幸妾。妾賴天有子男。則是君之子為王也。楚國盡可得。孰與身
 臨不測之罪乎。春申君大然之。乃出李園女弟。謹舍而言之。楚
 王。楚王召入幸之。遂生子男。立為太子。以李園女弟為王后。楚
 王貴李園。園用事。李園既入其女弟。立為王后。子為太子。恐春
 申君語泄而益驕。陰養死士。欲殺春申君。以滅口。而國人頗有
 知之者。春申君相二十五年。楚考烈王病。朱英謂春申君曰。世
 有母望之福。正義曰。母望。謂不望而忽至也。又有母望之禍。索隱曰。周易有無妄卦。其義殊也。今君處
 母望之世。正義曰。謂一生死無常。事母望之主。正義曰。謂喜怒不節也。安可以無母望之人。

母望之人。往正義謂吉凶
 忽為之。札記云。為疑。

東郡。

正義曰。濮滑州兼河北。置東郡。濮州本衛都。而徙野王也。

春申君由此就封於吳。行相事。楚考

烈王無子。春申君患之。求婦人宜子者。進之甚衆。卒無子。趙人

李園持其女弟。欲進之楚王。聞其不宜子。恐久毋寵。李園求事

春申君爲舍人。已而謁歸。故失期。還謁。春申君問之狀。對曰。齊

王使使求臣之女弟。與其使者飲。故失期。春申君曰。娉入乎。對

曰。未也。春申君曰。可得見乎。曰。可。於是李園乃進其女弟。卽幸

於春申君。知其有身。李園乃與其女弟謀。園女弟承間以說春

申君曰。楚王之貴幸君。雖兄弟不如也。今君相楚二十餘年。而

王無子。卽百歲後。將更立兄弟。則楚更立君後。亦各貴其故所

親。君又安得長有寵乎。非徒然也。君貴用事久。多失禮於王。兄

娉入乎。娉ハ聘ニ同シ、
妾間ヲ聘ト曰フ。

引テ客悉泣ニ有リ、疑
フ今本悉字ナ脱スル
カ。

不韋廢案

履。以見趙使。趙使大慙。春申君相十四年。秦莊襄王立。以呂不

伏傳末呂

韋爲相。封爲文信侯。取東周。春申君相二十二年。諸侯患秦攻

伐無已時。乃相與合從。西伐秦。徐廣曰。始皇六年。而楚王爲從長。春申君

用事。至函谷關。秦出兵攻諸侯兵。皆敗走。楚考烈王以咎春申

君。春申君以此益疎。客有觀津人朱英。正義曰。觀音館。今魏州觀城縣也。謂春申君

曰。人皆以楚爲彊。而君用之弱。其於英不然。先君時善秦二十

年。而不攻楚。何也。秦踰黽隘之塞而攻楚。正義曰。黽隘之塞。在申州黽音盲也。不便假

道於兩周。背韓魏而攻楚。不可。今則不然。魏旦暮亡。不能愛許

鄢陵。其許魏割以與秦。秦兵去陳百六十里。徐廣曰。在許東南。臣之所觀

者。見秦楚之日鬪也。楚於是去陳徙壽春。而秦徙衛野王。作置

城故吳墟注正義國圖云
云、札記云、考證云、
句脫アリ、當ニ闕閭所
都ニ作ルベシ。

楚相四年ハ、凌稚隆
ニ、即前ノ十五歲内ノ
ナリ。

刀劍室以珠玉飾之ハ、
札記云、御覽四百五、
引ク同シ、四百九十三、
引テ室ヲ悉ニ作ル、七
百九十七、又八百七、

之楚王曰。淮北地邊齊。其事急。請以爲郡。便因并獻淮北十二縣。請封於江東。考烈王許之。春申君因城故吳墟。

正義曰。墟音虛。今蘇州也。闕閭於城

內小城西北。別築城居之。今圯毀也。又大內北澮四從五橫。至今猶存。又改破楚門爲昌門。以自爲都邑。春申君既相楚。是

時齊有孟嘗君。趙有平原君。魏有信陵君。方爭下士。招致賓客。

以相傾奪。輔國持權。春申君爲楚相四年。秦破趙之長平軍四

十餘萬。五年圍邯鄲。邯鄲告急於楚。楚使春申君將兵往救之。

秦兵亦去。春申君歸。春申君相楚八年。爲楚北伐滅魯。

索隱曰。年表云。八年

取魯。封魯君於以荀卿爲蘭陵令。當是時。楚復彊。趙平原君使人於

春申君。春申君舍之於上舍。趙使欲夸楚。爲瑋瑋簪。刀劍室以

珠玉飾之。請命春申君客。春申君客三千餘人。其上客皆躡珠

封爲春申君注正義曰然
四君封邑云云ハ、札記
云、然上當ニ尙文アル
ベシ、今缺ク。

子計曰。秦之留太子也。欲以求利也。今太子力未能有以利秦也。歇憂之甚。而陽文君子二人在中。王若卒大命。太子不在。陽文君子必立爲後。太子不得奉宗廟矣。不如亡秦。與使者俱出。臣請止以死當之。楚太子因變衣服爲楚使者御。以出關。而黃歇守舍。常爲謝病。度太子已遠。秦不能追。歇乃自言。秦昭王曰。楚太子已歸出遠矣。歇當死。願賜死。昭王大怒。欲聽其自殺也。應侯曰。歇爲人臣。出身以徇其主。太子立。必用歇。故不如無罪而歸之。以親楚。秦因遣黃歇。歇至楚。三月。楚頃襄王卒。徐廣曰。三十六年。太子完立。是爲考烈王。考烈王元年。以黃歇爲相。封爲春申君。正義曰。然四君封邑檢皆不獲。唯平原有地。又非趙境。竝蓋號諡。而孟嘗是諡。賜淮北地十二縣。後十五歲。黃歇言。

云フ考證唐志ニ據テ改ム。
一經南海ハ、胡三省曰、東西チ經ト爲ス、兩海ハ東海西海ナリ、西海ヨリ、東海ニ至リ、其地一ニ秦ノ有スル所ト爲ルヲ謂フ、注正義曰廣云云、札記云、正文廣字ナシ、疑フ是集解ヲ釋ス、或ハ廣上文アリ今皆缺クカ。

曰。西海至東海。皆是秦地。○正。要約天下。是燕趙無齊楚。齊楚無燕趙也。義曰。廣言橫度中國東西也。

然後危動燕趙。直搖齊楚。此四國者。不待痛而服矣。昭王曰。善。

於是乃止。白起而謝韓魏。發使賂楚。約爲與國。黃歇受約歸楚。

楚使歇與太子完入質於秦。秦畱之數年。楚頃襄王病。太子不

得歸。而楚太子與秦相應侯善。於是黃歇乃說應侯曰。相國誠

善楚太子乎。應侯曰。然。歇曰。今楚王恐不起疾。秦不如歸其太

子。太子得立。其事秦必重。而德相國無窮。是親與國而得儲萬

乘也。若不歸。則咸陽一布衣耳。楚更立太子。必不事秦。夫失與

國而絕萬乘之和。非計也。願相國孰慮之。應侯以聞秦王。秦王

曰。令楚太子之傅先往。問楚王之疾。返而後圖之。黃歇爲楚太

秦爲敵也。一云校者報也。言力能報秦。

齊南以泗水爲境。東負海。北倚河。而無後患。天

下之國。莫彊於齊。魏齊魏得地葆利。而詳事下吏。一年之後。爲

帝未能。其於禁王之爲。帝有餘矣。

索隱曰。言齊一年之後。未即能爲帝。而能禁秦爲帝有餘力矣。然禁字作楚者。誤也。

夫以王壤土之博。人徒之衆。兵革之彊。壹舉事而樹怨於楚。遲

令韓魏歸帝。重於齊。是王失計也。

徐廣曰。遲一作還。○索隱曰。遲音值。值猶乃也。令音力。呈反。韓魏重齊。令歸帝號。此

秦之計失也。

臣爲王慮。莫若善楚。秦楚合而爲一。以臨韓。韓必斂手。王

施以東山之險。帶以曲河之利。韓必爲關內之侯。若是而王以

十萬戍鄭。梁氏寒心。許鄢陵嬰城。而上蔡召陵不往來也。如此

而魏亦關內侯矣。王壹善楚。而關內兩萬乘之主。注地於齊。

索隱

曰。注。謂以兵裁之。

齊右壤可拱手而取也。

正義曰。右壤。謂渭州之南北也。

王之地。一經兩海。

索隱

注地於齊ハ、方苞曰、秦、韓魏ヲ得レバ、則地齊ニ接ス、水ノ流注シ通ズベキ若キナリ。可拱手而取也注正義渭州ハ、札記濟州ニ作ル、

今王資之ハ、胡三省曰、資スルニ兵ヲ以テスルヲ謂フ。

隨水右壤注索隱、胡三省引キ、之西ノ上水字アリ、三省謂フ、右壤ハ蓋其地楚都ノ右ニアリ。

泗上必舉注正義誤ル、胡三省曰、時ニ楚、魯國ヲ蠶食シ、泗上ノ地ヲ有ス。

憂也。今王資之。與攻楚。不亦過乎。且王攻楚。將惡出兵。

正義曰。惡音烏。

王將借路於仇讎之韓魏乎。兵出之日。而王憂其不返也。是王

以兵資於仇讎之韓魏也。王若不借路於仇讎之韓魏。必攻隨

水右壤。隨水右壤。此皆廣川大水。山林谿谷。不食之地也。

索隱曰。楚

都陳。隨水之右壤。蓋在隨之西。今鄧州之西。其地多山林者是。

王雖有之。不為得地。是王有毀楚之名。

而無得地之實也。且王攻楚之日。四國必悉起兵以應王。秦楚

之兵構而不離。魏氏將出而攻。畱方與。涇湖陵。礪蕭相。故宋必

盡。

正義曰。徐州西。宋州東。兗州南。竝故宋地。

齊人南面攻楚。泗上必舉。

正義曰。此時徐泗屬齊也。

此皆平

原四達膏腴之地。而使獨攻。

索隱曰。若秦楚構兵不休。則魏盡故宋。齊取泗上。是使齊魏獨攻伐而得其利者也。

王破

楚。以肥韓魏於中國。而勁齊。韓魏之彊。足以校於秦。

索隱曰。校音救。謂足以與

武ハ足跡、宅ハ猶居ノ如シ、地ノ遠ニ居ル者ハ、大足アリト雖モ、之ニ涉ラザルヲ言フナリ。

卓辭除患ハ、札記云、除疑ヲ徐ノ誤ナリ、說文ニ、徐ハ緩ナリ、策ニ慮ニ作ル。

大軍不遠ニ跋涉攻伐。從此觀之。楚國援也。鄰國敵也。詩云。趯趯タル鼯兔。遇犬

獲之。韓嬰章句曰。趯趯。往來貌。獲。得也。言趯趯之鼯兔。謂狡兔數往來逃匿其跡。有時遇犬得之。毛傳曰。鼯兔。狡兔也。鄭玄曰。遇犬。犬之馴者。謂田犬。○索隱曰。趯。天歷反。鼯

音レ讒。他人有心。余忖度之。今王中道而信韓魏之善王也。此正吳

之信越也。臣聞之。敵不可假。時不可失。臣恐韓魏卑辭除患。而

實欲欺大國也。索隱曰。大國。謂秦也。何則。王無重世之德於韓魏。而有累世

之怨焉。索隱曰。重世。猶再世也。夫韓魏父子兄弟接踵而死於秦者。將十世

矣。本國殘。社稷壞。宗廟毀。刳腹絕腸。折頸摺頤。徐廣曰。一作顛。○索隱曰。摺。音拉。頤。音夷。

首身分離。暴骸骨於草澤。頭顱僵仆。相望於境。父子老弱。係脰

束手。爲羣虜者。相及於路。鬼神孤傷。無所血食。人民不聊生。族

類離散。流亡爲僕妾者。盈滿海內矣。故韓魏之不亡。秦社稷之

榆次之禍注正義同遇ハ、札記洞渦ニ作ル、云フ官本洞渦、水經注ト合ス、各本同遇ニ誤ス。

言始之易終之難也。何以知其然也。昔智氏見伐趙之利而不

知榆次之禍。正義曰。智伯敗於榆次也。地理志云。屬太原。有梗陽鄉是也。○吳見伐

齊之便而不知干隧之敗。正義曰。干隧。吳之敗處地名。干。水邊也。隧。道路也。○正

夫差自劉處在蘇州西北四十里。此二國者。非無大功也。沒利於前而易患於後也。

索隱曰。謂智伯及吳王沒伐趙及伐齊之利於前而自易其患於後。後。即榆次干隧之難也。吳之信越也。從而伐齊。索隱曰。從。音絕用反。

劉氏云。從。既勝齊人於艾陵。正義曰。艾山。在兗州博縣南六十里也。還爲越王禽三渚之浦。

戰國策曰。三江之浦。○正義曰。吳俗傳云。越軍得子胥夢從東入伐吳。越王卽從三江北岸立壇殺白馬祭子胥。杯動酒盡。乃開渠。由三浦入。破吳王於姑蘇。敗干隧也。

之信韓魏也。從而伐趙攻晉陽域。正義曰。并州城。勝有日矣。韓魏叛之。

殺智伯瑤於鑿臺之下。徐廣曰。鑿臺在榆次。今王妬楚之不毀也。而忘毀楚

之彊韓魏也。臣爲王慮而不取也。詩曰。大武遠宅而不涉。正義曰。言

詩曰大武遠宅而不涉ハ、鮑彪曰逸詩ナリ、

敢^レ據^ハ王^ノ之^モ功^モ亦^シ多^シ矣^ニ。王^ハ休^ハ甲^ヲ息^ヘ衆^ヲ。二^ニ年^ヲ而^{シテ}後^ス復^ス之^ヲ。又^セ并^セ蒲^ヲ衍^ヲ首^ヲ

垣^ヲ。徐^廣曰。蘇^秦云。北^ニ有^リ河^ノ外^ノ卷^ノ衍^ノ。長^ク垣^ノ縣^ニ有^リ蒲^ノ鄉^ヲ。○索^隱曰。此^ノ蒲^ノ在^リ衛^ノ之^ノ長^ク垣^ノ。蒲^ノ鄉^ノ也。衍^ノ在^リ河^ノ南^ニ。與^リ卷^ノ近^シ。首^ノ蓋^ス牛^ノ首^ノ垣^ノ。卽^チ長^ク垣^ノ。非^ズ河^ノ東^ノ之^ノ垣^ノ也。垣^ノ音^ユ圓^ニ。以^テ臨^ム仁^ノ平^ノ

丘^ヲ。徐^廣曰。屬^ス陳^ノ畱^ノ。○索^隱曰。仁^ノ及^リ平^ノ丘^ノ。二^ノ縣^ノ名^ヲ。謂^フ以^テ兵^ヲ臨^ム此^ノ二^ノ縣^ノ。則^チ黃^ノ及^リ濟^ノ陽^ノ等^ノ自^ラ嬰^フ城^ヲ而^{シテ}守^ル也。地^ノ理^ノ志^ニ。平^ノ丘^ノ縣^ノ屬^ス陳^ノ畱^ノ。仁^ノ闕^ニ。黃^ノ濟^ノ陽^ノ嬰^フ城^ヲ。○徐^廣曰。蘇^秦

代^ニ云^フ。決^ス白^ノ馬^ノ之^ノ口^ヲ。魏^ノ無^ク黃^ノ濟^ノ陽^ノ。○正^義曰。故^ノ黃^ノ城^ノ在^リ曹^ノ州^ノ考^ノ城^ノ縣^ノ東^ニ。濟^ノ陽^ノ故^ノ城^ノ在^リ曹^ノ州^ノ冤^ノ句^ノ縣^ノ西^ニ南^ニ。嬰^フ城^ヲ未^ダ詳^ニ。而^{シテ}魏^ノ氏^ノ服^ス。王^ハ又^キ割^キ濮^ノ磨^ノ之^ノ

北^ヲ。徐^廣曰。濮^ノ水^ノ北^ニ於^リ鉅^ノ野^ノ入^リ。注^シ齊^ノ秦^ノ之^ノ要^ヲ。絕^ツ楚^ノ趙^ノ之^ノ脊^ヲ。○正^義曰。劉^伯莊^ノ云^フ。言^フ秦^ノ得^ル魏^ノ地^ヲ楚^ノ趙^ノ之^ノ絕^ニ從^ニ。

天^ノ下^ノ五^ノ合^ノ六^ノ聚^ノ而^{シテ}不^レ敢^テ救^フ王^ノ之^ノ威^モ亦^ス單^ス矣^ニ。○徐^廣曰。單^ノ亦^ス作^ス殫^ニ。○索^隱曰。按^テ單^ノ音^ノ丹^ニ。單^ノ盡^ス也。言^フ王^ノ之^ノ威^ノ盡^ス行^ク

也^ニ。王^ハ若^シ能^シ持^シ功^ヲ守^リ威^ヲ。絀^ケ攻^メ取^ル之^ノ心^ヲ。而^{シテ}肥^シ仁^ノ義^ノ之^ノ地^ヲ。使^セ無^ク後^ノ患^ヲ。二^ニ三^ニ

王^ハ不^レ足^ス四^ノ五^ノ伯^ノ不^レ足^ス六^ノ也^ニ。王^ハ若^シ負^フ人^ノ徒^ノ之^ノ衆^ヲ。仗^リ兵^ノ革^ノ之^ノ彊^ヲ。乘^リ毀^ス

魏^ノ之^ノ威^ヲ。而^{シテ}欲^ス以^テ力^ヲ臣^{セント}天^ノ下^ノ之^ノ主^ヲ。臣^ノ恐^ム其^ノ有^リ後^ノ患^ヲ也^ニ。詩^ノ曰^ク靡^ル不^レ有^ル

初^メ。鮮^シ克^ク有^ル終^ヲ。易^ノ曰^ク狐^ノ涉^リ水^ヲ濡^{スト}其^ノ尾^ヲ。○正^義曰。言^フ狐^ノ惜^ム其^ノ尾^ヲ。每^レ涉^リ水^ヲ舉^グ尾^ヲ不^レ令^ス濕^ニ。比^ニ至^リ極^ニ困^ニ。則^チ濡^ス之^ノ譬^ヲ。不^レ可^ク力^ヲ臣^{セント}之^ノ。此^ノ

黃^ノ濟^ノ陽^ノ嬰^フ城^ヲ正^義云^フ。嬰^フ城^ヲ未^ダ詳^ニ。錢^大昕^ノ曰^ク。下^ノ文^ノ又^キ許^ノ鄆^ノ陵^ノ嬰^フ城^ヲト^ス云^フ。皆^ク城^ヲ嬰^フシ^テ自^ラ守^ルリ。敢^テテ^ハ嬰^フハ^{ザル}シ^テ自^ラ守^ルリ。正^義誤^リテ^ハ以^テ地^ノ名^ヲト^ス爲^ス。故^ニ未^ダ詳^ニト^ス云^フ。黃^ハ卽^チ陳^ノ畱^ノ外^ノ黃^ノナ^リ。胡^三省^ノ曰^ク。嬰^フ城^ヲハ[、]兵^ヲ以^テ城^ヲ繞^ラシ^テ守^ルナ^リ。○濮^ノ磨^ノ之^ノ北^ニハ[、]札^記濮^ノ磨^ノニ^ニ作^ル。云^フ各^ノ本^ノ磨^ノニ^ニ作^ル。志^疑云^フ。磨^ノ之^ノ誤^リナ^リ。新^ノ序^ノ善^ノ謀^ノ篇^ノ。濮^ノ磨^ノニ^ニ作^ル今^ニ依^テ改^ム。○董^仲舒^ノ曰^ク。單^ノ及^リ鬼^ノ方^ノ。單^ノハ^{延^{ナリ}。又^ニ云^フ。傳^ノ爾^ノ單^ノ厚^ノ。單^ノハ^{大^{ナリ}。蓋^ス王^ノノ}威^ヲ。諸^ノ國^ノニ^ニ延^ビ被^シテ^ハ大^{ナリ}ナ^リ。○}

乃上書說秦昭王曰。天下莫彊於秦楚。今聞大王欲伐楚。此猶

指秦楚

兩虎相與鬪。兩虎相與鬪。而驚犬受其弊。指韓魏索隱曰。謂兩虎鬪乃受弊。於驚犬。劉氏云。猶承也。不

如善楚。臣請言其說。臣聞物至則反。冬夏是也。正義曰。至。極也。極則反也。冬至。陰之極。夏至。陽之極。致至則危。徐廣曰。至。或作安。累綦是也。今大國之地。徧天下有其二

至。陽之極。致至則危。

垂。正義曰。言極東西。此從生民已來。萬乘之地未嘗有也。先帝文王莊王

之身。三世不忘。接地於齊。以絕從親之要。索隱曰。音腰。以言山東從韓魏是其腰。今王

使盛橋守事於韓。索隱曰。秦使盛橋守事於韓。亦如楚使召滑相趙然也。竝內行章義之難。盛橋以其地入秦。

是王不用甲。不信威。索隱曰。信音申。而得百里之地。王可謂能矣。王又

舉甲而攻魏。杜大梁之門。舉河內。拔燕酸棗虛。徐廣曰。秦始皇五年取酸棗燕虛。蘇代曰。

決宿胥之口。桃入邢。徐廣曰。燕縣有桃城。平阜有邢丘。○正義曰。邢丘在懷州武德縣東南二十里。魏之兵。雲翔而不

魏無虛頓丘。桃入邢。徐廣曰。燕縣有桃城。平阜有邢丘。○正義曰。邢丘在懷州武德縣東南二十里。魏之兵。雲翔而不

冬夏是也。注正義。當二胡三省引クニ從ヒ、冬至陰之極而陽生焉、夏至陽之極而陰生焉ニ作ルベシ。
致至則危ハ、胡三省曰、致モ亦極ナリ、其至ナ極レバ、則危シ、果綦極高ニ至レバ即必危シ、有其二垂ハ、胡三省曰、秦國ノ地、天下西北ノ二垂ナ有ツナリ。
先帝ハ、蓋先王ノ誤、通鑑先王ニ作ル。
文王莊王之身ハ、余有丁曰、國策文王武王之身ニ作ル、是ナリ、此莊王ト曰フ、誤ナリ。
從親之要注索隱、胡三省通鑑注引デ、東ノ下ニ合字アリ。
使盛橋守事於韓ハ、鮑彪曰、橋ハ秦人ナリ、守ハ猶待ノ如シ。
桃入邢ハ、札記云、國策桃人ニ作ル、入字誤ル。

史記評林卷之七十八

春申君列傳第十八

春申君者。楚人也。名歇。姓黃氏。游學博聞。事楚頃襄王。

索隱曰。名橫。考烈王

父。頃襄王以歇爲辯。使於秦。秦昭王使白起攻韓魏。敗之於華

陽。禽魏將芒卯。韓魏服而事秦。秦昭王方令白起與韓魏共伐

楚。未行。而楚使黃歇適至。於秦。聞秦之計。當是之時。秦已前使

白起攻楚。取巫黔中之郡。拔鄢郢。東至竟陵。

正義曰。竟陵。屬江夏郡也。

楚頃襄

王東徙。治於陳縣。

正義曰。今陳州也。

黃歇見楚懷王之爲秦所誘而入朝。

遂見欺。畱死於秦。頃襄王其子也。秦輕之。恐。壹舉兵而滅楚。歇

公子雖竊符以有魏師。而其人皆噉嗜懦將之所教。而恫脅不振之餘也。又縱其父兄獨子。以歸者二萬人。外若削弱其形。而內實有以一八萬人之心。而振其氣。偏師直入於虎狼之窟。而逐之以存趙。此其乘堅而爲瑕。轉弱而爲勁者。何如也。秦乘公子出。而日夜伐魏。其志已無魏矣。魏旦暮亦惟有下耳。三十年公子以一使致五國之師。而其人又皆恫脅不振之餘也。國五其將。將五其師。此非可以頃刻聯合也。公子率而大破秦軍於河外。走蒙驁。乘勝逐之。至函谷關。而不敢出。此其聯散以爲整。轉弱而爲勁者。又何如也。愚以爲善爲兵者。固無如公子者也。

史記評林卷之七十七終

諸故老ノ傳フル所ヲ得
テ、而テ自ラ敘次ヲ爲
ス歟。
有以也ハ、札記云、疑
フ也字ヲ衍ス、有以ニ
字錯簡ナリ、當ニ未奉
祠不絶ノ下ニ在ルベ
シ。

下交^ヲ有^ル以^エ也。名冠^{クル}諸侯^ニ。不^レ虛^カ耳。高祖每^ニ過^ル之^ヲ。而令^ル民奉祠^ヲ不^レ絶^エ也。

索隱述贊曰。信陵下士。鄰國相傾。以公子故。不敢加兵。頗知朱亥。盡禮侯嬴。逐卻晉鄙。終辭趙城。毛薛見重。萬古希聲。

蘇子古史曰。魏公子始用侯嬴之計。盜兵符。殺晉鄙。而奪其軍。擊秦以全趙。成桓文之功矣。然兄弟自是相失。十年不敢還。魏幾無以安其身。殆哉。其後秦兵攻魏。無忌無還魏之心。毛薛悲之。翻然而歸。合諸侯。破秦軍。使宗廟復安。兄弟如故。然後得明目以立於世。蓋無忌之名。發於侯生。而全於毛薛。侯生之奇。毛薛之正。廢一不可。而正之所全者多矣。

劉敞曰。孟嘗平原信陵。皆稱賢君。善養士。士至三千人。然孟嘗以譏廢。唯馮生從車一乘入秦。使孟嘗復重於齊。平原與楚約從。非毛遂幾不定。信陵最賢矣。待侯嬴乃能成功。士亦安在多哉。然不多養士。亦失此三人。此三人者。非特百十之雄也。乃在三千之一也。以彼之折節慕學。貧賤無所遺。平生得其用者。三千之一耳。而況乎不善養士。士無所歸者乎。其不困辱幸矣。何功名之望哉。

黃震曰。按無忌用侯生朱亥之力。竊符矯命。以赴平原之急。其後在趙。用毛公薛公之諫。趣駕歸魏。以卻彊秦之圍。此四人者。皆隱於屠沽博徒。無忌獨能察而用之。五國賓從。威振天下。雖非正道。而能爲國家之重。過平原孟嘗遠矣。然毛公薛公之正論。又非侯生朱亥之詐力比也。安釐王受秦反閒。廢無忌。不終十八歲而魏亡。悲夫。

王世貞曰。邯鄲之圍。秦悉關中河內之卒。馘趙人四十五萬。而壓其城。城且旦暮下矣。

薛公曰云云ハ、方苞曰、毛遂從_ニ定ム、國策ニ見エズト雖モ、而毛辭頗ル近シ、信陵君傳ハ、則全然太史公ノ意趣也、豈大梁ノ遊ビ、

反間僞賀公子得立爲魏王未也。魏王日聞其毀不能不信。後

果使人代公子將公子自知再以毀廢乃謝病不朝與賓客爲

長夜飲飲醇酒多近婦女日夜爲樂飲者四歲竟病酒而卒其

歲魏安釐王亦薨秦聞公子死使蒙驁攻魏拔二十城初置東

郡其後秦稍蠶食魏十八歲而虜魏王屠大梁索隱曰魏王名假高祖始

微少時數聞公子賢及卽天子位每過大梁常祠公子高祖十

二年從擊黥布還爲公子置守冢五家世世歲以四時奉祠公

子。

太史公曰吾過大梁之墟求問其所謂夷門夷門者城之東門

也。天下諸公子亦有喜士者矣。然信陵君之接巖穴隱者不恥

太史公曰云云ハ、方苞曰、毛遂從_ニ定ム、國策ニ見エズト雖モ、而毛辭頗ル近シ、信陵君傳ハ、則全然太史公ノ意趣也、豈大梁ノ遊ビ、

公子曾名之ハ、董份曰、
客兵書ヲ進メ、而テ總
テ公子ニ名ク、故ニ世
魏公子兵法ト稱ス、索
隱注本文ト正ニ相反
ス。

夷先生之宗廟。公子當何面目立天下乎。語未及卒。公子立變色。告車趣駕歸救魏。魏王見公子相與泣。而以上將軍印授公子。公子遂將魏安釐王三十年。公子使使遍告諸侯。諸侯聞公子將各遣將將兵救魏。公子率五國之兵破秦軍於河外。走蒙驚。遂乘勝逐秦軍。至函谷關。抑秦兵。索隱曰。抑音憶。謂以兵蹙之。秦兵不敢出。當是時。公子威振天下。諸侯之客進兵法。公子皆名之。故世俗稱魏公子兵法。劉歆七略有魏公子兵法二十一篇圖七卷。○索隱曰。公子所得進兵法。而必稱其名。以言其恕也。秦王患之。乃行金萬斤於魏。求晉鄙客。令毀公子於魏王曰。公子亡在外十年矣。今爲魏將。諸侯將皆屬諸侯。徒聞魏公子。不聞魏王。公子亦欲因此時。定南面。而王諸侯。畏公子之威。方欲共立之。秦數使

以稱平原君、稱ハ、恠
ノ意、人ノ意ニカナフ
ヲ謂フナリ。
徒豪舉耳ハ、札記云、
徒ニ客衆キヲ以テ豪ト
爲スノミト謂フ、索隱
非ナリ。

毛公薛公兩人注索隱云
云ハ、宜ク移シテ上段
ニ在ルベシ。

負^イ魏王^ニ而救^ヒ趙^ヲ。以稱^フ平原君^ニ。平原君之游。徒豪舉耳。

索隱曰。謂豪
者舉之。舉亦

音據

不求^ル士也。無忌自在^ニ大梁^ニ時。常聞^ニ此兩人^ノ賢^ヲ。至^リ趙^ニ恐^レ不得^ル

見^ル以^ニ無忌^ニ從^ヒ之^ニ游^ヲ。尙恐^ル其不^ル我欲^セ也。今平原君乃以爲羞^ト其不^レ

足^ク從^フ游^ヲ。乃裝爲去^レ夫人具^ヲ以語^ル平原君^ニ。平原君乃免^ギ冠^ヲ謝^シ固畱^ム

公子^ヲ。平原君門下聞^キ之^ヲ。半去^リ平原君^ヲ歸^ス公子^ニ。天下士復往歸^ス公

子^ニ。公子傾^グ平原君^ノ客^ヲ。公子畱^リ趙^ニ十年不歸^ラ。秦聞^キ公子在^ト趙^ニ。日夜

出^シ兵東伐^ツ魏^ヲ。魏王患^ヘ之^ヲ。使使往請^ハ公子^ニ。公子恐^レ其怒^ル之^ヲ。乃誠^ム門

下^ニ有^ル敢爲^テ魏王^ノ使^ノ通^ズ者^ヲ死^セ賓客皆背^キ魏^ニ之^ヲ趙^ニ。莫^ク敢勸^ム公子^ニ歸^ル毛

公薛公兩人。

索隱曰。史
失其名。

往見^ニ公子^ヲ曰。公子所以重^シ於^ニ趙^ニ。名聞^ニ諸

侯^ニ者。徒以有^ル魏也。今秦攻^ム魏^ヲ。魏急^シ而公子不恤^ヘ。使秦破^テ大梁^ヲ而

自言舉過ハ、胡三省曰、
皇古ノ罪字、秦始皇、
皇字ノ皇字ニ近キヲ以
テ改テ罪ト爲ス。

爲公子湯沐邑ハ、胡三
省曰、凡湯沐ノ邑ト言
フハ、其賦稅ヲ以テ湯
沐ノ具ニ供スルヲ謂フ
ナリ。

竊爲公子不取也。於是公子立自責。似若無所容者。趙王埽除

自迎執主人之禮。引公子就西階。公子側行辭讓。從東階上。禮

曰。主人就東階。客就西階。自言舉過。以負於魏。索隱曰。無功於趙。趙王侍

酒至暮。口不忍獻五城。以公子退讓也。公子竟畱趙。趙王以鄒

爲公子湯沐邑。索隱曰。鄒音霍。魏亦復以信陵奉公子。公子畱趙。

公子聞趙有處士。毛公藏於博徒。薛公藏於賣漿家。徐廣曰。漿或

曰。徐按別錄云也。公子欲見兩人。兩人自匿。不肯見公子。公子聞所在。乃

閒步往。從此兩人游甚歡。平原君聞之。謂其夫人曰。始吾聞夫

人弟公子天下無雙。今吾聞之。乃妄從博徒賣漿者游。公子妄

人耳。夫人以告公子。公子乃謝夫人去。曰。始吾聞平原君賢。故

賈欄矢注索隱胡蘆ハ、
胡蘆ノ誤ナリ、邦訓夜
奈久比ナリ。

一句剪住其蘭ス邯鄲存趙趙王及平原君自迎公子於界平原君負ヒ蘭矢。

呂忱曰蘭

盛弩矢。○索隱曰蘭音蘭謂以盛矢如今之胡蘆而短也呂姓忱名作字林者爲公子先引趙王再拜曰自古賢人

未有及公子者也當此之時平原君不敢自比於人公子與侯

生決至軍侯生果北鄉自到魏王怒公子之盜其兵符矯殺晉

應前

鄙公子亦自知也已卻秦存趙使將將其軍歸魏而公子獨與

數句收上起下

客畱趙趙孝成王德公子之矯奪晉鄙兵而存趙乃與平原君

計曰五城封公子公子聞之意驕矜而有自功之色客有說公

此客國策作唐雎

子曰物有不可忘或有不可不忘夫人有德於公子公子不可

忘也公子有德於人願公子忘之也且矯魏王令奪晉鄙兵以

救趙於趙則有功矣於魏則未爲忠臣也公子乃自驕而功之

噓暗宿將ハ、董份曰、
噓暗ハ即項羽ノ暗啞叱
咤ナリ、其勇氣ヲ狀ス
ト、五井純禎曰、噓暗
ハ、即光武官フ所ノ嬰
襪ナリ、老テ而テ壯ナ
ル貌、字異ニシテ音同
シト、此說從フベキニ
似タリ。
公子親數存之、存ハ存
問スルナリ。

將。噓音鳥百反。暗音莊白反。○索隱曰。噓暗。謂
多詞句也。○正義曰。聲類云。噓。大笑。暗。大呼。

往恐不聽。必當殺之。是曰泣。

耳。豈畏死哉。於是公子請朱亥。朱亥笑曰。臣乃市井鼓刀屠者。

而公子親數存之。所以不報謝者。以爲小禮無所用。今公子有

應前朱亥故不復謝

急。此乃臣效命之秋也。遂與公子俱。公子過謝侯生。侯生曰。臣

宜從。老不能。請數公子行日。以至晉鄙軍之日。北鄉自剄。以送

公子。公子遂行。至鄴。矯魏王令代晉鄙。晉鄙合符。疑之。舉手視

公子曰。今吾擁十萬之衆。屯於境上。國之重任。今單車來代之。

何如哉。欲無聽。朱亥袖四十斤鐵椎。椎殺晉鄙。公子遂將晉鄙

軍勒兵。下令軍中曰。父子俱在軍中。父歸。兄弟俱在軍中。兄歸。

獨子無兄弟。歸養得選兵八萬人。進兵擊秦軍。秦軍解去。遂救

後漢書鄧禹傳、因留宿
閒語、注閒ハ私ナリ。

如姬資之三年ハ、方苞
曰、貨財ヲ以テ人ニ資
シ、其父ノ仇ヲ求ムル
ナリ。

得虎符ハ、胡三省曰、
虎ハ威猛ノ獸ナリ、故
ニ以テ兵符ト爲ス、漢
ニ銅虎符アリト、符ハ
二分シ、一ハ王ノ所ニ
在リ、一ハ將ノ所ニア
リ、之ヲ合セテ以テ信
ト爲スナリ。
此五霸之伐也、伐ハ功
ナリ、通鑑功ニ作ル。

鄙之兵符。常在王臥内。而如姬最幸。出入王臥内。力能竊之。羸
聞如姬父爲人所殺。如姬資之三年。

索隱曰。舊解資之三年。謂服齊衰也。
今按資者。畜也。謂欲爲父復讎之資。

畜於心已得三年也。自王以下。欲求報其父仇。莫能得。如姬爲公子泣。公子

使客斬其仇頭。敬進如姬。如姬之欲爲公子死。無所辭。顧未有

路耳。公子誠一開口請如姬。如姬必許諾。則得虎符。奪晉鄙軍。

北救趙而西卻秦。此五霸之伐也。公子從其計。請如姬。如姬果

盜晉鄙兵符與公子。公子行。侯生曰。將在外。主令有所不受。以

便國家。公子卽合符。而晉鄙不授公子兵。而復請之事。必危矣。

臣客屠者朱亥。可與俱。此人力士。晉鄙聽大善。不聽。可使擊之。

於是公子泣。侯生曰。公子畏死耶。何泣也。公子曰。晉鄙嘖嘖宿

日公子喜士ノ日ハ、侯
生端ヲ更メテ言フナ
リ。
無他端ハ、胡三省曰、
他ノ奇策以テ端ヲ發ス
ルナキナリ。
乃屏人閒語ハ、札記云、
閒ハ閒閑ノ閒ニ讀ム、

患之。數請魏王。及賓客辯士說王萬端。魏王畏秦。終不聽公子。
公子自度終不能得之於王。計不獨生而令趙亡。乃請賓客約
車騎百餘乘。欲以客往赴秦軍。與趙俱死。行過夷門。見侯生。具
告所以欲死秦軍狀。辭決而行。侯生曰。公子勉之矣。老臣不能
從。公子行數里。心不快。曰。吾所以待侯生者備矣。天下莫不聞。
今吾且死。而侯生曾無一言半辭送我。我豈有所失哉。復引車
還問侯生。侯生笑曰。臣固知公子之還也。曰。公子喜士。名聞天
下。今有難。無他端而欲赴秦軍。譬若以肉投餒虎。何功之有哉。
尚安事客。然公子遇臣厚。公子往而臣不送。以是知公子恨之
復返也。公子再拜因問。侯生乃屏人閒語曰。
索隱曰。閒音
閑。謂靜語也。嬴聞晉

上客。侯生謂公子曰。臣所過屠者朱亥。此子賢者。世莫能知。故

隱屠閒耳。公子往數請之。伏後朱亥云小禮無所用朱亥故不復謝。公子怪之。魏安釐王

二十年。秦昭王已破趙長平軍。又進兵圍邯鄲。公子姊爲趙惠

文王弟平原君夫人。數遺魏王及公子書。請救於魏。魏王使將

軍晉鄙。索隱曰。魏將姓名。將十萬衆救趙。秦王使使者告魏王曰。吾攻趙

旦暮且下。而諸侯敢救者。已拔趙。必移兵先擊之。魏王恐。使人

止晉鄙。畱軍壁鄴。名爲救趙。實持兩端以觀望。平原君使者冠

蓋相屬於魏。讓魏公子曰。勝所以自附爲婚姻者。以公子之高

義。爲能急人之困。今邯鄲旦暮降秦。而魏救不至。安在公子能

急人之困也。且公子縱輕勝。棄之降秦。獨不憐公子姊邪。公子

俾倪故久立、俾倪ハ諱
視ニ同ジ、邪視ナリ。

因謂公子曰ハ、淺稚隆
曰、前ニ公子ヲ觀ント、
欲ス、微ニ公子ヲ察ル、
兩段ノ形容、皆侯生因
テ公子ニ謂フ一段ノ張
本ト爲ス。
不宜有所過ハ、宜シク
侯生ノ家ニ過ギル有ル
ベカラズト當フ。

願枉車騎過之。公子引車入市。侯生下見其客朱亥俾倪。

索隱
曰俾

音浦計反。倪音五計反。都誕生俾音正。故久立與其客語。微察公子。公子顏

色愈和。當是時。魏將相宗室賓客滿堂。待公子。舉酒市人皆觀

公子執轡從騎皆竊罵侯生。侯生視公子色終不變。乃謝客就

車至家。公子引侯生坐上坐。徧贊賓客。索隱曰贊告也。謂以侯生徧告賓客。賓客皆驚。

酒酣公子起爲壽侯生前。侯生因謂公子曰。今日嬴之爲公子

亦足矣。徐廣曰爲一作羞。嬴乃夷門抱關者也。而公子親枉車騎自迎嬴

於衆人廣坐之中。不宜有所過。今公子故過之。然嬴欲就公子

之名。故久立公子車騎市中。過客以觀公子。公子愈恭。市人皆

以嬴爲小人。而以公子爲長者能下士也。於是罷酒。侯生遂爲

和曰、兜零ハ籠ナリ。

有寇卽火然。舉之以相告。魏王釋博。欲召大臣謀。公子止王曰。趙王田獵耳。非

爲寇也。正義曰。爲于僞反。復博如故。王恐。心不在博。居頃。復從北方來。傳

言曰。趙王獵耳。非爲寇也。魏王大驚曰。公子何以知之。公子曰。

救趙之端

臣之客。有能探得趙王陰事者。趙王所爲。客輒以報臣。臣以此

知之。是後魏王畏公子之賢能。不敢任公子以國政。魏有隱士。

曰侯嬴。

索隱曰。音盈。又曹植音羸。瘦之羸。

年七十。家貧。爲大梁夷門監者。公子聞之。

往請。欲厚遺之。不肯受。曰。臣修身絜行數十年。終不以監門困

故而受公子財。公子於是乃置酒大會賓客。坐定。公子從車騎。

虛左。自迎夷門侯生。侯生攝弊衣冠。直上。載公子。上坐。不讓。欲

以觀公子。公子執轡愈恭。侯生又謂公子曰。臣有客在市屠中。

虛左ハ、胡三省曰、古者車二乗ル、尊者左ニ在リ、左ヲ虚ウシテ侯生ヲ迎フルナリ。

史記評林卷之七十七

信陵君列傳第十七

信陵君列傳ハ、札記魏公子列傳ニ作ル、云フ宋本中統游毛各本、竝ニ索隱本ト合ス、合刻本信陵君列傳ニ作ル、疑フ正義ニ本ヅク。

且入界注桔槔兜零ハ、後漢書光武帝紀注、廣

魏公子無忌者。魏昭王少子。而魏安釐王異母弟也。昭王薨。安釐王卽位。封公子爲信陵君。索隱曰。地理志云。無信陵。或曰。是鄉邑名。是時范雎亡魏相。秦以怨魏齊故。秦兵圍大梁。破魏華陽。下軍走芒卯。魏王及公子患之。公子爲人仁而下士。士無賢不肖。皆謙而禮交之。不敢以其富貴驕士。士以此方數千里。爭往歸之。致食客三千人。當是時。諸侯以公子賢。多客。不敢加兵謀魏十餘年。公子與魏王博。而北境傳舉烽。言趙寇至。且入界。文穎曰。作高木櫓。櫓上作桔槔。桔槔頭兜零。以薪置其中。謂之烽。常低之。

史記評林卷之七十六終

索隱述贊曰。翩翩公子。天下奇器。笑姬從戮。義士增氣。兵解李同。盟定毛遂。虞卿躡蹻。受賞料事。乃困魏齊。著書見意。

蘇子古史曰。趙勝傾身下士。以竊一時之聲可耳。至于爲國計慮。勝不知也。趙欲距燕。有廉頗趙奢不能用。而割地與齊。以借田單。知單之賢。而不知其不爲趙用也。及韓馮亭以上黨嫁禍于趙。趙豹知其不可。而勝貪取之。長平之禍成于勝一言。此皆貴公子不知務之禍也。乃欲使之相危。國拒彊秦。難矣哉。然游說之士。皆歷詆諸侯。以左右網其利。獨虞卿始終事趙。專持從說。其言前後可考。無反覆之病。觀其赴魏齊之急。捐相印。棄萬戶侯。而不顧。此固義俠之士。非說客也哉。然太史公記虞卿與趙謀事。皆秦破長平後。而卿爲魏齊棄相印。走梁。則前此矣。意者魏齊死。卿自梁還復相趙。而太史公失不言之耳。

黃震曰。按去讒而遠色。固尊賢之道也。平原君以賓客稍引去。乃斬笑璧者。美人頭。雖曰人情所難。亦已甚矣。邯鄲之急。得毛遂以合楚之從。得李同募死士以須楚魏之救。邯鄲之獲全。固平原君力也。然向使不受上黨之嫁禍。則趙必無長平之敗。亦必無邯鄲之圍。平原之功。于是不足贖誤國之罪矣。太史公謂使趙陷長平兵四十餘萬。邯鄲幾亡。非歟。而譙周乃稱長平之陷。易將之咎。何怨平原。吁。何惑哉。

與魏齊聞行卒去趙困於梁、錢大昕曰、王慙曰、范雎、秦昭王ノ四十一年ヲ以テ相ト爲ル、魏齊卽是年ヲ以テ趙ニ奔リ、平原君ノ所ニ匿ル、四十二年、平原君ヲ誘執ス、魏齊虞卿ト亡、魏ニ走ル、後五年秦趙ノ長平ヲ破ル、則昭王ノ四十七年、而周赧王ノ五十五年ナリ、
辭、虞卿傳ヲ攷フルニ及ビ、魏趙ノ爲ニ事ヲ計ル、皆長平ノ後ニ在リ、唯傳ト合ハズ、故ニ古史攷、魏齊死後、虞卿復歸リ、趙ニ相タルヲ疑フ、然ルニ云フ所ノ如キハ、則史ノ窮愁著書ノ言、亦當リナシ、通鑑平原君ノ誘執スル事ヲ、赧王ノ五十六年ニ敘ス、則卿傳ト合ス。然ルニ秦五十六年正月ヲ以テ、兵ヲ罷メ、其歲九月又邯鄲ヲ攻ム、此數月ノ中、秦未ダ必能平原君ヲ誘致セズ、而平原君亦未ダ必敢テ往カズ、古史云フ所ト、未ダ執力是ナルヲ知ラズ。

乃合魏爲從。虞卿既以魏齊之故。不重萬戶侯卿相之印。與魏

詳范雎傳

齊聞行。卒去趙。困於梁。魏齊已死。不得意。乃著書。索隱曰。魏齊。魏相。與應侯有仇。秦求

之急。乃抵虞卿。卿奔相印。乃與齊聞行。亡歸梁。以託信陵君。信陵君疑未決。齊自殺。故虞卿失相。乃窮愁而著書也。上探春秋。下觀近世。曰

節義稱號。揣摩政謀。凡八篇。以刺譏國家得失。世傳之曰虞氏

春秋。正義曰。藝文志云十五篇。

太史公曰。平原君翩翩濁世之佳公子也。然未覩大體。鄙語曰。

利令智昏。平原君貪馮亭邪說。使趙陷長平。兵四十餘萬衆。邯

鄲幾亡。譙周曰。長平之陷。乃趙王信間。易將之咎。何怨平原受馮亭哉。虞卿料事。揣情爲趙畫策。何其

工也。及不忍魏齊。卒困於大梁。庸夫且知其不可。況賢人乎。然

虞卿非窮愁。亦不能著書。以自見於後世云。

媾^{ズル}於^ニ王^ニ也。從^リ秦爲^レ媾^テ。韓魏聞^キ之。必盡重^シ王^ニ。重^{ズル}王^ニ。必出^シ重寶^ヲ以^テ先^ニ於^ニ王^ニ。則是王^ニ一舉^{シテ}而結^テ三國之親^ヲ而與^ニ秦^ニ易^{フル}道^ヲ也。正義曰。前取秦攻。今得賂。是易道也。易音

亦^ヤ

趙王曰。善。則使^メ虞卿東見^ニ齊王^ニ。與^ニ之謀^ル秦^ヲ。虞卿未返^テ。秦使者

已^ニ在^ニ趙^ニ矣。樓緩聞^キ之。亡^ル去^リ。趙於是封^{ズル}虞卿^ヲ以^テ一城^ヲ。居^ル頃^{クシテ}之。而魏

請^レ爲^レ從^ニ。趙孝成王召^シ虞卿^ヲ謀^ル。過^ヅ平原君^ニ。索隱曰。平原君曰。願卿

之論^{ズル}從^ニ也。虞卿入見^ユ王^ニ。王曰。魏請^レ爲^レ從^ニ。對曰。魏過^ツ。光臥反。王曰。寡

人固未^レ之許^テ。對曰。王過^ツ。王曰。魏請^レ從^ニ。卿曰。魏過^ツ。寡人未^レ之許^テ。又

曰。寡人過^ツ。然則從^ニ終不可^ハ乎。對曰。臣聞^ク小國之與^ニ大國^ニ從事^ス也。

有利^レ。則大國受^ケ其福^ヲ。有^レ敗。則小國受^ケ其禍^ヲ。今魏曰。小國請^レ其禍^ヲ。

而王以^ニ大國^ニ辭^ス其福^ヲ。臣故曰。王過^ツ。魏亦過^ツ。竊曰。爲^レ從^ニ便^{ナリ}。王曰。善。

因秦之彊怒ハ、札記云、
疑フ怒字一ニ彊ノ旁注
ニ作ル、誤テ并ス。

危哉樓子ハ、札記云、
危讀テ詭ト爲ス、古ヘ
或危ヲ以テ詭ト爲ス、
天文志司詭星ハ、天官
書危ニ作ル、淮南說林
篇尺寸雖齊必有詭ハ、
女子危ニ作ル。

天下皆說何也。曰。吾且因彊而乘弱矣。今趙兵困於秦。天下之
賀戰勝者。則必盡在於秦矣。故不如亟割地爲和。以疑天下而
慰秦之心。不然。天下將因秦之彊怒。乘趙之弊。瓜分之。趙且亡。
何秦之圖乎。故曰。虞卿得其一。不得其二。願王以此決之。勿復
計也。虞卿聞之。往見王曰。危哉樓子之所以爲秦者。是愈疑天
下。而何慰秦之心哉。獨不言其示天下弱乎。且臣言勿予者。非
固勿予而已也。秦索六城於王。而王以六城賂齊。齊秦之深讎
也。得王之六城。并力西擊秦。齊之聽王。不待辭之畢也。則是王
失之於齊。而取償於秦也。而齊趙之深讎。可以報矣。而示天下
有能爲也。王以此發聲。兵未窺於境。臣見秦之重賂至趙。而反

緩對曰。王亦聞夫公甫文伯母乎。

正義曰。季康子從祖母。文伯名駸。康子從父昆弟。

公甫文伯

仕於魯。病死。女子爲自殺於房中者二人。其母聞之弗哭也。其

相室曰。

正義曰。謂傅姆之類也。

焉有子死而弗哭者乎。其母曰。孔子賢人也。逐

於魯而是人不隨也。今死而婦人爲之自殺者二人。若是者。必

其於長者薄。而於婦人厚也。故從母言之。是爲賢母。從妻言之。

是必不免爲妬妻。故其言一也。言者異。則人心變矣。今臣新從

秦來。而言勿予。則非計也。言予之。恐王以臣爲爲秦也。故不敢

對。使臣得爲大王計。不如予之。王曰。諾。虞卿聞之。入見王曰。此

飾說也。王脊勿予。

徐廣曰。脊音慎。

樓緩聞之。往見王。王又以虞卿之言。

告樓緩。樓緩對曰。不然。虞卿得其一。不得其二。夫秦趙構難而

以爲韓魏不救趙也而王之軍必孤有以ハ、札記云、十六字衍ナリ、趙策及ビ新序善謀篇並ニ無シ。

予秦地何如毋予孰吉ハ札記云、何字衍ナリ、如ハ與ナリ、新序ニ予秦地與無予孰吉ニ作ル、此何字疑フ後人趙策ニ依テ増ス、彼レ執

失之於天下而取償於秦也。吾國尙利。孰與坐而割地。自弱以

彊秦哉。今郝曰。秦善韓魏而攻趙者。必以爲韓魏不救趙也。而

王之軍必孤。ナラン一本有作又有以王之事秦。不如韓魏也。是使王歲以六城事

秦也。卽坐而城盡。來年秦復求割地。王將與之乎。弗與。是棄前

功而挑秦禍也。與之。則無地而給之。語曰。彊者善攻。弱者不能

守。今坐而聽秦。秦兵不弊而多得地。是彊秦而弱趙也。以益彊

之秦。而割愈弱之趙。其計故不止矣。且王之地有盡。而秦之求

無已。兩開法以有盡之地。而給無已之求。其勢必無趙矣。趙王計未定。

樓緩從秦來。趙王與樓緩計之。曰。予秦地何如毋予孰吉。緩辭

讓曰。此非臣之所能知也。王曰。雖然。試言公之私。索隱曰。按私。謂私心也。樓

解負親之攻ハ、札紀云、鮑彪國策ヲ注シ、云フ趙嘗テ秦ニ親ミ而之ニ負ク、故ニ秦來リ攻ムト、意自明ナリ、索隱據ル所ノ本、之攻誤倒ス、因テ強テ之カ説ナ爲ナリ。

無^レ割^二其^一內^二而^一媾^ズ乎。王曰。請聽^キ子^ニ割^シ矣。子能必^セ使^ル來^ニ年^一秦^ノ之^レ不^レ復^ス攻^ム我^ニ乎。趙郝對曰。此非^ニ臣^一之所^ニ敢^テ任^ス也。他日三晉之交^レ於^ニ秦^一相善^キ也。今秦善^シ韓^ニ魏^ニ而攻^ム王^ヲ。王之所以事^ル秦^ニ。必不^レ如^ニ韓^一魏^ニ也。今臣爲^ニ足^一下^ニ解^キ負^ク親^ニ之^一攻^ム。索隱曰。爲足下解其負擔而親自攻之也。開^キ關^ヲ通^シ幣^ヲ。齊^ニ交^ニ韓^一魏^ニ。至^ル來^ニ年^一而王獨取^ニ攻^ム於^ニ秦^一。此王之所以事^ル秦^ニ。必在^ニ韓^一魏^ニ之後^一也。此非^ニ臣^一之所^ニ敢^テ任^ス也。王以告^グ虞^ニ卿^一。虞卿對曰。郝言不^レ媾^ズ。來^ニ年^一秦復攻^ム王^ヲ。王得^レ無^レ割^二其^一內^二而^一媾^ズ乎。今媾^ズ郝又以不^レ能^ニ必^ス秦^一之不^レ復^ス攻^ム也。今雖割^ト六^ニ城^一。何益^{セン}。來^ニ年^一復^テ攻^ム。又割^テ其^一力^{之所}不能^レ取^ル而媾^ズ。此自盡^ル之術也。不^レ如^ニ無^一媾^ズ。秦雖善^シ攻^ム。不能^レ取^ニ六^一縣^ニ。趙雖不能^レ守^ル。終不^レ失^ル六^ニ城^一。秦倦^テ而歸^ル兵^ニ必^ス罷^ス。我目^ニ六^一城^ニ收^メ天下^ヲ以攻^ム罷^ニ秦^一。是我

矣。鄭朱貴人也。入秦。秦王與應侯必顯重以示天下。楚魏以趙爲媾。必不救王。秦知天下不救王。則媾不可得成也。應侯果顯鄭朱。以示天下賀戰勝者。終不肯媾。長平大敗。遂圍邯鄲。爲天下笑。秦既解邯鄲圍。而趙王入朝。使趙郝約事於秦。

郝音釋。徐廣曰。一作赦。

割六縣而媾。虞卿謂趙王曰。秦之攻王也。倦而歸乎。王以其力尙能進。愛王而弗攻乎。王曰。秦之攻我也。不遺餘力矣。必以倦而歸也。虞卿曰。秦以其力攻其所不能取。倦而歸。王又以其力之所不能取。以送之。是助秦自攻也。來年秦復攻王。王無救矣。王以虞卿之言告趙郝。趙郝曰。虞卿誠能盡秦力之所至乎。誠知秦力之所不能進。此彈丸之地弗予。令秦來年復攻王。王得

卿。譙周曰。食邑於虞。○索隱曰。趙之虞。在河東太陽縣。今之虞卿縣是也。秦趙戰於長平。趙不勝。亡一都尉。

趙王召樓昌與虞卿曰。軍戰不勝。尉復死。徐廣曰。復一作係。寡人使束甲

而趨之。何如。樓昌曰。無益也。不如發重使爲媾。古后反。求和曰媾。○索隱曰。按媾亦講。講

亦和也。虞卿曰。昌言媾者。以爲不媾軍必破也。而制媾者在秦。且

王之論秦也。欲破趙之軍乎。不邪。王曰。秦不遺餘力矣。必且欲

破趙軍。虞卿曰。王聽臣。發使出重寶以附楚魏。楚魏欲得王之

重寶。必內吾使。趙使入楚魏。秦必疑天下之合從。且必恐。如此

則媾乃可爲也。趙王不聽。與平陽君爲媾。發鄭朱入秦。秦內之。

趙王召虞卿曰。寡人使平陽君爲媾於秦。秦已內鄭朱矣。卿以

爲奚如。虞卿對曰。王不得媾。軍必破矣。天下賀戰勝者皆在秦。

ニ功ナクシテモ城ヲ受ケ、而國人ナレバ、其功ノ有無ヲ計較シテ、賞罰スルヲ言フ。

事成操右券以實ハ、券ハ本臘ヲ以テ契約ノ書ヲ爲ル、左券右券アリ、商子云、左券ヲ以テ吏ノ法令ヲ主ドル者ニ與ヘ、法令ヲ主ドル者ニ吏ノ其右券ヲ藏スト、虞卿契約ノ書ヲ操テ、其報德ヲ實ムル如キヲ言フ。

平原君厚待公孫龍云云ハ、方苞曰、平原君喜ブ所ハ策士ナリ、而終フルニ著書談道ノ士ヲ以テス、因テ虞卿著書ト相映ズ。

親戚受城。而國人計功也。

徐廣曰。一本是親戚受城。而以國許人。

此甚不可。且虞卿操

其兩權。事成。操右券以責。

索隱曰。言虞卿論平原君取封事。成。則操其右券以責其報德也。

事不成。以虛

名德君。君必勿聽也。平原君遂不聽虞卿。平原君以趙孝成王

十五年卒。

索隱曰。六國年表及世家並云十四年卒。與此不同。

子孫代。後竟與趙俱亡。平原君厚

待公孫龍。公孫龍善爲堅白之辯。及鄒衍過趙。

索隱曰。言至道。乃過音戈。

乃

絀公孫龍。

劉向別錄曰。齊使鄒衍過趙。平原君見公孫龍及其徒棊母子之屬論白馬非馬之辯。以問鄒子。鄒子曰。不可。彼天下之辯有五勝三至。而辭正爲下。辯者別殊類使不相害。序異端使不相亂。抒意通指。明其所謂。使人與知焉。不務相迷也。故勝者不失其所守。不勝者得其所求。若是故辯可爲也。及至煩文以相假。飾辭以相悖。巧譬以相移。引入聲。使不得及其意。如此害大道。夫繳紛爭言。而競後息。不能無害。君子坐皆稱善。○索隱曰。抒音堅。抒者舒也。繳音糾。謂繳繞紛亂爭言。而競後息。不能無害也。

虞卿者游說之士也。躡蹻擔簦。

徐廣曰。躡草屨也。簦長柄笠。音登。笠有柄者謂之簦。○索隱曰。躡音脚。

說趙

孝成王。一見賜黃金百鎰。白璧一雙。再見爲趙上卿。故號爲虞

功而作。家之所有。盡散以饗士。士方其危苦之時。易德耳。正義曰。言士方

危苦之時。於是平原君從之。得敢死之士三千人。李同遂與三千

人赴秦軍。秦軍爲之卻三十里。亦會楚魏救至。秦兵遂罷。邯鄲

復存。李同戰死。封其父爲李侯。徐廣曰。河內城阜有李城。○正義曰。懷州溫縣。本李城也。李同父所封。隋煬帝從故溫城移縣。

於此。虞卿欲以信陵君之存邯鄲爲平原君請封。公孫龍聞之夜

駕見平原君曰。龍聞虞卿欲以信陵君之存邯鄲爲君請封。有

之乎。平原君曰。然。龍曰。此甚不可。且王舉君而相趙者。非以君

之智能爲趙國無有也。割東武城而封君者。非以君爲有功也。

而以國人無勳。乃以君爲親戚故也。君受相印。不辭無能。割地

不言無功者。亦自以爲親戚故也。今信陵君存邯鄲而請封。是

而以國人無勳ハ、礼記云、此句誤アラシ、疑フ以字衍、上句也字當ニ此下ニ在ルベシ。是親戚受城而國人計功也ハ、親戚ヲ以テノ故

九鼎大呂注索隱天子ハ、天下ノ銀ナリ。

字同注正義太史公諱改ハ、司馬遷ノ父名談ナリ、故ニ遷之ヲ諱テ同ト改ム。

生而失之也。毛先生一至楚而使趙重於九鼎大呂。索隱曰。九鼎大呂。國之寶器。言

毛遂至楚使趙重於九鼎大呂。謂爲天子所重也。○正義曰。大呂。周廟大鍾。毛先生以三寸之舌。彊於百萬之師。

勝不敢復相士。遂以爲上客。平原君既返趙。楚使春申君將兵

赴救趙。魏信陵君亦矯奪晉鄙軍往救趙。皆未至。秦急圍邯鄲。

邯鄲急。且降。平原君甚患之。邯鄲傳舍吏子李同。正義曰。名談。太史公諱改也。說

平原君曰。君不憂趙亡邪。平原君曰。趙亡則勝爲虜。何爲不憂

乎。李同曰。邯鄲之民炊骨易子而食。可謂急矣。而君之後宮以

百數。婢妾被綺縠。餘粱肉。而民褐衣不完。糟糠不厭。民困兵盡。

或剡木爲矛矢。而君器物鍾磬自若。使秦破趙。君安得有此。使

趙得全。君何患無有。今君誠能令夫人以下。編於士卒之間。分

郢^ナ再戰^{シテ}而燒^キ夷陵^ナ。三戰^{シテ}而辱^{シム}王之先人^ナ。此百世^{痛切}之怨^{ニシテ}而趙之所

羞^ル。而王弗^ツ知^ル惡^ム焉。

正義曰。惡。烏故反。

合從者^{スル}爲^メ楚^ニ。非^ル爲^メ趙^ニ也。吾君在前^ニ。叱^{スル}

者何也。楚王曰。唯唯。誠若^シ先生之言^ノ。謹奉^シ社稷^ニ。而以從^ヘ毛遂^ニ曰。

從^マ定^ル乎。楚王曰。定矣。毛遂謂^ヒ楚王之左右^ニ曰。取^リ雞狗馬之血^ヲ來^レ。

索隱曰。盟之所用牲。貴賤不同。天子用牛及馬。諸侯以犬及豕。大夫已下用雞。今此總言盟之用血。故云取雞狗馬之血來耳。

毛遂奉^ツ銅盤^ヲ。

索隱曰。奉。音捧。若周

禮。則用珠盤也。

而跪進^メ之^ナ。楚王曰。王當^ニ歃^ツ血^ヲ而定^ナ。從^ナ次者吾君。次者遂。遂

定^ニ從^ナ於^ニ殿上^ニ。毛遂左手持^シ盤^ヲ血^ヲ。而右手招^キ十九人^ヲ曰。公相與^ニ歃^ツ

此血^ヲ於^ニ堂下^ニ。

索隱曰。歃。音所甲反。

公等錄錄^{音祿}。

○索隱曰。音六。王劭云。錄。借字耳。又說文云。錄。錄。隨從之貌也。

所謂因^レ人

成^ス事^ヲ者也。平原君已^ニ定^ナ從^ナ而歸^ル。歸^リ至於^ニ趙^ニ曰。勝不^レ敢復^ツ相^シ士^ヲ。勝

相^シ士^ヲ多^キ者千人。寡^キ者百數。自^ミ目^ヲ爲^レ不^レ失^ハ天下之士^ヲ。今乃於^ニ毛先

反應前先生不能

公等錄錄、索隱曰說文云錄錄隨從之貌也ハ、錢大昕曰、說文モト錄ニ作リ、云フ隨從ナリ、故ニ王劭錄ヲ以テ借字ト爲ス、札記云、廣韻史ヲ引テ錄ニ作ル。

索隱本廢 各本發ニ作
ル雜志云、未タ口ニ發
セザルヲ謂フナリ、廢
ハ即發ノ借字ナリ。

原君與楚合從。言其利害。日出而言之。日中不決。十九人謂毛
遂曰。先生上。毛遂按劍歷階而上。謂平原君曰。從之利害。兩言
而決耳。今日出而言從。日中不決。何也。楚王謂平原君曰。客何
爲者也。平原君曰。是勝之舍人也。楚王叱曰。胡不下。吾乃與而
君言。汝何爲者也。毛遂按劍而前曰。王之所以叱遂者。以楚國
之衆也。今十步之內。王不得恃楚國之衆也。王之命懸於遂手。
吾君在前。叱者何也。且遂聞湯以七十里之地。王天下。文王以
百里之壤。而臣諸侯。豈其士卒衆多哉。誠能據其勢。而奮其威。
今楚地方五千里。持戟百萬。此霸王之資也。以楚之彊。天下弗
能當。白起小豎子耳。率數萬之衆。興師以與楚戰。一戰而舉鄢

テ疆盟シテ、從テ定メ
ント言フ、此文武備具
スル者ト傳ニスル所以
ナリ。
前自贊於平原君ハ、贊
ハ進ナリ、前漢書東方
朔傳、朔自贊曰云云、
師師古注ニ、贊ハ進ナ
リ。

乃穎脫而出、穎ハ錐鉞
ナリ、脫ハ逸ナリ、猶
錐ノ衝突シ、囊中ヲ逸
脱シテ、全ク出ヅル如
シ、特ニ其末僅ニ見ハ
ルノミニ非ルヲ言フ。
相與目笑之而未發也
ハ、董份曰、目笑ハ、
之ヲ輕ンズルノ意、目
ニ寓スルナリ、未發ハ、
札記未廢ニ作ル、云フ

索。取^メ於^ニ食客門下^一足矣。得^ニ十九人^一。餘無^ニ可^レ取^メ者。無^ニ以^ニ滿^ニ二十人^一。
門下有^ニ毛遂者^一。前^デ自^ミ贊^{シテ}於^ニ平原君^一曰。遂聞^ニ君將^ニ合^ニ從^ニ於^ニ楚^一。約^メ與^ニ
食客門下^一二十人^一偕^ニ不^ニ外^ニ索^一。今少^ニ一^一人。願^フ君即^チ以^レ遂^ヲ備^ニ員^一而行^ケ。
矣。平原君曰。先生處^ニ勝之門下^一。幾^ニ年^一於^ニ此^一矣。毛遂曰。三年於^ニ此^一。
矣。平原君曰。夫賢士之處^ニ世也^一。譬^ニ若^ニ錐之處^ニ囊中^一。其末立^ニ見^ニ今^一。
先生處^ニ勝之門下^一。三年於^ニ此^一矣。左右未^レ有^ニ所^一稱^ニ誦^ニ勝未^レ有^ニ所^一聞^ニ。
是先生無^ニ所有^一也。先生不能^ニ先生畱^ニ毛遂曰^一。臣乃今日請^ニ處^ニ囊^一。
中^ニ耳^一。使^ニ遂蚤得^ニ處^ニ囊中^一。乃穎脫^{シテ}而出^シ。
索隱曰。鄭玄云。穎。環也。脫音吐活反。非特其末見
而已。平原君竟與^ニ毛遂偕^ニ十九人相與^一目^ニ笑^ニ之^一。而未^レ發^セ也。
索隱曰。發。一作廢。鄭玄云。皆目視而
輕笑之。未能即廢弃之也。毛遂比^ニ至^ニ楚^一。與^ニ十九人^一論議^ス。十九人皆服^ニ平

ト同ジ、各本廢ニ作ル。

臣願得笑臣者頭。平原君笑應曰。諾。蹇者去。平原君笑曰。觀此

豎子。乃欲以一笑之故。殺吾美人。不亦甚乎。終不殺。居歲餘。賓

客門下。舍人稍稍引去者過半。平原君怪之。曰。勝所以待諸君

者。未嘗敢失禮。而去者何多也。門下一人前對曰。以君之不殺

笑蹇者。以君爲愛色而賤士。士卽去耳。於是平原君乃斬笑蹇

反應前貴士賤妾語

者。美人頭自造門進。蹇者因謝焉。其後門下乃復稍稍來。是時

齊有孟嘗。魏有信陵。楚有春申。故爭相傾以待士。徐廣曰。待一作得。秦之

圍邯鄲。正義曰。趙惠文王九年。秦昭王十五年。趙使平原君求救。合從於楚。約與食客

門下有勇力文武備具者二十人偕平原君曰。使文能取勝。則

善矣。文不能取勝。則歃血於華屋之下。必得定從而還。士不外

使文能取勝則善矣云云ハ、蓋文ハ文辭言語ヲ謂フ、文辭サ以テ勝ヲ取レバ則善シ、若勝ツ能ハザレバ、勇力ヲ以

史記評林卷之七十六

平原君虞卿列傳第十六

平原君趙勝者。趙之諸公子也。

正義曰。勝式證反。徐廣曰。魏公子傳曰。趙惠文王弟。

諸子中勝最

賢。喜賓客。總案賓客蓋至者數千人。平原君相趙惠文王。及孝成王。

三去相。三復位。封於東武城。

徐廣曰。屬清河。○正義曰。今貝州武城縣也。

平原君家樓臨民

家。民家有躡者。槃散行汲。

散亦作跚。○索隱曰。上躡音壁。散音先寒反。亦作珊。音同。○正義曰。躡。跛也。

平原君美

人居樓上。臨見大笑之。明日躡者至。平原君門請曰。臣聞君之

喜士。士不遠千里而至者。以君能貴士而賤妾也。臣不幸有罷

瘡之病。

徐廣曰。瘡音隆。瘡病也。○索隱曰。罷音皮。瘡音呂宮反。罷瘡背疾。言腰曲而背瘡高也。

而君之後宮臨而笑臣。

槃散行汲、槃散ハ亦躡
躡ニ作ル、跛行ノ貌ナ
リ、跛ハ足偏癢スルナ
リ。

罷瘡之病、札記罷瘡ニ
作ル、云フ毛本索隱本

史記評林卷之七十五終

何益于大故乎。誠使當時之客如孟氏焉。在梁曰仁義。在齊又曰仁義。執吾之正論。以治天下。則四公子之禮遇。不爲虛設。其亦庶乎有補也。而奈之何其不然也。是以史遷於田文也。斷之曰自喜。夫固斥其爲一己之私好。非天下之公好焉耳。然則客之爲禍。他日浸浸不已。非田文之徒實漲其波而誰哉。至若秦王之興。以囊括四海。包舉宇宙之志。非戰國爭立比也。而猶曰逐客。不知是客也將何歸乎。是必如晉之范粲。寢所乘車。足不履地。乃可。良用一慨。

楊維禎曰。秦聞田文賢。而請于齊。收天下之豪傑。以屠之。爾。文信甘心以往。獨不聞楚懷王之執乎。位文以相。其能容于國舅。魏將軍乎。文客以千計。公孫弘稱可以致主伯王者五人。未聞五人者爲文計何也。吾是以知文之客皆雞狗耳。或曰。文養雞狗。終賴雞狗以脫死。雞狗何負于文哉。吁。苟客有一人異于雞狗者。則文何翅於脫死。三國伐秦。兵臨函谷。師出有名。秦人爲之震恐。割地求解。是舉也。楚囚可出。齊國可伯。又信蘇代以罷兵。客無一人異于雞犬者。信矣。

此一段ヲ申ヌ、孟嘗君客ヲ遇スル故ノ如キヲ見ル、亦一例ナリ。

生之言敢不奉教焉。

太史公曰。吾嘗過薛。其俗閭里率多暴桀子弟。與鄒魯殊。問其故。曰。孟嘗君招致天下任俠姦人入薛中。蓋六萬餘家矣。世之傳孟嘗君好客自喜名不虛矣。

索隱述贊曰。靖郭之子。威王之孫。既彊其國。實高其門。好客喜士。見重平原。雞鳴狗盜。魏子馮煖如何承睫。薛縣徒存。

蘇子古史曰。戰國以詐力相侵伐二百餘年。兵出未嘗有名。秦昭王欺楚懷王而囚之。要以割地。諸侯孰視無敢以一言問秦者。惟田文免相于秦。幾不得脫。歸而怨之。乃借楚爲名。與韓魏伐秦。兵至函谷。秦人震恐。割地以予韓魏。僅乃得免。自山東難秦。未有若此壯者也。夫兵直爲壯。曲爲老。有名之兵。誰能禦之。使田文能奮其威。則是役也。齊可以伯。惜其聽蘇代之計。臨函谷而無攻。以求楚東國。而出師之名。索然以盡。東國既不可得。而懷王卒死于秦。由此觀之。秦惟不遇桓文。是以橫行。而莫之制耳。世豈有以大義而屈于不義者哉。

陳仁子曰。客之稱。四海一君之世無是也。故在春秋時。百里奚虞人也。而客於秦。苗賁皇楚人也。而客於晉。欒盈之去晉而客也。爲晉之憂。子胥之去楚而客也。爲楚之患。大抵皆客也。浸淫至戰國。談天雕龍。蜂起泉湧。猶空言爾。儀秦以從橫爲劍佩。其禍生民何限哉。而四公子之徒。直以取數之多。爭爲雄長。要其所得。不過雞鳴狗盜之輩爾。夫

君獨不見夫朝趨市者乎、札記趨市趣二作リ、注索隱亦趣二作ル、云フ索隱本趣、字類引ク同ジ各本趣二作ル、雜志云、當二趣市朝二作ルベシ、下文過市朝者、正ニ此文ヲ承ク、索隱本已ニ譌スト。

孟嘗君再拜曰敬從命矣、孟之象曰、傳末復

客見文一日廢皆背文而去莫顧文者今賴先生得復其位客亦有何面目復見文乎如復見文者必唾其面而大辱之馮驩結轡下拜孟嘗君下車接之曰先生爲客謝乎馮驩曰非爲客謝也爲君之言失夫物有必至事有固然君知之乎孟嘗君曰愚不知所謂也曰生者必有死物之必至也富貴多士貧賤寡友事之固然也君獨不見夫朝趨市者乎

索隱曰趨音娶趨向也又音趨

明日側

肩爭門而入日暮之後過市朝者掉臂而不顧

索隱曰過光臥反朝音潮言市之行列有

如朝位因言市朝云非好朝而惡暮所期物忘其中

索隱曰期物謂入市心中所期之物利人平明側肩爭門而入至日

暮所期忘其中忘者無也其中市朝之中言日暮物盡故掉臂不顧也

今君失位賓客皆去不足以怨士而

徒絕賓客之路願君遇客如故孟嘗君再拜曰敬從命矣聞先

乃使人至境候秦使ハ、
董份曰、王未ダ馮驩ノ
言ヲ信ゼズ、其實ヲ驗
セント欲スルナリ。

弱齊者。夫秦齊雄雌之國。秦彊則齊弱矣。此勢不兩雄。今臣竊聞秦遣使車十乘載黃金百鎰。以迎孟嘗君。孟嘗君不西則已。西入相秦。則天下歸之。秦爲雄而齊爲雌。雌則臨淄卽墨危矣。王何不先秦使之未到。復孟嘗君而益與之邑。以謝之。孟嘗君必喜而受之。秦雖彊國。豈可以請人相而迎之哉。折秦之謀而絕其霸彊之略。齊王曰善。乃使人至境候秦使。秦使車適入齊境。使還馳告之。王召孟嘗君而復其相位。而與其故邑之地。又益以千戶。秦之使者聞孟嘗君復相齊。還車而去矣。自齊王毀廢孟嘗君。諸客皆去。復召而復之。馮驩迎之。未到。孟嘗君太息歎曰。文常好客。遇客無所敢失。食客三千有餘人。先生所知也。

憑軾結鞶、軾ハ車ノ前
ニ在ル橫木ナリ、鞶ハ
牛ノ胸ニ當ル革ナリ。
勢不兩立爲雄雄者云云、
札記云、雄志顧子明チ
引テ曰、爲雄二字下ニ
屬シ一雄字チ衍スト。

憑軾結鞶。西入秦者。無不欲彊秦而弱齊。憑軾結鞶。東入齊者。
無不欲彊齊而弱秦。此雄雌之國也。勢不兩立爲雄。雄者得天下
矣。秦王蹠而問之曰。何以使秦無爲雌而可。馮驩曰。王亦知
齊之廢孟嘗君乎。秦王曰。聞之。馮驩曰。使齊重於天下者。孟嘗
君也。今齊王以毀廢之。其心怨。必背齊。背齊入秦。則齊國之情。
人事之誠。盡委之秦。齊地可得也。豈直爲雄也。君急使使載幣。
陰迎孟嘗君。不可失時也。如有齊覺悟。復用孟嘗君。則雌雄之
所在。未可知也。秦王大悅。乃遣車十乘黃金百鎰。以迎孟嘗君。
馮驩辭以先行。至齊。說齊王曰。天下之游士。憑軾結鞶。東入齊
者。無不欲彊齊而弱秦者。憑軾結鞶。西入秦者。無不欲彊秦而

疊前語

孟嘗君乃拊手而謝之、
 凌稚隆曰、戰國策ニ、
 馮驩薛ノ債券ヲ焚ク、
 後齊年ニシテ、孟嘗君
 相ヲ免ジ、國ニ薛ニ就
 ク、未ダ至ラザル百里、
 民老ナ扶ケ幼ナ携ヘ以
 テ迎フト、太史公載セ
 ズ、始末チ缺クニ似タ
 リ。

其息客食恐不足。故請先生收責之。聞先生得錢。卽以多具牛
 酒。而燒券書。何。馮驩曰。然不多具牛酒。卽不能畢會。無以知其
 有餘不足。有餘者爲要期。不足者雖守而責之十年。息愈多。急
 卽以逃亡。自捐之。若急終無以償。上則爲君好利。不愛士民。下
 則有離上抵負之名。非所以厲士民彰君聲也。焚無用虛債之
 券。捐不可得之虛計。令薛民親君而彰君之善聲也。君有何疑
 焉。孟嘗君乃拊手而謝之。齊王惑於秦楚之毀。以爲孟嘗君名
 高其主。而擅齊國之權。遂廢孟嘗君。諸客見孟嘗君廢。皆去。馮
 驩曰。借臣車一乘。可以入秦者。必令君重於國。而奉邑益廣。可
 乎。孟嘗君乃約車幣而遣之。馮驩乃西說秦王曰。天下之游士。

出息錢於薛ハ、札記云、
游王本、出ナ食ニ作ル。

爲民之無者以爲本業
也、札記云、者字疑フ
衍ナラン、下爲無以奉
客也ト云フ、兩無字相
對スルヲ以テ文ヲ爲ス
ト、則民ノ以テ本業ト
爲ス無キ爲メナリト讀
ムベシ。

不足^レ以^ズ奉^ニ賓客^ニ。故^ニ出^{サシム}息錢^チ於^ニ薛^ニ。薛歲^{ゴトニ}不^レ入^レ。民頗^ル不^レ與^ニ其息^チ。今客
食恐^ル不^レ給^セ。願^フ先生責^メ之^チ。馮驩曰。諾^{シテ}。辭行^グ。至^リ薛^ニ。召^{シテ}取^ル孟嘗君錢^チ者^ヲ
皆會^ス。得^ニ息錢^チ十萬^ヲ。乃多^ク釀^シ酒^チ買^ヒ肥牛^ヲ。召^ス諸取^ル錢^チ者^ヲ。能^レ與^ル息者^ヲ皆
來^レ。不^ル能^レ與^ル息者^モ亦來^レ。皆持^テ取^ル錢^チ之券書^チ合^{セント}之^チ。齊爲^ニ會日^チ。殺^シ牛置^ク
酒^チ。酒酣^{ナリ}。乃持^チ券如^ク前合^ス之^チ。能^レ與^ル息者^ハ與^ニ爲^シ期^チ。貧不^レ能^レ與^ル息者^ハ取^ニ
其券^ヲ而燒^ク之^チ。曰。孟嘗君所以貸^ス錢^チ者。爲^ニ民之無者^キ。以爲^ニ本業^ト也。
所以求^{ムル}息者^チ。爲^メ無^ニ以奉^ズ客也^チ。今富給^{ナル}者以要^ス期^チ。貧窮者燔^{キテ}券書^ヲ
以捐^ッ之^チ。諸君彊^メ飲食^{セヨル}。有^レ君如此^ニ。豈^ニ可^ン負^{ソム}哉^カ。坐者皆起再拜^ス。孟嘗
君聞^キ馮驩燒^{ケテ}券書^ヲ。怒^ッ而使^ニ使召^サ驩^ヲ。驩至^ル。孟嘗君曰。文食客三千
人。故貸^ス錢^チ於^ニ薛^ニ。文奉邑少^{ウシク}。索隱曰。言文之奉邑少^ク。故令^ニ出^ス息於^ニ薛^ニ也。而民尙^ホ多^ク不^ニ以時與^ニ

語曰ハ、語各本歌ニ作
ル、歸來乎ノ乎、御覽
引テ今ニ作ル、下同ジ。

歳餘不入ハ、皆川淇園
曰、歳凶ニシテ其租ヲ
入レザルナリ。

長者無他技能ハ、長者
ナレドモ、他ノ技能ナ
キナリ。

物可装。但以蒯繩。彈其劍而謠曰。長鋏歸來乎。食無魚。孟嘗君遷之。
纏之。故云蒯繩也。幸舍。食有魚矣。五日。又問傳舍長。答曰。客復彈劍而歌曰。長鋏
歸來乎。出無輿。孟嘗君遷之代舍。出入乘輿車矣。五日。孟嘗君
復問傳舍長。舍長答曰。先生又嘗彈劍而歌曰。長鋏歸來乎。無
以爲家。孟嘗君不悅。居朞年。馮驩無所言。孟嘗君時相齊。封萬
戶於薛。其食客三千人。邑入不足以奉客。正義曰。奉符用反。使人出錢於
薛。歳餘不入。貸錢者多。不能與其息。索隱曰。與猶還也。息猶利也。客奉將不給。孟
嘗君憂之。問左右何人可使收債於薛者。傳舍長曰。代舍客馮
公。形容狀貌甚辯。長者無他技能。伎亦作技。宜可令收債。孟嘗君乃
進馮驩而請之曰。賓客不知文不肖。幸臨文者三千餘人。邑入

中立爲諸侯ハ、札記中
立於諸侯ニ作ル、云フ
竊刻於各本爲ニ誤ル。

初馮驩云ハ、方苞曰、
馮驩ノ事國策ニ見ユ、
而テ語ハ則異ナリ、蓋
秦漢ノ間、戰國權變ヲ
論ズル者一家ニ非ズ、
史公録スル所、今傳ノ
國策ト異ナルノミ。
置傳舍十日ハ、札記云、
御覽三百四十六、引テ
置之傳舍五日ニ作ル、
疑フ今本脫誤アラン。

嘗君恐。乃如魏。魏昭王以爲相。西合於秦趙。與燕共伐破齊。齊

湣王亡在莒。遂死焉。齊襄王立。而孟嘗君中立。爲諸侯無所屬。

齊襄王新立。畏孟嘗君。與連和。復親薛公。文卒。諡爲孟嘗君。

皇覽

曰。孟嘗君冢在魯國薛城中向門東。向門出北邊門也。詩云。居常與許。鄭玄曰。常或作嘗。在薛之南。孟嘗邑于薛城。○索隱曰。孟嘗襲父封薛。而號曰孟嘗君。此云諡。非也。孟字。嘗邑名。嘗邑在薛之旁。○正義曰。括地志云。孟嘗君墓在徐州滕縣五十二里。卒在齊襄王之時也。

諸子爭立。而齊魏共滅薛。孟嘗

絕嗣無後也。初馮驩聞孟嘗君好客。驩音歡。復作

索隱

曰。驩音腳字。亦作驕。又作僑。孟嘗君曰。先生遠辱。何以教文也。馮驩曰。聞君好士。

以貧身歸於君。孟嘗君置傳舍十日。索隱曰。傳音逐緣反。按傳舍幸舍及代舍。並當上中下三等之客所舍之

名耳。孟嘗君問傳舍長曰。客何所爲。答曰。馮先生甚貧。猶有一劍

耳。又蒯綬。蒯音苦怪反。茅之類。可爲繩。言其劍把無物可裝。以小繩纏之也。綬音侯。亦作侯。謂把劍之處。○索隱曰。蒯草名。音蒯。蒯之蒯。綬謂把劍之物。言其劍無

ルナリ。

以自厚其行。又且得反齊王之有信。以不逐周最也。

又禁天下之變。

索隱曰。變。謂齊秦合則親弗呂禮用。用則秦齊輕孟嘗也。

齊無秦

則天下集齊。親弗必走。則齊王孰與爲其國也。於是孟嘗君從

其計。而呂禮嫉害於孟嘗君。孟嘗君懼。乃遺秦相穰侯魏冉書。

曰。吾聞秦欲以呂禮收齊。齊天下之彊國也。子必輕矣。齊秦相

取以臨三晉。呂禮必并相矣。是子通齊以重呂禮也。若齊免於

天下之兵。其讎子必深矣。子不如勸秦王伐齊。齊破。吾請以所

得封子。齊破。秦畏晉之彊。秦必重子以取晉。晉國弊於齊而畏

秦。晉必重子以取秦。是子破齊以爲功。挾晉以爲重。是子破齊

定封。秦晉交重子。若齊不破。呂禮復用。子必大窮。於是穰侯言

於秦昭王。伐齊。而呂禮亡。後齊湣王滅宋。益驕。欲去孟嘗君。孟

乃奔魏子所與粟賢者聞之、札記云、御覽四百三十六、引テ乃奔魏前有獲粟於孟嘗之賢者上聞之ニ作ル、蓋是別本タリ、然ルニ之ヲ推スニ、此本疑フ魏字當ニ重メベシ。以爲盟ハ、皆川淇園曰、照疑フ明ノ譌ナラ

且反齊王之信ハ、皆川淇園曰、反ハ初ニ復ス

賢者竊假與之。以故不致入。孟嘗君怒而退魏子。居數年。人或

毀孟嘗君於齊。潛王曰。孟嘗君將爲亂。及田甲劫潛王。潛王意

疑孟嘗君。孟嘗君乃奔。索隱曰。潛王三十年。田甲劫王。薛文走。魏子所與粟賢者聞之。

乃上書言。孟嘗君不作亂。請以身爲盟。遂自到宮門。以明孟嘗

君。潛王乃驚而蹤跡驗問。孟嘗君果無反謀。乃復召孟嘗君。孟

嘗君因謝病。歸老於薛。潛王許之。其後秦亡將呂禮相齊。欲困

蘇代。代乃謂孟嘗君曰。周最於齊至厚也。正義曰。周最。周之公子。而齊王逐

之而聽親弗。親弗。人姓名。○索隱曰。戰國策作祝弗。蓋祝爲得之。相呂禮者欲取秦也。齊秦合則

親弗與呂禮重矣。有用齊。秦必輕君。君不如急北兵趨趙。以和

秦魏。收周最以厚行。且反齊王之信。索隱曰。周最本厚於齊。今欲逐之而相秦之亡將。蘇代謂孟嘗令齊收最

楚王割東國以與齊、注齊ハ當ニ楚ニ作ルヘシ。

韓魏賀秦ハ、札記云、魏賀二字誤ル、策ニ韓慶入秦ニ作ル、是ナリ。

無秦患。則齊危矣。韓魏必輕齊。畏秦。臣爲君危之。君不如令弊邑西周深合於秦。而君無攻。又無借兵食。君臨函谷而無攻。令弊邑以君之情。謂秦昭王曰。薛公必不破秦。以彊韓魏。其攻秦也。欲王之令楚王割東國。以與齊。正義曰。東國。齊徐夷。而秦出楚懷王。以爲和。君令弊邑。以此惠秦。秦得無破。而以東國自免也。秦必欲之。楚王得出。必德齊。齊得東國。益彊。而薛世世無患矣。秦不大弱。而處三晉之西。三晉必重齊。薛公曰。善。因令韓魏賀秦。使三國無攻。而不借兵。食於西周矣。是時楚懷王入秦。秦留之。故欲必出之。秦不果出。楚懷王。孟嘗君相齊。其舍人魏子。爲孟嘗君收邑入。索隱曰。舍人官微。記姓而略其名。故云。魏子收。謂收其國之租稅。三反而不致。一入。孟嘗君問之。對曰。有

齊湣王不自得ハ、董份
曰、己レ之ヲ遣リ、幾
ンド秦ニ害セラル、故
ニ自ラ安ンゼザルヲ言
フノミ、注釋ル。

鳴。遂發傳出。出如食頃。秦追果至關。已後孟嘗君出乃還。始孟

嘗君列此二人於賓客。賓客盡羞之。及孟嘗君有秦難。卒此二

人拔之。自是之後客皆服。孟嘗君過趙。趙平原君客之。趙人聞

孟嘗君賢。出觀之。皆笑曰。始以薛公爲魁然也。今視之乃眇小

丈夫耳。孟嘗君聞之怒。客與俱者下斫擊殺數百人。遂滅一縣

以去。齊湣王不自得。以其遣孟嘗君。索隱曰。得一作德。是湣王遣孟嘗君。自言己無德故也。孟嘗

君至。則以爲齊相。任政。孟嘗君怨秦。將以齊爲韓魏攻楚。因與

韓魏攻秦。徐廣曰。年表云。韓魏齊共擊秦軍於函谷。而借兵食於西周。蘇代爲西周謂曰。

索隱曰。戰國策作韓君以齊爲韓魏攻楚。九年取宛葉以北。以彊韓

魏。正義曰。宛在鄧州。葉在許州。二縣以北舊屬楚。二國共沒以入韓魏。今復攻秦以益之。韓魏南無楚憂。西

後秦。秦其危矣。於是秦昭王乃止。囚孟嘗君。謀欲殺之。孟嘗君

使人抵昭王幸姬求解。索隱曰。抵音丁禮反。按抵謂觸冒而求之也。幸姬曰。妾願得君狐白

裘。韋昭曰。以狐之白毛爲裘。謂集狐腋之毛。言美而難得者。此時孟嘗君有一狐白裘。直千金。天下

無雙。入秦獻之昭王。更無他裘。孟嘗君患之。徧問客。莫能對。最

下坐有能爲狗盜者。曰臣能得狐白裘。乃夜爲狗。以入秦宮藏

中。正義曰。藏取所獻狐白裘。至以獻秦王幸姬。幸姬爲言昭王。昭

王釋孟嘗君。孟嘗君得出。即馳去。更封傳變名姓。以出關。索隱曰。更

改也。改前封傳而易姓名。不言夜半至函谷關。正義曰。關在陝州桃秦昭王後

悔出孟嘗君。求之已去。即使人馳傳逐之。孟嘗君至關。關法。雞

鳴而出客。孟嘗君恐。追至客之居。下坐者有能爲雞鳴。而雞盡

更封傳變名姓ハ、皆川
淇園曰、封傳ハ、蓋關
ニ至ルノ間之ヲ封シ、
關ニ至レバ則之ヲ發シ
ナリ。

木偶人與土偶人云云、
 注索隱木偶ヲ孟嘗君ニ
 比スルノミ、十偶ヲ以
 テ涇陽君ニ比スルハ、
 未ダ必然ラズ。

蔽^{ヘル}火光^ニ。客怒^リ以^フ飯^ト不^カ等^メ。輟^メ食^ヲ辭^シ去^ル。孟嘗君起^テ自^ミ持^チ其飯^ヲ比^ス之^ヲ。客
 慙^デ自^デ剄^ス。士^ニ以^テ此^ヲ多^ク歸^ス孟嘗君^ニ。孟嘗君客^ニ無^ク所^ヲ擇^ル。皆善^ク遇^フ之^ヲ。人^々
 各^々自^ミ以^テ爲^ス孟嘗君^ノ親^ト已^チ。秦昭王聞^キ其賢^ヲ。乃^チ先^ニ使^メ涇陽君^ヲ爲^ス質^ト於^ニ
 齊^ニ。以^テ求^ム見^ル孟嘗君^ヲ。孟嘗君將^ニ入^{ント}秦^ニ。賓客莫^ク欲^ス其行^ヲ。諫^{レドモ}不^レ聽^カ。蘇代
 謂^フ曰^ク。今旦代從^リ外來^ル。見^ル木偶人^ニ與^ニ土偶人^ニ相與^ニ語^ル。索隱曰^ク。偶音遇。謂^フ
 於^ニ人也^ニ。蘇代以^テ土偶^ニ比^ス。木偶人曰^ク。天雨^{フル}子將^ニ敗^レ矣^ト。土偶人曰^ク。我生^ル於^ニ土^ニ。
 涇陽君^ニ木偶^ニ比^ス孟嘗君^ニ。木偶人曰^ク。天雨^{フル}子將^ニ敗^レ矣^ト。土偶人曰^ク。我生^ル於^ニ土^ニ。
 敗^レ則^レ歸^ス土^ニ。今天雨^{フル}。流^レ子^ヲ而^レ行^ン。未^ダ知^ラ所^ヲ止^ス息^也。今秦^ハ虎狼^ノ之國^也。
 而君欲^シ往^ト。如^シ有^ル不^レ得^レ還^ル。君得^シ無^キ爲^ニ土偶人^ノ所^ニ笑^フ乎^ヤ。孟嘗君乃^チ止^ム。
 齊湣王二十五年。復卒^ニ使^メ孟嘗君^ヲ入^ニ秦^ニ。昭王卽^チ以^テ孟嘗君^ヲ爲^ス秦^ノ
 相^ト。人^々或^ハ說^キ秦昭王^ニ曰^ク。孟嘗君賢^{ニシテ}而^レ又^ニ齊族^也。今相^{タル}秦^ニ。必^ニ先^ニ齊^ヲ而^レ

ハ、疑フ短モト祖ニ作
ル、故ニ音聲ナリト、
祖ハ散衣ナリ、褐ハ麤
布ナリ。
遺所不知何人ハ、黃份
曰、前ニ玄孫ノ孫何ト
爲スチ問テ、知ル能ハ
ザル也ト曰フニ因リ、
故ニ此知ル能ハザルノ
子孫ニ遺ルナ言フノ
ミ、索隱謬ル。

金樂厚遇之ハ、索隱ノ
説從フベシ。

無貴賤一與文等ハ、札
記云、御覽四百七十五、
引テ文ヲ之ニ作ル、雜
志云、當ニ之ニ作ルベ
シ、文代立ノ下、皆孟
嘗君ト稱シ、文ト稱セ
ズ、之字食客ヲ指シテ
言フ。

餘^{シテ}梁肉^ヲ而士不厭^カ糟糠^ニ。今君又尙厚^{ウシテ}積餘^レ藏^チ。欲^ミ以遺^ニ所不知^ル何^ル人^ニ。
索隱曰。遺音唯季反。猶言不知欲遺與何人也。而忘^ル公家之事^ニ日損^{スル}文竊^ニ怪^ム之^ヲ。於是嬰乃

禮^レ文。使^レ主家^ヲ待^ニ賓客^ヲ。賓客^ニ日進^ム。名聲聞^ユ於^ニ諸侯^ニ。諸侯皆使人^ヲ請^ヒ

薛公田嬰^ニ。以文爲^ス太子^ト。嬰許^ス之^ヲ。嬰卒^ス。諡^{シテ}爲^ス靖郭君^ト。
皇覽曰。靖郭君家。在魯國薛城中東

南阪。○索隱曰。諡爲靖郭君者。謂死後別號之曰靖郭耳。則靖郭或封邑號。故漢齊王舅父駟鈞封靖郭侯。是也。阪音鄒。亦音緇。阪者。城隅也。而文果代立^レ於

薛^ニ。是爲^ス孟嘗君^ト。孟嘗君在^レ薛^ニ。招^キ致^ス諸侯^ヲ賓客^ヲ。及亡人有罪者^ハ皆

歸^ス孟嘗君^ニ。孟嘗君舍^テ業^ヲ厚^ク遇^ス之^ヲ。
索隱曰。舍業者。捨棄其家產業。而厚事賓客也。劉氏云。舍音赦。謂爲之築舍立居業也。

以故傾^テ天下之士^ヲ。食客數千人。無貴賤^ト一與文等^ニ。孟嘗君待^レ客

坐語^ス。而屏風後常有^ニ侍史^ヲ。主^ル記^{スル}君所與客語^ヲ。問親戚居處^ヲ。客去^ル。

孟嘗君已使^ニ使存問^シ。獻遺^セ其親戚^ニ。孟嘗君曾待^テ客夜食^ス。有^ニ一人

異義ナシ、浴シテ之ヲ乳スルヲ謂フ、或曰、生字必之ヲ長養スト解セズ、下旬及長字ト相礙ハル、生ハ之ヲ殺サザルヲ謂フナリ。

誰能至者ハ、其月ト齊シキニ至ラザルナリ。

士不得短褐、索隱短亦音豎札記云、此ニ據レ

及^ビ長^{スルニ}其母因^ニ兄弟^ニ而見^ミ其子文於^ニ田嬰^ニ田嬰怒^テ其母曰^ク吾令^ム若^シ

去^ツ此子^ニ而敢^テ生^{スル}之何^ゾ也文頓首因曰^ク君所以^レ不^ル舉^グ五月子^ヲ者何

故^ゾ嬰曰^ク五月子者長與^ニ戶齊^ニ將^レ不^リ利^ニ其父母^ニ索隱曰風俗通云俗說五

也^母文曰^ク人生受^ル命於^ニ天^ニ乎將^レ受^ル命於^ニ戶^ニ邪^ニ嬰默然文曰^ク必受^ル命^ヲ

於^ニ天^ニ君何憂^フ焉必受^ル命於^ニ戶^ニ則高^{スル}其戶^ヲ耳誰能^カ至^ル者嬰曰^ク子休

矣久^シ之文承^テ閒^ニ問^フ其父嬰曰^ク子之子爲^レ何^ト曰^ク爲^レ孫^ト孫之孫爲^レ何^ト

曰^ク爲^ニ玄孫^ト玄孫之孫爲^レ何^ト曰^ク不^レ能^ク知^ル也^{伏後遺所不知}索隱曰爾雅云玄孫之子爲^レ來^ト來

之子爲^レ雲^ト又有^ニ耳孫^ト亦^ニ是玄孫之子^ト不^レ同^也文曰^ク君用^ヒ事^ヲ相^ニ齊^ニ至今^ニ三王^ト矣齊不^レ加^フ廣^ニ而君

私家富累^ス萬金^ヲ門下不^レ見^ニ一賢者^ヲ文聞^ク將^ニ門必有^ニ將^ヲ相^ニ門必有^ニ

相^ニ今君後宮蹈^フ綺縠^ヲ而士不得^ニ短褐^ヲ索隱曰短亦音豎豎褐謂^ニ褐衣^ニ而豎裁^レ之^ヲ以其省^ニ而便^ニ事^ニ也僕妾

作ル、云フ魏世家及ヒ
索隱引ク所ノ紀年ニ據
テ改ム。
東阿南注正義齊州、札
紀濟州ニ作ル、云フ考
證唐志ニ據テ改ム。

王二十八年。至三十
一年。改爲後元也。
宣王七年。田嬰使於韓魏。韓魏服於齊。嬰與韓

昭侯魏惠王會齊宣王東阿南。正義曰。東阿。齊州縣也。盟而去。索隱曰。紀年當惠王
之後元十一年。作平

阿。又云。十三年會齊威王于甄。與此明年齊宣王與
梁惠王會甄文同。但齊之威宣二王文舛互不同也。
明年復與梁惠王會甄。音絹。

是歲梁惠王卒。宣王九年。田嬰相齊。齊宣王與魏襄王會徐州

而相王也。正義曰。紀年云。梁惠王三十
年。下邳遷于薛。改名徐州。楚威王聞之。怒田嬰。明年楚伐

敗齊師於徐州。而使人逐田嬰。田嬰使張丑說楚威王。威王乃

止。田嬰相齊十一年。宣王卒。湣王卽位。卽位三年而封田嬰於

薛。索隱曰。紀年以爲梁惠王後元十三年四月齊威王封田嬰于薛。十月齊城薛。十四年薛
子嬰來朝。十五年齊威王薨。嬰初封彭城。皆與此文異。○正義曰。薛故城在今徐州滕縣

南四十
四里也。初田嬰有子四十餘人。其賤妾有子名文。文以五月五日

生。嬰告其母曰。勿學也。其母竊舉生之。
索隱曰。上舉。謂初誕而舉之。下
舉。謂浴而乳之。生。謂長養之也。

勿舉也其母竊舉生之
ハ、按雅歷曰、二舉字

史記評林卷之七十五

孟嘗君列傳第十五

孟嘗君。名文。姓田氏。文之父曰靖郭君田嬰。田嬰者齊威王少

子。而齊宣王庶弟也。

索隱曰。戰國策及諸書並無此言。蓋諸田之別子也。故戰國策每稱嬰子盼子。高誘注云。田盼田嬰也。王劭又按戰國策

云。齊貌辯謂宣王曰。王方爲太子時。辯謂靖郭君。不若廢太子更立郊師。靖郭君不忍。宣王太息曰。寡人少。殊不知。以此言之。嬰非宣王弟明也。

田嬰自威王

時。任職用事。與成侯鄒忌及田忌將而救韓伐魏。成侯與田忌

牽連別事

爭寵。成侯賣田忌。田忌懼。襲齊之邊邑。不勝亡走。會威王卒。宣

王立。知成侯賣田忌。乃復召田忌以爲將。宣王二年。田忌與孫

臧田嬰俱伐魏。敗之馬陵。虜魏太子申。而殺魏將龐涓。

索隱曰。紀

年當梁惠

成侯與田忌爭寵云云。凌稚隆曰。此嬰忌同。將タルニハテ。故ニ并テ忌ノ事ヲ記ス。

殺魏將龐涓注索隱三十二年。札記三十六年。

史記評林卷之七十四終

韓於老莊之後者。所以譏老莊。而傳淳于髡諸子於孟荀之間者。所以長孟荀也。荀卿年五十。始自趙學于齊。三爲齊祭酒。後爲楚蘭陵令。春申君死而卿廢。卒死於蘭陵。葬焉。嫉世之濁。而鄙儒小拘。如莊周等。又猾稽亂俗。於是著書數萬言。此亦能守道不變者。故太史公進之與孟子等。

凌約言曰。太史公略敘孟子遊說不遇。退而著書。卽開說當時餘子之紛紛。然後結以荀卿之尊孔子明王道。及其名傳。獨以孟荀而餘子不與焉。其布置之高。旨意之深。文詞之潔。卓乎不可尙矣。

柯維騏曰。荀卿著書。詆訾孟子子思。又以堯舜爲僞。人性爲惡。此其學術弗醇。不得與孟子並也。太史公序傳雖舉並論。然其傳中所敘。推尊孟子。與孔子同。而斷其異於談說之阿世取榮者。至敘荀卿。乃以繼於談說之士之後。且抑之曰。齊襄王時。荀卿最爲老師。則孟荀優劣較然矣。唐韓愈氏作進學解。並稱二儒優入聖域。非定論也。

大夫善守禦爲節用。

墨子曰。公輸般爲雲梯之械。成將以攻宋。墨子聞之。至于郢

爲節用。注。至於郢。見下。札。記公輸般。墨子解帶爲城。以牒爲之。機變。墨子九距之。之機變。墨子九距之。二十八字アリ。則下文索隱。墨子解帶ノ說。始テ明瞭ナリ。

知所以距子矣。吾不言。墨子亦曰。吾知子之所以距我者。吾不言。楚王問其故。墨子曰。公輸子之意。不過欲殺臣。殺臣宋莫能守。可攻也。然臣之弟子禽滑釐等三百人。已持臣守圉之器。在宋城上。而待楚寇矣。雖殺臣不能絕也。楚王曰。善哉。吾請無攻宋城矣。○索隱曰。公輸爲雲梯之械者。按梯構木。瞰高也。雲者。言其昇高入雲。故曰雲梯。械者。器也。謂攻城之樓櫓也。與器械同。墨子解帶爲城者。謂墨子所術。解身上革帶以爲城也。以牒爲械者。牒。小木札也。械者。樓櫓等。公輸般之攻城盡者。劉氏云。械。謂飛梯。撞車。飛石。車弩之具也。詘音屈。謂般技已盡。墨守有餘。滑釐者。墨子弟子之字也。釐音狸。或曰竝孔子時。或曰在其後。索隱曰。按別錄云。墨子書有墨子。如此則墨子者在七十子之後也。

索隱述贊曰。六國之末。戰勝相雄。軻游齊魏。其說不通。退而著述。稱吾道窮。蘭陵事楚。騶衍談空。康莊雖列。莫見收功。

蘇子古史曰。孟子生戰國。知仁義可以化服強暴。游說諸侯。諄諄之言。冀或信。而諸侯習其鄙詐。莫以爲然。孟子之言。非苟爲大也。不深原其意。詳其實。未有不以爲迂者。不嗜殺人者能一之。由孟子以來。漢高帝。光武。唐太宗。藝祖。皇帝四君。孟子之言。豈偶然哉。性有習。習有美惡。譬之火能熟能焚。孟子謂之善。火能熟者。苟卿謂惡。火能焚者。荀之失遠矣。

黃震曰。太史公之傳孟子。首舉不言利之對。歎息以先之。然後爲之傳。而傳自受業子思之外。復無他語。惟詳述一時富國彊兵之流。與騶衍迂怪不可究詰。以取重當世之說。形孟子之守道不變。與仲尼菜色陳蔡者同科。奇哉遷之文。卓哉遷之識歟。蓋傳中

蘇子古史不嗜殺人一句ハ、或曰、宜ク四君ノ下ニ移スベシ。

爲堅白同異之辯ハ、焦
詡曰、莊子ノ疏ヲ按ズ
ルニ、云フ堅白ハ即守
白ナリ、白ハ猶是ノ如
キナリ、堅ク執リ、其
說ヲ是トシ、而テ之ヲ
守ルナリ、同異ハ、衆
人ノ異論ヲ合同スルナ
リ。

阿之吁子注索隱音芋
ハ、札記云、疑フ吁字、
本ト畔ニ作ル、故ニ索
隱音芋、師古音明ナリ、
畔即芋ノ俗字、玉篇ニ
見ユ。

信シ機祥チ。鄙儒小拘。如莊周等。又猾稽ルチ亂俗サ。於是推シ儒墨道德之
行事興壞チ。序列シ著數萬言チ而卒。因葬ル蘭陵ニ。而趙亦有公孫龍。爲

堅白同異之辯チ

晉太康地記云。汝南西平縣有龍淵水。可用淬刃劍。特堅利。故有堅
白之論云。黃所以爲堅也。白所以爲利也。或辯之曰。白所以爲不堅。

黃所以爲不利。○索隱曰。龍。即仲尼弟子也。此云趙人。弟子傳作衛人。鄭玄云。楚人。各不能知
其真。又下文云。竝孔子同時。或云。在其後。所以知非別人也。○正義曰。藝文志。公孫龍子十四
篇。顏師古云。即爲堅白之辯。按平原君傳。騶衍同時。括地志云。西平縣豫州西北百四十里有龍淵水也。
劇子之言。徐廣曰。按應劭氏姓注。直云處子也。○索隱曰。

著書之人。姓劇氏而稱子也。前史不記其名。故趙有劇孟及劇辛也。魏有李悝。盡ス地力之教チ。

正義曰。藝文志。李子三十二篇。李悝相魏文侯。

富國彊兵。楚有尸子長盧。

劉向別錄曰。楚有尸子。疑謂其在蜀。今案尸子書。晉人也。名佼。秦相衛鞅客也。衛鞅商君謀事畫計。立法理民。未嘗不與佼規

也。商君被刑。佼恐并誅。乃亡逃入蜀。自爲造此二十篇書。凡六萬餘言。卒。因葬蜀。○索隱曰。尸子名佼。音絞。長盧未詳。○正義曰。長盧九篇。楚人。

阿之吁子焉。

徐廣曰。阿者。今之東阿。○索隱曰。吁音芋。別錄作芋子。今呼亦如字。○正義曰。按東齊州也。藝
文志云。吁子十八篇。名嬰。齊人。七十子之後。顏師古云。音弼。按是齊人。阿又屬齊。恐顏公誤也。
自如孟子至于吁子。世多有其書。故不論其傳云。蓋墨翟。宋之

炙穀過髡注索隱過則是器名、札記則過是器名二作ル、云各本過錯テ則上ニ在リ、今乙正ス、按ズルニ、說文揭ハ膏ヲ盛ル器、讀テ過ノ若シ、廣韻轉ニ作ル、過ハ乃假借字ナリ。

齊尙脩列大夫之缺ハ、即上文ノ淳于髡ヨリ以下ノ列大夫ナリ、襄王ノ時、其缺員アリシモ、尙能ク之ヲ修メテ、荀卿ヲ以テ大夫ト爲セシナリ。

游學於齊。騶衍之術迂大而閎辯。爽也文具難施。淳于髡久與處。時有得善言。故齊人頌曰。談天衍。雕龍爽。炙穀過髡。徐廣曰。炙穀一作亂。

諺。劉向別錄曰。騶衍之所言。五德終始。天地廣大。書言天事故曰談天。騶爽修衍之文。飾若雕鏤龍文。故曰雕龍。別錄曰。過字作輶。輶者車之盛膏器也。炙之雖盡。猶有餘流者。言淳于髡智不盡如炙輶也。左思齊都賦注曰。言其多智難盡。如脂膏過之有潤澤也。○索隱曰。劉氏云。穀衍字也。今按文稱炙穀過。過則是器名。音如字。謂盛脂之器名。過與鍋字相近。蓋即脂器也。穀即車穀。過爲潤穀之物。則穀非衍字明矣。田駢之屬皆已死。齊襄王時。索隱曰。襄王名法章。湣王子。莒人所立者。而

荀卿最爲老師。齊尙脩列大夫之缺。而荀卿三爲祭酒焉。索隱曰。禮

食必祭先。飲酒亦然。必以席中之尊者一人當祭耳。後因以爲官名。故吳王濞爲劉氏祭酒。是也。而卿三爲祭酒者。謂荀卿出入前後三度。處列大夫康莊之位。而皆爲其所尊。故云三爲祭酒。齊人或譏荀卿。荀卿乃適楚。而春申君以爲蘭陵令。正義曰。蘭陵縣屬東

海郡。今沂州承縣有蘭陵山。春申君死而荀卿廢。因家蘭陵。李斯嘗爲弟子。已而

相秦。荀卿嫉濁世之政。亡國亂君相屬。不遂大道。而營於巫祝。

夜無倦。惠王欲以卿相位待之。髡因謝去。於是送以安車駟。束帛加璧。黃金百鎰。終身不仕。

慎到。趙人。田駢。接子。齊人。環淵。楚人。皆學黃老道德之術。因發

明序其指意。故慎到著十二論。徐廣曰。今慎子劉向所定。有四十一篇。環淵著上下篇。

而田駢接子皆有所論焉。

騶奭者。齊諸騶子。亦頗采騶衍之術。以紀文。於是齊王嘉之。自

如淳于髡以下。皆命曰列大夫。為開第康莊之衢。爾雅曰。四達謂之衢。五達謂之康。六

達謂之莊。高門大屋尊寵之。覽天下諸侯賓客。言齊能致天下賢士

也。

荀卿。趙人。索隱曰。名況。卿者。時人相尊而號為卿也。仕齊為祭酒。仕楚為蘭陵令。後亦謂之孫卿子者。避漢宣帝之諱也。年五十始來。

主。豈可勝道哉。

管嬰不及ハ、札記管嬰ニ作ル、云變本嬰ニ誤ル。

莞曰固也云云ハ、王鑒曰、淳于莞、梁王ノ志ヲ知ル、是左右ニ探訊シテ之ヲ知ル、故ニ特ニ以テ王ヲ勸カシ、其觀ヲ信ニセント欲スルノミ。

淳于髡。齊人也。博聞彊記。學無所主。其諫說慕晏嬰之爲人也。

然而承意觀色爲務。客有見髡於梁。惠王屏左右。獨坐而

再見之。終無言也。惠王怪之。以讓客。客曰。子之稱淳于先生。管嬰

不及。及見寡人。寡人未有得也。豈寡人不足爲言邪。何故哉。客

以謂髡。髡曰。固也。吾前見王。王志在驅逐。後復見王。王志在音

聲。吾是以默然。客具以報王。王大駭曰。嗟乎。淳于先生。誠聖人

也。前淳于先生之來。人有獻善馬者。寡人未及視。會先生至。後

先生之來。人有獻謳者。未及試。亦會先生來。寡人雖屏人。然私

心在彼。有之。索隱曰。謂私心實在彼馬與謳也。有之。謂我實有此二事也。後淳于髡見。壹語連三日三

長太 故武王以仁義伐紂而王。伯夷餓不食周粟。衛靈公問陳

而孔子不答。梁惠王謀欲攻趙。孟軻稱太王去邠。索隱曰。孟子大王

公語。今云梁惠王謀。此豈有意阿世俗苟合而已哉。持方柄欲內圓

鑿其能入乎。索隱曰。方柄是筭也。圓鑿其孔也。謂工人斲木以方筭而內之圓孔不可

入也。故楚詞云。以方柄而納圓鑿者。吾知其齟齬而不入也。謂戰國時仲

尼孟軻以仁義干世。或曰。伊尹負鼎而勉湯。以王百里奚飪牛車下

而繆公用霸作先合。然後引之大道。騶衍其言雖不軌。儻亦有

牛鼎之意乎。索隱曰。呂氏春秋云。滷牛之鼎。不可以烹雞。是其有牛鼎也。言衍之術迂

矣。自騶衍與齊之稷下先生如淳于髡。慎到。環淵。接子。田駢。騶

夷之徒。古著書人之稱號也。駢音步堅反。又步經反。○正義曰。慎子十卷在法家。則戰國

時處士。接子二篇。田子二十五篇。齊人游稷下。號天口。接田二人道家。騶夷十二篇陰陽家。

各著書言治亂之事以于世

孟實ニ此ヲ爲ザルナリ、故ニ又伯夷衛靈公、惠ノ事ヲ引キ、孔孟困厄スト雖モ、而モ世ニアリ、苟モ容レラレ、以テ尊禮ヲ取ルヲ肯セザルヲ見ハス、其論甚正シ。持方柄欲内圓鑿ハ、柄ハ音芮、柄ナリ、木端ヲ削リテ鑿ニ入ル物ナリ、鑿ハ穴ナリ、四角ノ木柄ヲ以テ、圓キ孔ニ入レントセバ、齟齬シテ入ザルヲ謂フ。飪牛車下、札記飪ヲ飯ニ作ル。儻亦有牛鼎之意乎ハ、儻惟修曰、牛鼎ノ説、他ニ求メズ、即上文伊尹負鼎百里奚飪牛ナリ、札記云、此鄒子始ノ泛濫者ヲシテ、飯牛負鼎ノ類ト爲ス、之ヲ鄒ムナリ、索隱非ナリ。騶衍云云ハ、札記云、自如騶衍云云ニ作ル、自如二字連文ナリ、後人如字ヲ淳于髡諸人ノ上ニ移ス、文義ヲ成サズ。

始也濫耳ハ、方苞曰、始メ汎濫ニシテ、端涯ナキノ詞ヲ爲シ、以テ人ニ聽カスヲ言フノミ、錢大昕曰、索隱ノ說非ナリ、上下ノ文義ヲ詳カニスルニ、衍ノ說始メ泛濫ト雖モ、而要スルニ仁義節儉ニ歸スルノミト謂フニ似タリ、司馬相如傳云、相如虛濫ノ說多シト雖モ、然ニ其要歸之ヲ節儉ニ引クト、語意正ニ相類ス。

懼然顧化ハ錢大昕曰、懼ハ即懼字ト、懼然ハ心驚ク貌ナリ。側行徹席、札記徹ヲ徹ニ作ル、徹モ亦排ナリ。

豈與仲尼菜色陳蔡云云ハ、董份曰、此前衍尊禮セラルルヲ敘シ、其禮能ク列國諸侯ヲ動かシ孔孟ノ困阨ト同ジカラザルヲ言フ、然ルニ孔

乃爲一州。如此者九。乃有大瀛海環其外。天地之際焉。其術皆

此類也。然要其歸。必止乎仁義節儉。君臣上下六親之施。始也

濫耳。

索隱曰。濫。卽濫觴。是江原之初始。故此文意以濫爲初也。謂衍之術。言君臣上下六親之際。行事之所施所治。皆可以爲後代之宗本。故云濫耳。

王公大

人。初見其術。懼然顧化。

索隱曰。懼音劬。謂衍之術皆動人心。見者莫不懼然駐想。又內心畱顧而已化之。欲從其術也。化者是異常聞而異

異術也。

其後不能行之。是以騶子重於齊。適梁。惠王郊迎。執賓主

之禮。適趙平原君側行徹席。

索隱曰。按字林云。徹音正。結反。韋昭音敷。蔑反。張揖三蒼訓詁云。徹拂也。謂側行而衣徹席爲敬。不

敢正坐當賓主之禮也。

如燕昭王擁彗先驅。索隱曰。彗帚也。謂爲之掃地。以衣袂擁帚而卻行。恐塵埃之及長者。所以爲敬也。

請列

弟子之座。而受業。築碣石宮。

正義曰。碣石宮在幽州薊縣西三十里寧臺之東。

身親往師之。作

主運。

索隱曰。劉向別錄云。鄒子書有主運篇。

其游諸侯。見尊禮如此。豈與仲尼菜色陳

蔡。孟軻困於齊梁。同乎哉。

索隱曰。仲尼孟子法先王之道。行仁義之化。且菜色困窮。而鄒衍執詭怪。惑諸侯。其見禮重如此。可爲

必先驗小物云云ハ、趙恒曰、此下三段、當ニ先字推字ヲ看ルベシ、必先驗小物ヨリ無垠ニ至リ、至小ヨリ之ヲ至大ニ推スナリ、先序今以上ヨリ不可考而原ニ至ル、今ヨリ之ヲ推シ、遠古ニ至ルナリ、先列中國ヨリ所不能睹ニ至ル、近キヨリ之ヲ極遠ニ推スナリ、先序今以上至黃帝學者所共術大竝世盛衰ハ、方苞曰、大當ニ及ニ作ルベシ、傳寫誤ルナリ、蓋先ヅ戰國以上黃帝ニ至ル事ノ、學者共ニ稱述スル所ト爲ル者ナリシ、然ル後竝世ノ盛衰ニ及ブナリ、術述ト同ジ、載其禪祥度制ハ、讀モ亦詳ナリ。

言^チ其語闊大不經。必先驗^シ小物。推^テ而大^ニ之。至於無垠。先序今以^ニ上至^ニ黃帝。學者所共術。大竝^ニ世盛衰^ニ。竝音蒲浪反。○索隱曰。言其大體隨代盛衰。觀時而說事。因載^ス其禪祥度制。推^テ而遠^ニ之。至^ニ天地未生^ニ。窈冥不可^ニ考而原^ス也。先列^ス中國名山大川通谷禽獸。水土所殖。物類所珍。因而推^シ之。及^ス海外人之所不能^ニ觀。稱引^ス天地剖判以來五德轉移。治各有^ニ宜。而符應若^キ茲。以爲儒者所謂中國者。於天下乃八十一分居^ニ其一^ニ分^ニ耳^ト。索隱曰。桓寬王充竝以衍之所言迂怪虛妄。熒惑六國之君。因納其異說。所謂匹夫而熒惑諸侯者也。中國名曰赤縣神州。赤縣神州內自有九州。禹之序九州是也。不得爲^ニ州數^ト。中國外如^ニ赤縣神州者九^ニ。乃所謂九州也。於是有^ニ裨海環^ニ之^ト。索隱曰。裨音脾。裨海。小海也。九州之外更有^ニ大瀛海^ト。故知^ニ此裨是小海^ト也。且將有裨將。亦是小義也。人民禽獸莫能相通者。如一區中者。

梁惠王不果所言、札記云、廣雅二果ハ信ナリ。

退而與萬章之徒注索隱云云、錢大昕曰、公明高ハ孟氏ノ弟子ニ非ズ、廣祖離婁ヲ以テ孟子ノ門人ト爲ス、其誤亦此ニ類ス。

門人

索隱曰。王劭以人爲衍字。則以軻親受業孔伋之門也。今言門人者。乃受業於子思之弟子也。

道既通。游事齊宣王。宣

王不能

用。適梁。梁惠王不果所言。則見以爲迂遠而闊於事情。

當是

之時。秦用商君。富國彊兵。楚魏用吳起。戰勝弱敵。齊威王

宣王用

孫子田忌之徒。而諸侯東面朝齊。天下方務於合從連

衡。以

攻伐爲賢。而孟軻乃述唐虞三代之德。是以所如者不合。

退而與

萬章之徒。索隱曰。孟子有萬章公明高等。蓋竝軻之門人也。萬。姓。章。名。序詩書。述仲尼之意。

作孟子

七篇。其後有騶子之屬。齊有三騶子。其前騶忌。以鼓琴

于威王

。因及國政。封爲成侯。而受相印。先孟子。其次騶衍。後孟

子。騶衍

覩有國者益淫侈。不能尙德。若大雅整之於身。施及黎

庶矣。乃

深觀陰陽消息。而作怪迂之變。終始大聖之篇。十餘萬

史記評林卷之七十四

孟子荀卿列傳第十四

索隱曰。按序傳。孟嘗君第十四。而此傳爲第十五。蓋後人差降之矣。

真德秀曰。孟荀傳旁及諸子而兼乎議論。傳之變體也。

楊慎曰。孟子傳與伯夷傳書法略相似。先敍孟子。而以騶衍形之。則孔孟之不合於時者。其道從可知矣。又舉孔孟伯夷。豈有意阿世苟合者。則騶子之見尊禮于諸侯者。其道又從可知矣。其曰騶子。倘有牛鼎之意乎。語不露而意雋永。最文字之妙者。此法惟韓子得之。

太史公曰。余讀孟子書。至梁惠王問何以利吾國。未嘗不廢書而歎也。曰。嗟乎。利誠亂之始也。夫子罕言利者。常防其原也。故曰。放於利而行。多怨。自天子至於庶人。好利之弊。何以異哉。孟軻。騶人也。

索隱曰。軻音苦何反。又苦賀反。鄒。魯地名。又云鄒。鄒人徙鄒故也。○正義曰。軻字子輿。爲齊卿。鄒。兗州縣。

受業子思之

史記評林卷之七十三終

單爲相。單語趙奢曰。吾非不說將軍之兵法。所不服者。將軍之用衆也。帝王之兵。不過三萬。而天下服矣。今將軍必負十萬二十萬而後用之。使民不得耕作。糧食輓負。不可給也。奢曰。君非徒不達兵。又不明時勢矣。夫吳干之劍。肉試則斷。牛馬金試則截。盤匱薄之柱。上而擊之。則絕爲三。質之石上而擊之。則碎爲百。今以三萬之衆。而應強國之兵。是薄柱擊石之類也。且夫劍之爲用。無脊之厚。則鋒不入。無脾之薄。則刃不斷。無鈎罕鐔蒙須之便。操其刃而刺。則未入而手斷。今君無十萬二十萬之衆。以爲鈎罕鐔蒙須之便。焉能以三萬行于天下乎。古者四海萬國。城大不過三百丈。人雖多。無過三千家。則以三萬拒之足矣。今取古萬國分爲戰國七。兵能具數十萬。食能支數歲。千丈之城。萬家之邑。相望也。君奈何以三萬衆攻之。田單喟然歎息曰。單未至也。由此觀之。攻千里之國。毀百年之業。不乘大隙。非大衆不可。彼決機兩陳之閒。爲一日成敗之計。乃可以少擊衆耳。

今王離已三世將矣。居無何。項羽救趙。擊秦軍。果虜王離。王離軍遂降諸侯。

太史公曰。鄙語云。尺有所短。寸有所長。白起料敵合變。出奇無窮。聲震天下。然不能救患於應侯。王翦爲秦將。夷六國。當是時。翦爲宿將。始皇師之。然不能輔秦建德。固其根本。偷合取容。以至塲身。徐廣曰。物音沒。及孫王離爲項羽所虜。不亦宜乎。彼各有所短也。應上短字。

索隱述贊曰。白起王翦俱善用兵。遞爲秦將。拔齊破荆。趙任馬服。長平遂坑。楚陷李信。霸上卒行。賁離繼出。三代無名。

蘇子古史曰。予讀太史公白起傳。秦之再攻邯鄲也。起與范雎有怨。稱病不行。以亡其軀。慨然歎曰。起以武夫。無所屈信。而困於游談之士。使起勉強一行。兵未必敗。而免於死矣。及覺戰國策。觀起自陳成敗之蹟。乃知邯鄲法不可再攻。而起非特以怨不行。蓋爲之流涕也。趙充國征西羌。守便宜不肯奉詔出兵。辛武賢雖兵出有功。充國竟爲漢宣明其非是。武賢怨之至骨。雖不能害充國。而卒陷其子卬。嗚呼。循道而不阿。自古而難之歟。○王翦與始皇議滅楚。非六十萬不行。予始疑其過。及觀田單與趙奢論兵。乃知老將之言不妄也。趙以齊田

於等倫。張晏曰。范蠡兵法。飛石重十二斤。爲幾發行三百步。延壽有力。能以手投之。拔距。超距也。○索隱曰。超距。猶跳躍也。於是王翦曰。士卒可

用矣。荊數挑戰。而秦不出。乃引而東。翦因舉兵追之。令壯士擊

大破荊軍。至蘄南。正義曰。徐州縣也。殺其將軍項燕。荊兵遂敗走。秦因乘

勝。略定荊地城邑。歲餘。虜荊王負芻。竟平荊地爲郡縣。因南征

百越之君。而王翦子王賁。與李信破定燕齊地。秦始皇二十六

年。盡并天下。王氏客蒙氏功爲多。名施於後世。秦二世之時。王翦

及其子賁皆已死。而又滅蒙氏。陳勝之反秦。秦使王翦之孫王

離擊趙。圍趙王及張耳。鉅鹿城。正義曰。今邢州平鄉縣城。本秦鉅鹿郡城也。或曰。王離。秦之

名將也。今將彊秦之兵。攻新造之趙。舉之必矣。客曰。不然。夫爲

將三世者。必敗。必敗者何也。以其所殺伐多矣。其後受其不祥。

王翦行請美田宅園池云ハ、凌約言曰、此蕭相國多ク田宅ヲ買ヒ、以テ自汗ガスト同意、始皇ノ諸將惟王翦其終ヲ善クスルヲ得ル者、此ヲ以テナリ。

秦王怛而不信人ノ怛ハ、札記怛ニ作リ、集解音讎ト注ス、云フ毛本怛各本怛 譌ス、説文怛ハ驕ナリ、又注怛一作驕ノ驕ハ怛一作粗爲ス。

始皇自送、至灞上。王翦行、請美田宅園池甚衆。始皇曰、將軍行

矣。何憂貧乎。王翦曰、爲大王將、有功終不得封侯。故及大王之

嚮臣、臣亦及時以請園池、爲子孫業耳。始皇大笑。王翦既至、關

使使還請善田者五輩。徐廣曰、善一作菑。○索隱曰、謂使者五度請也。或曰、將軍之乞貸亦已

甚矣。王翦曰、不然。夫秦王怛而不信人。徐廣曰、怛一作驕。今空秦國甲士

而專委於我。徐廣曰、專亦作搏、又作刺。我不多請田宅、爲子孫業、以自堅、顧令

秦王坐而疑我邪。王翦果代李信擊荊。荊聞王翦益軍而來、乃

悉國中兵以拒秦。王翦至、堅壁而守之、不肯戰。荊兵數出挑戰、

終不出。王翦日休士、洗沐而善飲食、撫循之、親與士卒同食。久

之。王翦使人問軍中戲乎。對曰、方投石超距。徐廣曰、超一作拔。駟案漢書云、甘延壽投石拔距。絕

會城父注正義是太子建居之ハ、札紀是ナ使ニ作ル、云フ官本使、各本是ニ誤ル。

攻寢。徐廣曰。今固始寢丘。○索隱曰。固始縣屬淮陽。寢丘地名也。大破荊軍。信又攻鄢郢。破之。於是引

兵而西。與蒙恬會城父。索隱曰。在汝南。卽應鄉。○正義曰。言引兵而會城父。則是汝州郟城縣東父城者也。括地志云。汝州郟城縣東四十

里有父城故城。卽服虔云。城父。楚北境者也。又許州葉縣東北四十五里。亦有父城故城。卽杜預云。襄城父縣者也。此二城。父城之名耳。服虔城父。是誤也。左傳及注水經云。楚大城城父。是太子建居之。十三州志云。太子建所居城父。謂今亳州城父是也。此三家之說。是城父之名。地理志云。潁川父城縣沛郡城父縣。據縣屬郡。其各自分。古先儒多惑。故使其名錯亂。

荊人因隨之。三日三夜不頓舍。大破李信軍。入兩壁。殺七都尉。

秦軍走。始皇聞之大怒。自馳如頻陽。見謝王翦曰。寡人以不用

將軍計。李信果辱秦軍。今聞荊兵日進而西。將軍雖病。獨忍弄

寡人乎。王翦謝曰。老臣罷病悖亂。正義曰。罷音皮。悖音背。唯大王更擇賢將。

始皇謝曰。已矣。將軍勿復言。王翦曰。大王必不得已用臣。非六

十萬人不可。始皇曰。爲聽將軍計耳。於是王翦將兵六十萬人。

十八年。剪將攻趙歲餘。遂拔趙。趙王降。盡定趙地爲郡。明年。燕

使荊軻爲賊於秦。秦王使王翦攻燕。燕王喜走遼東。翦遂定燕。

荊而還。正義曰。正義曰。秦使翦子王賁擊荊。徐廣曰。秦諱楚。故云荊也。○索隱曰。賁音奔。荊兵敗。還擊

魏。魏王降。遂定魏地。秦始皇起案既滅三晉。走燕王。而數破荊師。秦

將李信者。年少。壯勇。嘗以兵數千逐燕太子丹。至於衍水中。卒

破得丹。始皇以爲賢勇。於是始皇問李信。吾欲攻取荊。於將軍

度用幾何人而足。李信曰。不過用二十萬人。始皇問王翦。王翦

曰。非六十萬人不可。始皇曰。王將軍老矣。何怯也。李將軍果勢

壯勇。徐廣曰。勢一作新。其言是也。遂使李信及蒙恬將二十萬南伐荊。王

翦言不用。因謝病歸老於頻陽。李信攻平輿。音余。○正義曰。在預東北五十四里。蒙恬

李將軍果勢壯勇。集解
勢一作新ハ、札記云、御
覽二百七十四、引テ果
斷ニ作ル、義長ズ、新ハ
斷ト同ク斤ニ从ツテ誤
ル。

伏後案

徐廣曰。勢
一作新。

其言是也。遂使李信及蒙恬將二十萬南伐荊。王

預東北五十四里。

武安ノ自言ヲ述ベ、以テ武安ノ罪案ヲ結ブ、蒙恬傳末ノ語意ト同ジ。

皆祭祀焉注張虛捲ハ、札記云、毛本卷、說文ニ捲ハ氣勢ナリト、或ハ借テ拳ニ作ル。

但憂平原之補祖ノ祖ハ、札記云、毛本但ニ作ル、補祖字ノ但ヲ借用スル、猶但祖字ノ祖ヲ借用スル如シ。

哉。良久曰。我固當死。長平之戰。趙卒降者數十萬人。我詐而盡阬之。是足以死。遂自殺。武安君之死也。以秦昭王五十年十一月。死而非其罪。秦人憐之。鄉邑皆祭祀焉。

何晏曰。白起之降趙卒。詐而坑其四十萬。豈徒酷暴之謂

乎。後亦難以重得志矣。向使衆人皆豫知降之必死。則張虛捲猶可畏也。況於四十萬被堅執銳哉。天下見降秦之將。頭顱似山。歸秦之衆。骸積成丘。則後日之戰死當死耳。何衆肯服。何城肯下乎。是爲雖能裁四十萬之命。而適足以彊天下之戰。欲以要一朝之功。而乃更堅諸侯之守。故兵進而自伐其勢。軍勝而還喪其計。何者。設使趙衆復合。馬服更生。則後日之戰。必非前日之對也。況今皆使天下爲後日乎。其所以終不敢復加兵於邯鄲者。非但憂平原之補祖。患諸侯之掾至也。徒諱之而不言耳。若不悟而不諱。則母所以遠智也。可謂善戰而拙勝。長平之事。秦民之十五以上者。皆荷戟而向趙矣。秦王又親自賜民爵於河內。夫以秦之彊。而十五以上死傷過半者。此爲破趙之功小。傷秦之敗大。又何稱奇哉。若後之役戍。不豫其論者。則秦衆多矣。降者可致也。必不可致者。本自當戰殺。不當受降。詐也。戰殺雖難。降殺雖易。然降殺之爲害。禍大於劇戰也。○索隱曰。捲音拳。祖音濁。覓反。字亦作綻。掾音救。

王翦者。頻陽東鄉人也。索隱曰。地理志。頻陽縣屬左馮翊。應劭曰。在頻水之陽也。○正義曰。故城在雍州東同官縣界也。少而

好兵。事秦始皇。始皇十一年。翦將攻趙閼與。破之。拔九城。

遷之陰密注正義古陰密國、札記云、國字疑フ行ト。

武安君引劍將自剄云云ハ、凌稚隆曰、太史公、

請之。武安君終辭不肯行。遂稱病。秦王使王齮代陵將。八九月。圍邯鄲。不能拔。楚使春申君及魏公子。將兵數十萬攻秦軍。秦軍多失亡。武安君言曰。秦不聽臣計。今如何矣。秦王聞之。怒。彊起武安君。正義曰。彊其兩反。武安君遂稱病篤。應侯請之不起。於是免武安君爲士伍。遷之陰密。徐廣曰。屬安定。○正義曰。故城在涇州。鶉觚縣城西。卽古陰密國。密康公國也。武安君病。未能行。居三月。諸侯攻秦軍急。秦軍數卻。使者日至。秦王乃使人遣白起。不得畱咸陽中。武安君既行。出咸陽西門十至。至杜郵。索隱曰。按故咸陽城在渭北。杜郵今在咸陽城中。○正義曰。說文云。郵。境上行舍。道路所經過。今咸陽縣城本秦之郵也。在雍州西北三十五里。秦昭王與應侯羣臣議曰。白起之遷。其意尙怏怏不服。有餘言。秦王乃使使者賜之劍。自裁。武安君引劍將自剄曰。我何罪于天。而至此。

國邢丘ハ、札記云、邢丘ハ魏ノ地、韓ノ地ニ非ズ、丘字衍ナリ、邢卽涇ノ借字ナリ。

割韓垣雍ノ下、札記注アリ、云フ集解徐廣曰、卷縣有垣雍城、正義、釋地名云、卷縣所理垣雍城、按今在鄭州原武縣西北七里也、此本脫ス。

入、齊。南地入韓魏。則君之所得民亡幾何人。徐廣曰亡音無也。故不如因

而割之。正義曰因白起之攻割取韓趙之地。無以爲武安君功也。於是應侯言於秦王

曰。秦兵勞。請許韓趙之割地以和。且休士卒。王聽之。割韓垣雍

趙六城以和。正月皆罷兵。武安君聞之。由是與應侯有隙。其九

月。秦復發兵。使五大夫王陵攻趙邯鄲。是時武安君病。不任行。

正義曰入針反堪也。四十九年正月。陵攻邯鄲。少利。秦益發兵佐陵。陵兵亡

五校。武安君病愈。秦王欲使武安君代陵將。武安君言曰。邯鄲

實未易攻也。且諸侯救日至。彼諸侯怨秦之日久矣。今秦雖破

長平軍。而秦卒死者過半。國內空。遠絕河山而爭人國都。趙應

其內。諸侯攻其外。破秦兵必矣。不可。秦王自命不行。乃使應侯

本坑ニ作ル、下並ニ院ニ作ル。
遺其小者、札記云、遺毛本遺ニ作ル。

武安君爲三公云云ハ、徐中行曰、蘇代應侯是忌刻人ナルヲ揣知ス、故ニ先ヅ武安ノ貴ヲ言ヒ、以テ其忌心ヲ勸カシ、然レ後民泰ト爲ルヲ樂マズト言ヒ以テ其阻心ヲ勸カス、勢破竹ノ如シ、鄢郢ノ圍ミ安ゾ解カザルヲ得ン。
南定鄢郢漢中注夷道、札記率道ニ作ル、云フ各本襄州ニ誤ル、襄州ヲ梁州ニ作ル、云フ各本襄州、或ハ襄州ニ誤ル、老壽郡縣志及唐志ニ據テ改ム。
周郢ハ周召ニ作ル、云フ官本召、各本邵ニ作ル。

歸趙。前後斬首虜四十五萬人。趙人大震。四十八年十月。秦復

定上黨郡。索隱曰。秦前攻趙。已破上黨。今廻兵復定其郡。其餘城猶屬趙。秦分軍爲二。王齕攻皮牢。拔

之。正義曰。故城在絳州龍門縣西一里。司馬梗定太原。正義曰。太原趙地。秦定取也。韓趙恐。使蘇代厚幣

說秦。相應侯曰。武安君擒馬服子乎。曰然。又曰。卽圍邯鄲乎。曰

然。趙亡。則秦王王矣。武安君爲三公。武安君所爲秦戰勝攻取

者。七十餘城。南定鄢郢。漢中。正義曰。鄢在襄州夷道縣南九里。郢在荊州江陵縣東六里。漢中。今襄州之地。北擒

趙括之軍。雖周邵呂望之功。不益於此矣。今趙亡。秦王王。則武

安君必爲三公。君能爲之下乎。雖無欲爲之下。固不得已矣。秦

嘗攻韓。圍邢丘。徐廣曰。平阜有邢丘。○正義曰。邢丘。今懷州武陵縣東南二十里平阜縣城是也。困上黨。上黨之民。

皆反爲趙。天下不樂爲秦民之日久矣。今亡趙。北地入。燕東地

趙軍逐勝ハ、勝ニ乗ズルナリ。
追造秦壁注今古ノ古、札記亦ニ作ル、云フ官本亦、各本古ニ譌ス。

盡坑殺之ノ坑、札記阮ニ作ル、云フ官本阮、各

趙軍逐勝追造秦壁

正義曰。秦壁一名秦壘。今古名秦長壘。

壁堅拒不得入而秦奇兵

一萬五千人。絕趙軍後。又一軍五千騎。絕趙壁間。趙軍分而爲

二。糧道絕。而秦出輕兵擊之。趙戰不利。因築壁堅守。

正義曰。趙壁。今名趙東壘。

亦名趙東長壘。在澤州高平縣北五里。卽趙括築壁自敗處。

以待救至。秦王聞趙食道絕。王自之河內。

正義曰。時已屬

賜民爵各一級。發年十五以上。悉詣長平。

索隱曰。時已屬秦。故發其

兵。

遮絕趙救。及糧食。至九月。趙卒不得食。四十六日。皆內陰相

殺食。來攻秦壘。欲出爲四隊。四五復之。不能出。其將軍趙括出

銳卒自搏戰。秦軍射殺趙括。括軍敗。卒四十萬人。降武安君。武

安君計曰。前秦已拔上黨。上黨民不樂爲秦而歸趙。趙卒反覆。

非盡殺之。恐爲亂。乃挾詐而盡坑殺之。遺其小者二百四十人。

趙裨將茄。

索隱曰。音一加。裨將名。

六月陷趙軍。取二鄣四尉。

索隱曰。障。堡城。尉。官也。○正義曰。括地志云。趙鄣故

城一名都尉城。今名趙東城。在澤州高平縣西二十五里。又有故穀城。此二城。卽二鄣也。

七月。趙軍築壘壁而守之。秦又

攻其壘。取二尉。敗其陣。

徐廣曰。一作乘。

奪西壘壁。

正義曰。趙西壘。在澤州高平縣北六里。是也。卽廉頗堅壁以待秦王

屹奪趙西壘壁者。

廉頗堅壁以待秦。秦數挑戰。

正義曰。數音朔。挑田烏反。

趙兵不出。趙王

數以爲讓。而秦相應侯。又使人行千金於趙。爲反閒曰。

正義曰。閒紀莧反。

秦之所惡。獨畏馬服子趙括將耳。廉頗易與。且降矣。趙王旣怒

廉頗。軍多失亡。軍數敗。又反堅壁。不敢戰。而又聞秦反閒之言。

因使趙括代廉頗。將以擊秦。秦聞馬服子將。乃陰使武安君白

起爲上將軍。而王齕爲尉裨將。令軍中有敢泄武安君將者。斬

趙括至。則出兵擊秦軍。秦軍詳敗而走。

正義曰。詳音羊。

張二奇兵以劫之。

軍多失亡。軍數敗。ハ、札記云、下軍字疑フ上ニ涉テ衍ス。

曰鄭國。卽韓之都。在河南。秦伐野王。是上黨歸韓之道絕也。韓必不可得爲民。秦兵日進。韓不能應。不

如以上黨歸趙。趙若受我。秦怒必攻趙。趙被兵。必親韓。韓趙爲

一。則可以當秦。因使人報趙。趙孝成王與平原君平原君計之。

索隱曰。平陽君曰。不如勿受。受之禍大於所得。平原君曰。無

君未詳何人。平陽君曰。不如勿受。受之禍大於所得。平原君曰。無

故得一郡。受之便。趙受之。因封馮亭爲華陽君。正義曰。常山一名。四

十六年。秦攻韓。緱氏蘭。徐廣曰。屬潁川。○索隱曰。今其地闕。西河別有蘭縣也。○

之綸國也。在緱氏東南六十里。地理志云。輪氏屬潁川郡。按

旣攻緱氏蘭。二邑合相近。恐輪蘭聲相似。字隨音而轉作蘭。拔之。四十七年。秦使

左庶長王齮攻韓。齮音紇。取上黨。上黨民走趙。趙軍長平。徐廣曰。在涿

地理志。涿氏。今在上黨郡也。○正義曰。以按據上黨民。索隱曰。謂屯兵長

長平故城。在澤州高平縣西北一里也。四月。齮

因攻趙。趙使廉頗將。趙軍士卒犯秦斥兵。秦斥兵斬

趙孝成王與平原君平原君注索隱曰。平陽君未詳何人。錢大昕曰。平陽君ハ趙豹ナリ。趙世家ニ見ユ。

緱氏蘭注正義輪。札記綸ニ作ル。云フ官本綸。各本輪ニ譌ス。

趙軍長平注正義西北ノ北。札記二十二作ル。云考證郡縣志ニ據テ改ム。

後七年白起攻楚云云、
錢大昕曰、年表按ズ
ルニ、昭王二十八年ニ
在リ、其趙ノ光復城ヲ
拔ク、即前一年ニ在リ、
此後七年ト云フ、表ト
異ナリ。
燒夷時法正義今嶺州、
札記峽州ニ作ル、云フ
考證唐志ニ據テ改ム。

後五年。白起攻趙。拔光狼城。索隱曰。地理志。不載光狼城。蓋屬趙國。○正義曰。光狼故城。在澤州高平縣西二十五里也。後

七年。白起攻楚。拔鄢鄧五城。徐廣曰。昭王二十八年。○正義曰。鄢鄧二邑。在襄州。其明年攻楚。拔

郢。燒夷陵。正義曰。夷陵。今硤州郭下縣。遂東至竟陵。正義曰。故城在郢州長壽縣南。百五十里。今復州亦是其地也。楚王亡

去。郢東走徙陳。秦以郢爲南郡。白起遷爲武安君。武安君因取

楚。定巫黔中郡。昭王三十四年。白起攻魏。拔華陽。走芒卯。而虜

三晉將。斬首十三萬。與趙將賈偃戰。沈其卒二萬人於河中。昭

王四十三年。白起攻韓。陘城。正義曰。陘城故城。在曲沃縣西北二十里。在絳州東北三十五里也。拔五城。斬

首五萬。四十四年。白起攻南陽。太行道絕之。徐廣曰。此南陽。河內修武是也。○正義曰。案南陽屬

韓。秦攻之。則韓太韓。秦攻之。則韓太四十五年。伐韓之野王。索隱曰。地理志。野王縣屬河內。客在太行東南。孟康曰。古邢國也。野王

降秦。上黨道絕。其守馮亭與民謀曰。鄭道已絕。徐廣曰。河南新鄭。韓之國都。是也。○索隱

爲長平之戰本案

史記評林卷之七十三

白起王翦列傳第十三

白起者。鄢人也。

正義曰。鄢音眉岐州縣。

起案善用兵。事秦昭王。昭王十三年。而白

起爲左庶長。將而擊韓之新城。

索隱曰。在河南也。正義曰。今洛州伊闕。

是歲。穰侯相秦。

舉任鄙以爲漢中守。其明年。白起爲左更。攻韓魏於伊闕。

正義曰。今

洛州南十九里伊闕山號曰龍門。是

斬首二十四萬。又虜其將公孫喜。拔五城。起遷爲

國尉。

正義曰。言太尉。

涉河。取韓安邑以東到乾河。

徐廣曰。音干。駟案郭璞曰。今河東聞喜縣東北有乾河口。因名。

乾河里。但有故溝處。無復水也。○索隱曰。魏以安邑入秦。然安邑以東至乾河。皆韓故地。故云取韓安邑。

明年。白起爲大良造。攻魏。

拔之。取城小大六十一。明年。起與客卿錯攻垣城。拔之。

徐廣曰。河東垣縣。

索隱述贊曰。穰侯智識。應變無方。內倚太后。外輔昭王。四登相位。再列封疆。摧齊撓楚。破魏圍梁。一夫開說。憂憤而亡。

蘇子古史曰。秦誅商君。逐穰侯。君臣皆失之矣。彼二子者。知得而不知喪。雖智能伯秦。而不能免其身。蓋無足言者。而惠王以怨誅鞅。至誣以畔逆。昭王以偏遷冉。至出老母。逐弱弟。而不顧甚矣。其少恩也。彼公子虔方欲報怨。固不暇爲國慮矣。而范雎將毀人以自成。而至於是可畏也哉。

史記評林卷之七十二終

以廣其陶邑ハ、淺雅隆
日、前ニ陶ニ益封スト
云ヒ、此後其陶邑ヲ廣
ウセント云フ、范雎閉
ニ乘ジテ譏スベキヲ見
ルナリ、故ニ太史公特
ニ於是ノ字ヲ下ダシ、
又以此時奸說數字ヲ下
ダス。

秦王悟ハ、札紀秦昭王
ニ作リ、云フ昭字諸本
脱ス。

收陶爲郡ハ、札紀云、郡
當ニ縣ニ作ルベシ。

昭王三十六年。相國穰侯言客卿竈欲伐齊取剛壽。

徐廣曰。濟北有剛縣。○正

義曰。故剛城在兗州冀丘縣界。壽張鄆州縣也。

以廣其陶邑。於是魏人范雎自謂張祿先生。譏

穰侯之伐齊。乃越三晉以攻齊也。以此時奸說秦昭王。昭王於

是用范雎。范雎言宣太后專制。穰侯擅權於諸侯。涇陽君。高陵

君之屬太侈。富於王室。於是秦王悟。乃免相國。令涇陽之屬。皆

出關就封邑。穰侯出關。輜車千乘有餘。穰侯卒於陶。而因葬焉。

秦復收陶爲郡。

太史公曰。穰侯。昭王親舅也。而秦所以東益地。弱諸侯。嘗稱帝

於天下。天下皆西鄉稽首者。穰侯之功也。及其貴極富溢。一夫

開說身折勢奪。而以憂死。況於羈旅之臣乎。

百相欺也。不爲不信。不爲無行。今破齊以肥趙。趙秦之深讎。不利於秦。此一也。秦之謀者。必曰。破齊弊晉楚。正義曰。今晉楚伐齊。晉楚之國亦弊敗。而

後制晉楚之勝。夫齊罷國也。以天下攻齊。如以千鈞之弩決潰癰也。必死。安能弊晉楚。此二也。秦少出兵。則晉楚不信也。多出兵。則晉楚爲制於秦。齊恐不走秦。必走晉楚。此三也。秦割齊以啖晉楚。晉楚案之以兵。秦反受敵。此四也。是晉楚以秦謀齊。以齊謀秦也。何晉楚之智。而秦齊之愚。此五也。故得安邑以善事之。亦必無患矣。秦有安邑。韓氏必無上黨矣。取天下之腸胃。與出兵而懼其不反也。孰利。臣故曰。秦王明而熟於計。穰侯智而習於事。必不益趙甲四萬以伐齊矣。於是穰侯不行。引兵而歸。

乃罷梁園ハ、淺稚隆曰、
須買利害ヲ剖析スル
處諸ヲ掌ニ指ス如シ、
梁ノ爲ニ説客ト作ルト
雖モ、實ハ穰侯ノ爲ニ
謀ルナリ、故ヲ以テ竟
ニ梁ノ園ヲ罷ム。

臣竊必之云云ハ、札記
云、索隱ノ解ノ如キ、
此四字當ニ下ニ連テ文
ヲ爲スベシ、正義之ヲ
中斷ス、是ニ非ズ。

單父。秦兵可全而君制之。何索而不得。何爲而不成。願君熟慮
之。而無行危。索隱曰。言莫行。閼梁之危事。穰侯曰。善。乃罷梁園。正義曰。表云。魏安釐王二年。秦軍大梁城。韓來

救。與秦溫。明年。魏背秦。與齊從親。秦使穰侯伐魏。斬首四萬。走魏
以和也。

將暴鳶得魏三縣。穰侯益封。明年。穰侯與白起客卿胡陽復攻
趙韓魏。破芒卯於華陽下。斬首十萬。取魏之卷。丘權反。蔡陽。長社。趙

氏觀津。且與趙觀津。益趙以兵。伐齊。索隱曰。既得觀津。仍令趙伐齊。而秦又以兵益助趙也。齊襄

王懼。使蘇代爲齊陰遺穰侯書曰。臣聞往來者言曰。秦將益趙

甲四萬以伐齊。臣竊必之弊邑之王曰。索隱曰。告齊王言。秦必定不益兵以助趙。正義曰。臣蘇代也。必知

秦與趙甲四萬以伐齊。秦王明而熟於計。穰侯智而習於事。必不益趙甲

四萬以伐齊。是何也。夫三晉之相與也。秦之深讎也。百相背也。

陶邑必亡ハ、正義ノ説
從フベシ。

爲湯武復生。不易攻也。夫輕背楚趙之兵。陵七仞之城。戰三十

萬之衆。而志必舉之。臣以爲自天地始分。以至于今。未嘗有者

也。攻而不拔。秦兵必罷。陶邑必亡。索隱曰。陶一作魏。言秦前攻得魏之城邑。秦罷則亡而還於魏也。○正義曰。定陶近

大梁。穰侯攻梁兵。則前功必弃矣。今魏氏方疑。可以少割收也。索隱曰。賈

引魏人之說。不許王講於秦。是言。願君逮楚趙之兵。未至於梁。亟以少割

收魏。魏方疑。而得以少割爲利。必欲之。則君得所欲矣。楚趙怒

於魏之先已也。必爭事秦。從以此散。索隱曰。楚趙怒魏之與秦講。皆爭事秦。是東方從國於是解散也。○正義

曰。從足。而君後擇焉。且君之得地。豈必以兵哉。割晉國。秦兵不攻。

而魏必效絳安邑。又爲陶開兩道。索隱曰。穰侯封陶。魏效絳與安邑。是得河東地。言從秦適陶。開河西河東之兩道。○

正義曰。穰侯封定陶。故宋及單父。是陶之南道也。魏之安邑及絳。是陶北道。幾盡故宋。索隱曰。上音祈。此時宋已滅。是秦將盡得宋地也。衛必效

有哉。今又走芒卯入北宅。此非敢攻梁也。且劫王以求多割地。

王必勿聽也。今王背楚趙而講秦。索隱曰。講和也。楚趙怒而去王。與王

爭事秦。秦必受之。秦挾楚趙之兵以復攻梁。則國求無亡。不可

得也。願王之必無講也。王若欲講。少割而有質。不然必見欺。索隱

曰。謂與秦欲講。少割地而求。此臣之所聞於魏也。索隱曰。須賈說穰侯言。魏謂人

秦質子。恐不然必被秦欺也。願君王之以是慮事也。周書曰。惟命不于常。此言幸之

即聞魏見欺於秦也。不可數也。夫戰勝暴子。割八縣。此非兵力之精也。又非計之工

也。天幸為多矣。今又走芒卯入北宅。以攻大梁。是以天幸自為

常也。智者不然。臣聞魏氏悉其百縣勝甲以上。成大梁。臣以為

不下三十萬。以三十萬之衆守梁。七仞之城。爾雅曰。四尺謂之臣以

仞。倍仞謂之尋。

此臣之所聞於魏也ハ、
董份曰、臣聞ヨリ必見
欺ニ至ル、皆須賈魏ノ
長吏ノ言ヲ述ブ、故ニ
之ヲ結テ此臣ノ魏ニ聞
ク所ナリト曰フ、其魏
ニ聞ク所ノ言此ノ如シ
ト言フナリ、詞意極テ
明カ、索隱大ニ謬ル。
願君王之以是慮事也ハ
王字衍ナリ、札記云、君
ハ穰侯ヲ指ス、下文屢
君ト稱ス、王字ノ衍ナ
證スベシ。

七仞之城注爾雅曰ハ、
札記云、引ク所ノ文、
小爾雅ニ見ユ。

テ攻メ、楚ノ宛葉ヲ取
ルト言ヒ、此又再白起
ナシテ、楚ノ郢ヲ拔カ
シムト言ヒ、而之ヲ結
テ白起ハ穰侯ノ任舉ス
ル所ナリト曰フ、總テ
白起ノ功、皆穰侯ニ本
ヅクナ見ルヲミ。

臣以爲衛趙可法ノ旁
注、此臣衛大臣所稱ハ、
魏ル、臣ハ、魏ノ長吏
白ラ稱スルナリ。

侯之富。富於王室。昭王三十二年。穰侯爲相國。將兵攻魏。走芒

卯。

上莫卯反。下陌飽反。

入北宅。

徐廣曰。魏惠王五年。與韓會宅陽。○正義曰。竹書云。宅陽。一名北宅。括地志云。宅陽故城在鄭州滎陽縣西南十七里。

遂

圍大梁。梁大夫須賈說穰侯曰。臣聞魏之長吏謂魏王曰。昔梁

惠王伐趙。戰勝三梁。

徐廣曰。田完世家云。魏伐趙。趙不利。戰於南梁。○索隱曰。三梁。卽南梁也。

拔邯鄲。趙氏不

割。而邯鄲復歸。齊人攻衛。拔故國。殺子良。

索隱曰。衛之故國。蓋楚丘也。下文故地亦同。謂楚丘也。戰

國策。衛字皆作燕。子良作子之。恐非也。

衛人不割。而故地復反。衛趙之所以國全兵勁。

而地不并於諸侯者。以其能忍難而重出地也。宋中山數伐割

地。而國隨以亡。臣以爲衛趙可法。而宋中山可爲戒也。秦貪戾

之國也。而母親蠶食魏氏。又盡晉國。

索隱曰。河西河東河內。竝是魏地。卽故晉國。今言秦蠶食魏地。盡晉國之

也。

戰勝暴子。

徐廣曰。韓將暴鳶。

割八縣。地未畢入。兵復出矣。夫秦何厭之

魏冉故德公矣ハ、故ハ
原ナリ、董份曰、仇液
モト魏冉ノ爲ニ來ル、
冉モト自ラ之ヲ德トス
ルヲ言ナリ。

呂禮來ハ、秦本紀、呂禮
來テ自歸スニ作ル。

白起者穰侯之所任舉也
ハ、淺稚陰曰、前既ニ
魏冉白起ヲ舉ゲ、韓魏

成。以德樓子事成。魏冉故德公矣。於是仇液從之。而秦果免樓
緩。而魏冉相秦。欲誅呂禮。禮出奔齊。昭王十四年。魏冉舉白起。
使代向壽將。而攻韓魏。敗之伊闕。斬首二十四萬。虜魏將公孫
喜。明年。又取楚之宛葉。魏冉謝病免相。以客卿壽燭爲相。其明
年。燭免。復相冉。乃封魏冉於穰。復益封陶。
字本易惑也。王劭按定陶見有魏冉冢。作陰誤也。號曰穰侯。穰侯封四歲。爲秦將攻魏。魏獻河
東方四百里。拔魏之河內。取城大小六十餘。昭王十九年。秦稱
西帝。齊稱東帝。月餘。呂禮來。而齊秦各復歸帝爲王。魏冉復相
秦。六歲而免。免二歲。復相秦。四歲。而使白起拔楚之郢。秦置南
郡。乃封白起爲武安君。白起者穰侯之所任舉也。相善於是。穰

徐廣曰。一作陰。○索隱曰。陶。即定陶也。徐廣云。作陰。陶陰。

ヲスノ案ヲ發ス。

索隱曰。涇陽君。客名。索隱曰。

而魏冉最賢。自惠王武王時。任職用事。武

王卒。諸弟爭立。唯魏冉力爲能立昭王。昭王卽位。以冉爲將軍。

衛咸陽。誅季君之亂。

徐廣曰。年表曰。季君爲亂。誅。本紀曰。庶長壯與大臣公子謀反。伏誅。○索隱曰。按季君卽公子壯。僭立而號曰季君。穰侯

力能立昭王。爲將軍。衛咸陽。誅季君及惠文后。故本紀言伏誅。又云。及惠文后皆不得良死。蓋謂惠文后時黨公子壯欲立之。及壯誅而太后憂死。故云不得良死。亦史諱之也。又逐武王后出之魏。亦事勢然也。而逐武王后。出之魏。昭王諸兄弟不善者。皆滅之。威振

秦國。昭王少。宣太后自治。任魏冉爲政。昭王七年。穰里子死。而

使涇陽君質於齊。趙人樓緩來相秦。趙不利。乃使仇液之秦。

曰。戰國策作仇郝。蓋是一人而記別也。○正義曰。音亦。姓名。請以魏冉爲秦相。仇液將行。其客宋公謂

液曰。索隱曰。戰國策作宋交。秦不聽公。樓緩必怨公。公不若謂樓緩曰。請爲

公母急秦。秦王見趙。請相魏冉。之不急。且不聽公。公言而事不

史記評林卷之七十二

穰侯列傳第十二

穰侯魏冉者。秦昭王母宣太后弟也。

索隱曰。宣太后之異父長弟也。姓魏名冉。封之穰。地理志。穰縣在。南陽。宣

太后者。惠王之妃。姓芈氏。曰芈八子也。

其先楚人。姓芈氏。

正義曰。芈亡爾反。

秦武王卒。無子。立其

以下叙系本此一句發明

弟爲昭王。昭王母。故號爲芈八子。及昭王卽位。芈八子號爲宣

太后。宣太后非武王母。武王母號曰惠文后。先武王死。

索隱曰。秦本紀云。昭

王二年。庶長壯與大臣公子爲逆。皆誅。及惠文后皆不得良死。又按紀年云。秦內亂。殺其太后及公子雍。公子壯是也。

宣太后二弟。其異父

長弟曰穰侯。姓魏氏。名冉。同父弟曰芈戎。爲華陽君。

索隱曰。華陽。韓地。後屬秦。

芈戎後。又號新城君。○正義曰。彪云。華陽亭名。在洛州密縣。又故華城。在鄭州管城縣南三十里。卽此城。

而昭王同母弟曰高陵君。

爲華陽君注義彪云ハ、札記司馬彪作リ、云官本司馬二字アリ、他本脫スト、茅坤ハ、華陽君三人ヲ敘スル者、篇末范曄說テ昭王ヲ悟

史記評林卷之七十一終

太史公曰云云、追恆曰、三人皆智ヲ以テ稱セラ、一ハ則骨肉ヲ以テ重ゼラル、一ハ則下蔡ノ閭閻ヨリ起ル、一ハ則年十二ノミ、秦ノ強ニ方リ、而天下ノ尤許謀ニ趨クヲ見ルベキナリ。

城以廣河間。秦歸燕太子。趙攻燕得上谷三十城。索隱曰。戰國策云。得三十六縣。○正義曰。上谷。今嬌州也。在幽州西北。

令秦有十一。索隱曰。謂以十一城與秦也。甘羅還報。秦乃封甘羅以

爲上卿。復以始甘茂田宅賜之。

太史公曰。樗里子以骨肉重。固其理。而秦人稱其智。故頗采焉。

甘茂起下蔡閭閻。顯名諸侯。重彊齊楚。徐廣曰。恐或疑此當云見重彊齊。誤脫一字。○正義曰。甘茂爲彊齊

楚所重。甘羅年少。然出一奇計。聲稱後世。雖非篤行之君子。然亦

戰國之策士也。方秦之彊時。天下尤趨謀詐哉。

索隱述贊曰。嚴君名疾。厥號智囊。既親且重。稱兵外攘。甘茂並相。初佐魏章。始推向壽。乃攻宜陽。甘羅妙歲。卒起張唐。

蘇子古史曰。蘇秦爲諸侯弱秦。而張儀爲秦弱諸侯。其說猶可言也。如樗里疾。公孫奭。黨於韓。甘茂黨於魏。向壽黨於楚。皆借秦之彊。以搖動諸侯。而成其私。民生其間。其受害可勝言乎。今世雖無戰國相傾之勢。然士居其間。其以喜怒成敗天下事者多矣。人主誠得其情。其罪可勝誅乎。

郵。今文信侯自請卿相燕而不肯行。臣不知卿所死處矣。張唐
 曰。請因孺子行。令裝治行。行有日。甘羅謂文信侯曰。借臣車五
 乘。請爲張唐先報趙。文信侯乃入言之於始皇曰。昔甘茂之孫
 甘羅年少耳。然名家之子孫。諸侯皆聞之。今者張唐欲稱疾不
 肯行。甘羅說而行之。今願先報趙。請許遣之。始皇召見。使甘羅
 於趙。趙襄王郊迎甘羅。甘羅說趙王曰。王聞燕太子丹入質秦
 歟。曰。聞之。曰。聞張唐相燕歟。曰。聞之。燕太子丹入秦者。燕不欺
 秦也。張唐相燕者。秦不欺燕也。燕秦不相欺者。伐趙危矣。燕秦
 不相欺。無異故。欲攻趙而廣河閒。王不如下齊臣五城。以廣河閒。
 索隱曰。齊音側奚反。一音齊。並謂割五城與臣也。請歸燕太子。與彊趙攻弱燕。趙王立自割五

夫項橐ハ、札記諸隱本
ニ依リ、大項橐ニ作リ、
注亦尊其道德、故云大
項橐ニ作ル。

信侯不快。カヲ未有以彊也。フル甘羅曰。君侯何不快之甚也。キ文信侯曰。

吾令剛成君蔡澤事燕三年。ナシタヘニ燕太子丹已入質矣。ニ吾自請張卿

相燕而不肯行。トスニ。シテ。セ

索隱曰。卽張唐也。卿字也。

甘羅曰。臣請行之。ラシテ文信侯叱曰。去。我

身自請之而不肯。女焉能行之。ミ。テ。セ。ラシテ

正義曰。女音汝焉乙連反。

甘羅曰。夫項橐生七

歲爲孔子師。

索隱曰。橐音託。尊其道德。故云項橐。

今臣生十二歲於茲矣。君其試臣。何

遽叱乎。於是甘羅見張卿曰。卿之功孰與武安君。卿曰。武安君

南挫彊楚。北威燕趙。戰勝攻取。破城墮邑。不知其數。臣之功不

如也。甘羅曰。應侯之用於秦也。孰與文信侯專。ナルニ應侯范雎也。張卿曰。

應侯不如文信侯專。甘羅曰。卿明知其不如文信侯專與。曰。知

之。甘羅曰。應侯欲攻趙。武安君難之。去咸陽七里而立死於杜

越之城皆爲ル楚之都邑。

計ル王之功所以能如此者。越國亂而楚治也。今王知

用ル諸越而忘用ル諸秦。臣以王爲鉅過矣。然則王若欲置相於秦。

則莫若向壽者可。夫向壽之於秦王親也。少與之同衣。長與之

同車。以聽事。王必相向壽於秦。則楚國之利也。於是使使請秦

相向壽於秦。秦卒相向壽而甘茂竟不得復入秦。卒於魏。甘茂

有孫曰甘羅。甘羅者甘茂孫也。茂既死。後甘羅年十二。事秦相

文信侯呂不韋。索隱曰。戰國策。甘羅事呂不韋爲庶子。秦始皇帝使剛成君蔡澤於燕。

三年。而燕王喜使太子丹入質於秦。秦使張唐往相燕。欲與燕

共伐趙。以廣河閒之地。張唐謂文信侯曰。臣嘗爲秦昭王伐趙。

趙怨臣。曰得唐者與百里之地。今之燕。必經趙。臣不可以行。文

以市於齊ハ、皆川淇園
曰、市ハ彼ヲ賣ルナリ。

苟賤不廉ハ、戰國策不
廉ヲ苛廉ニ作ル。

茂之家。以市於齊。

正義曰。
復音福。

齊使甘茂於楚。楚懷王新與秦合婚。

而驩。

徐廣曰。昭王二
年時迎婦於楚。

而秦聞甘茂在楚。使人謂楚王曰。願送甘茂。

於秦。楚王問於范蜎曰。

徐廣曰。蜎一作蜎。○索隱曰。休緣反。又音休。
輒反。戰國策一作蜎字。○正義曰。許緣反。

寡人欲

置相於秦。孰可。對曰。臣不足以識之。

楚王曰。寡人欲相甘茂。可

乎。對曰。不可。夫史舉下蔡之監門也。

應前

大不爲事君。小不爲家室。

以苟賤不廉聞於世。甘茂事之順焉。故惠王之明。武王之察。張

儀之辯。而甘茂事之。取十官而無罪。茂誠賢者也。然不可相於

秦。夫秦之有賢相。非楚國之利也。且王前嘗用召滑於越。

徐廣
曰。滑

一作
涓。

而內行章義之難。

徐廣曰。一云。內句章味之難。○索隱曰。召滑。內心猜詐。外則
佯章恩義。而卒包藏禍心。構難於楚。戰國策云。內句章味之

難也。

越國亂。故楚南塞厲門。

徐廣曰。一作。瀨胡。○正義曰。劉
伯莊云。厲門度嶺南之要路。

而郡江東。

正義
曰。吳

置之鬼谷注正義陽城
谷札記云官本谷上
鬼字アリ各本脫ハ
稷維陸曰蘇代茂ノ
必齊ニ留ルヲ知ル故
ニ此ヲ言フノミ茂ノ
爲ニ游說スルニ非ザル
ナリ

幸有餘。子可分我餘光。無損子明。而得一斯便焉。今臣困。而君

方使秦而當路矣。茂之妻子在焉。願君以餘光振之。蘇代許諾。

遂致使於秦。已因說秦王曰。甘茂非常士也。其居於秦。累世重

矣。自穀塞及至鬼谷。徐廣曰。在陽城。○正義曰。三穀在洛州永寧縣西北。其地形險易。皆明知之。

彼以齊約韓魏。反以圖秦。非秦之利也。秦王曰。然則奈何。蘇代

曰。王不若重其贄。厚其祿。以迎之。使彼來。則置之鬼谷。正義曰。劉伯莊云。此

鬼谷。關內雲陽。非陽城者也。按陽城谷時屬韓。秦不得言置之。終身勿出。秦王曰。善。即賜之上卿。以相印。

迎之於齊。甘茂不往。蘇代謂齊湣王曰。夫甘茂賢人也。今秦賜

之上卿。以相印。迎之。甘茂德王之賜。好爲王臣。故辭而不往。今

王何以禮之。齊王曰。善。即位之上卿而處之。索隱曰。處。猶畱也。秦因復甘

秦也。

解音己買反。○索隱曰。韓楚怨不解。二國交走向秦也。

秦楚爭彊。而公徐過楚。以收韓。此利

於秦。

徐廣曰。過一作適。○正義曰。若二國皆事秦。公則漸說楚之過失。以收韓。此利於秦也。

向壽曰。奈何。對曰。此善事

也。甘茂欲以魏取齊。公孫夷欲以韓取齊。今公取宜陽。以為功。

收楚韓以安之。而誅齊魏之罪。

正義曰。言公孫夷甘茂皆欲以秦挾韓魏而取齊。今向壽取宜陽為功。收楚韓安以事秦。

而責齊魏之罪。是公孫夷甘茂無事也。甘茂竟言秦昭

王以武遂復歸之韓。

正義曰。年表云。秦昭王元年。予韓武遂也。

向壽公孫夷爭之。不能得。

向壽公孫夷由此怨讒甘茂。茂懼。輟伐魏蒲阪。亡去。

徐廣曰。昭王元年。擊魏皮

氏。未拔去。

樗里子與魏講。罷兵。

索隱曰。鄒氏云。講讀曰媾。媾猶和。

甘茂之亡。秦奔齊。逢蘇

代。代為齊使於秦。甘茂曰。臣得罪於秦。懼而遯逃。無所容跡。臣

聞貧人女與富人女會績。貧人女曰。我無以買燭。而子之燭光

收楚韓以安之ハ、淺稚隆曰。楚潁川ヲ歸セバ、則楚韓講ス、故ニ安ト曰フ。

人皆言楚之善變也云云ハ、方苞曰、亡音無ナリ、向壽楚ニ黨ス、故ニ人楚善ク變ズト言ヒ、而テ壽必以テ變ズルナシト爲ス、是自ラ楚變ノ責ヲ負フナリ。

此韓之寄地也ハ、淹權陸曰、潁川ハモト韓ノ地ニシテ、楚之ヲ取ル、故ニ寄地ト云フ。

正義曰。蘇氏云。向壽與公孫夷甘茂皆人皆言楚之善變也。而公必亡之。是有黨言無異也。又一云。改異黨楚之意。

自爲責也。正義曰。楚善變改不可信。若變改。向壽必亡敗。是自爲責。公不如與王謀其變也。善韓以

備楚。正義曰。令秦親韓而備楚之變改。則向壽無患矣。如此。則無患矣。韓氏必先以國從公孫

夷而後委國於甘茂。韓公之讎也。正義曰。韓氏必先委二人。故韓爲向壽之讎。今公言善韓

以備楚。是外舉不辟讎也。向壽曰。然。吾甚欲韓合。對曰。甘茂許

公仲以武遂。徐廣曰。秦昭王元年。予韓武遂。反宜陽之民。正義曰。武遂宜陽。本韓邑也。秦伐取

今公徒收之。甚難。正義曰。蘇代言甘茂許公仲以武遂。又歸之。今欲還韓令其民得反歸居之。宜陽之民。今向壽徒擬收之。甚難事也。向壽曰。然則奈

何。武遂終不可得也。對曰。公奚不以秦爲韓求潁川於楚。正義曰。潁

川。許州也。楚侵韓潁川。蘇代令向壽以此韓之寄地也。公求而得之。是令行

秦咸重。爲韓就楚求潁川。是親向壽。於楚。而以其地德韓也。公求而不得。是韓楚之怨不解。而交走

以關於秦、關ハ説文ニ
楚關ナリ、淺雅陸曰、躬
カラ私徒ヲ率キテ、秦
ニ関グハ、正ニ前ノ禽
困メバ車ヲ覆ヘスノ意
ナリ。

口猶開口得言。向壽於秦。封小令尹以杜陽。索隱曰。封楚令尹以杜陽。杜陽。秦地。今以封楚令尹。是秦楚相合也。秦

楚合。復攻韓。韓必亡。韓亡。公仲且躬率其私徒以闕於秦。闕。關。鳥曷反。

○正義曰。公仲恐韓亡。欲將私徒往宜陽闕向壽也。願公孰慮之也。向壽曰。吾合秦楚。非以當韓

也。子爲壽謁之。公仲曰。正義曰。子。蘇代也。向壽恐令蘇代謁報公仲云。秦韓交可合。秦韓之交可合

也。蘇代對曰。願有謁於公。正義曰。公。向壽也。言向壽亦黨於楚。與公孫夷甘茂黨韓魏同也。人曰。賢其所

以。賢者。賢王之愛習公也。不。公孫夷其智能公也。不如甘茂。

今二人者。皆不得親於秦事。而公獨與王主斷於國者何。彼有

以失之也。索隱曰。彼。言公孫夷及甘茂也。有以失之。謂不見委任。情有所失。○正義曰。言秦王雖愛習公孫夷甘茂。秦事不親委者。爲黨韓魏也。今國事獨與向壽

主斷者。不知壽黨於楚。公孫夷黨於韓。而甘茂黨於魏。故王不信也。今

秦楚爭彊。而公黨於楚。是與公孫夷甘茂同道也。公何以異之。

公叔且以國南合於楚、
札記云、公叔二字、疑
衍ナリ。

案使向壽平宜陽云云、
浸稚陰曰、此段、向壽
樛里子公仲蘇代諸人ノ
事ヲ牽引シ、甘茂秦ヲ
去リ齊ニ奔ルノ故ヲ見
ハス。

急^チ於^ニ秦。秦昭王新立。太后楚人。不肯^セ救^チ。公仲因^ニ甘茂^ニ。茂爲^ニ韓言^シ
於^ニ秦。昭王曰。公仲方有^レ得^ル秦救^チ。故敢^テ扞^シ楚也。今雍氏圍^ニ秦師不^レ
下^ラ殺^チ。公仲且^ニ仰^デ首而不^レ朝^セ。公叔且^ニ以^レ國南合^ニ於^ニ楚。楚韓爲^ニ一^ト。魏
氏不敢^テ不^レ聽^カ。然則伐^レ秦之形成^ス矣。不^レ識^ラ。坐而待^ツ伐^チ。孰^ニ與^ニ伐^ニ人之
利^ニ。秦王曰善。乃下^ニ師^ニ於^ニ殺^ニ以^レ救^フ韓。楚兵去^ル。秦使^ニ向壽^ニ平宜陽。而
使^ニ樛里子甘茂^ニ伐^ニ魏皮氏^ニ。向壽者。宣太后外族也。而與^ニ昭王^ニ少^シ
相長^ズ。故任用^セ向壽如^レ楚。徐廣曰。如一作和。楚聞^ニ秦之資^ニ向壽^ニ。而厚事^ニ向壽^ニ。
向壽爲^ニ秦守^ニ宜陽^ニ。將^ニ以^レ伐^ニ韓^ニ。韓公仲使^ニ蘇代^ニ謂^ニ向壽^ニ曰。禽困覆^ス
車^ヲ。譬禽獸得^ニ困急^ニ。猶
能^レ抵觸^シ。傾覆^ニ人車^ニ。公破^レ韓辱^シ公仲。公仲收^ニ國復^ニ事^ニ秦^ニ。自以爲^ニ必可^ニ
以^レ封^ル。正義曰。公仲自以爲^ニ必可^ニ得^ニ秦封^ニ。今公與^ニ楚^ニ解^ニ口^ニ地^ニ。索隱曰。解口。秦地名。近韓。今將與楚
也。○正義曰。上紀買反。公。向壽也。解

是王欺魏王而臣受公仲
修之怨也ハ、始メ秦王
魏ト約シテ共ニ韓ノ宜
陽ヲ伐チ、又樗里子等
ノ言ヲ聽テ之ヲ罷ムレ
ハ、是魏王ヲ欺クナリ、
公仲修ハ韓ノ大夫ナ
リ、甘茂宜陽ヲ攻ムル
ヲ以テ、其怨ヲ受クル
ナリ。

臣之功也。主君之力也。今臣羈旅之臣也。樗里子公孫奭二人

者。索隱曰。戰國策作公孫衍。正義曰。音釋。挾韓而議之。王必聽之。是王欺魏王而臣受

公仲侈徐廣曰。一作馮。之怨也。王曰。寡人不聽也。請與子盟。卒使丞相甘

茂將兵伐宜陽。五月而不拔。樗里子公孫奭果爭之。武王召甘

茂。欲罷兵。甘茂曰。息壤在彼。正義曰。甘茂歸至息壤與秦王盟。恐後樗里子公孫奭伐韓。今二子果爭之。武王召甘茂欲罷兵。故甘

茂云。息壤在彼邑也。王曰。有之。因大悉起兵。使甘茂擊之。斬首六萬。遂拔宜

陽。韓襄王使公仲侈入謝與秦平。武王竟至周而卒於周。其弟

立爲昭王。索隱曰。趙系家。昭王一名稷。系本云。名側。王母宣太后。楚女也。楚懷王怨前秦

敗楚於丹陽。而韓不救。乃以兵圍韓雍氏。索隱曰。秦惠王二十六年。楚圍雍氏。至昭王七年。又圍雍

氏。韓求救於秦。是再圍也。劉氏云。此是前圍雍氏。當赧王之七年。戰國策及紀年與此並不同。正義曰。故城在洛州洛陽縣東北二十里。韓使公仲侈告

二縣ヨリ、其財賦ヲ宜
陽ニ歸リ、之ヲ積ム久
シト謂フナリ。
昔曾參之處費云云ハ、
凌約言曰、此下二段ト
作シテ看ル、先ヅ曾參
ノ事ヲ引キ、今臣ノ賢
數句ヲ以テ之ヲ結び、
既ニシテ張儀樂羊ノ事
ヲ引キ、今臣羈旅ノ臣
數句ヲ以テ之ヲ結ブ。

矣。

索隱曰。上黨南陽並積貯日久。○正義曰。韓
之北三郡積貯在河南宜陽縣之日久矣。

名曰縣。其實郡也。今王倍數

險。行千里攻之難。

正義曰。謂函谷及三輔五
谷。○索隱曰。數音率庚反。

昔曾參之處費。

祕

魯人有

與曾參同姓名者。殺人。人告其母。曰。曾參殺人。其母織自若也。

頃之。一人又告之。曰。曾參殺人。其母尚織自若也。頃又一人告

之。曰。曾參殺人。其母投杼下機。踰牆而走。夫以曾參之賢。與其

母信之也。三人疑之。其母懼焉。今臣之賢。不若曾參。王之信臣。

又不如曾參之母信曾參也。疑臣者。非特三人。臣恐大王之投

杼也。始張儀西并巴蜀之地。北開西河之外。南取上庸。天下不

以多張子。而以賢先王。魏文侯令樂羊將而攻中山。三年而拔

之。樂羊返而論功。文侯示之謗書一篋。樂羊再拜稽首曰。此非

甘茂者。下蔡人也。索隱曰。括地志云。下蔡縣屬汝南也。○正義曰。今潁州縣卽州萊國。事下蔡史舉先生。索隱

曰。戰國策及韓子皆起案學百家之說。因張儀樗里子而求見秦惠王。王

見而說之。使將而佐魏章。略定漢中地。惠王卒。武王立。張儀魏

章去。東之魏。蜀侯輝相壯反。本作輝。索隱曰。輝音暉。又音胡昆反。秦之公子封蜀也。華陽國志作暉。壯音側。狀反。姓陳也。秦使

甘茂定蜀。還而以甘茂爲左丞相。以樗里子爲右丞相。秦武王

三年。謂甘茂曰。寡人欲容車通三川。以窺周室。而寡人死不朽

矣。甘茂曰。請之魏。約以伐韓。而令向壽輔行。正義曰。餉受二音。人姓名。甘茂至。

謂向壽曰。子歸言之於王曰。魏聽臣矣。然願王勿伐。事成。盡以

爲子功。向壽歸以告王。王迎甘茂於息壤。索隱曰。山海經啓筮云。鮫竊帝之息壤。以堙洪水。或是此

也。○正義曰。秦邑也。甘茂至。王問其故。對曰。宜陽大縣也。上黨南陽積之久

容車通三川ハ、戰國策
以窺周室ハ、李光縉曰、
將ニ之ヲ取ラント欲
ス、而正言セズ、故ニ
窺ト曰フ、窺ハ小視ナ
リ。
願王勿伐ハ、田汝成曰、
眞ニ伐ツナキニ非ズ、
王ト盟ナ定メント欲ス
ルナリ。
上黨南陽積之久矣ハ、
戰國策注ニ、二縣財賦
歸之トアリ、上黨南陽

何。胡衍曰。公釋蒲勿攻。臣試爲公入言之。以德衛君。樗里子曰。善。胡衍入蒲。謂其守曰。樗里子知蒲之病矣。其言曰。必拔蒲。衍能令釋蒲勿攻。蒲守恐。因再拜曰。願以請。因效金三百斤。曰。秦兵苟退。請必言子於衛君。使子爲南面。故胡衍受金於蒲。以自賢於衛。於是遂解蒲而去。還擊皮氏。

正義曰。故城在絳州龍門縣西百四十步。魏邑。

皮氏未

降。又去。昭王七年。樗里子卒。葬于渭南章臺之東。

索隱曰。按黃圖。在漢長安故城西也。

曰。後百歲。是當有天子之宮夾我墓。樗里子疾室在於昭王廟。

西渭南陰鄉樗里。故俗謂之樗里子。至漢興。長樂宮在其東。未

應夾字

央宮在其西。

正義曰。漢長樂宮。在長安縣西北十五里。未央。在縣西北十四里。皆在長安故城中也。

武庫正直其墓。

索隱曰。直

如字讀。直。猶當也。

秦人諺曰。力則任鄙。智則樗里。

名曰衛疾二句ハ、淺雅
隆曰此二句、號曰誅楚
二句ト自ラ相對應ス。

之國。使_レ檇_ニ里子_ニ以_ニ車百乘_ニ入_レ周_ニ。周以_ニ仇猶蔡觀_ニ焉。故使_ニ長戟居_ニ

前_ニ。彊弩_ニ在_ニ後_ニ。名曰_レ衛疾_ニ。正義曰。防衛檇里子。而實囚_レ之。且夫周豈能無_レ憂_ニ其

社稷_ニ哉。恐_ニ一旦亡_レ國_ニ。以_ニ憂_ニ大王_ニ。楚王乃悅。秦武王卒。昭王立。檇

里子又益尊重。昭王元年。檇里子將伐_レ蒲。索隱曰。紀年云。褚里疾圍蒲。不克。而秦惠王薨。事與此合。

○正義曰。蒲故城。在滑州匡城縣北十五里。卽子路作_レ宰地。蒲守恐_ニ請_ニ胡衍_ニ。索隱曰。胡衍人姓名也。胡衍爲_ニ蒲_ニ謂_ニ檇

里子_ニ曰。公之攻_ニ蒲_ニ爲_ニ秦_ニ乎。爲_ニ魏_ニ乎。爲_ニ魏_ニ則善_ニ矣。爲_ニ秦_ニ則不_レ爲_ニ賴

矣。賴。利也。夫衛之所以爲_ニ衛_ニ者。以_ニ蒲_ニ也。正義曰。蒲是衛國之郭衛。今伐_ニ蒲_ニ入_ニ於_ニ魏_ニ。衛

必折_ニ而從_ニ之_ニ。索隱曰。戰國策云。今蒲入_ニ於_ニ秦_ニ。衛必折而入_ニ於_ニ魏_ニ。與此文相反也。魏亡_ニ西河之外_ニ。正義曰。謂同華等州。而

無_ニ以_ニ取_ニ者_ニ兵弱也。今并_ニ衛_ニ於_ニ魏_ニ。魏必彊。魏彊之日。西河之外必

危矣。且秦王將_ニ觀_ニ公之事_ニ。害_ニ秦_ニ而利_ニ魏_ニ。王必罪_ニ公_ニ。檇里子曰。奈

秦惠王二十五年ハ、錢大昕曰、年表チ案ズルニ、惠王後十二年ニ在リ、此二十五年ト云フ者、前十三年チ井之テチ數フ。
助魏章攻楚ハ、錢大昕曰、魏章ハ、即秦本紀ノ庶長章ナリ。

智伯之伐仇猶注正義赤草、札記赤草ニ作ル、云フ官本章、各本草ニ誤ス。

遺之廣車ハ、札記云、國策韓非子ニ據ルニ、此文遺ノ下脫文アリ。

取_ニ其城地_ヲ入_ル秦_ニ。秦惠王二十五年。使_ニ樛里子_ヲ爲_シ將_ト伐_メ趙_ヲ。虜_シ趙將_ヲ軍莊豹_ヲ。拔_ク蘭_ヲ。正義曰。蘭縣在石州。明年助_ニ魏章_ヲ攻_ム楚_ヲ。敗_リ楚將屈丐_ヲ。取_ニ漢中地_ヲ。秦封_ニ樛里子_ヲ號_{シテ}爲_シ嚴君_ト。索隱曰。按嚴君是爵邑之號。當是封之嚴道也。秦惠王卒。太子武王立。逐_ニ張儀_ヲ魏章_ヲ。而以_ニ樛里子甘茂_ヲ爲_シ左右丞相_ト。秦使_ニ甘茂_ヲ攻_メ韓_ヲ。拔_ニ宜陽_ヲ。使_ニ樛里子_ヲ以_ニ車百乘_ヲ入_リ周_ニ。周以_ニ卒_ヲ迎_フ之_ヲ。意甚敬_ス。楚王怒。讓_ニ周_ヲ以_ニ其重秦_ヲ。客游騰爲_シ周說_シ楚王_ニ曰。索隱曰。游。姓。騰。名也。智伯之伐_ニ仇猶_ヲ。許慎曰。仇猶。夷狄之國。○索隱曰。高誘注戰國策。以_ニ仇猶_ヲ爲_シ去由。韓子作_ニ仇由_ヲ。地理志。臨淮有_ニ仇猶縣_ヲ也。○正義曰。括地志云。并州孟縣外城俗名原仇山。亦名仇猶。夷狄之國也。韓子云。智伯欲_ニ伐_メ猶國_ヲ。道險難不通。乃鑄_ニ大鐘_ヲ遺_フ之_ヲ。載_ニ以_ニ廣車_ヲ。仇猶大悅。除塗內_ニ之_ヲ。赤草曼支諫曰。不可。此小所以事大。而今大以遺小。卒必隨。不可不聽。遂內_ニ之_ヲ。曼支因斷轂而馳。至十九日而仇猶亡_リ。遺_ニ之_ニ廣車_ヲ。戰國策曰。智伯欲_ニ伐_メ仇猶_ヲ。遺_フ之_ニ大鍾_ヲ。載_ニ以_ニ廣車_ヲ。周禮曰。廣車之卒。鄭玄曰。橫陳之車。因隨_ニ之_ニ以_ニ兵_ヲ。仇猶遂亡_リ。何則無備故也。齊桓公伐_メ蔡_ヲ。號_{シテ}曰_ニ誅楚_ヲ。其實襲_メ蔡_ヲ。今秦虎狼

史記評林卷之七十一

樗里子甘茂列傳第十一

樗里子者名疾。秦惠王之弟也。

索隱曰。樗。木名也。音據。高誘曰。其里有樗樹。故曰樗里。然疾居渭南陰鄉之樗里。故號曰

樗里子。又紀年

與惠王異母。母韓女也。樗里子滑稽多智。

索隱曰。滑。音骨。稽。音雞。鄒誕解

滑稽多智。楊慎曰。滑稽。轉注ノ器ナリ。漏卮ノ類ノ如シ。以テ人ノ言語捷給ニシテ。應對窮マラザルニ比スルナリト。漏卮ハヒヤラシナリ。

云。滑。亂也。稽。同也。謂辯捷之人。言非若是。言是若非。謂能亂同異也。一云。滑稽。酒器。可轉注吐酒不已。以言俳優之人。出口成章。詞不窮竭。如滑稽之吐酒不已也。○正義曰。滑。讀爲濕。水流自出。稽。計也。言其智計宣吐。如泉流出無盡。故揚雄酒賦云。鷗夷滑稽。腹大如壺。是也。顏師古云。滑稽。轉利之稱也。滑。亂也。稽。礙也。其變無畱也。一說。稽。考也。言其滑亂不可考較。秦

人號曰智囊。秦惠王八年。爵樗里子右更。

索隱曰。右更。秦第十四爵名。

使將而伐

曲沃。

正義曰。故城在陝州縣西南三十二里也。

盡出其人。

索隱曰。年表云。十一年拔魏曲沃。歸其人。秦本紀惠文王後元八年。五國共圍秦。使庶長疾與

戰修魚。斬首八萬。十一年樗里疾攻魏焦降之。則焦與曲沃同在十一年拔明矣。而傳云八年拔之不同。王劭按本紀年表及此傳。三處記秦伐國並不同。又與紀年不合。今殆不可參考也。

史記評林卷之七十終

謀六國以緩秦兵。而直以權詭激之入秦。自貽後患。何耶。將儀之多詐。不可告以情。抑秦自以不及儀。與之共謀六國。慮軋已耶。夫縱橫之士。固不可以常情槩之也。

董份曰。觀太史公贊語中。頗亦有與蘇而抑儀者。蓋蘇起閭閻匹夫。當秦方盛時。遂能聯六國之心。并用其師。以遏方彊之敵。此其勢甚有難者。今觀其說詞。亦有跨壓天下。驅役列國。控禦彊秦之氣。可謂奇絕矣。方天下畏秦。從勢且解。儀倚秦之力。乘將解之勢。比于蘇固獨易者。而其辭亦不如蘇之精嚴。微覺力緩。

茅坤曰。蘇秦張儀二傳。并戰國縱橫游說之詞。適以傾亂人國。本不足觀覽。特其詞言利處。則諱其害。言得處。則蔽其失。亦自有聳躍人處。要之同自陰符中出。

凌約言曰。蘇秦欲六國合從以擯秦。則言其彊。張儀欲六國爲橫以事秦。則言其弱。然而六國之王。皆聳敬聽從。舉國而付之。未嘗有一語相折難者。何哉。彼皆憚于秦之勢。惟求爲苟安計。故不暇自計其強弱。而或從或橫。一惟二子之是倚耳。不然六王非盡至愚者。其於土地之廣狹。人民之多寡。兵革財賦之所出。豈無一井然于衷。而何待于疎遠游客爲吾借箸而籌哉。

人也。夫張儀之行事。甚於蘇秦。然世惡蘇秦者。以其先死。而儀

振暴其短。以扶其說。

索隱曰。暴音步卜反。振。謂振揚而暴露其短。扶。謂說彼之非。成我之是。扶會己之說辭也。

成其衡道。

索隱曰。張儀說六國。使連衡而事秦。故云成其衡道。然山東地形從長。蘇秦相六國。令從親而賓秦也。關西地形衡長。張儀相六國。令破其從而連秦之衡。故蘇爲合從。張爲連衡也。

要之此兩人。眞傾危之士哉。

索隱述贊曰。儀未遭時。頻被困辱。及相秦惠。先韓後蜀。連衡齊魏。傾危誑惑。陳軫挾權。犀首騁欲。如何三晉。繼有斯德。

蘇子古史曰。戰國之爲縱橫者。皆傾危反覆之士也。然而污賤無恥。莫如張儀。而其成功莫如儀之多。儀之未信於楚也。辭而之晉。謂懷王曰。王無求於晉國乎。王曰。黃金珠璣犀象。楚產也。吾何求於晉。儀曰。王獨不好色耳。周鄭之女。粉白墨黑。立於衢闕。不知而見者。以爲神也。王獨不好色耳。王說資之珠玉而遣之。南后鄭袖聞而憂之。奉之以千金。儀將行。謂王曰。天下關閉不通。未知見日也。願王觴臣。中飲儀請王召所便習。王召鄭袖。儀見之。跪請罪曰。儀行天下。未嘗見人如此其美也。而儀言得美人。是欺王也。王與后大喜。而儀言得行。儀之所以求用者。其術至此。此所以言必信而功多也。可不悲乎。

黃震曰。蘇秦之說六國。爲六國也。張儀之說六國。爲秦也。欺詐諸侯。如侮嬰兒。雖均之捫闔。而儀又秦之罪人矣。然儀之入秦。蘇秦實使之。雖欲止秦兵於一時。而卒以伐從約於異日。智者不爲也。夫儀秦友也。儀始謁蘇秦。以故人求益也。秦不以情告儀。使其

君之國ハ、王維楨曰、
燒撥焚杆ニ連ナル、當
ニ載テ下句ニ屬スベカ
ラズ。

燒撥焚杆スルヲ

徐廣曰。一孤切。○索隱曰。撥音都活反。謂焚燒而侵掠也。焚杆音煩。鳥謂焚蹂而牽制也。戰國策有云。且燒燭獲君之國。是說其事也。

君之

國。有事。

索隱曰。謂山東諸國共伐秦也。

秦將輕使重幣。事君之國。

索隱曰。謂秦求親義渠君也。○正義曰。有事。謂

六國攻秦。秦若被攻伐。則必輕使重幣。事義渠之國。欲令相助。犀首此言令義渠君勿援秦也。

其後五國伐秦。

索隱曰。按表秦惠王後元七年。楚魏齊韓

趙五國共攻秦。是其事者也。

會陳軫謂秦王曰。義渠君者。蠻夷之賢君也。不如

賂之。以撫其志。秦王曰。善。乃以文繡千純。

索隱曰。凡絲綿布帛等。一段爲一純。音屯。

婦女

百人。遣義渠君。義渠君致羣臣而謀曰。此公孫衍所謂邪。

索隱曰。謂

上文犀首云。君之國。有事。秦將輕使重幣。事君之國。故云公孫衍之所謂。因趙兵襲秦。以傷張儀也。

乃起兵襲秦。大敗秦人李伯

之下。

索隱曰。謂義渠破秦軍於李伯之下。則李伯人名或邑號。戰國策伯作帛。

張儀已卒之後。犀首入相秦。嘗

佩五國之相印。爲約長。

索隱曰。犀首後相五國。或從或橫。常爲約長。

太史公曰。三晉多權變之士。夫言從衡彊秦者。大抵皆三晉之

大敗秦人李伯之下、札
記云、中統、游本、人ヲ
入ニ作ル、索隱ト合ス。

國果傷。小國亡。秦興兵而伐。大尅之。此陳軫之計也。

犀首者。魏之陰晉人也。

司馬彪曰。犀首。魏官名。若今虎牙將軍。

名衍。姓公孫氏。與張儀

不善。張儀爲秦之魏。魏王相張儀。犀首弗利。故令人謂韓公叔

曰。張儀已合秦魏矣。其言曰。

正義曰。此張儀合秦魏之辭也。

魏攻南陽。秦攻三川。

魏王所以貴張子者。欲得韓地也。且韓之南陽已舉矣。子何不

少委焉。以爲衍功。則秦魏之交可錯矣。

索隱曰。錯音措。錯。停止也。

然則魏必圖

秦而弃儀。收韓而相衍。公叔以爲便。因委之犀首。以爲功。果相

魏。張儀去。

徐廣曰。復相秦。

義渠君朝於魏。犀首聞張儀復相秦。害之。犀

首乃謂義渠君曰。道遠不得復過。

索隱曰。音戈。言義渠道遠。自今已後不復得更過相見也。

請謁事

情。

索隱曰。謂欲以秦之緩急告語之也。

曰。中國無事。

索隱曰。謂山東諸侯。齊魏之六國。○正義曰。中國。謂關外六國。無事。不共攻秦。

秦得

顧子爲子主計之餘ハ、
董汾曰、宜シク餘字ヲ
句トスベシ、其主ノ爲
ニ之ヲ計ルノ餘、即我
ガ爲ニ之ヲ計ルヲ言
フ、謙言シテ其君ヲ先
ニシ、後秦ニ及ブナリ、
軫故ニ曰、臣ガ主王ト
異ナルナシト。

臣雖^ニ弃^レ逐^レ之^ニ楚。豈能無^ラ秦聲哉。惠王曰善。今韓魏相攻。荅年不

解。或謂寡人救^フ之便。或曰勿救^フ便。索隱曰。此張儀等計策。寡人不能決。願子

爲^ニ子主^ニ計^レ之。索隱曰。子指陳軫也。子主謂楚王也。餘爲^ニ寡人^ニ計^レ之。陳軫對曰。亦嘗有^ニ以^ニ

夫卞莊子刺虎聞於王者乎。索隱曰。戰國策作館莊子。館謂逆旅舍。其人字莊子。或作卞莊子。莊子欲刺

虎。館豎子止^レ之曰。兩虎方且食^ニ牛。食甘必爭。爭則必鬪。鬪則大

者傷。小者死。從傷而刺^レ之。一舉必有^ニ雙虎^ニ之名。卞莊子以爲然。

立須^レ之。有頃。兩虎果鬪。大者傷。小者死。莊子從傷者而刺^レ之。一

舉果有^ニ雙虎^ニ之功。今韓魏相攻。荅年不解。是必大國傷。小國亡。

從傷而伐^レ之。一舉必有^ニ兩實^ニ。此猶莊子刺虎之類也。臣主與王

何異也。索隱曰。臣主謂軫之主楚王也。王。秦惠王。以言我主與王俱宜待韓魏之斃而擊之。亦無以異也。惠王曰善。卒弗救。大

怒而不聽其事ハ、皆川
淇園曰、其事ハ、田需從
親ノ事ヲ謂フナリ。

中謝、札記云、北宋本、
下ニ之十二字アリ。

請母多車。以車三十乘。可陳之於庭。明言之燕趙。燕趙客聞之。
馳車告其王。使人迎犀首。楚王聞之。大怒曰。田需與寡人約而
犀首之燕趙。是欺我也。怒而不聽其事。齊聞犀首之北。使人以
事委焉。犀首遂行三國相事。皆斷於犀首。軫遂至秦。韓魏相攻。
暮年不解。秦惠王欲救之。問於左右。左右或曰。救之便。或曰。勿
救便。惠王未能爲之決。陳軫適至。秦惠王曰。子去寡人之楚。亦
思寡人不。陳軫對曰。王聞夫越人莊烏乎。王曰。不聞。曰。越人莊
烏仕楚。執珪有頃而病。楚王曰。烏故越之鄙細人也。今仕楚執
珪貴富矣。亦思越不。中謝索隱曰。謂侍御之官也。對曰。凡人之思故。在其病
也。彼思越則越聲。不思越則楚聲。使人往聽之。猶尙越聲也。今

今軫不忠其君ハ、札記云、今ハ疑フ令字ノ譌ナラン。

子胥忠於其君。而天下爭以爲臣。曾參孝於其親。而天下願以爲子。故賣僕妾。不出閭巷。而售者良僕妾也。出婦嫁於鄉曲者。良婦也。今軫不忠其君。楚亦何以軫爲忠乎。忠且見弃。軫不之楚。何歸乎。王以其言爲然。遂善待之。居秦期年。秦惠王終相張儀。而陳軫奔楚。楚未之重也。而使陳軫使於秦。過梁。欲見犀首。犀首謝弗見。軫曰。吾爲事來。公不見軫。軫將行。不得待。索隱曰。軫我故來。欲有教汝之事。何不相見。異日。犀首見之。陳軫曰。公何好飲也。犀首曰。無事。

也。曰。吾請令公鑒事。可乎。索隱曰。鑒一。艷反。鑒者。飽也。謂欲令其多事。曰。柰何。曰。田需約

諸侯從親。索隱曰。需時爲魏相。楚王疑之。未信也。公謂於王曰。臣與燕趙之

王有故。數使人來。曰。無事。何不相見。願謁行於王。王雖許公。公

陳軫者游說之士云云ハ、凌稚隆曰、起首邑里ヲ敘セズ、而テ直ニ游說之士ト曰フ、虞卿廉頗李牧諸傳首句ト同シ、此又一例ナリ。

臨周。祭器必出。挾天子。案圖籍。此王業也。秦王以爲然。故具革

車三十乘而入之梁也。今儀入梁。王果伐之。是王內罷國。而外

伐與國。索隱曰。謂齊之伐梁也。梁之與齊。先相許與約。從爲鄰。故云與國也。廣鄰敵。以內自臨。而信儀於秦

王也。此臣之所謂託儀也。齊王曰。善。乃使解兵。張儀相魏一歲。

卒於魏也。索隱曰。年表云。張儀以安王十年卒。紀年云。梁哀王九年五月卒。

陳軫者。游說之士。與張儀俱事秦惠王。皆貴重爭寵。張儀惡陳

軫於秦王曰。軫重幣輕使。秦楚之間。將爲國交也。今楚不加善

於秦。而善軫者。軫自爲厚。而爲王薄也。且軫欲去秦而之楚。王

胡不聽乎。王謂陳軫曰。吾聞子欲去秦之楚。有之乎。軫曰。然。王

曰。儀之言果信矣。軫曰。非獨儀知之也。行道之士盡知之矣。昔

入儀之梁ハ、札記云、儀字衍ナリ、齊策内之梁ニ作ル内即入ナリ。舍人馮喜之楚注索隱舊本作意誤ハ、札記云、喜古通シテ意ニ作ル。

以其間伐韓。入三川。出兵函谷。而毋伐。以臨周。祭器必出。

索隱曰。凡

王者。大祭祀必陳設文物。軒車彝器等。因謂此爲祭器也。

挾天子案圖籍。此王業也。秦王以爲然。乃

具革車三十乘。入儀之梁。齊果興師伐之。梁哀王恐。張儀曰。王

勿患也。請令罷齊兵。乃使其舍人馮喜之楚。

索隱曰。此與戰國策同。舊本作意誤也。

借

使之齊。謂齊王曰。王甚憎張儀。雖然。亦厚矣。王之託儀於秦也。

齊王曰。寡人憎儀。儀之所在。必興師伐之。何以託儀。對曰。是乃

王之託儀也。夫儀之出也。固與秦王約。曰爲王計者。東方有大

變。然後王可以多割得地。今齊王甚憎儀。儀之所在。必興師伐

之。故儀願乞其不肖之身之梁。齊必興師伐之。齊梁之兵連於

城下。而不能相去。王以其間伐韓。入三川。出兵函谷。而無伐。以

孰計之。燕王曰。寡人蠻夷僻處。雖大男子。裁在音如嬰兒。言不足

以采正計。今上客幸教之。請西面而事秦。獻恆山之尾五城。索隱

曰。尾。猶末也。謂獻恆山之東五城以與秦。

燕王聽儀。儀歸報。未至咸陽。而秦惠王卒。武王

立。武王自爲太子時。不說張儀。及卽位。羣臣多讒張儀。曰。無信。

左右賣國。以取容秦。必復用之。恐爲天下笑。諸侯聞張儀有卻

武王。皆畔。衡復合從。秦武王元年。羣臣日夜惡張儀。未已。而齊

讓又至。張儀懼誅。乃因謂秦武王曰。儀有愚計。願效之。王曰。奈

何。對曰。爲秦社稷計者。東方有大變。然後王可以多割得地也。

今聞齊王甚憎儀。儀之所在。必興師伐之。故儀願乞其不肖之

身之梁。齊必興師而伐梁。梁齊之兵連於城下。而不能相去。王

趙王之狼戾、札記狼戾、
ニ作ル、云フ各本狼、
狼ニ譌ス、今改ムト、
很ハ説文ニ聽從セザル
ナリ。

王飲陰告廚人曰。卽酒酣樂進熱啜。

索隱曰。音昌悅反。謂熱而啜之。是羹也。下云廚人進斟。斟。謂羹汁。故名汁。

曰斟。左氏傳公羊傳云。羊羹不斟。是也。

反斗以擊之。

正義曰。反卽倒斗柄擊也。

於是酒酣樂進熱啜。廚人

進斟。因反斗以擊代王殺之。王腦塗地。其姊聞之。因摩笄以自

刺。故至今有摩笄之山。

駟案。笄。婦人之首飾。如今象牙簪。○正義曰。笄。今簪也。摩笄山。在蔚州飛狐縣。

代王之亡。

天下莫不聞。夫趙王之狼戾無親。大王之所明見。且以趙王爲

可親乎。趙興兵攻燕。再圍燕都而劫大王。大王割十城以謝。今

趙王已入朝。澠池效河閒以事秦。今大王不事秦。秦下甲雲中

九原。驅趙而攻燕。則易水長城。

正義曰。竝在易州界。

非大王之有也。且今時

趙之於秦。猶郡縣也。不敢妄舉師以攻伐。今王事秦。秦王必喜。

趙不敢妄動。是西有彊秦之援。而南無齊趙之患。是故願大王

趙肥必四分其地ハ、札記云、服當ニ破ト爲スベシ、趙策破趙ニ作ル。

奉祀之日ハ、札記云、北宋本、毛本、奉祭祀ニ作ル。

作爲金斗、斗ハ鏡子ノ長柄ノ如キ者、銅鐵ノ類ヲ以テ之ヲ造ル。

約^シ四國^ヲ爲^リ一^ト。以^テ攻^ム趙^ヲ。趙服^{セバ}必^ズ四^ニ分^{セン}其地^ニ。是故^ニ不^レ敢^テ匿^シ意^ヲ。隱情^ヲ。先^ニ以^テ聞^ス於^ニ左^ニ右^ニ。臣竊^ニ爲^ニ大^ニ王^ニ計^ス。莫^ク如^ク與^ニ秦^ニ王^ニ遇^ヒ於^ニ澠^ニ池^ニ。面^ニ相^ニ見^テ而^テ口^ニ相^ニ結^ブ。請^フ案^シ兵^ヲ。無^シ攻^ム。願^フ大^ニ王^ニ之^ニ定^ル計^ヲ。趙王^曰。先^ニ王^ニ之^ニ時^ニ。奉^リ陽^君。專^ニ權^ヲ。擅^ニ勢^ヲ。蔽^シ欺^ス先^ニ王^ヲ。獨^ニ擅^ニ綰^ス事^ヲ。寡^ニ人^ニ居^ニ屬^シ。師^ヲ傅^ニ不^レ與^ニ國^ニ謀^ス計^ス。先^ニ王^ニ弄^ツ羣^臣。寡^ニ人^ニ年^ニ幼^ク。奉^リ祀^ニ之^ニ日^ニ。新^{ナリ}心^ヲ固^ト竊^ニ疑^フ焉^ヲ。以^テ爲^ニ一^ニ從^シ不^レ事^ス秦^ニ。非^ト國^ノ之^ニ長^ニ利^ニ也^ニ。乃^ツ且^ツ願^フ變^シ心^ヲ。易^ヘ慮^ヲ。割^キ地^ヲ謝^シ前^ニ過^ヲ。以^テ事^ス秦^ニ。方^ニ將^ニ約^シ車^ヲ趨^リ行^ハ。適^ニ聞^ク使^者之^ニ明^ニ詔^ヲ。趙王^許張^儀。張^儀乃^リ去^リ。北^ニ之^ニ燕^ニ說^キ燕^ノ昭^王曰^ク。大^ニ王^ニ之^ニ所^ニ親^ム。莫^ク如^ク趙^ニ。昔^ニ趙^ノ襄^子。嘗^テ以^テ其^ノ姊^ヲ爲^ニ代^ニ王^ニ妻^ト。欲^ス并^{セント}代^ヲ。約^シ與^ニ代^ニ王^ニ遇^フ於^ニ句^ニ注^ニ之^ニ塞^ニ。正^義曰^ク。句^ニ注^ニ山^ニ在^ニ代^ニ州^ニ也^ニ。上^ニ音^ニ勾^ニ。乃^ツ令^ム工^人作^シ爲^シ金^斗。長^ク其^ノ尾^ヲ。索^隱曰^ク。斗^ニ音^ニ主^ニ。凡^ニ方^ニ者^ニ爲^ニ斗^ニ。若^ク安^ニ長^ニ柄^ニ則^ニ名^ニ爲^ニ科^ニ。音^ニ主^ニ。尾^ニ卽^ニ斗^ニ之^ニ柄^ニ。其^ノ形^ニ若^ク刀^ニ者^ニ是^ニ也^ニ。令^ム可^ク以^テ擊^ツ人^ヲ。與^ニ代

大王之力。舉巴蜀。并漢中。包兩周。遷九鼎。守白馬之津。秦雖僻
 遠。然而心忿。含怒之日久矣。今秦有敝甲凋兵。軍於澠池。願渡
 河踰漳。據番吾。會邯鄲之下。願以甲子合戰。以正殷紂之事。敬
 使使臣先聞。右右。凡大王之所信爲從者。恃蘇秦。蘇秦熒惑諸
 侯。以是爲非。以非爲是。欲反齊國。而自令車裂於市。夫天下之
 不可一。亦明矣。今楚與秦爲昆弟之國。而韓梁稱爲東藩之臣。
 齊獻魚鹽之地。此斷趙之右臂也。夫斷右臂而與人鬪。失其黨
 而孤居。求欲毋危。豈可得乎。今秦發三將軍。其一軍塞午道。索隱
曰。此午道。當在趙之東。齊之西也。午道。地名也。鄭玄云。一縱一橫爲午。謂交道也。告齊。使興師渡清河。軍於邯鄲之
 東。一軍軍成臯。驅韓梁軍於河外。正義曰。河外。謂鄭滑州北臨河。一軍軍於澠池。

弱。今秦楚嫁女娶婦。爲昆弟之國。韓獻宜陽。梁效河外。索隱曰。河外。河之南

邑。若曲沃平周等也。○

趙入朝。澠池。澠綿善反。割河閒以事秦。索隱曰。河漳之閒邑。割以事秦耳。○正義曰。河

閒瀛州縣。

大王不事秦。秦驅韓梁攻齊之南地。悉趙兵。渡清河。指博關。

正義曰。博關。在博州。趙兵從貝州度黃河。指博關。則漯河南臨菑卽墨危矣。臨菑卽墨。非王之有也。國一日見攻。

雖欲事秦。不可得也。是故願大王孰計之也。齊王曰。齊僻陋。隱

居東海之上。未嘗聞社稷之長利也。乃許張儀。張儀去。西說趙

王曰。敝邑秦王使使臣效愚計於大王。大王收率天下以賓秦。

秦兵不敢出函谷關十五年。大王之威。行於山東。敝邑恐懼懾

伏。繕甲厲兵。飾車騎。正義曰。飾音敕。習馳射。力田積粟。守四封之內。愁居

懾處。不敢動搖。唯大王有意督過之也。索隱曰。督者。正其事而責之。督過。是深責其過也。今以

計。張儀歸報。秦惠王封儀五邑。號曰武信君。使張儀東說齊。湣
 王曰。天下疆國。無過齊者。大臣父兄。殷衆富樂。然而爲大王計
 者。皆爲一時之說。不顧百世之利。從人說。大王者。必曰。齊西有
 彊趙。南有韓與梁。齊負海之國也。地廣民衆。兵彊士勇。雖有百
 秦。將無柰齊何。大王賢其說。而不計其實。夫從人朋黨。比周。莫
 不以從爲可。臣聞之。齊與魯三戰。而魯三勝。國以危亡。隨其後。
 雖有戰勝之名。而有亡國之實。是何也。齊大而魯小也。今秦之
 與齊也。猶齊之與魯也。秦趙戰於河漳之上。再戰而趙再勝。秦
 戰於番吾之下。再戰又勝。秦音隱曰。番音盤。又音婆。趙之邑也。四戰之後。趙之亡卒數
 十萬。邯鄲僅存。雖有戰勝之名。而國已破矣。是何也。秦彊而趙

夫羣臣諸侯ハ、札記云、
羣臣字當ニ諸侯ノ下ニ
アルベシ。

千鈞之重於鳥卵之上。必無幸矣。夫羣臣諸侯。不料地之寡而

聽從人之甘言好辭。比周以相飾也。皆奮曰。聽吾計。可以彊霸

天下。夫不顧社稷之長利。而聽須臾之說。誑誤人主。無過此者。

大王不事秦。秦下甲據宜陽。斷韓之上地。東取成臯。滎陽。則鴻

臺之宮。桑林之苑。徐廣曰。桑一作栗。○索隱曰。此皆韓之宮苑。亦見戰國策。非王之有也。夫塞成臯。

絕上地。則王之國分矣。先事秦則安。不事秦則危。夫造禍而求

其福報。計淺而怨深。逆秦而順楚。雖欲毋亾。不可得也。故爲大

王計。莫如爲秦。爲于僞反。秦之所欲。莫如弱楚。而能弱楚者。莫如韓。非

以韓能彊於楚也。其地勢然也。今王西面而事秦。以攻楚。秦王

必喜。夫攻楚以利其地。轉禍而說秦。計無便於此者。韓王聽儀

當ニ菽飯ニ作ルベシ、
韓策豆飯ニ作ル、春秋
後語、亦菽飯ニ作ル。

跽跼科頭ハ、或曰、跽
跼、猶下文ノ徒跽ノ如
跼、徒跽ヲ謂フナリ、
義科頭ト協フ。
貫頤奮戟ハ、或曰、索
隱注、貫捧ト通ゼズ、劉
辰翁曰、射ラルモ、
猶奮擊シテ、死チ願ミ
ザルヲ謂フト、則此下
文奮戟ニ連ネテ義チ爲
ス。
秦馬之良戎兵之衆ハ、
札記云、上下皆馬ヲ言
フ、此句雜出シ、且上
文已ニ之ヲ謂フ、疑フ
釘ナワン。

不^カ鑿^ニ糟糠^ニ。地不^レ過^ギ九百里^ニ。無^ニ二歲之食^ニ。料^ル大王之卒^ニ。悉^{シテ}之不^{シテ}過^ギ

三十萬^ニ。而厮徒負養在^ニ其中^ニ矣^ニ。索隱曰。厮徒。謂襍役之賤者。負養。謂負擔以給養公家。亦賤人也。除^キ守^ニ徼^ル

亭鄣塞^ニ。見卒不^レ過^ギ二十萬^ニ而已矣^ニ。秦帶甲百餘萬。車千乘。騎萬

匹。虎賁之士跽跼科頭。駟案跽跼音徒俱。跳躍也。又云。偏舉一足曰跽跼。科頭。謂不著兜鍪入敵。○索隱曰。跼又音勅。戰國策作虎摯之士。

貫頤奮戟者。至^ル不^レ可^ル勝^フ計^ニ。駟案言執戟奮怒而入陳也。○索隱曰。兩手捧頤而直入敵。言其勇也。又有執戟者奮怒而趨入陣也。

秦馬之良。戎兵之衆。探^{ダリ}前^ニ跌^ミ後^ニ。蹄閒三尋^ニ。索隱曰。謂馬前足探向前。後足跌於後。跌音鳥穴反。跌。謂

後足扶地。言馬之走勢疾也。七尺曰尋。言馬走之疾。前後蹄閒一擲而過三尋也。騰^ル者。不^レ可^ル勝^フ數^ニ。山東之士。被^リ甲蒙^リ

冑^ニ。以會戰^ス。秦人捐^テ甲徒^ニ。楊^シ以趨^ク敵^ニ。索隱曰。徒。跳也。楊。袒也。謂袒而見肉也。左^ニ挈^ザ人頭^ニ。右^ニ

挾^ム生虜^ニ。夫秦卒與^ニ山東之卒^ニ。猶孟賁之與^ニ怯夫^ニ。以^ニ重力^ニ相壓^ス。猶^ニ

烏獲之與^ニ嬰兒^ニ。夫戰^ニ孟賁烏獲之士^ニ。以攻^ニ不服之弱國^ニ。無^レ異^ニ垂^ニ

覺齊王大怒。車裂蘇秦於市。夫以一詐僞之蘇秦。而欲經營天

下。混一諸侯。

索隱曰。混本一作棍。同胡本反。

其不可成亦明矣。今秦與楚接境壤

界。固形親之國也。大王誠能聽臣。臣請使秦太子入質於楚。楚

太子入質於秦。請以秦女爲大王箕箒之妾。效萬室之都。以爲

湯沐之邑。長爲昆弟之國。終身無相攻伐。臣以爲計無便於此

者。於是楚王已得張儀。而重出黔中地與秦。欲許之。屈原曰。前

大王見欺於張儀。張儀至。臣以爲大王烹之。今縱弗忍殺之。又

聽其邪說。不可。懷王曰。許儀而得黔中。美利也。後而倍之。不可。

故卒許張儀。與秦親。張儀去楚。因遂之韓。說韓王曰。韓地險惡

山居。五穀所生。非菽而麥。民之食。大抵飯菽藿羹。一歲不收。民

飯菽藿羹。ハ、羅大經曰、
倒句法ナリ、札記云、

兩虎相搏注或音戟ハ、札紀云、搏モト據ニ作ル、故ニ徐音戟、後人謬ニ改メ、或字ヲ加フ、謬ル甚シ。

出兵函谷十五年以攻齊趙者陰謀有合徐廣曰。一作吞。天下之心楚

嘗與秦構難戰於漢中索隱曰。其地在秦之山南楚之西北。漢水南之地。名曰漢中也。楚人不勝列侯

執珪死者七十餘人遂囚漢中楚王大怒興兵襲秦戰於藍田。

此所謂兩虎相搏者也。徐廣曰。搏或音戟。夫秦楚相敝而韓魏以全制其

後計無危於此者矣。願大王孰計之。秦下甲攻衛陽晉必大關

天下之匈。徐廣曰。關一作開。○索隱曰。以常山爲天下脊。則此衛及陽晉當天下臂。蓋其地是秦晉齊楚之交道也。以言秦兵據陽晉是大關天下臂。則他國不得

以動也。大王悉起兵以攻宋不至數月而宋可舉。舉宋而東指則

泗上十二諸侯盡王之有也。索隱曰。邊近泗水之側。當戰國之時。有十二諸侯。宋邾魯莒之比也。凡天下而

以信約從親相堅者蘇秦封武安君相燕。即陰與燕王謀伐破

齊而分其地。乃詳有罪。出走入齊。齊王因受而相之。居二年而

以下。至楚三千餘里。舫船載卒。

索隱曰。魴音方。謂並兩船也。

一舫^ニ載^セ五^ニ十^ノ人^ト與^テ

三月之食。下水而浮。一日行三百餘里。里數雖多。然而不費牛。

馬之力^チ不^{シテ}至^ラ十日^ニ而拒^{ラシ}扞^ニ關^ニ

徐廣曰。巴郡魚復有扞水扞關。○索隱曰。扞關在楚之西界。復音伏。地理志。巴郡有魚復縣。○正義

抱扞關、札記拒ヲ距ニ
作ル、注魚復縣有扞水
關ニ作ル、云各本縣字
ヲ脱シ、水下扞ヲ衍ス、

曰。在硤州。
巴山縣界。

扞關驚則從境以東盡城守矣。黔中巫郡。非王之有秦。

舉^ゲ甲^チ出^デ武^ニ關^ニ南面^{シテ}而伐^ス則^ハ北^ニ地^ハ絕^レ

正義曰。楚之
北境斷絕。
秦丘鎖得簡明

鑽得簡明
秦兵之攻_ル楚_チ也。危

則從境以東ハ、札記云、
策從竟陵以東二作ル、
此誤ル。

難^ナ在^ニ三^ミ月^{ツキ}之^ノ內^ニ而^{シテ}楚^ソ待^ツ諸^{シヨ}侯^コ之^ノ救^ヲ在^ニ半^ハ歲^{サイ}之^ノ外^ニ此^レ其^ノ勢^セ不^ル相^ム及^ス

也。夫待^テ弱國之救^ヲ。忘^ル彊秦之禍^ヲ。此臣所以爲^ニ大王^ノ患^ヲ也。大王嘗^テ

與_ニ吳人戰_フ。五戰_ビ而_テ三勝_チ。陣卒盡_ク矣。偏_ニ守_シ新城_チ。存_ス民_ノ苦_ヲ矣。

索隱曰。偏音匹連反。

此之新城當在吳楚之閒也。○正義曰。新攻得之。城未詳所在。

臣聞功大者易危而民敝者怨上。夫守

易危之功而逆彊秦之心。臣竊爲大王危之。且夫秦之所以不

ス、唯甲ヲ出ス無シ、
甲ヲ出セバ、則常山ヲ
席卷シ、而天下ノ脊ヲ
折クヲ言フ、席卷ハ、國
策注ニ、之ヲ收取スル、
席ヲ卷クノ易クシテ遺
コス無キ如キナリ。

曰。常山。於天下在北。有若人之背脊也。○正義曰。古之帝王多都河北河東故也。

天下有後服者先亡。且夫爲從者。

無以異於驅羣羊而攻猛虎。虎之與羊不格明矣。今王不與猛

虎而與羣羊。臣竊以爲大王之計過也。凡天下彊國非秦而楚。

非楚而秦。兩國交爭。其勢不兩立。大王不與秦。秦下甲據宜陽。

韓之上地不通。下河東。取成臯。韓必入臣。梁則從風而動。秦攻

楚之西。韓梁攻其北。社稷安得毋危。且夫從者聚羣弱而攻至

彊。不料敵而輕戰。國貧而數舉兵。危亡之術也。臣聞之。兵不如

者。勿與挑戰。正義曰。挑田鳥反。栗不如者。勿與持久。夫從人飾辯虛辭。高

主之節。言其利。不言其害。卒有秦禍。正義曰。卒忽勿反。無及爲已。是故願

大王之孰計之。秦西有巴蜀。大船積粟。起於汶山。正義曰。汶音浪。浮江

此ニ據レバ、則素隱ノ
祝從フベキニ似タリ、
然ルニ二書文勢自ラ異
ナリ、彼ヲ援テ此ヲ證
スルヲ得ズ、正義ノ説
是ト爲ス。

聞蘇秦死云云ハ、余有
丁曰、秦死シテ而後儀
其説ノ行フナ得、所謂
蘇君在ル、儀寧退ソ能
センナル者ナリ。

雖無出甲ハ、札記云、
難志云、雖讀テ唯ト爲

王甚愛張儀而不欲出之。○正義曰。秦王不欲出張儀使楚。若欲自行。今秦欲以

上庸地及今將以上庸之地六縣賂楚。正義曰。今以美人聘楚。以宮

中善歌謳者爲媵。楚王重地尊秦。秦女必貴而夫人斥矣。不若

爲言而出之。於是鄭袖日夜言懷王曰。人臣各爲其主用。今地

未入秦。秦使張儀來至重王。王未有禮而殺張儀。秦必大怒攻

楚。妾請子母俱遷江南。毋爲秦所魚肉也。懷王後悔赦張儀。厚

禮之如故。張儀既出未去。聞蘇秦死。應蘇秦傳乃說楚王。索隱曰。此時當秦惠王之後元十四年。

曰。秦地半天下。兵敵四國。被險帶河。四塞以爲固。虎賁之士百

餘萬。車千乘。騎萬匹。積粟如丘山。法令既明。士卒安難樂死。主

明以嚴。將智以武。雖無出甲。席卷常山之險。必折天下之脊。索隱

齊也。王國尙可存。楚王不聽。卒發兵而使將軍屈匄擊秦。秦齊

共攻楚。斬首八萬。殺屈匄。遂取丹陽。徐廣曰。在枝江。漢中之地。正義曰。今梁州也。在漢水

北。楚又復益發兵而襲秦。至藍田大戰。楚大敗。於是楚割兩城。

以與秦平。秦要楚欲得黔中地。正義曰。要音腰也。欲以武關外易之。正義曰。卽

商於之地。楚王曰。不願易地。願得張儀而獻黔中地。秦王欲遣之。口

弗忍言。張儀乃請行。惠王曰。彼楚王怒子之負以商於之地。是

且甘心於子。張儀曰。秦彊楚弱。臣善靳尙。尙得事楚夫人鄭袖。

袖所言皆從。且臣奉王之節使楚。楚何敢加誅。假令誅臣而爲

秦得黔中之地。臣之上願。遂使楚。楚懷王至則囚張儀。將殺之。

靳尙謂鄭袖曰。子亦知子之賤於王乎。鄭袖曰。何也。靳尙曰。秦

秦王甚愛張儀而不欲出之。或曰。國策今楚拘之。秦王欲出之。作ル、

諱失綏墮車ノ綏ハ、説
文云、車中ノ把ナリ。

乃使勇士至宋借宋之符
云云ハ、札記云、借宋
之符ノ句、當ニ誤アル
ベシ、楚世家、乃勇士
宋遺ヲシテ、北齊王ヲ
辱カシム、齊王大ニ怒
リ、楚ノ符ヲ折テ、而
秦ニ合スニ作ル、則是
使フ所ノ勇士、姓ハ宋
名ハ遺ノミト、通鑑輯
覽注云、關ヲ閉ヂ、約
ヲ絶チ、信使通ゼズ、
故ニ宋ノ符ヲ借テ以テ
差スト。

於秦也。而兩國之兵必俱至。善爲王計者。不若陰合而陽絕於

齊。使人隨張儀。苟與吾地。絕齊未晚也。不與吾地。陰合謀計也。

楚王曰。願陳子閉口毋復言。以待寡人得地。乃以相印授張儀。

爲後發口張本

厚賂之。於是遂閉關絕約於齊。使一將軍隨張儀。張儀至秦。詳

失綏墮車。不朝三月。正義曰。詳音羊。楚王聞之曰。儀以寡人絕齊未甚

耶。乃使勇士至宋。借宋之符。北罵齊王。齊王大怒。折節而下秦。

秦齊之交合。張儀乃朝。謂楚使者曰。臣有奉邑六里。願以獻大

王。左右楚使者曰。臣受令於王。以商於之地六百里。不聞六里。

還報楚王。楚王大怒。發兵而攻秦。陳軫曰。軫可發口言乎。攻之

應上閉口

不如割地。反以賂秦。與之并兵而攻齊。是我出地於秦。取償於

親。於是張儀往相楚。楚懷王聞張儀來。虛上舍而自館之。曰。此
 僻陋之國。子何以教之。儀說楚王曰。大王誠能聽臣。閉關絕約
 於齊。臣請獻商於之地六百里。索隱曰。劉氏云。商。今之商州有古城。其西二百餘里有古於城。使秦女
 得爲大王箕箒之妾。秦楚娶婦嫁女。長爲兄弟之國。此北弱齊
 而西益秦也。計無便此者。楚王大說而許之。羣臣皆賀。陳軫獨
 弔之。楚王怒曰。寡人不興師發兵。得六百里地。羣臣皆賀。子獨
 弔。何也。陳軫對曰。不然。以臣觀之。商於之地不可得。而齊秦合
 齊秦合。則患必至矣。楚王曰。有說乎。陳軫對曰。夫秦之所以重
 楚者。以其有齊也。今閉關絕約於齊。則楚孤。秦奚貪夫孤國。而
 與之商於之地六百里。張儀至秦。必負王。是北絕齊交。西生患

梁口鑠金ハ、皆川淇園
曰、金ハ堅固ノ質、借
テ以テ交ノ厚キニ比
ス。

無^レ憂^ニ矣。且^ツ夫^レ秦之所^レ欲^{スル}弱者。莫^ク如^ク楚^ニ。而能^ム弱^ム楚^者。莫^ク如^ク梁^ニ。楚雖
有^ニ富^ト大^ノ之名^ヲ。而實^ニ空^ス虛^ス。其卒雖多。然而輕^シ走^シ易^シ北^シ。不能^ム堅^ス戰^ス。悉
梁^ノ之兵^ヲ。南面^{シテ}而伐^レ楚。勝^ツ之必^ニ矣。割^テ楚^ヲ而益^シ梁^ニ。虧^テ楚^ヲ而適^ス秦^ニ。嫁^レ禍
安^ニ國^ヲ。此善^ニ事^ヲ也。大王不^レ聽^カ臣^ニ。秦下^ニ甲^ヲ士^ヲ而東伐^セ。雖欲^ム事^ル秦^ニ。不^レ可
得^ニ矣。且^ツ夫^レ從^ニ人^多奮^ツ辭^ヲ而少^シ可^キ信^ズ。說^テ一^ニ諸^侯而封^ス侯^ヲ。是故^ニ天
下^ノ之游談^士。莫^シ不^レ日^ニ夜^ニ搯^テ腕^ヲ。瞋^{ラシ}目^ヲ。切^シ齒^ヲ。以言^ニ從^之便^ヲ。以說^ニ人^主
人主^{トシテ}賢^ニ其辯^ヲ。而牽^カ其說^ニ。豈得^シ無^ク眩^{スル}哉。臣聞^ニ之^ヲ。積^ニ羽^ヲ沈^ニ舟^ヲ。羣^ニ輕^ヲ折^ル。
軸^ヲ。衆^ニ口^ニ鑠^シ金^ヲ。積^ニ毀^ヲ銷^ス骨^ヲ。故願^フ大王審^ニ定^セ計^ヲ議^ヲ。且^ツ賜^ニ骸^ヲ骨^ヲ。辟^シ魏^ヲ。哀
王^ヲ於是^ニ。乃倍^テ從^ノ約^ヲ。而因^ニ儀^ヲ。請^フ成^ニ於^ニ秦^ニ。張儀歸^リ。復^ニ相^ニ秦^ニ。三歲^ヲ而魏
復^ニ背^キ秦^ニ。爲^ニ從^ヲ。秦攻^メ魏^ヲ。取^ル曲^ヲ沃^ヲ。明年。魏復^ニ事^フ秦^ニ。秦欲^ム伐^レ齊^ヲ。齊楚從^ニ

據卷衍酸棗、札記云、
國策衍下、燕字アリ、
正義亦有リ、故、燕滑
州胙城縣ト云フ、傳寫
之ヲ失フ。

此所謂四分五裂之道也。且夫諸侯之爲從者。將以安社稷尊

主彊兵顯名也。今從者一_ニ天下_ヲ。約爲昆弟_ト。刑白馬_ヲ以盟_ヒ。洹水之

上_ニ。洹音恒。以相堅也。而親昆弟。同父母。尙有爭錢財。而欲恃詐僞

反覆蘇秦之餘謀。其不可成亦明矣。大王不事秦。秦下兵攻河

外_ヲ。○索隱曰。河之西。卽曲沃平周之邑。○正義曰。河外。卽卷衍燕酸棗。據卷衍酸棗。卷丘權反。衍以善反。○索隱曰。卷

鄭州。燕滑州胙城縣。酸棗屬滑州。皆黃河南地。劫衛取陽晉。正義曰。故城在曹州乘氏縣西北三十七里。則趙不南。趙不

南。而梁不北。梁不北。則從道絕。從道絕。則大王之國欲毋危不

可得也。秦折韓而攻梁。索隱曰。戰國策折作挾也。韓怯於秦。秦韓爲一。梁之亾。

可立而須也。此臣之所爲大王患也。爲大王計。莫如事秦。事秦

則楚韓必不敢動。無楚韓之患。則大王高枕而臥。正義曰。枕針煬反。國必

敗魏於觀津、札記云、津當二澤ニ作ルベシ。

張儀復說魏王曰云云ハ、楊慎曰、首ヨリ固戰場也ニ至ル、地狭ク兵寡ク、而險ナシ、モト敗ル、其弱保ツベカラザルヲ言フ、梁南與楚ヨリ四分五裂之道也ニ至ル、一國ニ與ミセバ、而與ミセザル者攻ルヲ言フ、六國從スベカラザルノ由ヲ明ス、故ニ其下遂ニ從ノ成ラザルヲ言フ、大概從人ノ辭ト相反ス。

先_レ事_レ秦_ニ。而_レ諸侯效_レ之_ニ。魏王不肯_レ聽_レ儀_ニ。秦王怒_リ。伐_レ取_レ魏之曲沃平周_ニ。復_レ陰_ニ厚_ニ張儀_ヲ益_ニ甚_ニ。張儀慙_ニ無_ニ以_ニ歸_レ報_レ留_レ魏_ニ四歲_ニ而_レ魏襄王卒_ス。哀王立_ツ。張儀復_レ說_ニ哀王_ニ。哀王不_レ聽_レ。於是_ニ張儀陰_ニ令_ニ秦_ニ伐_レ魏_ヲ。魏與秦戰_ニ。敗_ル。明年齊又來_リ。敗_ニ魏_ヲ於_ニ觀津_ニ。觀音貫秦復欲_レ攻_レ魏_ヲ。先敗_ニ韓_ヲ申差_ヲ軍_ヲ。斬_ル首_ヲ八萬。諸侯震恐_ス。而張儀復_レ說_ニ魏王_ニ曰_ク。魏地方不_レ至_ニ千里_ニ。卒不_レ過_ニ三十萬_ニ。地四平。諸侯四通輻湊。無_ニ名山大川之限_ニ。從_ニ鄭至_ニ梁_ニ二百餘里_ニ。車馳人走。不_レ待_レ力而至_ニ。梁南與楚境_ニ。西與韓境_ニ。北與趙境_ニ。東與齊境_ニ。卒戍_ニ四方_ニ。守_ニ亭郭_ニ者不下_ニ十萬_ニ。梁之地勢固_ニ。戰場也_ニ。說梁形甚真梁南與楚而不_レ與_ニ齊_ニ。則齊攻_ニ其東_ニ。東與齊而不_レ與_ニ趙_ニ。則趙攻_ニ其北_ニ。不_レ合_ニ於韓_ニ。則韓攻_ニ其西_ニ。不_レ親_ニ於楚_ニ。則楚攻_ニ其南_ニ。

卒起兵伐蜀ハ、錢大昕曰、秦本紀及ビ年表ヲ按ズルニ、蜀ヲ伐ツハ乃惠王後九年ノ事ナリ、此傳惠王十年以前ニ敘ス、則誤テ以テ前九年ノ事ト爲スナリ。

公子華ハ、札記云、六國表秦ニ作ル。

也。此臣之所謂危也。不如伐蜀完。惠王曰善。寡人請聽子。卒起

兵伐蜀。十月取之。

索隱曰。六國年表在惠王二十二年十月也。

遂定蜀。

正義曰。表云。秦惠王後九年十月擊滅之。

蜀王更號爲侯。而使陳莊相蜀。蜀既屬秦。秦以益彊。富厚輕諸

侯。秦惠王十年。使公子華。

徐廣曰。一作革。

與張儀圍蒲陽。

索隱曰。魏之邑名。正義曰。在隰州隰川

縣。蒲邑故城是也。

降之。儀因言秦復與魏。而使公子繇質於魏。儀因說魏

王曰。秦王之遇魏甚厚。魏不可以無禮。魏因入上郡少梁。謝秦

惠王。惠王乃以張儀爲相。更名少梁曰夏陽。

徐廣曰。夏陽在梁山龍門。索隱曰。夏音下。山名。亦

曰大夏。禹所都。正義曰。少梁城同州韓城縣南二十三里。夏陽城在縣南二十里。梁山在縣東南十九里。龍門山在縣北五十里。

儀相秦四歲。立惠

王爲王。

正義曰。表云。惠王之十三年。周顯王之四十四年也。

居一歲。爲秦將。取陝。築上郡塞。其後

二年。使與齊楚之相會。留桑東。還而免相。相魏以爲秦。欲令魏

繕兵不傷衆ハ、繕ハ左傳甲兵ヲ繕スルノ繕ト同ジ、治ナリ、注非ナリ。

利盡西海ハ、注説明カナラズ、蓋濱池ヲ謂フナリ、濱池ハ力五百里、旁ノ平地肥饒數千里アリ、楚頃襄王ノ時、莊蹻ヲ遣テ之ヲ定ム。

臣請論其故ハ、札記論ヲ謁ニ作リ、素隱論者亦謁者ニ作ル、云フ索隱本謁各本論ニ作ル、雜志云、秦策新序並ニ謁ニ作ル。齊韓之與國也ハ、田汝成曰、齊字恐ラクハ衍ナリ、當ニ韓周之與國也ト云ハシ。

臣願先從事於易夫蜀西僻之國也。而戎翟之長也。有桀紂之

亂。以秦攻之。譬如使豺狼逐羣羊。得其地。足以廣國。取其財。足

以富民。スニチ。索隱曰。戰國策。取作得。繕兵不傷衆。而彼已服焉。正義曰。繕音膳。同。繕具食也。拔一國。

而天下不以爲暴。利盡西海。而天下不以爲貪。索隱曰。西海。謂蜀川也。海者。珍藏所聚生。

猶謂秦中爲陸海然也。其實西亦有海。所以云海西。○正義曰。海之言晦也。西夷晦昧無知。故言海也。言利盡西方羌戎。是我一舉而名實附

也。索隱曰。名謂博其德也。而又有禁暴止亂之名。今攻韓劫天子。惡

名也。而未必利也。又有不義之名。而攻天下所不欲危矣。臣請

論其故。索隱曰。論者。告也。陳也。故謂陳不宜伐之端由也。周天下之宗室也。齊韓之與國也。周

自知失九鼎。韓自知亡三川。正義曰。韓自知亡二周。故與周并力合謀也。將二國并力合

謀。以因乎齊趙。而求解乎楚魏。以鼎與楚。以地與魏。王弗能止

楚臨南鄭注正義今、札
記今ニ作ル、云官本ニ
依ル。

侵楚魏之地ハ、或曰晉
文ナリ、削ルベシ。

水經云。鄠城水。出北山鄠溪。又有故鄠城。在鞏縣西南五
十八里。按洛州維氏縣東南四十里。與鄠溪相近之地。

當屯畱之道。

正義曰。屯畱。潞
州縣也。道。即太

行羊腸
阪道也。

魏絕南陽。

正義曰。南陽。懷州也。是當屯畱之道。
今魏絕斷壞羊腸韓上黨之路也。

楚臨南鄭。

正義曰。是塞
斜谷之口也。

今楚兵臨鄭南塞轅轅
鄠口。斷韓南陽之兵也。

秦攻新城宜陽。

索隱曰。新城。當在河南伊闕之
左右。○正義曰。洛州福昌縣也。

以臨二

周之郊。誅周王之罪。侵楚魏之地。周自知不能救。九鼎寶器必

出。據九鼎案圖籍。挾天子以令於天下。天下莫敢不聽。此王業

也。今夫蜀西僻之國。而戎翟之倫也。敝兵勞衆。不足以成名。得

其地。不足以爲利。臣聞爭名者於朝。爭利者於市。今三川周室

天下之朝市也。而王不爭焉。顧爭於戎翟。去王業遠矣。

索隱曰。王
音于放反。

司馬錯曰。不然。臣聞之。欲富國者。務廣其地。欲彊兵者。務富其

民。欲王者。務博其德。三資者備。而王隨之矣。今王地小民貧。故

守汝國。我顧且盜而城。苴蜀相攻擊。

徐廣曰。譙周曰。益州天苴。讀爲芭黎之芭。音與巴相近。以爲今之巴郡。○

苴蜀相攻擊。注正義王自葭萌禦之。札記云。王上當二蜀字。ヲ重メベシ。滅巴蜀二郡。札記取苴與巴焉。ニ作ル。云フ考證華陽國志。二據テ改ム。石鏡縣。札記石鏡縣ニ作ル。云フ考證唐志。二據テ改ム。

索隱曰。苴音巴。謂巴蜀之夷自相攻擊也。今作苴者。按巴苴。草名。今論巴遂誤作苴也。或巴人巴郡。本因芭苴得名。所以其字遂以苴爲巴也。註引天苴。卽巴苴也。譙周。蜀人也。知天苴之音讀爲芭。犂之芭。按芭犂。卽織木茸。所以爲葦籬也。今江南亦謂葦籬曰芭籬。○正義曰。華陽國志云。昔蜀王封其弟子漢中。號曰苴侯。因命其邑曰葭萌。苴侯與巴王爲好。巴與蜀爲讎。故蜀王怒伐苴。苴奔巴。求救於秦。秦遣張儀從石牛道伐蜀。王自葭萌禦之。敗績。走至武陽。爲秦軍所害。秦遂滅蜀。因滅巴蜀二郡。括地志云。苴侯都葭萌。今利州益昌縣五十里。葭萌故城是。蜀侯都益州。巴子城在合州石鏡縣南五里。故墊江縣也。巴子都江州。在都之北。又峽州界也。各來告急於秦。秦惠王欲發兵。

以伐蜀。以爲道險狹難至。而韓又來侵秦。秦惠王欲先伐韓。後

伐蜀。恐不利。欲先伐蜀。恐韓襲秦之敝。猶豫未能決。司馬錯與

張儀爭論於惠王之前。司馬錯欲伐蜀。張儀曰。不

索隱曰。錯音七各反。又音七故反。

如伐韓。王曰。請聞其說。儀曰。親魏善楚。下兵三川。塞斜谷之口。

斜谷之口。注正義洛州維氏縣。札記維氏縣。ニ作ル。云フ考證唐志。ニ據テ改ム。

徐廣曰。一作尋。成阜鞏縣有尋口。○索隱曰。尋斜聲相近。故其名惑也。戰國策作轅轅氏之口。亦其地相近也。斜谷地名。○正義曰。括地志云。溫泉水。卽尋源出洛州鞏縣西南四十里。注。

我陰奉之。乃言趙王發金弊車馬使人微隨張儀與同宿舍稍

何等描寫

稍近就之奉以車馬金錢所欲用爲取給而弗告張儀遂得以

見秦惠王。惠王以爲客卿與謀伐諸侯。蘇秦之舍人乃辭去。張

儀曰。賴子得顯方且報德。何故去也。舍人曰。臣非知君知君乃

至此纔說出來

蘇君。蘇君憂秦伐趙敗從約以爲非君莫能得秦柄。故感怒君

使臣陰奉給君資。盡蘇君之計謀。今君已用。請歸報。張儀曰。嗟

乎。此吾在術中而不悟。吾不及蘇君明矣。吾又新用。安能謀趙

纔了蘇君一段案

乎。爲吾謝蘇君。蘇君之時。儀何敢言。且蘇君在。儀寧渠能乎。

渠音

詎。○索隱曰。古字少假借耳。張儀既相秦。爲文檄告楚相曰。

丈二尺檄。許慎云。檄。二尺書也。始吾從若飲。索隱曰。若。汝也。

我不盜而璧若答我。若善

爲文檄注徐廣咫尺、札記北宋本毛本二從七尺一二作ル。

然恐秦之攻諸侯。敗約後。負ハ、方苞曰。約ヲ敗ルノ後、已レ諸侯ノ責ヲ負フヲ恐ルナリ。

因而數讓之ハ、數讓共ニ責ナリ、札記云、索隱數音朔、非ナリ。讓テ之ヲ數ムルニ王命ヲ以テスノ數ノ如シ、是蘇秦傳ニ、所謂張儀ヲ激怒シ、之ヲ秦ニ入ル者ナリ。

秦已說趙王。而得相約從親。索隱曰。從。音足容反。然恐秦之攻諸侯。敗約後

負。念莫可使用於秦者。乃使人微感張儀。曰。子始與蘇秦善。今

秦已當路。子何不往游。以求通子之願。張儀於是之趙。上謁求

見蘇秦。蘇秦乃誡門下人。不爲通。又使不得去者數日。已而見

之。坐之堂下。賜僕妾之食。因而數讓之。曰。索隱曰。按謂數設詞而讓之。讓亦責也。數音朔。以

子之材能。乃自令困辱至此。吾寧不能言而富貴子。子不足收

也。謝去之。張儀之來也。自以爲故人。求益反見辱。怒。念諸侯莫

可事。獨秦能苦趙。乃遂入秦。蘇秦已而告其舍人。曰。張儀天下

賢士。吾殆弗如也。今吾幸先用。而能用秦柄者。獨張儀可耳。然

貧。無因以進。吾恐其樂小利而不遂。故召辱之以激其意。子爲

史記評林卷之七十

張儀列傳第十

張儀者魏人也。

呂氏春秋曰。儀。魏氏餘子。○索隱曰。晉有大夫張老。又河東有西張城。張氏爲魏人必也。而呂覽以爲魏氏餘子。則蓋魏之支庶也。又書

略說以餘子謂之季子也。○正義曰。傳云。晉有公族餘子公行。杜預云。皆官卿之嫡。以爲公族大夫。餘子。嫡子之母弟也。公行。庶子。掌公戎行也。藝文志云。張子十篇在縱橫流。

始

嘗與蘇秦俱事鬼谷先生學術。蘇秦自以不及張儀。張儀已學

而游說諸侯。

索隱曰。說音稅。

嘗從楚相飲已而楚相亡璧。門下意張儀。

爲後撤告楚相眼目

曰。儀貧無行。必此盜相君之璧。共執張儀。掠笞數百。不服。酈之

酈音釋。○索隱曰。古釋字。

其妻曰嘻。

索隱曰。音僖。鄭玄曰。嘻。悲恨之聲。

子母讀書游說安得此辱乎。

張儀謂其妻曰。視吾舌尚在否。其妻笑曰。舌在也。儀曰。足矣。蘇

太史公曰。蘇秦兄弟三人。皆游說諸侯。以顯名。

索隱曰。譙允南以爲蘇氏兄弟五人更有

蘇辟蘇鵠。典略亦同其說。蓋按蘇氏譜云。然也。

其術長於權變。而蘇秦被反閒以死。天下共笑

之。諱學其術。然世言蘇秦多異。異時事有類之者。皆附之蘇秦。

夫蘇秦起閭閻。連六國。從親。此其智有過人者。吾故列其行事。

次其時序。毋令獨蒙惡聲焉。

索隱述贊曰。季子周人。師事鬼谷。揣摩既就。陰符伏讀。合從離衡。佩印者六。天王除道。家人扶服。賢哉代厲。繼榮黨族。

蘇子古史曰。秦彊而諸侯弱。游談之士。爲橫者。易爲功。而爲從者。難爲力。然而從成則諸侯利。而秦病。橫成則秦帝。而諸侯虜。要之二者皆出於權譎。而從爲愈歟。蘇秦本說秦爲橫。不合而激於燕趙。甘心於所難。爲之期年。而歃血於洹水之上。可不謂能乎。然口血未乾。犀首一出而齊趙背盟。從約皆破。蓋諸侯異心。譬如連雞。不能俱棲。勢固然矣。而太史公以爲約書入秦。秦人爲之閉函谷者十五年。此說客之浮語。而太史公信之過矣。

史記評林卷之六十九終

令言如循環云云ハ、李光縉曰、如循環ハ、其窮リナク詰テ致スベカラザルヲ言フ、如刺蜚ハ、蜚易キニ喩フルナリ、蜚ハ蟲ノ名。

西河之外上雒之地三川晉國之禍三晉之半ハ、方苞曰、西河上雒三川、皆秦ノ并ス所ノ三晉ノ地ナリ、晉國ノ秦禍ヲ被ル、幾ンド三晉ノ半ヲ失ハスルナリ。燕趙之秦者ハ、方苞曰、之秦ハ、使テ秦ニ奪ズル者ヲ謂フ。

西^ナ適^ル魏者曰^ヒ以^{スト}葉蔡^ナ適^ル楚者曰^ヒ以^{スト}蹇^ナ阤^ナ適^ル齊者曰^ヒ以^{スト}宋^ナ此必

令^{ムル}言^ハ如^グ循環^ル用^{フル}兵^ナ如^シ刺蜚^ノ母^モ不^レ能^ル制^{スル}舅^モ不^レ能^ル約^{スル}龍賈^ノ之戰^ナ

魏襄王五

年秦敗我龍賈軍

岸門之戰

韓宣惠王十九年

秦大破我岸門

封陵之戰

魏哀王十六年秦敗我封陵

此戰事

趙莊之戰

趙肅侯二十二年趙莊與秦戰敗秦殺趙莊河西

秦之所殺

三晉之民數百萬

今其生者皆死秦之孤也西河之外上雒之地三川晉國之禍

三晉之半秦禍如此其大也

索隱曰以言西河之外上雒之地及三川晉國皆是秦與魏戰之處秦兵禍敗我三晉之半是秦禍

如此其大者

而燕趙之秦者皆以爭事秦說其主

索隱曰燕趙之人往秦者謂游說之士

此臣

之所大患也燕昭王不行蘇代復重於燕燕使約諸侯從親如

蘇秦時或從或不而天下由此宗蘇氏之從約代厲皆以壽死

名顯諸侯

重楚ハ正義是ナリ。

塞關注正義古言ハ、札記古關ニ作ル、云フ官本題各本言ニ誤ル。

齊爲天下罪。秦欲攻魏。重楚。

索隱曰。重。猶附也。尊也。正義曰。畏楚救魏。

則以南陽委於

楚曰。

正義曰。南陽鄧州地。本韓地也。韓先事秦。今楚取南陽。故言與韓且絕矣。

寡人固與韓且絕矣。殘均陵。塞

鄢郢。

徐廣曰。鄢。江夏鄢縣。均一作灼。鄢音盲。索隱曰。均陵在南陽。今之均州。鄢縣名在江夏。正義曰。均州故城在隨州西南五十里。蓋均陵也。又申州羅山縣。本漢鄢縣。

申州有平清關。蓋古盲縣之郢塞。

苟利於楚。寡人如自有之。魏并與國而合於秦。因

以塞鄢郢爲楚罪。兵困於林中。

徐廣曰。河南范陵有林鄉。

重燕趙。以膠東委於

燕。以濟西委於趙。趙得講於魏。至公子延。因犀首屬行而攻趙。

趙得講於魏ハ、札記趙ナ已ニ作ル、云フ考證策ニ據テ改ム、雜志說同ジ。

兵傷於譙石、札記云、北宋本譙ナ離ニ作ル、索隱本遇上而字アリ。

索隱曰。講。和也。解也。秦與魏和也。至當爲質。謂以公子延爲質也。犀首者。公孫衍也。本魏將。因之以屬軍行。行音胡郎反。謂連兵相續也。

兵傷於譙石。遇

敗於陽馬。

索隱曰。譙石陽馬。竝趙之地名。非縣邑也。

而重魏。則以葉蔡委於魏。已得講於

趙。則刼魏不爲割。困則使太后弟穰侯爲和。嬴則兼欺舅與母。

則刼魏不爲割ハ、札記云、不上當ニ魏字ヲ重サヌベシ、策有リ。

索隱曰。贏。猶勝也。舅。穰侯魏冉也。母。太后也。

適燕者曰以膠東。

索隱曰。適音宅。適者。責也。下同。

適趙者曰以濟

宿胥之口注正義淇水、
札紀淇口ニ作ル、云フ
水經淇水注ニ依テ改
ム、青淇口ハ、清淇口ニ
作ル、云フ官本清、各
本青ニ譌ス。

爲木人以寫寡人、札記
云、寫ハ乃寫字ノ誤、
爲古ノ象字、燕策象ニ
作ル。

黃濟陽

索隱曰。白馬河津在東郡。決其流以灌外黃濟陽也。○正義曰。故黃城在曹州考城縣東二十四里。濟陽故城在曹州冤胸縣西南三十五里。

決宿

胥之口

徐廣曰。紀年云。魏救山塞集胥口。○正義曰。淇水出衛州淇縣界之淇水。東至黎陽入河。魏志云。武帝於青淇口東。因宿胥故瀆。開白溝道。清淇二水入焉。○索隱曰。紀年作胥。蓋亦津名。今其地不知所在。

魏無虛頓丘

徐廣曰。秦始皇五年。取魏酸棗。燕虛長平。○索隱曰。虛頓丘地名。與酸棗相近。○正義曰。虛。謂殷墟。今相

州所理是頓丘故城。在魏州頓丘縣東北二十里。括地志云。二國地時屬魏。陸攻則擊河內。水攻則滅大梁。魏氏

以爲然。故事秦。秦欲攻安邑。恐齊救之。則以宋委於齊。曰。宋王

無道。爲木人以寫寡人。射其面。寡人地絕兵遠。不能攻也。王苟

能破宋。有之。寡人如自得之。已得安邑。塞女戟。因以破宋。爲齊

罪。索隱曰。秦令齊滅宋。仍秦欲攻韓。恐天下救之。則以齊委於天下。

曰。齊王四與寡人約。四欺寡人。必率天下以攻寡人者三。有齊

無秦。有秦無齊。必伐之。必亡之。已得宜陽少曲。致蘭石。因以破

其不盡繇ハ、軍份曰盡繇ハ、韓民ヲ徴シ、繇役シ以備ヲ爲スヲ言フ、國騷動スルノ意ナリ。

我下軹道南陽ハ、錢大昕曰、道ハ地名ニ非ズ、蓋軹ニ下タル後、道ヲ南陽ニ取ルヲ謂フ、ミ、徐廣霸陵ノ軹道ヲ以テ之ニ當ツ、固ト誤ル、司馬貞謂道ヲ衍字ト爲ス、亦非ナリ。封冀ハ、陸深曰、封ハ當ニ函谷ヲ封ズルノ封ノ如クナルベシ、注非ナリ。

七年事秦。秦正告韓曰。我起乎少曲。索隱曰。地名。近宜陽也。○正義曰。一在懷州河陽縣西北。解在范雎傳。

日而斷大行。正義曰。太行山。羊腸坂道北過韓上黨也。我起乎宜陽而觸平陽。正義曰。宜陽平陽皆韓大都也。

隔河。一日而莫不盡繇。索隱曰。音搖。搖動也。我離兩周而觸鄭。正義曰。離。歷也。歷。二周而東觸新鄭也。

州。韓國五日而國舉。索隱曰。離如字。謂屯兵以離二周也。而乃觸擊於鄭。故五日國舉。舉猶拔也。韓氏以爲然。故

事秦。秦正告魏曰。我舉安邑。塞女戟。韓氏太原卷。正義曰。卷。軌免反。劉伯莊云。太原。當

爲太行。卷猶斷絕。我下軹道南陽封冀。徐廣曰。霸陵有軹道亭。河東皮氏有冀亭也。○索隱曰。女戟地名。在太行山之西。劉氏卷音軌免反。

又音丘。權反。按舉安邑。塞女戟。及至韓氏。韓國宜陽也。太原。縣名。魏地不至太原。亦無別名。太行字。原當爲京。京及卷皆屬滎陽。是魏之境。軹。是河內軹縣。言道者亦衍字。徐廣引霸陵有軹

道亭。非魏之境。蓋誤。南陽。卽河內也。封。封陵也。冀。冀邑也。皆在魏境。故徐廣引河東皮氏有冀亭。是也。包兩周。徐廣曰。張儀云。下河東。取成

鞏。乘夏水。浮輕舟。彊弩在前。鈇戈在後。徐廣曰。鈇。由冉反。○正義曰。劉伯莊云。音四廉反。利也。決

滎口。魏無大梁。索隱曰。滎澤之口。與今汴河口通。其水深可以灌大梁。故云無大梁也。決白馬之口。魏無外

自此至末文甚明快。徐廣曰。巴郡有枳縣。燕昭王三十三年。秦拔楚鄢。○正義曰。枳。支是反。今涪州城在秦枳縣。在江南。西陵在黃州。齊得宋而國

亡。○正義曰。年表云。齊湣王三十八年滅宋。四十年五國共擊湣王。王走莒。齊楚不得以有枳宋而事秦者。何

也。則有功者。秦之深讎也。秦取天下。非行義也。暴也。秦之行暴。

正告天下。○索隱曰。正告。謂顯然而告天下。告楚曰。蜀地之甲。乘船浮於汶。○眉貧反。○索隱曰。卽江所

出之。乘夏水而下江。○索隱曰。夏音暇。謂夏潦之水盛漲時也。五日而至郢。漢中之甲。乘船

出於巴。○索隱曰。巴。水名。與漢水相近。○正義曰。巴嶺山。在梁州南一百九十里。周地志云。南渡老子水。登巴嶺山。南回記大江之南。是古巴國。因以名山。乘夏

水而下漢。四日而至五渚。○戰國策曰。秦與荆人戰。大破荆襲郢。取洞庭五渚。然則五渚在洞庭。○索隱曰。五渚。五處洲也。劉氏以爲

五渚宛鄧之閒。臨漢水。不得在洞庭。寡人積甲宛。東下隨。○索隱曰。宛縣之東而下隨邑。智者

不及謀。勇士不及怒。寡人如射隼矣。○索隱曰。易曰。射隼于高墉之上。獲之無不利。秦王言我今伐楚。必當捷獲

也。○正義曰。隼。若今之鵩也。王乃欲待天下之攻函谷。不亦遠乎。楚王爲是故十

出於巴注正義記大江、
札記云、記字當ニ誤ナ
ルベシ。

魏以伐齊曰。必反宋地。歸楚淮北。反宋地。歸楚淮北。燕趙之所利也。竝立三帝。燕趙之所願也。夫實得所利。尊得所願。燕趙并齊如脫躡矣。今不收燕趙。齊霸必成。諸侯贊齊而王不從。是國伐也。諸侯贊齊而王從之。是名卑也。今收燕趙。國安而名尊。不收燕趙。國危而名卑。夫去尊安而取危卑。智者不爲也。秦王聞若說。必若刺心。然則王何不使辯士以此苦言說秦。秦必取齊。必伐矣。夫取秦。厚交也。伐齊。正利也。尊厚交。務正利。聖王之事也。燕昭王善其書曰。先人嘗有德蘇氏。子之之亂。而蘇氏去燕。燕欲報仇於齊。非蘇氏莫可。乃召蘇代。復善待之。與謀伐齊。竟破齊。湣王出走。久之。秦召燕王。燕王欲往。蘇代約燕王曰。楚得

言其切已

秦受齊伐

莫若挑霸齊而尊之ハ、
方苞曰、挑戰ト同義ナ
リ、興起シテ而之ヲ翻
弄スルナリ。

也。今王若欲因禍爲福。轉敗爲功。則莫若挑霸齊而尊之。

正義曰。挑。

田鳥反。使使盟於周室。焚秦符曰。正義曰。符。

其大上計破秦。其次必

長賓之。

索隱曰。長如字。賓音攢。○正義曰。大

秦挾賓以待破。秦王必患之。

秦五世伐諸侯。今爲齊下。秦王之志苟得窮齊。不憚以國爲功。

然則王何不使辯士以此言說秦王。曰。燕趙破宋肥齊。尊之爲

之下者。燕趙非利之也。燕趙不利而勢爲之者。以不信秦王也。

然則王何不使可信者接收燕趙。令涇陽君。高陵君。

徐廣曰。馮翊高陵縣。○索

隱曰。二人秦王母弟也。高陵君名顯。涇陽君名悝。

先於燕趙。秦有變。因以爲質。則燕趙信秦。秦

爲西帝。燕爲北帝。趙爲中帝。立三帝以令於天下。韓魏不聽。則

秦伐之。齊不聽。則燕趙伐之。天下孰敢不聽。天下服聽。因驅韓

肥大注正義云云、札記是益一齊也ノ下ニ移ス、云各本肥大ノ下ニ移、謬ル、今移正ス。

齊紫敗素也而賈十倍、黃份曰、齊紫ハモト敗素ナリ、而價十倍ス、此正ニ敗ヲ轉シ功ト爲スノ意ナリ、齊國困弊ヲ言フニ非ズ、柯維騷曰、敗素ハ用ナシト雖モ齊紫ニ染ムレバ、則售ル價チ重クス、智者事チ舉ゲ、敗チ轉シ功ト爲ス、正ニ此ニ類スルナリ。

肥大正義曰。更以淮北之地加於齊都。是強萬乘之國。而齊總并之。是益一齊。齊讎彊而國害。此三者皆國之

大敗也。然且王行之者。將以取信於齊也。齊加不信於王而忌

燕愈甚。是王之計過矣。夫以宋加之淮北。彊萬乘之國也。而齊

并之。是益一齊也。北夷方七百里。索隱曰。謂山戎北狄附齊者。○正義曰。齊桓公伐山戎。令支。斬孤竹。而南歸。海濱諸

侯莫不加之。以魯衛彊萬乘之國也。而齊并之。是益二齊也。夫一

齊之彊。燕猶狼顧而不能支。今以三齊臨燕。其禍必大矣。雖然。

智者舉事。因禍爲福。轉敗爲功。齊紫敗素也。徐廣曰。取敗素染以爲紫。○正義曰。齊君好紫。故齊

俗尙之。取惡素帛染爲紫。其價十倍。貴於錦。喻齊雖有大名。而國中以困弊也。韓子云。齊桓公好服紫。一國盡服紫。當時五素不得一紫。公患之。管仲曰。君欲止之。何不試勿衣也。公謂左右曰。惡紫臭。公語三日。

而賈十倍。索隱曰。謂紫色價貴於帛十倍。而本是敗素。以喻齊雖有大名。而其國中困弊也。越王句

踐棲於會稽。復殘彊吳而霸天下。此皆因禍爲福。轉敗爲功者

伐^テ燕^ヲ殺^ス王^ヲ噲^ヲ子^ヲ之^ヲ。

徐廣曰。是周赧王之元年時也。

燕^ニ立^テ昭^ヲ王^ヲ。而^テ蘇^ニ代^ニ秦^ニ屬^ス。遂^ニ不^レ敢^テ。

入^リ燕^ニ。皆^ニ終^ニ歸^ス齊^ニ。齊^ニ善^ク待^ツ之^ヲ。蘇^ニ代^ニ過^ク魏^ニ。魏^ニ爲^ス燕^ニ執^フ代^ヲ。齊^ニ使^メ人^ニ謂^ハ魏^ニ。

王^ニ曰^ク。齊^ニ請^フ以^テ宋^ノ地^ヲ封^シ涇^ニ陽^ニ君^ニ。

正義曰。涇陽君。秦王弟。名悝也。涇陽。雍州縣也。齊蘇子告秦共伐宋。以封涇陽君。然齊假設此策。以

救蘇代。

秦^ニ必^ク不^レ受^ケ。秦^ニ非^ル不^レ利^ニ有^リ齊^ニ而^テ得^ル宋^ノ地^ヲ也。

正義曰。齊言秦相親共伐宋。秦得宋地。又得齊事。秦

然秦不信齊及蘇代。恐爲不成也。

不^レ信^ス齊^ニ王^ト與^ニ蘇^ニ子^ト也。今^ニ齊^ニ魏^ニ不^レ和^セ如^ク此^ノ其^レ甚^ク。則^チ齊^ニ。

不^レ欺^カ秦^ニ。秦^ニ信^{ゼン}齊^ニ。齊^ニ秦^ニ合^セ。涇^ニ陽^ニ君^ニ有^リ宋^ノ地^ヲ。非^ル魏^ニ之^ノ利^ニ也。故^ニ王^ニ不^レ如^ク。

使歸齊。

東^ニ蘇^ニ子^ト。秦^ニ必^ク疑^ク齊^ニ而^テ不^レ信^ス蘇^ニ子^ト矣。齊^ニ秦^ニ不^レ合^セ。天^ニ下^ニ無^ク變^シ。伐^レ齊^ニ之^ノ。

疑其合齊魏。

時齊魏相惡故云。

形^ヲ成^ル矣。於^ニ是^ニ出^ス蘇^ニ代^ニ。代^ニ之^ノ宋^ニ。宋^ニ善^ク待^ツ之^ヲ。齊^ニ伐^ツ宋^ヲ。宋^ニ急^{ナリ}蘇^ニ代^ニ乃^チ還^ル。

燕^ニ昭^ヲ王^ニ書^ヲ曰^ク。正^ニ義^ニ曰^ク。此^ノ書^ヲ爲^ス宋^ニ。夫^レ列^レ在^ニ萬^ニ乘^ニ而^テ寄^ス質^ヲ於^ニ齊^ニ。

正義曰。燕前有子質於齊。

名^ヲ卑^シ而^テ權^ニ輕^シ。奉^シ萬^ニ乘^ニ助^ケ齊^ニ伐^ツ宋^ヲ。民^ニ勞^シ而^テ實^ニ費^ユ。夫^レ破^リ宋^ヲ。殘^シ楚^ニ。淮^ニ北^ニ。

齊伐宋宋急ハ、余有丁曰、傳中ヲ按ズルニ前ニ、宋ヲ舉クルト言ヒ、此ニ宋急ト言フ者、何ゾヤ、齊表ニ據レバ、此段是ナリ、前段必誤ル。

濟西不師ハ、凌稚隆曰、
濟西ノ師ヲ起サザルヲ
謂フ。

寵子母弟、札記云、秦驪
本從子ニ作ル、各本寵
ニ作ルハ、後人策ニ依
テ改ムルナリ。

蘇厲因燕質子云云ハ、
凌稚隆曰、前蘇代チ言
ヒ、此蘇厲チ言フ、蓋
代其端ヲ發シ、而厲ト
同ク往クナリ。

有_レ清濟濁河。惡_ニ足_ニ以爲_ニ固_一。民力罷敝。雖_レ有_ニ長城鉅防。惡_ニ足_ニ以爲_ニ

塞_一。且_ツ異日濟西不_レ師_一。正義曰。齊州已西也。所以備_ニ趙_一也。河北不_レ師_一。正義曰。謂滄博等州在滌

河之_レ北。所以備_ニ燕_一也。今濟西河北盡_ニ已_ニ役_一矣。封內敝_ニ矣。夫驕君必

好_ニ利_一。而亡國之臣必貪_ニ於_ニ財_一。王誠能無_ニ羞_一。寵子母弟以爲_ニ質_一。正義

曰。音致。寶珠玉帛以事_ニ左右_一。彼將有_ニ德_一。燕而輕_ニ亡_一宋。則齊可_レ亡_ニ已_一。

燕王曰。吾終_ニ以_ニ子_一受_ニ命_一於_ニ天_一矣。燕乃使_ニ一子_一質_ニ於_ニ齊_一。而蘇厲因_ニ

燕質子_一而求_ニ見_ニ齊王_一。齊王怨_ニ蘇秦_一。欲_ニ囚_ニ蘇厲_一。燕質子爲_ニ謝_一。已_ニ遂_一

委_ニ質_一爲_ニ齊臣_一。正義曰。質直栗反。燕相子之與_ニ蘇代_一婚_ニ。而欲_ニ得_ニ燕權_一。乃使_ニ蘇

代_ニ侍_ニ質子_一於_ニ齊_一。齊使_ニ代_一報_ニ燕_一。燕王噲問_ニ曰_一。齊王其霸_ニ乎_一。曰。不_レ能_一。

曰。何_ニ也_一。曰。不_レ信_ニ其臣_一。於是燕王專_ニ任_ニ子之_一。已_ニ而讓_ニ位_一。燕大亂。齊

前宋ヲ滅ス、其年必已
長ズ、故ニ長主ノ稱
アリ、若シ此段問答ヲ
昭王召蘇代復善遇之ノ
下ニ移セバ、則詞偷次
アリ。

覆三軍得二將ハ、方苞
曰、燕ノ三軍ヲ覆スル
ナリ。
五千乘之、大宋注正義齊
宋在前三十餘年ハ、札
記云、齊下疑フ滅字ヲ
脱ス。

長城鉅防注正義齊州、
札記濟州ニ作ル、云フ
官本濟、各本齊ニ譌ス、
下濟西正義同シ、竹書
紀下官本年字アリ、梁
惠ノ下王字アリ。

不能有所附則無不重。南附楚。楚重。西附秦。秦重。中附韓魏韓。
魏重。且苟所附之國重。此必使王重矣。
正義曰。言附諸國。諸國重。燕而燕尊重。 今夫齊。

長主而自用也。

索隱曰。謂齊王年長也。或作齊彊。故言長主。

南攻楚五年。畜聚竭。西困秦。

三年。士卒罷敝。北與燕人戰。覆三軍。得二將。

徐廣曰。齊覆三軍。而燕失二將。○索隱曰。戰國策云。

獲二將。亦謂燕之。然而以其餘兵南面舉五千乘之大宋。

正義曰。齊表云。齊湣王三十八

年滅宋。乃當赧王二十九年。此說乃燕噲之時。

當周慎王之時。齊宋在前三十餘年。恐文誤矣。而包十二諸侯。此其君欲得。其

民力竭。惡足取乎。且臣聞之。數戰則民勞。久師則兵敝矣。燕王

曰。吾聞齊有清濟濁河。

正義曰。濟深二水。上承黃河。竝淄青之北流入海。黃河又一源從洛魏二州界。北流入海。亦齊西北界。

可

以爲固。長城鉅防。

徐廣曰。齊北盧縣有防門。又有長城。東至海。○正義曰。長城西頭在齊州平陰縣界。竹書紀云。梁惠二十年。齊閔王築防以爲長城。

太山記云。太山西有長城。緣河經太山。餘一千里至瑯琊臺入海。

足以爲塞。誠有之乎。對曰。天時不與。雖

死。其事大泄。齊後聞之。乃恨怒燕。燕甚恐。蘇秦之弟曰代。代弟蘇厲。見兄遂亦皆學。及蘇秦死。代乃求見燕王。欲襲故事。曰。臣東周之鄙人也。竊聞大王義甚高。鄙人不敏。釋鉏耨而干大王。至於邯鄲。所見者絀於所聞於東周。臣竊負其志。及至燕廷。觀王之羣臣下吏。王天下之明王也。燕王曰。子所謂明王者何如也。對曰。臣聞明王務聞其過。不欲聞其善。臣請謁王之過。夫齊趙者。燕之仇讎也。楚魏者。燕之援國也。今王奉仇讎以伐援國。非所以利燕也。王自慮之。此則計過。無以聞者。非忠臣也。王曰。夫齊者。固寡人之讎。所欲伐也。直患國敝力不足也。子能以燕伐齊。則寡人舉國委子。對曰。凡天下戰國七。燕處弱焉。獨戰則

王曰夫齊者固寡人之讎云云ハ、齊大所曰、燕王喻ノ時、齊ト燕ト未ダ深讎アラザルナリ、蘇代此說、必昭王ノ時ニ在リ、故ニ齊湣王ヲ稱シテ長主ト爲シ、且南面宋ヲ舉ケルノ語アリ、湣王即位三十八年、

蘇秦私通。燕王知之。而事之加厚。蘇秦恐誅。乃說燕王曰。臣居

燕。不能使燕重。而在齊。則燕必重。燕王曰。唯先生之所爲。於是

蘇秦詳爲得罪於燕。而亡走齊。齊宣王以爲客卿。徐廣曰。燕易王之十年時。齊

宣王卒。湣王卽位。說湣王厚葬。以明孝。高宮室。大苑囿。以明得

意。欲破敝齊。而爲燕。燕易王卒。徐廣曰。易王十二年卒。燕噲立爲王。其後齊

大夫多與蘇秦爭寵者。而使人刺蘇秦。不死。殊而走。風俗通義稱。漢令蠻夷戎

狄有罪。當殊。殊者死也。與誅同指。而此云不死。殊而走者。蘇秦時雖不卽死。然是死創。故云殊。齊王使人求賊。不得。蘇秦且死。

乃謂齊王曰。臣卽死。車裂臣。以徇於市。曰。蘇秦爲燕作亂於齊。

如此。則臣之賊必得矣。於是如其言。而殺蘇秦者果自出。齊王

因而誅之。燕聞之。曰。甚矣。齊之爲蘇生報仇也。徐廣曰。生一作先。蘇秦旣

不死殊而走ハ、方苞曰、殊ハ分ナリ、絶ナリ、蘇秦將ニ死セントシ、未ダ絶エズ、而刺客走リ去ルナリ。

抱柱而死ハ、札記云、
文選獄中梁王ニ上ツル
書注、御覽人事部、引
ヲ抱樂柱而死ニ作ル、
燕策、莊子盜跖篇同ジ。

於齊哉。信如尾生。與女子期於梁下。女子不來。水至不去。抱柱

而死。有信如此。王又安能使之步行千里。卻齊之彊兵哉。臣所

謂以忠信而得罪於上者也。燕王曰。若不忠信耳。豈有以忠信

而得罪者乎。蘇秦曰。不然。臣聞客有遠爲吏。而其妻私於人者

其夫將來。其私者憂之。妻曰。勿憂。吾已作藥酒待之矣。居三日

其夫果至。妻使妾舉藥酒進之。妾欲言酒之有藥。則恐其逐主

母也。欲勿言乎。則恐其殺主父也。於是乎詳僵而弄酒。索隱曰。詳

也。僵仆也。音薑。主父大怒。笞之五十。故妾一僵而覆酒。上存主父。下存主

母。然而不免於笞。惡在乎忠信之無罪也。夫臣之過。不幸而類

是乎。燕王曰。先生復就故官。益厚遇之。易王母。文侯夫人也。與

詳見戰國策

音羊。詳詐

攻得十城、札記云、攻
字疑フ衍ナラシ。

得罪^ル歸^ル。而燕王不^レ復^セ官也。蘇秦見^エ燕王曰。臣東周之鄙人也。無^レ有^ニ分寸之功。而王親拜^テ之於廟。而禮^ニ之於廷。今臣爲王卻齊之兵。而攻^メ得^ニ十城。宜^ニ以益親^{セラル}。今來而王不^レ官臣者。人必有^ニ以不信^ヲ傷臣於王者。臣之不信。王之福也。臣聞忠信者。所以自爲^{ニスル}也。進取者。所以爲^{ニスル}人也。且臣之說齊王。曾非欺^グ之也。臣弃老母於東周。固去^テ自爲^{ニスル}而行^フ進取也。今有孝如曾參。廉如伯夷。信如尾生。得^ニ此三人者。以事大王。何若。王曰。足矣。蘇秦曰。孝如曾參。義不離^レ其親。一宿於外。王又安能使之步行千里。而事弱燕之危王哉。廉如伯夷。義不爲^テ孤竹君之嗣。不肯爲^テ武王臣。不受^テ封侯。而餓死首陽山下。有^ニ廉如此。王又安能使之步行千里而行進取^{スル}。

愈充腹ハ、札記云、燕策
偷充腹ニ作ル、鄭注、
喪記、偷ハ苟且ナリ、
淮南王傳、亦偷欲休、
漢書愈ニ作ル、韓子難
一ニ、偷取多歎、淮南
人閒訓ニ愈ニ作ル、是
偷ト愈ト通ズ。

奔仇讎而得石交ハ、石
交ハ堅交ナリ。

子也。一歲爲鳥喙。三歲爲附子。四歲爲鳥頭。五歲爲天雄。爲其愈充腹而與餓死同患也。索隱曰。劉氏以愈猶暫非也。按

謂飢人食烏頭。則愈益充腹少時毒發而斃。亦與飢死同患也。斃音幣。

今燕雖弱小。卽秦王之少壻也。大王

利其十城而長與彊秦爲仇。今使弱燕爲鴈行。而彊秦敝其後。

以招天下之精兵。是食鳥喙之類也。齊王愀然變色曰。索隱曰。愀音自酉反。

又七。然則奈何。蘇秦曰。臣聞古之善制事者。轉禍爲福。因敗爲

功。大王誠能聽臣計。卽歸燕之十城。燕無故而得十城。必喜。秦

王知以己之故而歸燕之十城。亦必喜。此所謂弄仇讎而得石

交者也。夫燕秦俱事齊。則大王號令天下莫敢不聽。是王以虛

辭附秦。以十城取天下。此霸王之業也。王曰善。於是乃歸燕之

十城。人有毀蘇秦者曰。左右賣國反覆之臣也。將作亂。蘇秦恐

乃投從約書於秦。索隱曰。投當作設。今本竝作投。言設者。謂宣布其從約六國之事。以告於秦。若作投。甚爲易解。秦兵不敢闕。

函谷關十五年。其後秦使犀首欺齊魏。與共伐趙。欲敗從約。齊

魏伐趙。趙王讓蘇秦。蘇秦恐。請使燕必報齊。蘇秦去趙。結案 徐廣曰。自初說燕至

此三。而從約皆解。秦惠王以其女爲燕太子婦。是歲文侯卒。太

子立。是爲燕易王。易王初立。齊宣王因燕喪伐燕。取十城。易王

謂蘇秦曰。往日先生至燕。而先王資先生見趙。遂約六國從。今

齊先伐趙。次至燕。以先生之故。爲天下笑。先生能爲燕得侵地。

乎。蘇秦大慙。曰。請爲王取之。蘇秦見齊王。再拜俯而慶。仰而弔。

索隱曰。劉氏云。當時慶弔。應有其詞。但史家不錄耳。齊王曰。是何慶弔相隨之速也。蘇秦曰。臣聞

飢人所以飢而不食烏喙者。本草經曰。烏頭一名烏喙。○索隱曰。音卓。又許穢反。今之毒藥烏頭是。○正義曰。廣雅云。蘇與毒附

秦兵不敢闕函谷關十五年。年ハ、錢大昕曰、說者此語ヲ以テ從人夸誕ノ詞ト爲ス、然ルニ張儀楚王ニ説キ云、秦兵ヲ函谷ニ出サ、ル十五年云云、其趙王ニ説ク、亦云大王天下ヲ收率シ、以テ秦ヲ賓シ、秦兵敢テ函谷關ヲ出デザル十五年ト、則當時果シテ其事アリ、蘇秦從約ノ成リ、趙宣侯十八年ニ在リ、又十五歲ハ、則趙武靈王ノ九年ナリ、是歲張儀始テ連衡ヲ以テ魏ニ説ク、此十五年ノ中、秦惟兵ヲ出シ魏ヲ攻メ、閉一タビ韓ヲ撃チ、他國ニ及ブヲ聞カズ、趙武靈王八年、五國秦ヲ撃ツノ師勝タザルニ達ビ、而後張儀説ヲ以テ之ヲ破ルヲ得タリ、則合從功ナシト爲サズ、蘇秦趙ヲ去リ而從約皆解クト謂フ、亦未ダ盡ク然ラズ。

食烏喙注正義與毒、札記奚毒ニ作ル、云廣雅ニ依テ改ム、淮南主術訓ニ難毒ニ作ル。

以面掩地ハ、札記云、四字疑フ後人索隱ニ依テ増竄ス。
注並音蒲仆、札記云、仆疑ノモト僕ニ作ル、乃俗寫ナリ、單本トニ作ルハ、又仆ノ爛文ナリ。

貸百錢、札記貸人百錢ニ作ル、云北宋本人字アリ、各本脫ス。

之昆弟妻嫂。側目不敢仰視。俯伏侍取食。蘇秦笑謂其嫂曰。何

應前兄嫂皆笑ヲ

前倨而後恭也。嫂委蛇蒲服。以面掩地而謝曰。

索隱曰。委蛇。謂面掩地而進若蛇行也。蒲

服。卽匍匐。

見季子位高金多也。

譙周曰。蘇秦字季子。○索隱曰。按其嫂呼小叔爲季子耳。未必卽其字。允南卽以爲字。未之得也。

蘇秦喟然歎曰。此一人之身。富貴則親戚畏懼之。貧賤則輕易

之。況衆人乎。且使我有雒陽負郭田二頃。

索隱曰。負。背也。枕也。近城之地。沃潤流澤最爲膏腴。故云。

吾豈能佩六國相印乎。於是散千金以賜宗族朋友。初蘇秦

負郭。

之燕。貸百錢爲資。及得富貴。以百金償之。徧報諸所嘗見德者。

其從者有一人。獨未得報。乃前自言。蘇秦曰。我非忘子。子之與

我至燕。再三欲去我。易水之上。方是時。我困。故望子深。是以後

子。子今亦得矣。蘇秦既約六國從親。歸趙。趙肅侯封爲武安君。

無所終薄ハ、薄ハ集ナ
リ、至ナリ。

疑於王者、疑ハ札記云、
索隱本疑ニ作ル。

衡合^{スレバ}則楚割^キ地以事^フ秦。此兩策者相去^シ遠矣。二者大王何^レ焉。
故敵邑趙王使臣效^シ愚計。奉明約^ヲ在大王。詔^セ之楚王曰。寡人之
國。西與秦接^ス境。秦有^テ舉^グ巴蜀并^{スル}漢中之心。秦虎狼之國。不可^レ親
也。而韓魏迫^ル於秦患。不可^ニ與深謀。與深謀恐^ニ反^キ人以入^ル於秦。故
謀未^レ發而國已危矣。寡人自料以楚當秦。不見^ル勝也。內與羣臣
謀。不足^レ恃也。寡人臥不安。席食不甘^シ味。心搖搖然如^ニ縣旌^ノ而無
所終薄^{スル}。
^{反。}白洛。今主君欲^テ一^ニ天下^ヲ收^メ諸侯存^セ危國。寡人謹奉^シ社稷
以從^ヘ於^ニ是六國從^シ合而并^ス力焉。蘇秦爲^ニ從約^ヲ長并^セ相六國北報^ス
趙王。乃行過^キ雒陽。車騎輜重。諸侯各發^シ使送^シ之甚衆。擬於王者。
^{索隱曰。疑}周顯王聞^テ之恐懼。除^ヒ道使人^ニ郊勞^セ。
^{儀禮曰。賓至近郊。君}使^テ卿朝服用束帛勞^フ。蘇秦

患至其後憂之、札記其
事而作之。

夫秦虎狼之國也、楊慎
曰、此ヨリ以下、衡成
レバ則秦帝タラノ意
ヲ言フ。

亂也。爲之其未有也。患至其後憂之。則無及已。故願大王蚤孰
計之。大王誠能聽臣。臣請令山東之國奉四時之獻以承大王
之明詔。委社稷。奉宗廟。練士厲兵。在大王之所用之。大王誠能
用臣之愚計。則韓魏齊燕趙衛之妙音美人。必充後宮。燕代橐
駝良馬。必實外廄。故從合則楚王。衡成則秦帝。今釋霸王之業。
而有事人之名。臣竊爲大王不取也。夫秦虎狼之國也。有吞天
下之心。秦天下之仇讎也。衡人皆欲割諸侯之地以事秦。此所
謂養仇而奉讎者也。夫爲人臣。割其主之地。以外交彊虎狼之
秦。以侵天下。卒有秦患。不顧其禍。夫外挾彊秦之威。以內劫其
主。以求割地。大逆不忠。無過此者。故從親則諸侯割地以事楚。

二句說楚網領

北有陜塞注正義即順故城ハ、順下陽字ヲ脱ス。

初於章臺之下、章臺ハ秦都ニ在リ。

大王不從ハ、札記云、不從ノ下親字ヲ脱ス、當ニ楚策ニ依テ補フベシ、楊慎曰、此ヨリ以下從ハザルノ害ヲ言フ、大王誠能聽臣ヨリ實外廠ニ至ル、從合ヘバ則楚王タルノ意ヲ言フ。

境也。○正義曰。大江中州也。夏水口。在荊州江陵縣東南二十五里。

南有洞庭蒼梧。

索隱曰。今青草湖是也。在岳州界。蒼梧地名。地理志有蒼梧郡。○正

義曰。蒼梧山。

北有陜塞郇陽。

徐廣曰。春秋云。遂伐楚。次于陜。楚威王十一年。魏敗楚。陜山。析縣有鈞水。或者郇陽。今之順陽乎。一本。北有汾

陜之塞也。○索隱曰。陜山在楚北境。郇音荀。郇陽地。當在汝南潁川之界。檢地理志及太康地記。北境竝無郇邑。郇邑在河東晉地。計郇陽當是新陽。聲相近字變耳。汝南有新陽縣。應劭云。在新水之陽。猶幽邑變爲枸邑。圜陰變爲圓陰。爾。郇亦當然也。徐氏云。郇陽當是順陽。蓋疎。○正義曰。陜山在鄭州新鄭縣西南三十里。卽順故城。在鄭州穰縣西四十里。地方

五千餘里。帶甲百萬。車千乘。騎萬匹。粟支十年。此霸王之資也。

夫以楚之彊。與王之賢。天下莫能當也。今乃欲西面事秦。則諸

侯莫不西面而朝於章臺之下矣。秦之所害莫如楚。楚彊則秦

弱。秦彊則楚弱。其勢不兩立。故爲大王計。莫如從親以孤秦。大

王不從。秦必起兩軍。一軍出武關。一軍下黔中。則鄢郢動矣。

徐廣

曰。今南郡宜城。○正義曰。鄢鄉故城。在襄州率道縣南九里。安郢城。在荊州江陵縣東北六里。秦兵出武關。則臨鄢矣。兵下黔中。則臨郢矣。

臣聞治之其未

恐韓魏之議其後也。是故恫疑虛喝。

喝呼葛反。○索隱曰。恫音通。恫恐懼之心也。喝本亦作獨。竝呼合反。高誘

曰。虛獨。喘息懼貌也。劉氏云。秦自疑懼不敢進兵。虛作恐。獨之詞。以脅韓魏也。

驕矜而不敢進。

正義曰。言秦雖至亢父。猶恐懼狼顧。虛作喝。罵驕溢矜誇。

不敢進伐。齊明矣。

則秦之不能害齊亦明矣。夫不深料秦之無奈齊何。而

欲西面而事之。是羣臣之計過也。今無臣事秦之名。而有疆國

之實。臣是故願大王少畱意計之。齊王曰。寡人不敏。僻遠守海。

窮道東境之國也。未嘗得聞餘教。今足下以趙王詔之。敬以

國從。乃西南說楚威王曰。

索隱曰。威王名商。宣王之子。

楚天下之彊國也。王天下

之賢王也。西有黔中巫郡。

正義曰。今朗州。楚黔中郡。其故城在辰州西二十里。皆盤瓠後也。巫郡。夔州巫山縣是。○徐廣曰。巫郡者。

南郡之西界。

東有夏州海陽。

徐廣曰。楚考烈王元年。秦取夏州。駟案左傳。楚莊王伐陳。鄒取一人焉。以歸。謂之夏州。而注者不說夏州所在。車胤撰桓

溫集云。夏口城上數里有洲。名夏州。東有夏州。謂此也。○索隱曰。裴駟據左氏及車胤說。夏州其文甚明。而劉伯莊以爲夏州州侯之本國。亦未之爲得。地理志云。海陽。地闕。劉氏云。楚之東

且夫韓魏之云云ハ、楊
慎曰、此ヨリ輕爲之臣
也ニ至ル、二國秦患ニ
近ク、而秦ニ事フルニ
輕ンズルナ言フ。

今秦之攻齊云云ハ、楊
慎曰、此ヨリ不能害齊
亦明矣ニ至ル、秦ノ齊
ヲ害スル能ハザルナ言
フ。
陽晉之道注正義陽晉故
ハ、札記陽晉故城ニ作
ル。

肩摩連衽成帷。舉袂成幕。揮汗成雨。家殷人足。志高氣揚。夫以
大王之賢。與齊之彊。天下莫能當。今乃西面而事秦。臣竊爲大
王羞之。且夫韓魏之所以重畏秦者。爲與秦接境壤界也。兵出
而相當。不出十日而戰。勝存亡之機決矣。韓魏戰而勝秦。則兵
半折。四境不守。戰而不勝。則國已危亡。隨其後。是故韓魏之所
以重與秦戰。而輕爲之臣也。今秦之攻齊。則不然。倍韓魏之地。
過衛陽晉之道。徐廣曰。魏哀王十六年。秦拔魏蒲坂陽晉封陵。○索隱曰。陽晉。魏邑也。劉氏云。陽晉地名。蓋適齊之道。在衛國之西南也。○正義曰。言秦
伐齊背韓魏地而與齊戰。徐說陽晉非也。乃是晉陽耳。衛地曹濮等
州也。杜預云。曹。魏下邑也。陽晉故在曹州乘氏縣西北三十七里。
索隱曰。亢音剛。又苦浪反。地理志云。縣名。屬梁國。○正義曰。故縣在兗州任成縣南五十一里。
車不得方軌。正義曰。言不得兩車並行。騎不得
比行。正義曰。狼性怯。走常還顧。百人守險。千人不敢過也。秦雖欲深入。則狼顧。

慎曰、此ヨリ志高氣揚
ニ至ル、齊宣王ノ強ヲ
言フ。

五家之兵ハ、王維楨曰、
五家ノ兵ハ、管子ノ制
ナリ、高誘注明チ缺ク。
通如鋒矢注正義齊君、
札記齊軍ニ作ル。

王曰。索隱曰。世本名辟齊南有泰山。東有琅邪。西有清河。正義曰。北有

勃海。此所謂四塞之國也。齊地方二千餘里。帶甲數十萬。粟如

丘山。三軍之良。五家之兵。索隱曰。高誘注戰國進如鋒矢。策云。五家。即五國。

矢。高誘曰。錐。小矢。喻徑疾也。呂氏春秋曰。所貴錐矢者。爲其應聲而
至。○正義曰。齊君之進。若鋒芒之刀。良弓之矢。用之有進而無退。

風雨。即有軍役。未嘗倍泰山。絕清河。涉勃海也。正義曰。言臨淄自足

也。絕涉。皆度也。渤海。
滄州也。齊有軍役。
不用度河取二部。臨菑之中七萬戶。臣竊度之。不下戶三男子。三七

二十一萬。不待發於遠縣。而臨菑之卒。固已二十一萬矣。臨菑

甚富而實。其民無不吹竽。鼓瑟。彈琴。擊筑。正義曰。筑。似琴而大。鬪雞。

走狗。六博。蹋鞠者。劉向別錄曰。蹴鞠者。傳言黃帝所作。或曰。起戰國之時。蹋鞠。兵勢

也。所以練武士。知有材也。皆因嬉戲而講練之。蹋徒獵反。鞠求六
反。○索隱曰。王逸注楚詞云。博著也。行六基。故云六博。別錄
云。蹴鞠者。蹴亦踢也。促六反。崔豹云。起黃帝時。習兵之勢也。

臨菑之塗。車轂擊人。

養馬之賤者。今起之爲卒。○正義曰。斯音斯謂炊烹供養雜役。車六百乘。騎五千匹。此其過越王句踐武

王遠矣。今乃聽於羣臣之說。而欲臣事秦。夫事秦必割地以效國策は效實

實。索隱曰。謂割地獻秦。以效己之誠實。故兵未用。而國已虧矣。凡羣臣之言。事秦者皆

姦人。非忠臣也。夫爲人臣。割其主之地。以求外交。偷取一時之

功。而不顧其後。破公家而成私門。外挾彊秦之勢。以內劫其主。

以求割地。願大王孰察之。周書曰。縣縣不絕。蔓蔓奈何。毫釐不

伐。將用斧柯。前慮不定。後有大患。將奈之何。大王誠能聽臣。六

國從親。專心并力。壹意。則必無彊秦之患。故敝邑趙王使臣效

愚計。索隱曰。此效猶呈見也。奉明約。在大王之詔。詔之。魏王曰。寡人不肖。未

嘗得聞明教。今主君以趙王之詔。詔之。敬以國從。因東說齊。宣

周書曰云云ハ、淺雅隆日、周廟ノ金人、其口ヲ緘シテ而其背ニ銘シ、曰縣縣不絶、或成網羅、毫末不札、將成斧柯トアリ、蘇秦ノ語此二本ヅク。

在大王之詔詔之ハ、戰國策上ノ詔字ナシ、蓋シ下文以趙王之詔詔之ニ涉リ、之ヲ衍セシナリ。說齊宣王曰云云ハ、楊

ニ作ル、鮑彪云、國ハ魏ヲ謂フ、不被患ハ、衛人ヲ謂フト、按ズルニ、上文國被秦患而不與其憂ト同意ナリ。

越王句踐戰敵卒ハ、李光緒曰、戰敵卒三字相聯ナル、或ハ戰敵ヲ以テ徵讀スルハ、非ナリ。禽夫差於干遂注正義萬安山前燧云云、札記萬安山西南一里ニ作ル、云各本山下前燧二字ヲ衍シ、一里二字ヲ脫シ、誤テ山ニ作ル、考證春申君傳正義ニ據テ改ム。

以內劫其主。罪無過此者。魏天下之疆國也。王天下之賢王也。

今乃有意西面而事秦。稱東藩。築帝宮。索隱曰。謂爲秦築宮。備其巡狩而舍之。故謂之帝宮。受冠

帶。祠春秋。索隱曰。謂冠帶制度皆受秦之法。春秋貢奉以助秦祭祀。臣竊爲大王恥之。臣聞越王句

踐戰敵卒三千人。禽夫差於干遂。索隱曰。干遂地名。不知所在。然干是水旁之高。故有江干河干是也。又左思吳都賦云。長干延屬。是干爲江旁之地。遂者道也。於江干有遂道。因爲名也。○正義曰。在蘇州吳縣西北四十餘里。萬安山前燧西南山太湖。夫差敗於姑蘇。禽於干遂。相去四十餘里。武

王卒三千人。革車三百乘。制紂於牧野。正義曰。今衛州城是也。周武王伐紂於牧野。築之。豈其

士卒衆哉。誠能奮其威也。今竊聞大王之卒。武士二十萬。漢書刑法

志曰。魏氏武卒衣三屬之甲。操十二石之弩。負矢五十。置戈其上。冠冑帶劍。贏三日之糧。日中而趨百里。中試則復其戶。利其田宅。○索隱曰。衣音意。屬音燭。三屬謂甲衣也。覆膊一也。甲裳二也。脛衣三也。甲之有裳。見左傳。贏音盈。謂資糗糧。中音竹。仲反。謂其筋力能負重。所以得中試。復音福。中試之人。國家當優復。賜之上田宅。故云利其田宅也。蒼頭二

十萬。索隱曰。謂以青巾裹頭以異於衆。奮擊二十萬。廝徒十萬。索隱曰。廝音斯。謂廝養之卒。廝荀卿子魏有蒼頭二十萬是也。

詞ト同ジ、其要亦秦
ニ事ヘ地ヲ割テ以テ實
效ヲスニ在リ。

曰。索隱曰。世本。大王之地。南有鴻溝。徐廣曰。在滎陽。陳。汝南。許。鄆。徐廣曰。在潁川。於縣切。○索隱

曰。音偃。又於建反。戰國策作鄆。地理志云。潁川有許鄆二縣。又有鄆陵縣。鄆鄆不同。必有一誤。鄆音焉。○正義曰。陳汝南。今汝州豫州縣也。昆陽。召陵。舞陽。

新都。新鄆。地理志云。潁川有昆陽舞陽縣。汝南有新鄆縣。南陽有新都縣。○索隱曰。地理志云。昆陽舞陽屬潁川。召陵新鄆屬汝南。按新鄆。卽棲丘。章帝建初四年。

徙封殷後宋公於此。更名宋。新都屬南陽。戰國策直云。新鄆。無新都二字。○正義曰。召陵在豫州。舞陽在許州。東有淮。潁。正義曰。淮陽潁川二郡。煮棗。

徐廣曰。在宛句。○正義曰。無胥。索隱曰。按。其地闕。西有長城之界。北有河外。正義曰。在宛胸。按宛胸。曹州縣也。謂河南

地。卷。衍。酸棗。徐廣曰。滎陽卷縣有長城。經陽武到密衍。地名。○索隱曰。徐廣云。滎陽卷縣有長城。蓋據地險爲說。○正義曰。卷。在鄭州原武縣北七里。酸棗在滑

州。衍。徐云。地名。地方千里。地名雖小。然而田舍廬廡之數。曾無所芻牧。人

民之衆。車馬之多。日夜行不絕。鞫鞫殷殷。正義曰。鞫廬。宏反。殷音隱。若有三軍

之衆。臣竊量大王之國不下楚。然衡人怵王。交彊虎狼之秦。以

侵天下。正義曰。衡音橫。怵音卹。卒有秦患。不顧其禍。夫挾彊秦之勢。

田舍廬廡之數ハ、余有
丁曰、數ハ即數晉ノ數
ナリ、芻牧スル所ナシ、
人居ノ稠チ言フナリ、
戰國策之數ニ字ナシ、
芻牧ノ下牛馬之地四字
チ多クスト、數晉ノ數
ハ音促、孟子趙岐注ニ
密細ナリ。
卒有秦患不顧其禍ハ、
淩稚隆曰、戰國策秦患
ナ國患ニ作リ、顧ヲ被

且大王之地有盡云云、楊慎曰、六國惟韓ハ秦患ニ逼近ス、之ヲ説ク力ヲ爲シ難シ、但反握韓ノ秦ニ事アルノ失ヲ言フ、其要地ヲ割キ秦ニ事ヘ、地盡クルアリテ而求メ已ムナク、戰ハズシテ而地已ニ削ラレルニ在リ、牛後ノ喻ヲ以テ之ヲ激ス、此韓王ノ劍ヲ按ジテ起ツ所以ナリ。
鄒諺曰云云ハ、何孟春日口ナリニ作り、後ナリニ作ル、是ニ非ズ、蓋口ト後ト韻叶フ、古語自ラ此ノ如シ。

又說魏襄王云云ハ、楊慎曰、其大概韓王ニ説

天下笑。無大於此者矣。是故願大王孰計之。大王事秦。秦必求宜陽成臯。今茲效之。明年又復求割地。索隱曰。鄭玄注。禮云。效。猶呈見也。與則無地

以給之。不與則弄前功而受後禍。且大王之地有盡。而秦之求

無已。以有盡之地。而逆無已之求。此所謂市怨結禍者也。不戰

而地已削矣。臣聞鄙諺曰。寧爲雞口。無爲牛後。此合從之本。索隱曰。戰國策云。寧爲雞口。不爲牛後。延

篤注云。尸。雞中主也。從。謂牛子也。言寧爲雞中之主。不爲牛子之從後也。○正義曰。雞口雖小。猶進食。牛後雖大。乃出糞也。今西面交臂而臣事

秦。何異於牛後乎。夫以大王之賢。挾彊韓之兵。而有牛後之名。

臣竊爲大王羞之。於是韓王勃然作色。攘臂瞋目。按劍仰天。太

息曰。索隱曰。太息。謂久蓄氣而大呼也。寡人雖不肖。必不能事秦。今主君詔以趙王

之教。敬奉社稷以從。索隱曰。主君。指蘇秦也。禮卿大夫稱主。今嘉蘇子合從諸侯。褒而美之。故稱曰主君。又說魏襄王

者ハ、乃至其箭其志ス
所ニ中ル、故ニ其鏑直
ニ其心ヲ穿ワテ而入ル
ナリ、心ハ心臓ナリト、
括ハ管ト通ズ、矢管ナ
リ、穿ハオホフナリ。
冥山棠谿云云ハ、凌稚
隆曰、此皆實劍ノ名ナ
リ。

革挾ハゆゑて、成芮ハ
たてナリ。

曰。郭象云。冥山在乎棠谿。徐廣曰。汝南吳房有棠谿亭。正義曰。故城在豫
太極。李軌云。在韓國。棠谿。州偃城縣西八十里。鹽鐵論云。有棠谿之劍是。墨陽。淮南

墨陽之莫邪也。合膊。音附。徐廣曰。一作伯。索隱曰。戰國策作合伯。春秋後語作合相。鄧師。宛馮。徐廣曰。棠陽有馮池。索

鄧師。宛人於馮池。龍淵。太阿。吳越春秋曰。楚王召風胡子而告之曰。寡人聞吳有干將。鑄劍。故號宛馮。越有歐冶。寡人欲因子請此二人作劍。可乎。風胡子曰。可

乃往見二人作劍。一曰龍淵。二曰太阿。索隱曰。按晉太康地理記曰。汝南西平有龍泉水。可

以淬刀劍。特堅利。故有龍泉水之劍。楚之寶劍也。以特堅利。故有堅白之論云。黃所以爲堅也。

白所以爲利也。齊辯之曰。白所以爲不堅。黃所以爲不利也。故天下之寶劍。韓爲衆。一曰棠谿。二曰墨陽。三曰合伯。四曰鄧師。五曰宛馮。六曰龍泉。七曰太阿。八曰莫邪。九曰干將也。然干將

莫邪。匠名也。其劍皆出西平縣。今有鐵官令。別領戶。是古鑄劍之地。皆陸斷牛馬。水截鵠鴈。當敵則斬。堅甲

鐵幕。徐廣曰。陽城出鐵。索隱曰。戰國策云。當敵則斬。堅甲盾鞬。鐵幕。革挾。徐廣曰。一

索隱曰。謂以革爲射決。決。射鞬也。吸芮。吸音伐。索隱曰。吸與厭同。謂楯也。芮音如字。謂繫楯之

畢具。以韓卒之勇。被堅甲。蹠勁弩。帶利劍。一人當百。不足言也。夫以韓之勁。與大王之賢。乃西面事秦。交臂而服。羞社稷而爲

韓宣惠王ハ、札記韓宣王ニ作ル、云各本宣下惠字アリ、索隱本無シ、志疑云衍ナリ。

張儀入_ニ之于秦。於是說韓宣惠王曰。索隱曰。世本韓宣王昭侯之子也。韓北有鞏洛

成臯之固。索隱曰。二邑本屬東周。後爲韓邑。地理志。二縣並屬河南。西有宜陽商阪之塞。徐廣曰。商一作常。○索隱曰。劉

氏云。商阪之塞。蓋在商洛之間。適秦楚之險塞也。○正義曰。宜陽在洛州福昌縣東十四里。商阪。卽商山也。在商洛縣南一里。亦曰楚山。武關在焉。東有宛穰洧

水。宛於袁反。洧于鬼反。○索隱曰。地理志云。宛穰。二縣名。並屬南陽。洧。水名。出南方。○正義曰。在新鄭東南流入潁。南有陘山。徐廣曰。召陵有陘山。○正義曰。在新鄭西南三十里。

地方九百餘里。帶甲數十萬。天下之彊弓勁弩。

皆從韓出。谿子。許慎云。南方谿子蠻夷。柘弩皆善材。○索隱曰。許慎注。淮南子。以爲南方蠻出柘弩及竹弩。少府時力距

來者。韓有谿子弩。又有少府所造二種之弩。按時力者。謂作之得時。力倍於常。故名時力也。距來者。謂弩執勁利。足以距來敵也。○索隱曰。韓又有少府所造時力距來二種

之弩。其名竝具淮南子。皆射六百步之外。韓卒超足而射。百發不暇止。索隱曰。超足。謂

超騰用勢。蓋起足踢之而射也。故下云。蹶勁弩是也。○正義曰。遠者括蔽洞賀。近者

超足。齊足也。夫欲放弩。皆坐舉足踏弩。兩手引棗機。然始發之。遠者括蔽洞賀。近者

鎬弁心。韓卒之劍戟。皆出於冥山。徐廣曰。莊子云。南行至郢北面而不見冥山。駟案司馬彪曰。冥山在朔州北。○索隱

遠者括蔽洞賀云云ハ、皆川淇園曰、蔽ハ隱ナリ、弩箭已ニ透リ、以テ其弩ヲ洞シ、而其箭ヲ羽括、其洞透スル所ノ箭ヲ蔽フナリ、其近

少府時力距來者ハ、札記云、距來、荀子廣雅並ニ鉅黍ニ作ル、文選閑居賦鉅黍子巨黍注、史ナリテ巨黍ニ作ル、董汾曰、本注其謬ル、索隱是ナリ。

六國從親以實秦、實ハ
損ニ通ズ、損斥ナリ。

乃數格張儀云云ハ、張
儀ニ詳ナリ。

之。秦攻趙。則韓軍宜陽。楚軍武關。魏軍河外。索隱曰。河外。謂陝及曲沃等處也。○正義曰。謂同華

州。齊涉清河。正義曰。齊從貝州過河而西。燕出銳師以佐之。諸侯有不如約者。

以五國之兵共伐之。六國從親以實秦。國策實作實。索隱曰。謂六國之軍共爲合從。相親獨以秦爲實。而共伐之。

則秦甲必不敢出於函谷以害山東矣。如此則霸王之業成矣。

趙王曰。寡人年少。立國日淺。未嘗得聞社稷之長計也。今上客

有意存天下安諸侯。寡人敬以國從。乃節車百乘黃金千鎰。白

璧百雙。錦繡千純。純。匹端名。周禮曰。純帛不過五兩。○索隱曰。按一鎰。一金也。鄭玄云。一鎰二十四分之一。其說各異。純音淳。高誘注。戰國策音屯。屯

東也。又禮鄉射云。某賢於某若干純。純數也。音旋。以約諸侯。是時周天子致文武之胙於秦惠

王。惠王使犀首攻魏。禽將龍賈。取魏之雕陰。索隱曰。魏地也。劉氏云。在龍門河之西北。按地理志

六雕陰縣屬上郡。○正義曰。在洛交縣北三十四里。且欲東兵。蘇秦恐秦兵之至趙也。乃激怒

臣聞明主絕疑ハ、楊慎曰、是ヨリ則霸王之業成矣ニ至ル、合從ノ意ヲ言フ。

趙涉河博關ハ、札記河漳博關ニ作ル、云北宋本漳字アリ。

計之也。臣聞明主絕疑去讒。屏流言之迹。塞朋黨之門。故尊主

廣地彊兵之計。臣得陳忠於前矣。故竊爲大王計。莫如一韓魏

齊楚燕趙。以從親。以畔秦。令天下之將相會於洹水之上。

徐廣曰。洹

水出汲郡林慮縣。通質列白馬而盟。索隱曰。質如字。又音蹟。以言通其交質之情也。要約曰。秦攻楚齊

魏各出銳師以佐之。韓絕其糧道。索隱曰。謂擁兵於曉關之外。又守宜陽也。趙涉河漳。索隱曰。謂

趙亦涉河漳。而西欲與韓相援。以阻秦軍。燕守常山之北。秦攻韓魏。正義曰。謂道蒲津之東攻之。則楚絕

其後。索隱曰。謂出兵武關。以絕秦兵之後。齊出銳師而佐之。趙涉河漳。燕守雲中。秦攻

齊。則楚絕其後。韓守城皐。正義曰。在洛州汜水縣。魏塞其道。索隱曰。其道。卽河內之道。戰國策其作午

趙涉河博關。徐廣曰。齊威王六年。晉伐齊。到博陵。東郡有博平縣。燕出銳師以佐之。秦攻燕。則趙

守常山。楚軍武關。齊涉勃海。正義曰。齊從滄州渡河至瀛州。韓魏皆出銳師以佐

百里ヲ改テ、士不過三千ト爲シ、又此ヲ改テ三萬ト爲ス、謬ナリ、下文魏ニ説クモ、亦武王卒三千人ト云フ、臣竊以天下之地圖ハ、楊慎曰、是ヨリ豈可同日而語哉ニ至ル、從ノ利、實ニ交ヲ擇ビテ而得ルノ意ヲ言フ所以ナリ。

夫破人之與見破於人也二句、札記見字ナシ、云各本兩與字下並ニ見字アリ、趙策無シ、索隱本臣人句ヲ出ス、亦無シ、案ズルニ正義此ヲ解スル甚明ナリ、今雜志ニ依テ刪ル。

夫衡人者ハ、楊慎曰、是ヨリ願大王執計之也ニ至ル、衡ノ害、實ニ交ヲ擇ビテ而シテ得ザルノ意ヲ言フ所以ナリ、孰ハ熟ト同ジ。

機。固已形於胷中矣。豈揜於衆人之言。而以冥冥決事哉。臣竊

以天下之地圖案之。諸侯之地。五倍於秦。料度諸侯之卒。十倍

於秦。六國爲一。并力西鄉而攻秦。秦必破矣。今西面而事之。見

臣於秦。夫破人之與見破於人也。正義曰。破人。謂破前敵也。破於人。爲被前敵破。臣人之與

見臣於人也。正義曰。臣人。謂已得人爲臣。臣於人。謂已事他人。豈可同日而論哉。索隱曰。臣人。謂已爲被臣也。臣

於人者。謂我爲主使彼臣已也。夫衡人者。正義曰。衡音橫。謂爲秦人。皆欲割諸侯之地以予秦。索隱曰。按

衡人。卽游說從橫之士也。東西爲橫。南北爲從。秦地形東西橫長。故張儀相秦。爲秦連橫。秦成。則高臺榭。美宮室。聽竽瑟

之音。前有樓闕軒轅。索隱曰。戰國策云。前有軒轅。又史記俗本有作軒冕者。非本文也。後有長姣美人。

索隱曰。姣音絞。國被秦患。而不與其憂。是故夫衡人。日夜務以秦權

說文云。姣。美也。恐。惕諸侯。惕音呼曷反。○索隱曰。恐音起。供反。惕音許曷反。謂相恐脅也。鄒氏。惕音憊。義疎。以求割地。故願大王孰

數年。西有常山。

正義曰。在鎮州西。

南有河漳。

正義曰。河字一作清。卽漳河也。在潞州地。理志。濁漳出長子鹿谷山。東至鄴入清漳。

東有清河。

正義曰。清河。今貝州也。

北有燕國。

正義曰。然三家分晉。趙得晉陽。襄子又伐戎。取代。旣云西有常山者。趙都邯鄲。近北燕也。

燕固弱國。不足畏也。

秦之所害於天下者莫如趙。然而秦不敢

舉兵伐趙者何也。畏韓魏之議其後也。然則韓魏。趙之南蔽也。

秦之攻韓魏也。無有名山大川之限。稍蠶食之。傳國都而止。

傳音

附。韓魏不能支秦。必入臣於秦。秦無韓魏之規。則禍必中於趙。

矣。此臣之所爲君患也。臣聞堯無三夫之分。舜無咫尺之地。以

有天下。禹無百人之聚。以王諸侯。湯武之士。不過三千。車不過

三百乘。卒不過三萬。立爲天子。誠得其道也。是故明主外料其

敵之彊弱。內度其士卒賢不肖。不待兩軍相當而勝敗存亡之

臣聞堯無三夫之分ハ、楊慎曰、是ヨリ冥冥決事哉ニ至ル、其利害ヲ審度シテ之ヲ決スルヲ欲スルナリ。

湯武之士不過三千ハ、札記云、文選枚乘ノ吳王ヲ諫ムル書注ニ引イテ、湯武之士不過百里ニ作ル、卒不過三萬ハ、趙策湯武之卒不過三千人ニ作ル、後人土不過

秦所害於天下ハ、楊慎曰、是ヨリ此臣之所爲君患也ニ至ル、亦交得ザルノ害ヲ申言スル所以ナリ。

與齊則齊必弱楚魏ハ、
札記云、正義魏ノ境ヲ
釋カズ、下文亦止楚弱
ト云フ、疑フ此魏字、
上弱韓魏、涉リテ而行
スルナリ。

據衛取淇卷、札記據衛
取卷ニ作ル、云索隱本
此四字ヲ出ス、各本取
淇卷ニ作ル、雜志云、
淇字後人之ヲ加フ、史
取卷ニ作リ、策取淇ニ
作ル、正義但守衛得卷
ト言ヘバ、則淇字ナキ
明ナリ。
據番吾注、正義鎮州旁
山縣ノ旁ハ、官本常ニ
作ル、是ナリ。
當今之時ハ、楊慎曰、是
ヨリ東有清河ニ至ル、
趙ノ地大ニ兵衆ク、國
富ミ地險ナルヲ言フ、
其強ニ誇ルナリ、凌稚
隆曰、此意燕ヲ説クト
同ジ。

弱與秦宜陽城。河外割。則道不通。正義曰。河外。同華等地也。言魏弱與秦河外地。則道路不通上郡矣。華山記云。此山分秦晉之境。晉

之西鄙。則曰陰晉。秦之東邑。則曰寧秦。楚弱。則無援。此三策者。不可不孰計也。夫秦下

軹道。正義曰。軹音止。故亭在雍州。萬年縣東北十六里苑中。則南陽危。正義曰。南陽。懷州河南也。七國時屬韓。言秦兵下軹道。從東渭橋。歷北道。過蒲

津攻韓。即南陽危矣。劫韓包周。正義曰。周都洛陽。秦若劫取韓南陽。是包裏周都也。趙邯鄲故須危。起兵自守。則趙氏自操兵。

索隱曰。戰國策作銷鑠。據衛取淇卷。丘權反。○索隱曰。地理志云。卷縣屬河南。戰國策云。據衛取淇。無卷字。○正義曰。衛地濮陽也。卷城在鄭州武原縣

西北七里。言秦守衛得卷。則齊必來朝秦。秦欲已得乎山東。則必舉兵而

嚮趙矣。秦甲渡河踰漳。據番吾。徐廣曰。常山有蒲吾縣。○索隱曰。徐氏所引。據地理志而知也。○正義曰。番音婆。又音蒲。又音

盤。疑古番吾公邑也。括地志云。蒲吾故城在鎮州旁山縣東二十里。漳水在潞州。言秦兵渡河歷南陽。入羊腸經澤潞。渡漳水守蒲吾城。則與趙戰於都城下矣。則兵必

戰於邯鄲之下矣。此臣之所爲君患也。當今之時。山東之建國。

莫彊於趙。趙地方二千餘里。帶甲數十萬。車千乘。騎萬匹。粟支

常苦出辭斷絕人之交也、
 苦出辭、苦出辭ハ、
 猶苦辭ヲ出ス如キナリ、
 或ハ傳寫誤倒ス、
 凡人ノ交ヲ斷ツ、必苦
 言ヲ出ス、蘇代云、何
 苦言ヲ以テ秦王ヲ説
 カザルカト、是ナリ。
 請別白黑所以異陰陽而
 已矣ハ、戰國策ニ據ル
 ニ、蓋黑字衍ナリ、請
 フ陰陽ヲ異ニスル所以
 ナ別白スルノミト言フ
 ナリ、鮑彪曰、陰陽ハ
 事止ニ兩端アルヲ言
 フ、從橫ヲ指スト、索隱
 ノ說恐ラクハ鑿ナリ。
 君誠能聽臣ハ、楊慎曰、
 是ヨリ壯臣之所以爲君
 願也ニ至ル、先ヅ利ヲ
 言ヒ、以テ之ヲ誘ヒ、
 交得ルノ利ヲ言フ所以
 ナリ。
 今大王與秦云云ハ、楊
 慎曰、是ヨリ此臣之所
 爲君患也ニ至リ、復害
 ナ言ヒ、以テ之ヲ怵ト
 ス、交得ザルノ害ヲ言
 フ所以ナリ。

言^ン外^ニ患^ヲ。齊^ヲ秦^ニ爲^リ兩^ノ敵^ト。而^モ民^レ不^レ得^ル安^ヲ。倚^リ秦^ニ攻^ム齊^ヲ。而^モ民^レ不^レ得^ル安^ヲ。倚^リ齊^ニ攻^ム秦^ヲ。而^モ民^レ不^レ得^ル安^ヲ。故^ニ夫^レ謀^ル人^ノ之^ノ主^ト。伐^ム人^ノ之^ノ國^ヲ。常^ニ苦^シ出^シ辭^ヲ。斷^ス絕^ス人^ノ之^ノ交^ヲ也。願^フ君^ヲ慎^ミ勿^レ出^ス於^リ口^ヲ。請^フ別^ニ白^ヲ黑^ヲ。所以^ニ異^{ニス}陰^ノ陽^ヲ而^モ已^ニ矣^ハ。

索隱
曰戰

國策云。請屏左右白言。所以異陰陽。其說異此。然則別白黑者。蘇秦言已今論趙國之利。必使分明有如白黑分別陰陽殊異也。

君誠能聽臣。燕必

致^シ旃^ヲ裘^ヲ狗^ヲ馬^ヲ之^ノ地^ヲ。齊^ニ必^シ致^シ魚^ヲ鹽^ヲ之^ノ海^ヲ。楚^ニ必^シ致^シ橘^ヲ柚^ヲ之^ノ園^ヲ。韓^ニ魏^ニ中^ニ

山^ヲ。皆^ニ可^シ使^ム致^ス湯^ヲ沐^ヲ之^ノ奉^ヲ。而^モ貴^ニ戚^ニ父^ヲ兄^ヲ。皆^ニ可^シ以^テ受^ク封^ヲ侯^ヲ。夫^レ割^キ地^ヲ包^ム

利^ヲ。五^ノ伯^ノ之^ノ所以^ニ覆^ヘ軍^ヲ禽^ニ將^ヲ而^モ求^ム也。封^ニ侯^ニ貴^ニ戚^ニ。湯^ニ武^ニ之^ノ所以^ニ放^シ弑^シ

而^モ爭^ム也。今^ニ君^ニ高^シ拱^シ而^モ兩^ノ有^リ之^ヲ。此^レ臣^ノ之^ノ所以^ニ爲^ス君^ノ願^フ也。今^ニ大^ニ王^ニ與^ス

秦^ニ。則^ニ秦^ニ必^シ弱^シ韓^ニ魏^ニ。與^ス齊^ニ。則^ニ齊^ニ必^シ弱^シ楚^ニ魏^ニ。

正義曰。楚東淮泗之上。與齊接壤。

魏弱。則割

河^ヲ外^ニ韓^ニ弱^シ。則^ニ效^ス宜^ニ陽^ニ。宜^ニ陽^ニ效^ス。則^ニ上^ニ郡^ニ絕^ス。

正義曰。宜陽。卽韓城也。在洛州西。韓大郡也。上郡。在同州西北。言韓

西迫彊趙注真冀燕趙、
札記只冀深趙ニ作ル、
云考證地里志ニ據テ改
ム。
南近齊注齊也ハ、齊地
ニ作ル。

因說趙肅侯曰云云ハ、
楊慎曰、首ヨリ臣故敢
進其愚慮ニ至ル、前ニ
奉陽君之ヲ悦バザルヲ
以テ是言ヲ爲ス、奉陽
國ニ當ル、專權ヲ免カ
レズ、而肅侯亦之ヲ惡
ムノ意アリ、故ニ之ヲ
搗リテ、而此言ヲ爲シ、
以テ微ニ之ヲ激スルナ
リ。
君而不任事、札記而君
不任事ニ作ル、云考證
趙策ニ據テ改ム。

重^{スル}千里之外^ナ。計無^ミ過^ツ於^レ此者。是故願^フ大王與^レ趙從^ニ親。天下爲^レ一。

則燕國必無^ク患矣。文侯曰。子言則可。然吾國小。西迫^ニ彊趙^一。
正義曰。眞

冀燕趙四州。七國。南近^シ齊。
正義曰。河北博滄德三州。齊也。北境與燕相接。隔黃河。齊趙。彊國也。子必欲^ニ

合從^シ以安^セ燕。寡人請以國從^ニ於是資^シ蘇秦車馬金帛。以至趙而

奉陽君已死。即因說^テ趙肅侯曰。
應前奉陽君弗說。索隱曰。世本云。肅侯名言。天下卿相人臣。及布

衣之士。皆高賢君之行義。皆願^フ奉^シ教陳^ニ忠於前之日久矣。
正義曰。奉

符用。雖然奉陽君妬。君而不任^ゼ事。是以賓客游士。莫敢自盡^ス於
反。

前者。今奉陽君捐^ツ館舍。君乃今復與^ニ士民相親也。臣故敢進^ム其

愚慮。竊爲^ニ君計者。莫若^ニ安民無事。且無庸有事^ニ於民也。安民之
凡七用安字

本。在於擇^フ交。擇交而得。則民安。擇交而不得。則民終身不安。請

碣石山。在常山九門縣。地理志云。大碣石山。在右北平驪城縣西南。是也。○正義曰。鴈門山。在代燕西門。

北有棗栗之利。民雖不佃

作。而足於棗栗矣。此所謂天府者也。夫安樂無事。不見覆軍殺

將。無過燕者。大王知其所以然乎。夫燕之所以不犯寇被甲兵

者。以趙之爲蔽其南也。秦趙五戰。秦再勝而趙三勝。秦趙相斃

國策寇作難

而王以全燕制其後。此燕之所以不犯寇也。且夫秦之攻燕也。

踰雲中九原。過代上谷。彌地數千里。雖得燕城。秦計固不能守

也。秦之不能害燕亦明矣。今趙之攻燕也。發號出令。不至十日。

而數十萬之軍。軍於東垣矣。

索隱曰。地理志。高帝改曰真定。○正義曰。趙之東邑。在恆州真定縣南八里。故常山城。是也。

渡噓沱。涉易水。不至四五日。而距國都矣。故曰秦之攻燕也。戰

於千里之外。趙之攻燕也。戰於百里之內。夫不憂百里之患。而

ス。
此天府也ハ、鮑彪曰、
天府ハ、蓄積ノ富、人
力ニ非ルヲ言フ。

說燕文侯曰云云ハ、楊
慎曰、首ヨリ天府者也
ニ至ル、燕地廣ク兵衆
ク、富饒ナルヲ誇言ス
ルナリ、次ハ燕ノ兵ヲ
被ラザル、趙其南ヲ蔽
フヲ以テナリ、秦ハ趙
ヲ踰テ燕ヲ攻ル能ハズ、
而趙ハ則之ヲ攻ム、趙
以テ之ヲ蔽フナケレ
バ、燕ハ秦兵ヲ被ムル
ヲ謂フナリ。
西有雲中九原注林榆ハ
札記榆林ニ作リ、云各
本誤倒ス、下同ジ、九
原郡ノ下城字ヲ増ス。

此天府也。

索隱曰。周禮春官有天府。鄭玄曰。府物所藏。言尊此所藏若天府然。

以秦士民之衆兵法之教。可

以吞天下。

稱帝而治。秦王曰。毛羽未成。不可以高蜚。文理未明。

不可以并兼。方誅商鞅。疾辯士。弗用。乃東之趙。趙肅侯令其弟

成爲相。號奉陽君。

爲後奉陽君已死。眼目。奉陽君弗說之。去游燕。歲餘而後得見。說燕

文侯曰。索隱曰。說音稅。燕東有朝鮮遼東。潮仙。二水名。北有林胡樓

煩。

索隱曰。地理志云。樓煩屬鴈門郡。西有雲中九原。索隱曰。地理志云。雲中九原。

二郡名。秦曰九原。漢武帝改

曰五原郡。

正義曰。二郡竝在勝州也。雲中郡城。南有噤沱易水。周禮曰。正北曰并

在林榆縣東北四十里。九原郡在林榆縣西界。

曰噤沱出鹵城。

索隱曰。噤沱水名并州之川也。音呼池。地理志云。鹵城縣名。屬代郡。噤沱河

自縣東至參谷。又東至文安入海也。正義曰。噤沱出代州繁時縣東南。流經五臺山北。東南

流過定州。流入海。易水出易州縣東。

流過幽州歸義縣東。與噤沱河合也。

地方二千餘里。帶甲數十萬。車六百

乘。騎六千匹。粟支數年。

索隱曰。戰國策。車七百乘。粟支十年。

南有碣石鴈門之饒。索隱曰。戰國策。

乘。騎六千匹。粟支數年。

索隱曰。戰國策。車七百乘。粟支十年。

南有碣石鴈門之饒。索隱曰。戰國策。

乘。騎六千匹。粟支數年。

索隱曰。戰國策。車七百乘。粟支十年。

南有碣石鴈門之饒。索隱曰。戰國策。

下ニ於テ獨觀之三字ヲ
出シ、其下得周書陰符
五字ヲ出ス、疑フ此文
六字當ニ下文雖多亦奚
以爲ノ下ニ在リ、於是
出其書徧觀之得周書陰
符云云ニ作ルベシ、今
本錯簡ナリ。
期年以出揣摩ハ、皆川
淇園曰、伏而讀之期年
ノ效ヲ以テ、其心自ラ
揣摩ノ術ヲ發出スルナ
リト、或曰、揣摩ハ篇
名ナリ、出ハ出其書ノ
出ナリ、故ニ曰、此可
以說當世之君矣ト。

秦四塞之國注南山ハ、
札記云、南下ニ脫文ア
リ、當ニ南有某山云云
ト云フベシ。
同注被山帶渭ハ、札記
載テ後注ニ入レ、正義
曰、被山帶渭又爲界ニ作
ルベシ、云又字當ニ以ニ作
フラン、地里字疑フ誤
東有關河注渭州隴山之
西南ハ、札記云、渭州
上疑フ四從ノ二字ヲ脫

士業已屈首受書也。索隱曰、謂士之立操業者素也。本而不能以取尊榮。雖

多亦奚以爲。於是得周書陰符。伏而讀之。期年以出揣摩。戰國策曰、

乃發書陳篋數十。得太公陰符之謀。伏而誦之。簡練以爲揣摩。讀書欲睡。引錐自刺其股。血流
至踵。曰。安有說入主。不能出其金玉錦繡。取卿相之尊者乎。期年揣摩成。鬼谷子有揣摩篇也。
○索隱曰。戰國策云。得太公陰符之謀。則陰符是太公兵法。揣摩音初委反。摩音姥何反。鄒誕本
作揣摩。靡讀亦爲摩。王劭云。揣摩摩意是鬼谷之二章名。非爲三篇也。高誘曰。揣。定也。摩。合也。
定諸侯。使離其術。以成六國之從也。江
遂曰。揣。人主之情。摩而近之。其意當矣。曰。此可以說當世之君矣。求說周顯

王。顯王左右。素習知蘇秦。皆少之。爲後周顯王除道使人郊迎。目索隱曰。謂王之左右。素慣習知秦浮說多
不中當世。而以爲秦智識淺。故少之。劉氏

云。少。謂弗信。乃西至秦。秦孝公卒。說惠王曰。秦四塞之國。正義曰。東有黃河。有

函谷蒲津龍門合河等關。南山及武關峽關。西有大隴山及隴。被山帶渭。東有關河。

正義曰。又爲界。地里。江。謂岷江。渭州隴山之西南流入蜀。東至荊陽入海也。河。謂黃河。從同州
小積石山。東北流至勝州。即南流至華州。又東北流經魏滄等州入海。各是萬里已下。

西有漢中。南有巴蜀。北有代馬。索隱曰。謂代郡馬邑也。地理志云。代郡又有馬城縣。一云代馬。謂代郡兼有胡馬之利也。

史記評林卷之六十九

蘇秦列傳第九

蘇秦者。東周雒陽人也。

索隱曰。蘇秦字季子。蓋蘇忿生之後。已姓也。譙周云。秦兄弟五人。秦最少。兄代。代弟厲。及辟鵠。竝為游說之士。此下

東周雒陽人也。備ハ洛ト同ジ、注雒陽軒里之人也。札記、乘軒里人也ニ作ル、乘字ヲ脱シ、里下之字ヲ衍ス、考證趙策ニ據テ改ム。

十一篇。在縱橫流敬王以子朝之亂。從王城東遷雒陽故城。乃號東周。以王城為西周。

云。秦弟代。代弟厲。未詳。○正義曰。戰國策云。蘇秦。雒陽軒里之人也。藝文志云。蘇子三

師於齊。而習之於鬼谷先生。

徐廣曰。潁川陽城有鬼谷。蓋是其所居。因為號。駟案風俗通義曰。鬼谷先生。六國時從橫家。○索

隱曰。鬼谷。地名也。扶風池陽潁川陽城。竝有鬼谷墟。蓋是其所居。因為號。又樂壹注。鬼谷子書云。蘇秦欲神祕其道。故假名鬼谷。

歸。索隱曰。戰國策。此兄弟嫂妹妻妾竊皆笑之曰。周人之俗。治產業。

力工商。逐什二以為務。今子釋本而事口舌。困不亦宜乎。蘇秦聞之而慙。自傷。乃閉室不出。出其書徧觀之。

出其書徧觀之ハ、札記云、索隱本、屈首受書

索隱曰。徧觀。謂盡觀覽其書。

曰夫

卽以取魏河西利之所在。無所復顧。軼而知帝王之術。其肯爲此哉。古之制刑。輕重必與事麗。殺人者死。傷人及盜抵罪。故人雖死而無憾。今軼使不告姦者腰斬。告姦者與斬敵首同賞。匿姦者與降敵同罰。民有二男不分異者倍賦。事末利及怠而貧者。舉爲收孥。刑之輕重。豈復與事麗哉。其後始皇之世。有子而嫁者有刑。夫爲寄殺者殺之無罪。妻爲逃嫁者。子不得母。法皆與情不應。至於偶語詩書者棄市。以古非今者族。其端皆自軼發之。

史記評林卷之六十八終

說苑秦法棄灰於道者云
云ハ、序論中ノ棄灰於
道者被刑ノ解ナリ。

索隱述贊曰。衛鞅入秦。景監是因。王道不用。霸術見親。政必改革。禮豈因循。旣欺魏將。亦怨秦人。如何作法。逆旅不賓。

蘇子古史曰。解牛之技。恥於屠狗。禦人之盜。恥於穿窬。衛鞅有帝王之術。而肯以強國之事。說孝公乎。蓋鞅之志。本於強國而已。恐孝公之不能用。是以極言其上。以要之耳。鞅欺公子。

秦^ニ走^{オモムク}商^ニ邑^ニ。索隱曰。走音奏。走向也。與其徒屬發^シ邑^ニ兵^ヲ北^ニ出^グ擊^ツ鄭^ヲ。徐廣曰。京兆鄭縣也。○索隱曰。地理志。京

兆有鄭縣。秦本紀云。初縣杜鄭。按其地。是鄭桓公友之所封。秦發^シ兵^ヲ攻^ム商^ヲ君^ヲ殺^ス之^ヲ於^ニ鄭^ノ黽^ノ池^ニ。徐廣曰。黽或作彭。○索隱

曰。鄭黽池者。時澠池屬鄭故也。而徐廣云。黽或作彭者。按鹽鐵論云。商君困於彭池故也。黽音亡忍反。○正義曰。黽池去鄭三百里。蓋秦兵至鄭破商邑兵。而商君東走至黽。乃擒殺之。

秦惠王車裂^シ商^ヲ君^ヲ以^テ徇^ヘ曰。莫^レ如^ク商^ノ鞅^{ナル}反^ル者^ヲ遂^ニ滅^ス商^ノ君^ノ之^ノ家^ヲ。

太史公曰。商君其天資刻薄^{ナル}人也。一句斷盡。索隱曰。謂天資其人爲刻薄之行。刻。謂用刑深刻。薄。謂棄仁義不悃誠也。跡^ニ

其欲^シ干^シ孝^ニ公^ヲ以^テ帝^ノ王^ノ術^ヲ挾^ヒ持^ス浮^{ナル}說^ヲ非^ニ其^ノ質^ニ矣。索隱曰。說音如字。浮說卽虛說也。謂鞅得用刑政深

刻。又欺魏將。是其天資自有狙詐。則初爲^ニ孝^ニ公^ヲ論^ス帝^ノ王^ノ之^ノ術^ヲ是^ニ浮^{ナル}說^ヲ耳。非^ニ本^ノ性^ニ也。且所因由嬖臣。及得用刑公子虔。

欺^シ魏^ノ將^ヲ卬^ヲ不^レ師^{トセ}趙^ノ良^ノ之^ノ言^ヲ亦^ニ足^ル發^ス明^ニ商^ノ君^ノ之^ノ少^キ恩^ヲ矣。余嘗^シ讀^ム商

君^ノ開^シ塞^ヲ耕^シ戰^シ書^ヲ與^ニ其^ノ人^ノ行^ハ事^ヲ相^ス類^ス。索隱曰。按商君書。開謂刑嚴峻則政化開。塞謂布恩賞則政化塞。其意本於嚴刑少

恩。又爲田開阡陌。及言斬^ル卒^ヲ受^ル惡^{ナル}名^ヲ於^ニ秦^ニ有^ル以^テ也^ヲ夫。新序論曰。秦孝公保崤函之固。以廣雍州之地。東并

余嘗讀商君開塞耕戰書ハ、明焦竑曰、開塞乃其書第七篇、謂フ道塞ル久矣、今之ヲ開カント欲ス、必刑九ニシテ而賞一、利將ニ過マダントスルニ用フレバ、則大邪生ゼズ、賞奸ヲ告クルニ施セバ、則細

益壽乎。則何不歸十五都。

索隱曰。衛鞅所封商於二縣以爲國。其中凡有十三都。故趙良勸令歸之。○正義曰。都。孫鞅封商於十五

邑。故云十五都。

灌園於鄙。勸秦王顯巖穴之士。養老存孤。敬父兄。序有

功。尊有德。可以少安。君尙將貪商於之富。寵秦國之教。畜百姓

之怨。秦王一且捐賓客。而不立朝。秦國之所以收君者。豈其微

哉。索隱曰。謂鞅於秦無仁恩。故秦國之所以收君者。豈其微。將收錄鞅者。其效甚明。故云豈其微哉。亡可翹足而待。商君弗從。後五

月而秦孝公卒。太子立公子虔之徒。告商君欲反。發吏捕商君。

商君亡至關下。欲舍客舍。客人不知其是商君也。曰商君之法。

舍人無驗者坐之。商君喟然歎曰。嗟乎。爲法之敝。一至此哉。去

之魏。魏人怨其欺公子卬而破魏師。弗受。商君欲之他國。魏人

曰。商君。秦之賊。秦彊而賊入魏。弗歸。不可。遂內秦。商君既復入。

客人不知其是商君ハ、
客人ハ客舍ノ人ナリ。

教之化民也深於命云云ハ、方苞曰、此泛ク教化ノ理ヲ論ズ、命ハ口ヨリ出テ、而教ハ身ニ型ス、故ニ民ヲ化スルハ深クシテ、而民ノ之ニ效フ捷カナリト、型ハ模範ナリ。
左建外易ハ、皆川淇園曰先王ノ左ト爲ス所ノ者ヲ以テ之ヲ建テ、先王ノ外ト爲ス所ノ者ヲ以テ之ヲ易ヘ、而先王ノ教ヲ廢スルヲ言フ。

持矛而操闔戟者ハ、關モ亦戟ノ名ナリ、注鑑ハ小矛ナリ。

之化民也深於命。

索隱曰。劉氏云。教。謂商鞅之令也。命。謂秦君之命也。言人畏鞅甚於秦君。

民之效上也捷於

令。索隱曰。上。謂商鞅之處分。令。謂秦君之教令。

今君又左建外易。非所以爲教也。

索隱曰。左建。謂以左道建。

立威權也。外易。謂君又南面而稱寡人。日繩秦之賢公子。詩曰。相鼠

有體。人而無禮。人而無禮。何不遄死。以詩觀之。非所以爲壽也。

公子虔杜門不出。已八年矣。君又殺祝懽。而黥公孫賈。詩曰。得

人者興。失人者崩。此數事者。非所以得人也。君之出也。後車十

數。從車載甲。多力而駢脅者爲驂乘。持矛而操闔

所及戟者。徐廣曰。一

作。秦屈盧之勁矛。干將之雄戟。○索隱曰。闔亦作鉞。同所及反。鄒誕音吐。臆反。秦音遼。屈音九

勿反。按屈盧干將。竝古良匠。造矛戟者名。○正義曰。顧野王云。鉞也。方言云。矛。吳揚江淮南楚

五湖之間。謂之鉞。其柄謂之鈐。釋名云。戟。格也。旁有格。

旁車而趨。此一物不具。君固不出。書曰。恃

德者昌。恃力者亡。

索隱曰。此是周書之言。孔子所削之餘。

君之危若朝露。尙將欲延年

一救荆國之禍注此云救荆宋詳ハ、札記云、政異云、宋ニ荆ノ禍アリ、而秦之ヲ救フヲ謂フ。

見^{スル}行^テ而無資。自粥^ギ於^ニ秦客。被^レ褐食^フ牛。期年繆公知^ル之。舉^テ之牛口

之下。而加^フ之百姓之上。秦國莫^テ敢望^ヲ焉。相^{スル}秦六七年。而東伐^シ鄭。

三置^キ晉國之君。索隱曰。謂立晉惠公懷公文公。一救^フ荆國之禍。索隱曰。十二諸侯年表。穆公二十八年。會晉伐楚朝周。此

云救荆發^シ教封內。而巴人致^ス貢。施^シ德諸侯。而八戎來服。由余聞^キ之。

未詳。款^キ關請^フ見。韋昭曰。款叩也。五穀大夫之相^{スル}秦也。勞不坐乘。暑不張^テ蓋。行

於^ニ國中。不從^ヘ車乘。不操^ラ干戈。功名藏^ズ於^ニ府庫。德行施^ス於^ニ後世。五

穀大夫死。秦國男女流涕。正義曰。音體。童子不歌謠。春者不相^セ杵。鄭玄曰。相。

謂送杵聲。以音聲自勸也。此五穀大夫之德也。今君之見^{ユル}秦王也。因^テ嬖人景監。

以爲主。非所以爲名也。相^{トシ}秦。不以^ニ百姓爲事。而大築^ク冀闕。非所

以爲功也。刑^シ黥太子之師傅。殘^{ズル}傷民。以^ニ駿刑。是積^ミ怨畜禍也。教

己レ亦食位食名ノ人ト
爲レチ言フナリ。
反聽之謂聽內視之謂明
ハ、防陳寔曰、反聽內
視ハ、己レニ反リ、視
管スルノ謂ナリ。

索隱曰。說音

悅與音予。

趙良曰。反聽之謂聽。內視之謂明。自勝之謂彊。

索隱曰。謂守謙

敬人自伏。非是爲自勝。若是者乃

爲彊。若爭名得勝。此非彊之道。

虞舜有言。曰。自卑也尙矣。君不若道虞

舜之道。無爲問僕矣。商君曰。始秦戎翟之教。父子無別。同室而

居。今我更制其教。而爲其男女之別。大築冀闕。營如魯衛矣。子

觀我治秦也。孰與五穀大夫賢。趙良曰。千羊之皮。不如一狐之

掖。千人之諾諾。不如一士之諤諤。武王諤諤以昌。殷紂墨墨以

亡。正義曰。以殷紂比商君。

君若不非武王乎。則僕請終日正言而無誅。可乎。

商君曰。語有之矣。貌言華也。至言實也。苦言藥也。甘言疾也。夫

子果肯終日正言。鞅之藥也。鞅將事子。子又何辭焉。趙良曰。夫

五穀大夫。荊之鄙人也。

正義曰。百里奚。南陽宛人。屬楚。故云荊。

聞秦繆公之賢。而願望

號爲商君注近此三邑、
浚雅陰曰、三邑恐クハ
二邑ノ誤ナリト、二邑
ハ於ト商トナリ。

非其位而居之曰貪位ハ
皆川淇園曰、此貪位、
卽下文貪商於之富ノ貪
ナリ、恐僕貪位貪名也
ハ淇園曰、恐ラクハ商
君ノ化スル所ト爲リ、

而魏遂去安邑。徙都大梁。

索隱曰。紀年云。梁惠王二十九年。秦衛鞅伐梁西鄙。則徙大梁。在惠王之二十九年也。○正義曰。從蒲州

安邑。徙沐
州浚儀也。

梁惠王曰。寡人恨不用公叔座之言也。衛鞅既破魏還。

應前卽不用鞅必殺之

秦封之於商十五邑。號爲商君。

徐廣曰。弘農商縣也。○索隱曰。於商。二縣名。在弘農。紀年云。秦封商鞅在惠王三十年。與

此文亦同。○正義曰。於商。在鄧州內鄉縣東七里。古於邑也。商洛縣在商州東八十九里。本商邑。周之商國。按十五邑近此三邑。

商君相秦十年。

曰戰國策云。孝公行商君法十八年而死。與此文不同者。按此直云相秦十年耳。而戰國策乃云行商君法十八年。蓋連其未作相之年說也。

宗室賢戚多

怨望者。趙良見商君。商君曰。鞅之得見也。從孟蘭臯。

索隱曰。孟蘭臯。人姓名也。

言鞅前因蘭臯得與趙良相見也。

今鞅請得交可乎。趙良曰。僕弗敢願也。孔丘有言。

曰。推賢而戴者進。聚不肖而王者退。僕不肖。故不敢受命。僕聞

之曰。非其位而居之曰貪位。非其名而有之曰貪名。僕聽君之

義。則恐僕貪位貪名也。故不敢聞命。商君曰。子不說吾治秦與。

心疾。非魏并秦。秦即并魏。何者。魏居嶺阨之西。都安邑。

索隱曰。蓋安邑之東。

山嶺險阨之地。卽今蒲州之中條已東連汾晉之嶮嶮。是也。阨。阻也。

與秦界河。而獨擅山東之利。利則西侵。

秦。病則東收地。今以君之賢聖。國賴以盛。而魏往年大破於齊。

諸侯畔之。可因此時伐魏。魏不支。秦必東徙。東徙。秦據河山之

伏後徒大梁案

固。東鄉以制諸侯。此帝王之業也。孝公以爲然。使衛鞅將而伐

魏。魏使公子卬將而擊之。軍既相距。衛鞅遽。魏將公子卬書曰。

吾始與公子驩。今俱爲兩國將。不忍相攻。可與公子面相見盟。

樂飲而罷兵。以安秦魏。魏公子卬以爲然。會盟已飲。而衛鞅伏

甲士而襲虜魏公子卬。因攻其軍。盡破之以歸秦。魏惠王兵數

伏後魏人怨其欺公子卬弗受

破於齊。秦國內空。日以削。恐乃使使割河西之地。獻於秦以和。

破於齊。秦國內空。日以削。恐乃使使割河西之地。獻於秦以和。

作爲築冀闕ハ、札記云、疑フ爲字一本築ニ作ル、校者旁注シ、後人誤テ并ス。
集小都鄉邑聚爲縣ハ、札記曰、都字衍ナリ、秦本紀曰、諸小鄉聚ヲ并セ、集テ大縣ト爲ス、六國表曰、初テ小邑ヲ聚テ三十一縣ト爲ス、皆都字ナシ。
封疆注謂疆陸ハ、驛ハ道ナリ、札記云、疆音疆、正文及ビ注中上ノ疆字皆誤ル、古ハ疆或ハ疆ニ作リ、或ハ省テ疆疆置ニ作ル、集韻及ビ字類ニ見ユ、史文何ニ屬スルヲ知ラス。

於公戰。怯於私鬪。鄉邑大治。秦民初言令不便者。有來言令便者。

衛鞅曰。此皆亂化之民也。盡遷之於邊城。其後民莫敢議令。

於是。以鞅爲大良造。索隱曰。即太上造也。秦之第十六爵名也。今云良造者。或後變其名耳。將兵圍魏安邑。

降之。居三年。作爲築冀闕宮庭於咸陽。索隱曰。冀闕。即魏闕也。冀。記也。記列教令。當於此門闕。秦

自雍徙都之。而令民父子兄弟同室內息者爲禁。而集小都鄉

邑聚爲縣。置令丞。凡三十一縣。爲田開阡陌封疆。正義曰。南北曰阡。東西曰陌。按謂驛

陸也。疆音疆。封聚土也。而賦稅平。平斗桶。鄭玄曰。音勇。今之斛也。○權衡丈尺。

行之四年。公子虔復犯約。剋之。居五年。秦人富彊。天子致胙。正義

於孝公。諸侯畢賀。其明年。齊敗魏兵於馬陵。虜其太子申。

殺將軍龐涓。其明年。衛鞅說孝公曰。秦之與魏。譬若人之有腹

奴婢。蓋其法特又重。

於古制也。孥音奴。

宗室非有軍功。論不得爲屬籍。

索隱曰。謂宗室若無軍功。則不得入屬籍。謂除

其籍。則雖無功。不及爵秩也。

明尊卑爵秩等級。各以差次。名田宅。臣妾衣服。以家

次。索隱曰。謂各隨其家爵秩。

有功者顯榮。無功者雖富。無所芬華。令既

具。未布。恐民之不信己。乃立三丈之木於國都市南門。募民有

能徙置北門者。予十金。民恠之。莫敢徙。復曰。能徙者。予五十金。

有一人徙之。輒予五十金。以明不欺。卒下令。令行於民。暮年。秦

民之國都。言初令之不便者。以千數。索隱曰。謂鞅新變之法。令爲初令。於是太子犯

法。衛鞅曰。法之不行。自上犯之。將法太子。太子君嗣也。不可施

刑。刑其傅公子虔。黥其師公孫賈。明日。秦人皆趨令。

索隱曰。趨音七。踰反。趨者

向也。行之十年。秦民大說。道不拾遺。山無盜賊。家給人足。民勇

言初令之不便者ノ初字、蓋下文初言令不便者ニ因テ衍ヘルナリ、索隱ノ説、恐クハ牽強ナリ。

卒定變法之令云云ハ
 方苞曰管子齊ヲ治メ、
 蕭何律ヲ定ム、皆略シ
 テ具セズ、而詳ニ商君
 ノ法ヲ記スルハ、王道
 ノ由テ滅熄スル所ヲ著
 スナリ。
 相收司連坐ハ、方苞曰、
 相收スル者ハ、彼此相
 拘管ス、猶周官司圖ノ
 罷民ヲ收歟スルノ收ノ
 如シ、相司スル者ハ、
 相督察シテ以テ姦ヲ告
 ルナリ、蔣西谷曰、酷
 吏傳、姦盜賊ヲ收司ス
 ルト同義ナリ、漢書注
 云收ハ捕、司ハ察ナリ。
 各以率受上爵、率ハ差
 等ナリ。

十^ナ不^レ易^ハ器^ヲ。法^ル古^ニ無^レ過^ヲ。循^フ禮^ニ無^レ邪^ヲ。衛^ル鞅^曰。治^ル世^ニ不^レ一^ニ道^ヲ。便^{ナル}國^ニ不^レ法^ニ。
 古^ニ。故^ニ湯^ニ武^ニ不^レ循^ハ古^ニ而^ニ王^ス。索隱曰。商君書。作修古。夏^ニ殷^ニ不^レ易^ハ禮^ニ而^ニ亡^ス。索隱曰。指殷紂夏桀也。反^{スル}。

古^ニ者^ニ不^レ可^シ非^ト而^ニ循^フ禮^ニ者^ニ不^レ足^フ多^ト。孝^ニ公^曰善^シ。以^ニ衛^ル鞅^ヲ爲^ニ左^ニ庶^ニ長^ニ。卒^ニ定^ム變^ム法^ノ之^ヲ令^ム。民^ニ爲^ニ什^ニ伍^ニ。索隱曰。劉氏云。五家爲保。十家相連也。○正義曰。或爲十保。或爲伍保。而^ニ相^ニ收^ニ司^ス。

連^セ坐^上。索隱曰。收司謂相糾發也。一家有罪而九家連舉發。若不糾舉則十家連坐。恐變令不行。故設重禁。不^レ告^テ姦^ヲ者^ニ腰^ス斬^ル。告^ル姦^ヲ者^ニ與^ニ斬^ル敵^ニ首^ニ同^ス賞^ス。索隱曰。謂告姦一人則得爵一級。故云與斬敵首同賞也。匿^ス姦^ヲ者^ニ與^ニ降^ル敵^ニ同^ス罰^ス。索隱曰。律

降^ル敵^ニ者^ニ誅^ル其^ノ身^ヲ沒^ル其^ノ家^ヲ。今^ニ匿^ス姦^ヲ者^ニ言^フ當^ニ與^ニ之^ニ同^ス罰^ス也。
 民^ニ有^ニ二^ニ男^ニ以^ニ上^ニ不^レ分^ル異^セ者^ニ倍^ス其^ノ賦^ヲ。正義曰。民有二男不別爲一
 活^ル者^ニ一^ニ人^ニ有^ニ軍^ニ功^ニ者^ニ各^々以^ニ率^ニ。音律。受^ル上^ニ爵^ニ。爲^ニ私^ニ鬪^ニ者^ニ各^々以^ニ輕^ニ重^ニ被^ル刑^ス。

大^ニ小^ニ僇^セ力^ヲ。本^ニ業^ニ耕^ニ織^ニ。致^ス粟^ヲ帛^ヲ多^キ者^ニ復^ス其^ノ身^ヲ。事^ニ末^ニ利^ニ及^テ怠^ル而^ニ貧^ニ者^ニ舉^テ以^ニ爲^ニ收^ス孥^ト。索隱曰。末利謂工商也。蓋農桑爲本。故上云本業耕織也。怠者懈也。周禮謂之疲民。以言懈怠不事事之人而貧者卽糾舉而收錄其妻子沒爲官

ユ、孝公曰、今吾欲
變法云云ト、是其證ナ
リ、新序善謀篇同ジ。
必見教於民ノ教ハ、モ
ト譬ニ作り、誤テ譬ト
爲シ、遂ニ教ニ轉セシ
ナラン。

愚者制焉ハ、愚者ハ法
ニ制セラルルナリ。

負^レ有^ル獨知^ル之慮者。必見^ル教^ラ於^ニ民^ニ。索隱曰。商君書。作必見。嘗於人也。○正義。教五到反。愚者闇^ル於^ニ成

事^ニ。知者見^ル於^ニ未萌^ニ。民不^レ可^ニ與^ル慮^ニ始^チ。而可^ニ與^ル樂^ム成^チ。論^ニ至德^ニ者不^レ和

於^ニ俗^ニ。成^ニ大功^ニ者不^レ謀^ラ於^ニ衆^ニ。是以聖人苟^モ可^ニ以^ル彊^フ國^ニ。不^レ法^ラ其故^ニ。索隱

曰。言救弊爲政之術。所爲苟^モ可^ニ以^ル。彊國。則不^ニ必要^ニ須^ニ法^ラ於^ニ故事^ニ也。苟^モ可^ニ以^ル利民^ニ。不^レ循^ハ其禮^ニ。孝公曰善。甘龍

曰。索隱曰。孝公之臣。甘。姓名。龍也。甘氏出春秋時。甘昭公子帶之後。不^レ然。聖人不^レ易^ハ民而教^ハ。知者不^レ變

法^ニ而治^ム。因^レ民而教^ハ。不^レ勞^セ而成功^ニ。緣^テ法而治^ル者。吏習^ウ而民安^ニ之。衛

鞅曰。龍之所言。世俗之言也。常人安^ニ於^ニ故俗^ニ。學者溺^ル於^ニ所聞^ニ。以

此兩者^ニ。居^リ官守^ニ法^ニ可^ニ也。非^ル所^ニ與^ル論^ニ於^ニ法^ニ之外^ニ也。三代不^レ同^セ禮^ニ而

王^ヲ五伯不^レ同^セ法^ニ而霸^ス。智者作法^チ。愚者制^セ焉。賢者更^メ禮^ニ。不^レ肖者拘^ヘ。

焉。索隱曰。言賢智之人作法更禮。而愚不肖者不明變通。而輒拘制不使之行。斯亦信然矣。杜摯曰。利^ニ不^レ百^ナ不^レ變^ハ法^ニ。功不^レ

秦王ノ心ナシテ厭ハシ
メ、以テ益其伯ヲ用ル
ノ志ヲ堅クシ、伯ノ故
ノ速カナルヲ見スノ
義ニ。
鞅復見孝公益愈ハ、詩
小雅ニ、憂心愈愈、蘇
氏曰、愈愈ハ益々甚シ
キノ意ト、此益愈モ蓋
其意ナリ。
以帝王之道比三代ノ比
ハ、下比德於殷周ノ比
ト同ジ、正義ノ說解シ
難シ。

鞅欲變法ハ、札記云、
鞅字衍ナリ、此孝公鞅
ニ從ヒ法ヲ變ゼント欲
シ、天下己シテ疑フヲ
恐ル、故ニ鞅疑事無功
ノ諫アリ、商子更法篇

亦讓鞅。鞅曰。吾說公以王道而未入也。請復見鞅。鞅復見孝公。
孝公善之而未用也。罷而去。孝公謂景監曰。汝客善。可與語矣。
鞅曰。吾說公以霸道。其意欲用之矣。誠復見我。我知之矣。衛鞅
復見孝公。公與語。不自知剋之前於席也。語數日不厭。景監曰。
子何以中吾君。吾君之驩甚也。鞅曰。吾說君以帝王之道比三
代。正義曰。比必兼反。說者以五帝三王之事比至孝
公。以三代帝王之道方與。孝公曰。太久遠吾不能。而君曰久遠。吾不能待。且
賢君者。各及其身顯名天下。安能邑邑待數十百年以成帝王
乎。故吾以彊國之術說君。索隱曰。君大說之耳。然亦難以
比德於殷周矣。孝公既用衛鞅。鞅欲變法。恐天下議已。衛鞅曰。
疑行無名。疑事無功。且夫有高人之行者。固見非於世。索隱曰。商
君書非作

王問可以爲相者。我言若王色不許我。我方先君後臣。因謂王
 卽弗用鞅。當殺之。王許我。汝可疾去矣。且見禽。鞅曰。彼王不能
 用君之言。任臣。又安能用君之言殺臣乎。卒不去。惠王旣去而
 謂左右曰。公叔病甚。悲乎。欲令寡人以國聽公孫鞅也。豈不悖
 哉。索隱曰。疾重而悖亂也。○正義曰。悖音背。公叔旣死。公孫鞅聞秦孝公下令國中求賢
 者。將修繆公之業。東復侵地。迺遂西入秦。因孝公寵臣景監。以
 求見孝公。索隱曰。景姓楚之族也。監音甲。三去聲。平聲竝通。孝公旣見衛鞅。語事良久。孝公時

時睡弗聽。罷而孝公怒景監曰。子之客妄人耳。安足用邪。景監

以讓衛鞅。衛鞅曰。吾說公以帝道。其志不開悟矣。後五日復求

見鞅。鞅復見孝公。益愈。然而未中旨。罷而孝公復讓景監。景監

吾說公以帝道。吾說公以王道。董份曰。衛鞅說クニ帝王ノ道ヲ以テスルニ非ズ。蓋先ヅ迂濶久遠ノ事ヲ以テシ。

史記評林卷之六十八

商君列傳第八

商君者。

正義曰。秦封於商。故號商君。

衛之諸庶孽公子也。名鞅。姓公孫氏。其祖

本姬姓也。

商君本領

鞅少好刑名之學。事魏相公叔座。

索隱曰。公叔氏。座。名也。座音在戈反。爲中

庶子。

索隱曰。官名也。魏已置之。非自秦也。周禮夏官。謂之諸子。禮記文王世子。謂之庶子。掌公族也。

公叔座知其賢。未及進

會。座病。

魏惠王親往問病。

索隱曰。卽魏侯之子。名。鞅後徙大梁而稱梁也。

曰公叔病。有不可

諱。將奈社稷何。公叔曰。座之中庶子

索隱曰。戰國策云。御庶子也。

公孫鞅。年雖少

有奇才。願王舉國而聽之。王嘿然。王且去。座屏人言曰。王卽不

恨不用公叔座言

聽用鞅。必殺之。無令出境。王許諾而去。公叔座召鞅謝曰。今者

問病注索隱卽魏侯之子
ハ、魏ノ下疑フ文ナ脱
ス。

庶孽公子、札記云、公
字後人ノ加フル所ナ
リ、玉藻曰、公子ナ臣
ト爲スナリ。

孔子之告之也不疑。而曾子之受之也不惑。與子貢異矣。及孔子既沒。曾子傳之子思。子思因其說而廣之曰。喜怒哀樂之未發。謂之中。發而皆中節。謂之和。子思之說既出。而天下始知一與中之在是矣。然子思以授孟子。孟子又推之。以爲性善之論。性善之論出。而一與中始枝矣。嗚呼。孔子所以不告諸弟子者。蓋爲是歟。○四子之言皆其志也。夫子之哂由也。以其不讓。而其與點也。以其自知之明歟。如曾皙之狂。其必有不可施於世者矣。苟不自知而強從事焉。禍必隨之。其欲從弟子風乎。舞雩樂以忘老。則其處己審矣。不然。孔子豈以不仕爲貴者哉。○樊遲之學爲農圃。蓋將與民並耕而食歟。此孟子所謂許行之學也。孟子曰。有大人之事。有小人之事。堯以不得舜爲己憂。舜以不得禹皋陶爲己憂。以百畝之不易爲己憂者。農夫也。此孔子謂樊遲小人也。○太史公稱孔子既沒。弟子以有若貌類孔子。師之如孔子時。及問而不能答。乃斥去之。夫以有若之賢。而其無恥至此極歟。且月宿于畢而雨不應。商瞿四十而生五子。此卜祝之事。而鄙儒所以謂孔子聖人者。戰國雜說類此多矣。○孔子弟子高第七十七人。余以太史公書及孔子家語考之。皆同。秦冉顏何不載於家語。而琴牢陳亢不錄於史記。二書旣不可偏廢。而琴張陳亢又見於論語。并錄之。凡七十九人云。

范仲淹曰。孔子門人七十子之徒。天下皆知其賢焉。或爲邑宰。或不願仕。蓋顯于諸侯者寡矣。然則七十子之徒。與孔子語而未嘗怨何哉。君子之道克乎己加乎人。窮與達一也。彼戰國豪士。不由孔子之門者。則有脫賤貧。逐高貴。弗奪弗厭。滅身覆宗而不悔何哉。

史記評林卷之六十七終

如キ、康成皆注セズ、
而弟不籍ハ則注アリ、
又曰、弟子籍ハ、孔氏
ノ古文ニ出ヅ、所云少
孔子若干歳云云ハ、的
確信ズベシ。

民而後民安之。太公之所以治齊。則居敬而行簡者也。伯禽之所以治魯。則居敬而行敬者也。雖周公亦憂魯之不競。則仲弓之言周孔所許也。○太史公言。幸我爲臨菑大夫。與田恆作亂。夷其族。孔子恥之。余以爲宰我之賢。列於四科。其師友淵源所從來遠矣。雖爲不善。不至於從叛逆。弑君父也。幸我不幸。平居有晝寢短喪之過。儒者因遂信之。蓋田恆之亂。本與闕止爭政。闕止亦子我也。田恆既殺闕止。而宰我蒙其惡名。豈不哀哉。且使宰我信與田恆之亂。恆既殺闕止。弑簡公。尙誰族宰我者。事蓋必不然矣。○太史公稱子貢一出。存魯亂齊。破吳。強晉。伯越。予觀春秋左氏傳。齊之伐魯。本於悼公之怒季姬。而非陳恆。吳之伐齊。本怒悼公之反覆。而非子貢。吳齊之戰。陳乞猶在。而恆未任事。凡太史公所記皆非也。蓋戰國說客設爲子貢之辭。自託於孔氏。而太史公信之耳。○冉有季路皆以政事稱。孔門冉有才有餘。而志不足。其於季氏委曲從之。不能有所立也。至於季路志厲而識闇。事衛出公。雖父子爭國。而不知其危也。方其攻莊公於臺上。使幸而莊公舍孔悝。季路與悝皆出。猶可言也。莊公方質孔悝以取衛。其不釋悝明矣。孔悝不出。遂攻而勝之。則爲臣弑君。季路雖生。將安所容身乎。嗚呼。學於孔子。其慮害曾不若召獲悲夫。○善乎子夏之教人也。始於洒掃應對進退。而不急於道。使其來者自盡於學。日引月長。而道自至。譬如農夫之植草木。旣爲之區。溉種而時耨之。風雨旣至。小大甘苦。莫不咸得其性。而農夫無所用巧也。異哉。今世之教者。聞道不明。而急於夸世。非性命道德。不出於口。雖禮樂刑政。有所不言矣。而況於洒掃應對進退也哉。教者未必知。而學未必信。務爲大言以相欺。天下之僞自是起。此子夏所謂誣也。○道有不可以名言者。古之聖人。命之曰一。寄之曰中。舜之禪禹。曰人心惟危。道心惟微。惟精惟一。允執厥中。聖人之欲以道相詔者。至於一與中盡矣。昔者孔子與諸弟子言。無所不至。然而未嘗及此也。雖與子貢言之。而孔子之言之也難。而子貢之受之也。未信。至於曾子。則

邽巽。字子斂。

鄭玄曰。魯人。○索隱曰。家語作選字子斂。文翁圖作國選。蓋亦避漢諱改之。劉氏作邽巽。邽音圭。所見各異。

孔忠。

家語曰。忠字子蔑。孔子兄之子。

公西輿如。字子上。

索隱曰。家語載亦同此。

公西藏字子上。

鄭玄曰。魯人。○索隱曰。家語作子尚也。

太史公曰。學者多稱七十子之徒。譽者或過其實。毀者或損其

真。鈞之未覩厥容貌。則論言。弟子籍出孔氏古文。近是。余以弟

子名姓文字。悉取論語弟子問并次爲篇。疑者闕焉。

索隱述贊曰。敘興闕里。道在陬鄉。異能就列。秀士昇堂。依仁遊藝。合志同方。將師宮尹。俎豆琳瑯。惜哉不霸。空臣素王。

蘇子古史曰。孔子之道如天然。在人賢者識其大者。不賢者識其小者。顏子識其大者也。故仰之而知其有高者存焉。鑽之而知其有堅者存焉。故曰語之而不情者。其回也歟。此孔子所以獨稱其好學也。人誠有見于此。譬如爲山。雖覆一簣。未有能止之者也。苟誠無見矣。雖既九仞。不復能進也。此顏子與衆弟子之辨。○古之君子其躬無所不敬。其於人也。平易近

弟子籍出孔氏古文ハ、王鳴盛曰、仲尼弟子列傳裴駰注ニ、鄭玄注引ク、冉季字子產、鄭玄曰、魯人、秦祖字子南、鄭玄曰秦人ノ類ノ如キ、既ニ論語注ニ非ズ、鄭又史記ヲ注セズ、家語ハ王肅私定、鄭亦見ズ、竟ニ此鄭何書ノ注タルヲ知ラズ、太史公曰、弟子籍出孔氏古文ト、然ラバ則亦是孔安國得ル所ノ魯共王壞宅壁中ヨリ取出ス書ナリ、蓋康成曾テ之ヲ注ス、壁中書逸書逸禮ノ

秦非。字子之。鄭玄曰。魯人。

施之常。字子恒。

顏噲。字子聲。鄭玄曰。魯人。

步叔乘。字子車。鄭玄曰。齊人。

原亢籍。家語曰。名亢。字籍。○正義曰。亢作亢。仁勇反。

樂欬。字子聲。正義曰。魯人。

廉絜。字庸。鄭玄曰。衛人。

叔仲會。字子期。鄭玄曰。晉人。○索隱曰。家語魯人。少孔子五十四歲。與孔族年相比。二孺子俱執筆。送侍於夫子。孟武伯見而訪之。

顏何。字冉。鄭玄曰。魯人。○索隱曰。家語。字稱。

狄黑。字皙。索隱曰。家語載本各異。

リ、謬シテ篇ト爲リ、
三寫シテ藏ナ成スト。

秦商字子丕ハ、李光緒
曰、子不當ニ丕茲ニ作
ルベシ、左傳、秦匯父生
秦丕茲、事仲尼ハ、即此
人ナリ。

句井疆。

鄭玄曰。衛人。○
正義曰。句作勾。

罕父黑。字子索。

家語曰。罕
父黑字索。

秦商。字子丕。

鄭玄曰。楚人。○正義曰。
家語云。魯人。字丕茲。

申黨。字周。

正義曰。
魯人。

顏之僕。字叔。

鄭玄曰。
魯人。

榮旂。字子祺。

縣成。字子祺。

鄭玄曰。魯人。○
正義曰。縣音玄。

左人郢。字行。

鄭玄曰。
魯人。

燕伋。字思。

鄭國。字子徒。

正義曰。家語云。薛邦字徒。史記作
國者避高祖諱。薛字與鄭字誤耳。

公良孺注正義今在三十
二人數ノ三八、四ノ誤
ナリ。

任不齊。字選。鄭玄曰。楚人。

公良孺。字子正。鄭玄曰。陳人。賢而有勇。正義曰。孔子周游。常以家車五乘從孔子。孔子世家亦云。語在三十五人中。今在三十二人數。恐太史公誤也。

后處。字子里。鄭玄曰。齊人。

秦冉。字開。正義曰。家語云。無此人。王肅家語。此等惟三十七人。其公良孺秦商顏亥仲叔會四人。家語有事迹。而史記闕。公伯寮秦冉鄒單。家語不載。而別有琴牢

陳亢縣亶三人。

公夏首。字乘。鄭玄曰。魯人。

奚容蒧。字子皙。正義曰。衛人。

公堅定。字子中。鄭玄曰。魯人。或曰。晉人。

顏祖。字襄。正義曰。魯人。

鄒單。字子家。徐廣曰。一云鄒單。鉅鹿有鄒縣。太原有鄒縣。

奚容蒧。札記蒧ヲ箴ニ
作リ、云說文黑部、箴、
鑿書而黑也。古人名箴
字皙、段玉裁注云、弟
子傳蒧蒧、奚容蒧ハ、
皆蒧ノ省ナリ、論語曾
皙名點、段云借字ト、
案ズルニ箴ヲ蒧ニ作ル
者ハ、隸書相亂レシナ
リ、說文ノ名箴字皙ハ、
即本史ノ文ナリ、點ト
箴ト義相近シ、段說是
ナリ、蒧省テ箴ニ作

疑此文及受業聞見予書傳ノ下、亦當ニ者字アルベシ、上三十五人ヲ顯スルナリ、其下四十二人ノ末、則當ニ索隱本出ス所ノ如クスベシ、後人移シテ一處ニ并セ、預メ提シテ前ニ在リ、趾ヲ截テ履ニ適シ、其字ヲ増減シ、史文ノ眞ヲ失フ。

記闕。然自公伯遼秦冉鄒單三人。家語不載。而別有琴牢陳亢縣宣。當此三人之數。皆互有也。如文翁圖所記。又有林放蘧伯玉申根申堂。俱是後人以所見增益。今殆不可考。

冉季。字。子產。鄭玄曰。魯人。○正義曰。家語云。冉季字子產。

公祖句茲。字。子之。正義曰。句音鉤。

秦祖。字。子南。鄭玄曰。秦人。

漆雕哆。音赤。字。子斂。鄭玄曰。魯人。

顏高。字。子驕。正義曰。孔子在衛。南子招夫。子爲次乘過市。顏高爲御。

漆雕徒父。

壤駟赤。字。子徒。鄭玄曰。秦人。

商澤。家語曰。字。子季。

石作蜀。字。子明。

禮同姓不婚。而君娶之。施以告孔子。孔子曰。丘也幸。苟有過人必知之。當稱吳姬。諱曰孟子。

臣不可言君親之惡。為諱者禮也。孔安國曰。以司敗之言告也。諱國惡。禮也。聖人之道弘。故受以為過也。

梁鱣。一作鯉。字叔魚。少孔子二十九歲。孔子家語曰。齊人。

顏幸。字子柳。少孔子四十六歲。鄭玄曰。魯人。

冉孺。字子魯。一作曾。少孔子五十歲。家語曰。魯人。

曹卹。字子循。少孔子五十歲。

伯虔。字子析。少孔子五十歲。正義曰。家語云。子哲。

公孫龍。字子石。少孔子五十三歲。鄭玄曰。楚人。○正義曰。家語云。衛人。孟子曰。趙人。莊子云。堅白之談也。自

子石已右三十五人。一本顯作顯。顯有年名。及受業聞見于書傳。其四十有

二人無年。及不見書傳者。紀于左。索隱曰。家語此例唯有三十七人。其公良孺。秦商。顏亥。叔仲會四人。家語有事迹。史

及受業聞見于書傳其四十有二人云云ハ、札記云、索隱本、傳末ニ於テ已上四十二人無年及不見書傳者、十四字ヲ出シ、注云云ナ著ス、

無^レ憂。瞿年四十後當^ニ有^ル五丈夫子。五男也。已^ニ而果然。敢問夫子何

以知^ル此。有若默然。無^ニ以應^フ弟子起曰。有子避^ケ之。此非^ニ子之座^ニ也。

公西赤。字^ハ子華。鄭玄曰。魯人。少^キ孔子四十二歲。子華使^ス於齊。冉有爲^ニ

其母^ノ請粟。孔子曰。與^ヘ之釜。馬融曰。六斗四升曰釜。請益。曰。與^ヘ之庾。包氏曰。十六斗曰庾。冉

子與^フ之粟五秉。馬融曰。十六斛曰秉。五秉合爲八十斛。孔子曰。赤之適^グ齊也。乘^リ肥馬。衣^ニ

輕裘。吾聞^ク君子周急不繼^ガ富。鄭玄曰。非冉有與^レ之太多。

巫馬施。字^ハ子旗。鄭玄曰。魯人。正義曰。音其。少^キ孔子二十歲。陳司敗。孔安國曰。司敗。官名。陳大夫也。

問^ニ孔子曰。魯昭公知^ル禮乎。孔子曰。知^ル禮。退而揖^シ巫馬旗曰。吾聞^ク

君子不^レ黨。君子亦黨乎。魯君娶^リ吳女爲^ニ夫人。命^ケ之爲^ニ孟子。孟子

姓姬。諱^ム稱^{スル}同姓。故謂^ニ之孟子。魯君而知^ル禮。孰^シ不^レ知^ク禮。孔安國曰。相助。匿非曰黨。

節之亦不可行也。

馬融曰。人知禮貴和。而每事從和。不以禮爲節。亦不可以行。

信近於義。言可復也。

何晏曰。復。猶覆也。義不必信。信非義也。以其言可覆。故曰近義。

恭近於禮。遠恥辱也。

何晏曰。恭不合禮。非禮也。以其能遠恥辱。故曰近禮。

不失其親。亦可宗也。

孔安國曰。因親也。言所親不失其親。亦可宗敬。

孔子既沒。弟子思慕。有

若狀似孔子。弟子相與共立爲師。師之如夫子時也。他日弟子

進問曰。昔夫子當行。使弟子持雨具。已而果雨。弟子問曰。夫子

何以知之。夫子曰。詩不云乎。月離于畢。俾滂沱矣。

毛傳曰。畢。濁也。月離陰星則雨。

昨暮月不宿畢乎。他日月宿畢。竟不雨。商瞿年長無子。其母爲

取室。

正義曰。家語云。瞿年三十八無子。母欲更娶室。孔子曰。瞿年過四十。當有五丈夫子。果然。中備云。魯人商瞿使向齊國。瞿年四十。今後使行遠路。畏慮恐絕無子。夫子正

其母爲取室ハ、錢大所曰、此注鵠舛讀ミ難シ、今意ヲ以テ之ヲ推衍ス云云、札記云、世生外象云云ノ下譌脱アリ、錢大所攷異、意ヲ以テ推衍スト雖モ、未ダ必盡ク合ハズ。

月與瞿母筮。告曰。後有五丈夫子。子貢曰。何以知。子曰。卦遇大畜。艮之二世。九二甲寅木爲世。六五丙子水爲應。世生外象。生象來爻生互內象。艮丙子應。有五子。二子短命。顏回云。何以知

之內象。是本子。一艮變爲二。醜三陽爻五。於是五子一子短命。何以知短命。他以故也。

孔子使之齊。瞿母請之。孔子曰。

桓魋將爲亂。牛自宋來學。

常憂懼。故孔子解之也。

曰。不憂不懼。斯可謂之君子乎。子曰。內省不

疚。夫何憂何懼。

包氏曰。疚。病。自省。無罪惡。無可憂懼。

樊須。字子遲。

鄭立曰。齊人。正義曰。家語云。魯人。

少孔子三十六歲。樊遲請學稼。孔子

曰。吾不如老農。請學圃。曰。吾不如老圃。

馬融曰。樹五穀曰稼。樹菜蔬曰圃。

樊遲出。

孔子曰。小人哉樊須也。上好禮則民莫敢不敬。上好義則民莫

敢不服。上好信則民莫敢不用情。

孔安國曰。情。實也。言民化上。各以實應。

夫如是則四

方之民襁負其子而至矣。焉用稼。

包氏曰。禮義與信足以成德。何用學稼以教民乎。負子之器曰襁。

樊遲

問仁。子曰。愛人。問智。曰。知人。

有若。

鄭立曰。魯人。字子有。少孔子三十三歲。不同。

少孔子十三歲。有若曰。禮之用和

爲貴。先王之道斯爲美。小大由之。有所不行。知和而和。不以禮

有若少孔子十三歲、札記四十三歲ニ作ル、云各本四字ヲ脱ス、今北宋本、毛本ニ依ル、索隱注引テ四十二ニ作ル、未ダ孰カ誤チ知ラズ。

者。孔安國曰。疾其以口給應。遂已非而不知窮也。

漆彫開。字子開。鄭立曰。魯人也。○正義曰。家語云。蔡人。字子若。少孔子十一歲。習尚書。不樂仕。孔子使開仕。對曰。

吾斯之未能信。孔安國曰。仕進之道。未能信者。未能究習。孔子說。鄭立曰。善其志道深。

公伯僚。字子周。馬融曰。魯人。○正義曰。家語有申繚子周。古史考云。疑公伯僚是讒愬之人。孔子不責而云命。非弟子之流也。周愬子

路於季孫。子服景伯以告孔子曰。夫子固有惑志僚也。孔安國曰。季孫信譖

患子路也。吾力猶能肆諸市朝。鄭立曰。吾勢力猶能辯子路之無罪於季孫。使之誅僚而肆之。有罪既刑。陳其尸曰肆。孔子曰。

道之將行。命也。道之將廢。命也。公伯僚其如命何。

司馬耕。字子牛。孔安國曰。宋人。牛多言而躁。問仁於孔子。孔子曰。仁者

其言也訥。孔安國曰。訥難也。曰。其言也訥。斯可謂之仁乎。子曰。爲之難。言

之得無訥乎。孔安國曰。行仁難。言仁亦不得不難也。問君子。子曰。君子不憂不懼。孔安國曰。牛兄

野臂子弘、禮記云、弘當ニ左ト爲スベシ、左即眩字、名ハ臂、故ニ子左ト字ス、諸書可ニ作ル者ハ、同音假借ナリ。

傳楚人馯

徐廣曰。音寒。

臂子弘

正義曰。馯音汗。顏師古云。馯姓也。漢書及荀卿子皆云字子弓。此作弘。蓋誤也。應劭云。子弓子夏門人。

弘

傳江東人矯

音橋

子庸疵

音自移反。○正義曰。漢書作橋疵。云魯人。顏師古云。橋疵字子庸。

疵傳燕人周子家

豎

正義曰。豎音時與反。周豎一字子家。漢書作周醜也。

豎傳淳于人光子乘羽

正義曰。光乘字羽。括地志云。淳于國在密州安丘縣

東三十里。古之州國。周武王封淳于國。

羽傳齊人田子莊何

正義曰。儒林傳云。田何字子莊。

何傳東武人

徐廣

曰。屬琅邪。

王子中同

正義曰。括地志云。東武縣今密州諸城縣是也。漢書作王同字子仲。

同傳菑川人楊何

正義曰。漢書云。

字叔元。按商瞿至楊何凡八代。

何元朔中以治易爲漢中大夫。

高柴字子羔

鄭立曰。衛人。○正義曰。家語云。齊人。

少孔子三十歲。子羔長不盈五尺。受

業孔子。孔子以爲愚。子路使子羔爲費郈宰。

正義曰。括地志云。鄆州宿縣二十三里。郈亭。

孔子曰。賊夫人之子。

包氏曰。子羔學未熟習。而使爲政。所以爲賊害。

子路曰。有民人焉。有社

稷焉。何必讀書。然後爲學。

孔安國曰。言治民事神。於是而習。亦學也。

孔子曰。是故惡夫佞

曾藏ハ、禮記云、說文、玉篇、廣韻、並ニ藏字ナシ、疑フ藏ノ誤ナリ、索隱一音其炎反、其證ナリ、說ハ後笑容蔵ニ見ユ。

字路者顏回父、禮記云、索隱本、路者顏三字ナシ。

曾藏。音點。字哲。孔安國曰。哲。曾參父。侍孔子。孔子曰。言爾志。藏曰。春服既成。冠

者五六人。童子六七人。浴乎沂。風乎舞雩。詠而歸。徐廣曰。一作饋。邈案包氏曰。暮春者。

季春三月也。春服既成。衣單袷之時。我欲得冠者五六人。童子六七人。浴於沂水之上。風涼於舞雩之下。歌詠先王之道。歸於夫子之門。

吾與藏也。周氏曰。善藏之。獨知時也。孔子喟爾歎曰。

顏無繇。音遙。○正義曰。繇音由。字路。路者顏回父。索隱曰。家語。顏由字路。回之父也。孔子始教於闕里。而受學焉。少孔子六歲。故此傳

云。父子異時事孔子。故易稱顏氏之子也。父子嘗各異時事孔子。顏回死。顏路貧。請孔子

車以葬。孔安國曰。賣以作棹。孔子曰。材不材。亦各言其子也。鯉也死。有棺而

無槨。吾不徒行。以爲之槨。以吾從大夫之後。不可以徒行。孔安國曰。

鯉。孔子子伯魚。孔子時爲大夫。言從大夫之後。不可徒行。謙辭也。

商瞿。正義曰。具俱反。魯人。字子木。少孔子二十九歲。孔子傳易於瞿。瞿

公冶長。齊人。字子長。

索隱曰。家語云。魯人。名萇。范甯云。字子芝。

孔子曰。長可妻也。雖在累紲

之中。

孔安國曰。累。黑索也。紲。繫也。所以拘罪人。

非其罪也。以其子妻之。

張華曰。公冶長墓。在城陽姑幕城東南五里所。墓極高。

南宮括。字子容。

孔安國曰。容。魯人。○索隱曰。家語作南宮縚。按其人是孟僖子之子。仲孫閱也。蓋居南宮。因姓焉。

問孔子曰。羿

善射。稟盪舟。

孔安國曰。羿。有窮之君。篡夏后相位。其臣寒浞殺之。因其室而生稟。稟多力。能陸地行舟。爲夏后少康所殺。○正義曰。羿音詣。盪太浪反。

俱

不得其死。然禹稷躬稼而有天下。孔子弗答。

馬融曰。禹盡力於溝洫。稷播百穀。故曰躬稼也。禹及

其身。稷及後世皆王。括意欲以禹稷比孔子。孔子謙。故不答也。

容出。孔子曰。君子哉若人。上德哉若人。

孔安

國曰。賤不義而貴德。故曰君子。

國有道不廢。

孔安國曰。不廢。言見用。

國無道免於刑戮。三復白珪

之玷。

孔安國曰。詩云。白珪之玷。尚可磨也。斯言之玷。不可爲也。南容讀詩至此。三反覆之。是其心慎言也。

以其兄之子妻之。

公皙哀。字季次。

孔子家語云。齊人。○索隱曰。家語作公皙克。

孔子曰。天下無行。多爲家臣

仕於都。唯季次未嘗仕。

索隱曰。家語云。未嘗屈節爲人臣。故子特賞歎之。亦見游俠傳。

事者三人。所兄事者五人。所友者十一人。與此不同。教不齊。所以治者。孔子曰。惜哉。不齊所治者。

小。所治者大則幾矣。

原憲。字子思。鄭玄曰。魯人。○索隱曰。家語云。宋人所記不同。少孔子三十六歲。子思問恥。孔子曰。國有道。

穀。孔安國曰。穀。祿也。邦有道當食祿。國無道穀恥也。孔安國曰。君無道而在其朝食其祿是恥辱也。子思曰。克伐。

怨欲不行焉。可以爲仁乎。馬融曰。克。好勝人也。伐。自伐其功。怨。忌也。欲。貪欲也。孔子曰。可以爲難。

矣。仁則吾弗知也。包氏曰。四者行之難。未足以爲仁。孔子卒。原憲亡在草澤中。索隱曰。家語云。

隱居子貢相衛。而結駟連騎。排藜藿。入窮閭。過謝原憲。憲攝敝

衣冠。見子貢。子貢恥之。曰。夫子豈病乎。原憲曰。吾聞之。無財者

謂之貧。學道而不能行者。謂之病。若憲貧也。非病也。子貢慙。不

懌而去。終身恥其言之過也。

排藜藿ハ、札記云、雜志云、藜當ニ藿ト爲スベシ、爾雅、藜藿注藜類ハ藜ニ似タリト、藿ノ若キ豆葉ト爲ス、其類ニ非ズ、字形相近クシテ誤ス。

既已受業。退而修行。行不由徑。非公事。不見卿大夫。包氏曰。言南其公且方。

游至江。索隱曰。今吳國東南有潛臺湖。卽其遺迹所在也。從弟子三百人。設取予去就。名施乎

諸侯。孔子聞之曰。吾以言取人。失之宰予。以貌取人。失之子羽。

索隱曰。家語。子羽有君子之容。而行不勝其貌。宰予有文雅之辭。而智不充其辯。孔子曰。以容取人。則失之子羽。以辭取人。則失之宰予。今云滅明狀貌甚惡。則以子羽形陋也。正與家語相反。○正義曰。按潛子羽墓在兗州鄒城縣。

必不齊。字子賤。孔安國曰。魯人。○正義曰。顏氏家訓云。兗州永昌郡城。舊單父地也。東門有子賤碑。漢世所立。乃云濟南伏生。卽子賤之後。是知處之與

伏古來通。字誤爲宓。較可知矣。處字從戶。音呼。宓從宀。音綿。下俱爲必。末世傳寫誤也。少孔子四十九歲。索隱曰。家語少孔子三十歲。此云四十九。

孔子謂子賤。君子哉。魯無君子斯焉取斯。包氏曰。如魯無君子。子賤安得此行而學。

子賤爲單父宰。正義曰。宋州縣也。說苑云。宓子賤理單父。彈琴身不下堂。單父理。巫馬期以星出。以星入。而單父亦理。巫馬期問其故。宓子賤曰。我之謂

任人。子之謂任力。任力者勞。任人者逸。反命於孔子曰。此國有賢不齊者五人。索隱曰。家語云。不齊所父

少孔子四十九歲、札記三十歲、作、云各本四十九歲、二作、蓋後人家語、二依、改、今索隱本、二依、注、索隱亦少孔子四十九歲、此云三十、不同、二作、云各本四十九、三十、互、二易、蓋既、二家語、二依、史文、改、遂、二并、其注、易、而、復、家語、合、ハ、ザル、ナ、計、ラ、ザル、ナ、リ、

馬融曰。常有謙退之志。察言語觀顏色。知其所欲。其念慮常欲以下人。

在國及家必達。

馬融曰。謙尊而光。卑而不可踰。

夫聞也。

者。色取仁而行違。居之不疑。

馬融曰。此言佞人也。佞人假仁者之色。行之則違。安居其僞而不自疑。

在國及

家必聞。

馬融曰。佞人黨多。

曾參。南武城人。

索隱曰。武城屬魯。當時魯更有北武城。故言南也。○正義曰。括地志云。南武城在兗州。子游爲宰者。地理志云。定襄有武城。清河有武城。

故此云南武城也。

字子輿。少孔子四十六歲。孔子以爲能通孝道。

正義曰。韓詩外傳云。

邇孝道注正義。輿穀ハ、札記云、韓詩外傳ニ、輿ヲ輦ニ作ル。

曾子曰。吾嘗仕爲吏。祿不過鍾釜。尙猶欣欣而喜者。非以爲多也。樂道養親也。親沒之後。吾嘗南游於越。得尊官。堂高九仞。棖題三尺。輿穀百乘。然猶北向而泣者。非爲賤也。悲不見吾親也。

授之業。作孝經。死於魯。

澹臺滅明。

包氏曰。澹臺姓。滅明名。○正義曰。括地志云。延津在滑州露昌縣東北里。注水經云。黃河水至此。爲之延津。昔澹臺子羽。齎千金之璧渡河。陽侯波起。兩

澹臺滅明注正義。靈昌縣東北里ノ北ハ、札記云、官本七ニ作ル、他本北ニ歸ス。

蛟夾舟。子羽曰。吾可以義求。不可以威劫。操劍斬蛟。蛟死。乃投璧於河。三投而輒躍出。乃毀璧而去。亦無怪意。卽此津也。

武城人。

正義曰。括地志云。亦在兗州。

字子羽。少孔子三十九歲。狀貌甚惡。欲事孔子。孔子以爲材薄。

顓孫師。陳人。

索隱曰。鄭玄目錄。陽城人。陽城縣名。亦屬陳郡也。

字子張。少孔子四十八歲。子張

問干祿。

鄭玄曰。干。求也。祿。祿位也。

孔子曰。多聞闕疑。慎言其餘。則寡尤。

包氏曰。尤。過也。疑則

闕之。其餘不疑。猶慎言之。則少過。

多見闕殆。慎行其餘。則寡悔。

包氏曰。殆。危也。所見危者。闕而不行。則少悔。

言寡

尤。行寡悔。祿在其中矣。

鄭玄曰。言行如此。雖不得祿。得祿之道。

他日從在陳蔡間。因問

行。孔子曰。言忠信。行篤敬。雖蠻貊之國行也。言不忠信。行不篤

敬。雖州里行乎哉。

鄭玄曰。二千五百家爲州。五家爲鄉。五鄉爲里。行乎哉。言不可行。

立則見其參於前

也。在輿則見其倚於衡。夫然後行。

包氏曰。衡。輓也。言思念忠信。立則常想見。參然在目前。在輿則若倚車輓。

子

張書諸紳。

孔安國曰。紳。大帶也。

子張問。士何如斯可謂之達矣。孔子曰。何哉。

爾所謂達者。子張對曰。在國必聞。在家必聞。

鄭玄曰。言士之所

孔子

曰。是聞也。非達也。夫達者。質直而好義。察言而觀色。慮以下人。

在陳蔡間。因ノ因ハ、札
記困ニ作ル、云北宋凌
不困ニ譌スト、困ニ作
レバ句ト爲スベシ。

問巧笑倩兮。美目盼兮。素以爲絢兮。何謂也。

馬融曰。倩。笑貌。盼。動目貌。絢。文貌。此上二句在衛風

碩人之二章。其下一句逸詩。

子曰。繪事後素。

鄭玄曰。繪。畫文也。凡畫繪先布衆色。然後以素分布。其間以成其文。喻美女雖有情盼美質。亦須禮以成。

也。

曰禮後乎。

孔安國曰。孔子言繪事後素。子夏聞而解。知以素喻禮。故曰禮後乎。

孔子曰。商始可與言詩已

矣。

包氏曰。能發明我意。可與共言詩矣。

子貢問師與商孰賢。子曰。師也過。商也不及。

孔安

國曰。言俱不得中。

然則師愈與。曰。過猶不及。子謂子夏曰。汝爲君子儒。無

爲小人儒。

何晏曰。君子爲儒。將以明道。小人爲儒。則矜其名。

孔子既沒。子夏居西河教授。

索隱曰。在

子夏居西河教授。注正義。錫泉山一名隱泉山。在汾州。堰城縣ハ、錢大昕曰。汾州ニ堰城縣ナシ、蓋隱城ノ譌、隋書地理志、隱城縣ニ隱泉山アリ、此錫泉當ニ錫泉ニ作ルベシ、謂隱聲相近キナリ。

此有卜商神祠。今見在。

爲魏文侯師。

索隱曰。子夏文學。著於四科。序詩傳易。又孔子以春秋屬商。又傳禮著在禮志。而此史竝不論。空記論語小事。亦其

疎也。○正義曰。文侯都安邑。孔子卒後。子夏教於西河之上。文侯師事之。咨問國政焉。

其子死。哭之失明。

與時轉貨貲。

廢舉。謂停貯也。與時。謂逐時也。夫物賤則買而停貯。值貴卽逐時轉易貨賣。取資利也。○索隱曰。家語貨作化。王肅云。廢舉。謂買賤賣貴也。轉

化。謂隨時轉貨以殖其資也。劉氏云。廢。謂物貴而賣之。舉。謂物賤而買之。轉貨。謂轉貴收賤也。

喜揚人之美。不能匿人之過。

常相魯衛。家累千金。卒終于齊。

言偃。吳人。

索隱曰。家語云。魯人。按偃仕魯。爲武城宰。耳。今吳郡有言偃冢。蓋吳郡人爲是也。

字子游。少孔子四十五

歲。子游旣已受業。爲武城宰。

正義曰。括地志云。在兗州。卽南城也。輿地志云。南武城縣。魯武邑城。子游爲宰者也。在泰山郡。

孔子過聞絃歌之聲。孔子莞爾而笑曰。

何晏曰。莞。割雞焉。用牛刀。爾。小笑貌。

孔安國曰。言治小何須用大道。

子游曰。昔者偃聞諸夫子曰。君子學道則愛人。小人

學道則易使。

孔安國曰。道。謂禮樂也。樂以和人人。和則易使。

孔子曰。二三子。

孔安國曰。從行者。

偃之言

是也。前言戲之耳。

孔安國曰。戲以治小而用大道。

孔子以爲子游習於文學。

卜商。字子夏。

家語云。衛人。鄭玄曰。溫國卜商。○索隱曰。溫國。今河內溫縣。元屬衛故。

少孔子四十四歲。子夏

爲武城宰注。正義卽南
城。錢大昕曰。續漢書
郡國志。據レバ。武城
亦之。南城ト謂フ。又
武邑城ハ誤倒ナリ。武
城邑ニ作ルベシ。

ソト、是ナリ、此發九郡
矣ト曰フハ、則秦漢以
後ノ人ノ設クル所ノ辭
ナル明ナリ。

故子貢一出、霸越ニ
至ル、札記云、下五國
各有變ノ索隱ニ據レ
バ、疑フ舊本此十六字
ナシ、後人即索隱ニ依
テ竄入シ、特ニ云字ヲ
刪ルノミ。

可以勝敵。今夫齊與吳將戰。彼戰而不勝。越亂之必矣。與齊戰而勝。必以其兵臨晉。晉君大恐。曰。爲之奈何。子貢曰。修兵休卒。以待之。晉君許諾。子貢去而之魯。吳王果與齊人戰於艾陵。索隱曰。左傳在哀十一年。大破齊師。獲七將軍之兵。而不歸。果以兵臨晉。與晉人相遇。黃池之上。索隱曰。左傳黃池之會。在哀十三年。越入吳。吳與越平也。吳晉爭彊。晉人擊之。大敗吳師。越王聞之。涉江襲吳。去城七里而軍。吳王聞之。去晉而歸。與越戰於五湖。三戰不勝。城門不守。越遂圍王宮。殺夫差而戮其相。索隱曰。左傳越滅吳。在哀二十二年。則事竝懸隔數年。蓋此文欲終說其事。故其辭相連也。破吳三年。東向而霸。故子貢一出。存魯。亂齊。破吳。彊晉。而霸越。子貢一使。使勢相破。十年之中。五國各有變。

索隱曰。按左傳。謂魯齊晉吳越也。故云子貢一出。存魯。亂齊。破吳。彊晉。而霸越。

子貢好廢舉。

缺屈盧之矛ハ、缺札
紀錄ニ作り、云何維熊
本、缺ニ誤リ、凌稚隆
不、缺ニ誤ル、注同フ
シテ、而音缺、按ズル
ニ屈ノ聲缺ニ近ウシテ
譌衍ス、索隱劉氏チ引
テ云、一本此字無シト、
是ナリ。

吳王乃遂發九郡兵ハ、
方苞曰、春秋ノ時、郡
ハ縣ヨリ小ナリ、定二
年ノ傳ニ、上大夫ハ縣
ヲ受ケ下大夫ハ郡ヲ受

大王之賜。使得奉俎豆而修祭祀。死不敢忘。何謀之敢慮。後五

日越使大夫種頓首言於吳王曰。東海役臣孤句踐。使者臣種。

敢修下吏。問於左右。今竊聞大王將興大義。誅彊救弱。困暴齊

而撫周室。請悉起境內士卒三千人。孤請自被堅執銳。以先受

矢石。因越賤臣種奉先人藏器甲二十領。缺屈盧之矛。索隱曰。缺

也。劉氏云。一本無此字。屈盧。矛名。步光之劍。以賀軍吏。吳王大說。以告子貢曰。越王

欲身從寡人伐齊。可乎。子貢曰。不可。夫空人之國。悉人之衆。又

從其君。不義。君受其幣。許其師。而辭其君。吳王許諾。乃謝越王。

於是吳王乃遂發九郡兵伐齊。子貢因去之晉。謂晉君曰。臣聞

之。慮不先定。不可以應卒。索隱曰。卒。謂急卒也。言計慮不兵不先辨。不

先定。不可以應卒。有非常之事。

佐之以微其志ノ微ハ、
猶邀ノ如ク、むかふト
訓ズ、若シ王肅注ニ從
ヘバ、激ニ作ルベシ。

舌徒欲與吳王接踵而死。孤之願也。遂問子貢。子貢曰。吳王爲人猛暴。羣臣不堪。國家敝於數戰。士卒弗忍。百姓怨上。大臣內變。子胥以諫死。索隱曰。王劭按家語越絕書。並無此五字。是時子胥未死。太宰嚭用事。順君之過。以安

其私。是殘國之治也。今王誠發士卒。佐之以微。音結。堯反。其志。王肅曰。激射其志。

重寶以說其心。卑辭以尊其禮。其伐齊必也。彼戰不勝。王之福

矣。戰勝必以兵臨晉。臣請北見晉君。令共攻之。弱吳必矣。其銳

兵盡於齊。重甲困於晉。而王制其敝。此滅吳必矣。越王大說。許

諾。送子貢金百鎰。劍一。良矛二。子貢不受。遂行。報吳王曰。臣敬

以大王之言告越王。越王大恐曰。孤不幸。少失先人。內不自量。

抵罪於吳。軍敗身辱。棲于會稽。國爲虛莽。虛音墟。莽音莫朗反。○索隱曰。有本作棘。恐誤也。賴

繼絕爲名。夫伐小越而畏彊齊。非勇也。夫勇者不避難。仁者不窮約。智者不失時。王者不絕世。以立其義。今存越。示諸侯以仁。救魯伐齊。威加晉國。諸侯必相率而朝吳。霸業成矣。且王必惡越。索隱曰。惡猶畏也。臣請東見越王。令出兵以從。此實空越名。從諸侯以

伐也。吳王大說。乃使子貢之越。越王除道郊迎。身御至舍而問曰。此蠻夷之國。大夫何以儼然辱而臨之。子貢曰。今者吾說吳王以救魯伐齊。其志欲之而畏越。曰待我伐越。乃可。如此破越。必矣。且夫無報人之志。而令人疑之。拙也。有報人之意。使人知之。殆也。事未發而先聞。危也。三者。舉事之大患。句踐頓首再拜曰。孤嘗不料力。乃與吳戰。困於會稽。痛入於骨髓。日夜焦唇乾

王者不絶世ハ、王タル
者ハ人ノ世ヲ断絶セザ
ルナリ、下文ノ存越ナ
言フ。

大臣内空。是君上無彊臣之敵。下無民人之過。孤主制齊者唯
君也。田常曰。善。雖然。吾兵業已加魯矣。去而之吳。大臣疑我。奈
何。子貢曰。君按兵無伐。臣請往使吳王。令之救魯而伐齊。君因
以兵迎之。田常許之。使子貢南見吳王。說曰。臣聞之。王者不絶
世。霸者無彊敵。千鈞之重。加銖兩而移。今以萬乘之齊。而私千
乘之魯。與吳爭彊。竊爲王危之。且夫救魯。顯名也。伐齊。大利也。
以撫泗上諸侯。誅暴齊。以服彊晉。利莫大焉。名存亡魯。實困彊
齊。智者不疑也。吳王曰。善。雖然。吾嘗與越戰。棲之會稽。越王苦
身養士。有報我心。子待我伐越。而聽子。子貢曰。越之勁。不過魯。
吳之彊。不過齊。王置齊而伐越。則齊已平魯矣。且王方以存亡

絶書（其泄字作淺）

其君愚而不仁。大臣僞而無用。其士民又惡甲兵之事。

此不可與戰。君不如伐吳。夫吳城高以厚。地廣以深。甲堅以新。

士選以飽。重器精兵。盡在其中。又使明大夫守之。此易伐也。田

常忿然作色曰。子之所難。人之所易。子之所易。人之所難。而以

教常。何也。子貢曰。臣聞之。憂在內者攻彊。憂在外者攻弱。今君

憂在內。吾聞君三封而三不成者。大臣有不聽者也。今君破魯

以廣齊。戰勝以驕主。破國以尊臣。王肅曰。鮑晏等帥師。若破國則臣尊矣。而君之功不

與焉。則交日疎於主。是君上驕主心。下恣羣臣。求以成大事。難

矣。夫上驕則恣。臣驕則爭。是君上與主有卻。下與大臣交爭也。

如此則君之立於齊危矣。故曰。不如伐吳。伐吳不勝。民人外死。

非ルナリ、而本末奇計多ク觀覽スベシ、王安石曰、予史載スル所ノ子貢ノ事ヲ讀ム、乃儀秦軫代ト以テ異ルナキナリ、子貢ノ行、盡ク義ニ當ル能ハズ、雖モ、然モ孔子ノ賢弟子ナリ、固ト宜シク此ニ至ルベカラズ、矧ンヤ、孔子之ヲ使フト曰フチモ、子貢辯チ好ムト雖モ、何ゾ此ニ至ランヤ、太史公所謂其真ヲ損スル者ナリ。子路請出孔子止之。子張子石請行。出行ハ互文ナリ。其地狹以泄ハ、札記云、越絶書、吳越春秋、並ニ其地狹以淺ニ作ルト、若シ之ニ從ヘバ、下ノ地廣以深ノ地モ、亦池ニ作ルベシ。

夫上驕則恣、札記云、上驕ヲ當ニ主ニ作ルベシ、上文ニ涉リテ訛スルナリ。

ヲ被リ、千古ノ冤獄ヲ爲ス、又曰、田常子我ヲ殺ス一事、史記齊世家ニ於テ、則全ク左傳原文ヲ用フ、應ニ亦子我ノ即闔止ナルヲ知ルベシ、而田齊世家ニ於テハ、則又闔止ヲ以テ監止ト爲シ、子我ヲ以テ監止ノ宗人ト爲ス、又田氏ノ徒、子我及監止ヲ追殺スト云、是テ兩人ト爲シ又闔止監止子我ヲ誤テ三人ト爲ス、宜ナリ子我ヲ以テ宰予ト爲スヤ、然ルニ即子我ヲ以テ宰予ト爲セバ、則宰予ノ死亦田常ヲ攻メ克ダザルヲ以テ殺サル、常ニ黨スルニ非ル也、乃宰予傳、何ヲ以テ又與田常作亂ト云フヤ、益史記戰國以前ノ事ヲ追敘スル、抵牾舛謬多ク信ズベカラザルヲ知ルベシ。

田常欲作亂於齊云云ハ、茅坤曰、子貢魯ヲ救フ一事、必當時傾謀ノ臣之ヲ爲ス、其故ニ

焉クニ不バ學。孔安國曰文武之道未墜落於地賢レ而亦何常師カ之有ン。孔安國曰無所不從學故無常

師。又問曰孔子適是國必聞其政求之與抑與之與。鄭玄曰怪孔子所至之邦必與

聞國政求而得之邪抑人君自願與之爲治。子貢曰夫子溫良恭儉讓以得之夫子之求之

也其諸異乎人之求之也。鄭玄曰言夫子行此五德而得之與入求之異明人君自與之。子貢問曰富

而無驕貧而無諂何如孔子曰可也。孔安國曰未足多也。不如貧而樂道富

而好禮。鄭玄曰樂謂志於道。田常欲作亂於齊憚高國鮑晏故移其

兵欲以伐魯孔子聞之謂門弟子曰夫魯墳墓所處父母之國

國危如此二三子何爲莫出子路請出孔子止之子張子石

曰公孫請行孔子弗許子貢請行孔子許之遂行至齊說田常曰

君之伐魯過矣夫魯難伐之國其城薄以卑其地狹以泄

索隱曰越

彫也。包氏曰。朽。腐也。糞土之牆。不可圻也。王肅曰。圻。墁也。二者喻雖施功猶不成也。宰我問五

帝之德。子曰。予非其人也。王肅曰。言不足。以明五帝之德也。宰我爲臨菑大夫。索隱曰。謂仕齊。

齊都臨菑。故云。與田常作亂。以夷其族。孔子恥之。索隱曰。左氏無宰我與田常作亂之文。然有闕止字。

子我。田闕爭寵。子我爲陳恆所殺。恐字與宰予相涉。因誤云然。

端木賜。衛人。字子貢。少孔子三十一歲。子貢利口巧辭。孔子常

黜其辯。問曰。汝與回也孰愈。孔安國曰。愈。猶勝也。對曰。賜也何敢望回。回也

聞一以知十。賜也聞一以知二。子貢既已受業。問曰。賜何人也

孔子曰。汝器也。孔安國曰。言汝器用之人。曰。何器也。曰。瑚璉也。包曰。瑚璉。黍稷器。夏曰瑚。殷曰璉。周曰簠簋。宗

廟之貴器。陳子禽問。子貢曰。仲尼焉學。子貢曰。文武之道未墜於地。

在人。賢者識其大者。不賢者識其小者。莫不有文武之道。夫子

宰我爲臨菑大夫與田常作亂云云。趙翼曰。史記及孔子家語。俱以此事載之。呂氏春秋。左傳。相印證。則宰予ノ事ニ非ズ。而傳聞ノ誤謬ナルヲ知ルナリ。呂氏憤勞篇云。齊蘭公臣アリ。諸御鞅ト曰フ。公ニ謂テ曰。陳常宰予ト甚相憎ム。若シ相攻メバ。則上チ危リス。願クハ君其一人ヲ去レ。蘭公聽カズ。陳常果シテ宰予ヲ攻メ云云。而左傳哀十四年。以テ闕止ト爲ス。二書載スル所。同一事ナリ。而一ハ以テ闕止ト爲シ。一ハ以テ宰予ト爲ス。則闕止字ヲ我。宰予亦字子我ナルヲ以テ。故ニ呂氏遂ニ誤テ此事ヲ以テ之ヲ宰予ニ屬シ。而史記家語。并ニ其詳ヲ知ラズ。以テ宰予ト爲ス。輒轉訛チ傳ヘ。竟ニ名賢ヲシテ横シマニ誣讒

是時子貢爲魯使於齊
ハ、札記云、此上下文
ニ於テ皆相涉ラズ、索
隱本此ハ字ナ、子貢傳
好廢舉與時轉實皆條ノ
後ニ出ス、疑フ錯簡ナ
ラン。

嗟乎。由死矣。已而果死。故孔子曰。自吾得由。惡言不聞於耳。王肅

曰。子路爲孔子侍衛。故侮慢之人不敢有惡言。是以惡言不聞於孔子耳。索隱曰。左傳。子貢爲魯使齊。在哀十

五年。蓋此文錯誤也。聊亦記之。

宰予。字子我。鄭玄曰。魯人。利口辯辭。既受業。問三年之喪。不已久乎。

君子三年不爲禮。禮必壞。三年不爲樂。樂必崩。舊穀既沒。新穀

既升。鑽燧改火。期可已矣。馬融曰。周書月令有更火之文。春取榆柳之火。夏取

檀之火。一年之中。鑽火各異木。故曰改火。子曰。於汝安乎。曰。安。汝安則爲之。君子居喪。食

旨不甘。聞樂不樂。故弗爲也。孔安國曰。旨。美也。責其無仁於親。故言汝安則爲之。宰我出。子曰。

予之不仁也。子生三年。然後免於父母之懷。馬融曰。生未三歲。爲父母所懷抱也。夫三

年之喪。天下之通義也。孔安國曰。自天子達於庶人。宰予晝寢。子曰。朽木不可

子路爲衛大夫孔慳之邑宰、札記云、錢警石曰、索隱本、爲衛大夫四字ナ本文ト爲シ、注ニ云云トアリ、則司馬貞見ル所ノ史文、孔慳之邑宰五字ナキナリ。

亡人太子之子輒在。於是衛立輒爲君。是爲出公。出公立十二

年。其父黃瓚居外。不得入。子路爲衛大夫孔慳之邑宰。索隱曰。服

慳之邑宰。黃瓚乃與孔慳作亂。索隱曰。左傳。蒯聵人孔慳家。慳母伯姬劫慳於

入孔慳家。遂與其徒襲攻出公。出公奔魯。而黃瓚入立。是爲莊

公。方孔慳作亂。子路在外。聞之而馳往。遇子羔出衛城門。謂子

路曰。出公去矣。而門已閉。子可還矣。母空受其禍。子路曰。食其

食者。不避其難。子羔卒去。有使者入城。城門開。子路隨而入。造

黃瓚。黃瓚與孔慳登臺。子路曰。君焉用孔慳。請得而殺之。黃瓚

弗聽。於是子路欲燔臺。黃瓚懼。乃下石乞壺。擊斷子

路之纓。子路曰。君子死而冠不免。遂結纓而死。孔子聞衛亂。曰。

偏信一言折獄者。唯子路可也。

由也好勇過我。無所取材。

樂肇曰。適用曰材。好勇過我。用故云無所取。○索隱曰。肇字永初。晉尚書

郎作論

語義也。若由也不得其死然。

孔安國曰。不得以壽終也。

衣敝緼袍。與衣狐貉者立。

而不恥者。

孔安國曰。繼。桌著也。

其由也歟。由也升堂矣。未入於室也。

馬融曰。升。我堂矣。未

入於室耳。

季康子問。仲由仁乎。孔子曰。千乘之國。可使治其賦。不知

其仁。子路喜從游。遇長沮。桀溺。荷篠丈人。子路爲季氏宰。季孫

問曰。子路可謂大臣與。孔子曰。可謂具臣矣。

孔安國曰。言備臣數而已。

子路爲

蒲大夫。

索隱曰。蒲。衛邑。子路爲之宰。

辭孔子。孔子曰。蒲多壯士。又難治。然吾語

汝。恭以敬。可以執勇。

言恭謹謙敬。勇猛不能害。故曰執也。

寬以正。可以比衆。

音鼻。言寬大。清正。衆必歸近之。

恭正以靜。可以報上。初衛靈公有寵姬曰南子。靈公太子蒧

得過南子。懼誅。出奔。及靈公卒。而夫人欲立公子郢。郢不肯。曰。

靈公太子蒧。賁。賁。錢大昕曰。衛世家。蒧。作。爾。蔽。正。字。副。俗。字。賁。通用。字。ナリ。

兼人。故退之。鄭立曰。言冉有性謙退。子路務在勝。尚人。各因其人之失而正之。

仲由。字子路。卞人也。徐廣曰。卞子曰。子路卞之野人。○索隱曰。家語。一字季路。亦云。是卞人也。少孔子九歲。子

路性鄙。好勇力。志伉直。冠雄雞。佩玃豚。冠以雄雞。佩以玃豚。二物皆勇。子路好勇。故冠帶之。陵暴

孔子。孔子設禮。稍誘子路。子路後儒服。委質。索隱曰。服虔注。左氏云。古者始事。必先書其名

於策。委死之質於君。然後爲臣。示必死節於其君也。因門人請爲弟子。子路問政。孔子曰。先之勞

之。孔安國曰。先導之以德。使民信之。然後勞之。易曰。悅以使民。民忘其勞。請益。曰。無倦。孔安國曰。子路嫌其少。故請益。曰。無倦者。行此上事。無倦則可。

子路問。君子尚勇乎。孔子曰。義之爲上。君子好勇而無義。則亂。

李充曰。旣稱君子。不職爲亂階也。若君親失道。國家昏亂。其於赴患致命。而不知正顧義者。則亦陷乎爲亂。而受不義之責也。○索隱曰。充字弘度。晉中書侍郎。亦作論語解。

人好勇而無義。則盜。子路有聞。未之能行。唯恐有聞。孔安國曰。前所聞未及行。

故恐後有聞。孔子曰。片言可以折獄者。其由也與。孔安國曰。片。猶偏也。聽訟。必須兩辭。以定是非。

佩玃豚。玃ハ俗ノ玃字、
玃家ナリ。

見大賓。使民如承大祭。孔安國曰。在邦無怨。在家無怨。包子曰。在邦為諸侯。在家

為卿大夫。孔子以仲弓為有德行。曰雍也。可使南面。包氏曰。可使南面者。言任諸侯之治。仲

弓。父賤人。孔子曰。犁牛之子。騂且角。雖欲勿用。山川其舍諸。晏

曰。犂。雜文。騂。赤色也。角者。角周正中。犧牲。雖欲以其所生犂而不用。山川寧肯舍之乎。言父雖不善。不害於子之美。

冉求。字子有。鄭玄曰。魯人。少孔子二十九歲。為季氏宰。季康子問孔

子曰。冉求仁乎。曰。千室之邑。百乘之家。孔安國曰。千室。卿大夫之邑。卿大夫稱家。諸侯千乘。大夫故曰百乘。

求也。可使治其賦。仁則吾不知也。孔安國曰。賦。兵賦也。仁道至大。不可全名也。復問子路

仁乎。孔子對曰。如求。求問曰。聞斯行諸。包氏曰。賑窮救乏之事也。子曰。行之。

子路問。聞斯行諸。子曰。有父兄在。如之何。其聞斯行之。孔安國曰。當白父兄。

不可自專。子華怪之。敢問。問同而答異。孔子曰。求也退。故進之。由也

復問子路仁乎。孔子對曰。如求。ハ、札記云、此文佛ハ、且下子路傳ニ見エ許ト為ス、疑フ此衍ナラン。

問同而答異ハ、札記云、史詮見ル所ノ宋本ヲ引キ、此五字ナシ。

怒。不貳過。不幸短命死矣。今也則亡。

何晏曰。凡人任情喜怒違理。顏回任道。怒不過分。遷者移也。怒當其理。不

移易也。不貳過者。有不善未嘗復行。

閔損字子騫。

鄭玄曰。孔子弟子目錄云。魯人。

少孔子十五歲。孔子曰。孝哉閔子騫。

人不閒於其父母昆弟之言。

陳羣曰。言子騫上事父母。下順兄弟。動靜盡善。故人不得有非閒之言。

不仕大

夫。不食汙君之祿。

索隱曰。論語季氏使閔子騫為費宰。子騫曰。善為我辭焉。是不仕大夫。不食汙君之祿也。

如有復我者。

孔安國曰。復我者。重來召我。

必在汶上矣。

孔安國曰。去之汶水上。欲北如齊。

冉耕字伯牛。

鄭玄曰。魯人。

孔子以為有德行。伯牛有惡疾。孔子往問

之。自牖執其手。

包氏曰。牛有惡疾。不欲見人。孔子從牖執其手。

曰。命也夫。斯人也而有斯疾。

命也夫。

包氏曰。再言之者。痛惜之甚也。

冉雍字仲弓。

鄭玄曰。魯人。○索隱曰。家語云。伯牛之宗族。少孔子二十九歲。

仲弓問政。孔子曰。出門如

答、裴氏已ニ引クヲ以テナリ、今各本、違伯玉晏平仲柳下惠三人ニ於テ、徑ニ大戴記ニ依テ引補ス、則索隱ニ文複ス、故ニ索隱ヲ刪去テ、而テ各條又大戴禮三字ヲ注スルヲ失シ、乃老萊子ノ下、又獨索隱ヲ存ス、此皆坊刻意ヲ以テ去取シ、從テ其是非ヲ論ズルナキナリ。同注家語又云ハ、札記云、此以下五十三字、毛刻單本無キ所、史文ト涉ルナシ、蓋亦後人ノ妄竄ナリ。少孔子三十歲注少成妙反ノ成ハ成ノ誤ナリ。有是夫注正義論疑釋十卷、及語駁虛二卷ハ、札記云、脫誤ナリ、當ニ論語疑釋十卷、論語駁二卷ニ作ルベシ、隋志云、論語釋疑十卷、又論語駁序、唐志云、論語釋十卷、又駁一卷

曰。克己復禮。天下歸仁焉。

馬融曰。克己。約身也。孔安國曰。復。反也。身能反禮。則爲仁矣。

孔子曰。賢哉

回也。

衛瓘曰。非大賢樂道不能若此。故以稱之。○索隱曰。衛瓘字伯玉。晉太保。亦注論語。故裴引之。

一簞食。一瓢飲。

孔安國曰。在

陋巷。人不堪其憂。回也不改其樂。

孔安國曰。顏回樂道。雖簞食在陋巷。不改其所樂也。

回也如

愚。孔安國曰。於孔子之言。默而識之。如愚也。

退而省其私。亦足以發。回也不愚。

孔安國曰。察其退還與二三子。

說釋道義。發明大體。知其不愚。用之則行。捨之則藏。唯我與爾有是夫。

孔安國曰。言可行則行。可止則

止。唯我與爾同也。欒肇曰。用己而後行。不假隱以自高。不屈道以要名。時人無知其實者。唯我與爾有是行。○正義曰。肇字永初。高平人。晉尚書郎。作論疑釋十卷。及語駁虛二卷。

回年二十九。髮盡白。蚤死。

索隱曰。家語亦云。年二十九而髮白。三十二而死。王肅云。此久遠之書。年數錯誤。未可詳也。校其年。則顏

回死時。孔子年六十一。然則伯魚年五十。先孔子卒。卒時孔子且七十也。今此爲顏回先伯魚死。而論語曰。顏回死。顏路請子之車。子曰。鯉也死。有棺而無槨。或爲設事之辭。案言回死在伯

魚之前。故知以論語爲設詞。

孔子哭之慟。曰。自吾有回。門人益親。

王肅曰。顏回爲孔子疏附之友。能使門人

益親。

魯哀公問。弟子孰爲好學。孔子對曰。有顏回者。好學。不遷。

貢無數子之病。然亦不知道者。雖不窮理而幸中。雖非天命而偶富。亦所以不虛心也。

孔子之所嚴事。於周則老子。於

衛蘧伯玉。

外寬而內直。自設於隱括之中。直己而不直人。汲汲於仁。以善自終。蓋蘧伯玉之行。

於齊晏平仲。於楚老萊

子。於鄭子產。

君擇臣而使之。臣擇君而事之。有道順命。無道衡命。蓋晏平仲之行也。○索隱曰。大戴記云。蹈忠而行信。終日言不在尤之內。國無道處賤。不悶貧

而能樂。蓋老萊子之行也。

於魯孟公綽。數稱臧文仲。柳下惠。

孝恭慈仁。允德圖義。約貨去怨。蓋柳下惠之行。銅

鞮伯華。介山子然。孔子皆後之。不竝世。

大戴禮曰。孔子云。國家有道。其言足以興國家。無道。其默足以容。蓋

銅鞮伯華之行也。觀於四方。不忘其親。苟思其親。不盡其樂。蓋介山子然之行也。說苑曰。孔子歎曰。銅鞮伯華無死。天下有定矣。晉太康地記云。銅鞮。晉大夫羊舌赤之邑。世號赤曰銅鞮伯華。○索隱曰。自臧文仲已下。孔子皆後之。不竝世。其所嚴事。自老子及公綽已上。皆孔子同時人也。案戴德撰禮。號曰大戴禮。合八十五篇。其四十七篇亡。見今存者。有三十八篇。今裴氏所引。在衛將軍篇。孔子稱祈奚對晉平公之辭。唯舉銅鞮介山二人之行也。家語又云。不克不忘。不念舊怨。蓋伯夷叔齊之行。思天而敬人。服義而行信。蓋趙文子之行。事君不愛其死。謀身不遺其友。蓋隨武子之行。○地理志。銅鞮。縣名。屬上黨。○正義曰。鞮丁奚反。案銅鞮潞州縣也。

顏回者。魯人也。字子淵。少孔子三十歲。

正義曰。少成妙反。

顏淵問仁。孔子

不竝世注。索隱唯舉銅鞮介山二人之行耳。ハ、札記云。此二據レハ、是集解。蘧伯玉以下諸人ニ於テ、並ニ未ダ大戴記ナ引カズ、故ニ索隱引テ以テ之ヲ補ヒ、而テ銅鞮介山二條ニ及ハザル

史記評林卷之六十七

仲尼弟子列傳第七

仲尼弟子列傳ハ、其記載スル所、率本論語ニ出ヅ、故ニ今其解釋ヲ省略ス。

孔子曰。受業身通者七十有七人。

索隱曰。孔子家語亦有七十七人。唯文翁孔廟圖作七十二人。

皆異

能之士也。德行。顏淵。閔子騫。冉伯牛。仲弓。政事。冉有。季路。言語。

宰我。子貢。

索隱曰。論語一曰德行。二曰言語。三曰政事。四曰文學。今此文政事在言語上。是其記有異也。

文學。子游。子夏。師

也。辟。

馬融曰。子張才過人。失在邪辟。文過。○正義。音癖。

參也魯。

孔安國曰。魯鈍也。曾子性遲鈍。

柴也愚。

何晏曰。愚。愚直之愚。

由

也。嘑。

鄭玄曰。子路之行。失於嘑嘑。○正義曰。嘑音呼。○索隱曰。論語先言柴。次參。次師。次由。今此傳序之。亦與論語不同。不得輒言其誤也。○正義。音岸。

回也

屢空。賜不受命而貨殖焉。億則屢中。

何晏曰。言回庶幾於聖道。雖數空匱而樂在其中。賜不受教命。唯財貨是殖。億度是非。蓋美回所以勵賜也。一曰。屢猶每也。空猶虛中也。以聖人之善道。教數子之庶幾。猶不至於知道者。各內有此害也。其於庶幾。每能虛中者。唯回懷道深遠。不虛心不能知道。子

由也嘑注、正義曰、嘑音呼ハ、當ニ索隱ノ次ニ在ルベシ、而テ後ノ正義ニ字ヲ翻リ、音岸ノ上ニ嘑字ヲ加フヘシ。

子不報。則爲無親。是讎楚者。在申包胥不當言。而子胥宜自盡者也。申包胥未嘗以不報止胥。是申包胥亦知胥之當讎楚也。就謂鞭尸之過矣哉。

何孟春曰。子胥掘平王墓鞭其尸。父讎報矣。故楚太子建。子胥父子皆事之。固嘗以爲君矣。鄭殺其君。而子胥不一問。彼豈其勢之不可耶。則伐楚之師。威疊乎遐邇。子胥誠當此時。反旆而西。鼓其伐楚之師。而爲問鄭之舉。則我於君父之讎。可脫腕而兩報之矣。而何子胥其不此計也。張良之從沛公。蓋欲爲韓報讎也。子嬰誅而成王立。則復辭漢而歸韓。萬世之下。稱其有不忘故主之義。而功名次之。子胥能是。則可以塞宰嚭之口。卻屬鏤之劍於夫差之世矣。豈但申包胥之無辭。而秦哀王之不加兵哉。子胥旣死。建之子勝欲伐鄭。而不克。殺令尹子西。而遂大亂。卒之自刎山林。棄骸無掩。痛哉。

史記評林卷之六十六終

索隱述贊曰。讒人罔極。交亂四國。嗟彼伍氏。被茲凶惡。員獨忍詬。志復冤毒。霸吳起師。伐楚逐北。鞭尸雪恥。扶眼棄德。

蘇子古史曰。伍員以父兄之怨。破楚入郢。鞭平王之墓。世皆憐其志多。其才然。士不幸至此。不足以言功名矣。而員至鞭舊君以逞逆。逆天而傷義。卒以盡忠而喪其軀。豈非天哉。

王安石曰。予觀子胥出死。亡逋竄之中。以客寄之一身。卒以說吳。折不測之楚。仇報恥雪。名振天下。豈不壯哉。及其危疑之際。能自慷慨。不顧萬死。畢諫於所事。此其志與夫自恕。以儉一時之利者異也。孔子於古之士大夫。若管夷吾。臧武仲之屬。苟志於善。而有補於當世者。咸不廢也。然則子胥之父子。又曷可少耶。

程敏政曰。必有過之父。而見誅於有道之君。則不敢以親賊義。絲廢而禹興。是也。以無過之父。而見殺於無道之君。則不敢以義掩親。伍奢見殺。子胥復讐。是也。處變之定理。蓋不易此。而蘇子乃譏逆天傷義。不亦過乎。昔王裒以父死。非命終身未嘗西向而坐。以示不臣於晉。朱子取之。而載於小學之書。以實父子之倫。則員固朱子所不棄者。然予尤有憾焉。使員當入郢之後。投戈解印。翩然辭吳之爵祿。而退處於深山隱谷之中。以示其所遭之不幸。豈不可以盡全歸之孝哉。惜乎其志不足及此。而反以讒見禍於他人之手也。

黃省曾曰。書云。撫我則后。虐我則讎。撫者君之道也。子胥之父兄無罪。而平王殺之。則平王乃胥之讎也。非君也。鞭之者。鞭其讎。非鞭其君也。說者謂其以甚。亦過矣。方平王之召也。伍尚之語胥曰。聞父召而莫奔。不孝也。父戮而莫報。無謀也。子其行矣。我其歸死。是以歸死自任。而報讎付之胥也。是讎楚者。非特胥之心。亦尚之心也。胥之將奔吳也。辭其友申包胥曰。楚王殺吾父兄。爲之奈何。申包胥曰。吾欲教子報楚。則爲不忠。教

之宮。則公陽。是楚之。負楚惠王。亡走夫人之宮。索隱曰。昭王夫人。即惠王母。乃越女。是也。葉公聞

白公爲亂。率其國人攻白公。白公之徒敗。亡走山中。自殺。正義曰。左

傳云。白公奔山而縊。而虜石乞。而問白公尸處。不言。將烹石乞。曰。事成爲卿。

不成而烹。固其職也。終不肯告其尸處。遂烹石乞。而求惠王復

立之。

太史公曰。總子胥白公怨毒之於人。甚矣哉。王者尙不能行之於臣下。況同

列乎。向令伍子胥從奢俱死。何異螻蟻。棄小義。雪大恥。名垂於

後世。悲夫。方子胥窘於江上。索隱曰。窘音求。殞反。道乞食。志豈嘗須臾忘郢

邪。故隱忍就功名。非烈丈夫孰能致此哉。白公如不自立爲君

者。其功謀亦不可勝道者哉。

怨毒之於人ハ、趙恆曰、
伍胥ノ父兄、楚ニ戮セ
ラル、而ドモ其罪ニ非
ズ、故ニ怨毒ト曰フ、
人ナ殺シテ義ニ非ザル
チ言フナリ。

有私乎。惠王不聽。遂召勝。使居楚之邊邑鄢。

徐廣曰。潁川鄢陵是。○正義曰。鄢音偃。括地志云。故

鄢城在豫州鄢城縣南

號爲白公。

徐廣曰。汝南襄信縣有白亭。○正義曰。括地志云。白亭在豫州襄南四十二里。又有白公故城。又許

州扶溝縣北四十五

里北又有白亭也。

白公歸楚三年而吳誅子胥。白公勝既歸楚。怨

鄭之殺其父。乃陰養死士。求報鄭。歸楚五年。請伐鄭。楚令尹子

西許之。兵未發。而晉伐鄭。鄭請救於楚。楚使子西往救。與盟而

還。白公勝怒曰。非鄭之仇。乃子西也。勝自礪劍。人問曰。

索隱曰。左傳作子期

之子平見之曰。何以爲勝。曰。欲以殺子西。子西聞之笑曰。勝如卵耳。

何能爲也。其後四歲。白公勝與石乞襲殺楚令尹子西。司馬子

綦於朝。

索隱曰。左傳作子期也。

石乞曰。不殺王不可。乃劫之。王如高府。

索隱曰。杜預云。

乃劫之王如高府ハ、史記札記引ク所ノ王氏維志云、當ニ之字アルベカラズト、即チ石乞王ヲ劫カシ、高府ニ如キ、屈固王ヲ負ヒテ走リシナリ。

楚之別府。石乞從者屈固。

徐廣曰。一作惠王從者屈固。楚世家亦云王從者。○索隱曰。蓋此本爲得。而左傳云。石乞尹門。圍公陽穴宮。負王以如昭夫人

吳王既誅伍子胥云云
ハ、淺雅隆曰、此下、
井テ吳王伯嚭ノ奸ニ中
リテ而テ區ブル所以チ
敘シテ、以テ子胥ノ結案
ト爲ス。

伍子胥初所與俱云云
ハ、淺雅隆曰、此下并テ
太子建ノ子勝ノ遺事チ
叙シテ、前案チ了ス。

此江上。今其側有浦。名上壇浦。至晉會稽太

守麋豹。移廟吳郭東門內道南。今廟見在。

因命曰胥山。張晏曰。胥山在太湖邊。去江不遠百里。故云江上。○

正義曰。吳地記云。胥山太湖邊。胥湖東岸山西臨胥湖。有古葬。胥三王廟。案其廟不干子胥事。太史誤矣。張注又非。

吳王既誅伍子胥。遂

伐齊。齊鮑氏殺其君悼公而立陽生。吳王欲討其賊。不勝而去。

其後二年。吳王召魯衛之君。會之橐臯。

索隱曰。音拓臯。杜預云。地名。在淮南。遂適縣東南。○正義曰。橐臯故

縣。在廬州巢縣西北五十六里。

其明年。因北大會諸侯於黃池。

正義曰。在汴州封丘縣南七里。

以令周

室。越王句踐襲殺吳太子。

索隱曰。左傳。太子名友。

破吳兵。吳王聞之。乃歸。使

使厚幣與越平。後九年。越王句踐遂滅吳。殺王夫差而誅太宰

嚭。以不忠於其君。而外受重賂。與己比周也。

案結前

正義曰。紀鼻二音。

伍子胥初

所俱亡。故楚太子建之子勝者。在於吳。吳王夫差之時。楚惠王

欲召勝歸楚。葉公諫曰。

正義曰。上式涉反。杜預云。子高。沈諸梁。

勝好勇而陰求死士。殆

賜伍千胥劍鏃之劍、屬
劍ハ劍名ナリ。

賜吳東門之上云云、越
ハ吳ノ東ニ在ル故ニ云
フナリ。

亦疑之。乃使使賜伍子胥屬鏃之劍。曰。鏃音錄
于反。子以此死。伍子

胥仰天歎曰。嗟乎。讒臣誣爲亂矣。王乃反誅我。我令若父霸自

若未立時。諸公子爭立。我以死爭之於先王。幾不得立。正義曰。
幾音祈。

若既得立。欲分吳國予我。我顧不敢望也。然今若聽諛臣言。以

殺長者。乃告其舍人曰。必樹吾墓上以梓。令可以爲器。正義曰。器
謂棺也。以

吳必亾也。左傳云。樹吾墓而抉吾眼。索隱曰。抉音烏。縣吳東門之上。正義曰。東

門也。今名封門。鱈音普姑反。鱈音覆浮反。越軍開示浦子胥濤盪羅城。以觀越寇之

入滅吳也。乃自剄死。吳王聞之。大怒。乃取子胥尸。盛以鴟夷革。

應劭曰。取馬革爲鴟夷。鴟夷。槿形。○正義曰。盛音成。槿古曷反。浮之江中。徐廣曰。魯哀公十一年。○正義曰。
案年表云。吳王夫差十一年也。吳人

憐之。爲立祠於江上。正義曰。吳地記曰。越軍於蘇州東南三十里三江口。又向下
三里。臨江北岸立壇。殺白馬祭子胥。杯動酒盡。後因立廟於

ル無ケント言フ、子胥
ノ意ハ、越ヲ指シテ言
フナリ。
使子胥於齊ハ、太宰嚭
計ヲ以テ謀臣チ外ニ出
シ、之ヲ疎遠シテ、而
テ陰ニ罪ヲ以テ之ヲ誅
セント欲スルナリ、子
胥其子ヲ齊ノ鮑氏ニ屬
スルハ、誠ニ失計ト爲
ス。

胥於齊。子胥臨行。謂其子曰。吾數諫王。王不用。吾今見吳之亡。

矣。汝與吳俱亡。無益也。乃屬其子於齊鮑牧。而還報吳。吳太宰

嚭既與子胥有隙。因讒曰。子胥爲人剛暴。少恩猜賊。其怨望恐

爲深禍也。前日王欲伐齊。子胥以爲不可。王卒伐之。而有大功。

子胥恥其計謀不用。乃反怨望。而今王又復伐齊。子胥專懷彊

諫。沮毀用事。索隱曰。懷音皮逼。反。沮音自呂反。徒幸吳之敗。以自勝其計謀耳。今王

自行。悉國中武力以伐齊。而子胥諫不用。因輟謝。佯病不行。王

不可不備。此起禍不難。且嚭使人微伺之。其使於齊也。乃屬其

子於齊之鮑氏。夫爲人臣。內不得意外倚諸侯。自以爲先王之

謀臣。今不見用。常鞅鞅怨望。願王早圖之。吳王曰。微子之言。吾

遂滅鄒魯之君以歸ハ、
 錢大昕曰、魯當ニ處ニ
 作ルベシ、音ノ訛ナリ、
 左傳ニ、邾子又無道ナ
 リ、吳子太宰子餘ヲシ
 テ之ヲ討タシメ、諸ヲ
 樓臺ニ囚フト、鄒即邾
 ナリ、當ニ其君ヲ處ニ
 スト云フベシ、轉寫或
 ハ誤ルノミ。

且盤庚之語曰云云ハ、
 書盤庚中篇ノ辭ナリ、
 顛覆踰越シ、上命ヲ恭
 マザル者アラバ、我小
 ハ則加フルニ劓刑ヲ以
 テシ、大ハ則之ヲ殄滅
 シ、遺育スル有ルナク、
 其惡種ヲ此新邑ニ移シ
 テ、善人ヲ染易セシム

踐食不_レ重味。弔_レ死問疾。且欲_レ有所用_レ之也。此人不_レ死。必爲_ニ吳患_一。

今吳之有_レ越。猶_ニ人之有_ニ腹心疾_一也。而王不_レ先越。而乃務_ニ齊_一。不_ニ亦

謬_ニ乎_一。吳王不_レ聽。伐_ニ齊_一。大敗_ニ齊師_一於_ニ艾陵_一。
正義曰。括地志云。艾山。在兗州博城縣南百六十里。本齊博邑。

遂滅_ニ鄒魯之君_一以歸。
正義曰。鄒君。居兗州鄒縣。魯曲阜縣。益疏_ニ子胥之謀_一。其後四年。吳

王將_ニ北伐_一齊。越王句踐用_ニ子貢之謀_一。乃率_ニ其衆_一以助_ニ吳_一。而重寶

以獻_ニ遺太宰嚭_一。太宰嚭既數受_ニ越賂_一。其愛信越殊甚。日夜爲_ニ言

於_ニ吳王_一。吳王信用_ニ嚭之計_一。伍子胥諫曰。夫越腹心之病。今信_ニ其

浮辭詐僞_一而貪_ニ齊_一。破_ニ齊_一。譬猶_ニ石田_一。無所用_レ之。且盤庚之誥曰。有_ニ

顛越不恭_一。劓_ニ殄滅_一之。俾無_ニ遺育_一。無_ニ使易種_一于_ニ茲邑_一。此商之所以

興_ニ。願王釋_ニ齊_一而先越。若不_レ然後將_ニ悔之_一。無_レ及。而吳王不_レ聽。使_ニ子

其後四年孔子相魯ハ、方苞曰、荆蠻吳越更ニ齊晉ヨリ強シ、霸統並ニ絶ス、魯孔子ヲ用テ而テ終ヘザルヲ惜ムナリ。

越人其後四年孔子相魯後五年伐越越王句踐迎擊敗吳於

太史公每附見時事之大者

姑蘇傷闔廬指正義曰姑蘇當作構李乃文誤也左傳云戰構李傷將指卒於涇是也解在吳世家軍卻闔廬病創將

死セント謂太子夫差曰爾忘句踐殺爾父乎夫差對曰不敢忘良反

是夕闔廬死夫差既立爲王以伯嚭爲太宰習戰射二年後伐

越敗越於夫湫音椒○索隱曰又如字○正義曰太湖中椒山也解在吳世家越王句踐乃以餘兵五

千人棲於會稽之上正義曰上地名在越州會稽縣東南十二里使大夫種厚幣遺吳索隱曰劉氏云

大夫姓種名非也案今吳南有文種墟則種姓文爲大夫官也○正義曰高誘云大夫種姓文氏字子禽楚之郢人太宰嚭以請和求委國

爲臣妾吳王將許之伍子胥諫曰越王爲人能辛苦今王不滅

後必悔之吳王不聽用太宰嚭計與越平其後五年而吳王聞

齊景公死而大臣爭寵新君弱乃興師北伐齊伍子胥諫曰句

已暮。故其在顛倒疾行。逆
理施事。何得責吾順理乎。
於是申包胥走秦告急。求救於秦。秦不許。包

胥立於秦廷。晝夜哭。七日七夜。不絕其聲。秦哀公憐之。曰。楚雖

無道。有臣若是。可無存乎。乃遣車五百乘。救楚。擊吳。六月。敗吳

兵於稷。駟案稷丘地名在郊外。○索隱曰。左傳作稷丘。會吳王久留。楚求昭王。而闔廬弟夫

概乃亡歸。自立為王。闔廬聞之。乃釋楚而歸。擊其弟夫概。夫概

敗走。遂奔楚。楚昭王見吳有內亂。乃復入郢。封夫概於堂谿。徐廣

曰。在慎縣。駟案地理志。汝南有吳房縣。應劭曰。夫概奔楚。封於堂谿。本房子國。以封吳。故曰吳房。然則不得在慎縣也。○正義曰。案今豫州吳縣。在州西北九十里。為堂谿

氏。楚復與吳戰。敗吳。吳王乃歸。後二歲。闔廬使太子夫差將兵

伐楚。取番。音普寒反。又音婆。○索隱曰。蓋鄱陽也。楚懼。吳復大來。乃去郢。徙於郢。○音若。索

隱曰。今闕。當是時。吳以伍子胥孫武之謀。西破彊楚。北威齊晉。南服

及臨質ハ、索隱曰、質、猶對也。將欲對射、
載ス、質謂棚ノ説優ニ
似タリ、棚ハ射埒ナ
リ。
下駟ト駟中駟、駟ハ車
ヲ引ク四馬ナリ、上中
下ハ馬ノ優劣ヲ謂フ、
忌ノ下駟ヲ以テ彼ノ上
駟ト馳スレバ、一ビ勝
タズ、而テ忌ノ上駟ト
彼ノ中駟ト、中駟ト下
駟ト馳スレバ、再ビ勝
ツナリ。

夫解雜亂紛糾者不控
捲、控ハ打ナリ、捲即拳
ナリ、雜亂紛糾ノ物ヲ
解カント欲スレバ、當
ニ手ヲ以テ徐ニ之ヲ解
クベシ、拳ヲ持テ以テ
之ヲ擊タザルヲ言フ。
救鬪者不搏撻ハ、手擊
ナリ、撻モ亦擊ナリ、
鬪ヲ救フ者ハ、常ニ善
ク爲ニ之ヲ解クベシ、
傍ヨリ搏擊スレバ、彼
ノ怒ヲ益熾ナラシムル

公子逐射千金。正義曰。射音石。隨
逐而射。賭千金。及臨質。索隱曰。質。猶對也。將欲對射
之時也。一云。質。謂棚。非也。孫子

曰。今以君之下駟與彼上駟。取君上駟與彼中駟。與

彼下駟。既馳三輩畢。而田忌一不勝而再勝。卒得王千金。於是

忌進孫子於威王。威王問兵法。遂以爲師。其後魏伐趙。趙急請

救於齊。齊威王欲將孫臏。臏辭謝曰。刑餘之人。不可。於是乃以

田忌爲將。而孫子爲師。居輜車中。坐爲計謀。田忌欲引兵之趙。

孫子曰。夫解雜亂紛糾者不控捲。索隱曰。謂事之雜亂紛糾也。解雜亂紛糾
者。當善以手解之。不可控捲而擊之。捲。卽

拳也。劉氏云。控。救鬪者不搏撻。索隱曰。音搏。載。謂救鬪者。當善撻解之。無以手助。
相搏撻。則其怒益熾矣。按撻。謂以手持撻刺人也。

批亢擣虛。索隱曰。批音白。結反。亢音苦浪反。按批者。相排批也。音白滅反。言敵人相亢
拒也。擣者。擊也。衝也。虛者。空也。按謂前人相亢。必須批之。彼兵若虛。則衝擣

之。欲令擊梁之虛也。此當形格勢禁。則自爲解耳。索隱曰。謂若批其相亢。擊擣彼
虛。則是事形相格。而其勢自禁

是舊語。故孫子以言之也。

ナリ。
 於是圖慮知孫子能用兵
 ハ、圖慮龍幸ヲ顧ミザ
 ルニ非ラザレドモ、將
 可カラザルヲ知ルナ
 リ。
 西破彊楚入郢云ハ、
 吳世家ニ詳ナリ。
 孫臏ハ、古昔刑刑ヲ臏
 ト曰フ、孫臏本名詳ナ
 ラズ、龐涓ノ爲ニ足ヲ
 削セラレシヲ以テ、故
 ニ呼テ臏ト爲ス。

忌數與齊諸公子馳逐重
 射ハ、明董汾曰、重射
 ハ、重ヲ以テ相射ルヲ
 謂フ、即下ノ千金是ナ
 リト、蓋重ハ賂物ナリ、
 又案ズルニ、重射ハ猶
 連射ト云フ如キ歟。

能用兵。卒以爲將。西破彊楚。入郢。北威齊晉。顯名諸侯。孫子與
 有力焉。孫武既死。越絕書曰。吳縣巫門外大冢。孫武冢也。去縣十里。○索隱曰。越絕
 書子貢所著。恐非也。其書多記吳越亡後土地。或後人所錄。○正

義曰。七錄云。越絕十
 六卷。或云伍子胥撰。
 後百餘歲。有孫臏。臏生阿鄆之間。臏亦孫武之

後世子孫也。孫臏嘗與龐涓俱學兵法。索隱曰。臏頻忍反。龐
 皮江反。涓古立反。龐涓既

事魏。得爲惠王將軍。而自以爲能不及孫臏。乃陰使召孫臏。臏

至。龐涓恐其賢於己疾之。則以法刑斷其兩足而黥之。欲隱勿

見。齊使者如梁。正義曰。
 今汴州。孫臏以刑徒。陰見說齊使。齊使以爲奇

竊載與之齊。齊將田忌善而客待之。忌數與齊諸公子馳逐重

射。孫子見其馬足不甚相遠。馬有上中下輩。於是孫子謂田忌

曰。君第重射。索隱曰。第。且也。臣能令君勝。田忌信然之。與王及諸

重射。好射也。

爭ト視ヨト謂フ、約束
既布ノ約束ハ、即此四
言ナリ。
即三令五申之ハ。反覆
丁寧ニ教フルナリ。
鼓之右鼓之左ハ、鼓シ
テ左右シ、其左右手チ
視シムルナリ。

右婦人大笑。孫子曰。約束不明。申令不熟。將之罪也。復三令五
申而鼓之左。婦人復大笑。孫子曰。約束不明。申令不熟。將之罪
也。既已明而不如法者。吏士之罪也。乃欲斬左右隊長。吳王從
臺上觀。見且斬愛姬。大駭。趣使使下令曰。

索隱曰。趣音促。急
也。使音色吏反。

寡人

已知將軍能用兵矣。寡人非此二姬。食不甘味。願勿斬也。孫子
曰。臣既已受命爲將。將在軍。君命有所不受。遂斬隊長二人以
徇。用其次爲隊長。於是鼓之。婦人左右前後跪起。皆中規矩繩
墨。無敢出聲。於是孫子使使報王曰。兵既整齊。王可試下觀之。
唯王所欲用之。雖赴水火猶可也。吳王曰。將軍罷休就舍。寡人
不願下觀。孫子曰。王徒好其言。不能用其實。於是闔廬知孫子

寡人不願下觀ハ、蓋吳
王其愛姬ヲ殺スヲ憾ム

史記評林卷之六十五

孫子吳起列傳第五

孫子武者齊人也。

正義曰。魏武帝云。孫子者齊人。事於吳王闔閭。爲吳將。作兵法十三篇。

以兵法見於吳王

闔廬。闔廬曰。子之十三篇。

正義曰。七錄云。孫子兵法三卷。案十三篇爲上卷。又有中下二卷。

吾盡觀之矣。

可以小試勒兵乎。對曰可。闔廬曰。可試以婦人乎。曰可。於是許

之。出宮中美女得百八十人。孫子分爲二隊。以王之寵姬二人

各爲一隊長。

索隱曰。隊徒對反。長竹兩反。

皆令持戟。令之曰。汝知而心與左右手

背乎。婦人曰。知之。孫子曰。前則視心。左視左手。右視右手。後即

視背。婦人曰。諾。約束既布。乃設鈇鉞。即三令五申之。於是鼓之

汝知而心與左右手背乎ノ心ハ胸ナリ。

孫子曰。前則視心云云。前左右後ハ。號令シテ進退セシムルノ辭ナリ。前ト云ヘバ則心ナリ。前ト云ヘバ則心ナリ。前ト云ヘバ則心ナリ。

史記評林卷之六十四終

法ノ揖讓ヲ以テ言フ、言ハ三代ノ兵ト雖モ、亦未ダ其闢廓深遠ノ義ヲ究クス能ハズ、則司馬兵法ノ闢廓深遠ノ文モ、亦其實ニ過ケルナリ、夫レ三代且然リ、況ヤ穰苴區區タル小國ノ爲ニ師ヲ行ル、何ゾ其揖讓ニ及ブニ暇アラシヤト謂フナリト、少寔ハ溢美ヲ言フ、則其實ニ過ケルナリ。

如其文也。亦少褻矣。

索隱曰。謂司馬法說行兵揖讓。有三代之法。而齊區區小國。又當戰國之時。故云少褻。

若夫穰苴

區區爲小國行師。何暇及司馬兵法之揖讓乎。世既多司馬兵

法。以故不論著穰苴之列傳焉。

索隱述贊曰。燕侵河上。齊師敗績。嬰薦穰苴。武能威敵。斬賈以徇。三軍驚惕。我卒既彊。彼寇退壁。法行司馬實賴宗戚。

蘇子古史曰。太史公爲司馬穰苴傳。言齊景公拔以爲將。遂以成功。歸爲大司馬。大夫高國害之。譖而殺之。其言甚美。世皆信之。予以春秋左氏考之。未有燕晉伐齊者也。而戰國策稱司馬穰苴執政者也。湣王殺之。故大臣不附。意者穰苴湣王之臣。嘗爲湣王卻燕晉。而戰國雜說妄爲景公時耶。

所亡封內故境。而引兵歸。未至國。釋兵旅。解約束。誓盟而後入邑。景公與諸大夫郊迎。勞師成禮。然後反歸寢。既見穰苴尊爲大司馬。田氏日以益尊於齊。已而大夫鮑氏。高國之屬害之。譖於景公。景公退穰苴。苴發疾而死。田乞田豹之徒。由此怨高國等。索隱曰。田乞。田僖子。其後及田常殺簡公。盡滅高子國子之族。至

至常曾孫和因自立爲齊威王。ハ、闕誤アルベシ、威王和ハ太公ト號シ、威王ハ名田齊ナリ、田敬仲世家ニ、太公諸侯ト爲ルヲ求ム、周天子之ヲ許ス、十九年田和立テ齊侯ト爲ル、和卒ス、子桓公午立ッ、桓公卒ス、子威王因齊立ットアリ、此ニ和ノ侯ト爲ルヲ云ハザルハ、闕アルニ似タリ。

常曾孫和。因自立爲齊威王。索隱曰。此文誤也。當云田和自立。至其孫因。號爲齊威王。故世家云。田和自立號太公。其孫號威王也。用兵行威。大放穰苴之法。正義曰。放。方往反。而諸侯朝齊。齊威王使大夫追論古者司馬兵法。而附穰苴於其中。因號曰司馬穰苴兵法。

太史公曰。余讀司馬兵法。閎廓深遠。雖三代征伐。未能竟其義。

太史公曰云云ハ、明趙恒曰、閎廓深遠ハ、兵

以狗三軍、狗ハ徇ト同
シ、となふト訓ズ、號
令シテ衆ヲ警ムルヲ
謂フ。

乃斬其僕車之左駟馬之
左驂、或云、既ニ其僕
ヲ斬リ、又重駟ト驂馬
トヲ斬ルナリト、注循
ハ徇ノ誤ナリト。

期而後至者。云何。對曰。當斬。莊賈懼。使人馳報景公。請救。既往

未及反。於是遂斬莊賈。以徇三軍。三軍之士皆振慄。久之。景公

遣使者持節赦賈。馳入軍中。穰苴曰。將在軍。君令有所不受。武魏

帝曰。苟便於

事。不拘君命。

問軍正曰。軍中不馳。今使者馳。云何。正曰。當斬。使者

大懼。穰苴曰。君之使不可殺之。乃斬其僕車之左駟馬之左驂。

以徇三軍。

索隱曰。謂斬其使者僕車之左駟。又斬馬之左驂。以御者在左故也。遣使

者還報。然後行。士卒次舍。井竈飲食。問疾醫藥。身自拊循之。悉

取將軍之資糧。享士卒。身與士卒平分糧食。最比其羸弱者。正

曰。比作界。

必耳反。

三日而後勒兵。病者皆求行。爭奮出爲之赴戰。晉師聞

之。爲罷去。燕師聞之。度水而解。

正義曰。度黃河
水。北去而解。

於是追擊之。遂取

入行軍勒兵、行ハ巡ナ
リ、勒ハ馬ノくつわナ
リ、馬ヲ制御スル所以
ノ者、故ニ借リテ兵ヲ
整フルヲ謂フ。

之寵臣。國之所尊以監軍。乃可。於是景公許之。使莊賈往。穰苴

既辭。與莊賈約曰。旦日日中會於軍門。索隱曰。按旦日。謂明日。日中時期會於軍門。穰苴先

馳至軍。立表下漏待賈。索隱曰。立表。謂立木爲表。以視日。景下漏。謂下滴漏。以知刻數也。賈素驕貴。以爲

將已之軍而已。爲監不甚急。正義曰。已音紀。監甲暫反。親戚左右送之。畱飲。日

中而賈不至。穰苴則仆表決漏。索隱曰。仆音赴。仆者。臥其表也。決漏。謂決去壺中漏水。以賈失期過日中故也。入

行軍勒兵。申明約束。約束既定。夕時莊賈乃至。穰苴曰。何後期

爲。賈謝曰。不佞大夫親戚送之。故畱。穰苴曰。將受命之日。則忘

其家。臨軍約束。則忘其親。援枹鼓之急。則忘其身。索隱曰。援音袁。枹音浮。○正義曰。援

作操。枹音孚。謂鼓槌也。今敵國深侵。邦內騷動。士卒暴露於境。君寢不安。席

食不甘味。百姓之命。皆懸於君。何謂相送乎。召軍正問曰。軍法

史記評林卷之六十四

司馬穰苴列傳第四

司馬穰苴者。田完之苗裔也。

索隱曰。穰苴。田氏之族。爲大司馬。故曰司馬穰苴也。○正義曰。穰音若羊反。苴音子徐反。曰穰

苴爲司馬官主兵。

齊景公時。晉伐阿甄。而燕侵河上。

起案。索隱曰。阿甄。皆齊邑。晉太康地。記曰。阿。卽東阿也。地理志云。甄

城縣屬濟河。○正義曰。河上。黃河南岸地。卽滄德二州北界。

齊師敗績。景公患之。晏嬰乃薦田穰苴曰。

穰苴雖田氏庶孽。然其人文能附衆。武能威敵。願君試之。景公

召穰苴。與語兵事。大說之。以爲將軍。

索隱曰。謂命之爲將。以將軍也。將音卽。匠反。遂以將軍爲官名。故尸子曰。

十萬之師。無將軍。則亂。六國時有此官。

將兵。扞燕晉之師。穰苴曰。臣素卑賤。君擢之。閭

伍之中。加之大夫之上。士卒未附。百姓不信。人微權輕。願得君

穰苴雖田氏庶孽ハ、孽亦庶子ナリ、妾隷ノ子ヲ孽ト曰フ。

史記評林卷之六十三終

子之道而實非也。

黃震曰。按老子與韓非同傳論者非之。然余觀太史公之旨意。豈苟然哉。子老子曰。無爲自化。子莊子曰。其要本歸于老子之言。子申不害曰。本于黃老而主刑名。子韓非曰。喜刑名法術之學。而其歸本于黃老。夫無爲自化去刑名。固霄壤也。然聖人所以納天下于善者。政教也。世非太古矣。無爲安得自化。政教不施。則其弊不得不出于刑名。此太史公自源徂流。詳著之。爲後世戒也。

柯維騏曰。虛無體也。因應用也。因應者。因而應之也。司馬談論道家。以虛無爲本。以因循爲用。又云。虛者。道之常也。因者。君之綱也。卽史所論老子之說也。張文謨謂。史遷將老子與申韓同傳。非是。强安排。其源如此也。真德秀謂。老子將欲翕之。必固張之。將欲奪之。必固與之。此陰謀之言也。陰謀之術。則申商韓非之所本也。

又曰。按太史公自序云。作老子韓非列傳。其莊子申子特附載之耳。凡世家列傳附載者極多。如陳平世家附王陵。如楚元王世家附趙王。如張儀傳附陳軫犀首。如樗里甘茂傳附甘羅。如孟子荀卿傳附淳于髡慎到騶奭。如廉頗藺相如傳附趙奢李牧。如韓王信盧綰傳附陳豨。如樊鄴傳附滕公灌嬰。如傅靳傳附周緤。如張丞相傳附周昌任敖申屠嘉。如酈生陸賈傳附朱建。如萬石張叔傳附衛綰直不疑周文。如平津傳附主父偃。如魏其武安傳附灌夫。如曹劇豫讓傳附專諸荊軻。其論贊或專或兼。無定體也。凌約言曰。太史公作史。以老子與韓非同傳。世或疑之。今觀韓非書中解老喻老二卷。皆所以明老子也。故太史公贊中有皆原于道德之意。老子深遠之句。則知韓非皆出于老子。

極慘少恩、微ハ刻ナリ。

皆原於道德之意而老子深遠矣。錢大昕曰、申韓ノ學、皆自ラ老子ニ本ヅクト謂フ、而テ實ハ老子ノ旨ヲ失フ、太史公自序ニ、其父ノ説ヲ述テ、道德ト名法ト各一家ト爲ス、而テ此贊ニ於テ又明ニ之ヲ辯ズ、其同ニ似テ而テ實異ナルヲ言フナリ、説者韓非當ニ老子ト傳チ同ウスベカラザルヲ譏ル、蓋未ダ史公ノ微旨ヲ論ラズ。

索隱述贊曰。伯陽立教。清淨無爲。道尊東魯。迹竄西垂。莊蒙栩栩。申害卑卑。刑名有術。說難極知。悲彼周防。終亡李斯。

蘇子古史曰。孔子以仁義教人。而以禮樂治天下。仁義禮樂之變無窮。而其稱曰。吾道一以貫之。苟無以貫之。則因變而行義。必有支離而不合者矣。易曰。形而上者。謂之道。形而下者。謂之器。語曰。君子上達。小人下達。而孔子自謂下學而上達者。灑掃應對詩書禮樂。皆所從學也。而君子由是以達其道。小人由是以得其器。達其道。故萬變而致一。得其器。故有守而不蕩。此孔子之所以兩得之也。蓋孔子之爲人也。周。故示人以器。而晦其道。使達者有見而未達者不眩也。老子之自爲也。深。故示人以道。而略其器。使達者易入。而不恤其未達也。要之其實皆志於道。而所從施之有先後耳。三代之後。釋氏與孔老並行於世。其所以異者。體道愈遠。而立於世之表。指天下之所不見。以示人。而不憂其不悟。曰。要將有悟者。其說又老氏之眇也。老子八十一章。予嘗爲之解。其說如此。○予聞之吾兄子瞻曰。太史公言莊子作漁父盜跖胠篋。以詆訾孔子之徒。以明老子之術。此知莊子之蠱者。予以爲莊子蓋助孔子者。要不可以爲法耳。楚公子微服出亡。而門者難之。其僕操箠而罵曰。隸也不力。門者出之事。固有倒行而逆施者。以僕爲不愛公子。則不可以爲事公子之法。亦不可。故莊子之言。皆文予而實不予。陽擠而陰助之。其正言也。蓋無幾。至於詆訾孔子。未嘗不微見其意。其論天下道術。自墨翟禽滑釐彭蒙慎到田駢關尹老聃之徒。以至於其身。皆以爲一家。而孔子不與。其尊之也至矣。○商鞅以法治秦。而申不害以術治韓。憲令著於官府。刑罰必於民心。賞存乎慎法。罰加乎奸令。所謂法也。因任而授官。循名而責實。操生殺之柄。課羣臣之能。所謂術也。法者。臣之所師。而術者。君之所執也。及韓非之學。竝取申商而兼用法之所止。雖有聖智不用也。術之所操。雖有父子不信也。使人君據法術之自然。而無所復爲。此申韓所謂老

不如以過法誅之、過ハ罪愈ナリ。

虛無因應ハ、解下ノ柯羅駟ノ論ニ見ユ。
故著書辭稱微妙難識ハ、方苞曰、號シテ微妙ニシテ識リ難シト爲スナリ。
莊子散道微放論ハ、方苞曰、散ハ推衍ナリ、老子論ズル所ノ道德ノ意ヲ推衍シテ、而テ放言スルナリト、衍ハ布クナリ。

爲^レ秦^ニ。此^レ人^ノ之^レ情^也。今王不^レ用^ビ。久^ク留^マ而^レ歸^ス之^ヲ。此^レ自^ミ遺^ス患^ヲ也。不^レ如^カ以^ニ過^ヲ法^ヲ誅^ス之^ヲ。秦王以^レ爲^シ然^ト。下^シ吏^ニ治^ス非^ヲ。李斯使^メ人^ヲ遺^ス非^ニ藥^ヲ。使^メ自^ミ殺^セ。韓非欲^ニ自^ミ陳^{セント}。不^レ得^ル見^ル秦^ヲ王^ノ後^ニ悔^イ之^ヲ。使^メ人^ヲ赦^ス之^ヲ。非^ニ已^ス死^ス矣。
戰國策曰。秦王封姚賈千
戶。以^レ爲^シ上^ニ卿^ニ。韓非短^シ之^ヲ曰。賈梁監門子。盜^リ於^レ梁。臣^ニ於^レ趙。而^レ逐^ル。取^リ世^ノ監門子。梁大盜。
牽連
趙逐^ル臣^ヲ。與^ニ同^ニ社稷^ノ之^レ計^也。非^ニ所以^ニ勵^ス羣^ニ臣^ニ也。王召^シ賈問^フ之^ヲ。賈答^シ云^ク。趙誅^ス韓非也。
申子韓子。皆著^シ書^ヲ傳^フ於^ニ後^ニ世^ニ。學^ノ者多^ク有^ル。余獨悲^ム韓子爲^ニ說^ヲ難^ニ而^レ不^レ能^ル自^ミ脫^ル耳^ヲ。

太史公曰。老子所^レ貴^ナ道^也。虛無因應。變^ニ化^ス於^ニ無^ニ爲^ニ。故著^シ書^ヲ辭^ヲ稱^ニ微^ニ妙^ニ難^ニ識^ニ。莊子散^シ道^ヲ德^ヲ放^ス論^ヲ。要^ニ亦^ニ歸^ス之^ヲ自^ミ然^ニ。申子卑^シ卑^ニ。之^ヲ於^ニ名^ニ實^ニ。韓子引^キ繩^ヲ墨^ヲ。切^ニ事^ニ情^ニ。明^ニ是^ニ非^ニ。其^ノ極^ニ慘^ニ礲^ニ少^ニ恩^ニ。
自勉勵之意也。
施^ス
微胡革反。用法慘急。
而^レ鞠^ニ礲^ニ。皆原^ル於^ニ道^ニ德^ニ之^レ意^也。而老子深^ク遠^ニ矣。

可擾狎而騎也、擾ハ馴
ナリ、順ナリ、左傳昭
二十九年ニ、董父實甚
好レ龍、乃擾ニ畜龍、注ニ
龍ノ欲スル所ニ順テ
之ヲ畜養ストアリ。

君曰。是嘗矯駕吾車。又嘗食我以其餘桃。故彌子之行。未變於
初也。前見賢而後獲罪者。愛憎之至變也。故有愛於主。則知當
而加親。見憎於主。則罪當而加疏。故諫說之士。不可不察愛憎
之主。而後說之矣。夫龍之爲蟲也。正義曰。龍。蟲類也。故言龍之爲蟲。可擾狎而騎也。
然其喉下有逆鱗。徑尺。人有嬰之。則必殺人。人主亦有逆鱗。說
之者。能無嬰人主之逆鱗。則幾矣。索隱曰。幾。庶也。謂庶幾於善諫說。○正義曰。說者能不犯人主逆鱗。則庶幾矣。
人或傳其書。至秦。秦王見孤憤五蠹之書。曰。嗟乎。寡人得見此
人。與之游。死不恨矣。李斯曰。此韓非之所著書也。秦因急攻韓。
韓王始不用非。及急。迺遣非使秦。秦王悅之。未信用。李斯姚賈
害之。毀之。曰。韓非韓之諸公子也。今王欲并諸侯。非終爲韓。不

盧文紹曰、仕ハ士ト通ズト、則能士ノ恥ヅル所ニ非ズト謂フナリ。果大亡其財ハ、韓非子舊注云、此夕盜至ル、故ニ大ニ亡フト。

胡兄弟之國也、錢大昕曰、鄭ハ姬姓、胡ハ歸姓、モト婚姻ノ國ナリ、而テ兄弟ト云フ者、兄弟ハ異姓ヲ兼テ之ナ言フ、禮記曾子問篇正義云、壻ハ妻ノ父也ニ於テ、之ヲ謂テ兄弟ト爲スナ得ト。

彌子矯駕君車、矯ハ詐ナリ、託ナリ、詐リテ事ニ託シテ、君ノ車ニ乘リシナリ。

亦云。暮而果大亡其財。其家甚知其子。而疑鄰人之父。正義曰。其子鄰父說

皆當矣。而切見疑。昔者鄭武公欲伐胡。正義曰。世本云。胡歸也。括地志云。胡城在豫州鄆城縣界。迺以

其子妻之。因問羣臣曰。吾欲用兵。誰可伐者。關其思曰。胡可伐。

迺戮關其思曰。胡兄弟之國也。子言伐之何也。胡君聞之。以鄭

爲親己。而不備鄭。鄭人襲胡取之。此二說者其知皆當矣。正義曰。當

浪然。而甚者爲戮。薄者見疑。非知之難也。處知則難矣。昔者彌

子瑕見愛於衛君。衛國之法。竊駕君車者。罪至刖。旣而彌子之

母病。人聞往夜告之。彌子矯駕君車而出。君聞之而賢之。曰孝

哉。爲母之故而犯刖罪。與君游果園。彌子食桃而甘。不盡而奉

君。君曰。愛我哉。忘其口而念我。及彌子色衰而愛弛。得罪於君。

謂隨人曰ハ、北宋舊刻本ニ謂字ナシ、卽周之子孫云云ハ、隨人ノ辭ナリ。
王子綦匿王已自爲王以當之ハ、秦昭王ヲ匿シテ、自ラ代リテ王ト稱シ、殺サレントスルナリ。

子之報讎其以甚乎ノ以ハ、已ト通ズ、已甚ハ甚ナリ。

此豈其無天道之極乎、極ハ六極ノ極ナリ、將ニ天罰アラントスルヲ言フ、六極ハ窮極ノ惡事ナリ、書洪範ニ威スニ六極ヲ用フトアリ。

恐^レ其弟殺^チ王。與^ニ王奔^ル隨。

正義曰。今有楚昭王故城。昭王奔隨之處。宮之北城卽是。

吳兵圍隨。謂隨人

曰。周之子孫在漢川者。楚盡滅之。隨人欲殺^シ王。王子綦匿王。已

自爲^リ王。以當^ル之。隨人ト與^ニ王於吳。不吉。乃謝^シ吳。不與^ニ王始伍員

與^ニ申包胥爲^レ交。員之亡也。謂^ニ包胥曰。我必覆^{サシ}楚。包胥曰。我必存

之。及^ニ吳兵入^ニ郢。伍子胥求^ニ昭王。旣不得。乃掘^キ楚平王墓。出其尸。

鞭^ツ之三百。然後已。申包胥亡^レ於山中。使人謂^ニ子胥曰。子之報讎

其以甚乎。吾聞之。人衆者勝^チ天。天定亦能破^レ人。

一本作勝人。正義曰。申包胥言。聞人衆者雖一時凶暴勝天。

及^ニ天降^ニ其凶。亦破^レ於彊暴之人。今子故平王之臣。親^シ北面而事^フ之。今至於^ニ僂^{スル}死人。此

豈其無^ニ天道之極乎。伍子胥曰。爲^ニ我謝^シ申包胥曰。吾日暮塗遠^シ。

吾故倒行而逆^ス施^ス之。

說出心事。索隱曰。倒音丁老反。施如字。子胥言。志在復讎。常恐且死不遂。本心。今幸而報。豈論道理乎。譬如入行前途尙遠。而日勢

山。五年伐越敗之。六年楚昭王使公子囊瓦

駟案左傳。楚公子貞。字子囊。其孫名瓦。字子常。此言

公子又兼稱囊瓦誤也。

將兵伐吳。吳使伍員迎擊。大破楚軍於豫章。

駟案豫章在江南。○

索隱曰。案杜預云。昔豫章在江北。蓋後徙之於江南也。

取楚之居巢。九年吳王闔廬謂子胥孫武

曰。始子言郢未可入。今果何如。二子對曰。楚將囊瓦貪而唐蔡

皆怨之。王必欲大伐之。必先得唐蔡乃可。闔廬聽之。悉興師與

唐蔡伐楚。與楚夾漢水而陳。吳王之弟夫概將兵請從。

索隱曰。概音古賁反。

王不聽。遂以其屬五千人擊楚將子常。

駟案子常公孫瓦。

子常敗走奔鄭。

於是吳乘勝而前五戰。遂至郢。

郢。楚都。○索隱曰。郢音以正反。又以井反。

己卯楚昭王出

奔。庚辰吳王入郢。昭王出亡入雲夢。盜擊王。王走郢。

音云。國名。○索隱曰。走音

王走郢。郢公弟懷曰。ハ、方苞曰。郢ハ小國也。楚滅シテ之ヲ邑トシ、曼成然ヲ封ズ、楚ノ邑長、皆僞シテ公ト稱ス。

奏。走向也。郢古之郢國。

郢公弟懷曰。平王殺我父。我殺其子。不亦可乎。郢公

ハズシテ太子建之子勝ト曰ヒ、秦女ト曰ズシテ所奪太子建秦女ト曰フ、此書法ナリ、其詳チ厭ハズ。

楚誅其大臣郤宛伯州犂ハ、余有丁曰、左傳ヲ案ズルニ、郤宛楚ノ令尹ト爲ス、杜注伯氏ト訓セズ、太史公宗姓ト曰フ、或ハ見ルアリ、徐廣州犂ノ子ト曰フハ、必誤ナリト。

故吳反二將軍ハ、即二公子ナリ。

女。生^ム子軫^チ。及^ニ平王卒^{スルニ}軫竟立^チ爲^ル後^ト。是爲^ニ昭王^ト。吳王僚因^リ楚喪^ニ使^ニ

二公子將^テ兵往襲^ハ楚^チ。楚發^シ兵絕^ツ吳兵之後^ト。不得^レ歸^ル。吳國內空^シ。而^{シテ}

公子光乃令^メ專諸襲^ヒ刺^ヤ吳王僚^チ而自立^ス。是爲^ニ吳王闔廬^ト。闔廬既^ニ

立得^レ志^ナ乃召^シ伍員^チ以爲^ニ行人^ト而與^ニ謀^ル國事^ナ。楚誅^ス其大臣郤宛^ト。伯

州犂^チ伯州犂之孫伯嚭^グ亡^ル奔^ル吳^ニ。徐廣曰。伯州犂者。晉伯宗之子也。伯川犂之子曰郤宛。郤宛之子曰伯嚭。宛亦姓伯。又別

氏郤。楚世家云。殺^ル郤宛^ト。宛之宗姓伯氏^ト。子曰^ニ嚭^ト。吳亦以^レ嚭爲^ニ大夫^ト。前王僚所遣^ル。暗對伍胥。結前事ノ

二公子將^テ兵伐^レ楚者^チ。道絕^エ不得^レ歸^ル。索隱曰。公子燭庸及蓋餘也。後聞^キ闔廬弑^シ王

僚^チ自立^ス遂^ニ以^ニ其兵^チ降^ル楚^ニ。楚封^ズ之於^ニ舒闔廬^ト立^ツ三年乃興^シ師^チ與^ニ伍

胥伯嚭^チ伐^レ楚^チ拔^グ舒^チ遂禽^ニ故吳^ト反^ス二將軍^チ因^テ欲^ニ至^{ント}郢^ト將軍孫武曰^ニ

民勞^ル未^レ可^ナ且待^レ之^チ乃歸^ル。四年吳伐^レ楚取^ニ六^ト與^ニ潛^ト。駟案六。古國。阜陶之後所封。潛縣有。天柱

止中道乞食ハ、方苞曰、戰國策ニ、伍子胥蒙蔽シテ而テ昭關ヲ出テ、夜行キ晝伏シ、楚夫ニ至ル、以テ其口ヲ糊スルナシト。

乃進專諸於公子光、專諸ノ事ハ、刺客傳ニ詳カナリ。退而與太子建之子勝云、凌稚隆曰、勝ト曰

未^シ至^ラ吳^ニ而疾^ム。止^テ中^ニ道^ニ乞^フ食^ス。

張勃曰。子胥乞食處。在丹陽溧陽縣。○索隱曰。張勃。晉人。吳鴻臚儼之子。作吳錄。故裴氏注引之。溧音栗。

水名

也。至於^ル吳^ニ。吳王僚方用^ヒ事^ヲ。公子光爲^リ將^リ。伍胥乃因^ニ公子光^ニ以^テ

求^ム見^{ユルヲ}吳王^ニ。久^シ之^ヲ。楚平王以其邊邑鍾離。與^ニ吳^ニ邊邑卑梁氏俱蠶^ス。

兩女子爭^テ桑相攻^{ルヲ}。乃大怒^リ。至於^ル兩國舉^{ゲテ}兵相伐^ツ。吳使^ニ公子光^ニ伐^ツ

楚^ヲ。拔^テ其鍾離居巢而歸^ル。

索隱曰。二邑。楚縣也。鍾離。在六安。古鍾離子之國。世本謂之終黎。贏姓之國。居巢亦國也。桀奔南巢。其國蓋遠。

尚書序巢伯來朝。蓋因居之於淮南楚地。

伍子胥說^テ吳王僚^ニ曰。楚可破^ル也。願復遣^{レト}公子光^ヲ

公子光謂^ニ吳王^ニ曰。彼伍胥父兄爲^レ戮^ト於楚^ニ。而勸^{メテ}王伐^ツ楚者。欲^{スル}以^テ

自報^{ント}其讎^ヲ耳。伐^ツ楚。未^レ可破^ル也。伍胥知^ル公子光^ニ有^ニ內志^ニ。欲^{シテ}殺^テ王^ヲ而

自立^{セント}。未^レ可^ク說^フ以^テ外事^ヲ。乃進專諸於公子光^ニ。索隱曰。左傳。退而與太子

子建之子勝^ス耕^ス於野^ニ。五年而楚平王卒^ス。初平王所^レ奪^フ太子建^ニ秦^ニ

斷而連^ニ

謂專設諸^ニ

曰楚國君臣且苦兵矣、
凌約言曰、子胥ノ郢ヲ
忘レザルヲ傳スルナ
リ、故ニ一傳中敘スル
所、夫差ハ父ノ仇ヲ復
スルナリ、伯嚭ト雖モ
亦祖ノ仇ヲ復スルナ
リ、申包胥ハ君ノ仇ヲ
復スルナリ、越王ハ己
ノ仇ヲ復スルナリ、白
公ハ父ノ仇ヲ復スルナ
リ、此敘事ノ微ナリト
ス。

亾也。曰楚國君臣且苦兵矣。伍尙至楚。楚并殺奢與尙也。伍胥

爲後子胥破楚案

終奢尙案

既至宋。宋有華氏之亂。乃與太子建俱奔

索隱曰。春秋昭二十年。宋華亥向寧華定與君爭而出奔。是也。

於鄭。鄭人甚善之。太子建又適晉。晉頃公曰。太子既善鄭。鄭信

太子。太子能爲我內應。而我攻其外。滅鄭必矣。滅鄭而封太子。

太子乃還鄭。事未會。會自私欲殺其從者。從者知其謀。乃告之

於鄭。鄭定公與子產誅殺太子建。建有子名勝。伍胥懼。乃與勝

俱奔吳。到昭關。索隱曰。其關在西江。乃吳楚之境。昭關欲執之。伍胥遂與勝獨身步

走。幾不得脫。追者在後。至江。江上有一漁父乘船。知伍胥之急。

乃渡伍胥。伍胥既渡。解其劍曰。此劍直百金。以與父。父曰。楚國

之法。得伍胥者。賜粟五萬石。爵執珪。豈徒百金劍邪。不受。伍胥

剛戾忍詢ハ、方苞曰、
詢ハ尋ナリ、春秋傳ニ
余不忍其詢トアリ。

二子^チ則生^キ不能^ヘ則死^{セント}。伍奢曰。尚爲^リ人仁^ト。呼必來^{ラン}。員爲^リ人剛戾忍^ノ。

詢^チ。音火詬反。○索隱曰。鄒氏作詬。詬。罵也。音近。能成^シ大事^チ。彼見來之并禽^{セラルルチ}其勢必不來^{ゾト}。王

不聽^カ。使人召^ツ二子^チ。曰來吾生^{サン}汝父^ニ。不來^{ヘンズラ}今殺奢也^{サントチ}。伍尚欲往^{ント}。員

曰。楚之召我兄弟^チ。非欲^{スルニ}以生^{スチ}我父^ニ也。恐有^ル脫者^チ。後生患^チ。故以父^チ

爲質^シ。詐召^ス二子^チ。二子到^ニ。則父子俱死^{ヤンニ}。何益^{セン}父之死^ニ。往^チ而令^{ムルニ}讎不^レ

得報^{ルチ}耳。不如^カ奔^リ他國^ニ。借力^チ以雪父之恥^チ。俱滅無爲^ス也。伍尚曰。我

知^ル往終不能^{ルチ}全^{スル}父命^ニ。然恨^{レドモム}父召^{シテ}我以求生^ム而不往^カ。後不能^{ルチ}雪恥^チ。

終爲^{ルチ}天下笑^ト耳。謂員可去^ル矣。汝能報殺父之讎^ニ。我將歸死^{セント}。尚既^ニ

就執^ク。使者捕^フ伍胥^チ。伍胥貫^{ヘリ}弓執矢嚮^フ使者^ニ。貫鳥還反。○索隱曰。劉氏貫音彎。又音古患反。謂滿張弓。

使者不敢進^テ。伍胥遂^グ入^キ。聞太子建之在宋^ニ。往從^フ之^ニ。奢聞^ク子胥之

無忌又日夜言太子短於
王云云、且欲入爲亂矣
至ルマデ、無忌諱ス
ルノ辭ナリ。

且爲楚憂云云、憂ハ愁
思ナリ、患ハ禍難ナリ。

己^ヲ乃^ラ因^テ讒^ス太子建^ヲ建^ヲ母蔡女也。無寵於平王。平王稍益疏^シ建^ヲ使^ス

建^ヲ守^ル城^ヲ父^ヲ。

駟案地理志。潁川有城父縣。○索隱曰。城父。本陳邑。楚伐陳而有之。

備^ヘ邊^ニ兵^ヲ頃^シ之^ヲ。無忌又日夜言^フ

太子短^ヲ於^ニ王^ニ曰^ク太子以^テ秦女^ヲ之^ヲ故^ニ。不^レ能^キ無^レ怨^ミ望^ミ。願^フ王少^ク自^ミ備^ヘ也^ヲ。

自^ニ太子居^リ城^ニ父^ニ將^ル兵^ヲ。外^ニ交^ル諸^ニ侯^ニ。且^ツ欲^ス入^テ爲^シ亂^ヲ矣。平王乃召^シ其^ノ太

傅^ヲ伍奢^ヲ考^ス問^フ之^ヲ。伍奢知^ル無^レ忌^ヲ讒^ス太子^ヲ於^ニ平王^ニ。因^テ曰^ク王獨^リ奈^ニ何^ヲ以^テ

讒^ス賊^ヲ小^ニ臣^ニ。疏^{ズル}骨^ヲ肉^ヲ之^ヲ親^ヲ乎。無忌曰^ク王今不^レ制^セ。其^ノ事^ヲ成^ル矣。王且^ニ見^{ント}

禽^セ。於^ニ是^ニ平王怒^リ囚^メ伍奢^ヲ。而^{シテ}使^シ城^ニ父^ニ司^ス馬^ヲ奮^テ揚^テ往^テ殺^ス太^ヲ子^ヲ。

索隱曰。奮揚。城

父司馬之姓名也。

行^キ未^ダ至^リ。奮^テ揚^テ使^シ人^ヲ先^ニ告^グ太^ヲ子^ヲ。太^ヲ子急^ニ去^リ。不^レ然^ラ將^シ誅^ス太^ヲ子^ヲ。

建^ヲ亡^シ奔^リ宋^ニ。無忌言^フ於^ニ平王^ニ曰^ク伍奢有^ニ二^ノ子^ヲ。皆^ニ賢^ニ。不^レ誅^セ且^ニ爲^シ楚^ノ憂^ヲ。

可^シ以^テ其^ノ父^ヲ質^シ而^{シテ}召^ス之^ヲ。不^レ然^ラ且^ニ爲^シ楚^ノ患^ヲ。王使^シ使^ヲ謂^フ伍奢^ヲ曰^ク能^ク致^ス汝^ヲ

史記評林卷之六十六

伍子胥列傳第六

倒序世系

伍子胥者楚人也。名員。員父曰伍奢。員兄曰伍尚。其先曰伍舉。

以直諫事楚莊王。

索隱曰。舉直諫。見左氏楚世家。

有顯故其後世有名於楚。楚平

王有太子名曰建。

索隱曰。左氏

使伍奢爲太傅。費無忌爲少傅。

索隱曰。左氏作費無極。

無

費無忌爲少傅、索隱曰、左氏作費無極、錢大昕曰忌極聲相近シ。

總案

忌不忠於太子建。

禍根

平王使無忌爲太子取婦於秦。秦女好。無忌

馳歸報平王曰。秦女絕美。

ナリ

王可自取而更爲太子取婦。平王遂

自取秦女而絕愛幸之。

生ム

生子軫。更爲太子取婦。無忌既以秦女

自媚於平王。

因去太子而事平王。

揣摩無忌心中事

恐一旦平王卒而太子立殺

索隱述贊曰。孫子兵法。一十三篇。美人旣斬。良將得焉。則孫臏。鄒。等策。龐涓。吳起。相魏。西河。稱賢。慘礪事楚。死後畱權。

ル所ハ皆別事ナリ、孫臏齊ニ在ル、田忌ノ客ノミ、其再ビ魏ヲ破ル、兵ヲ主ル者皆田忌也、故ニ詳ニ其兵謀ヲ著ス、此虛實ノ法ナリ、武ト起トノ書ハ世多ク有リ、論ニ於テ之ヲ見ハシ、臏ノ書ハ則チ傳アルナシ、故ニ傳ニ於テ世傳其兵法ト曰フト。

史記評林卷之六十五終

破馳說之言從橫者、馳說ハ即チ游說ナリ、從ハ縱ニシテ、たてナリ、通鑑胡三省注ニ南北チ從ト曰フ、從ハ南北チ連テ一ト爲シ、西向シテ以テ秦チ攢ス東西チ橫ト曰フ、橫ハ山東六國ノ交チ離チ、之ヲシテ西向以テ秦ニ事ヘシムルヲ謂フ。南平百越、百越ハ一種ニ非ザルチ言フ、猶百蠻ト曰フ如シ。

太史公曰云云、方苞曰、孫武吳起兵ヲ論ズル具サニ書アリ、闔廬楚チ破リ鄢ニ入リ、北齊チチ威ス、武與チ力アリ、楚悼王南百越チ平ゲ、北陳蔡チ併セ、三晉チ卻ケ、西秦チ伐チ、以テ起チ相トス、必チ武ト起トノ戰功、必シモ言ハズ、故ニ虚語チ以テ總括シ、而テ載ス

遠者。以撫養戰鬪之士。要在彊兵破馳說之言。從橫者。於是南平百越。北并陳蔡。卻三晉。西伐秦。諸侯患楚之彊。故楚之貴戚盡欲害吳起。及悼王死。宗室大臣作亂而攻吳起。吳起走之王尸而伏之。擊起之徒。因射刺吳起。并中悼王。索隱曰。楚系家。悼王名疑。悼王既葬。太子立。索隱曰。肅王。賊也。乃使令尹盡誅射吳起而并中王尸者。坐射起而夷宗死者七十餘家。

太史公曰。世俗所稱師旅。皆道孫子十三篇。吳起兵法世多有。故弗論。論其行事所施設者。語曰。能行之者未必能言。能言之者未必能行。孫子籌策龐龐涓明矣。然不能蚤救患於被刑。吳起說武侯以形勢不如德。然行之於楚。以刻暴少恩。亡其軀。悲夫。

試延以公主ノ延ハ、延
キ聞ムルナリ。

君因召吳起而與歸云
云、田叔吳起ト共ニ已
ノ家ニ歸ルナリ、起ニ
公主ノ怒ツテ田叔ヲ輕
賤スルヲ見セシムル爲
ナリ。

乎。屬^{セン}之^チ於^ニ我^ニ乎。起默然良久。曰。屬^{セン}之^チ子^ニ矣。文曰。此^レ乃^ニ吾^ニ所以^ニ居^ル子^ニ之上^ニ也。吳起乃自知弗^ル如^カ田文。田文既死。公叔爲^ル相。索隱曰。韓之公族。尙^{シテ}魏^ノ公主^ニ而害^{トス}吳起^チ。公叔之僕曰。起易去也。公叔曰。奈何。其僕曰。吳起爲^リ人^ト。節廉而自喜^ム名^チ也。君因先與武侯言曰。夫吳起賢人也。而侯之國小。又與彊秦壤界。臣竊恐起之無^キ畱^チ心^ト也。武侯卽曰。奈何。君因謂武侯曰。試延以公主起有^{ラズ}畱^チ心^ト。則必受^ン之^チ。無^ニ畱^チ心^ト。則必辭矣。以此卜之。君因召吳起而與歸。卽令公主怒而輕^ン君^チ。吳起見公主之賤^ム君^チ也。則必辭。於是吳起見公主之賤^ム魏^ノ相^チ。果辭^ス魏^ノ武侯。武侯疑之而弗^ル信也。吳起懼得罪^ン遂去^ル。卽之楚。楚悼王素聞起賢。至則相^{トス}楚。明法審令。捐不急之官。廢公族疏

瓚曰。今河南城爲直之。皇甫謐曰。壺關有羊腸阪。在太原晉陽西北九十里。索隱曰。劉氏按紂都朝歌。今孟山在其西。今言左則東邊別有孟門也。

右太行。常山在其北。太河經其南。修政不德。武王殺之。由此觀之。在德不在險。若君不修德。舟中之人盡爲敵國也。

揚子法言曰。美哉言乎。使起之用兵。每若斯。則太公何以加諸。

武侯曰。善。卽封吳起爲

西河守。甚有聲名。魏置相。相田文。索隱曰。呂氏春秋作商文。吳起不悅。謂田文

曰。請與子論功。可乎。田文曰。可。起曰。將三軍。使士卒樂死。敵國

不敢謀。子孰與起。文曰。不如子。起曰。治百官。親萬民。實府庫。子

孰與起。文曰。不如子。起曰。守西河。而秦兵不敢東鄉。韓趙賓從

子孰與起。文曰。不如子。起曰。此子三者皆出吾下。而位加吾上。

何也。文曰。主少國疑。大臣未附。百姓不信。方是之時。屬之於子

親襄贏糧、贏ハ、漢書
刑法志ニ、贏三日之糧、
註ニ擔負ナリト見ユ。

以吳起善用兵廉平盡能
得士心ハ、董份曰李克
謂フ、起食ニシテ色ナ
好ム、而テ此ニ其廉平
ナ言ヒ、又節廉ト云フ、
豈其性本ト食ニシテ、
而功名ヲ立ント欲スル
ニ因リ、故ニ自ラ矯勉
スル耶ト。

平之爲人^ル也。然用兵^ル。司馬穰苴不能過也。於是魏文侯以爲將^ト。擊秦拔

五城^チ。起之爲將^ル。與士卒最下者^{ナル}同衣食^ヲ。臥不設席^ケ。行不騎乘^セ。親

裹贏糧^シ。與士卒分勞苦^ツ。卒有病疽者^ム。起爲吮之^フ。○索隱曰。吮音弋。輒反。又才輒反。卒母

聞而哭之^ス。人曰。子卒也。而將軍自吮其疽^フ。何哭爲^ソ。母曰。非然也^ル。

往年吳公吮其父^フ。其父戰不旋踵^ヤ。遂死於敵^ス。吳公今又吮其子^フ。

妾不知其死所^ヲ矣。是以哭之^ス。文侯以吳起善用兵^ビ。廉平盡能^シ。得

士心^ヲ。乃以爲西河守^ト。以拒秦韓^ヲ。魏文侯既卒^ス。起事其子武侯^ニ。武

侯浮西河而下^ル。中流顧而謂吳起^ニ曰。美哉乎山河之固^メ。此魏國

之寶也。起對曰。在德不在險^ニ。昔三苗氏左洞庭^ニ。右彭蠡^ニ。德義不

修^メ。禹滅之^ス。夏桀之居左河濟^ニ。右泰華^ニ。伊闕在其南^ニ。羊腸在其北^ニ。

魯人或惡吳起ノ惡ハ、
烏各反ニシテ、アシク
言フナリ。

遂事曾子云云ハ、皆川
淇園曰、曾子是時蓋武
城ニ居ル、事孟子ニ見
ユ、武城ハ魯地ト雖モ、
然モ魯ノ國都ニ非ズ、
起乃之魯ハ、魯ノ國都
ニ之キシナリト。
學兵法以事魯君ハ、董
份曰、魯人之ヲ惡スル
者、必之ヲ君ニ惡スル
ナリ、宜シク魯君ノ字
ヲ用フベカラズ。

以明不與齊也。魯卒以爲將。將而攻齊。大破之。魯人或惡吳起。
曰。起之爲人。猜忍人也。其少時。家累千金。游仕不遂。遂破其家。
鄉黨笑之。吳起殺其謗己者三十餘人。而東出衛郭門。與其母
訣。齧臂而盟。曰。起不爲卿相。不復入衛。遂事曾子。居頃之。其母
死。起終不歸。曾子薄之。而與起絕。起乃之魯。學兵法。以事魯君。
魯君疑之。起殺妻以求將。夫魯小國。而有戰勝之名。則諸侯圖
魯矣。且魯衛兄弟之國也。而君用起。則是棄衛。魯君疑之。謝吳
起。吳起於是聞魏文侯賢。欲事之。文侯問李克曰。吳起何如人
哉。李克曰。起貪而好色。
索隱曰。王劭云。此李克言吳起貪。下文云。魏文侯知起廉。盡能得士心。又公叔之僕。稱起爲人節廉。豈前貪而後廉。
何言之相反也。今李克言起貪者。起本家累千金。破產求仕。非實貪也。蓋言貪者。是貪榮名耳。
故母死不赴。殺妻將魯是也。或者起未委質於魏。猶有貪迹。及其見用。則盡廉能。亦何異乎陳

かかまどナリ、日ニ之
チ滅ジテ、龐涓チシテ
士卒ノ逃亡スル如ク思
ハシメシナリ。

我固知^ト齊軍怯^{ナム}入^リ吾地^ニ三日士卒亡者過半矣。乃棄^テ其步軍^ヲ與^ニ

應前百里趣利厭上將

其輕銳倍^シ日并^ニ行逐^フ之。孫子度^ル其行^ヲ暮當^ニ至^ル馬陵^ニ。馬陵道狹^ク而

旁多^シ阻隘^ニ可^レ伏^ス兵。乃斫^チ大樹^ヲ白^シ而書^シ之曰。龐涓死^セ于此樹之下^ニ。

於是令^ム齊軍能射^ル者萬弩夾^シ道而伏。期^シ曰暮見^テ火舉^ル而俱發^セ。龐

涓果夜至^リ斫^ル木下^ニ見^ル白書^ヲ乃鑽^リ火燭^ス之讀^ミ其書^ヲ未畢^テ齊軍萬弩

俱發^ス魏軍大亂相失。龐涓自知^リ智窮^リ兵敗^ル乃自剄^ス曰遂成^{スト}豎子

之名^ヲ。索隱曰豎子謂廢。齊因乘^シ勝^ニ盡破^ル其軍^ヲ虜^シ魏太子申^ヲ以歸。孫臏以此

名顯^{ヘル}天下^ニ。結世傳^ル其兵法^ヲ。相與首句應

吳起者衛人也。好用^フ兵。嘗學^ビ於^ニ曾子^ニ。事^フ魯君^ニ。齊人攻^ム魯^ヲ魯欲^シ將^ト

吳起^ヲ。吳起取^テ齊女^ヲ爲^レ妻。而魯疑^フ之。吳起於是欲^シ就^{ント}名^ヲ遂殺^シ其妻^ヲ。

止。則彼自爲解兵也。今梁趙相攻。輕兵銳卒。必竭於外。老弱罷於內。君不若

引兵疾走大梁。據其街路。衝其方虛。彼必釋趙而自救。是我一

舉解趙之圍。而收弊於魏也。索隱曰。謂齊今引兵。據大梁之衝。是衝其方虛之時。梁必釋趙而自救。是一舉釋趙而弊魏。田

忌從之。魏果去邯鄲。與齊戰於桂陵。大破梁軍。後十五年。索隱曰。王

劭按紀年。梁惠王十七年。齊田忌敗梁桂陵。至二十年。七年十二月。齊田盼敗梁馬陵。計相去無十三歲也。魏與趙攻韓。韓告急於齊。

齊使田忌將而往。直走大梁。魏將龐涓聞之。去韓而歸。齊軍既

已過而西矣。孫子謂田忌曰。彼三晉之兵。素悍勇而輕齊。齊號

爲怯。善戰者因其勢而利導之。兵法百里而趣利者。蹶上將。伏後輕銳倍日并行案魏

帝曰。蹶。猶挫也。○索隱曰。蹶。五十里而趣利者。軍半至。使齊軍入魏地。爲

十萬竈。明日爲五萬竈。又明日爲三萬竈。龐涓行三日。大喜曰。

チ言フ、此二句當ニ舊語ニシテ、孫子之チ引キシナルベシ、注ノ此當是舊語云云ハ、宜シク此注ニ入ルベシ。批元據虛云云、批ハ擊ナリ、亢ハ喉ナリ、ソノ要處ヲ擊ツチ言フ、擣ハ衝ナリ、虛ハ空ナリ、其備ヘザルチ攻ムルチ言フ、元チ批シ虛ヲ擣ケバ、則形相格シテ、而テ勢自ラ止リ、解カザルチ得ザルナリ、格ハ抵牾ナリ、差闕チ謂フ。後十五年ハ、五當ニ三ニ作ルベシ。

五十里而趣利者軍半至ハ、前後相屬カズシテ、半至ラザルチ謂フ。使齊軍入魏地、爲十萬竈云云、竈ハ兵糧チ炊

拂ル所ナク、彼自ラ獨
悟アリト言ヘバ、則其
瑕隙ヲ攻ムルナキ也ト。

直指是非以飾其身ハ、
方苞曰、飾當ニ飭ニ作
ルベシ、直ニ是非ヲ指
シテ、以テ其君身ヲ匡
飭スルヲ謂フト、飭ハ
正ナリ。

如此其汙也ノ下、韓非
子ニ、今以三言ニ爲ニ宰
嚚一而可ニ以聽用而振一
レ世ノ二句アリ、又設テ
恥ニ作ル、則解シ易シ、

知焉。此所以親近不疑。

正義曰。拂悟。當爲拂忤。古字假借耳。拂。違也。忤。逆也。言大忠之事。擬安民興化事在匡弼君。初亦不擊排。乃後周澤徐廣曰。知一作得。難一作辭。○索隱曰。謂人臣盡知事上之道。難也。韓子

霑濡。君臣道合。乃敢辯智說焉。此所以親近而不見疑。是知盡之難。

知盡之難也。

作得盡之辭。○正義曰。言說士知談說之難也。爲能盡此談說之道。得當入主之心。臣臣相合。乃是知盡之難也。

得曠日彌久而周澤既

渥。索隱曰。謂君臣道合。曠日已久。誠著於君也。君之渥澤。周浹於臣。魚水相須。鹽梅相和也。

深計而不疑。交爭而不罪。迺

明計利害。以致其功。直指是非。以飾其身。以此相持。此說之成

也。正義曰。夫知盡之難。則君臣道合。故得曠日彌久。而周澤既渥。深計而君不疑。與君交爭而不罪。而得明計國之利害。以致其功。直指是非。任爵祿於身。以此君臣相執持。此說之

成也。伊尹爲庖。正義曰。殷本紀云。乃爲有莘氏媵臣。負鼎俎。以滋味說湯。致王道。是也。

百里奚爲虜。

正義曰。晉世家云。襲滅虞公。及

大夫百里。以媵秦穆姬也。

皆所由于其上也。故此二子者。皆聖人也。猶不能無

役身而涉世。如此其汙也。

正義曰。汙。音烏。故反。庖。虜是汙。

則非能仕之所設也。

索隱曰。韓

子作能士之所恥也。

宋有富人。天雨牆壞。其子曰。不築且。有盜其鄰人之父

當ニ史ニ作ルベシ、本
書難言焉ニ捷敏辯給、
繁於文采、則見以爲史
トアリ。
慮事廣肆ハ、方苞曰、
事ナ慮ル周備ニシテ、
而テ徧ク之ヲ陳ブルナ
リ。
彼自知其計云云ハ、知
ハ智ナリ、韓非子智ニ
作ル、舊注曰、彼或ハ自
ラ計謀ヲ以テ智ト爲セ
ル、則其先ニ因テ敗ル
ル所ヲ以テ、而テ之ヲ
窮屈スルヲ得ル無シト。

大忠無所拂辭悟言無所
擊排ハ、方苞曰、大忠
悟言、皆說ク所ノ人ヲ
謂フ、彼自ラ以テ其忠
信ト爲セバ、則之ニ應
ズル響ノ如ク、而テ辭

此說之難不可不知也。凡說之務。在知飾所說之所敬。而滅其

所醜。索隱曰。所說謂所說之主也。飾其所敬者。說士當知人主之所敬。而時以文飾之。滅其所醜。謂人主有所避諱而醜之。遊說者當滅其事端而不言也。彼自

知其計。則無以其失窮之。正義曰。前人自知其失誤。說士自勇其斷。則

無以其敵怒之。索隱曰。謂人主自勇其斷。說士無以己意而攻閉之。是以卑下之謀。自敵於上。以致譴怒也。○正義曰。斷音端。亂反。劉伯莊云。貴人斷甲

爲是。說者以乙破之。乙之理難同。怒以下敵上也。自多其力。則無以其難概之。氏云。秦昭王決欲攻

趙。白起苦說其難。遂己之心。拒格君上。規異事與同計。譽異人與同行者。則

以飾之無傷也。正義曰。劉伯莊云。貴人與甲同計。與乙同行者。說士陳言無傷甲乙也。有與同失者。則明飾

其無失也。索隱曰。案上文。言人主規事譽人。與人同計同行。今說者之詞。不得傷於同計。同行之人。仍可文飾其類也。又若人主與同失者。而說者則可明飾其無失也。

○正義曰。人主與甲同失。說者文飾甲之無失。大忠無所拂辭。索隱曰。拂音佛。大忠志在匡君於善。君初不

於君。悟言無所擊排。索隱曰。謂大忠說諫之詞。本欲歸於安人。與迺後申其辯也。化。亦無別有所擊射排擯。按韓子作擊摩。

アリ、避諱スル所アリ
テ、託スルニ他故ナリ
テス、而テ說者深ク其
事ヲ知ルナリ。

故曰與之論大人則以爲
閒已注乃爲刺譏聞、韓
非子集解之ヲ引キ、閒
下之字アリ。

論其所愛則以爲借貸、
方也曰、資ヲ愛スル所
ニ借ルト爲スナリ。

汎濫博文則多而久之
ハ、凌推陸曰、其多ヲ
厭ウテ其久ニ倦ムナリ
ト、韓非子米鹽博辯則
以爲多而交之ニ作ル、
錢大昕曰、天官書ニ、
凌雜米鹽、正義云、米
鹽細碎也ト、韓非子舊
注云、博ク細雜ノ物ヲ
明ニスレバ、則已多ク
合セテ、猥ニ之ニ交ル
ト謂フ、顧廣圻曰、案
ニ、交久二字皆誤ル、

說者身
亡危。彊^{フルニ}之以^シ其所^ヲ必不爲^ス。索隱曰。劉氏云。若項羽本紀必欲衣錦東歸。而說者

反。人主必不欲有爲^ヲ。而說者彊^{フルニ}余爲^ス之。止^{ルニ}之以^シ其所^ヲ不能^ハ已^ム者身危。索隱曰。劉氏云。若漢景帝

欲止之。竟不從其言。後遂下獄也。○正義曰。人主已營爲。而說者彊止之者身危。故曰。與之論^ズ大人。則以爲閒已^{スト}。正

曰。閒音紀。竟反。說彼大人之短。以爲竊己之事情。乃爲刺譏閒也。與之論^ズ細人。則以爲鬻權^{ゲト}。索隱曰。韓子粥權。

微之人。言堪大用。則疑其挾詐而賣我之權。○正義曰。鬻音育。劉伯莊云。論則疑其挾詐賣己之權。論其所愛。則以爲借貸^ト。正義

人主愛行。人主以爲借己之資籍也。論其所憎。則以爲嘗己^{ムト}。正義曰。論說人主所謂憎惡。人主則以爲嘗試於己也。徑省^{ズレバ}

其辭。則不知而屈之^ス。索隱曰。謂人主意在文華。而說者但徑捷。省略其辭。汎濫

博文。則多而久之^ヲ。索隱曰。謂人主志在簡要。而說者務於浮辭汎濫。博涉文華。則

句也。言浮說廣陳。必多詞。順事陳意。則曰怯懦而不盡^ト。正義曰。懦音乃。亂反。

理。時乃永久。人主疲倦。意。則或怯懦而不盡。事情也。慮事廣肆。則曰草野而倨侮^ト。正義曰。草野。猶鄙陋也。廣陳言

未必其身泄之也云云ハ、方苞曰、必其事ヲ泄スニ心アラズ、而偶マ語其匿ス所ニ及ブ、亦危ヲ免レザルナリ。

周澤未渥也而語極知ハ、方苞曰、極知ハ盡ク其事ト心トノ隱ヲ知ルナリト。德行而有功則三德亡、德亡ハ、索隱韓非子ナ引テ、見忘ニ作ルト云ヒ、併テ德亡ニ勝ルト云フ、是ナリ、王先慎曰、亡忘古字通ズト。

彼顯有所出事迺自以爲也故說者與知焉ハ、韓非子也ナリ他ニ作リ、故字上ニ屬シ、他故ト爲ス、他故ハ他事也、說ク所ノ人、出ス所ノ事

高說之以厚利。則陰用說者之言。而顯不收其身。說士不可不察。

此之不可不知也。夫事以密成。語以泄

敗。未必其身泄之也。而語及其所匿之事。

正義曰。事多相類。語言或說其相類之事。前人覺悟便成。

漏泄。故

如是者身危。貴人有過端。而說者明言善議。以推其惡者。

推字對端字看

則身危。

正義曰。人主有過失之端緒。而引美善之議。以推人主之惡。則身危。

周澤未渥也。而語極知。

正義曰。渥。霑濡。

也。人臣事君。未滿周至之恩澤。而說事當理。事行有功。君不以爲恩德。故德亡。

說行而有功。則德亡。說不行而有

敗。則見疑。如是者身危。

索隱曰。謂人臣事上。其道未合。至周之恩。未沾渥於下。而輒吐誠極知其道。說有功則其德亦亡。亡。無也。韓子作則

見忘。然見忘勝於德亡也。又若說不行而有敗。則見疑。如是者身危。此恩意未深。輒評時政。不爲所信。更致嫌疑。若下文所云。鄰父人以牆壞有盜。卻爲見疑。卽其類也。○正義曰。說事不行。

或行有敗壞。則必致危殆。若此者身危也。

夫貴人得計。而欲自以爲功。說者與知焉。則身

危。正義曰。與音預。人主先得其計。已功。說者知前發其蹤跡。身必危亡。

彼顯有所出事。迺自以爲也。故說者

與知焉。則身危。

索隱曰。謂人主明有所出事。乃自以爲功。而說者與知是。則以爲聞。故身危。○正義曰。人主明所出事。乃以有所營爲。說者預知其計。而

又非吾辯之難ノ難ハ、
韓非子ニナシ、蓋衍字
ナリ、非下吾辯レ之能明ニ
吾意之難上也ニ作ルベ
シ。
又非吾敢横失能盡之難
也ハ、韓非子失下而字
アリ、顧廣圻曰、失當
ニ索隱ニ依リ佚ニ作ル
ベシ、下文然後極勝ニ
智辯焉ト云フ、即此句
ノ義ナリ、極勝智辯ハ、
韓非子ノ文ニシテ、史
記ハ適復申其辯知焉ニ
作ル、錢大昕曰、失古
ノ軼字ト、佚軼皆放佚
ノ義ナリ。
則見下節而遇卑賤ハ、
韓非子舊注ニ、彼則已
ノ志節凡下ト爲シ、
而テ卑賤ヲ以テ相遇ス
ルニ作ル、則見遇共ニ
るト讀ムベシ。

詞理能盡說己之情。凡說之難。在知所說之心。可以吾說當之。索隱曰。此雖是難。尚非極難。

劉氏云。

關說之難。正在於此也。按說之心者。謂人君之心也。言以人臣疎末射尊重之意。貴賤隔絕。旨趣難知。自非高識。莫近幾會。故曰說之難也。乃須審明人主之意。必以說合其情。故云吾說當之也。○正義曰。前者三說。並未爲難。凡說之難者。正在於此。言深辨知前人意。可以吾說當之。關與前人心會。說則行。乃是難矣。

所說出於爲名高

者也。而說之以厚利。則見下節而遇卑賤。必棄遠矣。

索隱曰。謂所說之主。中心

本出欲立高名者也。說臣乃陳厚利。是其見下節也。既不會高情。故遇卑賤。必棄遠矣。劉氏云。稽古義黃祖述堯舜。是爲名高也。

所說出於厚利者

也。而說之以名高。則見無心而遠事情。必不收矣。

索隱曰。亦謂所說之君。出意本規厚

利。而說臣乃陳名高之節。則是說者無心。遠於我之事情。必不收用也。故劉氏云。若秦孝公志於疆國。而商鞅說以帝王。故怒而不用也。

所說實爲厚利

而顯爲名高者也。

索隱曰。韓子實字作陰。顯者。陽也。謂其君實爲厚利。而詐作欲爲名高之節也。○正義曰。前人必欲厚利。詐慕名高。則陽收其說。實

疎遠

而說之以名高。則陽收其身。而實疏之。若說之以厚利。則

陰用其言。而顯棄其身。

索隱曰。謂若下文云。鄭武公陰欲伐胡。而關其思極論深計。雖知說當。終遭顯戮也。○正義曰。前人好利厚。詐慕名

所用非所養索隱曰言人主臨事任用竝非常悲廉直悲字貫下不容於邪枉之臣

索隱曰又悲奸邪諂諛之臣不容廉直之士所祿養之士故難可盡其死力也觀往者得失之變正義曰韓非見王安不用忠良令國削弱故觀往古有國之君則得失之變異而作

韓子二十卷故作孤憤五蠹內外儲說林說難十餘萬言索隱曰此皆非所著書篇名也孤憤

憤孤直不容於時也五蠹蠹政之事有五也內外儲按韓子有內外儲說篇內儲言明君執術以制臣下利之在己故曰內也外儲言明君觀聽臣下之言行以斷其賞罰賞罰在彼故曰外也儲畜二事所謂明君也說林者廣說諸事其多若林故曰說林也今韓子有

說林上下二篇說難者說前人行事與己不同而詰難之故其書有說難篇然韓非知

說之難為說難書甚具終死於秦不能自脫說難曰索隱曰說音稅難音奴干

反言游說之道為難故曰說難其書詞甚高故特載之然此篇亦與韓子微異煩省小不同劉伯莊亦申其意粗釋其微文幽旨故有劉說也凡說之難非

吾知之有以說之難也正義曰凡說難識情理不當人主之心恐犯逆鱗說之難知故言非吾知之有以說之乃為難又非

吾辯之難能明吾意之難也正義曰能分明吾意以說之又非吾敢橫

失能盡之難也索隱曰韓子橫失作橫佚劉氏云吾之所言無橫無失陳辭發策能盡說情此雖是難尚非難也○正義曰橫擴孟反又非吾敢有橫失

非吾知之有以說之難也ハ、方苞曰、吾其事ノ成敗利鈍ヲ知テ、而テ術以テ之ヲ處スル有ルノ難キニ非ザル也、顧廣圻曰、首三句、三吾字皆說者ヲ吾トスルナリ、下之所說ト相對ス、王先慎曰、凡說之難四字ハ、一篇ヲ總挈ス、非吾三句ハ、又說難ノ本意ヲ別テ、再ビ凡說之難ヲ以テ正文ヲ引起スナリ。

蓋名二循口實ヲ實ナルノ謂ナリ、韓非喜刑名法術之學、商君列傳少好刑名之學、義皆同ジ。

韓非者。

正義曰。阮孝緒七略云。韓子二十卷。韓世家云。王安五年非使秦。九年虜王安。韓非亡。

韓之諸公子也。喜刑名

法術之學。

新序曰。申子之書。言人主當執術。無刑因循以督責臣下。其責深刻。故號曰術。商鞅所爲書號曰法。皆曰刑名。故號曰刑名法術之書。○索隱曰。著書三十餘篇。號曰韓子。

而其歸本於黃老。

綱領

索隱曰。劉氏云。黃老之法。不尙繁華。清簡無爲。君臣自正。韓非之論。詆駁浮淫。法制無私。而名實相稱。故曰歸於黃老。斯未爲得其本旨。今按韓子書有。

解老喻老二篇。是大抵亦崇黃老之學也。

非爲人口吃。

正義曰。音訖。

不能道說而

善著書。與李斯俱事荀卿。

正義曰。孫卿子二十二卷。名況。趙人。楚蘭陵令。避漢宣帝諱。改姓孫也。

斯自以爲

不如非。非見韓之削弱。數以書諫韓王。

索隱曰。韓王安也。

韓王不能用。於

是韓非疾治國。

疾字貫下

不務修明其法制。執勢以御其臣下。富國彊兵。

而以求人任賢。反舉浮淫之蠹。而加之於功實之上。以爲儒者

用文亂法。而俠者以武犯禁。寬則寵名譽之人。急則用介冑之

士。

正義曰。介。甲也。冑。堦。發也。

今者所養非所用。

索隱曰。言非疾時君以祿養其臣者。乃皆安祿養交之臣。非勇悍忠梗。及折衝禦侮之人也。

於是韓非疾治國云云ハ、皆川淇園曰、疾以下非所養ニ至ルハ、五蠹ナリ、悲廉直一句ハ孤憤ナリ、觀往者一句ハ内外儲說林說雖ナリト。

千古確言

轉語用以爲二字

ルナリ、穢ハいけにヘ
ナリ、郊祭ニ用フル穢
牛ハ、之ヲ養フ數歲ニ
シテ、衣スルニ文繡アル
衣ヲ以テス、其時ハ
榮華ノ如クナレドモ、
太廟ニ入テ宰割ニ遭フ
時ハ、孤ノ豚ト爲リテ、
生テ全クセント欲スル
モ得ザルナリ、人ノ仕
官スルモ是ノ如キニ喻
ヘシナリ。

申子之學本於黃老而主
刑名ノ刑名ハ、清王鳴
盛曰、刑ハ刑罰ノ刑ニ
非ズ、形ト同シ、古字
通用ス、刑名猶名實ト
言フ如シ、故ニ其論云、
申子卑卑施之名實ト、

時雖欲爲孤豚。豈可得乎。

索隱曰。孤。小也。特也。願爲小豚。不可得。○正義曰。子

亟去。

索隱曰。音棘。亟。猶急也。

無汚我。

索隱曰。汚。烏故反。

我寧游戲汚瀆之中自快。

索隱曰。汚瀆。音

鳥讀。潢汚

無爲有國者所羈。終身不仕。以快吾志焉。

正義曰。莊子云。莊子釣於濮水之上。

楚王使大夫往曰。願以境內累。莊子持竿不顧曰。吾聞楚有神龜。死三千歲矣。巾笥藏之廟堂之上。此龜寧死爲留骨而貴乎。寧生曳尾塗中乎。大夫曰。寧生曳尾塗中。莊子曰。往矣。吾將曳尾於塗中。與此傳不同也。

申不害者。京人也。

索隱曰。申子名不害。案別錄云。京。今河南京縣也。正義曰。按地志云。京縣故城。縣東南二十里。鄭之京邑也。

故鄭

之賤臣。學術以干韓昭侯。

索隱曰。術。卽刑名法術。

昭侯用爲相。內修政教。外

應諸侯。十五年終申子之身。國治兵彊。無侵韓者。

索隱曰。王劭按紀年。韓昭侯之世。兵

寇屢交。異

申子之學。本於黃老而主刑名。著書二篇。號曰申子。

綱領

劉向別錄

曰。今民間所有上下二篇中書六篇。皆合二篇已備。過太史公所記也。正義曰。阮孝緒七略云。申子三卷也。

亢桑子之屬ハ、錢大昕曰、亢桑即庚桑ナリ、亢音剛、庚ト聲相近シ。

善屬書離辭ハ、方苞曰、屬ハ連屬ナリ、書ハ文字ナリ、莊子ノ文、已ノ意ヲ以テ二字ヲ連合シ、而テ他書ニ見レザル者甚多シ、所謂善ク書チ屬スルナリ、離ハ屬ナリ、辭ト事トナシテ相附麗セシムルナリ。

雖當世宿學不能自解免也ハ、當時ノ宿儒碩學ト雖モ、自ラ辯解シテ免ル能ザルヲ謂フ、洗洋ハ水ノ深廣ナル貌ナリ、是ヨリ上ハ、其學ヲ敘シ、下ハ其事ヲ子獨不見郊祭之犧牛乎云云、郊祭ハ天地ヲ祭

脰音祛。亦有音去。餽音去刼反。○正義曰。脰音丘魚反。餽音苦煩反。脰開也。餽箱類也。此莊子三篇名。皆誣毀自古聖君賢臣孔子之徒。營求名譽。咸以喪身。非抱素任真之道也。以

詆訛孔子之徒。索隱曰。詆音邸。訛音訾。謂詆訐毀訾孔子也。以明老子之術。畏累虛。亢桑

子之屬。皆空語。無事實。索隱曰。按莊子。畏累虛篇名也。卽老聃弟子畏累。鄒氏畏音於鬼反。累音壘。劉氏畏音烏罪反。累路罪反。郭象云。今

東萊也。亢音庚。亢桑子。王劭本作庚桑。司馬彪云。庚桑。楚人姓名。○正義曰。莊子云。庚桑楚者。老子弟子。北居畏累之山。成瑨云。山在魯亦云在深州。此篇寄庚桑楚。以明至人之德。衛生之經。若槁木無情。死灰無心。禍福不至。惡有人災。言莊子雜篇庚桑楚已下。皆空設言語。無有實事也。然善屬書離辭。正義曰。屬音燭。離辭猶力折其辭句也。

也。指事類情。用剝剝儒墨。正義曰。剝正妙反。剝猶攻擊也。雖當世宿學不能自解

免也。其言洗洋自恣以適己。索隱曰。洗洋音汪洋二字。又音晃養。又作瘡。○正義曰。洋音翔。己音紀。故自王

公大人不能器之。楚威王聞莊周賢。正義曰。威王當周顯王三十年。使使厚幣迎

之。許以爲相。莊周笑謂楚使者曰。千金重利。卿相尊位也。子獨

不見郊祭之犧牛乎。養食之數歲。衣以文繡。以入太廟。當是之

號ス、故ニ其傳老子ト相混ズ、而テ太史公老子ヲ正言シテ隱君子トナス、衆說ノ荒怪ヲ破ル所以ナリ、且僞老萊子ト別ニ二人タルヲ見ハスナリ。

李耳無爲自化云云ハ、方苞曰、此書ヲ著シ道徳ヲ言フ者、乃李耳ニシテ、而テ老萊子太史僞ハ別ニ二人タルヲ言フナリト、案ニ此二句、宋篇太史公自序贊語ト全ク同ジ、或ハ後人此ニ攪入スル歟。

大抵率寓言也注、索隱二說ヲ擧グ、寓寄ナリ、後說從フベシ、其文空語無事實ナリ。

何必段。宗子注。索隱曰。音鑄。○正義曰。之樹反。注子宮。宮玄孫假。索隱曰。音古雅反。正義曰。作瑕。音霞。假仕於

漢孝文帝。而假之子解。爲膠西王卬太傅。因家于齊焉。世之學

老子者。則絀儒學。索隱曰。案絀音黜。黜退而後之也。儒學亦絀。老子道不同。不相爲

謀。豈謂是邪。李耳無爲自化。清靜自正。索隱曰。太史公因其行事。於當篇之末。結以此言。亦是贊也。又云。此

是昔人所評老聃之德。故太史公引以記之。○正義曰。此都結老子之教也。言無所造爲而自化。清淨不撓而民自歸正也。

莊子者。蒙人也。地理志。蒙縣屬梁國。○索隱曰。劉向別錄云。宋之蒙人也。○正義曰。郭緣生述征紀云。蒙縣。莊周之本邑也。名周。周

嘗爲蒙漆園吏。正義曰。括地志云。漆園故城。在曹州冤句縣北十七里。此云莊周爲漆園吏。卽此按其城古屬蒙縣。與梁惠王

齊宣王同時。其學無所不闕。然其要本歸於老子之言。故其著

書十餘萬言。大抵率寓言也。索隱曰。大抵。猶言大略。其書十餘萬言。率皆立主客。使之相對語云。偶言又音寓。寓寄也。故別錄云。

又作人姓名。使相與語。是寄辭於其人。故莊子有寓言篇。○正義曰。率音律。寓音遇。率。猶類也。寓。寄也。作漁父。盜跖。胠篋。索隱曰。篋猶言開篋。

迎之。遂去。至於江南而止。曰。鳥獸之解毛。可續而衣。其遺粒足食也。著書十五篇。言道家之用。與孔子同時。

云。蓋老子百有六十餘歲。或言二百餘歲。

索隱曰。此前古好事者據外傳。以老子生年至孔子時。故

百六十歲。或言二百餘歲者。卽以周太史儋爲老子。故二百餘歲。○正義曰。蓋或皆疑辭也。世不的知。故言蓋及或也。玉清云。老子以周平王時見。衰於是云。孔子世家云。孔子問禮於老子。在周景王時。孔子蓋年三十也。去平王十二王。此傳云。儋卽老子也。秦獻公與烈王同時。去平王二十一王。說者不一。不可知也。故葛仙公序云。老子體于自然。生乎大始之先。起乎無因。經歷天地。終始不可稱載。以其修道而養壽也。自孔子死之後。百一十九年。

徐廣

周太子儋見秦獻公云云ハ、周本紀ニ詳ナリ。

曰。實一十九年。而史記周太史儋見秦獻公。曰。始秦與周合而離。離五百

歲而復合。合七十歲。而霸王者出焉。

索隱曰。周秦二本紀竝云。始周與秦國合。合而別。別五百載。又合。合七十

歲。霸王者出。然與此傳離合正同。尋其意義。亦竝不違。

或曰。儋卽老子。或曰。非也。世莫知其然否。

老子隱君子也。老子之子名宗。宗爲魏將。封於段干。

此云封於段干。段干。應是

老子隱君子也。方苞曰。老萊子老子ト時ナ同ウシ、而テ著書道家ノ要ナ言フ、周太史儋老子ト官サ同ウシ、嫁名ナ同ウシ、又前知ト

魏邑名也。而魏世家有段干木段干子。田完世家有段干朋。疑此三人。是姓段干也。本蓋因邑爲姓。左傳所謂邑亦如之。是也。風俗通氏姓注云。姓段。名干木。恐或失之矣。天下自別有段姓。

走者可以爲罔云云、罔ハ網ナリ、綸ハ釣絲ナリ、矰ハ矢ニ絲ヲ結ビ、鳥ヲ取ル具ナリ、鳥魚獸ハ網釣矢ニテ取ルベキモ、龍ニ至テハ捕捉スベカラザルヲ謂フ、茅坤曰、老子猶龍ハ能其見ル所ノ遠クシテ、物ノ外ニ逃ルルヲ以テナリト。

莫知其所終ハ、方苞曰、老子モト周襄フルヲ以テ、身ヲ隱シ遠ク去リ、其終ル所ヲ知ルナシ、而テ世人遂ニ以テ神仙者流ト爲スナリト、注服具勝實ハ、錢大昕曰、具勝疑ラクハ即チ巨勝ナリト、參同契注云、巨勝ハ胡麻ナリ、能年ヲ延ブル者ナリ。

知其能游獸吾知其能走走者可以爲罔游者可以爲綸飛者

可以爲矰至於龍吾不能知其乘風雲而上天吾今日見老子

其猶龍邪老子修道德其學以自隱無名爲務居周久之見周

之衰迺遂去至關正義曰抱朴子云老子西遊遇關令尹喜於散關爲喜著道德經一卷謂之老子或以爲函谷關括地志云散關在岐州陳倉縣東

南五十二里函谷關在陝州桃林縣西南十二里關令尹喜曰子將隱矣彊爲我著書索隱曰李尤函谷關

銘云尹喜要老子畱作此篇而崔浩以尹喜又爲散關令是也○正義曰彊其兩反爲子僞反於是老子迺著書上下篇言道德之意五千餘言而去莫知其所終列仙傳曰關令尹喜者周大夫也善內學星宿服精華隱德行仁時人莫

知老子西游喜先見其氣知真人當過候物色而迹之果得老子老子亦知其奇爲著書與老子俱之流沙之西服具勝實莫知其所終亦著書九篇名關令子○索隱曰列仙傳是劉向所記物色而迹謂視其氣物有異色而尋迹之又案列異傳老子西遊關令尹喜望見有紫氣浮關而老子果乘青牛而過也

或曰老萊子亦楚人也奇格

正義曰太史公疑老子或是老萊子故書之列仙傳云老萊子楚人當時世亂逃世耕於

蒙山之陽莞葭爲牆蓬蒿爲室杖木爲牀蓍艾爲席藟艾爲食攀山播種五穀楚王至門

終ノ句ニ應ズ、後隱君
子ノ句、自隱無名子將
隱矣ト相應ス、老子ノ
子一段ニ至テハ、則其
苗裔ニ據テ以テ其終ル
所ヲ究フル耳ト。
周守藏室之史也注、索
隱張湯傳ハ、一本張蒼
傳ニ作ル錢大昕曰蒼
傳但秦時御史ト爲リ、
柱下方書ヲ主ルト云
ヒ、未嘗テ老子ニ及バ
ズ、張湯傳ニ作ルハ尤
モ誤ル。
蓬累而行ハ、明余有丁
曰、蓬累ハ、蓬藋ヲ積累
スルヲ云フ、今ノ笠ノ
若ク然リト、蓬ハよも
ぎ、藋ハ箬ト同ジ、竹
皮ナリ。

聃耳漫也。故名耳。字聃。今作字伯陽。非正也。然老子號伯陽父。此傳不稱。○正義曰。聃耳漫無輪也。神仙傳云。外字曰聃。按字號也。疑老子耳漫無輪。故世號曰聃。室之史也。索隱曰。按藏室史。乃周藏書室之史也。又張湯傳。老子爲柱下史。即藏室之柱下。因以爲官名。○正義曰。藏在浪反。孔子適周。將

問禮於老子。索隱曰。大戴記亦云然。老子曰。子所言者。其人與骨皆已朽矣。

獨其言在耳。且君子得其時。則駕。不得其時。則蓬累而行。索隱曰。劉

氏云。蓬累猶扶持也。累音六水反。說者云。頭戴物。兩手扶之而行。謂之蓬累也。蓬蓋也。累隨也。以言若得明君。則駕車服冕。不遭時。則自覆蓋。相攜隨而去也。○正義曰。蓬沙磧上轉蓬也。累轉行貌也。言君子得明主。則駕車而事。不遭時。則若蓬轉流移而行。可止則止也。蓬其狀若蓬蒿細葉。蔓生於沙漠中。風吹則根斷。隨風轉移也。蓬蒿江東呼爲斜蒿云。吾聞

之。良賈深藏若虛。君子盛德容貌若愚。索隱曰。良賈謂善貨賣之人。賈音古。深藏謂隱其寶貨。不令人見。故

云若虛。而君子之人。身有盛德。其容貌謙退。有若愚魯之人然。嵇康高士傳亦載此語。文則小異。云良賈深藏。外形若虛。君子盛德。容貌若不足也。去子之驕氣

與多欲。態色與淫志。正義曰。姿態之容色與淫欲之志。皆無益於夫子。須去除也。是皆無益於子之身。

吾所以告子。若是而已。孔子去。謂弟子曰。鳥吾知其能飛。魚吾

史記評林卷之六十三

老莊申韓列傳第三

老子者

正義曰。珠韜玉機。及神仙傳云。老子。楚國苦縣瀨鄉曲仁里人。姓李。名耳。字伯陽。一名重耳。外字聃。身長八尺八寸。黃色美眉。長耳大目。廣額疎齒。方口厚唇。額有三五達理。日角月懸。鼻有雙柱。耳有三門。足蹈二五。手把十文。周時人。李母八十一而生。又玄妙內篇云。李母懷胎八十一載。道遙李樹下。迺割左腋而生。又云。玄妙王女。夢流星入口而有娠。七十二年而生老子。又上元經云。李母晝夜見五色珠大如彈丸。自天下。因吞之。即有娠。張君相云。老子者是號。非名。老考也。子。孳也。考教衆理。達成聖孳。乃孳生萬物。善化濟物。無遺也。

楚苦縣厲鄉曲仁里人也。

地理志曰。苦縣屬陳國。○索隱曰。地理志誤也。苦縣本屬陳。春秋時楚滅陳。而苦又屬楚。故云楚苦。

縣至高帝十一年立淮陽國。陳縣苦縣皆屬焉。裴氏所引不明。見苦縣在陳縣下。因云苦屬陳。今檢地理志。苦實屬淮陽郡。苦音怙。○正義曰。國年表云。淮陽國。景帝三年廢。至天漢修史之時。楚節王純都彭城相近。疑苦此時屬楚國。故太史公書之。括地志云。苦縣在亳州谷陽縣界。有老子宅及廟。廟中有九井尙存。在今亳州真源縣也。厲音賴。晉太康地記云。苦縣城東有瀨鄉祠。老子姓李氏。名耳。字伯陽。諡曰聃。索隱曰。按葛玄云。李氏女所生。因母姓所生地也。又云。生而指李樹。因以爲姓。許慎云。

老莊申韓列傳ハ、太史公自序ニ、老子韓非列傳ト稱シ、莊申二子ニ及バズ。老子者云云ハ方苞曰、老子列傳、始ニ其國邑郷里姓氏名字諡爵職守ヲ詳ニシ、終ニ其子孫雲仍封爵時代居國ニ及ブ、蓋世老子ヲ傳ヘテ神仙幻怪ノ流ト爲スヲ以テ、故ニ詳カニ誌シテ以テ其然ラザルヲ見スナリト、淺稚陸曰、老子清淨無爲、モト事跡ノ考フベキナシ、太史公傳ヲ立ツル、只其孔子ニ語ルノ言ト、孔子之ヲ贊スルノ語、及令尹喜之ニ強フルノ事トニ據リ、以テ其平生ヲ概シ、而テ莫知所終チ以テ之ヲ結ブ、中間或曰或言ヲ連用シ、而テ又結ブニ莫知其然否チ以テス、正ニ莫知所

智者而已。獨以察其心。若鮑叔之于管仲。千古一人耳。然愚謂此管仲之爲管仲也。君子固窮。窮視其所不爲。貧視其所不取。何至蒙不賢不智之迹耶。其令論卑而易行。其政善因禍而爲福。太史公此論。固切中其相齊之要領。實則苟于濟事。不暇顧在我之正守。已占于貧賤之時矣。晏平仲功業不及管氏。而相三君。妾不衣帛。則廉節過之。越石父稱詘于不知己。而信于知己。蓋名言也。宜晏子之敬待。然景公欲相孔子。嬰實沮之。石父豈賢于孔子哉。

史記評林卷之六十二終

ズ、故ニ獨リ其軼事ヲ
論ズルナリト、軼ハ逸
ト通ズ、脫漏セシ事迹
ナリ。
孔子小之ハ、論語ハ併
篇ニ、子曰管仲之器小
哉トアリ。

桓公既賢而不勉之至王乃稱霸哉。

正義曰。言管仲世所謂賢臣。孔子所
以小之者。蓋以爲周道衰。桓公賢主。

管仲何不勸勉輔弼。至於帝王。乃自稱霸主哉。

故孔子小之云。蓋爲前疑夫子小管仲爲此。

語曰。將順其美。匡救其惡。故

上下能相親也。

正義曰。言管仲相齊。順百姓之美。匡救國
家之惡。令君臣百姓相親者是管之能也。

豈管仲之謂乎。方

不見之傳中

晏子伏莊公尸哭之成禮。然後去。

索隱曰。左傳崔杼殺莊公。晏嬰入枕莊公
尸股而哭之。成禮而出。崔杼欲殺之是也。

豈所謂見義不爲無勇者邪。至其諫說犯君之顏。此所謂進思

盡忠退思補過者哉。假令晏子而在。余雖爲之執鞭。所忻慕焉。

索隱曰。太史公之羨慕仰企平仲之行。假令晏生在世。已雖與之爲僕隸。爲之執鞭。亦所忻慕。
其好賢樂善如此。賢哉良史。可以示人臣之炯戒也。

索隱述贊曰。夷吾成霸。平仲稱賢。粟乃實廩。豆不掩肩。轉禍爲福。危言獲全。孔賴左袵。史忻
執鞭。成禮而去。人望存焉。

柯維騏曰。古之賢人君子衆矣。太史公列傳。獨首伯夷。春秋列國大夫。如展季。蘧瑗。銅
鞮。伯華。叔向。季札。諸賢。皆不得錄。乃次及管晏。且願爲執鞭。何哉。太史公以良史之才。
因言得罪。殆所謂非公正不發憤。而遇禍災者。非與。潔行餓死者。同乎哉。黃震曰。今世
之人。見賢而稱其賢。見智而稱其智。未足言知人。惟其方困窮時。其迹有甚於不賢不

御。擁大蓋策駟馬。情狀妙甚意氣揚揚。甚自得也。既而歸。其妻請去。夫問

其故。妻曰。晏子長不滿六尺。身相齊國。名顯諸侯。今者妾觀其

出。志念深矣。常有以自下者。今子長八尺。乃爲人僕御。然子之

意。自以爲足。妾是以求去也。其後夫自抑損。晏子怪而問之。御

以實對。晏子薦以爲大夫。

太史公曰。吾讀管氏牧民。山高乘馬。輕重九府。

劉向別錄曰。九府書。民閒無有。山高一名。

形勢。○索隱曰。皆管仲著書篇名。九府。蓋錢之府藏。其書論鑄錢之輕重。

及晏子春秋。

故云輕重九府。餘如別錄之說。○正義曰。七略云。管子十八篇。在法家。索隱曰。嬰所著書名。晏子春秋。今其書有七十篇。故下云。其書世多有也。○正義曰。七略云。晏子春秋七篇。在儒家。詳哉其言之也。既見其

著書。欲觀其行事。故次其傳。至其書。世多有之。是以不論。論其

軼事。

正義曰。軼音逸。

管仲世所謂賢臣。然孔子小之。豈以爲周道衰微。

至其書世多有之。是以不論論其軼事。○方苞曰。管晏ノ事迹。其書及他ノ載籍ニ見ハルル者紀スルニ勝フヘカラ

畏責及也。國有道卽順命。無道卽衡命。正義曰。衡。秤也。謂國無道。則制秤量之。可行卽行。以此三世

顯名於諸侯。越石父賢。在縲紲中。正義曰。縲。音力追反。縲。黑索也。紲。繫也。晏子春秋云。晏子之晉。至中牟。觀弊冠。

反裘負芻息於途側。晏子問曰。何者。對曰。我石父也。苟免饑凍。爲人臣僕。晏子解左驂贖之。載與俱歸。按與此文小異也。晏子出遭之塗。解左

驂贖之。載歸。弗謝入閨。久之。越石父請絕。晏子懼然。正義曰。懼。休縛反。注皇覽。

云。晏子冢。在臨淄城南菑水南桓公塚西北。括地志云。齊桓公墓在青州臨淄縣東南二十三里鼎足山。又云。齊晏嬰塚。在齊子城北門外。晏子云。吾生近市。死豈易吾志。乃葬故宅。後人名曰清節里。按恐皇

覽誤。乃管仲塚也。攝衣冠謝曰。嬰雖不仁。免于於厄。何子求絕之速也。石父曰。不然。吾聞君子拙於不知己。而信於知己者。索隱曰。信

禮皆然。申於知己。謂以方。吾在縲紲中。彼不知我也。夫子既以感寤而

贖我。是知己。知己而無禮。固不如在縲紲之中。晏子於是延入

爲上客。晏子爲齊相。出其御之妻。從門閒而闚其夫。其夫爲相

之卽危行ノ危ハ論語憲問篇包咸曰厲ナリト明徐字違曰、危言危行ハ、蓋其朝ニ立ツ儀度此ノ如キヲ言フノミ、正義非ナリ。
越石父賢云云ハ、方苞曰、管仲傳ニ於テ鮑叔能其賢ヲ知ルヲ舉ゲ、晏子傳ニ於テ其能越石父及ビ御者ヲ知ルヲ舉ケ、三歸反玷正ニ食不重肉妾不衣帛ト反對ス、此ヲ觀テ文ノ義法微トシテ具ハラザル無キヲ知ルベシ。
解左驂贖之、驂ハ、車ノ副馬ナリ、左ノ副馬ヲ解キ之ヲ以テ石父ノ罪ヲ贖フナリ。
懼然ハ遽ナリ、遽カニ驚ク貌ナリ、攝衣冠ノ攝ハ收斂ナリ、威儀ヲツクロフナリ。

スナリ、太史公實下
因而字ヲ連下シ、而ア
管仲桓ニ相タルノ勲業
具サニ見ハルト、方苞
曰、其事入ノ共ニ知ル
所ナリ、故ニ其權略ヲ
著ハトス、
三歸反站ハ、論語八份
篇ニ見ユ、站ハ土ヲ以
ア之ヲ爲ル、諸侯鄰國
ト會シ、獻酬シテ飲畢
レバ爵ヲ其上ニ反ス、
之ヲ反站ト謂フ。

晏平仲嬰者云云ハ、方
苞曰、晏子ノ事亦人ノ
共ニ見ル所ナリ、故ニ
本傳復敘列セズ、管仲
ト同ジ、而其人ト爲リ
ヲ總論スルハ、即其名
ヲ諸侯ニ顯ハスヲ敘次
スルニ於テ之ヲ見ハ
ス、管仲ト異ナリ、此章
法ノ變化ナリト、晏子
ノ事亦齊世家ニ詳カナ
リ。
君語及之即危言語不及

音妹。左傳作曹劇。○
正義曰。沫莫葛反。
管仲因而信之。
正義曰。以劫許
之。歸魯侵地。

知與之爲取。政之寶也。
以上第三段
索隱曰。老子云。將欲取之。必固
與之。是知此爲政之所寶也。

室有三歸反站。
正義曰。三歸。三姓女
也。婦人謂嫁曰歸。
齊人不以爲侈。管仲卒。
正義曰。括地
志云。管仲冢。

在青州臨淄縣南二十一里牛山之阿。說苑云。齊桓公使管仲治國。管仲對曰。賤不能臨貴。桓
公以爲上卿。而國不治。曰何故。管仲對曰。貧不能使富。桓公賜之齊市租。而國不治。桓公曰。何
故。對曰。疏不能制近。桓公立以爲仲父。齊國大安。而遂霸天下。孔
子曰。管仲之賢。而不得此三權者。亦不能使其君南面而稱伯。

於諸侯。後百餘年而有晏子焉。
過脈處
齊國遵其政。常彊

晏平仲嬰者。萊之夷維人也。
劉向別錄曰。萊者。今東萊地也。○索隱曰。名嬰。平
謚。仲字。父桓子。名弱也。○正義曰。晏氏齊記云。齊

城三百里有夷安。即晏平仲之邑。漢爲
夷安縣。屬高密國。應劭云。故萊夷維邑。
事齊靈公莊公景公。
索隱曰。世本及系本。
靈公名環。莊公名光。

景公名
虛
以節儉力行。重於齊。既相。齊食不重肉。妾不衣帛。其在朝。
杵臼

君語及之。即危言。
正義曰。謂己謙
讓。非云功能。
語不及之。即危行。
正義曰。行下孟反。謂
君不知己。增修業行。

故其稱曰云云、其稱スル所ニシテ、即管子ノ書ナリ、方苞曰其書多クシテ載スベカラズ、故ニ指要ヲ掲ゲト、上服度則六親固ハ、方苞曰、服ハ自服於土中ノ服ノ如シ、政ヲ行フナ謂フナリ、上ノ服行スル所制度アレバ、則民親睦スルナリト、注服御物ト爲ス、蓋誤ル、自服於土中ハ書召誥ノ辭ナリ。

貴輕重、輕ハ譬フルニ曹沫ノ爲ニ屈スルガ如キ是輕ナリ、而テ信ヲ天下ニ立ツル是重ナリ、管仲善ク輕重權衡ヲ知ル、故ニ禍ニ因テ禍トナシ、敗ヲ轉ジテ功ヲ成スナリ。桓公實怒少姬云云ハ、以下三事、齊世家ニ詳ナリ、浸樵隆曰、下三事、即禍ニ因テ禍トナシ、敗ヲ轉ジテ功ト爲

於四方不若也。執枹鼓立於軍門、使百姓加勇焉。不若也。以區區之齊在海濱。正義曰。齊國東濱海也。通貨積財富

國彊兵。與俗同好惡。故其稱曰。索隱曰。是夷吾著書所稱管子者。其書有此言。今舉其大略也。倉廩實而

知禮節。衣食足而知榮辱。上服度則六親固。正義曰。上之服御物有制度。則六親堅固也。六親謂

外祖父母一。父母二。姊妹三。妻兄弟之子四。從母之子五。女之子六也。王弼云。父母兄弟妻子也。

四維不張。國乃滅亡。管子曰。四維。一曰禮。

二曰義。三曰。下令如流水之原。令順民心。故論卑而易行。正義曰。言爲政令卑下鮮

少。而百姓易作行也。俗之所欲。因而予之。俗之所否。因而去之。其爲政也善。

因禍而爲福。轉敗而爲功。賢輕重。索隱曰。輕重。謂錢也。管子有輕重篇。慎權衡。正義曰。輕重。

衡。謂得失也。有恥辱甚貴。桓公實怒少姬。見齊世家。索隱曰。謂怒蕩舟。歸而未絕。蔡人嫁之。南襲蔡。管仲因

而伐楚。責包茅不入貢於周室。桓公實北征山戎。而管仲因而

令燕修召公之政。於柯之會。正義曰。今齊州東河也。桓公欲背曹沫之約。索隱曰。沫

管仲曰吾始困時云云ハ、方苞曰、管仲ノ功史籍ニ燁燁ス、本傳ニ於テ敘列スレバ則贊ナリ、其微時ノ事ハ、則鮑叔ヲ稱スル者ヲ以テ之ヲ見ハス、此處實詳略ノ準ナリト、明茅坤曰、以下竝ニ鮑叔ノ賢ヲ次ス、客以テ主ヲ形ハスナリト。

子孫世諱於齊有封邑者十餘世ハ、明王鑒曰、此十餘世ハ、是鮑叔ヲ言フ、而テ索隱ノ注スル所管氏ヲ言フニ似タリ、何ノ故ナルヲ知ラズト。

以上第一段
之謀也。管仲曰。吾始困時。嘗與鮑叔賈。分財利。正義曰。應多自與。賈音古。

鮑叔不以我爲貪。知我貧也。吾嘗爲鮑叔謀事。而更窮困。鮑叔

不以我爲愚。知時有利不利也。吾嘗三仕三見逐於君。鮑叔不

以我爲不肖。知我不遭時也。吾嘗三戰三走。鮑叔不以我爲怯。

知我有老母也。公子糾敗。召忽死之。吾幽囚受辱。鮑叔不以我

爲無恥。知我不羞小節。而恥功名不顯于天下也。生我者父母。

知我者鮑子也。鮑叔既進管仲。以身下之。子孫世祿於齊。有封

邑者十餘世。索隱曰。世本云。莊仲山產敬仲夷吾。夷吾產武子鳴。鳴產桓子啓方。啓方產成子孺。孺產壯子盧。盧產悼子其夷。其夷產襄子武。武產景子耐步。耐

步產微。凡十代。常爲名大夫。天下不多管仲之賢。而多鮑叔能知人也。管仲

既任政相齊。正義曰。國語云。齊桓公使鮑叔爲相。辭曰。臣之不若夷吾者五。寬惠柔民。不若也。治國家。不失其柄。不若也。忠惠可結於百姓。不若也。制禮義可法

史記評林卷之六十二

管晏列傳第二

管仲夷吾者、潁上人也。

索隱曰。潁。水名。地理志云。潁水出陽城。漢有潁陽臨潁二縣。今有潁上縣。○正義曰。韋昭云。夷吾。姬姓之後。管嚴仲

之子敬仲也。

少時常與鮑叔牙游。鮑叔知其賢。管仲貧困。常欺鮑叔。索隱曰。呂

氏春秋。管仲與鮑叔同賈南陽。及分財利。而管仲嘗欺鮑叔。多自取。鮑叔知其有母。不以爲貪。鮑叔終善遇之。不以爲言。已而

鮑叔事齊公子小白。管仲事公子糾。及小白立爲桓公。公子糾

死。管仲囚焉。鮑叔遂進管仲。

正義曰。齊世家云。鮑叔曰。君將治齊。則高傒與叔牙足矣。且欲霸王。非管夷吾不可。夷吾之居國國

重。不可失也。桓公從之。韋昭云。鮑叔齊大夫。妣姓之後。鮑敬叔之子叔牙也。

管仲既用。任政於齊。

正義曰。管子云。相齊以九惠之教。一曰老

二曰慈。三曰孤。四曰疾。五曰獨。六曰病。七曰通。八曰賑。九曰絕也。

齊桓公以霸。九合諸侯。一匡天下。管仲

管仲夷吾者潁上人也云云ハ、楊慎曰、此傳凡三段ト爲ス、首ニ管仲ノ出處ヲ敘シ、而テ管仲之謀也ヲ以テ之ヲ結ビ、其君ヲ致スノ功ヲ述ベ、次ニ鮑叔ノ知ヲ受クルヲ言ヒテ、多鮑叔能知人也ヲ以テ之ヲ結ビ、又次ニ其霸ヲ致スノ相略ヲ言ヒ、而テ故曰知與之爲取政之實也ヲ以テ之ヲ結ビ、其謀ヲ爲ス所以ノモノヲ述ブト。及小白立爲云云ハ、詳カニ齊世家ニ見エタリ。

史記評林卷之六十一終

孫謙曰。學者載籍極博。猶考信于六藝。言衆言淆亂。惟折衷于聖人也。詩書雖缺。然虞夏之文可知。堯舜禹之相授。傳天下若斯之難。而說者乃有許由務光等事。此何以稱焉。疑之也。余登箕山。乃有許由塚。則信然矣。孔子序列古之仁聖賢人。如太伯伯夷。詳矣。由光義至高。而文辭不少概見。此太史公所爲深惜之也。蓋其馳騁上下數千載。欲求一節義最高者。嚴立于其首。有讓國之高節。如由光。而不見述于聖人。是以無傳。此伯夷傳之所以作也。孔子言伯夷叔齊。怨是用希。求仁得仁。又何怨。余悲其意。睹軼詩可異焉。觀采薇之詩。則疑于怨矣。敘其事。述其歌。申之曰。怨耶非耶。其末襍引經傳之文。而卒歸之伯夷叔齊。雖賢。得夫子而名益彰。顏淵雖篤學。附驥尾而行益顯。閭巷之人。欲砥行立名。非附青雲之士。惡能施于後世。又所以深悲由光之無傳。而喜伯夷之遇夫子也。要其歸。則不出最初兩語。載籍極博。考信六藝而已。孰謂子長愛奇哉。

リテ彰顯シ、或ハ附ク
所ナクシテ湮滅ス、ソ
ノ當時ニ窮シテ、又没
世ニ稱セラレル無キ
者、尤モ悲ムニ足ルチ
言フナリト。

青雲之士ハ、明楊慎丹
鉛總錄云、青雲ノ士ハ、
聖賢言ヲ立テ世ニ傳フ
ルモノヲ謂フ、孔子是
ナリ、附青雲ハ、則伯
夷顏淵是ナリ、後世仕
路ニ登ルチ謂テ青雲ト
爲ス、謬ナリト。
方苞曰、本紀世家列傳
ノ後、皆論アリ、惟伯
夷孟荀ハ、傳ト論トナ
合セテ一ト爲ス、故ニ
後論ナシト。

蘇子由古史曰。武王以大義伐商。而伯夷叔齊亦以義非之。二者不得兩立。而孔子與之。何哉。夫文武之王。非其求而得之也。天下從之。雖欲免而不得。紂之存亡不復爲損益矣。文王之置之。知天命之不可先也。武王伐之。知天命不可後也。然湯以克夏爲慙。而孔子謂武未盡善。則伯夷之義豈可廢哉。宋昭公以無道弑。春秋雖書曰宋人弑其君杵臼。然晉荀林父衛孔達陳公孫寧鄭石楚伐宋。以不討賊稱人。晉靈公爲之會諸侯于扈。以不討賊不弑明君臣之義。不以無道廢也。

黃震曰。太史公疑許由非夫子所稱不述。而首述伯夷。且悲其餓死。爲舉顏子盜跖。反覆嗟歎。卒歸之各從其志。幸伯夷得夫子而名益彰。其旨遠其文逸。意在言外。詠味無窮。然豈知其心之無怨耶。又曰。太史公載伯夷采薇之歌。爲之反覆嗟傷。遺音餘韻。把挹莫盡。君子謂此太史公託以自傷。其不遇。故其情到而詞切。然非伯夷怨是用希之心也。故後世高其文而非其旨。

王直曰。史記後孟子而作。成書備而記事富。有以補前聞之缺遺。如子貢夷齊何人之問。孔子求仁得仁之對。倘不得史記以知二子嘗有遜國俱逃之事。則夫子不爲衛君之微意。子貢雖知之。後世學者何從而知之也。此史遷多見先秦古書。所以爲有功于世也。又曰。國謀立君而已。逃去則必于山谷無人不可物色之所。然後能絕國人之思。首陽固其所也。然亦不久居于此。踰月移時。國人立君既定。則可以出矣。惟其遜國俱逃。事太卓絕。故後世稱之。指其所棲止之地曰。此仁人之迹也。夫是以首陽之傳久而不泯。何必曰死于此山而後見稱耶。又曰。武王方爲天下去賊虐。諫臣毒痛四海之紂。而行師無紀。左右乃欲害敢諫之士。戕天下之父。死生之命在左右與太公耳。武王若罔聞之。萬一扶去之手緩不及用。則是彼殺比干。此殺夷齊。其何以有辭于紂也。

作、而萬物觀ニ作ル、之ヲ引クハ夷齊ノ夫子ニ稱セラルルヲ説ク。

伯夷叔齊雖賢以下ハ、趙恆曰、夷齊烈士ヲ以テ名ヲ殉メ、夫子ノ序列ヲ得テ、名益、彰ル、怨無カルベキヲ言フ、惟夫嚴穴ノ士、行チ砥キ名ヲ立ル、夷齊ノ如キ者、後世夫子ニ遇ハズシテ、而テ名傳ラズ、悲ムベク、怨ムベシト爲ス耳、又曰、趨舍有レバ、其趨ク所此ニ在リ、富貴ニ趨ケバ、則令名ヲ舍テ、令名ニ趨ケバ、則富貴ヲ舍ツルヲ言フ、若此類ハ、伯夷ノ若キノ類ナリ、正義注スル所未ダ明ナラザルニ似タリト、方苞曰、人事常ナク、天道知リ難シ、即沒世ノ名、亦強フベカラザル者アリ、或ハ附ク所ア

德。萬物有長育之情。故相感應也。此以上至同明相照。是周易乾象辭也。太史公引此等相感者。欲見述作之意。合萬物有諸也。孔子歿後。五百歲而已當之。故作史記。使萬物見視之也。太史公序傳云。先人有言。自周公卒。五百歲而有孔子。孔子卒後。至於今五百歲。有能紹明世。正易傳。繼春秋。本詩書禮樂之際。意在斯乎。小子何敢讓焉。作述六經云。易著天地陰陽四時五行。故長於變。禮經紀人倫。故長於行。書記先王之事。故長於政。詩記山川谿谷。禽獸草木。牡牝雌雄。故長於風。樂樂所以立。故長於和。春秋辨是非。故長於治。人是故禮以節人。樂以發和。書以導事。詩以達意。易以道化。春秋以道義撥亂。此暗言自己以證上文所引之意。世反之正。莫近於春秋。案述作而萬物睹見。伯夷叔齊雖賢得夫子而名益彰。正義曰。伯夷叔齊雖有賢行。得夫子稱揚而名益彰。顏淵雖篤學。附驥尾而著。萬物雖有生養之性。得太史作述而世事益睹見。

行益顯。索隱曰。蒼蠅附驥尾而致千里。以喻顏回因孔子而名彰。嚴穴之士。趨舍有時。若此類名堙滅而不稱悲夫。正義曰。趨音趣。舍音捨。趨向也。捨廢也。言隱處之士。時有附驥尾而名曉達。若堙滅不稱數者。亦可悲痛。閭巷之人。欲砥行立名者。正義曰。砥音旨。礪行修德。在鄉閭者。若不託貴大之士。何得封侯爵賞。而名留後代也。非附青雲之士。惡能施于後世哉。

索隱述贊曰。天道平分。與善徒云。賢而餓死。盜且聚羣。吉凶倚伏。報施糾紛。子罕言命。得自前聞。嗟彼素士。不附青雲。

豈以其重若彼其輕若此哉、方苞曰、孔子老子ノ言ヲ疊引シテ、而繼クニ世語ヲ以テスルハ、聖賢ヨリ之ヲ論ゼバ、豈彼ノ若キノ富貴逸樂ヲ重ト爲シ、此ノ若キノ困窮禍災ヲ輕ト爲スナリテセンヤト言フ、蓋君子ノ所謂重輕ハ俗ト異ナリ、故二道不同不相爲謀ト曰フ、又曰聖賢ノ重シズル所ハ、行立チ名成ルニ在リ、一時ノ豐蔭榮辱ヲ以テ德ヲ亂ラザルヲ言フナリト。

有忠臣。是學代混濁。則士之清潔者乃彰見。故上文歲寒然後知松栢之後凋。彼謂操行不軌以下先爲此言張本也。○正義曰。言天下混亂。清潔之士不撓。不苟合於盜跖也。豈以其重若彼。其輕若此哉。此指擇地而蹈以下索隱曰。謂伯夷讓德之重。若彼采薇而餓死之輕。若此。又一解云。操行不軌。富厚累代。是其重。若彼。公正發憤而遇禍災。是其輕。若

此也。○正義曰。重謂盜跖等也。輕謂夷齊光由等也。君子疾沒世而名不稱焉。言君子所欲者不在報施也索隱曰。自此已下。雖論伯夷而行著。蓋亦欲微見己之著撰不已。亦是疾沒世而名不稱焉。故引賈子貪夫狗財。烈士狗名。是也。又引同明相照。同類相求。雲從龍。風從虎者。言物各從類以相求。太史公言己亦是操行廉直。而不用於代。卒陷非罪。與伯夷相類。故寄此而發論。○正義曰。君子疾沒後懼名引此終上壅滅而不稱。若夷齊顏回。潔行立名。後代稱述。亦太史公欲漸見己立名著述之美也。賈子

曰。索隱曰。賈誼也。作鵬鳥賦云。然故太史公引而稱之也。貪夫狗財。正義曰。狗財。迅反。狗求也。瓚云。以身從物曰狗。烈士狗名。夸

者死權。索隱曰。言貪權勢以矜夸者。至死不休。故云死權也。衆庶馮生。マカス索隱曰。馮者恃也。音凭。言衆庶之情。蓋也。冒即貪之義。○正義曰。太史公引賈子警作史。此以下知說上見稱于夫子同明相照。同類相求。

記若貪夫狗財。夸者死權。衆庶馮生。乃成其史記。同明相照。竝繫辭文。正義曰。天欲雨而柱。雲從龍。風從虎。王肅曰。龍舉而景雲屬。虎嘯而谷風興。張璠曰。猶言龍從雲。虎從風也。聖人作

而萬物覩。馬融曰。作起也。○索隱曰。又引此句者。謂聖人起而居位。則萬物之情。皆得覩見。故己今日又得著書。言世情之輕重也。○正義曰。此有識也。聖人有養生之

求、水流濕、火就燥、雲從龍、風從虎、聖人

而萬物覩。馬融曰。作起也。○索隱曰。又引此句者。謂聖人起而居位。則萬物之情。皆得覩見。故己今日又得著書。言世情之輕重也。○正義曰。此有識也。聖人有養生之

累世不絕ニ至ルマデ
小人ヲ謂フ、或擇地
ヨリ不可勝數也ニ至ル
マデハ善人ヲ謂フ、擇
地而蹈之ハ、行ヲ慎ミ、
惡キ方ニハ蹈コヌナ
リ、時然後出言ハ論語
憲問篇ニ、夫子時然後
言ト見ユ、其言ヲ發ス
ベキ時ニ適クテ言フナ
リ。

子曰道不同不相爲謀
ハ、論語衛靈公篇、富
貴如可求云云ハ、述而
篇富而可求也ニ作ル、
歲寒云云ハ、子罕篇ニ
見ユ。

身逸樂

索隱曰。謂若魯桓楚靈
晉獻齊襄之比皆是。

富厚累世不絕。或擇地而蹈之。

索隱曰。謂不仕暗君。

不飲盜泉。裹足高山之頂。竄跡滄洲之濱。

時然後出言。

索隱曰。論語夫
子時然後言。

行不由徑。

索隱曰。澹臺。

非公正不發憤。而遇禍災者。不可勝數也。

索隱曰。謂人臣之
節。非公正之事。不

減明之行。感慨發憤。或出忠言。或致身命。而卒遇禍災。

者。不可勝數。謂龍逢比干。屈平伍胥之比。

余甚惑焉。儻所謂天道是耶。非

結言天道不足信

耶。索隱曰。太史公惑於不軌而逸樂。公正而遇害。爲天道之非。而又是耶。深惑之也。蓋天道

玄遠。聰聽暫遺。或窮通數會。不由行事。所以行善未之福。行惡未之禍。故先達皆猶昧之

此承言天道雖有不可信處。吾人不可因而阻爲善之志

也。○正義曰。儻音他蕩反。儻未定之詞。

子曰道不同。不相爲謀。亦各從其志

也。爲天道不敢的言是非。故云儻也。正義曰。太史公引孔子之言。證前事也。言天

道人道不同。一任其運遇。亦各從其志意也。故曰富貴如可求。雖執鞭之

士。吾亦爲之。

鄭玄曰。富貴不可求而得之。當修德以得之。若

於道可求而得之者。雖執鞭賤職。我亦爲之。此正是各從其志

好。孔安國曰。所好

者古人之道。歲寒。然後知松栢之後凋。

此言善雖無報而名卒不可滅。何晏曰。大寒之歲。衆木皆死。然後
松栢少凋傷。平歲衆木亦有不死

者。故須歲寒。然後別之。喻凡人處治世亦能自修

整。與君子同。在濁世。然後知君子之正不苟容也。舉世混濁。清士乃見。索隱曰。老子
云。國家昏亂

ニ善人ニハ與シ親ムト
謂フナリ、以下ニ云ハ、
方苞曰、伯夷ノ餓死ニ
因テ、而善チ爲ス者時
アリテ禍チ得、惡チ爲
ス者時アリテ福チ得ル
ヲ歎ジ、天道知ル無
シ、此人情惡ナキ能ハ
ザル所以ナリト。

索隱注索隱曰、鄭誕生
唯音千餘反劉氏音休季
反、錢大昕曰、唯雖二字
形聲皆別ナリ、劉音ニ
從ヘバ、字當ニ目ニ从
フベシ、鄭音ニ從ヘバ、
字當ニ且ニ从フベシ、
索隱兼テ二音チ存シテ、
辨正セザルハ何ゾヤ、
李斯傳有天下而不恣
睢、索隱止ダ呼季反一
音アリト、雖ハ開關雖
鳩ノ雖ニシテ、音シヨ
ナリ、此ハ音キニシテ、
日チ仰テ怒ル貌ナリ、
又音雖トアリ。

操行不軌ノ軌ハ、法ナ
リ、凡ソ度ニ循ハザ
ルヲ謂フ、操行不軌ヨ

索隱曰。又自起論云。若夷齊之行如此。自此以下上下千古无限悲歎感慨之情
可謂善人者耶。又非善人者耶。亦疑也。積仁潔行如此而餓死。且七十子之

徒。仲尼獨薦顏淵爲好學。然回也屢空。糟糠不厭。索隱曰。厭言飫也。
謂不飫飽也。糟糠

貧者之所餐也。故曰糟糠之妻是也。然而卒蚤夭。天之報施善人其何如哉。
顏子一簞食瓢飲。未見有糟糠之文。即顏以澹天道之不足信

盜跖日殺不辜。索隱曰。跖與跖同。竝音之石反。盜跖。柳下惠弟。見莊子。爲篇名。○正義
曰。案跖者。黃帝時大盜之名。以柳下惠弟爲天下大盜。故世倣古號之

盜。肝人之肉。索隱曰。劉氏云。謂取人肉爲生肝非也。莊
子云。跖方休卒太山之陽。膾人肝而鋪之。暴戾恣睢。索隱曰。暴戾謂兇
暴而惡戾也。鄒誕

生恣音資。唯音千餘反。劉氏恣音如字。唯音休季反。恣睢。謂恣行爲惡。惡
之貌也。○正義曰。唯仰白目怒貌也。言盜跖兇暴惡戾恣性怒白目也。聚黨數千人。

橫行天下。竟以壽終。皇覽曰。盜跖冢在河東大陽臨河曲。直弘農華陰山潼鄉。盜跖
卽柳下惠弟也。○索隱曰。直音如字。直者當也。或音值。非也。潼

音同。案潼水名。因爲鄉。今之潼津關是。亦爲縣。○正義曰。括地志云。盜跖冢在陝
州河北縣西二十里。河北縣本漢大陽縣也。又今齊州平陵縣有盜跖冢。未詳也。是遵何

足信之意。索隱曰。言盜跖無道。橫行天下。竟以
德哉。壽終。是其人遵行何德而致此哉。此其尤大彰明較著者也。索隱曰。
較明也。

言伯夷有德而餓死。盜跖暴戾而壽終。若至近世。操行不軌。專犯忌諱。而終
是賢不遇。而惡道長。尤大著明之證。

不食周粟云云ハ、通鑑
輯覽評曰、夷齊周粟ヲ
食ハザルハ、特ニ義周
ニ任ヘズ祿ヲ受ケザル
ヲ謂フ、餓死スル者亦
貧餓ニシテ以テ死スル
ヲ云フ耳ト。

其辭曰云云、夷齊ハ武
王ヲ以テ暴臣ト爲ス、
故ニ暴臣ヲ以テ暴君ノ
村主ニ易ヘテ、其非ナ
ルヲ知ラズ、古ノ伏羲
神農燧人夏禹等ノ敦樸
禪讓ノ道、今ハ忽焉滅
沒シ、此君臣ノ爭奪ス
ルニ達フ、我ハ安クニ
適キ歸セシヤ、已ニ歸
スルニ所ナクレバ、死
スルヨリ外ニ道ナシ、
呼嗟徂カシ、運命ノ衰
フル哉ト言フナリ。

或曰、天道無親常與善
人、天道ハ定マリテ親
ム事ハ無ケレドモ、常

齊恥之義不食周粟隱於首陽山。

馬融曰首陽山在河東蒲坂華山之北、河
曲之中。○正義曰曹大家注幽通賦云夷

齊餓於首陽山。在隴西首。又戴延之西征記云洛陽東北首陽山有夷齊祠。今在偃師縣西北。
又孟子云夷齊避紂居北海之濱。首陽山。說文云首陽山在遼西。史傳及諸書夷齊餓於首陽。
凡五所各有案據先後不詳。莊子云伯夷叔齊西至岐陽。見周武王伐殷曰吾聞古之士遭治
世不避其任遇亂世不爲苟存。今天下闇周德衰其並乎周以塗吾身也不若避之以潔吾行。
二子北至于首陽之山遂飢餓而死。又下詩登彼西山采薇而食之。索隱曰薇蕨也。爾
是今清源縣首陽山在岐陽西北。明卽夷齊餓死處也。采薇而食之。雅云蕨也。○正

義曰陸機毛詩草木疏云薇山菜也莖葉皆似小
荳蔓生其味亦如小荳藿可作羹亦可生食也。

及餓且死作歌其辭曰登彼

西山兮采其薇矣。

索隱曰西山卽首陽山。

以暴易暴兮不知其非矣。

索隱曰以武王之暴臣易

殷紂之暴主而

神農虞夏忽焉沒兮我安適歸矣。

索隱曰犧農虞夏敦樸禪讓之道超忽久矣終沒矣。

今逢此君臣爭

奪故我安適歸于嗟徂兮命之衰矣。

索隱曰于嗟嗟嘆之辭也徂者往也死也言己今日餓死亦是運命之衰薄不遇大道之

時至憂

遂餓死於首陽山由此觀之怨耶非耶。

索隱曰太史公言己觀此詩之情以是有怨耶又疑

其云非

或曰天道無親常與善人若伯夷叔齊可謂善人者非耶。

孔子曰伯夷叔齊不念舊惡怨是用希ハ、論語公治長篇ニ見ユ、怨字ハ、邪疏朱注共ニ人ニ怨マ
ルル事稀ナリト説キテアレドモ、司馬遷ノ意ハ、夷齊ニカケテ見シ如シ、求仁得仁又何怨乎ハ、論語述而篇ニ見ユ、晴軼詩可異焉ハ、錢大昕曰、孔子ハ夷齊怨ムナシト謂フ、而軼詩ノ意ヲ觀レバ、亦怨ミナキ能ハザルニ似タリト言フナリト、軼詩ハ即下ノ采薇ノ詩ナリ、注ニ詳ナリ。

伯夷之意。睹軼詩可異焉。

深婉

索隱曰。謂悲其兄弟相讓。又義不食周粟而餓死。睹音觀。軼音逸。謂見逸詩之文。即下采薇之詩是也。不編入

三百篇。故云逸詩也。可異焉者。按論語云求仁得仁。又何怨乎。今其詩云。我安適歸矣。于嗟徂兮。命之衰矣。是怨詞也。故云可異焉。

其傳曰。伯夷叔齊。

孤竹君之二子也。

索隱曰。其傳。蓋韓詩外傳及呂氏春秋也。其傳云。孤竹君。是殷湯三月丙寅日所封。相傳至夷齊之父。名初。字子朝。伯夷。名元。字公

信。叔齊。名致。字公達。解者云。夷齊諡也。伯仲。又其長少之字。地理志云。孤竹城在遼西令支縣。應邵云。蓋伯夷之國君。姓瑩胎氏。○正義曰。本前注丙寅作殷湯正月三日丙寅。括地志云。孤竹古城在盧龍縣南十二里。殷時諸侯。孤竹國也。

父欲立叔齊。及父卒。叔齊讓伯夷。伯夷曰。父

命也。遂逃去。叔齊亦不肯立而逃之。國人立其中子。於是伯夷

叔齊。聞西伯昌善養老。盍往歸焉。

索隱曰。劉氏云。盍者疑辭。蓋謂其年老歸就西伯也。

及至西伯

卒。武王載木主。號爲文王。東伐紂。伯夷叔齊叩馬而諫曰。父死

不葬。爰及干戈。可謂孝乎。以臣弑君。可謂仁乎。左右欲兵之。太

公曰。此義人也。扶而去之。武王已平殷亂。天下宗周。而伯夷叔

奇

而說者曰。堯讓天下於許由。

借許由務光以發烟波媚鄭處

正義曰。皇甫謐高士傳云。許由字武仲。堯聞致天

隱。堯又召爲九州長。由不欲聞之。洗耳於潁水濱。時有巢父。牽犢欲飲之。見由洗耳問其故。對曰。堯欲召我爲九州長。惡聞其聲。是故洗耳。巢父曰。子若處高岸深谷。人道不通。誰能見子。子故浮游欲聞求其名譽。汚吾犢口。牽犢上流飲之。許由歿葬此山。亦名許由山。在洛州陽城縣南十三里。

之時。有卞隨務光者。此何以稱焉。

疑于有。索隱曰。說者謂諸子雜記也。然堯讓於許由。及夏時。有卞隨務光等。殷湯讓之天下。

竝不受而逃。事具莊周讓王篇。○正義曰。經史唯稱伯夷叔齊不及許由。卞隨務光者不少。概見何以哉。故言何以稱焉。爲不稱說之也。

太史公別起

太史公曰。余登

箕山。索隱曰。蓋楊惲東方朔見其文稱余。而加太史公曰也。

其上蓋有許由冢云。孔子序列古之

仁聖賢人。如吳太伯伯夷之倫。詳矣。余以所聞。由光義至高。

索隱

曰。謂太史公聞莊周說許由務光等也。莊子。堯讓天下於許由。由遂逃箕山。洗耳於潁水。卞隨自投於桐水。務光負石自沈於盧水。是義至高。其文辭不少。概

見何哉。

索隱曰。案概是梗概。謂略也。蓋以由光義至高。而詩書之文辭。遂不少。梗概載見。何以如此哉。是太史公疑於說者之言。或非實也。○正義曰。概古代反。

孔

子曰。伯夷叔齊。不念舊惡。怨是用希。求仁得仁。又何怨乎。余悲

太史公曰。余登箕山。注索隱曰。云云。ハ、清錢大昕曰。子長ノ書、每篇太史公ト稱ス、皆自ラ其官ヲ稱ス、他人加フル所ニ非ズ、又其父ヲ尊フニ非ザルナリ、賈生漢唐傳文、亦余ト稱シテ、太史公ヲ加ヘザル者アリト、是ハ索隱ノ楊惲東方朔等ノ加フル所ト爲スチ駁セシナリ。其上蓋有許由冢云云ハ、明凌稚隆曰、堯許由ニ讓ル、蓋莊周ノ寓言、天下チ眇トシテ道フニ足ラズト爲ス耳、太史公許由ノ冢アリト言フハ、乃實ニ其人アルチ明カス、而又文辭少ク概見セズト曰フハ、則堯讓ノ事ナキ已ニ言外ニ隱然タリト。

老子傳ヲ升シテ列傳ノ首ニ置カシム、正義ハ、唐張守節ノ著ニシテ、開元二十四年ニ成ル、故ニ其次第二依リシナリ。
太史公列傳序云云ハ、史記百三十卷太史公自序ノ文ナリ。

夫學者載籍極博猶考信於六藝ハ、清方苞曰、此六藝ハ、六經ヲ以テ言フ、許由下賤務光ハ、諸子ニ見ユト雖モ、六經ニ載セズ、孔子又稱スルナシ、是ヲ以テ敢テ疑ナ傳ヘザルナリ、又曰、六經孔子ノ道ハザル所ハ、從テ信ヲ考フルナシト。

見聞者歎之也。中言各從所好決擇死生輕重以君子之正論折之也。一篇之中錯綜宕蕩極文之變而不詭于聖人可謂良史矣。宋人不達文體是以不得遷之意而輕爲立論。本朝又有補訂伯夷傳者異哉。

柯維騏曰案太史公列傳序云末世爭利惟彼奔義讓國餓死天下稱之作伯夷列傳第一。晏子儉矣夷吾則奢齊桓以伯景公以治作管晏列傳第二。李耳無爲自化清淨自正韓非揣事情循勢理作老子韓非列傳第三。然則太史公作傳原首伯夷其莊周申不害特附載於老子韓非中耳。唐開元敕昇老子申子爲列傳首乃列老莊於伯夷之前而申韓別爲一傳。今世所傳正義本是也。司馬貞又以韓非與商君並列益紊亂矣。今所論次悉依太史公之舊云。

夫學者載籍極博猶考信於六藝詩書雖缺然虞夏之文可知。

也。索隱曰孔子系家稱古詩三千餘篇孔子刪三百五篇爲詩。今亡五篇又書緯稱孔子求得黃帝玄孫帝魁之書迄秦穆公凡三千三百三十篇乃刪以一百篇爲尙書十八篇爲

中候。今百篇之內見亡四十二篇是詩書又有缺亡也。尙書有堯典舜典大禹謨備言虞夏禪讓之事故云虞堯將遜位讓於虞舜舜禹之間岳牧咸薦乃試之於夏之文可知也。

位。典職數十年。正義曰舜禹皆典職事二十餘年然後踐帝位。功用既興然後授政示天下重

器。索隱曰言天下者是王者之重器故莊子云天下之大器是也則大器亦謂之重器。王者大統傳天下若斯之難也。

即堯讓舜之難以明讓天下許由之妄

史記評林卷之六十一

吳興凌稚隆輯校

溫陵李光縉增補

伯夷列傳第一

索隱曰。列傳者。謂敘列人臣事跡。今可傳於後世。故曰列傳。
正義曰。其人行跡可序列。故云列傳。

監本。老子與伯夷同傳第一。莊子與韓非同傳第三。

索隱本。伯夷傳第一。老子莊子韓非同傳第三。索隱云。二人教迹全乖。不宜同傳。先賢已有成說。今則不可依循。宜令老子尹喜莊周同爲傳。其韓非可居商君傳末。

正義本。老子莊子伯夷居列傳之首。正義云。老子莊子開元二十三年奉敕升爲列傳首。處夷齊上。然漢武帝之時。佛教未興。道教已設。道則禁惡。咸致正理。制禦邪人。未有佛教可導。故列老莊於申韓之上。今既佛道齊妙。興法乖流。理居列傳之首也。

楊慎曰。案唐崇老教。謬取老子居列傳首。而與伯夷合爲一卷。甚爲無謂。夫奔義激世。莫先伯夷。而老莊法意。流爲申韓。太史公敘述。自有深意。豈宜妄爲軒輊。今以伯夷傳居首爲一卷。次以管晏爲一卷。次以老莊申韓爲一卷。以復太史公之舊云。
又曰。宋人謂太史公作伯夷傳。滿腹是怨。今試觀之。始言天道報應差爽。以世俗共

老子莊子開元二十三年奉敕云云。老子ハ、李氏、而シテ唐モ亦李氏ナルヲ以テ、唐高宗自ヲ以テ老子ノ後ナリト爲シ、其敕封元年、亳州ニ如キ、老子ヲ祀リ、尊デ太上玄元皇帝ト爲ス、而シテ玄宗亦道教ヲ崇ブ、故ニ開元二十三年ニ至リ、敕シテ史記列傳ノ順序ヲ改メ、

匡衡

史記列傳上目次終

卷九十一

黥布列傳第三十一

卷九十二

淮陰侯列傳第三十二

卷九十三

韓王信盧綰列傳第三十三

韓王信 盧綰 陳豨

卷九十四

田儼列傳第三十四

田榮以下附 田橫

卷九十五

樊鄴滕灌列傳第三十五

樊噲 鄴商 夏侯嬰 灌嬰

卷九十六

張丞相列傳第三十六

張蒼 周昌 周苛 趙堯 任敖 申屠嘉
韋賢以下續 魏相 邴吉 黃霸 韋玄成

卷八十三

魯仲連鄒陽列傳第二十三

卷八十四

屈原賈誼列傳第二十四

卷八十五

呂不韋列傳第二十五

卷八十六

刺客列傳第二十六

曹沫 專諸 豫讓 聶政 荊軻

卷八十七

李斯列傳第二十七

卷八十八

蒙恬列傳第二十八

蒙毅附

卷八十九

張耳陳餘列傳第二十九

張敖附

卷九十

魏豹彭越列傳第三十

卷七十五

孟嘗君列傳第十五

馮驩附

卷七十六

平原君虞卿列傳第十六

卷七十七

信陵君列傳第十七

卷七十八

春申君列傳第十八

卷七十九

范雎蔡澤列傳第十九

卷八十

樂毅列傳第二十

卷八十一

廉頗藺相如列傳第二十一

廉頗 藺相如 趙奢 趙括附 李牧

卷八十二

田單列傳第二十二

王蠋附

卷六十八

商君列傳第八

卷六十九

蘇秦列傳第九

蘇秦 蘇代以下附 蘇厲

卷七十

張儀列傳第十

張儀 陳軫 公孫衍

卷七十一

樛里甘茂列傳第十一

樛里子 甘茂 甘羅

卷七十二

穰侯列傳第十二

卷七十三

白起王翦列傳第十三

卷七十四

孟子荀卿列傳第十四

孟子 騶衍附 淳于髡 慎到 騶奭 荀卿

漢文大系
第六卷

史記列傳上目次

卷六十一

伯夷列傳第一

卷六十二

管晏列傳第二

管仲 晏嬰

卷六十三

老莊申韓列傳第三

老子 莊子 申不害 韓非

卷六十四

司馬穰苴列傳第四

卷六十五

孫子吳起列傳第五

卷六十六

伍子胥列傳第六

卷六十七

仲尼弟子列傳第七

史記年表終

一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七
143	142	141	140	139	138	137	136	135	134	133	132	131
後元	二	三	武帝徵 建元	二	三	四	五	六	元光一	二	三	四
戊戌	亥己	子庚	丑辛	寅壬	卯癸	辰甲	巳乙	午丙	未丁	申戊	酉己	戌庚
劉舍免ズ、衛綰ヲ丞相、直不疑ヲ御史大夫ト爲ス、周亞夫ヲ獄ニ下ス、食ハズシテ死ス。	二千石ヲ戒テ職事ヲ修メシム。	農桑ヲ勸メ、黄金珠玉ヲ采ルヲ禁ズ、帝崩ズ、子徹立ツ。	董仲舒ヲ江都相ト爲ス、衛綰免ズ、實嬰ヲ丞相ト爲ス、趙綰ヲ御史大夫、王臧ヲ郎中令ト爲ス、申公ヲ迎テ太中大夫ト爲ス、始テ年號アリ。	淮南王安來朝ス、趙綰王臧自殺ス、嬰免ジ、申公免ジ、歸ル。石建ヲ郎中令ト爲ス、內史ト爲ス、許昌ヲ丞相、衛青ヲ太中大夫ト爲ス。	閩越東甌ヲ擊ツ、兵ヲ發シ之ヲ救ヒ、其衆ヲ江淮間ニ徙ス、帝始テ微行シ、上林苑ヲ起ス。	辰甲	巳乙	午丙	未丁	申戊	酉己	戌庚
許昌免ズ、田蚡ヲ丞相ト爲ス、閩越王鄢南越ヲ攻ム、王恢ヲ遣リ之ヲ討ツ、越人鄢ヲ殺テ降ル、南越太子嬰齊ヲシテ入テ宿衛セシム、汲黯ヲ主爵都尉ト爲ス。	初テ郡國ニ孝廉各一人ヲ舉ゲシム、李廣程不識ヲ將軍ト爲シ、兵ヲ將テ北邊ニ屯ス。	始テ親ヲ寵ヲ祠リ、方士ヲシテ神仙ヲ求メシム、閉テ遣リ匈奴單于ヲ誘シ、塞ニ入り、王恢等兵ヲ伏テ之ヲ邀フ、獲ズ、恢罪ヲ以テ自殺ス。	河傾丘ニ徙リ、濟陽ニ決ス。	實嬰ヲ殺ス、田蚡卒ス、薛澤ヲ丞相ト爲ス。	三	二	一	四	三	二	一	四
二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇
130	129	128	127	126	125	124	123	122	121	120	119	118
五	六	元朔一	二	三	四	五	六	元狩一	三	四	五	六
亥辛	子壬	丑癸	寅甲	卯乙	辰丙	巳丁	午戊	未己	申庚	酉辛	戌壬	亥癸
河間王德雅樂ヲ獻ズ、南夷ニ通ジ、疑爲郡ヲ置ク、西夷ニ通ジ、都尉ヲ置ク、皇后陳氏ヲ廢ス、大中大夫張湯中大夫趙禹律令ヲ定ム、公孫弘ヲ博士ト爲ス。	初テ商車ヲ算ス、渭渠ヲ穿ツ、匈奴上谷ニ寇ス、衛青等擊テ之ヲ卻ク。	子諱生ル、衛氏ヲ皇后ト爲ス、匈奴入寇ス、李廣ヲ右北平太守ト爲ス、東夷薺君降ル、蒼海郡ヲ置ク、主父假嚴安徐樂ヲ郎中ト爲ス。	諸侯王國邑ヲ分チ子弟ヲ封ズルヲ得、匈奴入寇ス、衛青等擊テ之ヲ卻ク、河南地ヲ取り朔方郡ヲ立ツ、匈奴臣子誅ス、孔臧ヲ太常ト爲ス。	匈奴軍臣單于死ス、弟伊稚斜立ツ、公孫弘ヲ御史大夫、張騫ヲ太中大夫、嚴助ヲ廷尉ト爲ス、蒼海郡ヲ置ク、四夷ヲ罷ム。	匈奴代郡定襄上郡ニ入寇ス。	薛澤免ズ、公孫弘ヲ丞相ト爲シ、平津侯ニ封ズ、匈奴朔方ニ寇ス、衛青六將軍ヲ率キ之ヲ擊ツ、青ヲ大將軍ト爲ス、博士弟子五十人ヲ置ク。	衛青六將軍ヲ率テ匈奴ヲ擊ツ、趙信敗レテ匈奴ニ降ル、武功郡ヲ置ク。	淮南王安衡山王賜謀反、自殺ス、子據ヲ太子ト爲ス、張騫ヲ西域ニ遣ル、始テ漢國ニ通ジ、復西南夷ヲ事ス、五時ニ祠リ、一角獸ヲ獲、天瑞ヲ以テ之ヲ紀ス。	公孫弘卒ス、李蔡ヲ丞相、張湯ヲ御史大夫ト爲ス、霍去病ヲ驍騎將軍ト爲シ、匈奴ヲ擊テ祁連山ニ至ル、匈奴單于王降ル、五屬國ヲ置ク。	匈奴右北平定襄ニ寇ス、山東大水其民ヲ關西朔方ニ徙ス、昆明池ヲ作ル、關西北地上郡戊卒ノ半ヲ減ズ、神馬ヲ涿涿水中ニ得。	皮幣白金ヲ造リ、三銖錢ヲ鑄、鐵官ヲ置ク、緡錢舟車ヲ算ス、衛青霍去病匈奴ヲ擊ツ、李廣自殺ス、卜式ヲ中郎義縱ヲ右內史王溫舒ヲ中尉ト爲ス、少翁ヲ誅ス。	李蔡罪アリ、自殺ス、莊青翟ヲ丞相、汲黯ヲ淮陽太守ト爲ス、三銖錢ヲ罷ム、五銖錢ヲ鑄ル、帝甘泉ニ如キ、神君ヲ祠ル。

四六	一六	一一	申壬	匈奴狄道ニ寇ス、民ヲ募リ塞下ニ徙ス。
四七	一六	一二	酉癸	河醴棗ニ決ス、民粟ヲ邊ニ入ル、爵ヲ拜シ罪ヲ免ズ、三老孝悌力田常員ヲ置ク、賈誼卒ス。
四八	一六	一三	戌甲	親ヲ耕桑スル禮儀ヲ具ス、肉刑ヲ除ク、田租ヲ除ク。
四九	一六	一四	亥乙	匈奴入寇ス、兵ヲ遣リ之ヲ撃ツ、魏尙ヲ救シ復雲中守ト爲ス。
五〇	一六	一五	子丙	常璠ニ如キ、始テ五帝ニ郊見ス、親ヲ賢良方正能直言極諫者ヲ策シ、鼂錯ヲ中大夫ト爲ス。
五一	一六	一六	丑丁	五常ヲ郊祀ス、新垣平ヲ上丈夫ト爲ス、齊地ヲ分ケ悼惠王子六人ヲ王ト爲シ、淮南ヲ分チ厲王子三人ヲ王ト爲ス、更メテ明年ヲ以テ元年ト爲ス。
五二	一六	後元	寅戊	新垣平ヲ誅ス。
五三	一六	二	卯己	復匈奴ト和親ス、張敖免ズ、申屠嘉ヲ丞相ト爲ス。
五四	一六	三	辰庚	匈奴老上單于死ス、子軍臣單于立ツ。
五五	一六	四	巳辛	
五六	一六	五	午壬	一
五七	一六	六	未癸	匈奴上郡雲中ニ寇ス、周亞夫等ヲシテ兵ヲ屯シ之ニ備ヘシム。
開化	一五七	七	申甲	帝崩ズ、太子啓立ツ。
一四	一四四	六	酉丁	諸官名ヲ改ム、五時ニ郊ス、梁王武卒ス、分テ子五人ヲ王ト爲ス、匈奴雁門上郡ニ寇ス、李廣上郡太守ト爲ル、韓成ヲ中尉ト爲ス。
一三	一四五	五	申丙	詔シテ獄疑キ者ハ之ヲ聽ス。
一二	一四六	四	未乙	
一一	一四七	三	午甲	周夫免ズ、劉舍ヲ丞相ト爲ス。
一〇	一四八	二	巳癸	臨江王榮自殺ス、梁王武人ヲシテ袁盎ヲ殺サシム。
九	一四九	中元	辰壬	
八	一五〇	七	卯辛	太子榮ヲ廢シ、臨江王ト爲ス、王氏ヲ皇后ト爲シ、微ヲ太子ト爲ス、陶青免ズ、周亞夫ヲ丞相ト爲ス、郵都ヲ中尉ト爲ス。
七	一五一	六	寅庚	皇后薄氏ヲ廢ス。
六	一五二	五	丑己	公主ヲ遣リ匈奴單于ニ嫁ス。
五	一五三	四	子戊	子榮ヲ太子ト爲シ、微ヲ膠東王ト爲ス。
四	一五四	三	亥丁	吳楚七國反ス、周亞夫兵ヲ將テ討チ、大ニ之ヲ破ル、吳王濞誅セラレ、楚王戊自殺ス、鼂錯ヲ殺ス。
三	一五五	二	戌丙	嘉卒ス、陶青ヲ丞相、鼂錯ヲ御史大夫ト爲ス。
二	一五六	一	酉乙	南帝ヲ尊テ太祖ト爲シ、文帝ヲ太宗ト爲ス、管法ヲ滅ズ、張敖ヲ廷尉ト爲ス。
景帝啓				

二二〇	195	一二 午丙	帝布軍ヲ破ル、布誅セラル、還リ沛豐ヲ復ス、周勃陳繡ヲ誅ス、蕭何ヲ獄ニ下ス、已ニシテ之ヲ赦ス、盧綰反ス、樊噲ニ之ヲ討タシム綰何奴ニ奔ル、帝崩ズ。	三三	六 未己	呂王嘉ヲ廢シ、呂産ヲ呂王ト爲ス、匈奴狄道ニ寇ス。
二二	194	惠帝 一 未丁	呂太后趙王如意ヲ殺ス、長安ニ城ク。	三四	七 申庚	太后趙王友ヲ殺シ、梁王恢ヲ趙王、呂産ヲ梁王ト爲ス、恢自殺ス、呂祿ヲ趙王ト爲ス、周勃ヲシテ南越ヲ擊タシム。
二二	193	二 申戊	齊王肥來朝ス、蕭何卒ス、曹參ヲ相國ト爲ス。	三五	八 酉辛	呂通ヲ燕王ト爲ス、太后呂氏崩ズ、齊王襄兵ヲ發ス、周勃陳平等諸呂ヲ誅シ、代王恆ヲ迎立ス、呂后名クル所惠帝ノ子弘等ヲ誅ス。
二三	192	三 酉己	匈奴ト和親ス、閩越君搖ヲ南海王ト爲ス。	三六	文帝恆 一 戌壬	陳平ヲ左丞相周勃ヲ右丞相灌嬰ヲ太尉ト爲ス、勃免ズ、陸賈ヲ南越ニ使ス、佗臣ト稱ス、賈誼ヲ中大夫ト爲ス。
二四	191	四 戌庚	挾書律ヲ除ク、原廟ヲ立ツ。	三七	二 亥癸	陳平卒ス、周勃ヲ丞相ト爲ス、賈誼方正直言者ヲ舉ク、親ヲ籍田ニ耕ス、誹謗妖言法ヲ除ク。
二五	190	五 亥辛	曹參卒ス、長安城成ル。	三八	三 子甲	周勃免シ國ニ就ク、灌嬰ヲ丞相ト爲シ、太尉官ヲ罷ム、淮南王長孫食其ヲ殺ス、匈奴入寇ス、沙婁擊テ之ヲ走ラス、濟北王興居反シ敗死ス、張釋之廷尉アリ。
二六	189	六 子壬	王陵ヲ右丞相、陳平ヲ左丞相、周勃ヲ太尉ト爲ス、張良卒ス。	三九	四 丑乙	灌嬰卒ス、張敖ヲ丞相ト爲ス、賈誼ヲ長沙王太傅ト爲ス、周勃ヲ獄ニ下ス、之ヲ赦ス、顧成閼ヲ作ル。
二七	188	七 丑癸	帝崩ズ、太后呂台呂産ヲシテ南北軍ニ將タラシメ、自ラ朝ニ臨ミ、制ヲ稱ス、少帝ヲ立ツ。	四〇	五 寅丙	更メテ四銖錢ヲ造リ、盜鑄令ヲ除ク。
二八	187	呂后 一 寅甲	陳平ヲ右丞相、審食其ヲ左丞相、任敖ヲ御史大夫ト爲ス、呂台ヲ呂王ト爲ス、張敖ヲ魯王ト爲ス。	四一	六 卯丁	淮南王長謀反ス、廢シテ蜀ニ徙ス、道ニ死ス、匈奴冒頓死ス、子老上單于立ツ、復和親ヲ請フ、賈誼ヲ梁王太傅ト爲ス。
二九	186	二 卯乙	齊王弟章ヲ朱虛侯ト爲ス。	四二	七 辰戊	
三〇	185	三 辰丙		四三	八 巳己	淮南厲王長ノ子四人ヲ列侯ト爲ス。
三一	184	四 巳丁	少帝ヲ殺シ、恒山王義ヲ立ツ、名ヲ弘ト改ム、曹窋ヲ御史大夫ト爲ス。	四四	九 午庚	
三二	183	五 午戊	南越王趙佗反ス。	四五	一〇 未辛	薄昭罪アリ自殺ス。

七〇	七一	七二	七三	七四	七五	七六	孝元	一	二	三	四	五	六
221	220	219	218	217	216	215	214	213	212	211	210	209	208
秦始皇	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	二	一
辰庚	巳辛	午壬	未癸	申甲	酉乙	戌丙	亥丁	子戊	丑己	寅庚	卯辛	辰壬	巳乙
王賁齊ヲ襲ヒ王建降ル、初テ皇帝ト稱ス、十月ヲ歲首ト爲ス、天下ヲ分テ三十六郡ト爲シ、宮ヲ咸陽ニ築ク。	帝隴西北地ヲ巡ル、馳道ヲ天下ニ治ス。	帝東巡シ泰山ニ封ジ、梁父ニ禪シ、遂ニ海上ニ遊ビ徐福ヲシテ神仙ヲ求メシメ、南江ヲ渡テ還ル。	帝東遊シ陽武ニ至ル、韓人張耳狙撃シ、誤テ副車ニ中ル、天下ニ令シ大索スル十日、得ズ。	更メテ臘ヲ名ケテ嘉平ト曰フ。	帝北邊ヲ巡リ、將軍蒙恬ヲシテ匈奴ヲ伐タシム。	南越地ヲ略取シ、桂林南海象郡ヲ置ク、蒙恬河南地ヲ收メ長城ヲ築ク。	詩書百家ノ語ヲ燒ク。	直道ヲ除ク、朝宮ヲ營シ前殿阿房ヲ作ル、諸生ヲ阮ニス、長子扶蘇ヲシテ蒙恬ノ軍ヲ監セシム。	星アリ、東郡ニ墮チテ石ト爲ル。	帝東巡沙丘ニ崩ズ、丞相李斯宦者趙高譖詔ヲ矯メ、少子胡亥ヲ立テ、扶蘇蒙恬ヲ殺ス、驪山ニ葬ル。	諸公子ヲ殺ス、陳勝兵ヲ起シ楚王ト爲ル、楚周文秦ニ伐テ敗走ス、武臣趙王ト爲ル、劉邦項梁兵ヲ起ス、田儼齊王韓廣燕王魏劼魏王ト爲ル 秦衛ヲ滅ス。		
七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇
208	207	206	205	204	203	202	201	200	199	198	197	196	195
二	三	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二
巳癸	午甲	未乙	申丙	酉丁	戌戊	亥己	子庚	丑辛	寅壬	卯癸	辰甲	巳乙	五
趙歇趙王ト爲ル、莊賈陳勝ヲ殺ス、景駒楚王トナル、項梁楚漢王孫心ヲ立ツ、韓成韓王ト爲ル、田儼魏咎死ス、李斯ヲ殺ス、趙高中丞相タリ、項梁敗死ス。	楚項羽秦將ヲ殺シ、章邯降ル、沛公武關ニ入ル、趙高帝ヲ弑シ、子嬰ヲ立ツ、子嬰高帝ヲ誅ス、沛公饒關ヲ破ル。	秦王子嬰沛公ニ降ル、項羽秦降卒ヲ阮ニス、成陽ヲ屠リ子嬰ヲ殺ス、自立西楚霸王ト爲リ、諸將ヲ封ズ、沛公漢王ト爲リ、韓信ヲ擊テ三秦ヲ定ム、齊王田榮立ツ、	項羽義帝ヲ弑シ、漢王陳勝、陳餘代王ト爲ル、漢王彭越、齊王榮陽、王廣立ツ、韓餘代王ト爲ル、漢王彭越、齊王榮陽、王廣立ツ、	韓信魏ヲ破ル、王歇ヲ禽シ、陳餘ヲ斬ル、燕ヲ下ス、英布漢ニ歸ス、楚漢王ヲ榮陽ニ圍ム、楚范增死ス、彭越梁十七城ヲ下ス、楚復之ヲ取ル。	韓信魏ヲ破ル、齊ヲ破ル、楚將龍且ヲ殺ス、田横自立齊王ト爲ル、楚漢約シ天下ヲ分ス。	漢項羽ヲ破ル、羽自殺ス、韓信ヲ楚王彭越ヲ梁王ト爲ス、漢王帝位ニ即ク、田横自殺ス、帝西關中ニ都ス、燕王臧荼反ス、擊テ之ヲ破ス、滅綰ヲ燕王ト爲ス。	楚王信ヲ執フ、赦シテ淮陰侯ト爲ス、功臣ヲ封ズ、曹參齊相ト爲ス、匈奴邊ニ寇ス、韓王信叛ス、太公尊ア太上皇ト爲ス、叔孫通朝儀ヲ起ス。	帝韓王信及匈奴ヲ封ジ、平城ニ圍マル、長樂宮成ル、徙テ長安ニ都ス。	帝洛陽ニ如ク、九月還ル。	劉敬ヲ匈奴ニ遣リ和親ヲ結ブ、趙王趙敖廢セララル。	太上皇崩ズ、周昌ヲ趙相ト爲シ、趙楚ヲ御史大夫ト爲ス、代相陳豨反ス、帝自ラ之ヲ討ツ。	陳豨ノ軍ヲ破ル、呂后韓信ヲ殺ス、韓王信ヲ謀ス、蕭何ヲ相國ト爲ス、彭越ヲ殺ス、趙佐王南粵王ト爲ス、帝疾アリ、英布反ス、帝自ラ之ヲ討ツ。	

四四 247	三 寅甲	秦魏ヲ伐ツ、魏信陵君五國ノ師ヲ率キ之ヲ取り、追テ函谷ニ至ル、秦莊襄王楚薨ズ、子政立ツ、是ヲ始皇ト爲ス。	五七 234	一三 卯丁	秦趙ヲ伐テ其將卮軻ヲ殺ス、趙李牧秦師ヲ宜安ニ破ル。
四五 246	秦王政 一 卯乙	秦涇水ヲ鑿テ渠ト爲ス。	五八 233	一四 辰戌	韓使ヲ遣リ藩ヲ秦ニ稱ス。
四六 245	二 辰丙	趙孝成王丹薨ズ、子悼襄王偃立ツ、廉頗魏ニ奔ル。	五九 232	一五 巳己	燕太子丹秦ヨリ逃歸ル、秦趙ヲ伐チ李牧ニ遇テ還ル。
四七 244	三 巳丁	秦韓十二城ヲ取ル、趙李牧ヲ將ト爲シ、燕ヲ伐テ武遂方城ヲ取ル、魏信陵君無忌卒ス。	六〇 231	一六 午庚	韓南陽ヲ秦ニ獻ズ。
四八 243	四 午戌	秦魏ヲ伐ツ、魏安釐王圉薨ズ、子景湣王增立ツ。	六一 230	一七 未辛	秦韓ヲ滅シ王安ヲ虜ニシ、潁川郡ヲ置ク。
四九 242	五 未己	秦魏ヲ伐テ二十城ヲ取り、東郡ヲ置ク。	六二 229	一八 申壬	秦王翦趙ヲ伐ツ、趙其將李牧ヲ殺ス。
五〇 241	六 申庚	楚趙魏韓衛合從シ、秦ヲ伐チ函谷ニ至テ敗走ス、楚壽春ニ遷ル、衛徙テ野王ニ居ル、秦魏ヲ伐テ朝歌及衛濮陽ヲ拔ク。	六三 228	一九 酉癸	秦趙ヲ滅シ王遷ヲ虜ニス、趙公子嘉自立シテ代王ト爲ル、楚幽王惲薨ズ、弟哀王立ツ、庶兄負芻哀王ヲ殺シテ自立ス、魏景湣王增薨ズ、子假立ツ。
五一 240	七 酉辛	秦魏ヲ伐テ汲ヲ取ル。	六四 227	二〇 戌甲	燕太子丹荆柯ヲシテ秦王ヲ劫カシム、克タズ、秦遂ニ擊テ燕代ノ兵ヲ破リ進テ薊ヲ圍ム。
五二 239	八 戌壬	魏趙ニ鄴ヲ與フ、韓桓惠王薨ズ、子安立ツ。	六五 226	二一 亥乙	秦劔ヲ拔ク、燕王遼東ニ走リ、太子丹ヲ斬テ秦ニ獻ズ、秦李信楚ヲ伐ツ。
五三 238	九 亥癸	秦魯衛亂ヲ作シ諱ニ伏ス、秦王其太后ヲ雍ニ遷ス、楚考烈王元薨ズ、子幽王惲立ツ、監春申君黃歇ヲ殺ス。	六六 225	二二 子丙	秦王資魏ヲ伐ツ、魏王假降ル、之ヲ殺シ遂ニ魏ヲ滅ス、秦人大ニ秦軍ヲ破ル、李信奔リ還ル、秦王弱之ニ代ル。
五四 237	一〇 子甲	秦相國呂不韋罪ヲ以テ免ズ、秦大索シ客ヲ逐フ、客卿李斯上書ス、遂ニ共令ヲ除ク。	六七 224	二三 丑丁	秦王翦大ニ楚軍ヲ敗リ、其將項燕ヲ殺ス。
五五 236	一一 丑乙	趙燕ヲ伐テ狸陽ヲ取ル、秦趙ヲ伐テ九城ヲ取ル、趙悼襄王偃薨ズ、子幽穆王遷立ツ。	六八 223	二四 寅戊	秦楚ヲ滅シ、王負芻ヲ虜ニシ、楚郡ヲ置ク。
五六 235	一二 寅丙	秦呂不韋蜀ニ徙リ自殺ス。	六九 222	二五 卯己	秦燕ヲ滅シ王喜ヲ虜ニシ、代ヲ滅シ、王嘉ヲ虜ニス、秦王翦江南ヲ定メ、百越ヲ降シ、穉曾郡ヲ置ク。

一八 273	四二 子戊	趙魏共ニ韓ヲ伐ツ、秦之ヲ救ヒ大ニ其軍ヲ破ル、魏南陽ヲ割テ和ス、韓釐王卒薨ズ、子桓惠王立ッ。
一九 272	四三 丑己	楚太子完秦ニ質タリ、秦南陽郡ヲ置ク、燕惠王薨ズ、子武成王立ッ。
二〇 271	四四 寅庚	趙齊ヲ伐ツ。
二一 270	四五 卯辛	秦趙ヲ伐テ閼與ヲ圍ム、趙奢擊テ之ヲ却ク、趙奢ヲ馬服君ニ封ズ、秦齊ヲ伐テ剛壽ヲ取ル、穰渠ヲ滅ス、秦范雎ヲ客卿ト爲ス。
二二 269	四六 辰壬	
二三 268	四七 巳癸	秦魏ヲ伐テ懷ヲ拔ク。
二四 267	四八 午甲	
二五 266	四九 未乙	秦君其母ヲ廢シ、魏冉羊戎等ヲ逐ヒ、范雎ヲ丞相ト爲シ、應侯ニ封ズ、趙平原君勝ヲ相ト爲ス、趙惠文王薨ズ、子孝成王丹立ッ。
二六 265	五〇 申丙	秦君母辛氏卒ス、秦趙ヲ伐ツ、齊救テ之ヲ卻ク、齊襄王法章薨ズ、子建立ッ。
二七 264	五一 酉丁	秦白起韓ヲ伐テ九城ヲ拔ク。
二八 263	五二 戌戊	楚太子完秦ヨリ逃レ歸ル、頃襄王橫薨ズ、考烈王完立ッ、黃歇ヲ相ト爲シ、春申君ニ封ズ。
二九 262	五三 亥己	秦白起韓ヲ伐テ野王ヲ拔ク、上黨趙ニ降ル。
三〇 261	五四 子庚	
三一 260	五五 丑辛	秦王駘趙上黨ヲ拔ク、白起代リ將タリ、大ニ趙軍ヲ破リ、其將趙括ヲ殺シ、降卒四十萬ヲ阬ニス。
三二 259	五六 寅壬	秦趙ヲ攻メ、武安皮牟ヲ拔キ、太原上黨ヲ定ム、韓趙又地ヲ割テ和ス、秦趙平原君ヲ誘執ス、既ニシテ之ヲ歸ス。
三三 258	五七 卯癸	秦趙邯鄲ヲ圍ム、趙平原君楚ニ如テ師ヲ乞フ、魏信陵君其將晉鄙ヲ殺シ、軍ヲ奪テ以テ進ム、燕武成王薨ズ、子孝王立ッ。
三四 257	五八 辰甲	秦白起ヲ殺ス、魏信陵君大ニ秦軍ヲ邯鄲ニ破ル、秦太子ノ子異人趙ヨリ逃レ歸ル。
三五 256	五九 巳乙	秦韓趙ヲ伐ツ、王諸侯ニ命ジ之ヲ討ズ、秦遂ニ入寇ス、西周武公秦ニ入テ地ヲ獻ズ、王崩ズ。
三六 255	一 午丙	秦丞相范雎免ズ、楚荀況ヲ蘭陵令ト爲ス、秦西周文公ヲ惠狐秦ニ遷ス、燕孝公薨ズ、子喜立ッ。
三七 254	二 未丁	韓王秦ニ入朝ス、魏令ヲ秦ニ聽ク。
三八 253	三 申戊	秦王上帝ヲ府ニ郊見ス、楚鉅陽ニ遷ル。
三九 252	四 酉己	魏人衛懷君ヲ殺シ、其弟元君ヲ立ッ。
四〇 251	五 戌庚	秦昭襄王薨ズ、與孝文王柱立ッ、燕趙ヲ伐ツ、趙之ヲ敗リ、遂ニ燕ヲ圍ム、趙平原君勝卒ス。
四一 250	六 亥辛	秦孝文王柱薨ズ、子莊襄王楚立ッ、燕齊ヲ伐テ聊城ヲ拔ク、齊攻テ之ヲ取ル。
四二 249	七 子壬	秦呂不韋ヲ相國ト爲シ、文信侯ニ封ズ、秦東周ヲ滅シ、其君惠公ヲ陽人衆ニ遷ス、周亡ブ、秦韓ヲ伐テ樂陽成臯ヲ取リ、三川郡ヲ置ク、楚魯ヲ滅ス。
四三 248	秦莊襄王 丑癸	秦趙ヲ伐テ太原ヲ定ム、楚黃歇徒リ吳ニ封セララル。

四 287	三 228	二 289	孝靈 一 290	一〇三 291	一〇二 292	一〇〇 293	九九 294	九八 295	九七 296	九六 297	九五 298	九四 299
二八 戌甲	二七 酉癸	二六 申壬	二五 未辛	二四 午庚	二三 巳己	二二 辰戊	二一 卯丁	二〇 寅丙	一九 丑乙	一八 子甲	一七 亥癸	一六 戌壬
秦魏ヲ攻テ新垣曲陽ヲ拔ク。	秦君西帝ト稱シ、使ヲ遣リ齊君ヲ東帝ト爲ス、已ニシテ之ヲ去ル、秦趙ヲ攻テ梗陽ヲ拔ク。	秦白起魏ヲ伐テ六十一城ヲ取ル。	東周君秦ニ如ク、秦魏冉魏ヲ伐ツ、魏河東ヲ秦ニ入レ、韓武遂ヲ入ル。	秦韓ヲ伐テ宛ヲ拔ク、秦魏冉ヲ封ジテ穰侯ト爲ス。	楚君婦ヲ秦ニ迎フ。	魏韓共ニ秦ヲ伐ツ、秦白起之ヲ敗リ五城ヲ拔ク。	秦魏ヲ解ニ敗ル。	趙中山ヲ滅ス、故太子章亂ヲ作ス、公子成李兌之ヲ誅シ、遂ニ武靈王雅ヲ弑ス、秦魏冉ヲ丞相ト爲ス。	楚懷王魏秦ニ薨ズ、魏哀王薨ズ、子昭王繼立ッ、韓襄王薨ズ、子釐王啓立ッ。	楚君秦ヨリ趙ニ走ル、趙納レズ、秦追及シ以テ歸ル。	田文秦ヨリ逃レ齊ニ歸ル、齊韓魏秦軍ヲ函谷關ニ敗ル、秦河東三城ヲ割テ以テ和ス、趙君其弟勝ヲ封ジテ平原君ト爲ス、魯平公叔薨ズ、子文公賈立ッ。	趙太子章ヲ廢シ、少子何ヲ立テ、自ラ主父ト號ス、秦楚ヲ伐チ、楚君ヲ執ヘテ歸ル、楚人子頃襄王橫ヲ立ッ、秦田文ヲ丞相ト爲ス。
一七 274	一六 275	一五 276	一四 277	一三 278	一二 279	一一 280	一〇 281	九 282	八 283	七 284	六 285	五 286
四一 亥丁	四〇 戌丙	三九 酉乙	三八 申甲	三七 未癸	三六 午壬	三五 巳辛	三四 辰庚	三三 卯己	三二 寅戊	三一 丑丁	三〇 子丙	二九 亥乙
魏復齊ト合從ス、秦魏冉魏ヲ伐テ四城ヲ拔ク。	秦魏冉魏ヲ伐ツ、韓之ヲ救ヒ大敗ス、秦復魏ヲ伐テ大梁ヲ圍ム。	秦白起魏ヲ伐テ兩城ヲ拔ク、楚復江南十五邑ヲ取ル、魏公無忌ヲ信陵君ニ封ズ、魯文公賈薨ズ、子頃公繼立ッ。	秦黔中郡ヲ置ク、魏昭王薨ズ、子安釐王繼立ッ。	秦白起楚ヲ伐テ鄧ヲ拔ク、楚徙テ陳ニ都ス、秦南郡ヲ置キ、起ヲ武安君ニ封ズ。	秦白起楚ヲ伐テ鄧西陵ヲ取ル、秦趙渑池ニ會ハ、燕昭王平薨ズ、子惠王立ッ、秦殺趙ニ奔ル齊田單燕ヲ破リ齊地ヲ復ス、樂毅ヲ望諸君ニ封ズ、齊田文辛燕	秦白起趙ヲ伐テ代光狼ヲ拔キ、司馬錯蜀ニ因リ楚ヲ伐テ黔中ヲ取ル、楚漢北上庸ヲ獻ズ。	秦趙ヲ伐テ石城ヲ拔ク、楚入寇ヲ謀ル、王東周君ヲシテ之ヲ噓止ス。	秦趙ヲ伐テ兩城ヲ拔ク。	齊人淖齒ヲ誅シ、其君ノ子襄王法章ヲ立テ莒ニ保ス、秦魏安城ヲ拔キ大梁ニ至ル、趙閼相如ヲ使シテ壁ヲ秦ニ獻ズ、衛君卒ス、子懷君立ッ。	燕樂毅齊ヲ伐テ臨淄ニ入ル、齊君出走ス、其相淖齒之ヲ殺シ、殺齊七十餘城ヲ下ス、燕殺チ昌國君ニ封ズ、秦魏韓京師ニ會ス。	秦樂武齊ヲ擊テ九城ヲ拔ク、齊狐喧陳舉ヲ殺ス、燕樂毅ヲシテ趙ニ如カシム。	秦魏ヲ擊ツ、魏安邑ヲ獻ジテ和ス、秦韓ヲ夏山ニ敗ル、齊宋ヲ滅ス、宋王偃走死ス。

七八	325	四四	申丙	秦始皇王ト稱ス。	八一	三	酉己	秦大ニ楚ヲ敗リ屈辱ヲ蒙リシ、遂ニ漢中ヲ取ル、韓魏楚ヲ襲フ。楚兩城ヲ割テ秦ニ和ス、燕人太子平ヲ立ツ。是ヲ昭王ト爲ス、韓宣惠王薨ズ、子襄王倉立ツ。
六九	324	四五	酉丁	秦張儀魏ヲ伐テ陝ヲ取ル、蘇秦燕ヨリ齊ニ奔ル。	八二	四	戌庚	蜀相劉侯ヲ殺ス、秦張儀六國ニ説キ、連衡シ秦ニ合從ス。秦惠文王顯薨ズ、子武王蕩立ツ、六國復事ヘシム。
七〇	323	四六	戌戌	秦齊楚韶桑ニ會ス、秦相張儀免ジ、出デテ魏ニ相タリ、韓燕皆王ト稱ス。	八三	五	亥辛	秦張儀復出テ魏ニ相タリ、秦劉相莊ヲ誅ス、秦魏臨晉ニ會ス。
七一	322	四七	亥己	秦魏ヲ伐テ曲沃平周ヲ取ル。	八四	六	子壬	秦初ケ丞相ヲ置ク、樛里疾甘茂ヲ以テ之ヲ爲ス、張儀魏ニ卒ス。
七二	321	四八	子庚	王崩ズ、子定立ツ、齋薛公田文ヲ號シテ孟嘗君ト爲ス、燕易王薨ズ、子噲立ツ。	八五	七	丑癸	秦魏應ニ會ス、秦甘茂韓宜陽ヲ伐ツ。
七三	320	一	丑辛	慎詔王定衛更ニ號ヲ貶シテ君ト曰フ。	八六	八	寅甲	秦宜陽ヲ拔ク、秦武王蕩薨ズ、弟昭襄王稷立ツ、母芊氏國事ヲ治メ、魏冉ヲ將軍ト爲ス、趙始テ胡服シ騎射ヲ招ク。
七四	319	二	寅壬	魏襄王嗣薨ズ、子哀王立ツ、孟軻齊ニ適ク。	八七	九	卯乙	趙君中山及胡地ヲ略シ、使テ諸侯ニ遣シ、併テ胡兵ヲ致ス。
七五	318	三	卯癸	楚趙魏韓燕共ニ秦ヲ伐テ函谷關ヲ攻ム、五國敗走ス、宋王ト稱ス、魯景公遷蘇ズ、子平公叔立ツ。	八八	一〇	辰丙	趙中山ヲ伐テ數邑ヲ取ル。秦魏冉其君ノ嫡母ヲ殺シ、其故君妃ヲ魏ニ出ス。
七六	317	四	辰甲	秦大ニ韓ヲ修魚ニ敗ル、魏成ヲ秦ニ請フ、張儀歸テ復秦ニ相タリ、齊人蘇秦ヲ殺ス。	八九	一一	巳丁	秦楚黃棘ニ盟フ、秦復楚ニ上庸ヲ與フ。
七七	316	五	巳乙	秦蜀ヲ伐テ之ヲ取ル、燕君噲國ナ其相子ニ讓ル。	九〇	一二	午戊	秦魏蒲阪晉陽ヲ取リ韓武遂ヲ取ル、齊韓魏共ニ楚ヲ伐ツ、楚太子橫ヲ秦ニ質トス、秦之ヲ救フ。
七八	315	六	午丙	王崩ズ、子延立ツ。	九一	一三	未己	秦魏韓臨晉ニ會ス、秦復魏ニ蒲阪ヲ與フ、楚太子橫秦大夫ヲ殺シ、亡ケ歸ル。
七九	314	一	未丁	秦韓魏ヲ侵シ、魏ヲ伐チ、又韓ヲ岸門ニ敗ル、齊燕ヲ伐テ之ヲ取リ、子之ヲ醢シ、燕君噲ヲ殺ス、孟軻齊ヲ去ル、齊宣王辟疆薨ズ、子湣王池立ツ。	九二	一四	申庚	秦韓魏共ニ楚ヲ伐テ其將唐昧ヲ殺シ、重丘ヲ取ル、趙中山ヲ伐ツ、中山君齊ニ奔ル。
八〇	313	二	申戊	秦趙ヲ伐ツ、楚屈匄秦ヲ伐ツ。	九三	一五	酉辛	秦公子惲齊ニ質タリ、秦平戎大ニ楚ヲ敗リ、其將景缺ヲ殺シ、襄城ヲ取ル、楚太子橫ヲ齊ニ質トシ、平ヲ請フ。

五四 339	五三 340	五二 341	五一 342	五〇 343	四九 344	四八 345	四七 346	四六 347	四五 348	四四 349	四三 350	四二 351
二〇 午壬	二九 巳辛	二八 辰庚	二七 卯己	二六 寅戊	二五 丑丁	二四 子丙	二三 亥乙	二二 戌甲	二一 酉癸	二〇 申壬	一九 未辛	一八 午庚
	秦衛鞅魏ヲ伐テ其將公將子卬ヲ執ヘ之ヲ破ル、魏河西地ヲ秦ニ獻ジ、徙テ大梁ニ都ス、秦鞅ヲ封ジ、商君ト爲ス、楚宣王其夫薨ズ、子威王商立ツ。	魏韓ヲ伐ツ、齊孫臏ノ計ヲ用ヒ、魏ヲ伐テ韓ヲ救ヒ、魏將龐涓ヲ殺ス。		伯チ秦ニ致ス、秦公子少官ヲシテ諸侯ヲ率キテ來朝セシム、齊威王因齊薨ズ、子宣王辟疆立ツ。	諸侯京師ニ會ス、魯康公屯薨ズ、子景公匱立ツ。		衛成侯邈號ヲ貶シテ侯ト曰ヒ、三晉ニ服屬ス。		秦賦稅法ヲ更ム。		秦徙テ咸陽ニ都ス、始テ井田ヲ廢ス、趙成侯薨ズ、子肅侯語立ツ。	秦魏ヲ伐ツ、韓申不害ヲ相ト爲ス。
六七 326	六六 327	六五 328	六四 329	六三 330	六二 331	六一 332	六〇 333	五九 334	五八 335	五七 336	五六 337	五五 338
四三 未乙	四二 午甲	四一 巳癸	四〇 辰壬	三九 卯辛	三八 寅庚	三七 丑己	三六 子戊	三五 亥丁	三四 戌丙	三三 酉乙	三二 申甲	三一 未癸
趙肅侯語薨ズ、子武靈王雍立ツ、	秦穰渠ヲ縣トス、焦曲沃ヲ魏ニ歸ス。	秦張儀魏ヲ伐テ蒲陽ヲ取ル、魏盡ク上郡ヲ納ル、秦儀ヲ以テ相ト爲ス、子懷王槐立ツ。	秦魏ヲ伐テ汾陰皮氏ヲ取リ焦ヲ拔ク、宋公ノ弟偃其君剔威ヲ逐テ自立ス、楚威王商薨ズ。	秦魏ヲ伐ツ、魏少梁河西地ヲ秦ニ獻ズ。		秦齊魏ノ師ヲ以テ趙ヲ伐ツ、蘇秦趙ヲ去リ燕ニ適ク、從約解ク、魏陰晉ヲ以テ和ヲ秦ニ爲ス。	楚齊ヲ伐ツ、韓昭侯薨ズ、子宣惠王立ツ、燕趙韓魏齊楚合從シ秦ヲ擯ス、蘇秦從約長ト爲リ、并テ六國ニ相タリ、燕文公薨ズ、子易王立ツ。	齊魏徐州ニ會シテ相王タリ、楚趙ヲ伐テ大ニ之ヲ敗リ、越王無彊ヲ殺ス、越亡ブ。	魏惠王薨ズ、子襄王嗣立ツ。	孟軻魏ニ至ル。	韓申不害卒ス。	秦孝公渠梁薨ズ、子惠文王嗣立ツ、秦人衛鞅ヲ誅ス。

二八 365	二七 366	二六 367	二五 368	二四 369	二三 370	二二 371	二一 372	二〇 373	一九 374	一八 375	一七 376	一六 377
四 辰丙	三 卯乙	二 寅甲	顯王 一 丑癸	七 子壬	六 亥辛	五 戌庚	四 酉己	三 申戊	二 未丁	烈王 一 午丙	二六 巳乙	二五 辰甲
魏宋ヲ伐ツ。	秦韓魏ノ師ヲ洛陽ニ破ル。		齊魏ヲ伐ツ、趙齊ヲ侵ス。	王崩ズ、弟扁立ツ、韓趙共ニ魏ヲ伐テ安邑ヲ圍ム。	齊侯來朝ス、趙齊ヲ伐ツ、魏趙師ヲ懷ニ破ル、楚肅王滅薨ズ、弟宣王更夫立ツ。	韓嚴其君哀侯ヲ弑ス、子懿侯立ツ、魏武侯擊薨ズ、子惠王薨立ツ。	趙衛ヲ伐テ都鄙七十三ヲ取ル、魏趙師ヲ北閭ニ敗ル。	燕齊師ヲ林狐ニ敗ル、魯魏齊ヲ伐ツ、燕釐公薨ズ、桓公立ツ。		韓鄭ヲ滅シ、徙ツテ之ニ都ス、趙敬侯章薨ズ、子成侯種立ツ。	王崩ズ、子喜立ツ、三晉共ニ其君俱酒ヲ廢シテ其地ヲ分ツ。	蜀楚ヲ伐ツ、韓文侯薨ズ、子哀侯立ツ、魯穆公顯薨ズ、子共公奮立ツ。
四一 352	四〇 353	三九 354	三八 355	三七 356	三六 357	三五 358	三四 359	三三 360	三二 361	三一 362	三〇 363	二九 364
一七 巳己	一六 辰戌	一五 卯丁	一四 寅丙	一三 丑乙	一二 子甲	一一 亥癸	一〇 戌壬	九 酉辛	八 申庚	七 未己	六 午戊	五 巳丁
秦魏ヲ伐ツ、諸侯魏ノ襄陵ヲ圍ム。	齊田忌魏ヲ伐テ趙ヲ救フ、魏還リ戰ヒ敗績ス、韓東周ヲ伐テ陵觀廉丘ヲ取ル、魯共公奮薨ズ、子康公屯立ツ。	秦魏ヲ元里ニ破リ少梁ヲ取ル、魏趙ヲ伐テ邯鄲ヲ圍ム。	齊魏郊ニ會田ス。			秦韓ヲ西山ニ敗ル。	秦衛鞅ヲ左庶長ト爲シ變法ノ令ヲ定ム。韓懿侯薨ズ、子昭侯立ツ。		衛公孫鞅秦ニ入ル。	魏韓趙ヲ瀋ニ破ル、秦魏ヲ少梁ニ破ル、秦獻公薨ズ、子孝公梁立ツ。		秦三晉ノ師ヲ石門ニ敗ル、賜フニ黜敵ノ服ヲ以テス。

七三	七四	七五	七六	七七	七八	七九	八〇	八一	八二	八三	孝安	二
403	402	401	400	399	398	397	396	395	394	393	392	391
二三	二四	安王駘 一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一
寅戌	卯己	辰庚	巳辛	午壬	未癸	申甲	酉乙	戌丙	亥丁	子戊	丑己	寅庚
初テ晉大夫魏斯趙籍韓虔ニ命ジテ諸侯ト爲ス。	王崩ズ、子駘立ッ、盜楚摩王當ヲ殺ス、悼王疑立ッ。		三晉楚ヲ伐テ乘丘ニ至ル、秦簡公薨ズ、子惠公立、韓景侯薨ズ、子列侯取立ッ、趙烈侯籍薨ズ、子武公立ッ。		鄭君其相子陽ヲ殺ス。	盜韓相俠累ヲ殺ス。	鄭子陽ノ黨其君緡公貽ヲ殺ス、幽公ノ弟康公乙ヲ立ッ。			晉烈公止薨ズ、子孝公頌立ッ。		秦韓宜陽ヲ伐テ六邑ヲ取ル、齊田和其君康公貸ヲ海上ニ還ス。
三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五
390	389	388	387	386	385	384	383	382	381	380	379	378
一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四
卯辛	辰壬	巳癸	午甲	未乙	申丙	酉丁	戌戊	亥己	子庚	丑辛	寅壬	卯癸
秦晉武城ニ戰フ、齊魏ヲ伐ッ、魯齊師ヲ平陸ニ敗ル。	齊田和魏侯ト濁澤ニ會シ、諸侯ト爲ルヲ求ム。		秦劉ヲ伐テ南鄭ヲ取ル、魏文侯斯薨ズ、子武侯擊立ッ、吳起楚ニ奔ル、楚以テ相ト爲ス、秦惠公薨ズ、子出子立ッ、韓列侯取薨ズ、子文侯立ッ。	去年趙武侯薨ズ、國人烈侯子敬侯章ヲ立ッ、邯鄲ナ製ヒテ克タズ	秦庶長改其君出子及其母ヲ弑シ、顯公子獻公ヲ立ッ、韓鄭ヲ伐テ遂ニ宋ヲ伐ッ、齊太公和薨ズ、子桓公午立ッ。		魏趙ヲ冤臺ニ敗ル。		楚悼王疑卒ス、楚人吳起ヲ殺ス、悼王子肅王臧立ッ。	齊燕ヲ伐ッ、魏韓趙齊ヲ伐ッ。	趙衛ヲ襲ヒ克タズ、齊康公貸薨ズ、田氏遂ニ齊ヲ并ス、桓公午薨ズ、子威王因齊立ッ。	狄魏帥ヲ滑ニ敗ル、魏韓趙齊ヲ伐ッ、晉孝公頌薨ズ、子靜公俱酒立ッ。

四七 427	四八 428	四九 429	五〇 430	五一 431	五二 432	五三 433	五四 434	五五 435	五六 436	五七 437	五八 438	五九 439
一二 壬子	一三 癸丑	一四 甲寅	一五 乙卯	一 丙辰	二 丁巳	三 戊午	四 己未	五 庚申	六 辛酉	七 壬戌	八 癸亥	九 甲子
秦躁公薨ズ、弟懷公立ツ。			王崩ズ、子午立ツ、衛公子伋昭公糾ヲ弑シ自立ス、是ヲ懷公ト爲ス、河南公其少子班ヲ鞏ニ封ジ、東周ト號シ、河南ヲ西周ト號ス。	威烈王午 逐代ニ自立ス、韓康子疾卒ス、子武子啓章立ツ、魏桓子駒卒ス、子文侯斯立ツ、秦人懷公ヲ弑ス、孫靈公立ツ。	晉趙桓子嘉卒ス、國人其子ヲ殺シ浞ヲ迎テ位ニ復ス、去年鄭共公丑薨ズ、子幽公己立ツ。	晉韓武子鄭ヲ伐テ幽公ヲ殺ス、國人弟繻公駘ヲ立ツ。	秦上下時ヲ作ル。		盜晉幽公柳ヲ殺ス、魏斯幽公子烈公止ヲ立ツ。	晉魏斯少梁ニ城ク。	秦人晉魏氏ト少梁ニ戰フ。	
六〇 416	六一 415	六二 414	六三 413	六四 412	六五 411	六六 410	六七 409	六八 408	六九 407	七〇 406	七一 405	七二 404
一〇 丑乙	一一 寅丙	一二 卯丁	一三 辰戊	一四 巳己	一五 午庚	一六 未辛	一七 申壬	一八 酉癸	一九 戌甲	二〇 亥乙	二一 子丙	二二 丑丁
秦繆姑ニ城ク、衛公子伋懷公伋ヲ弑シテ自立ス、是ヲ懷公ト爲ス、秦靈公薨ズ、國人其子ニ廢シ其季父簡公悼子ヲ立ツ。	中山武公始テ立ツ、四周桓公ノ子ナリ。	齊田莊子自晉ヲ伐テ陽狐ヲ圍ム。	齊田白魯ノ葛及安陵ヲ伐ツ、晉魏斯其子擊ヲシテ繁龐ヲ圍ミ其民ヲ出サシム、趙王翳卒ス、子翳立ツ。	齊田白魯ノ一城ヲ取ル。	魯元公嘉薨ズ、子穆公顯立ツ、齊田莊子白卒ス、子太公和立ツ。	秦初テ吏ニ劍ヲ帶シム、晉魏斯秦ヲ伐テ臨晉元里ニ築ク、晉韓武子啓章卒ス、子景侯虔立ツ、趙獻子浞卒ス、子烈侯籍立ツ。	晉魏斯中山ニ克チ、其子擊ヲシテ之ヲ守ラシム、齊田和魯ヲ伐チ晉韓康子鄭ヲ伐ツ、楚簡王申卒ス、子聲王當立ツ。	齊田和衛ヲ伐ツ、晉魏斯徑ヲト子夏ニ受ク、鄭人晉韓氏ヲ伐テ負黍ヲ取ル。		齊宣公積薨ズ、子康公貸立ツ、齊田會廩丘ヲ以テ田氏ニ叛ス、晉魏斯魏成ヲ相ト爲ス、趙籍公仲連ヲ相ト爲ス。	宋昭公特薨ズ、子悼公購由立ツ。	

二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三
455	454	453	452	451	450	449	448	447	446	445	444	443
一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六
戌丙	亥丁	子戊	丑己	寅庚	卯辛	辰壬	巳癸	午甲	未乙	申丙	酉丁	戌戊
晉知伯魏駒韓虎ト趙無恤ヲ攻ム、無恤晉陽ニ奔ル、鄭人哀公易ヲ弑シ、聲公弟共公丑ヲ立ツ。	晉知伯晉陽ヲ圍ム。	晉趙無恤韓魏ト約シ、知伯ヲ攻メ之ヲ滅シ、其地ヲ三分ス、齊田盤其宗人ヲ以テ齊都邑大夫ト爲シ、三晉ト使ヲ通ズ。	晉知閭秦ニ奔ル。	秦左庶長南鄭ニ城ク、衛悼公黔薨ズ、子敬公弗立ツ、蔡元侯薨ズ、子齊立ツ。	燕孝公薨ズ、成公立ツ。	越王不壽卒ス、子翁立ツ。	晉知寬秦ニ奔ル。	楚子蔡ヲ滅ス、蔡侯齊出奔ス。		楚子杞ヲ滅ス、楚秦ノ平グ、楚東地ヲ侵シテ泗ニ至ル。	秦義渠ヲ伐テ其君ヲ執ヘテ歸ル。	秦厲公共薨ズ、子躁公立ツ。
三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五	四六
442	441	440	439	438	437	436	435	434	433	432	431	430
二七	二八	考王 一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一
亥己	子庚	丑辛	寅壬	卯癸	辰甲	巳乙	午丙	未丁	申戊	酉己	戌庚	亥辛
	王崩ズ、長子哀王去疾立ツ、弟叔哀王ヲ弑シ自立ス、是ヲ思王ト爲ス、少弟思王ヲ殺シテ自立ス、弟桓公揭ヲ河南ニ封ズ、秦南鄭反ス。		晉哀公驕薨ズ、子出公柳立ツ。		晉侯韓魏趙氏ニ朝シ、獨繆曲沃ヲ有ス。		燕成公薨ジ、湣公立ツ。		楚惠王章卒ス、子簡王中立ツ、衛敬公弗薨ズ、子昭公糾立ツ、韓魏趙ニ屬ス。	魯悼公寧薨ズ、子元公嘉立ツ。	義渠秦ヲ侵テ渭南ニ至ル。	

七 469	六 470	五 471	四 472	三 473	二 474	孝昭 一 475	一 476	三四 477	三三 478	三二 479	二一 480	二〇 481
七 申壬	六 未辛	五 午庚	四 巳己	三 辰戊	二 卯丁	元王仁 一 寅丙	四四 丑乙	四三 子甲	四二 亥癸	四一 戌壬	四〇 酉辛	三九 申庚
宋景公頭曼薨ズ、元公曾庶孫昭公特世子ヲ殺シテ自立ス、衛出公季父悼公黔立ッ、王崩ズ、子介立ッ。	衛出公鞅宋ニ出奔ス。		蔡成侯朔薨ズ、子聲侯產立ッ。	越吳ヲ滅ス、吳子夫差自殺ス、越子句踐齊魯諸侯ト徐州ニ會ス、王胙ヲ賜ヒ伯ト爲ス、范蠡越ヲ去ル、大夫種ヲ殺ス。	晉趙無恤代ヲ滅ス。	越吳ヲ圍ム、晉定公午薨ズ、子出公鑿立ッ、晉趙鞅卒ス、其次子無恤立ッ、晉荀瑤鄭ヲ伐ッ。	王崩ズ、王仁立ッ。	衛石曼專其君起テ逐フ、衛侯朔齊ヨリ歸リ立ッ、齊田常鮑氏晏氏及公族ヲ殺ス、秦悼公薨ズ、子厲共公立ッ。	執衛ヲ伐ッ、衛侯朔出奔ス、衛人公子班師ヲ立ッ、齊衛ヲ伐ッ、衛侯朔出奔ス、衛人公子班師ヲ立ッ。	亂ヲ作ス、沈諸梁討テ之ヲ誅ス。	魯人麟ヲ獲タリ、孔子春秋ヲ作ル、齊田常其君簡公ヲ弑シ、弟平公驚ヲ立ッ。	魯人麟ヲ獲タリ、孔子春秋ヲ作ル、齊田常其君簡公ヲ弑シ、弟平公驚ヲ立ッ。
一〇 456	一九 457	一八 458	一七 459	一六 460	一五 461	一四 462	一三 463	一二 464	一一 465	一〇 466	九 467	八 468
一三 酉乙	一二 申甲	一一 未癸	一〇 午壬	九 巳辛	八 辰庚	七 卯己	六 寅戊	五 丑丁	四 子丙	三 亥乙	二 戌甲	貞定王介 一 酉癸
晉秦ノ武成ヲ取ル、齊平公驚薨ズ、子宣公積立ッ、齊田常卒ス、子襄子盤立ッ。	晉出公鑿齊ニ薨ズ、知伯昭公ノ曾孫哀公驕ヲ立テ其政ヲ專ニス、蔡聲侯產薨ズ、子元侯立ッ、秦伯師ヲ率テ縣諸ト戰フ。	晉知伯趙韓魏氏ト范中行ノ地ヲ分チ、其君ヲ攻ム、晉侯齊ニ出奔ス。	越王鼫與卒ス、子不壽立ッ。	秦河旁ニ壘シ、大荔ヲ伐テ其王城ヲ取ル。	秦河旁ニ壘シ、大荔ヲ伐テ其王城ヲ取ル。	鄭聲公勝薨ズ、子哀公易立ッ。	鄭聲公勝薨ズ、子哀公易立ッ。	燕獻公薨ズ、孝公立ッ、越王句踐卒ス、子鼫與立ッ。	燕獻公薨ズ、孝公立ッ、越王句踐卒ス、子鼫與立ッ。			魯哀公將薨ズ、子悼公寧立ッ。

一六 495	一五 496	一四 497	一三 498	一二 499	一一 500	一〇 501	九 502	八 503	七 504	六 505	五 506	四 507
二五 午丙	二四 巳乙	二三 辰甲	二二 卯癸	二一 寅壬	二〇 丑辛	一九 子庚	一八 亥己	一七 戌戊	一六 酉丁	一五 申丙	一四 未乙	一三 午甲
孔子衛ヲ去ル、魯定公宋薨ズ、子哀公將立ツ。	子衛ヨリ匡ニ適キ、匡ニ長ス、衛ニ返ル。	越吳ヲ携李ニ敗ル、吳子闔廬卒ス、子夫差立ツ、衛世子蒯聵宋ニ出奔ス、晉人范中行氏ヲ敗ル、孔子衛ヨリ匡ニ適キ、匡ニ長ス、衛ニ返ル。	晉趙鞅荀寅范吉射叛ス、趙鞅晉ニ歸ル、魯孔子ヲ以テ相事ヲ攝ス、齊人女樂ヲ歸ル、孔子衛ニ適ク、越子允常卒ス、子句踐立ツ。	魯屈及費ヲ墮ツ、成ヲ圍ム、克タズ。	魯孔子ヲ大司寇ト爲ス、魯侯齊侯ト夾谷ニ會ス。	魯孔子ヲ中都宰ト爲ス、鄭獻公薨ズ、子聲公勝立ツ、秦哀公薨ズ、孫惠公立ツ。	曹靖公薨ズ、子伯陽立ツ、陳懷公柳薨ズ、子潁公越立ツ、魯陽虎三害ヲ攻メ克タズ、齊ニ奔ル。	晉侯王ヲ周ニ入ル。	子朝ノ徒亂ヲ作ス、王晉ニ奔ル。	越吳ニ入ル、楚申包胥秦師ヲ以テ楚ヲ救フ、楚子立ッ。	陳惠公吳薨ズ、子懷公柳立ツ、蔡侯吳子ヲ以テ楚人ト戰フ、楚師敗績ス、吳遂ニ鄭ニ入ル、曹聲公弟露隱公ヲ弑シテ立ツ、是ヲ靖公ト爲ス。	
二九 482	二八 483	二七 484	二六 485	二五 486	二四 487	二三 488	二二 489	二一 490	二〇 491	一九 492	一八 493	一七 494
三八 未己	三七 午戊	三六 巳丁	三五 辰丙	三四 卯乙	三三 寅甲	三二 丑癸	三一 子壬	三〇 亥辛	二九 戌庚	二八 酉己	二七 申戊	二六 未丁
魯侯晉侯吳子ト黃池ニ會ス、越吳ニ入ル、吳越ト平ク。	吳子魯侯衛侯ト葵丘ニ會ス。	孔子衛ヨリ魯ニ返リ、易書詩ヲ修ス、齊師吳ト艾陵ニ戰フ、齊師敗績ス、吳伍子胥ヲ殺ス。	魯公吳ニ會シテ齊ヲ伐ツ、齊人其君悼公陽生ヲ弑シ、子簡公壬ヲ立ツ、孔子陳ヨリ復衛ニ至ル。	宋公曹ニ入リ曹伯陽ヲ執ヘ殺ス、曹亡ブ、吳魯ヲ伐ツ。	魯侯吳子ト緡ニ會ス。	魯侯吳子ト緡ニ會ス。	昭王珍卒ス、子惠王章立ツ、齊陳乞其君荼ヲ弑シ、景公ノ子悼公陽生ヲ立ツ。	孔子蔡ヨリ葉ニ適キ、楚ヨリ返ル、顔回卒ス、楚昭王珍卒ス、子惠王章立ツ、齊陳乞其君荼ヲ弑シ、景公ノ子悼公陽生ヲ立ツ。	晉趙鞅范中行氏ヲ逐フ、齊景公杵臼薨ズ、子孺子荼立ツ。	盜蔡昭侯申ヲ殺ス、國人子成侯朔ヲ立ツ、孔子蔡ニ適ク。	秦惠公薨ズ、子悼公立ツ。	衛靈公元薨ズ、御廪ノ子出公伋立ツ、晉趙鞅蒯聵ヲ戚ニ納ル、燕簡公薨ズ、獻公立ツ。

二八 521	二七 522	二六 523	二五 524	二四 525	二三 526	二二 527	二一 528	二〇 529	一九 530	一八 531	一七 532	一六 533
二四 辰庚	二三 卯己	二二 寅戊	二一 丑丁	二〇 子丙	一九 亥乙	一八 戌甲	一七 酉癸	一六 申壬	一五 未辛	一四 午庚	一三 巳己	一二 辰戊
國自立ス、是ヲ悼侯ト爲ス。	孔子京師ニ至ル、既ニシテ魯ニ返ル、楚世子建宋ニ奔ル、楚子伍奢及子尚ヲ殺ス、伍子胥吳ニ奔ル、鄭子產卒ス、蔡平侯慶薨ズ、子朱立ッ。		曹平公頃薨ズ、子悼公午立ッ、燕共公薨ズ、子平公立ッ、宋衛陳鄭災アリ。		晉昭公夷薨ズ、子頃公去疾立ッ。	吳子餘昧卒ス、子僚立ッ、王太子濤卒ス。	曹武公勝薨ズ、子平公頃立ッ。	楚公子比晉ヨリ楚ニ歸リ、其君懷王國ヲ弑ス、公子弃疾比ヲ殺シテ自立シ、熊庶ト改名、是ヲ平王トス、燕悼公薨ズ、其公立ッ、蔡平侯慶陳惠公吳復侯タリ。	鄭簡公嘉薨ズ、子定公寧立ッ。	楚子蔡靈侯殺ナ誘殺シ蔡ヲ滅ス。	晉平公彪薨ズ、子昭公夷立ッ、宋平公成薨ズ、子元公佐立ッ。	
三 508	二 509	懿德 一 510	三八 511	三七 512	二六 513	三五 514	三四 515	三三 516	三二 517	三一 518	三〇 519	二九 520
一二 巳癸	一一 辰壬	一〇 卯辛	九 寅庚	八 丑己	七 子戊	六 亥丁	五 戌丙	四 酉乙	三 申甲	二 未癸	一 午壬	二五 巳辛
楚子常吳ヲ伐ツ、吳楚師ヲ豫章ニ破ル。		吳越ヲ伐テ之ヲ敗ル、曹公子通聲公ヲ弑シテ自立ス、是ヲ昭公ト爲ス、諸侯成周ニ城ク、魯昭公淵乾侯ニ薨ズ、魯人其弟定公宋ナ立ッ。		晉頃公去疾薨ズ、子定公午立ッ。		吳子僚立ッ、晉六卿公族ヲ殺シ、其邑ヲ分ツ、楚伯嚭吳ニ奔ル。	吳ノ子季札ナシテ晉ニ聘セシム、吳其君僚ヲ弑ス、諸侯皆之ヲ如キ乾侯ニ居ル、鄭定公寧薨ズ、子獻公孫立ッ、晉六卿公族ヲ殺シ、其邑ヲ分ツ、楚伯嚭吳ニ奔ル。	晉諸侯ノ師ヲ率キ王ヲ成周ニ入ル、王子朝楚ニ奔ル、楚平王奔疾卒ス、子昭王珍立ッ。	宋元公佐薨ズ、子景公頭曼立ッ、孔子齊ニ適ク、魯侯且大夫季平子ヲ攻ム、克タズ、齊ニ奔ル、鄭楚世子建ヲ殺ス、建ノ子勝吳ニ奔ル。	王狄泉ニ在リ、吳巢ヲ取ル。	王狄泉ニ居ル、尹氏王子朝ヲ立ッ、蔡悼侯吳國薨ズ、弟昭侯申立ッ。	王崩ズ、子悼王猛立ッ、弟朝猛ヲ殺ス、晉人朝ヲ攻メ猛母弟丙ヲ立ッ。

二三 559	一三 寅壬	衛侯齊ニ出奔ス、衛人定公ノ弟廌公秋ヲ立ツ。
二四 558	一四 卯癸	晉悼公周薨ズ、子平公彪立ツ。
二五 557	一五 辰甲	
二六 556	一六 巳乙	
二七 555	一七 午丙	晉侯諸侯ト齊ヲ圍ム、曹成公員忽薨ズ、子武公勝立ツ、燕武公薨ズ、文公立ツ。
二八 554	一八 未丁	齊靈公環薨ズ、子莊公光立ツ。
二九 553	一九 申戊	
三〇 552	二〇 酉己	
三一 551	二一 戌庚	孔子生ル。
三二 550	二二 亥辛	
三三 549	二三 子壬	燕文公薨ズ、懿公立ツ。
安寧 一 548	二四 丑癸	齊崔杼其君莊公光ヲ弑シ、其弟景公杵臼ヲ立ツ、吳子諸樊卒ス、弟餘祭立ツ。
二 547	二五 寅甲	衛壽喜其君廌公秋ヲ弑ス、衛公伋復衛ニ歸、齊慶封崔杼ノ族ヲ誅シ、國政ヲ專ニス。
三 546	二六 卯乙	衛其大夫壽喜ヲ殺ス。
四 545	二七 辰丙	齊慶封魯ニ奔リ、又吳ニ奔ル、楚康王招卒ス、子員立ツ、是ヲ鄭放ト爲ス、燕懿公薨ズ、子惠公立ツ、王崩ズ、太子晉早ク卒ス、次子貴立ツ。
五 544	景王貴 一 巳丁	衛獻公伋薨ズ、子襄公惡立ツ、吳子餘祭卒ス、弟餘昧立ツ、吳子季札ヲシテ魯齊鄭衛晉ニ聘セシム。
六 543	二 午戊	蔡公子般其君景侯同ヲ弑シテ自立ス、是ヲ靈侯ト爲ス、鄭子產ヲシテ政ヲ爲サシム。
七 542	三 未己	魯襄公午薨ズ、世子卒ス、魯人昭公闢ヲ立ツ。
八 541	四 申庚	楚公子圍其君鄭放ヲ弑シテ自立ス、是ヲ靈王ト爲ス、楚公子比晉ニ奔ル。
九 540	五 酉辛	燕惠公齊ニ出奔ス、燕人悼公ヲ立ツ、齊晏嬰晉ニ如ク。
一〇 539	六 戌壬	楚子吳ヲ伐チ、齊慶封ヲ弑ヘテ之ヲ殺ス。
一一 538	七 亥癸	
一二 537	八 子甲	秦景公薨ズ、子哀公立ツ。
一三 536	九 丑乙	
一四 535	一〇 寅丙	衛襄公惡薨ズ、子釐公元立ツ。
一五 534	一一 卯丁	陳侯ヲ弟招陳世子師ヲ殺ス、又哀公弱ヲ弑ス、招公子留ヲ立ツ、楚師陳ヲ滅ス、師ノ子吳晉ニ奔ル。

九 573	八 574	七 575	六 576	五 577	四 578	三 579	二 580	一 581	七九 582	七八 583	七七 584	七六 585
一三 子戌	一二 亥丁	一一 戌丙	一〇 酉乙	九 申甲	八 未癸	七 午壬	六 巳辛	五 辰庚	四 卯己	三 寅戊	二 丑丁	簡土夷 一 子丙
晉其君厲公壽曼ヲ執シ、悼公周ヲ立ツ、魯成公黑肱薨ズ、子襄公午立ツ。	晉其大夫郤錡郤犨郤至ヲ殺ス、燕昭公薨ズ、武公立ツ。	晉侯楚鄒卜鄆陵ニ戰フ、楚鄭賁績ス、曹伯ヲ釋シテ曹ニ歸ス。	晉侯曹伯ヲ執フ、宋共公瑕薨ズ、唐山世子肥ヲ殺ス、華元山ヲ殺シ、共公少子平公成ヲ立ツ。	衛定公滅薨ズ、子獻公衍立ツ、秦桓公薨ズ、子景公立ツ。	曹宣公彊薨ズ、弟成公負芻立ツ。			晉景公據薨ズ、子厲公壽曼立ツ、晉程嬰屠岸賈ヲ滅シ趙武ヲ復ス。	齊頃公無野薨ズ、子靈公環立ツ、晉人鄭伯ヲ執ヘ、晉欒書鄭ヲ伐ツ。	晉其大夫趙同趙括ヲ殺ス。		鄭悼公潰薨ズ、弟成公睢立ツ。
二二 560	二一 561	二〇 562	一九 563	一八 564	一七 565	一六 566	一五 567	一四 568	一三 569	一二 570	一一 571	一〇 572
一二 丑辛	一一 子庚	一〇 亥己	九 戌戊	八 酉丁	七 申丙	六 未乙	五 午甲	四 巳癸	三 辰壬	二 卯辛	一 寅庚	靈王泄心 一四 丑己
楚共王審卒ス、子康王招立ツ。	吳子壽夢卒ス、長子諸樊立ツ。	魯三軍ヲ作ル。				鄭子嗣其君釐公憚ヲ弑シ、子簡公嘉ヲ立ツ。			陳成公午薨ズ、子哀公弱立ツ、晉大夫魏絳諸戎ニ讐フ。		鄭成公睢薨ズ、子釐公憚立ツ。	王崩ズ、子泄心立ツ、晉人鄭ヲ伐ツ。

五〇 611	二 戌庚	楚人秦人巴人庸ヲ滅ス、宋人共君昭公杵臼ヲ弑シ、其弟文公鮑ヲ立ツ。
五一 610	三 亥辛	
五二 609	四 子壬	魯文公興薨ズ、魯公子遂其君ノ子惡及視ヲ弑シ、公子倭ヲ立ツ、是ヲ宣公ト爲ス、齊人共君懿公商人ヲ弑シ、桓公ノ子惠公元ヲ立ツ、秦康公薨ズ、子共公立ツ。
五三 608	五 丑癸	
五四 607	六 寅甲	宋華元鄆ト戰ヒ敗績シ、獲ラル、晉趙盾其君懿公夷立ツ。臧公ノ弟成公黑臀ヲ立ツ、王崩ズ、弟瑜立ツ。
五五 606	一 卯乙	楚子陸渾ノ戎ヲ伐チ、鼎ノ輕重ヲ問フ、鄆繆公闢薨ズ、子靈公夷立ツ、楚人鄆ヲ侵ス。
五六 605	二 辰丙	秦共公薨ズ、子桓公立ツ、鄆子公家其君靈公夷ヲ弑ス、弟襄公堅立ツ、楚子鄆ヲ伐ツ。
五七 604	三 巳丁	楚人鄆ヲ伐ツ。
五八 603	四 午戊	
五九 602	五 未己	燕桓公薨ズ、宣公立ツ。
六〇 601	六 申庚	
六一 600	七 酉辛	晉侯諸侯ト扈ニ會ヘ、晉成公黑臀薨ズ、子景公據立ツ、衛成公鄆薨ズ、子穆公遯立ツ。
六二 599	八 戌壬	齊惠公元薨ズ、子頃公無野立ツ、陳夏徵舒其君靈公平國ヲ弑ス。
六三 598	九 亥癸	楚子陳ニ入り、夏徵舒ヲ殺シ、靈公ノ子成公午ヲ立ツ。
六四 597	一〇 子甲	楚子鄆ヲ圍ム、晉荀林父楚子ト鄆ニ戰ヒ敗績ス、晉屠岸賈趙朔ヲ殺ス。
六五 596	一一 丑乙	楚子宋ヲ伐ツ。
六六 595	一二 寅丙	曹文公壽薨ズ、子宣公彊立ツ、彊左傳驢ニ作ル、楚子宋ヲ圍ム。
六七 594	一三 卯丁	
六八 593	一四 辰戊	
六九 592	一五 巳己	蔡文侯申薨ズ、子景侯同立ツ。
七〇 591	一六 午庚	楚莊王侶卒ス、子共王審立ツ、魯宣公倭薨ズ、子成公黑肱立ツ。
七一 590	一七 未辛	
七二 589	一八 申壬	齊侯魯ヲ伐ツ、晉卻克魯季孫行父等齊侯ト鞍ニ戰フ、齊師敗績ス、宋文公鮑薨ズ、公共子瑕立ツ、衛穆公遯薨ズ、子定公臧立ツ。
七三 588	一九 酉癸	晉人公子穀臣ヲ楚ニ歸ス、楚人知罃ヲ晉ニ歸ス、晉六軍ヲ作ル。
七四 587	二〇 戌甲	鄆襄公堅薨ズ、子悼公潰立ツ、燕宣公薨ズ、昭公立ツ。
七五 586	二一 亥乙	王崩ズ、子夷立ツ、吳子去齊卒ス、子壽夢立ツ、王ト稱ス。

二四	637	一五	申甲	宋襄公抄甫薨ズ、子成公王臣立ッ。晉惠公夷吾薨ズ、子懷公圉立ッ。王狄師ヲ以テ鄭ヲ伐ッ、狄后ヲ立ッ。
二五	636	一六	酉乙	懷公子重耳晉ニ入リ立ッ、是ヲ文公ト爲ス、晉人懷公ヲ殺ス、王狄后ヲ廢ス。王子帶狄ヲ以テ入寇ス、王出テ鄭ニ居ル。
二六	635	一七	戌丙	衛文公燬薨ズ、子成公鄭立ッ、晉侯王ヲ逆ヘテ王城ニ入リ、王子帶ヲ誅ス。
二七	634	一八	亥丁	楚人麇ヲ滅シ宋ヲ伐ッ。
二八	633	一九	子戊	齊孝公昭薨ズ、弟潘世子ヲ殺シテ自立ス、是ヲ昭公ト爲ス、楚人宋ヲ圍ム、晉始テ三軍ヲ作ル。
二九	632	二〇	丑己	晉侯曹ヲ侵シ衛ヲ伐チ、楚師ヲ城濮ニ敗リ、王宮ヲ踐土ニ作ル、王晉侯ニ命シ伯ト爲ス、王河陽ニ討ス、諸侯來朝ス。
三〇	631	二一	寅庚	去年晉人衛侯ヲ執ヘ、京師ニ送ル。
三一	630	二二	卯辛	衛其大夫元咺ヲ誅ス、衛侯鄭衛ニ歸ル、晉人秦人鄭ヲ圍ム。
三二	629	二三	辰壬	
三三	628	二四	巳癸	鄭文公踰薨ズ、子繆公蘭立ッ、晉文公重耳薨ズ、子襄公歡立ッ。
三四	627	二五	午甲	秦人滑ニ入ル、晉人秦師ヲ殺ニ敗ル、魯釐公申薨ズ、子文公興立ッ。
三五	626	二六	未乙	楚世子商臣楚成王憚ヲ弑シテ自立ス、是ヲ穆王ト爲ス。
三六	625	二七	申丙	晉侯秦師ト彭衙ニ戰フ、秦師敗績ス。
三七	624	二八	酉丁	秦伯晉ヲ伐テ軍ニ誓フ。
三八	623	二九	戌戊	楚人江ヲ滅ス、秦伐チ伐ッ、王秦伯ニ金鼓ヲ賜フ、秦伯西戎ニ霸タリ。
三九	622	三〇	亥己	楚六及麇ヲ滅ス、晉趙盾政ヲ執ル。
四〇	621	三一	子庚	秦繆公任好薨ズ、子康公罃立ッ、晉襄公歡薨ズ、晉人公子雍ヲ秦ニ迎フ。
四一	620	三二	丑辛	晉趙盾世子夷臯ヲ立ッ、是襄公ト爲ス、秦人ト命狐ニ戰フ、晉先蔑士會秦ニ奔ル、宋成公王臣薨ズ、子昭公杵臼立ッ、齊宋魯衛鄭君趙盾ト扈ニ盟フ。
四二	619	三三	寅壬	王崩ズ、子壬臣立ッ。
四三	618	頤王壬臣 一 卯癸	卯癸	曹共公襄薨ズ、子文公壽立ッ、燕襄公薨ズ、桓公立ッ、楚陳ヲ伐ッ。
四四	617	二	辰甲	
四五	616	三	巳乙	晉翟齊鹹ニ敗リ、長翟驕如チ獲タリ。
四六	615	四	午丙	晉人秦人河曲ニ戰フ。
四七	614	五	未丁	陳共公朔薨ズ、子靈公平國立ッ、楚穆王商臣卒ス、子莊王侶立ッ、晉士會晉ニ歸ル。
四八	613	六	申戊	王崩ズ、子班立ッ、齊昭公潘薨ズ、子舍立ッ、昭公ノ子商人舍ヲ弑シテ自立ス、是ヲ懿公ト爲ス。
四九	612	匡王班 一 酉己	酉己	蔡莊侯甲午薨ズ、子文侯申立ッ。

一〇 351	九 652	八 653	七 654	六 655	五 656	四 657	三 658	二 659	元即 年位 660	661	662	663
襄王 一 午庚	二五 巳己	二四 辰戊	二三 卯丁	二二 寅丙	二一 丑乙	二〇 子甲	一九 亥癸	一八 戌壬	一七 酉辛	一六 申庚	一五 未己	一四 午戊
王宰周公ナシテ齊侯及諸侯ニ葵丘ニ會セシム、晉 獻公詭諸堯ズ、里克奚齊ヲ殺ス、荀息奚齊ノ弟悼子 ヲ立ッ、宋桓公薨ズ、子襄公玆甫立ッ。	王崩ズ、子鄭立ッ。	曹昭公班薨ズ、子共公襄立ッ。	晉公子夷吾梁ニ奔ル、楚人許ヲ圍ム。	晉侯其世子申生ヲ殺ス、重耳翟ニ奔ル、虞大夫百 里奚秦ニ奔ル、晉驕ヲ滅シ、遂ニ虞ヲ滅ス。	齊侯諸侯ノ師ヲ以テ蔡ヲ伐チ、遂ニ楚ヲ伐テ陸ニ 次シ、楚風完ト召陵ニ盟フ、齊人陳轅濤塗ヲ執フ、 諸侯陳ヲ伐ッ。		燕莊公薨ズ、子襄公立ッ。	魯侯季友ニ汶陽及勸ヲ賜フ、是ナ季孫氏ト爲ス。	魯慶父滑公ヲ弑ス、季友侯弟釐公申ヲ立テ、慶父ヲ 殺シ仲孫氏ヲ立ッ、崔杼ニ入リ、懿公ヲ殺ス、衛公子戴公 申ヲ立ッ、卒ス、文公燬ヲ立ッ、秦成公薨ズ、弟任好立ッ。	晉侯二軍ニ作ル、耿霍魏ヲ滅シ、趙夙ヲ耿ニ畢萬 ヲ魏ニ封ズ。	魯公子牙ヲ殺シ、叔孫氏ヲ立ッ、魯莊公同薨ズ、子 班立ッ、慶父班ヲ弑ス、季友陳ニ奔ル、慶父莊公 ノ子滑公夷立ッ、曹釐公夷薨ズ、子昭班立ッ。	
二三 638	二二 639	二一 640	二〇 641	一九 642	一八 643	一七 644	一六 645	一五 646	一四 647	一三 648	一二 649	一一 650
一四 未癸	一三 午壬	一二 巳辛	一一 辰庚	一〇 卯己	九 寅戊	八 丑丁	七 子丙	六 亥乙	五 戌甲	四 酉癸	三 申壬	二 未辛
王壬子帶ヲ齊ニ召ス、宋公楚人ト泓ニ戦ヒ、宋師 敗績ス。	宋公楚人齊人ト鹿上ニ盟フ、又孟ニ會ス。楚人宋 公ヲ執フ、諸侯薄ニ盟ヒ、宋公ヲ釋ス。		秦梁ヲ滅ス。	宋公諸侯ノ師ヲ以テ齊ヲ伐チ、孝公昭ヲ立ッ、齊 人無詭ヲ殺ス。	齊桓公小白薨ズ、五公子立ッナ争フ、易牙無詭ヲ 立ッ、太子昭宋ニ奔ル。		齊大夫管仲卒ス、晉侯秦伯ト韓ニ戰フ、晉侯ヲ獲、 王命ジ晉侯ヲ釋シ、國ニ歸ル。	蔡經侯勝薨ズ、子莊侯甲午立ッ。	晉饒リ、秦果ナ晉ニ輸ス。	王子帶齊ニ奔ル、齊侯管仲ヲシテ入聘セシム、楚 人黃ヲ滅ス、陳宣公杵臼薨ズ、子穆公款立ッ。	王子帶戎ヲ以テ入寇ス、秦晉戎ヲ伐ッ。	里克其君悼子及荀息ヲ殺ス、秦人夷吾ヲ晉ニ納レ 之ヲ立ッ、是ヲ惠公ト爲ス、里克ヲ殺ス。

703	704	705	705	707	708	709	710	711	712	713	714	715
一七 寅戌	一六 丑丁	一五 子丙	一四 亥乙	一三 戌甲	一二 酉癸	一一 申壬	一〇 未辛	九 午庚	八 巳己	七 辰戊	六 卯丁	五 寅丙
	楚子隨ヲ伐ツ、隨楚ト平ケ、楚僭シテ王ト稱ス、王 執叔ニ命ジ、曲沃ヲ伐チ晉哀侯ノ弟緡ヲ立ツ、秦 寧公薨ズ、三父世子ヲ廢シテ出子ヲ立ツ。	晉曲沃武公其君小子侯ヲ誘弑ス。	楚子熊通隨ヲ侵シ、爵ヲ王ニ請ハシム、王許サズ、 北戎齊ヲ伐ツ、鄭世子忽之ヲ救ヒ、戎師ヲ敗ル。	陳桓公鮑薨ズ、文公ノ子佗世子免ヲ弑シテ自立ス、 是ヲ厲公ト爲ス、王鄭ヲ伐ツ、鄭射テ王ヲ傷ク。	晉曲沃武公晉哀侯光ヲ弑ス。	晉曲沃晉師ヲ汾ニ敗リ、晉侯ヲ驪ニス、晉人侯子 ヲ立ツ、是ヲ小子侯ト爲ス。	宋華督其君殤公與夷ヲ弑シ、大夫孔父ニ及ビ、穆 公ノ子莊公馮ヲ立ツ。	燕繆侯薨ズ、子宣侯立ツ。	魯公 <small>子</small> 翬其君隱公ヲ弑シ、桓公允ヲ立ツ、九一ニ 軌ニ作ル。	鄭伯齊魯ト宋ヲ伐テ郕及防ヲ取ル。	鄭伯王左甥士ト爲リ宋ヲ伐ツ。	鄭伯枋田ヲ以テ魯ノ許田ニ易フ、蔡宣侯指父薨ズ、 子桓侯封人立ツ。
690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702
七 卯辛	六 寅庚	五 丑己	四 子戊	三 亥丁	二 戌丙	一 酉乙	二三 申甲	二二 未癸	二一 午壬	二〇 巳辛	一九 辰庚	一八 卯己
紀侯其國ヲ去ル。	王隨楚ヲ尊ブ齊實ム、楚武王隨ヲ伐テ師ニ卒ス、 子文王熊皆立ツ、始テ郕ニ都ス、齊侯紀ヲ遷ス、 燕桓侯薨ズ、子莊公立ツ。	宋莊公馮薨ズ、子湣公捷立ツ。	陳莊公林薨ズ、弟宣公杵臼立ツ。	魯桓公夫人姜氏ト齊ニ如ク、齊侯魯公ヲ殺シ、其子 莊公同ヲ立ツ、齊侯鄭子驪ヲ殺シ、其弟子嬰ヲ立ツ、 子嬰左傳子儀ニ作ル、周公黑肩ヲ弑セシメ誅ニ伏ス。	蔡桓侯封人薨ズ、弟哀侯獻舞立ツ、秦三父ヲ族ス、 鄭高渠彌其君昭公忽ヲ弑シ、其弟子驪ヲ立ツ。	衛人伋ノ弟壽卒ヲ立ツ、衛侯朔齊ニ出奔ス。	王崩ズ、子佗立ツ、鄭伯突蔡ニ出奔、忽復鄭ニ歸 ル、突櫟ニ入ル、秦彭戲氏ヲ伐チ華山ニ至ル。	秦三父其君出子ヲ弑シ、故世子武公ヲ立ツ、齊釐 公祿甫薨ズ、子襄公諸兒立ツ、燕宣侯薨ズ、子桓 侯立ツ。	蔡人陳厲公佗ヲ弑シ、故世子免ノ弟利公躒ヲ立ツ、 五月薨ズ、弟莊公林立ツ、衛宣公晉薨ズ、子惠公 朔立ツ。	鄭莊公寤生薨ズ、子昭公忽立ツ、宋人鄭祭仲ヲ執 ヘ、莊公ニ子突歸リ立ツ、是ヲ厲公ト著ス、忽衛 ニ出奔ス、衛侯其ニ子伋壽ヲ殺ス。	曹桓公終生薨ズ、子莊公夕姑立ツ。	

729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741
四二	四一	四〇	三九	三八	三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇
子壬	亥辛	戌庚	酉己	申戊	未丁	午丙	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛	子庚
燕宣公力薨ズ、子繆侯立ッ。		齊莊公驍薨ズ、子釐公祿甫立ッ、晉曲沃成師卒ス、是ヲ桓叔ト爲ス、子莊伯驪代リ立ッ。		衛州吁出奔ス。		衛莊公揚薨ズ、子桓公完立ッ。				晉潘父其君昭侯伯ヲ弑シ、曲沃成師ヲ納ル、克タズ、國人昭侯ノ子孝侯平ヲ立ッ、潘父ヲ誅ス。		衛公子州吁兵ヲ阻ス、楚蚡冒卒ス、弟熊通蚡冒ノ子ヲ弑シテ自立ス、是ヲ武王ト爲ス。
716	717	718	719	720	721	722	723	724	726	726	727	728
四	三	二	一	五	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四三
丑乙	子甲	亥癸	戌壬	酉辛	申庚	未己	午戊	巳丁	辰丙	卯乙	寅甲	丑癸
晉曲沃莊伯卒ス、子武公稱代リ立ッ、秦文公薨ズ、子孫寧公立ッ。	鄭伯入朝ス、王禮セズ、其禾ヲ取ルヲ怒ルナリ。	晉郭侯卒ス、曲沃叛ス、王虢公ニ命ジ曲沃ヲ伐チ、郭侯ノ子衰侯光ヲ立ッ、魯公瀛ヲ黨ニ觀ル。	衛州吁其君桓公完ヲ弑シテ自立ス、宋陳蔡衛ト鄭ヲ伐ッ、衛人州吁ヲ派ニ殺シ、桓公ノ弟宣公晉ヲ立ッ。	王崩ズ、孫林立ッ、宋穆公薨ズ、宣公ノ子殤公與夷ヲ立ッ、鄭周ノ地ヲ侵シ禾ヲ取ル。	鄭伯其母ニ大隧ニ見ユ。	魯隱公息姑元年以下春秋ノ世ト爲ス、鄭伯其弟段ニ鄭ニ克ッ、其母姜氏ヲ城潁ニ遷ス。	魯惠公弗湏薨ズ、其子息姑國ヲ攝シ、君事ヲ行フ。	晉曲沃莊伯翼ニ入リ、其君孝侯平ヲ弑ス、國人之ヲ逐ヒ、孝侯ノ子郭侯鄭ヲ立ッ。				

755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767
一六 戌丙	一五 酉乙	一四 申甲	一三 未癸	一二 午壬	一一 巳辛	一〇 辰庚	九 卯己	八 寅戊	七 丑丁	六 子丙	五 亥乙	四 戌甲
陳平公變薨ズ、子文公圉立ッ。	秦酈時ヲ作ル。	曹繆公武薨ズ、子桓公終生立ッ。	衛武公和薨ズ、子莊公揚立ッ、楚霄敖卒ス、子熊駒立ッ、是ヲ蚡冒ト爲ス。		蔡共侯興薨ズ、子戴侯立ッ、曹惠伯聞薨ズ、子石甫立ッ、其弟武之ヲ弑シテ自立ス、是ヲ繆公ト爲ス。		蔡釐侯薨ズ、子共侯興立ッ、秦東汧渭ノ會ニ徙ル。		楚若敖卒ス、子熊坎立ッ、是ヲ霄敖ト爲ス。	燕哀侯薨ズ、子鄭侯立ッ。	秦襄公戎ヲ伐チ岐ニ至テ薨ズ、子文公立ッ、宋戴公薨ズ、子武公司空立ッ。	燕頃侯薨ズ、子哀侯立ッ。
742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	654
二九 亥己	二八 戌戊	二七 酉丁	二六 申丙	二五 未乙	二四 午甲	二三 巳癸	二二 辰壬	二一 卯辛	二〇 寅庚	一九 丑己	一八 子戊	一七 亥丁
	鄭伯其弟段ヲ京ニ封ズ。	鄭武公掘突薨ズ、子莊公寤生立ッ。	晉侯其叔父成師ヲ曲沃ニ封ズ、陳文公圉薨ズ、子桓公鮑立ッ。	晉文侯仇薨ズ、子昭侯伯立ッ、秦初テ三族ノ罪アリ。		宋武公司空薨ズ、子宣公力立ッ。		秦伯大ニ戎師ヲ敗リ、岐西ノ地ヲ收メ、岐東ヲ王ニ獻ズ、蔡戴侯薨ズ、子宣侯措父立ッ。			秦初テ史アリ、事ヲ記ス。	

781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	798
幽王宮涅 一 申庚	四六 未己	四五 午戊	四四 巳丁	四三 辰丙	四二 卯乙	四一 寅甲	四〇 丑癸	三九 子壬	三八 亥辛	三七 戌庚	三六 酉己	三五 申戊
姜氏ヲ立テ王后ト爲シ、宜臼ヲ太子ト爲ス、姜氏ハ申侯ノ女ナリ、晉太子仇襲テ殤叔ヲ殺シテ立ツ、陳武公靈薨ズ、子夷公説立ツ。	王崩ズ、子幽王宮涅立ツ。			晉穆侯費王薨ズ、弟殤叔自立ス、太子仇出奔ス。			民ヲ太原ニ料フ。	姜戎ヲ伐チ、王師千畝ニ敗績ス。		燕釐侯薨ズ、子頃侯立ツ、楚熊渠卒ス、子熊儀立ツ、是ヲ若敖ト爲ス。		
768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	784
三 酉癸	二 申壬	平王宜臼 一 未辛	一一 午庚	一〇 巳己	九 辰戊	八 卯丁	七 寅丙	六 丑乙	五 子甲	四 亥癸	三 戌壬	二 酉辛
	魯孝公稱薨ズ、子惠公弗涅立ツ。	申侯犬戎ト入寇シ王ヲ弑ス、鄭伯友之ニ死ス、是恒公ト爲ス、晉衛秦兵ヲ以テ來リ救ヒ、故太子宜臼ヲ立ツ、鄭人桓公子武公掘突ヲ立ツ。 東洛邑ニ遷ル、始テ秦ニ命ジ諸侯ト爲シ、衛侯和ニ命ジ公ト爲シ、命チ晉侯ニ錫フ、鄭伯東鄆號十邑ヲ取リ之ニ國ス、秦上帝チ西時ニ祀ル。				鄭伯友ヲ司徒ト爲ス。		十月朔日之ヲ食スルアリ。	申后及太子宜臼ヲ廢シ、褒姒ヲ后ト爲シ、其子伯服ヲ太子ト爲ス。	陳夷公説薨ズ、弟平公嬖立ツ、秦莊公卒ス、子襄公立ツ。	褒姒ヲ納レ之ヲ嬖ス。	三川竭キ岐山崩ル。

807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819
二一 午甲	二〇 巳癸	一九 辰壬	一八 卯辛	一七 寅庚	六 丑己	一五 子戊	一四 亥丁	一三 戌丙	一二 酉乙	一一 申甲	一〇 未癸	九 午壬
魯公兄括ノ子伯御、其君懿公戲ヲ弑シテ自立ス。			蔡夷侯薨ズ、子釐侯所事立ッ。		晉獻侯薨ズ、子種侯費生嗣ケ。	衛釐公薨ズ、少子武公立ッ。			魯侯來朝ス、其少子戲ヲ世子ト爲ス、魯武公卒ス、戲立ッ、王千畝ニ稽セス、齊胡公ノ子厲公ヲ弑ス、齊人之ヲ誅シ、厲公ノ子赤ヲ立ッ。			
794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806
三四 未丁	三三 午丙	三二 巳乙	三一 辰甲	三〇 卯癸	二九 寅壬	二八 丑辛	二七 子庚	二六 亥己	二五 戌戊	二四 酉丁	二三 申丙	二二 未乙
	齊成公脱薨ズ、子莊公購立ッ。	主魯ヲ伐テ伯御ヲ誅シ、懿公ノ弟稱ヲ立ッ、是ヲ孝公ト爲ス、陳釐公薨ズ、子武公甯立ッ、曹戴伯薨ズ、子惠伯兒立ッ。				宋哀公薨ズ、子戴公立ッ、楚熊徇卒ス、子熊譽立ッ。	宋惠公颯薨ズ、子襄公立ッ。	晉師千畝ニ戰フ、子成帥ヲ生ム。		齊文公赤薨ズ、子成公脱立ッ。	晉侯條ヲ伐ッ、太子仇ヲ生ム。	王弟友ヲ鄭ニ封ズ。

833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845
四六 辰戌	四五 卯丁	四四 寅丙	四三 丑乙	四二 子甲	四一 亥癸	四〇 戌壬	三九 酉辛	三八 申庚	三七 未己	三六 午戊	三五 巳丁	三四 辰丙
王僇ニ在リ。	王僇ニ在リ。	王僇ニ在リ、曹夷伯喜薨ズ、弟幽伯彊立ッ。	王僇ニ在リ。	王僇ニ在リ。	蔡武侯薨ズ、子夷侯立ッ、楚熊勇卒ス、弟熊嚴立ッ、王僇ニ在リ。	王僇ニ在リ。	王僇ニ在リ。	王僇ニ在リ、召公周公政ヲ行フ、是ヲ共和ト曰フ、晉靖侯宜臼薨ズ、子釐侯司徒立ッ。	國人叛シ王ヲ黜フ、王出テ僇ニ居ル。	西戎叛シ、犬丘大駱ノ族ヲ滅ス。		秦公伯卒ス、秦仲立ッ。
820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832
八 巳辛	七 辰庚	六 卯己	五 寅戊	四 丑丁	三 子丙	二 亥乙	宣王 一 戌甲	五一 酉癸	五〇 申壬	四九 未辛	四八 午庚	四七 巳己
王東都ニ遷狩ス。		秦仲西戎ヲ伐テ之ニ死ス、其子莊公ニ命ジ戎ヲ伐テ之ヲ破ル、楚熊霜卒ス、弟熊狗立ッ。	晉釐侯司徒薨ズ、子獻侯緡立ッ。		齊武公壽薨ズ、子厲公無忌立ッ。	方叔ニ命ジ南荆蠻ヲ征ス、召虎ニ命ジ淮夷ヲ平ケ、王親ヲ徐戎ヲ征ス、魯眞公湏薨ズ、弟武公敖立ッ、曹公子蘇其君幽伯ヲ弑シテ自立ス、是ヲ戴伯ト爲ス。	秦仲ニ命ジテ西戎ヲ征ス、尹吉甫ニ命ジ、驪狁ヲ伐ツ、燕惠侯薨ズ、子釐侯莊立ッ。	王僇ニ崩ズ、周公召公太子靜ヲ奉ジテ位ニ即ク、諸侯復周ヲ宗トス、楚熊嚴卒ス、子熊霜立ッ。	王僇ニ在リ。	王僇ニ在リ。	王僇ニ在リ、宋釐公舉薨ズ、子惠公睭立ッ。	王僇ニ在リ。陳幽公寧薨ズ、子釐公孝立ッ。

二〇	午壬	魯公會薨ズ、弟煬公立熙ツ。	孝王辟方 一三子甲	非子ヲ秦ニ封ズ。
二一	未癸	魯公茅闕門ヲ築ク。	一五寅丙	王崩ズ、懿王ノ子變立ツ。
二六	子戌	召公薨ズ、王崩ズ、子瑕立ツ、魯公熙薨ズ、子幽公宰立ツ。	夷王變 八戌甲	楚子熊渠庸揚粵ヲ伐テ鄂ニ至ル。
昭王瑕 一四寅壬		魯公千濩其君宰ヲ弑シテ自立ス、是ヲ魏公ト爲ス。	一六午壬	王崩ズ、子胡立ツ、齊哀公不辰ヲ殺シ、其弟胡公靜ヲ立ツ。
五一卯己		王南ニ巡狩シ、江上ニ崩ズ、子滿立ツ。	厲王胡 一九丑辛	齊公子山其君靜ヲ弑シテ自立ス。
穆王滿 三午壬		君牙大司徒ト爲シ、伯冏ヲ太僕正ト爲ス。	二〇寅壬	齊侯徒テ臨淄ニ治ス、宋厲公鮒祀薨ズ、子釐公舉立ツ、晉厲侯福薨ズ、子靜侯宜臼立ツ。
一七申丙		王八駿馬ヲ得テ西ニ巡狩ス、徐戎叛ス、王歸リ征シテ之ニ克ツ、造父ヲ趙城ニ封ズ。	二一卯癸	秦非子卒ス、子秦侯立ツ。
三五寅甲		犬戎ヲ征ス。	二四午丙	陳慎公圍戎薨ズ、子幽公寧立ツ、衛頃公薨ズ、子釐侯立ツ。
五〇己巳		甫侯ニ命ジテ甫刑ヲ作ル。	二八戌庚	齊獻公薨ズ、子武公壽立ツ。
五五戌甲		王崩ズ、子懿厲立ツ。	三〇子壬	榮夷公ヲ卿士ト爲ス。
共王懿厲 三丑丁		密ヲ滅ス。	三一丑癸	秦侯卒ス、子公伯立ツ、楚熊延卒ス、子熊勇立ツ。
一二戌丙		王崩ズ、子隰立ツ。	三二寅甲	
懿王隰 二五亥辛		王崩ズ、共王ノ弟辟方立ツ。	三三卯乙	衛巫ヲシテ謗者ヲ監セシム。

846

847

848

前 849

一五祀	酉辛	西伯太公望ヲ渭陽ニ得タリ、西伯大戎ヲ伐ツ。
一六祀	戌壬	西伯密須ヲ伐ツ。
一七祀	亥癸	西伯蒼國ヲ敗ル。
一八祀	子甲	西伯邗ヲ伐ツ。
一九祀	丑乙	西伯崇ヲ伐ツ、豐邑ヲ作り、徙テ之ニ都ス。
二〇祀	寅丙	西伯昌薨ズ、世子發嗣グ、是ヲ周武王ト爲ス。
三二祀	寅戊	少師比干ヲ殺シ、太師箕子ヲ囚ノ、微子之ヲ去ル。
三三祀	卯己	西伯發紂ヲ伐ツ、紂自焚シテ死ス、殷亡フ、武王位ニ即キ、國ヲ周ト號ス、大ニ諸侯ヲ封建ス、祀ヲ改テ年ト曰フ、伯夷叔齊餓死ス。
以下年ヲ略ス	辰庚	都ヲ鎬ニ遷ス、王疾アリ、周公且祖考ニ告グテ代ルヲ請フ、翌日瘞ユ。
一四	午壬	箕子來朝ス。
一六	酉乙	王崩ズ、子誦立ツ。
一九	戌丙	周公且冢宰ト爲ル、周公且召公奭ニ誥ス、伯禽ヲ魯供ト爲ス。
二	亥丁	管叔鮮等流言ス、周公東ニ居ル。
一六	寅戊	魯公伯禽薨ズ、子考公伋立ツ。
一二	戌甲	畢公居里ヲ分チ、周郊ヲ成ス、畢命ヲ作ル。
一	亥癸	豐宮ニ朝ス。
三七	戌壬	王崩ズ、子釗立ツ。
一二	酉丁	巡狩ス。
一一	申丙	周公無逸ヲ作ル、周公薨ズ、君陳ニ命ジ東都ヲ治ム。
九	午甲	弟叔虞ヲ唐ニ封ズ、後晉ト曰フ。
八	巳癸	蔡叔ノ子胡ヲ蔡ニ封ズ。
七	辰壬	東都ヲ洛邑ニ營シ、九鼎ヲ居ク。
六	卯辛	周官ヲ作り禮ヲ制シ樂ヲ作ル、越裳氏來朝ス。
五	寅庚	殷民ヲ洛邑ニ遷ス。
四	丑己	王淮夷ヲ伐チ奄ヲ滅ス、周公立政ヲ作ル。
三	子戊	管叔鮮蔡叔度等武庚ヲ以テ叛ス、王周公ニ命ジ、討テ之ヲ平ク、微子啓ヲ宋ニ封ズ、武王少弟康叔封ヲ衛ニ封ズ。

帝沃甲 二五祀 未乙	帝祖丁 三二祀 卯丁	帝南庚 二五祀 辰壬	帝陽甲 七祀 亥己	帝盤庚 一祀 子庚	二八祀 卯丁	帝小辛 二一祀 子戊	帝小乙 二六祀 寅甲	二八祀 辰丙	帝武丁 三祀 未己	三二祀 子戊	五九祀 卯乙	帝祖庚 七祀 戌壬
帝崩ズ、祖辛ノ子祖丁立ツ。	帝崩ズ、沃甲ノ子南庚立ツ。	帝崩ズ、祖丁ノ子陽甲立ツ。	帝崩ズ、弟盤庚立ツ。	都ヲ殷ニ遷シ、國號ヲ改テ殷ト曰フ、商道復興ル。	帝崩ズ、弟小辛立ツ。	帝崩ズ、弟小乙立ツ。	幽ノ亶父岐ニ遷リ、國ヲ改テ周ト曰フ。	帝崩ズ、子武丁立ツ。	傳說ヲ得テ相ト爲ス。	成湯ヲ祭ル日、雉アリ鼎ニ雉ク、帝政ヲ修メ德ヲ行フ、天下咸驩ブ。	帝崩ズ、子祖庚立ツ。	帝崩ズ、弟祖甲立ツ。
祖甲帝 二八祀 寅庚	三三祀 未乙	帝廩辛 六祀 丑辛	帝庚丁 二一祀 戌壬	帝武乙 二祀 子甲	四祀 寅丙	帝太丁 三祀 巳己	帝乙 七祀 子丙	三七祀 午丙	帝辛 八祀 寅甲	一一祀 巳丁	一三祀 未己	一四祀 申庚
周古公亶父薨ズ、子季歷嗣グ。	帝崩ズ、子廩辛立ツ。	帝崩ズ、弟庚丁立ツ。	帝崩ズ、子武乙立ツ。	都ヲ河北ニ遷ス。	帝河渭ニ敗シ震死ス、子太丁立ツ。	帝崩ズ、子帝乙立ツ。	周公季歷薨ズ、子昌嗣ギ西伯ト爲ル、是ヲ周文王ト爲ス。	帝崩ズ、子辛立ツ、是ヲ紂ト爲ス。	有蘇氏ヲ伐テ妲己ヲ獲タリ、炮烙ノ刑ヲ作ル。	四伯昌ヲ蒞里ニ囚フ。	四伯ヲ釋シ、弓矢鉞鉞ヲ賜ヒ、征伐ヲ專ニセシム。	虞芮成ヲ周二質ス。

三五歲	丑丁	商湯嗣テ諸侯ト爲リ、始テ亳ニ居ル。	帝小甲 一七祀 卯辛	帝崩ズ、弟雍已立ツ。
三六歲	寅戊	商湯葛ヲ征ス。	帝雍己 一二祀 卯癸	帝崩ズ、弟太戊立ツ。
三七歲	卯己	商湯伊尹ヲ進ム。	帝太戊 一祀 辰甲	伊陟ヲ以テ相ト爲シ、帝德ヲ修メ祥災枯死ス。 桑殺共ニ朝ニ生ズ、帝德ヲ修メ祥災枯死ス。
四〇歲	午壬	伊尹復亳ニ歸ル。	三祀 午丙	諸侯畢ク朝ス。
四二歲	申甲	商湯ヲ夏臺ニ因フ、既ニシテ之ヲ釋ス。	七五祀 午戊	帝崩ズ、子仲丁立ツ。
夏桀五三歲	未乙	商湯夏桀ヲ伐ツ、桀鳴條ニ走ル、遂ニ放レテ死ス。 夏亡ブ、商湯位ニ毫ニ即キ國ヲ商ト號ス、歲ヲ祀ト改ム、大ニ諸侯ニ詰ゲ、伊尹仲虺ヲ相ト爲ス。	帝仲丁 六祀 子甲	都ヲ傲ニ遷ス。
商後成股	未丁	成湯崩ズ、孫太甲立ツ、史記太子太丁未ダ立タズシテ卒ス、乃太子ノ弟外丙ヲ立ツ、三年崩ズ、外丙ノ弟中壬ヲ立ツ、四年崩ズ、乃太甲ヲ立ツニ作ル誤也。	一三祀 未辛	帝崩ズ、弟外壬立ツ。
帝太甲 三〇祀	申戊	伊尹帝ヲ桐宮ニ居ク。	帝外壬 一五祀 戌丙	帝崩ズ、弟河亶甲立ツ。
一祀	申戊	伊尹帝ヲ奉シ亳ニ歸ス。	帝河亶甲 一祀 亥丁	都ヲ相ニ遷ス。
三祀	戌庚	伊尹帝ヲ奉シ亳ニ歸ス。	九祀 未乙	帝崩ズ、子祖乙立ツ。
三三祀	辰庚	帝崩ズ、子沃丁立ツ。	帝祖乙 九祀 辰甲	都ヲ邢ニ遷ス、巫賢ヲ以テ相ト爲ス。
帝沃丁 八祀	子戊	伊尹卒ス。	帝祖乙 九祀 辰甲	都ヲ邢ニ遷ス、巫賢ヲ以テ相ト爲ス。
二九祀	酉己	帝崩ズ、弟太庚立ツ。	一九祀 寅甲	帝崩ズ、子祖辛立ツ。
帝太庚 二五祀	戌甲	帝崩ズ、子小甲立ツ。	帝祖辛 一六祀 午庚	帝崩ズ、弟沃甲立ツ。

四八載 酉癸	帝南巡シ蒼梧ニ崩ス。	帝少康 六一歲 卯癸	帝崩ズ、子予立ッ。
夏大禹 一歲 子丙	禹位ニ即ク、國ヲ夏ト號ス。	帝予 一七歲 申庚	帝崩ズ、子槐立ッ。
二歲 丑丁	皋陶ヲ舉ゲ將ニ政ヲ授ケントス、而テ皋陶卒ス、其後ヲ英六ニ封ズ、益ヲ舉テ相ト爲ス。	帝槐 二六歲 戌丙	帝崩ズ、子芒立ッ。
八歲 未癸	禹會稽ニ崩ズ。	帝芒 一八歲 辰甲	帝崩ズ、子泄立ッ。
帝啓 一歲 申甲	諸侯禹ノ子啓ヲ奉ジテ位ニ即ク。	帝泄 一六歲 申庚	帝崩ズ、子不降立ッ。
三歲 戌丙	有扈氏ヲ伐テ之ヲ滅ス。	帝不降 五九歲 未己	帝崩ズ、弟局立ッ。
九歲 辰壬	王崩ズ、子太康立ッ。	帝局 二一歲 辰庚	帝崩ズ、子亶立ッ。
帝太康 一九歲 亥辛	帝國ヲ失フ、兄弟五人歌ヲ作ル。	帝亶 二一歲 丑辛	帝崩ズ、不降ノ子孔甲立ッ。
二九歲 酉辛	帝崩ズ、弟中康立ッ。	帝孔甲 三歲 辰甲	劉累ヲ以テ御龍氏ト爲ス。
帝中康 一歲 戌壬	胤侯ニ命ジ六師ヲ掌ラシム。	三一歲 申壬	帝崩ズ、子皐立ッ。
二歲 亥癸	胤侯ニ命ジ義和ヲ征ス。	帝皐 一一歲 未癸	帝崩ズ、子發立ッ。
一三歲 戌甲	帝崩ズ、子相立ッ。	帝發 一九歲 寅壬	帝崩ズ、子履癸立ッ、是ヲ桀ト爲ス。
帝相 二八歲 寅壬	帝崩ズ、子少康立ッ。	帝履癸 二一歲 子甲	公劉幽ニ遷ル、周道此ヨリ興ル。

史記年表

紀 西		事	蹟
漢	支		
三皇 太皞 庖犧氏又作 太昊伏羲氏	千	陳ニ都ス、始テ八卦ヲ畫ス、民ニ佃漁畜牧ヲ教フ、 龍ヲ以テ官ニ紀ス、書契ヲ作ル、嫁娶ヲ制ス、琴瑟ヲ作ル。	
女媧氏		笙簧ヲ作ル、共工氏亂ヲ作シ祝融ト戰ヒ、勝タズ。	
炎帝神農氏		陳ニ都シ曲阜ニ遷ル、火ヲ以テ官ニ紀ス、初テ耒耜ヲ作り五穀ヲ藝リ、始テ醫藥ヲ制ス、市易ヲ爲ス。	
五帝 黃帝軒轅氏		炎帝ト戰ヒ之ニ代ル、蚩尤ヲ涿鹿ニ誅ス、雲ヲ以テ官ニ紀ス、風后等ヲ舉テ民ヲ治メシム、天下ヲ行リ、符ヲ釜山ニ合ス。	
帝顓頊高陽氏		材ヲ養ヒ地ニ任ジ、時ヲ行ヒ天ニ象ル。	
帝堯高辛氏			
帝堯陶唐氏	一載 辰甲	義和二命シ曆象ヲ治ム。	
二載 乙		閏法ヲ置ク。	
六〇載 卯癸		虞舜孝ヲ以テ聞ユ。	
六一載 辰甲		洪水アリ、鯀ニ命ジ之ヲ治メシム。	
紀 東		事	蹟
漢	支		
七〇載 丑癸	千	舜ヲ舉テ登庸ス、舜ハ元ハ愷ヲ舉ゲ、五典ヲ和ゲ、百揆ヲ敘ス、四凶ノ族ヲ流ス。	
七十二載 卯乙		舜ニ命ジ位ヲ攝ス、鯀ヲ羽山ニ殛シ、驩兜ヲ崇山ニ放ツ、禹ニ命ジ水ヲ治メシム。	
七三載 辰丙		舜終ヲ文祖ニ受ク、七政ヲ齊ヘ羣祀ヲ舉ゲ、羣后ヲ觀ス。	
七四載 巳丁		巡守ス、共工ヲ幽州ニ流ス。	
七六載 未己		三苗ヲ三危ニ竄ス、五刑ヲ制ス。	
八〇載 亥癸		禹水ヲ治メ功ヲ成ス。	
八一載 子甲		十二州ヲ分ツ。	
一〇〇載 未癸		帝堯崩ズ。	
帝舜有虞氏 一載 戌丙		舜堯ノ喪ヲ服ス、三年始テ位ニ即ク、十二牧ニ咨リ九官ヲ命ズ、堯ノ子朱ヲ丹ニ封ズ。	
三二載 巳丁		禹ニ命ジテ位ヲ攝ス。	

本表編纂ニ付テハ、病軀殆ト執筆ニ堪ヘズ、河田巖氏ノ助力ニ成ルモノ太多シ、附記シテ以テ謝意ヲ表ス。

明治四十三年十一月

成

齋

識

史記年表例言

一司馬遷十表ヲ著ス、曰三代世表、黃帝ヨリ以來周共和ニ訖ル、曰十二諸侯年表、共和ヨリ孔子ノ時ニ訖ル、卽春秋ノ世ナリ、曰六國年表、春秋ノ後ヲ踵ギ、周元王ニ起リ、六國ノ時事ヲ表シ、秦二世ニ訖ル、曰秦楚之際月表、二世元年陳勝劉項兵ヲ起スニ始リ、漢五年ニ訖ル、曰漢興以來諸侯年表、曰高祖功臣侯者年表、曰惠景閒侯者年表、曰建元以來侯者年表、曰建元以來王子侯者年表、曰漢興以來將相名臣年表、而シテ第十將相名臣年表ハ本缺ク、漢褚少孫之ヲ補フ。

一司馬遷ノ表頗詳悉ナレドモ、錯雜シテ遽ニ解シ難キモノアリ、亦閒誤謬ナキニ非ズ、今資治通鑑綱目、金履祥通鑑前編、及舉要清通鑑輯覽等ノ書ヲ參考シテ此表ヲ作り、其大略ヲ知ラジム。

一周厲王三十年以前ハ、記載稀疎ナルヲ以テ唯其事アルノ年ヲ載セ、以後ハ年ヲ逐ウテ之ヲ記シ、以テ漢武帝天漢四年司馬遷史記ヲ作ルニ訖ル。

ヲ撰ス、其引證スル所、先儒ノ舊說多ク、核據頗浩博ナリ、史記索隱三十卷、唐司馬貞撰、貞ハ河内ノ人、開元中官、朝散大夫宏文館學士タリ、貞初メ史記ヲ崇文館學士張嘉會ニ受ク、褚少孫補書多ク踳駁ニ傷スルヲ病シ、又裴駰集解舊ト音義アリ、年遠クシテ散佚シ、諸家音義ノ書亦傳ヲ失フヲ以テ、乃チ裴駰集解ニ因テ撰シテ此書ヲ爲ル、史記正義百三十卷、唐張守節撰、守節始末未ダ詳ナラズ、其原書自序ニ據ルニ三十卷ト爲ス、晁公武陳振孫二家ノ錄スル所二十卷ニ作ル、蓋其字ヲ標シ注ヲ別スル、亦必ズ索隱ノ如シ、以上三書原本各單行ス、明代ニ至リ、國子監本ヲ刊スル時、三書ヲ句下ニ散入シ、更ニ刪節スル所多シ、今據ル所ノ評林ハ、明萬曆閒、吳興凌稚隆輯校シ、溫陵李光縉增補ス、其體裁蓋仍監本ニ據ルナリ。

今校正ニ方リ、引用スル所ノ書ハ、清方苞ノ史記注補正、王鳴盛ノ十七史商榷、錢大昕ノ二十二史攷異、趙翼ノ二十二史劄記、及ビ同治中校刊スル所ノ張文虎ノ史記札記等ナリ。

明治四十三年九月

文學博士 重野安釋 識

解題

史記ハ、漢司馬遷撰、遷ノ父談、太史公ト爲リ、嘗テ史ヲ修スルノ志アリ、未ダ成ラズ、將ニ卒セントス、遷ニ託スルニ其事ヲ以テス、遷又太史公ト爲ル、先人次スル所ノ舊聞ヲ論ズ、李陵ノ禍ニ遭フニ及ビ、憤ヲ發シ、遂ニ此書ヲ著ス、黃帝ヨリ始メ漢武帝ニ至ル、凡十二本紀、十表、八書、三十世家、七十列傳、共ニ一百三十卷ト爲ス、其中漢景帝紀、武帝紀、禮書、樂書、兵書、漢興以來將相年表、日者列傳、三王世家、龜策列傳、傳靳列傳ノ十篇、未ダ成ラズ、錄アルノミ、後ニ褚少孫之ヲ補フ、少孫ハ、張守節正義ニ據ルニ、潁川ノ人、漢元帝成帝間ノ博士ト爲ス、又褚顓家傳ヲ引キ、以テ梁相褚大弟ノ孫ニシテ、宣帝ノ時博士ト爲リ、沛ニ寓居シ、大儒王式ニ事フ、故ニ先生ト號スト爲ス、二說同ジカラズ、然ルニ宣帝ノ末、成帝ノ初ヲ距ル十七八年ニ過ギズ、其相去ル亦未ダ遠カラザルナリ、篇中間又後人ノ増入スル所アリ、則散佚スル所アルノミニ非ズ、且兼テ竄易スル所アリ、然ルニ其全書ハ、則仍遷ノ原本ナリ、遷ノ事蹟ハ、卷末ノ太史公自序、及ビ漢書本傳ニ詳ナリ。

其注解ハ、史記集解百三十卷、劉宋裴駟撰、駟字ハ龍駒、河東聞喜ノ人、駟、徐廣音義粗發明アルモ、殊ニ省略ヲ恨ムヲ以テ、九經諸史、并ニ漢書音義、及ビ衆書ノ目ヲ採リ、別ニ此書



史記列傳上

DS
735
A2S62
1913
V. 1

漢文大系

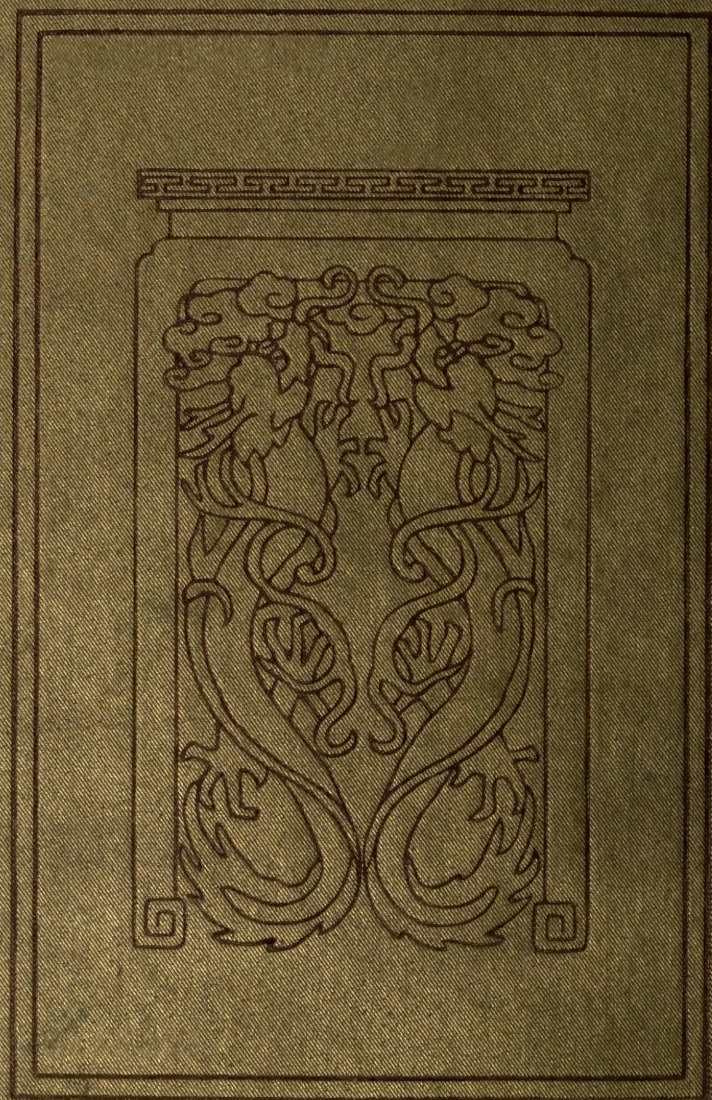
DS
735
A2S62
1913
v.1

Ssü-ma, Ch'ien
Shiki retsuden

East Asia

PLEASE DO NOT REMOVE
CARDS OR SLIPS FROM THIS POCKET

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY



版壁房山富 京東